

島根原子力発電所 2号炉 審査資料	
資料番号	EP-016 改 17
提出年月日	令和 3年 3月 24日

島根原子力発電所 2号炉

溢水による損傷の防止等

令和 3年 3月
中国電力株式会社

第9条：溢水による損傷の防止等

<目次>

1. 基本方針
 - 1.1 要求事項の整理
 - 1.2 適合のための設計方針
 - 1.2.1 設置許可基準規則第九条第1項に対する基本方針
 - 1.2.2 設置許可基準規則第九条第2項に対する基本方針
2. 追加要求事項に対する適合方針
 - 2.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針
 - 2.2 考慮すべき溢水事象
 - 2.3 溢水源及び溢水量の想定
 - 2.3.1 想定破損による溢水
 - 2.3.2 消火水の放水による溢水
 - 2.3.3 地震起因による溢水
 - 2.3.4 その他の溢水
 - 2.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針
 - 2.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針
 - 2.5.1 没水の影響に対する設計方針
 - 2.5.2 被水の影響に対する設計方針
 - 2.5.3 蒸気放出の影響に対する設計方針
 - 2.5.4 その他の要因による溢水に対する設計方針
 - 2.5.5 燃料プールのスロッシング後の機能維持に関する設計方針
 - 2.6 溢水防護区画を内包するエリア外及び建物外からの流入防止に関する設計方針
 - 2.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針
 - 2.8 溢水によって発生する外乱に対する設計方針
3. 別添
 - 別添1 島根原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について
 - 別添2 島根原子力発電所2号炉 運用, 手順説明資料 溢水による損傷の防止
 - 別添3 島根原子力発電所2号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて

1. 基本方針

1.1 要求事項の整理

実用発電用原子炉及びその附属施設の位置，構造及び設備の基準に関する規則（以下「設置許可基準規則」という。）第九条及び実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則（以下「技術基準規則」という。）第十二条を第1.1-1表に示す。また，第1.1-1表において，新規制基準に伴う追加要求事項を明確化する。

第1.1-1表 設置許可基準規則第九条及び技術基準規則第十二条要求事項

設置許可基準規則第九条 (溢水による損傷の防止等)	技術基準規則第十二条 (発電用原子炉施設内における溢水等による損傷の防止)	備考
安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない。	設計基準対象施設が発電用原子炉施設内における溢水の発生によりその安全性を損なうおそれがある場合は、防護措置その他の適切な措置を講じなければならない。	追加要求事項
2 設計基準対象施設は、発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出た場合において、当該液体が管理区域外へ漏えいしないものでなければならない。	2 設計基準対象施設が発電用原子炉施設内の放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体があふれ出るおそれがある場合は、当該液体が管理区域外へ漏えいすることを防止するために必要な措置を講じなければならない。	追加要求事項

1.2 適合のための設計方針

1.2.1 設置許可基準規則第九条第1項に対する基本方針

安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計とする。

そのために、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できる設計とする。また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できる設計とする。さらに、燃料プールにおいては、燃料プールの冷却機能及び燃料プールへの給水機能を維持できる設計とする。

これらの機能を維持するために必要な設備（以下「防護対象設備」という。）について、設置許可基準規則第九条及び第十二条の要求事項を踏まえ「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド（平成26年8月6日原規技発第1408064号原子力規制委員会決定）」（以下「評価ガイド」という。）も参照し、以下のとおり選定する。

- ・重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備
- ・プール冷却及びプールへの給水の機能を適切に維持するために必要な設備

発電用原子炉施設内における溢水として、発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む。）、消火系統等の作動並びに燃料プール等のスロッシングその他の事象により発生した溢水を考慮し、防護対象設備が没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計（多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計）とする。さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下「安全評価指針」という。）に基づき必要な設備の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。

地震、津波、竜巻、降水等の自然現象による波及的影響により発生する溢水に関しては、防護対象設備、溢水源となる屋外タンク等の配置も踏まえて、最も厳しい条件となる自然現象による溢水の影響を考慮し、防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。

1.2.2 設置許可基準規則第九条第2項に対する基本方針

放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備が破損することにより、当該容器、配管その他の設備から放射性物質を含む液体の漏えいを想定する場合には、溢水が管理区域外へ漏えいしないよう、建物内の壁、扉、堰等により伝播経路を制限する設計とする。

2. 追加要求事項に対する適合方針

2.1 設計上対処すべき施設を抽出するための方針

溢水によってその安全機能が損なわれないことを確認する必要がある施設を、「重要度分類審査指針」における分類のクラス1，クラス2及びクラス3に属する構築物，系統及び機器とする。

その上で，溢水防護上必要な機能を有する構築物，系統及び機器として上記の中から，原子炉を高温停止でき，引き続き低温停止，及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため，また，停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するため，並びに燃料プールの冷却機能及び燃料プールの給水機能を維持するために必要となる，重要度分類審査指針における分類のクラス1，2に属する構築物，系統及び機器に加え，安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物，系統及び機器を抽出する。

以上を踏まえ，防護対象設備として，重要度の特に高い安全機能を有する構築物，系統及び機器，並びに，燃料プールの冷却機能及び給水機能を維持するために必要な構築物，系統及び機器を抽出する。

なお，上記に含まれない構築物，系統及び機器は，溢水により損傷した場合であっても，代替手段があること等により安全機能は損なわれない。

以上の考えに基づき選定された溢水から防護すべき系統設備を第2.1-1表に示す。

なお，抽出された防護対象設備のうち，溢水影響評価の対象とする設備を溢水防護対象設備とし，以下の設備は溢水影響を受けても，必要とされる安全機能を損なわないことから，溢水による影響評価の対象として抽出しない。

(1) 溢水の影響を受けない静的機器

構造が単純で外部から動力の供給を必要としないことから，溢水の影響を受けて安全機能を損なわない容器，熱交換器，フィルタ，安全弁，逆止弁，手動弁，配管及び没水に対する耐性を有するケーブル。

(2) 原子炉格納容器内に設置されている機器

原子炉格納容器内で想定される溢水である原子炉冷却材喪失時の原子炉格納容器内の状態を考慮しても，没水，被水及び蒸気の影響を受けないことを試験も含めて確認している機器。

(3) 動作機能の喪失により安全機能に影響しない機器

フェイル・セーフ設計となっている機器であり，溢水の影響により動作機能を損なった場合においても，安全機能に影響がない機器。

(4) 他の機器で代替できる機器

他の機器により要求機能が代替できる機器。ただし，代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る。

第2.1-1 表 溢水から防護すべき系統設備(1/3)

機能	対象系統・機器
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系
未臨界維持機能	制御棒及び制御棒駆動系 ほう酸水注入系
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての開機能）
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード、低圧注水モード、サブプレッション・プール水冷却モード） 逃がし安全弁（手動逃がし機能） 自動減圧系（手動逃がし機能） 低圧炉心スプレイ系 原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	逃がし安全弁（手動逃がし機能） 自動減圧系（手動逃がし機能）
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 自動減圧系により原子炉を減圧し、低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系（低圧注水モード）により原子炉への注水を行う
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系（低圧注水モード） 低圧炉心スプレイ系
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	自動減圧系
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系
格納容器の冷却機能	残留熱除去系（格納容器冷却モード）
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用電源系（交流）

第2.1-1 表 溢水から防護すべき系統設備(2/3)

機能	対象系統・機器
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用電源系（直流）
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電設備（高圧炉心スプレ イ系を含む）
非常用の直流電源機能	直流電源設備
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備
補機冷却機能	原子炉補機冷却系 高圧炉心スプレイ補機冷却系
冷却用海水供給機能	原子炉補機海水系 高圧炉心スプレイ補機海水系
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気系
圧縮空気供給機能	逃がし安全弁のアクキュムレータ 自動減圧機能のアクキュムレータ 主蒸気隔離弁のアクキュムレータ
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器バウンダリ隔離弁
原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	原子炉保護系
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	工学的安全施設作動系
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	中性子束（起動領域モニタ） 原子炉スクラム用電磁接触器の状態 制御棒位置
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位（広帯域，燃料域） 原子炉圧力
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉格納容器圧力 サプレッション・プール水温 格納容器エリア放射線量率

第 2.1-1 表 溢水から防護すべき系統設備(3/3)

機能	対象系統・機器
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	[低温停止への移行] 原子炉圧力 原子炉水位（広帯域） [ドライウェルスプレイ] 原子炉水位（広帯域，燃料域） 格納容器圧力 [サプレッション・プール冷却] 原子炉水位（広帯域，燃料域） サプレッション・プール水温 [可燃性ガス濃度制御系起動] 原子炉格納容器水素濃度 原子炉格納容器酸素濃度 [異常状態の把握機能] 排気筒モニタ
燃料プールの冷却機能	燃料プール冷却系 残留熱除去系 燃料プール監視
燃料プールの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 燃料プール監視

2.2 考慮すべき溢水事象

溢水源及び溢水量としては、発生要因別に分類した以下の溢水を想定して評価することとし、評価条件については評価ガイドを参照する。

- a. 溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下「想定破損による溢水」という。）
- b. 発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下「消火水の放水による溢水」という。）
- c. 地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む）（以下「地震起因による溢水」という。）
- d. その他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下「その他の溢水」という。）

溢水源となり得る機器は、流体を内包する容器及び配管とし、a. 又はc. の評価において破損を想定するものはそれぞれの評価での溢水源として設定する。

a. 又はb. の溢水源の想定にあたっては、一系統における単一の機器の破損又は単一箇所での異常状態の発生とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。号炉間で共用する建物及び一体構造の建物に設置される機器にあつては、共用、非共用機器に係わらず、その建物内で単一の溢水源を想定し、建物全体の溢水経路を考慮する。

2.3 溢水源及び溢水量の想定

2.3.1 想定破損による溢水

(1) 想定破損における溢水源の想定

想定破損による溢水については、単一の配管の破損による溢水を想定して、配管の破損箇所を溢水源として設定する。

また、破損を想定する配管は、内包する流体のエネルギーに応じて、以下で定義する高エネルギー配管又は低エネルギー配管に分類する。

- ・「高エネルギー配管」とは、呼び径25 A (1B) を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gauge]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。
- ・「低エネルギー配管」とは、呼び径25 A (1B) を超える配管であつて、プラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gauge]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。
- ・高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さければ、低エネルギー配管として扱う。配管の破損形状の想定に当たっては、高エネルギー配管は、原則「完全全周破断」、低エネルギー配管は、原則「配管内径の1/2の長さ」と配管肉

厚の1/2 の幅を有する貫通クラック（以下「貫通クラック」という。）」を想定する。ただし、応力評価を実施する配管については、発生応力 S_n と許容応力 S_a の比により、以下で示した応力評価の結果に基づく破損形状を想定する。また、応力評価の結果により破損形状の想定を行う場合は、評価結果に影響するような減肉がないことを確認するために継続的な肉厚管理を実施する。

【高エネルギー配管（ターミナルエンド部を除く）】

- ・原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管
 $S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*1} \Rightarrow$ 破損想定不要
※1 クラス1 配管は $2.4S_m$ 以下、クラス2 配管は $0.8S_a$ 以下
- ・原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管
 $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*2} \Rightarrow$ 破損想定不要
 $0.4 \times \text{許容応力}^{*2} < S_n \leq 0.8 \times \text{許容応力}^{*3} \Rightarrow$ 貫通クラック
※2 クラス1 配管は $1.2S_m$ 以下、クラス2, 3 又は非安全系配管は $0.4S_a$ 以下
※3 クラス1 配管は $2.4S_m$ 以下、クラス2, 3 又は非安全系配管は $0.8S_a$ 以下

【低エネルギー配管】

- ・原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリの配管
 $S_n \leq 0.4S_a \Rightarrow$ 破損想定不要
- ・原子炉冷却材圧力バウンダリ及び原子炉格納容器バウンダリ以外の配管
 $S_n \leq 0.4 \times \text{許容応力}^{*4} \Rightarrow$ 破損想定不要
※4 クラス1 配管は $1.2S_m$ 以下、クラス2, 3 又は非安全系配管は $0.4S_a$ 以下

ここで S_n 、 S_m 及び S_a は日本機械学会「発電用原子力設備規格 設計・建設規格（JSME S NC1-2005/2007）」による

(2) 想定破損における溢水量の設定

想定する破損箇所は溢水防護対象設備への溢水影響が最も大きくなる位置とし、溢水量は、異常の検知、事象の判断及び漏えい箇所の特定並びに現場又は中央制御室からの隔離により漏えい停止するまでの時間（運転員の状況確認及び隔離操作含む。）を適切に考慮し、想定する破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。なお、手動による漏えい停止の手順は、保安規定又はその下位規定に定める。

ここで、漏水量は、配管の破損形状を考慮した流出流量に漏水箇所の隔離までに必要な時間（以下「隔離時間」という。）を乗じて設定する。

2.3.2 消火水の放水による溢水

(1) 溢水源の想定

消火水の放水による溢水については、発電用原子炉施設内に設置される消火設備等からの放水を溢水源として設定する。

消火栓以外の設備としては、スプリンクラや残留熱除去系（格納容器冷却モード）からの放水があるが、溢水防護対象設備が設置されている区画には、スプリンクラは設置しない設計とし、それ以外の箇所に設置されたスプリンクラに対しては、その作動による溢水の流入により、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。

また、原子炉格納容器内の防護対象設備については、残留熱除去系（格納容器冷却モード）の作動によって発生する溢水により安全機能を損なわない設計とする。

なお、残留熱除去系（格納容器冷却モード）は、単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから誤作動による溢水は想定しない。

(2) 溢水量の設定

消火設備等からの単位時間当たりの放水量と放水時間から溢水量を設定する。

消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さい場合においては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5

(1)の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定し、溢水量を設定する。

2.3.3 地震起因による溢水

(1) 発電所内に設置された機器の破損による溢水

① 地震起因による溢水源の想定

地震起因による溢水については、溢水源となり得る機器（流体を内包する機器）のうち、基準地震動 S_s による地震力により破損が生じる機器を溢水源として設定する。

耐震Sクラスの機器については、基準地震動 S_s による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震B及びCクラスの機器のうち耐震対策工事の実施あるいは製作上の裕度の考慮により、基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性が確保されているものについては溢水源として想定しない。

耐震評価の具体的な考え方を以下に示す。

- ・ 構造強度評価に係る応答解析は、基準地震動 S_s を用いた動的解析によることとし、機器の応答性状を適切に表現できるモデルを設定する。

その上で、当該機器の据付床の水平方向及び鉛直方向それぞれの床応答を用いて応答解析を行い、それぞれの応答解析結果を適切に組み合わせる。

- ・ 応答解析に用いる減衰定数は、安全上適切と認められる規格及び基準、既往の振動実験、地震観測の調査結果等を考慮して適切な値を定める。
- ・ 応力評価に当たり、簡易な手法を用いる場合は、詳細な評価手法に対して保守性を有するよう留意し、簡易的な手法での評価結果が厳しい箇所については詳細評価を実施することで健全性を確保する。
- ・ 基準地震動 S_s による地震力に対する発生応力の評価基準値は、安全上適切と認められる規格及び基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。
- ・ バウンダリ機能確保の観点から、設備の実力を反映する場合には規格基準以外の評価基準値の適用も検討する。

②地震起因による溢水量の設定

溢水量の算出に当たっては、漏水が生じるとした機器のうち溢水防護対象設備への溢水の影響が最も大きくなる位置で漏水が生じるものとして評価する。溢水源となる配管については破損形状を完全全周破断とし、溢水源となる容器については全保有水量を考慮した上で、溢水量を算出する。

また、漏えい検知による漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。なお、漏えい検知による自動隔離機能を有する場合を除き、隔離による漏えい停止は期待しない。

基準地震動 S_s による地震力に対して、耐震性が確保されない循環水系配管については、伸縮継手の全円周状の破損を想定し、循環水ポンプが停止するまでの間に生じる溢水量を設定する。その際、循環水系配管の破損箇所からの津波の流入量も考慮する。

(2) 燃料プール等のスロッシングによる溢水

①燃料プール等のスロッシングによる溢水源の想定

燃料プール等のスロッシングによる溢水については、基準地震動 S_s による地震力により生じる燃料プール等のスロッシングによる漏えい水を溢水源として設定する。

②燃料プールのスロッシングによる溢水量の設定

燃料プールのスロッシングによる溢水量の算出に当たっては、基準地震動 S_s による地震力により生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。また、燃料プールの初期水位は、

保守的にスキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。

また、施設定期検査中の燃料プール、原子炉ウェル及びドライヤセパレータプールのスロッシングについても評価を実施する。

2.3.4 その他の溢水

その他の溢水については、地下水の流入、降水、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水、機器の誤作動、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。

2.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針

(1) 溢水防護区画の設定

溢水防護に対する評価対象区画を溢水防護区画とし、溢水防護対象設備が設置されている全ての区画並びに中央制御室及び現場操作が必要な設備へのアクセス通路について設定する。溢水防護区画は壁、扉、堰、床段差等、又はそれらの組み合わせによって他の区画と分離される区画として設定し、溢水防護区画を構成する壁、扉、堰、床段差等については、現場の設備等の設置状況を踏まえ、溢水の伝播に対する評価条件を設定する。

(2) 溢水経路の設定

溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置を踏まえ、溢水防護区画内の水位が最も高くなるよう保守的に設定する。

具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、貫通部、扉から他区画への排出は想定しない（床目皿、機器ハッチ、開口扉等のように定量的に他区画への排出を確認できる場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。

溢水防護区画外で発生する溢水に対しては、床ドレン、開口部、貫通部及び扉を通じた溢水防護区画内への流入が最も多くなるよう（流入防止対策が施されている場合は除く。）保守的な条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。

なお、上層階から下層階への伝播に関しては、全量が伝播するものとする。

溢水経路を構成する壁、扉、堰、床段差等は、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理及び水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。

なお、溢水が長期間滞留する区画境界の壁にひび割れが生じる場合は、ひび割れからの浸水量を算出し、溢水評価に影響を与えないことを確認する。

また、貫通部に実施した流出及び流入防止対策も同様に、基準地震動 S_s によ

る地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。

なお、火災により貫通部の止水機能が損なわれる場合には、当該貫通部からの消火水の流入を考慮する。消火活動により区画の扉を開放する場合は、開放した扉からの消火水の伝播を考慮する。

また、火災防護対策等として新たに実施した措置について止水性等を適切に考慮し伝播経路を設定する。

また、施設定期検査作業に伴う防護対象設備の待機除外や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合も想定する。

具体的には、プラント停止中のスロッシングの発生やハッチ開放時における溢水影響について評価を行い、ハッチ開放時の堰の設置により、溢水影響が他に及ばない運用を行う。

2.5 溢水防護対象設備を防護するための設計方針

想定破損による溢水、消火水の放水による溢水、地震起因による溢水及びその他の溢水に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なわない設計とするとともに、燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、燃料プールの冷却機能及び燃料プールへの給水機能等が維持できる設計とする。

また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。

なお、必要となる操作を中央制御室で行う場合は、操作を行う運転員は中央制御室に常駐していることからアクセス性を失わずに対応できる。

2.5.1 没水の影響に対する設計方針

(1) 没水の影響に対する評価方針

「2.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源から発生する溢水量と「2.4 溢水防護区画及び溢水経路を設定するための方針」にて設定した溢水防護区画及び溢水経路から算出した溢水水位に対し、溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれがないことを評価する。

具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。

- a. 発生した溢水による水位が、溢水の影響を受けて溢水防護対象設備の安全機能を損なうおそれがある高さ（以下「機能喪失高さ」という。）を上回らないこと。このとき、溢水による水位の算出に当たっては、区画の床勾配、流入状態、溢水源からの距離、溢水の滞留した領域を人員が移動すること等による一時的な水位変動を考慮し、区画面積、保有水

量及び伝播経路の設定において十分な保守性を確保するとともに、人員のアクセスルートにおいて発生した溢水による水位に対して50mm以上の裕度を確保する。

区画の滞留面積の算出においては、機器等が占める面積を調査し、区画面積からこれを差し引く。さらに、溢水防護区画への資機材の持ち込み等による床面積への影響を考慮することとする。系統保有水量の算定にあたっては、算出量に10%以上の裕度を確保する。

機能喪失高さについては、溢水防護対象設備の各付属品の設置状況も踏まえ、没水によって安全機能を損なうおそれのある最低の高さを設定する。

機能喪失高さは実力高さ（各溢水防護対象機器等の機能喪失部位の高さ）に余裕を考慮した評価高さを基本とするが、評価高さで没水する場合には、機能喪失高さの実力値である個別測定した高さを用いて評価する。

溢水防護対象設備の機能喪失高さ設定における考え方の例を第2.5.1-1表に示す。

- b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。

その際、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。

第2.5.1-1表 溢水防護対象設備の機能喪失高さの考え方（例示）

設備	機能喪失高さ	
	基本設定箇所*	個別設定箇所
ポンプ／電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部
空気作動弁／電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部

※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位

(2) 没水の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。

① 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 漏えい検知器等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室からの遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。
- b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。
流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。
- c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。
- d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。
- e. その他の溢水のうち機器の誤作動、弁グランド部及び配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。

② 溢水防護対象設備に対する対策

- a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。
- b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な機能が損なわれない設計とする。

2.5.2 被水の影響に対する設計方針

(1) 被水の影響に対する評価方針

「2.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの直線軌道及び放物線軌道の飛散による被水並びに天井面の開口部又は貫通部からの被水の影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれ

がないことを評価する。

具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。

- a. 溢水防護対象設備があらゆる方向からの水の飛まつによっても有害な影響を生じないように、以下に示すいずれかの保護構造を有していること。
 - (a) 「JISC0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IP コード)」における第二特性数字4 以上相当の保護等級を有すること。
 - (b) 実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置がなされていること。
- b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。

その際、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。

(2) 被水の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。

① 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響がない設計とする。

流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な機能が損なわれない設計とする。
- b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響がない設計とする。
- c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響がない設計とする。
- d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響がない設計とする。

また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限にとどめるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。

② 溢水防護対象設備に対する対策

- a. 「JISC0920 電気機械器具の外郭による保護等級(IP コード)」における第二特性数字4 以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。
- b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防護措置を行う。

2.5.3 蒸気放出の影響に対する設計方針

(1) 蒸気放出の影響に対する評価方針

「2.2 考慮すべき溢水事象」にて設定した溢水源からの漏えい蒸気の直接噴出及び拡散による影響を受ける範囲内にある溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがないことを評価する。

具体的には、以下に示す要求のいずれかを満足していれば溢水防護対象設備が安全機能を損なうおそれはない。

- a. 溢水防護対象設備が溢水源からの漏えい蒸気を考慮した耐蒸気仕様を有すること。
- b. 溢水防護対象設備が多重性又は多様性を有しており、各々が同時に溢水の影響を受けないような別区画に設置され、同時に安全機能を損なうことのないこと。

その際、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、安全評価指針に基づき必要な機器の単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行うこと。

(2) 蒸気放出の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか又は組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。

① 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。

流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できるとともに、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対して必要な当該機能が損なわれない設計とする。

- b. 溢水源となる系統を、溢水防護区画外の元弁で閉止することにより、溢

- 水防護区画内において蒸気放出による影響がない設計とする。
- c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響がない設計とする。
 - d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震対策工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響がない設計とする。
 - e. 主蒸気管破断事故時等には、建物内外の差圧によるブローアウトパネルの開放により、溢水防護区画内において蒸気影響を軽減する設計とする。
- ② 溢水防護対象設備に対する対策
- a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替を行う。
 - b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。

2.5.4 その他の要因による溢水に対する設計方針

地下水の流入、屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建物内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。

機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により溢水防護対象設備の安全機能を損なわない設計とする。

2.5.5 燃料プールのスロッシング後の機能維持に関する設計方針

基準地震動 S_s による地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、燃料プール外へ漏えいする水量を考慮する。その際、燃料プールの初期水位は、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位として評価する。算出した溢水量からスロッシング後の燃料プールの水位低下を考慮しても、燃料プールの冷却機能及び燃料プールへの給水機能が確保されるため、それらを用いることにより適切な水温（水温 65°C 以下）及び遮蔽水位を維持できる設計とする。

2.6 溢水防護区画を内包するエリア外及び建物外からの流入防止に関する設計方針

溢水防護区画を内包するエリア外及び建物外で発生を想定する溢水が、溢水防護区画に流入するおそれがある場合には、壁、扉、堰等により溢水防護区画を内包するエリア内及び建物内への流入を防止する設計とし、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。

また、地下水に対しては、地震時の地下水位低下設備の停止により建物周囲の水位が周辺の地下水位まで上昇しないように地下水位低下設備を基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持する設計とする。

2.7 放射性物質を含んだ液体の管理区域外への漏えいを防止するための設計方針

管理区域内で発生した溢水の管理区域外への伝播経路となる箇所については、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行うことにより、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備の破損により生じた放射性物質を内包する液体が管理されない状態で管理区域外に漏えいすることを防止する設計とする。

2.8 溢水によって発生する外乱に対する設計方針

溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動を要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「安全評価指針」に基づき必要な単一故障を考慮し、発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とし、これらの機能を維持するために必要な設備(溢水防護対象設備)が、没水、被水及び蒸気の影響を受けて、その安全機能を損なわない設計(多重性又は多様性を有する設備が同時にその安全機能を損なわない設計)とする。

3. 別添

別添1 島根原子力発電所2号炉 内部溢水の影響評価について

別添2 島根原子力発電所2号炉 運用、手順説明資料 溢水による損傷の防止

別添3 島根原子力発電所2号炉 内部溢水影響評価における確認プロセスについて

島根原子力発電所 2 号炉

内部溢水の影響評価について

目次

系統名称及び略語

1. 概要	9 条-別添 1-1-1
1.1 溢水防護の基本方針	9 条-別添 1-1-1
1.2 溢水影響評価フロー	9 条-別添 1-1-3
2. 防護対象設備の選定	9 条-別添 1-2-1
2.1 防護対象設備の選定	9 条-別添 1-2-1
2.2 溢水防護対象設備の機能喪失の判定	9 条-別添 1-2-2
2.3 溢水防護対象設備を防護するための設計方針	9 条-別添 1-2-3
3. 溢水源の選定	9 条-別添 1-3-1
3.1 想定破損による溢水	9 条-別添 1-3-1
3.2 消火水の放水による溢水	9 条-別添 1-3-4
3.3 地震起因による溢水	9 条-別添 1-3-4
3.4 その他の溢水	9 条-別添 1-3-4
4. 溢水防護区画及び溢水経路の設定	9 条-別添 1-4-1
4.1 溢水防護区画の設定	9 条-別添 1-4-1
4.2 滞留面積の算出	9 条-別添 1-4-1
4.3 溢水経路の設定	9 条-別添 1-4-25
5. 想定破損評価に用いる各項目の算出及び影響評価	9 条-別添 1-5-1
5.1 溢水量の算定	9 条-別添 1-5-2
5.2 想定破損による没水影響評価	9 条-別添 1-5-8
5.3 想定破損による被水影響評価	9 条-別添 1-5-21
5.4 想定破損による蒸気影響評価	9 条-別添 1-5-24
5.5 想定破損による影響評価結果	9 条-別添 1-5-25
6. 消火水評価に用いる各項目の算出及び影響評価	9 条-別添 1-6-1
6.1 溢水量の算定	9 条-別添 1-6-1
6.2 消火水の放水による没水影響評価	9 条-別添 1-6-1
6.3 消火水の放水による被水影響評価	9 条-別添 1-6-2
6.4 消火水の放水による影響評価結果	9 条-別添 1-6-2
7. 地震時評価に用いる各項目の算出及び影響評価	9 条-別添 1-7-1
7.1 地震に起因する溢水源	9 条-別添 1-7-1
7.2 地震により破損して溢水源となる対象設備	9 条-別添 1-7-1

7.3	耐震 B, C クラスの機器等の耐震性評価	9 条-別添 1-7-1
7.4	燃料プールのスロッシングに伴う溢水量	9 条-別添 1-7-7
7.5	溢水量の算定	9 条-別添 1-7-7
7.6	地震起因による没水影響評価	9 条-別添 1-7-9
7.7	地震起因による被水影響評価	9 条-別添 1-7-13
7.8	地震起因による蒸気影響評価	9 条-別添 1-7-15
7.9	地震起因による影響評価結果	9 条-別添 1-7-15
8.	燃料プールのスロッシングに伴う溢水評価について	9 条-別添 1-8-1
8.1	解析評価	9 条-別添 1-8-2
8.2	溢水量評価結果	9 条-別添 1-8-8
8.3	内部溢水影響評価に用いる溢水量	9 条-別添 1-8-11
8.4	燃料プールのスロッシング後の機能維持評価	9 条-別添 1-8-14
9.	溢水防護対象設備が設置されているエリア外から の溢水影響評価	9 条-別添 1-9-1
9.1	復水器エリアにおける溢水	9 条-別添 1-9-4
9.2	耐震 S クラスエリアにおける溢水	9 条-別添 1-9-14
9.3	海域活断層及び日本海東縁部に想定される 地震による津波について	9 条-別添 1-9-18
9.4	タービン建物に設置されている防護対象設備について	9 条-別添 1-9-20
9.5	循環水ポンプエリアにおける溢水	9 条-別添 1-9-22
9.6	評価結果	9 条-別添 1-9-24
10.	建物外からの溢水影響評価	9 条-別添 1-10-1
10.1	屋外タンク等の溢水による影響	9 条-別添 1-10-1
10.2	地下水の溢水による影響	9 条-別添 1-10-20
11.	放射性物質を内包する液体の漏えい防止	9 条-別添 1-11-1
11.1	漏えい防止に対する設計上の考慮	9 条-別添 1-11-1
11.2	漏えい防止対策	9 条-別添 1-11-3

添付資料 1 機能喪失判定の考え方と選定された溢水防護対象設備について

1.	溢水防護対象設備の機能喪失判定	9 条-別添 1-添付 1-1
2.	抽出された溢水影響評価上の防護対象設備	9 条-別添 1-添付 1-6

添付資料 2 溢水源の分類及び運用について

1.	高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について	9 条-別添 1-添付 2-1
2.	所内蒸気系の隔離運用について	9 条-別添 1-添付 2-4

添付資料3 溢水源とする機器としない機器について

1. 溢水源とする機器としない機器のリスト …… 9 条-別添 1-添付 3-1

添付資料4 溢水影響評価において期待することができる設備

1. 溢水防護の概要 …… 9 条-別添 1-添付 4-1
2. 溢水防護対策 …… 9 条-別添 1-添付 4-4

添付資料5 想定破損による溢水影響評価について

1. 想定破損による没水影響評価結果まとめ …… 9 条-別添 1-添付 5-1
2. 想定破損による被水影響評価結果まとめ …… 9 条-別添 1-添付 5-1
3. 想定破損による蒸気影響評価結果まとめ …… 9 条-別添 1-添付 5-1

添付資料6 消火水による溢水影響評価について

1. 消火活動に伴う溢水の有無について …… 9 条-別添 1-添付 6-1
2. 消火水による没水影響評価結果まとめ …… 9 条-別添 1-添付 6-1
3. 消火活動における放水量に関する運用管理について …… 9 条-別添 1-添付 6-1

添付資料7 耐震 B, C クラス機器・配管系の評価について

1. 耐震 B, C クラス配管の耐震性評価について …… 9 条-別添 1-添付 7-1
2. 耐震 B, C クラス配管支持構造物の耐震性評価について …… 9 条-別添 1-添付 7-8
3. 耐震 B, C クラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について …… 9 条-別添 1-添付 7-10
4. 耐震 B, C クラス機器の耐震性評価結果について …… 9 条-別添 1-添付 7-11
5. 地震起因による没水影響評価結果 …… 9 条-別添 1-添付 7-18
6. 地震起因による被水影響評価結果 …… 9 条-別添 1-添付 7-18
7. 地震起因による蒸気影響評価結果 …… 9 条-別添 1-添付 7-18

添付資料8 スロッシング解析コードの概要について

1. 概要 …… 9 条-別添 1-添付 8-1
2. 数値解析 …… 9 条-別添 1-添付 8-1
3. 汎用熱流体解析コード Fluent の検証 …… 9 条-別添 1-添付 8-2
4. 結論 …… 9 条-別添 1-添付 8-6

添付資料9 原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド等

- への適合状況 …… 9 条-別添 1-添付 9-1

添付資料10 建物外への漏えい防止として止水を期待する設備の設置場所

1. 止水を期待する設備の設置場所について …… 9 条-別添 1-添付 10-1

補足説明資料

1. 島根2号炉原子炉補機海水系熱交換器の海水系出口配管からの海水漏えい事象について
2. 設置許可基準第十二条の要求について
3. 内部溢水により想定される事象について
4. 開口部等からの排出について
5. 油が溢水した場合の影響について
6. 現場操作の実施可能性について
7. 現場調査を踏まえた溢水源／溢水経路の抽出
8. 過去の不具合事例への対応について
9. 「溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」に関する補足
10. 溢水影響評価において原子炉格納容器内の防護対象設備を対象外とする考え方について
11. 原子炉建物二次格納施設内（原子炉格納容器外）の溢水防護対象設備の蒸気影響について
12. 貫通クラック等微小漏えい時の影響について
13. ケーブルの被水影響評価について
14. 屋外タンク等の溢水伝播挙動評価に用いた解析コードについて
15. エキспанションジョイント止水板の性能について
16. 内部溢水影響評価における保守性について
17. 溢水影響評価における耐震クラスの確認方法について
18. 配管の破損位置及び破損形状の評価について
19. フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした弁の溢水による機能影響について
20. ハッチ開放時における溢水影響について
21. 漏えい検知性について
22. 重大事故等対処設備を対象とした溢水防護の基本方針について
23. その他漏えい事象に対する確認について
24. 溢水防護対象設備の配置について
25. 内部溢水影響評価における判定表
26. 燃料プールのスロッシングによる排気ダクトへの流入防止について
27. 溢水影響のある屋外タンク等の選定について
28. 輪谷貯水槽（東側）のスロッシングによる溢水量評価について
29. 原子炉ウェル及び蒸気乾燥器／気水分離器ピットのスロッシングに伴う溢水影響について
30. 海水ポンプエリアの防護について
31. 設備対策の考え方について
32. 原子炉建物最終滞留区画における溢水発生後の復旧について

33. 重大事故等対処設備の追設を考慮した溢水影響評価について
34. 島根原子力発電所 2 号炉における火災防護と溢水防護における防護対象の比較について
35. 鉄筋コンクリート壁の水密性について
36. スロッシング解析における地盤物性等の不確かさに対する検討について
37. 海水によるケーブルの浸水影響について
38. 輪谷貯水槽の溢水影響について

主な系統等の略称

略語	名称	略語	名称
～F～N	区画	Rw/B	廃棄物処理建物
AHEF	原子炉補機代替冷却系	RWL	液体廃棄物処理系
APFS	ペデスタル代替注水系	RWS	固体廃棄物処理系
C/B	制御室建物	S/C	サプレッション・チェンバ
CRD	制御棒駆動系	SFP	燃料プール
CUW	原子炉浄化系	SLC	ほう酸水注入系
CW・FW	復水給水系	T/B	タービン建物
CWT	復水輸送系	TCW	タービン補機冷却系
DEG	非常用ディーゼル発電機系	TSW	タービン補機海水系
EL	海拔		
FMW	燃料プール補給水系		
FP	消火系		
FPC	燃料プール冷却系		
HPCS	高圧炉心スプレイ系		
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系		
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系		
HS	所内蒸気系（蒸気凝縮水戻り側）		
HS	所内蒸気系		
HVC	中央制御室空調換気系		
HVCW	空調換気設備冷却水系		
HVD	ドライウェル冷却系		
HW	所内上水系		
LOCA	原子炉冷却材喪失事故		
LPCS	低圧炉心スプレイ系		
MS	主蒸気系		
MUW	補給水系		
PCV	原子炉格納容器		
R/B	原子炉建物		
RAC	再生薬品系		
RCIC	原子炉隔離時冷却系		
RCW	原子炉補機冷却系		
RHR	残留熱除去系		
RSW	原子炉補機海水系		

1. 概要

島根原子力発電所2号炉については、発電所建設の設計段階において溢水影響を考慮した機器配置、配管設計を実施しており、具体的には、独立した区画への分散配置や堰の設置、基礎高さの考慮等を実施するとともに、各建物最下層に設置されたサンプに集積し排水が可能な設計としている。本資料は、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下、「設置許可基準規則」という。）第九条（溢水による損傷の防止等）の要求事項を踏まえ、安全施設は、発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても、安全機能を損なわない設計となっていることを確認するものである。

1.1 溢水防護の基本方針

発電用原子炉施設内に設置された機器及び配管の破損（地震起因を含む）、消火系統等の作動、燃料プール等のスロッシング及び自然現象やその波及的影響等により発生する溢水に対して、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、溢水防護を考慮した設計とする。

溢水防護を考慮した設計にあたり、基本設計方針を以下のとおりとする。

- (1) 発電用原子炉施設内で溢水が生じた場合においても、原子炉を高温停止し、引き続き低温停止、並びに放射性物質の閉じ込め機能を維持するために必要となる設備、原子炉が停止状態にある場合は引き続きその状態を維持するために必要となる設備、燃料プールの冷却及び給水機能を維持するための設備について、以下の設計上の配慮を行う。
 - a. 内部溢水の発生を防止するため、発電用原子炉施設内の系統及び機器は、その内部流体の種類や温度、圧力等に従い、適切な構造、強度を有するよう設計する。
 - b. 発電用原子炉施設内での溢水事象（地震に起因するものを含む）を想定し、発電用原子炉施設内での溢水の伝播経路及び滞留を考慮して、機器の多重性、多様性、各系統相互の離隔距離の確保、障壁等の設置により、同時に複数区分の安全機能が損なわれない設計とする。さらに、溢水の影響により原子炉に外乱が及び、かつ、安全保護系、原子炉停止系の作動が要求される場合には、その溢水の影響を考慮した上で、「発電用軽水型原子炉施設の安全評価に関する審査指針」（以下、「安全評価指針」という。）に基づき発生が予想される運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故について安全解析を行い、炉心が損傷に至ることなく当該事象を収束できる設計とする。なお、安全解

析にあたっては、運転時の異常な過渡変化又は設計基準事故を収束させるために必要な設備の単一故障を考慮する。

- (2) 発電用原子炉施設内で溢水が発生した場合において、放射性物質によって汚染された液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいしないよう、以下のような設計とする。
- a. 放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃液処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。
 - b. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。
 - c. 放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。

1.2 溢水影響評価フロー

「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド(平成25年6月19日 原規技発第13061913号 原子力規制委員会決定)」(以下、「評価ガイド」という。)を踏まえ、図1-1のフローにて溢水影響評価を行う。

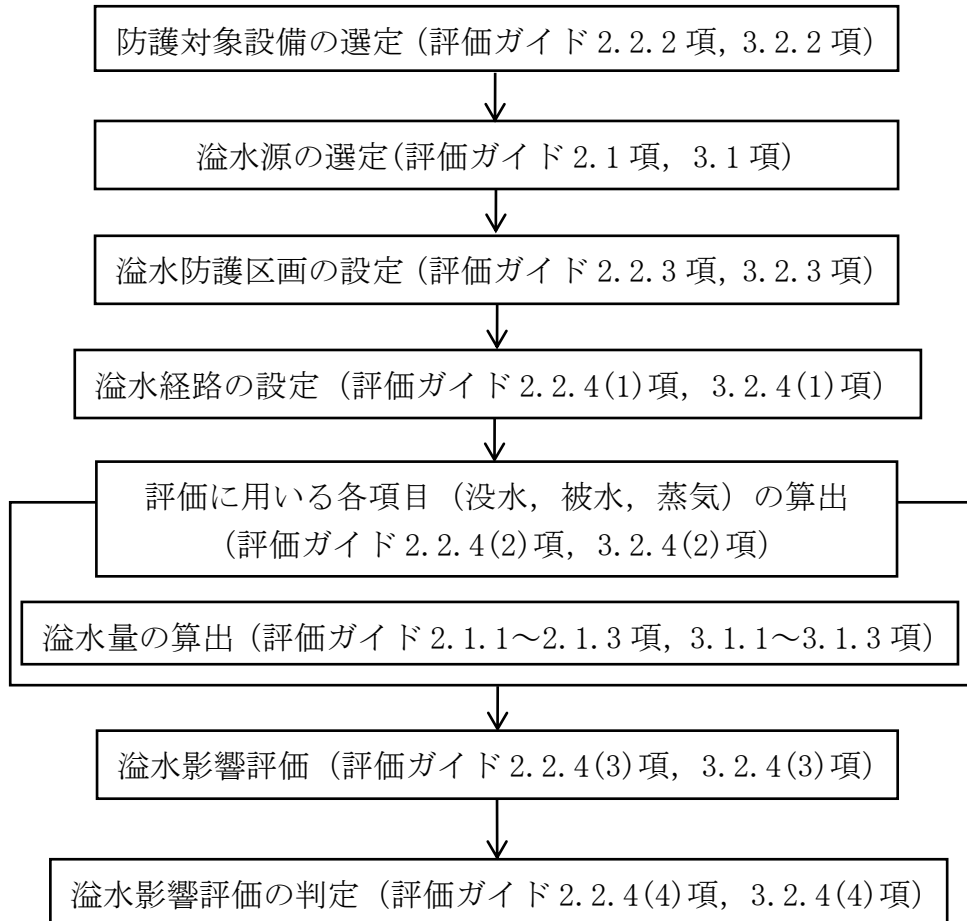


図 1-1 溢水影響評価のフロー

2. 防護対象設備の選定

2.1 防護対象設備の選定

「設置許可基準規則」第九条において、“発電用原子炉施設内における溢水が発生した場合においても安全機能を損なわないものでなければならない”と規定されている。

上記の「安全機能を損なわないもの」とは、同規則の解釈において、“発電用原子炉施設内部で発生が想定される溢水に対し、原子炉を高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持できること、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持できること、さらに、使用済燃料貯蔵槽においては、プール冷却機能及びプールへの給水機能を維持できること”と解されている。

また、評価ガイドにおいては、『重要度の特に高い安全機能を有する系統が、その安全機能を適切に維持するために必要な設備』及び『「プール冷却」及び「プールへの給水」の機能を適切に維持するために必要な設備』を防護対象設備として選定している。

さらに「設置許可基準規則」第十二条では、安全施設が安全機能を果たすための要求が記載されている。

上記の要求事項を踏まえ、以下の手順により防護対象設備を選定する（図2-1、表2-1参照）。

2.1.1 溢水防護上必要な機能を有する系統の抽出

溢水防護上必要な機能を有する系統として、安全機能を有する構築物、系統及び機器（以下、「安全施設」という。）の中から、原子炉の高温停止でき、引き続き低温停止、及び放射性物質の閉じ込め機能を維持するため、また、停止状態にある場合は、引き続きその状態を維持するため、並びに燃料プールにおいてはプール冷却機能及びプールへの給水機能を維持するために必要となる、発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する審査指針（以下、「重要度分類審査指針」という。）における分類でクラス1及び2に属する構築物、系統及び機器に加え、安全評価上その機能を期待するクラス3に属する構築物、系統及び機器を抽出する。

その上で、『重要度の特に高い安全機能を有する系統』として、「重要度分類審査指針」及び「設置許可基準規則」第十二条より、表2-2のとおり抽出する。

また燃料プールについて、『「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統』を表2-3のとおり抽出する。

なお、安全施設の全体像は、「重要度分類審査指針」における分類でクラス1、2、3に該当する構築物、系統及び機器であり、これら安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統の関連性について表2-4に示す。また、クラス1、2及び安全評価上その機能を期待するクラス3に該当する安全施設であって、重要

度の特に高い安全機能を有する系統に該当しないものについては、溢水防護上必要な機能を有する系統として考慮するものの、溢水により損傷した場合であっても代替手段があること等により安全機能が損なわれないことが確認できることから後段の影響評価の対象から除外することとし、その結果についても表2-4にて示す。

2.1.2 系統機能を維持する上で必要となる設備の抽出

2.1.1 で抽出した各系統について、系統図等に基づき、当該系統の機能を維持する上で必要な設備を抽出する。以上により抽出された設備を防護対象設備とする。

2.1.3 溢水影響評価上の防護対象設備の選定

2.1.2 で抽出した防護対象設備について、溢水による設備機能への影響の有無（設備の種別，耐環境仕様等）を考慮したスクリーニングを行い、溢水影響評価上の防護対象設備として選定する（添付資料1参照）。

なお、以下ではこの“溢水影響評価上の防護対象設備”を“溢水防護対象設備”と読み替えることとする。

2.2 溢水防護対象設備の機能喪失の判定

選定した溢水防護対象設備の没水，被水，蒸気の各溢水モードにおける機能喪失判定について以下のように定める。

(1) 没水

：溢水防護対象設備の機能喪失高さとして、設置されている区画の溢水水位と比較し、溢水水位の方が高い場合には当該設備は機能喪失と判定する。また現場操作が必要な設備に関しては、そのアクセス通路の溢水水位が歩行に影響のある高さ（0.30m）を超える場合は、機能喪失と判定する。

(2) 被水（流体を内包する機器からの被水）

：溢水防護対象設備から被水源となる機器が視認でき、当該溢水防護対象設備に被水防護措置がなされておらず、かつ防滴仕様でもない場合は、機能喪失と判定する。

(3) 被水（上階からの溢水の伝播による被水）

：溢水防護対象設備の上方に上層階からの溢水の伝播経路が存在し、当該防護対象設備に被水防護措置がなされておらず、かつ防滴仕様でもない場合は、上層階で発生した溢水が伝播経路を経由して被水することにより、当該溢水防護対象設備は機能喪失と判定する。

(4) 蒸気

：溢水防護対象設備の機能維持可能な温度／湿度と、設置されている区画の蒸気影響を想定した雰囲気温度／湿度を比較し、雰囲気温度／湿度の方が高い場合には当該溢水防護対象設備は機能喪失と判定する。

2.3 溢水防護対象設備を防護するための設計方針

溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水（以下、「想定破損による溢水」という。）、発電所内で生じる異常状態（火災を含む。）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水（以下、「消火水の放水による溢水」という。）、地震に起因する機器の破損等により生じる溢水（燃料プール等のスロッシングにより発生する溢水を含む。）（以下、「地震起因による溢水」という。）及びその他の要因（地下水の流入、地震以外の自然現象、機器の誤作動等）により生じる溢水（以下、「その他の溢水」という。）に対して、溢水防護対象設備が以下に示す没水、被水及び蒸気の影響を受けて、安全機能を損なわない設計とするとともに、燃料プールのスロッシングにおける水位低下を考慮しても、燃料プールの冷却機能、給水機能等が維持できる設計とする。

また、溢水評価において、現場操作が必要な設備に対しては、必要に応じて環境の温度及び放射線量を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能な設計とする。

2.3.1 没水の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が没水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか若しくは組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。

(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 漏えい検知器等により溢水の発生を早期に検知し、中央制御室から遠隔操作（自動又は手動）又は現場操作により漏えい箇所を早期に隔離できる設計とする。
- b. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止する設計とする。

流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して必要な健全性が損なわれない設計とする。
- c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。
- d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震補強工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより溢水量を低減する。
- e. その他の溢水のうち機器の誤作動や弁グランド部、配管フランジ部からの漏えい事象等に対しては、漏えい検知器による早期検知や床目皿からの排水等により、溢水防護対象設備の安全機能が損なわれない設計とする。

(2) 溢水防護対象設備に対する対策

- a. 溢水防護対象設備の設置高さを嵩上げし、評価の各段階における保守性と併せて考慮した上で、溢水防護対象設備の機能喪失高さが、発生した溢水による水位を十分な裕度を持って上回る設計とする。
- b. 溢水防護対象設備周囲に堰を設置し、溢水防護対象設備が没水しない設計とする。設置する堰については、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して必要な健全性が損なわれない設計とする。

2.3.2 被水の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が被水により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか若しくは組み合わせの対策を行うことにより、安全機能を損なわない設計とする。

(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 溢水防護区画外の溢水に対して、壁、扉、堰等による流入防止対策を図り溢水の流入を防止することにより被水の影響がない設計とする。
流入防止対策として設置する壁、扉、堰等は、溢水により発生する水位や水圧に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震や火災等により生じる環境や荷重条件に対して必要な健全性が損なわれない設計とする。
- b. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより被水の影響がない設計とする。
- c. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震補強工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより被水の影響がない設計とする。
- d. 消火水の放水による溢水に対しては、溢水防護対象設備が設置されている溢水防護区画において固定式消火設備等の水消火を行わない消火手段を採用することにより、被水の影響がない設計とする。

また、水消火を行う場合には、水消火による被水の影響を最小限に止めるため、溢水防護対象設備に対して不用意な放水を行わないことを消火活動における運用及び留意事項として「火災防護計画」に定める。

(2) 溢水防護対象設備に対する対策

- a. 「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」における第二特性数字 4 以上相当の保護等級を有する機器への取替を行う。
- b. 溢水防護対象設備に対し、実機での被水条件を考慮しても安全機能を損なわないことを被水試験等により確認した保護カバーやパッキン等による被水防

護措置を行う。

2.3.3 蒸気の影響に対する防護設計方針

溢水防護対象設備が蒸気放出の影響により安全機能を損なうおそれがある場合には、以下に示すいずれか若しくは組み合わせの対策を行うことにより、溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とする。

(1) 溢水源又は溢水経路に対する対策

- a. 溢水防護区画外の蒸気放出に対して、壁、扉等による流入防止対策を図り蒸気の流入を防止する設計とする。
流入防止対策として設置する壁、扉等は、溢水により発生する蒸気に対して流入防止機能が維持できる設計とするとともに、溢水の要因となる地震等により生じる環境や荷重条件に対して当該機能が損なわれない設計とする。
- b. 溢水源となる系統を、溢水防護区画外の元弁で閉止することにより、溢水防護区画内において蒸気放出による影響がない設計とする。
- c. 想定破損による溢水に対しては、破損を想定する配管について、補強工事等の実施により発生応力を低減し、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響がない設計とする。
- d. 地震起因による溢水に対しては、破損を想定する機器について耐震補強工事を実施することにより基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保する設計とし、溢水源から除外することにより蒸気放出による影響がない設計とする。

(2) 溢水防護対象設備に対する対策

- a. 蒸気放出の影響に対して耐性を有しない溢水防護対象設備については、蒸気曝露試験又は机上評価によって蒸気放出の影響に対して耐性を有することが確認された機器への取替を行う。
- b. 溢水防護対象設備に対し、実機での蒸気条件を考慮しても安全機能を損なわないことを蒸気曝露試験等により確認した保護カバーやパッキン等による蒸気防護措置を行う。

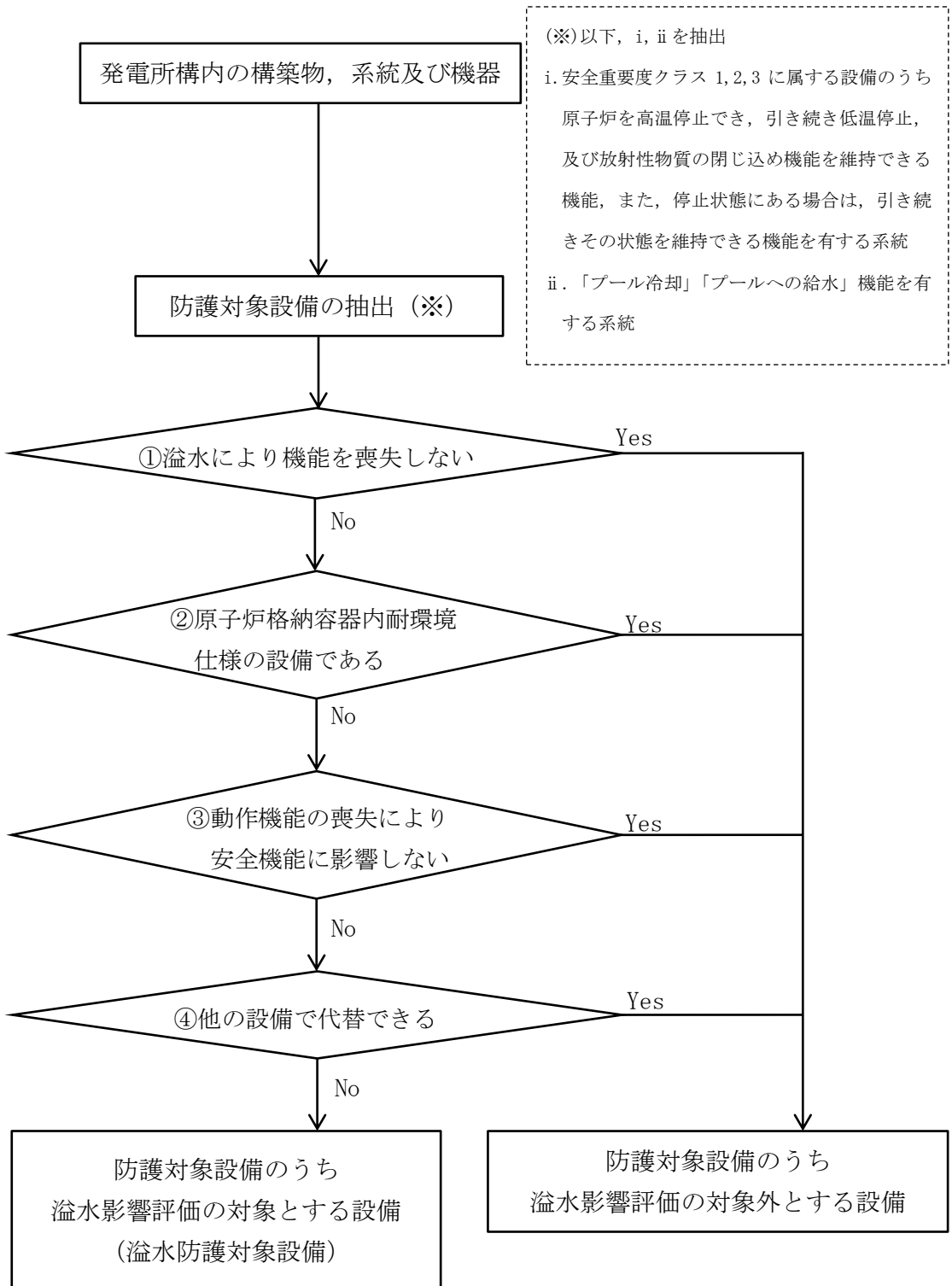


図 2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価の対象とする設備の選定フロー

表 2-1 溢水影響評価の対象外とする理由

各ステップの項目	理由
①溢水により機能を喪失しない	静的機器（容器，熱交換器，フィルター，逆止弁等）は，溢水により機能喪失しない。
②原子炉格納容器内耐環境仕様の機器である	原子炉格納容器内の機器のうち，温度・圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様の機器は，溢水により機能喪失はしない。
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	フェイル・セーフ設計となっている機器は，動作機能が喪失しても安全機能に影響しない。（通常待機時から機能遂行時にかけて動作要求がない機器等（例 常時閉の格納容器隔離弁）も含む）
④他の設備で代替できる	他の機器により要求機能が代替できる機器は機能喪失しても安全機能に影響しない。（代替する他の機器が同時に機能喪失しない場合に限る（例 耐環境仕様の格納容器内側隔離弁に対する格納容器外側隔離弁は，機能喪失しても安全機能に影響しない））

表 2-2 重要度の特に高い安全機能を有する系統(1/3)

機能	対象系統・機器
原子炉の緊急停止機能	制御棒及び制御棒駆動系
未臨界維持機能	制御棒及び制御棒駆動系 ほう酸水注入系
原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁（安全弁としての開機能）
原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能	残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード） 低圧注水モード， suppression・プール水冷却モード） 逃がし安全弁（手動逃がし機能） 自動減圧系（手動逃がし機能） 低圧炉心スプレイ系 原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系
原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能	逃がし安全弁（手動逃がし機能） 自動減圧系（手動逃がし機能）
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 自動減圧系により原子炉を減圧し， 低圧炉心スプレイ系， 残留熱除去系（低圧注水モード）により原子炉への注水を行う
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能	高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系（低圧注水モード） 低圧炉心スプレイ系
事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能	自動減圧系
格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	非常用ガス処理系
格納容器の冷却機能	残留熱除去系（格納容器冷却モード）
格納容器内の可燃性ガス制御機能	可燃性ガス濃度制御系
非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用電源系（交流）

表 2-2 重要度の特に高い安全機能を有する系統(2/3)

機能	対象系統・機器
非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能	非常用電源系（直流）
非常用の交流電源機能	ディーゼル発電設備（高圧炉心スプレイ系を含む）
非常用の直流電源機能	直流電源設備
非常用の計測制御用直流電源機能	計測制御用電源設備
補機冷却機能	原子炉補機冷却系 高圧炉心スプレイ補機冷却系
冷却用海水供給機能	原子炉補機海水系 高圧炉心スプレイ補機海水系
原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室換気系
圧縮空気供給機能	逃がし安全弁のアクキュムレータ 自動減圧機能のアクキュムレータ 主蒸気隔離弁のアクキュムレータ
原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉冷却材圧力バウンダリ隔離弁
原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	原子炉格納容器バウンダリ隔離弁
原子炉停止系に対する作動信号（常用系として作動させるものを除く）の発生機能	原子炉保護系
工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能	工学的安全施設作動系
事故時の原子炉の停止状態の把握機能	中性子束（起動領域モニタ） 原子炉スクラム用電磁接触器の状態 制御棒位置
事故時の炉心冷却状態の把握機能	原子炉水位（広帯域，燃料域） 原子炉圧力
事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能	原子炉格納容器圧力 サプレッション・プール水温 格納容器エリア放射線量率

表 2-2 重要度の特に高い安全機能を有する系統(3/3)

機能	対象系統・機器
事故時のプラント操作のための情報の把握機能	[低温停止への移行] 原子炉圧力 原子炉水位（広帯域） [ドライウェルスプレイ] 原子炉水位（広帯域，燃料域） 格納容器圧力 [サプレッション・プール冷却] 原子炉水位（広帯域，燃料域） サプレッション・プール水温 [可燃性ガス濃度制御系起動] 原子炉格納容器水素濃度 原子炉格納容器酸素濃度 [異常状態の把握機能] 排気筒モニタ

表 2-3 「プール冷却」及び「プールへの給水」機能を有する系統

機能	対象系統・機器
燃料プールの冷却機能	燃料プール冷却系 残留熱除去系 燃料プール監視
燃料プールの給水機能	燃料プール補給水系 残留熱除去系 燃料プール監視

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (1/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉		
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能
PS-1	その損傷又は故障により発生する事象によって, (a) 炉心の著しい損傷, 又は (b) 燃料の大量の破損を引き起こすおそれのある構築物, 系統及び機器	1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ機能	原子炉冷却材圧力バウンダリを構成する機器・配管系(計装等の小口径配管・機器は除く。)	原子炉圧力容器	(対象外:バウンダリ機能としては溢水による影響を受けない。)
				原子炉再循環系ポンプ	
				配管・弁	
				隔離弁	
		2) 過剰反応度の印加防止機能	制御棒カップリング	制御棒カップリング	(対象外:バウンダリ機能としては溢水による影響を受けない。)
				制御棒駆動機構カップリング	
		3) 炉心形状の維持機能	炉心支持構造物(炉心シュラウド, シュラウドサポート, 上部格子板, 炉心支持板, 制御棒案内管), 燃料集合体(ただし, 燃料を除く。)	炉心シュラウド	(対象外:静的機器のため溢水による影響を受けない)
				シュラウドサポート	
				上部格子板	
				炉心支持板	
燃料支持金具					
制御棒案内管					
制御棒駆動機構ハウジング					
燃料集合体(上部タイププレート, 下部タイププレート, スペーサ, チャンネルボックス)					
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し, 残留熱を除去し, 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し, 敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物, 系統及び機器	1) 原子炉の緊急停止機能	原子炉停止系の制御棒による系(制御棒及び制御棒駆動系(スクラム機能))	制御棒	・原子炉の緊急停止機能
				制御棒案内管	
				制御棒駆動機構	
				水圧制御ユニット(スクラムパイロット弁, スクラム弁, アクキュムレータ, 窒素容器, 配管・弁)	
				制御棒	
	2) 未臨界維持機能	原子炉停止系(制御棒による系, ほう酸水注入系)	制御棒	・未臨界維持機能	
			制御棒カップリング		
			制御棒駆動機構カップリング		
			制御棒駆動機構ハウジング		
			制御棒駆動機構		
ほう酸水注入系(ほう酸水注入ポンプ, 注入弁, タンク出口弁, ほう酸水貯蔵タンク, ポンプ吸込配管・弁, 注入配管・弁)					

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (2/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉			
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し, 残留熱を除去し, 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し, 敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物, 系統及び機器	3) 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	逃がし安全弁 (安全弁としての開機能)	逃がし安全弁 (安全弁開機能)	・原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧防止機能	
		4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード), 原子炉隔離時冷却系, 高圧炉心スプレイ系, 逃がし安全弁 (手動逃がし機能), 自動減圧系 (手動逃がし機能))	残留熱除去系 (ポンプ, 熱交換器, 原子炉停止時冷却モードのルートとなる配管・弁, 熱交換器バイパス配管・弁)	残留熱除去系 (サブプレッジョン・プール水冷却モード)	・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能
				原子炉隔離時冷却系 (ポンプ, サプレッジョン・プール, タービン, サプレッジョン・プールから注水先までの配管・弁, ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッジョン・プールストレナ)	タービンへの蒸気供給配管・弁	・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能
				潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管		
				高圧炉心スプレイ系 (ポンプ, サプレッジョン・プール, サプレッジョン・プールからスプレイ先までの配管・弁, スプレイスパー ज्या, ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッジョン・プールストレナ)		・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能 ・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の注水機能
				逃がし安全弁 (手動逃がし機能)		・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能
				原子炉圧力容器から逃がし安全弁までの主蒸気配管		・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能
				逃がし安全弁アキュムレータ, 逃がし安全弁アキュムレータから逃がし安全弁までの配管・弁		・圧縮空気供給機能
				自動減圧系弁 (手動逃がし機能)		・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能
				原子炉圧力容器から逃がし安全弁までの主蒸気配管		・原子炉停止後における除熱のための原子炉が隔離された場合の圧力逃がし機能
逃がし安全弁						

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (3/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉		
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	重要度が特に高い安全機能	
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し, 残留熱を除去し, 原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し, 敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物, 系統及び機器	4) 原子炉停止後の除熱機能	残留熱を除去する系統 (残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード), 原子炉隔離時冷却系, 高圧炉心スプレイ系, 逃がし安全弁 (手動逃がし機能), 自動減圧系 (手動逃がし機能))	自動減圧系アキュムレータ, 自動減圧系アキュムレータから逃がし安全弁までの配管・弁	・圧縮空気供給機能
		5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイ系, 低圧注水系, 高圧炉心スプレイ系, 自動減圧系)	残留熱除去系 (低圧注水モード) (ポンプ, サプレッション・プール, サプレッション・プールから注水先までの配管・弁 (熱交換器バイパスライン含む), ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッション・プールストレナ)	・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能
				高圧炉心スプレイ系 (ポンプ, サプレッション・プール, サプレッション・プールからスプレイ先までの配管・弁, スプレイスパー ज्या, ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッション・プールストレナ)	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能
				低圧炉心スプレイ系 (ポンプ, サプレッション・プール, サプレッション・プールからスプレイ先までの配管・弁, スプレイスパー ज्या, ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッション・プールストレナ)	・原子炉停止後における除熱のための崩壊熱除去機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能 ・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内低圧時における注水機能
				自動減圧系 (逃がし安全弁)	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における注水機能
				原子炉圧力容器から逃がし安全弁までの主蒸気配管	・事故時の原子炉の状態に応じた炉心冷却のための原子炉内高圧時における減圧系を作動させる機能
				自動減圧系アキュムレータ, 自動減圧系アキュムレータから逃がし安全弁までの配管・弁	・圧縮空気供給機能

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (4/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉				
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能		
MS-1	1) 異常状態発生時に原子炉を緊急に停止し、残留熱を除去し、原子炉冷却材圧力バウンダリの過圧を防止し、敷地周辺公衆への過度の放射線の影響を防止する構築物、系統及び機器	5) 炉心冷却機能	非常用炉心冷却系 (低圧炉心スプレイ系, 低圧注水系, 高圧炉心スプレイ系, 自動減圧系)	ジェットポンプ (事故時の炉心再冠水維持機能)	(対象外: 静的機器のため溢水による影響を受けない)		
		6) 放射性物質の閉じ込め機能, 放射線の遮へい及び放出低減機能	原子炉格納容器, 原子炉格納容器隔離弁, 原子炉格納容器スプレイ冷却系, 原子炉建屋, 非常用ガス処理系, 非常用再循環ガス処理系, 可燃性ガス濃度制御系		原子炉格納容器 (格納容器本体, 貫通部 (ペネトレーション), 所員用エアロック, 機器搬入ハッチ)	(対象外: 静的機器, 動的機器であるが溢水による影響を受けない駆動源のため溢水による影響を受けない)	
					原子炉格納容器		ベント管
							スプレイ管
							真空破壊弁
					逃がし安全弁排気管のクエンチャ		
					原子炉建物 (原子炉建物原子炉棟)		
					原子炉格納容器隔離弁及び格納容器バウンダリ配管	・原子炉格納容器バウンダリを構成する配管の隔離機能	
					原子炉棟換気系隔離弁	(対象外: フェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)	
					主蒸気隔離弁アキュムレータ, 主蒸気隔離弁アキュムレータから主蒸気隔離弁までの配管・弁	・圧縮空気供給機能	
					主蒸気流量制限器	(対象外: 静的機器のため溢水による影響を受けない)	
					残留熱除去系 (格納容器冷却モード) (ポンプ, 熱交換器, サプレッション・プール, サプレッション・プールからスプレイ先 (ドライウエル及びサプレッション・プール気相部) までの配管・弁, 格納容器スプレイ・ヘッダ (ドライウエル及びサプレッション・プール), ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッション・プールストレーナ)	・格納容器の冷却機能	
					非常用ガス処理系 (排気ファン, フィルタ装置, 原子炉建物原子炉棟吸込口から排気筒頂部までの配管・弁, 乾燥装置 (乾燥機能部分))	・格納容器内又は放射性物質が格納容器内から漏れ出た場所の雰囲気中の放射性物質の濃度低減機能	
排気筒 (非常用ガス処理系排気管の支持機能)							
可燃性ガス濃度制御系 (再結合装置, 格納容器から再結合装置までの配管・弁, 再結合装置から格納容器までの配管・弁)	・格納容器内の可燃性ガス制御機能						
残留熱除去系 (再結合装置への冷却水供給を司る部分)							
遮蔽設備 (原子炉遮蔽, 一次遮蔽, 二次遮蔽)	(対象外: 静的機器のため溢水の影響を受けない)						

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (5/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉				
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能		
MS-1	2) 安全上必要なその他の構築物, 系統及び機器	1) 工学的安全施設及び原子炉停止系への作動信号の発生機能	安全保護系	原子炉保護系	・原子炉停止系に対する作動信号(常用系として作動させるものを除く)の発生機能		
				工学的安全施設作動系	・工学的安全施設に分類される機器若しくは系統に対する作動信号の発生機能		
		2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系, 制御室及びその遮へい・非常用換気空調系, 非常用補機冷却水系, 直流電源系(いずれも, MS-1 関連のもの)	非常用所内電源系, 制御室及びその遮へい・非常用換気空調系, 非常用補機冷却水系, 直流電源系(いずれも, MS-1 関連のもの)	非常用所内電源系(ディーゼル機関, 発電機, ディーゼル発電機から非常用負荷までの配電設備及び電路)	・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能 ・非常用の交流電源機能	
					非常用ディーゼル室送風機		
					燃料移送系(ディーゼル燃料貯蔵タンクからディーゼル機関まで)		
					始動用空気系(始動用空気だめ(自動供給)からディーゼル機関まで)		
					吸気系		
					冷却水系		
					高圧炉心スプレー電源系(ディーゼル機関, 発電機, ディーゼル発電機から非常用負荷までの配電設備及び電路)		・非常用交流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能 ・非常用の交流電源機能
					高圧炉心スプレー系ディーゼル室送風機		
					燃料移送系(ディーゼル燃料貯蔵タンクからディーゼル機関まで)		
					始動用空気系(始動用空気だめ(自動供給)からディーゼル機関まで)		
					吸気系		
冷却水系							
中央制御室及び中央制御室遮蔽	(対象外: 中央制御室は溢水による影響を受けない。中央制御室遮蔽は静的機器のため溢水による影響を受けない)						
中央制御室換気系「放射線防護機能及び有毒ガス防護機能」(ブースタ・ファン, 非常用チャコール・フィルタ・ユニット, 空調ユニット, 再循環用ファン, 排気ファン, ダクト及びダンパ)	・原子炉制御室非常用換気空調機能						
原子炉補機冷却系(ポンプ, 熱交換器, 非常用負荷冷却ライン配管・弁(MS-1 関連), サージタンク)	・補機冷却機能						
高圧炉心スプレー補機冷却系(ポンプ, 熱交換器, 非常用負荷冷却ライン配管・弁(MS-1 関連), サージタンク)	・補機冷却機能						
原子炉補機海水系(ポンプ, 配管・弁(MS-1 関連), ストレーナ(異物除去機能を司る部分))	・冷却用海水供給機能						

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (6/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉			
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能	
MS-1	2) 安全上必須なその他の構築物, 系統及び機器	2) 安全上特に重要な関連機能	非常用所内電源系, 制御室及びその遮へい・非常用換気空調系, 非常用補機冷却水系, 直流電源系 (いずれも, MS-1 関連のもの)	高圧炉心スプレイ補機海水系 (ポンプ, 配管・弁 (MS-1 関連), ストレーナ (異物除去機能を司る部分))	・冷却用海水供給機能	
				取水路 (屋外トレンチ含む)	・冷却用海水供給機能	
				直流電源系 (蓄電池, 蓄電池から非常用負荷までの配電設備及び電路 (MS-1 関連))	・非常用直流電源から非常用の負荷に対し電力を供給する機能 ・非常用の直流電源機能	
				計測制御電源系 (蓄電池から非常用計測制御装置までの配電設備及び電路 (MS-1 関連))	・非常用の計測制御用直流電源機能	
PS-2	1) その損傷又は故障により発生する事象によって, 炉心の著しい損傷又は燃料の大量の破損を直ちに引き起こすおそれはないが, 敷地外への過度の放射性物質の放出のおそれのある構築物, 系統及び機器	1) 原子炉冷却材を内蔵する機能 (ただし, 原子炉冷却材圧力バウンダリから除外されている計装等の小口径のもの及びバウンダリに直接接続されていないものは除く。)	主蒸気系, 原子炉冷却材浄化系 (いずれも, 格納容器隔離弁の外側のみ)	原子炉浄化系 (原子炉冷却材圧力バウンダリから外れる部分) 主蒸気系 (格納容器隔離弁の外側) 原子炉隔離時冷却系タービン蒸気供給ライン (原子炉冷却材圧力バウンダリから外れる部分であって外側隔離弁下流からタービン止め弁まで)	(対象外: 原子炉冷却材を内蔵する機能としては溢水による影響を受けない)	
			放射線廃棄物処理施設 (放射能インベントリの大きいもの), 使用済燃料プール (使用済燃料貯蔵ラックを含む。)	排ガス処理系 (活性炭式希ガスホールドアップ装置)	(対象外: 放射性物質を貯蔵する機能としては溢水による影響を受けない)	
				燃料プール (使用済燃料貯蔵ラックを含む)		(対象外: 放射性物質を貯蔵する機能としては溢水による影響を受けない)
				新燃料貯蔵庫「臨界を防止する機能」 (新燃料貯蔵ラック)		
	3) 燃料を安全に取り扱う機能	燃料取扱設備	燃料取扱機	(対象外: 落下を防止する設計となっており, 溢水による影響を考慮しても放射性物質の放出のおそれはない)		
			原子炉ウエル			
			原子炉建物天井クレーン			
2) 通常運転時及び運転時の異常な過渡変化時に作動を要求されるものであって, その故障により, 炉心冷却が損なわれる可能性の高い構築物, 系統及び機器	1) 安全弁及び逃がし弁の吹き止まり機能	逃がし安全弁 (吹き止まり機能に関連する部分)	逃がし安全弁 (吹き止まり機能に関連する部分)	(対象外: 安全弁機能は外部からの電源供給や電気信号を必要とせず, 溢水による影響を受けない。逃がし弁機能は駆動源の喪失により閉止するフェイル・セーフ設計のため溢水による影響を受けない)		
MS-2	1) PS-2 の構築物, 系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を十分小さくするようにする構築物, 系統及び機器	1) 燃料プール水の補給機能	非常用補給水系	残留熱除去系 (ポンプ, サプレッション・プール, サプレッション・プールから燃料プールまでの配管・弁, ポンプミニマムフローライン配管・弁, サプレッション・プールストレーナ)	(溢水防護対象設備として抽出。)	
		2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁, 排気筒 (非常用ガス処理系排気管の支持機能以外)	排ガス処理系隔離弁	(対象外: 放射性気体廃棄物処置系隔離弁は主蒸気隔離弁での代替が可能)	

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (7/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉			
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能	
MS-2	1) PS-2の構築物, 系統及び機器の損傷又は故障により敷地周辺公衆に与える放射線の影響を小さくするようにする構築物, 系統及び機器	2) 放射性物質放出の防止機能	放射性気体廃棄物処理系の隔離弁, 排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能以外)	排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能以外の部分)	(対象外: 静的機器のため, 溢水による影響を受けない。)	
				燃料プール冷却系の燃料プール入口逆止弁		
				原子炉建物(原子炉建物原子炉棟)		
				非常用ガス処理系(排気ファン, フィルタ装置, 原子炉建物原子炉棟吸込口から排気筒頂部までの配管・弁, 乾燥装置(乾燥機能部分))		
				排気筒(非常用ガス処理系排気管の支持機能)	(再掲: MS-1で抽出済み)	
2) 異常状態への対応上特に重要な構築物, 系統及び機器	1) 事故時のプラント状態の把握機能	事故時監視計器の一部	中性子束, 原子炉スクラム用電磁接触器の状態又は制御棒位置	・事故時の原子炉の停止状態の把握機能		
			原子炉水位(広帯域, 燃料域), 原子炉圧力	・事故時の炉心冷却状態の把握機能		
			原子炉格納容器圧力, 格納容器エリア放射線量率, サプレッション・プール水温	・事故時の放射能閉じ込め状態の把握機能		
			「低温停止への移行」 原子炉圧力, 原子炉水位(広帯域)	・事故時のプラント操作のための情報の把握機能		
			「ドライウェルスプレイ」 原子炉水位(広帯域, 燃料域), 格納容器圧力 「サプレッション・プール冷却」 原子炉水位(広帯域, 燃料域), サプレッション・プール水温 「可燃性ガス濃度制御系起動」 原子炉格納容器水素濃度, 原子炉格納容器酸素濃度			
2) 異常状態の緩和機能	BWRは対象外	—	—			
3) 制御室外からの安全停止機能	制御室外原子炉停止装置(安全停止に関連するもの)	中央制御室外原子炉停止系	(溢水防護対象設備として抽出。)			
PS-3	1) 異常状態の起回事象となるものであって, PS-1及びPS-2以外の構築物, 系統及び機器	1) 原子炉冷却材保持機能(PS-1, PS-2以外のもの)	計装配管, 試料採取管	原子炉冷却材圧力バウンダリから除外される小口径配管・弁	(対象外: 原子炉冷却材の保持機能としては溢水による影響を受けない)	
				計装配管・弁		
				試料採取系配管・弁		
				ドレン配管・弁		
			2) 原子炉冷却材の循環機能	原子炉冷却材再循環系	原子炉再循環系ポンプ	(対象外: 当該機能が喪失した場合においても, 安全解析上問題のないことを確認している(詳細は補足説明資料3参照))
					配管・弁	
3) 放射性物質の貯蔵機能	サブプレッション・プール水排水系, 復水貯蔵タンク, 放射性廃棄物処理施設(放射能インベントリの小さいもの)	ライザ管(炉内)	(対象外: 静的機器であり溢水による影響を受けない)			
		ジェットポンプ				
		復水貯蔵タンク				
		液体廃棄物処理系(タンク)	(対象外: 貯蔵機能としては溢水による影響を受けない)			
		固体廃棄物処理系(タンク, 固体廃棄物貯蔵所(ドラム缶))				

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (8/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉			
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能	
PS-3	1) 異常状態の起回事象となるものであって, PS-1 及び PS-2 以外の構築物, 系統及び機器	4) 電源供給機能 (非常用を除く。)	タービン, 発電機及びその励磁装置, 復水系 (復水器を含む。), 給水系, 循環水系, 送電線, 変圧器, 開閉所	発電機及びその励磁装置 軸密封装置 発電機水素ガス冷却装置 固定子冷却装置 励磁電源系 蒸気タービン (主タービン, 主要弁, 配管) 主蒸気系 (主蒸気/駆動源) タービン制御系 タービングランド蒸気系, タービン潤滑油系 (配管・弁等) 抽気系 (配管・弁等) タービンヒータベント系 (配管・弁) タービンヒータドレン系 (配管・弁等) 補助蒸気系 復水系 (復水器, 復水ポンプ, 配管・弁) 抽出空気系 (配管・弁) 給水系 (電源駆動給水ポンプ, タービン駆動給水ポンプ, 給水加熱器, 配管・弁) 循環水系 (循環水ポンプ, 配管・弁) 取水設備 (屋外トレンチ含む) 常用所内電源系 (発電機又は外部電源から所内負荷までの配電設備及び電路 (MS-1 関連以外)) 直流電源系 (蓄電池, 蓄電池から常用負荷までの配電設備及び電路 (MS-1 関連以外)), 充電器 計装制御電源系 (電源装置から常用計測制御装置までの配電設備及び電路 (MS-1 関連以外)) 送電線 変圧器 (所内変圧器, 起動変圧器, 予備変圧器, 電路) 変圧器 油劣化防止装置 冷却装置 開閉所 (母線, 遮断器, 断路器, 電路)		(対象外: 当該機能が機能喪失した場合においても, 安全解析上問題のないことを確認している (詳細は補足説明資料 3))
		5) プラント計測・制御機能 (安全保護機能を除く。)	原子炉制御系 (制御棒価値ミニマイザを含む。), 原子炉核計装, 原子炉プラントプロセス計装	原子炉制御系 (制御棒価値ミニマイザを含む) 原子炉核計装の一部 原子炉プラントプロセス計装の一部		

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性 (9/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉		
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能
PS-3	1) 異常状態の起因事象となるものであって, PS-1 及び PS-2 以外の構築物, 系統及び機器	6) プラント運転補助機能	所内ボイラ, 計装用圧縮空気系	所内ボイラ設備 (所内ボイラ, 給水タンク, 給水ポンプ, 配管・弁)	(対象外: 当該機能が機能喪失した場合においても, 安全解析上問題のないことを確認している (詳細は補足説明資料 3))
				油系統 (重油サービスタンク, 重油ポンプ, 配管・弁)	
所内蒸気系 (配管・弁)					
計装用空気系 (空気圧縮機, 配管・弁, 中間冷却器, 後部冷却器, 気水分離器, 空気貯槽)					
原子炉補機冷却系 (MS-1 関連以外) (配管・弁)					
タービン補機冷却系 (ポンプ, 熱交換器, 配管・弁, サージタンク)					
タービン補機海水系 (ポンプ, 配管・弁, ストレーナ)					
復水輸送系 (ポンプ, 配管・弁)	(対象外: 静的機器であり溢水による影響を受けない)				
復水貯蔵タンク					
	2) 原子炉冷却材中放射性物質濃度を通常運転に支障のない程度に低く抑える構築物, 系統及び機器	1) 核分裂生成物の原子炉冷却材中への放散防止機能	燃料被覆管	燃料被覆管, 上/下部端栓, タイロッド	(対象外: 静的機器であり溢水による影響を受けない)
		2) 原子炉冷却材の浄化機能	原子炉冷却材浄化系, 復水浄化系	原子炉浄化系 (再生熱交換器, 非再生熱交換器, ポンプ, ろ過脱塩装置, 配管・弁) 復水浄化系 (復水ろ過装置, 復水脱塩装置, 配管・弁)	(対象外: 当該機能が機能喪失した場合においても, プラントを停止することで対応が可能である。なお, プラントを停止するための機能は, 溢水防護対象設備として抽出している。)
MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても, MS-1, MS-2 とあいまって, 事象を緩和する構築物, 系統及び機器	1) 原子炉圧力の上昇の緩和機能	逃がし安全弁 (逃がし弁機能), タービンバイパス弁	逃がし安全弁 (逃がし弁機能)	(再掲: MS-1 にて抽出済み)
				原子炉圧力容器から逃がし安全弁までの主蒸気配管	
				逃がし安全弁アキュムレータ, 逃がし安全弁アキュムレータから逃がし安全弁までの配管・弁	
タービンバイパス弁					
	2) 出力上昇の抑制機能		原子炉冷却材再循環系 (再循環ポンプトリップ機能), 制御棒引抜監視装置	原子炉圧力容器からタービンバイパス弁までの主蒸気配管	(対象外: 当該機能が機能喪失した場合においても, 安全解析上問題のないことを確認している (詳細は補足説明資料 3))
				タービンバイパス弁アキュムレータ, タービンバイパス弁アキュムレータからタービンバイパス弁までの配管・弁	
原子炉再循環系 (再循環ポンプトリップ機能)	制御棒引抜監視装置				
3) 原子炉冷却材の補給機能		制御棒駆動水圧系, 原子炉隔離時冷却系	制御棒駆動水圧系 (ポンプ, 復水貯蔵タンクから制御棒駆動機構までの配管・弁, ポンプサクシオンフィルタ, ポンプミニマムフローライン配管・弁)	(対象外: 非常用炉心冷却系による代替が可能。)	

表 2-4 安全施設と重要度の特に高い安全機能を有する系統との関連性(10/10)

重要度分類指針			島根原子力発電所 2号炉		
分類	定義	機能	構築物, 系統又は機器	系統又は機器	重要度が特に高い安全機能
MS-3	1) 運転時の異常な過渡変化があっても、MS-1、MS-2とあいまって、事象を緩和する構築物、系統及び機器	3) 原子炉冷却材の補給機能	制御棒駆動水圧系、原子炉隔離時冷却系	復水貯蔵タンク	(対象外：静的機器であり溢水による影響を受けない) (再掲：MS-1で抽出済み)
				原子炉隔離時冷却系（ポンプ、タービン、サブプレッション・プール、サブプレッション・プールから注水先までの配管・弁、ポンプミニマムフローライン配管・弁）	
タービンへの蒸気供給配管・弁					
潤滑油冷却器及びその冷却器までの冷却水供給配管					
2) 異常状態への対応上必要な構築物、系統及び機器	1) 緊急時対策上重要なもの及び異常状態の把握機能	原子力発電所緊急時対策所、試料採取系、通信連絡設備、放射線監視設備、事故時監視計器の一部、消火系、安全避難通路、非常用照明	緊急時対策所（緊急時対策所、情報収集設備、通信連絡設備、資料及び器材、遮蔽設備）	(対象外：当該機能が喪失した場合においても、島根2号炉には影響がなく、修復性を確保することで安全上支障のない期間での復旧が可能であることから、問題なし。)	
			試料採取系（異常時に必要な以下の機能を有するもの。原子炉冷却材放射性物質濃度サンプリング分析、格納容器雰囲気放射線物質濃度サンプリング分析）	(対象外：原子炉冷却材放射性物質濃度については、原子炉冷却材浄化機能により代替可能。原子炉格納容器雰囲気放射線物質濃度については、事故時のプラント状態の把握機能により代替可能。)	
			通信連絡設備（1つの専用回路を含む複数の回路を有する通信連絡設備）	(対象外：事故時のプラント状態の把握機能より代替可能。)	
			排気筒モニタ	・事故時のプラント操作のための情報の把握機能	
			放射線監視設備（排気筒モニタ以外）	(対象外：事故時のプラント状態の把握機能により代替可能)	
			事故時監視計器の一部		
			消火系	水消火設備（補助消火水槽、サイトバンカ建物消火タンク、44m盤消火タンク、45m盤消火タンク、50m盤消火タンク、ポンプ、配管・弁等） 泡消火設備 固定式ガス消火設備	(対象外：他の消火設備等により代替可能。)
			火災検出装置（受信機含む）	防火扉、防火ダンパ、耐火壁、隔壁（消火設備の機能を維持・担保するために必要なもの）	(対象外：防火扉等は静的機器であり溢水による影響を受けない。火災検出装置は溢水による影響を受けた場合にも復旧による対応が可能である。)
			安全避難通路		
			安全避難用扉	(対象外：静的機器であり溢水による影響を受けない。)	

3. 溢水源の選定

3.1 想定破損による溢水

評価ガイドに従い、溢水防護対象設備を内包する原子炉建物、廃棄物処理建物、制御室建物、海水ポンプエリア、排気筒エリア及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽内に敷設されている系統（水、蒸気）、並びに上記の建物又はエリア以外に敷設されている循環水系統を溢水源として選定する（図 3-1, 表 3-1, 2）。また各溢水源について、高エネルギー^{※1}／低エネルギー^{※2}に分類する。

- ※1 「高エネルギー配管」は、呼び径 25A (1B) を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が 95℃を超えるか又は運転圧力が 1.9MPa [gauge] を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。
- ※2 「低エネルギー配管」は、呼び径 25A (1B) を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が 95℃以下で、かつ運転圧力が 1.9MPa [gauge] 以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。

ただし、高エネルギー配管として運転している割合が当該系統の運転している時間の 2% 又はプラント運転期間の 1% より小さければ、低エネルギー配管として扱う。

なお、タービン建物内の溢水源については、溢水防護対象設備が設置されている建物への伝播経路に対し止水措置を施すことで、溢水防護対象設備への影響を及ぼさない設計とする。

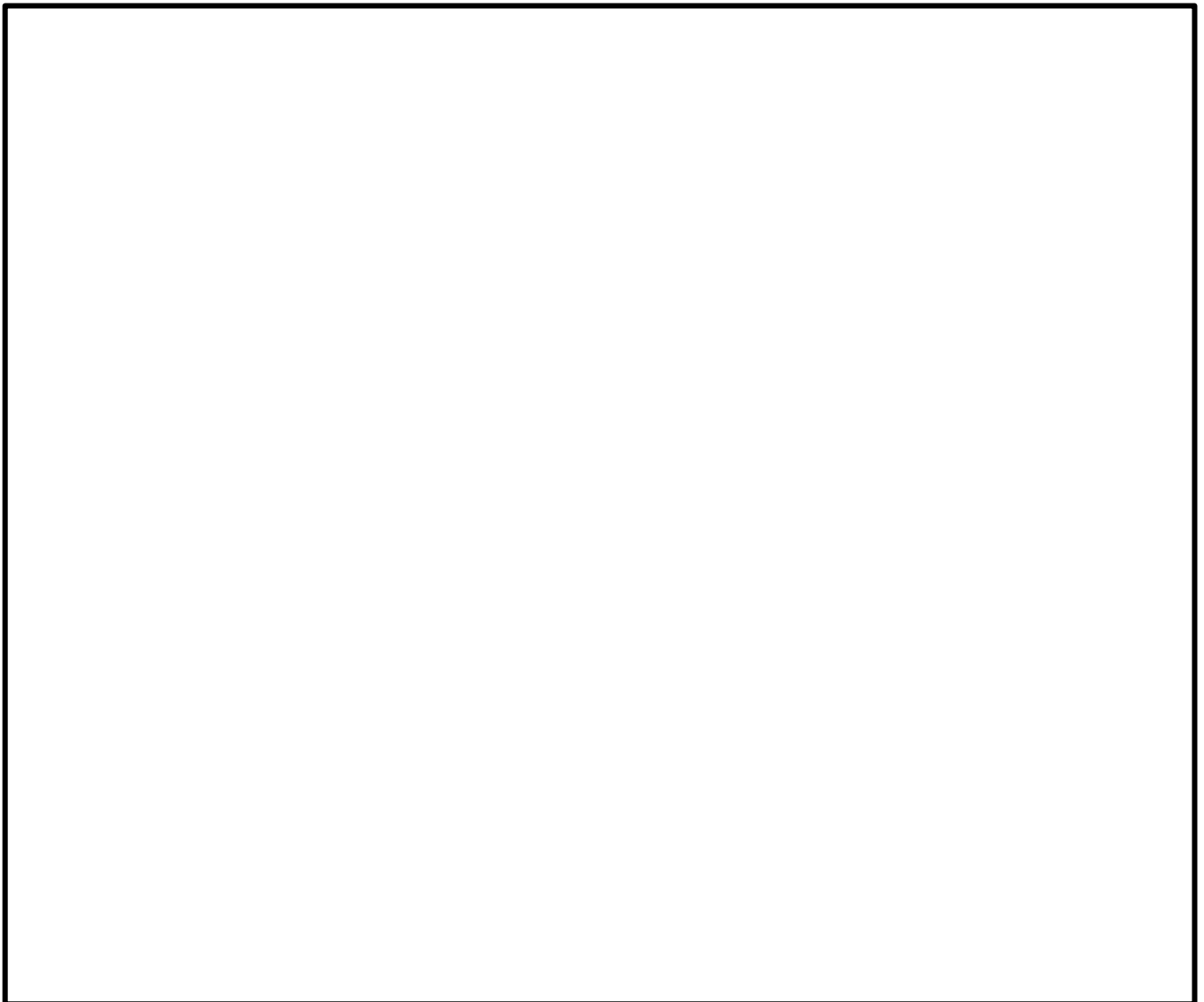


図 3-1 島根 2 号炉全体像

表 3-1 高エネルギー配管を有する系統

系統名	最高使用温度 95℃超	最高使用圧力 1.9MPa 超
主蒸気系	○	○
給水系	○	○
制御棒駆動系	—	○
原子炉浄化系	○	○
原子炉隔離時冷却系	○	○

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 3-2 低エネルギー配管を有する系統

系統名	系統温度[°C]	系統圧力[MPa]
原子炉補機冷却系		
原子炉補機海水系		
燃料プール冷却系		
高压炉心スプレイ補機冷却系		
高压炉心スプレイ補機海水系		
原子炉隔離時冷却系（駆動蒸気系除く）※ ¹		
残留熱除去系※ ¹		
低压炉心スプレイ系※ ¹		
高压炉心スプレイ系※ ¹		
ほう酸水注入系※ ¹		
液体廃棄物処理系		
中央制御室空調換気系		
ドライウエル冷却系		
空調換気設備冷却水系		
復水輸送系		
補給水系		
消火系		
非常用ディーゼル発電機系 （一次水 / 潤滑油 / 燃料）		
燃料プール補給水系		
所内上水系		

※ 1 高エネルギー配管として運転している時間の割合が当該系統の運転している時間の2%又はプラント運転期間の1%より小さいため低エネルギー配管として扱うもの。

※ 2 建物内の最高温度。

※ 3 待機中における封水系（残留熱除去系）の圧力。

※ 4 待機中における封水系（復水輸送系）の圧力。

※ 5 待機中における封水系（補給水系）の圧力。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

3.2 消火水の放水による溢水

溢水防護対象設備を内包する原子炉建物，廃棄物処理建物，制御室建物，海水ポンプエリア，排気筒エリア及び B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽については，火災発生時に消火栓による消火活動を行う区画における放水を想定する。ただし，ガス消火設備や消火器等を用いて消火活動を行うことを前提としている区画については，当該区画における放水を想定しない。

消火栓以外の設備としては，スプリンクラや残留熱除去系（格納容器冷却モード）があるが，溢水防護対象設備が設置されている区画には，スプリンクラは設置しない設計とし，溢水防護対象設備が設置されている区画外のスプリンクラに対しては，その作動による溢水の流入により，溢水防護対象設備が安全機能を損なわない設計とすることから溢水源として想定しない。

また，残留熱除去系（格納容器冷却モード）は，単一故障による誤作動が発生しないように設計上考慮されていることから（ドライウェル圧力高信号等の誤作動や運転員の人的過誤がそれぞれ単独で発生しても，残留熱除去系（格納容器冷却モード）は誤作動しない。），溢水源として想定しない（図 3-2 参照）。

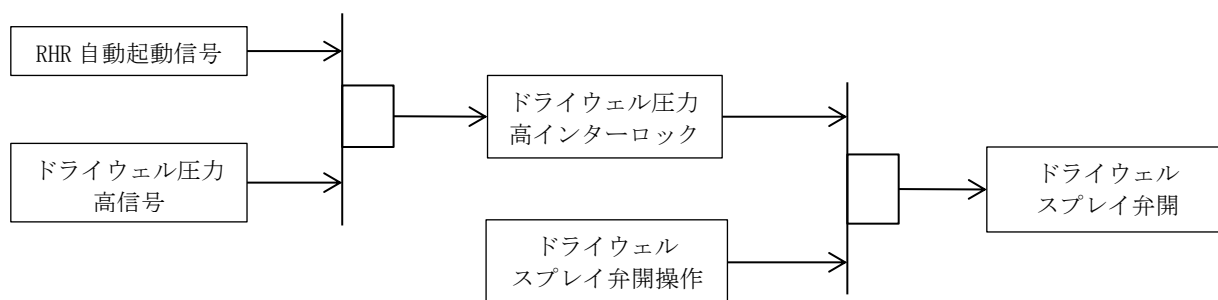


図 3-2 ドライウェルスプレイ弁開インターロック

3.3 地震起因による溢水

流体（水及び蒸気）を内包する機器（容器及び配管）のうち，耐震 B, C クラスに分類される機器を溢水源として選定する。ただし，耐震 B, C クラスであっても基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性が確保されるものについては，溢水源としないこととする。また，地震による燃料プール等のスロッシングについても溢水源として想定する（添付資料 3 参照）。

3.4 その他の溢水

その他の溢水については，地下水の流入，屋外タンクの竜巻による飛来物の衝突による破損に伴う漏えい等の地震以外の自然現象に伴う溢水，機器の誤作動や弁グランド部，配管フランジ部からの漏えい事象等を想定する。

その他の漏えいとして想定する溢水事象のうち、機器の誤作動等からの漏えい事象については、区画毎に漏えいを想定する系統の配管口径と圧力、保有水量等によって設定した最大の漏えい量である想定破損の溢水量を上回ることはない。

また、少量漏えいの想定については、防護対象設備に影響のある全区画について評価を行い、排水や漏えい検知が可能なことを確認している。詳細は、補足説明資料 23 参照。

なお、人的過誤に起因する漏えい事象については、漏えい量が大となる可能性があるが、漏えい検知器等による早期検知は同様に可能である。人的過誤に起因する漏えい事象については、発生の未然の防止を図るために、決められた運用、手順を確実に遵守するとともに、トラブル事例等を参考に継続的な運用改善を行っていく。

注) ここで示す溢水源は、現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後止水措置等の実現性・詳細設計等を精査するに伴い変更（耐震評価、耐震補強工事の追加等）が生じた場合は、適宜反映することとする。

4. 溢水防護区画及び溢水経路の設定

4.1 溢水防護区画の設定

2.1 にて溢水防護対象設備として選定した設備が設置されている全ての区画、中央制御室及び重要な安全機能を有する系統の作動にあたって現場操作が必要となる設備へのアクセス通路について、溢水防護区画として設定する。設定した溢水防護区画を図 4-1 に示す。

4.2 滞留面積の算出

設定した各区画について、溢水が発生した場合の滞留可能な床面をその区画の面積として算出する。算出にあたっては、当該区画内に設置されている各機器により占有されている機器等を考慮し、保守的な滞留面積を算出する（補足説明資料 16 参照）。

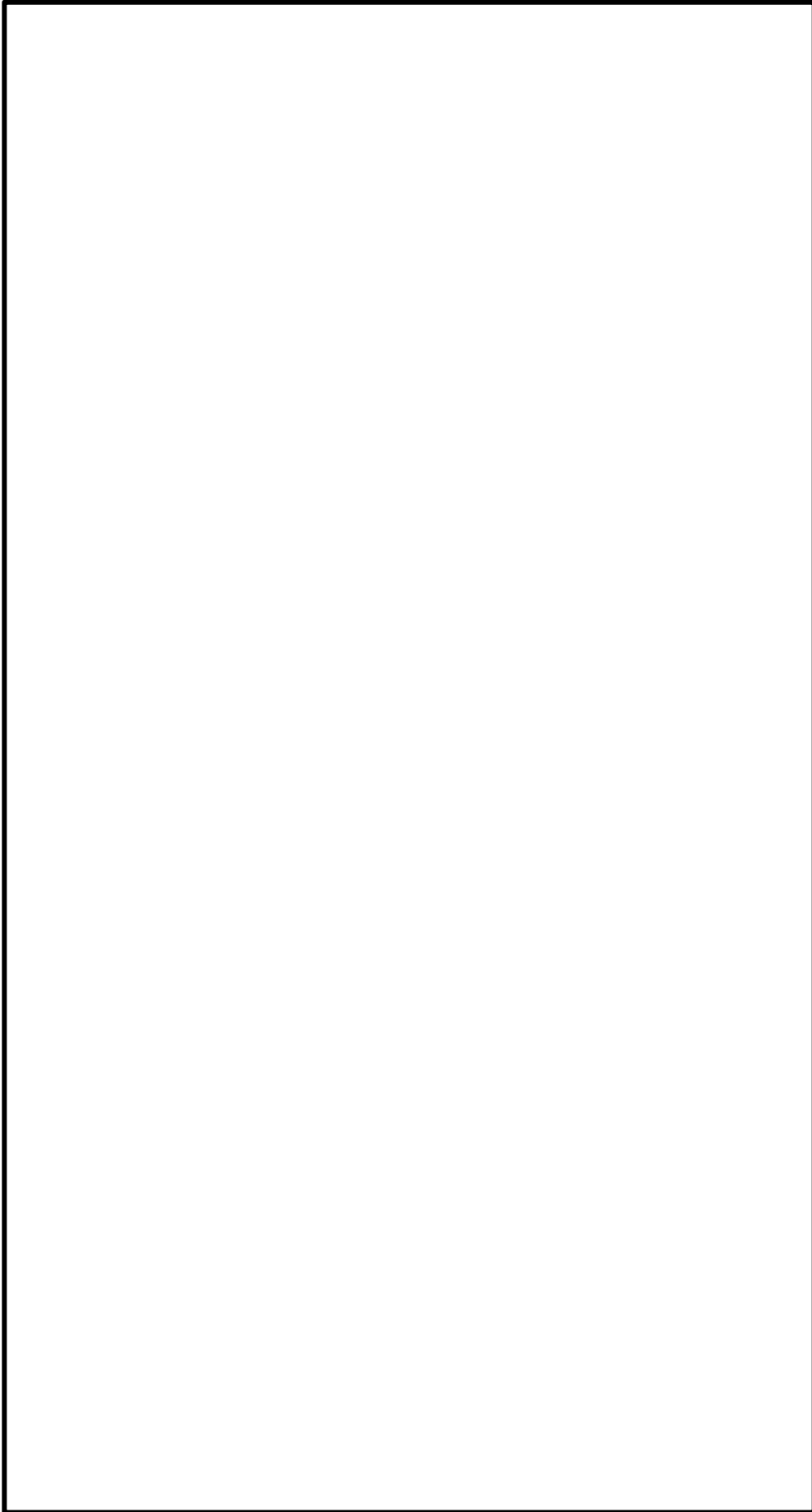


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物地下2階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

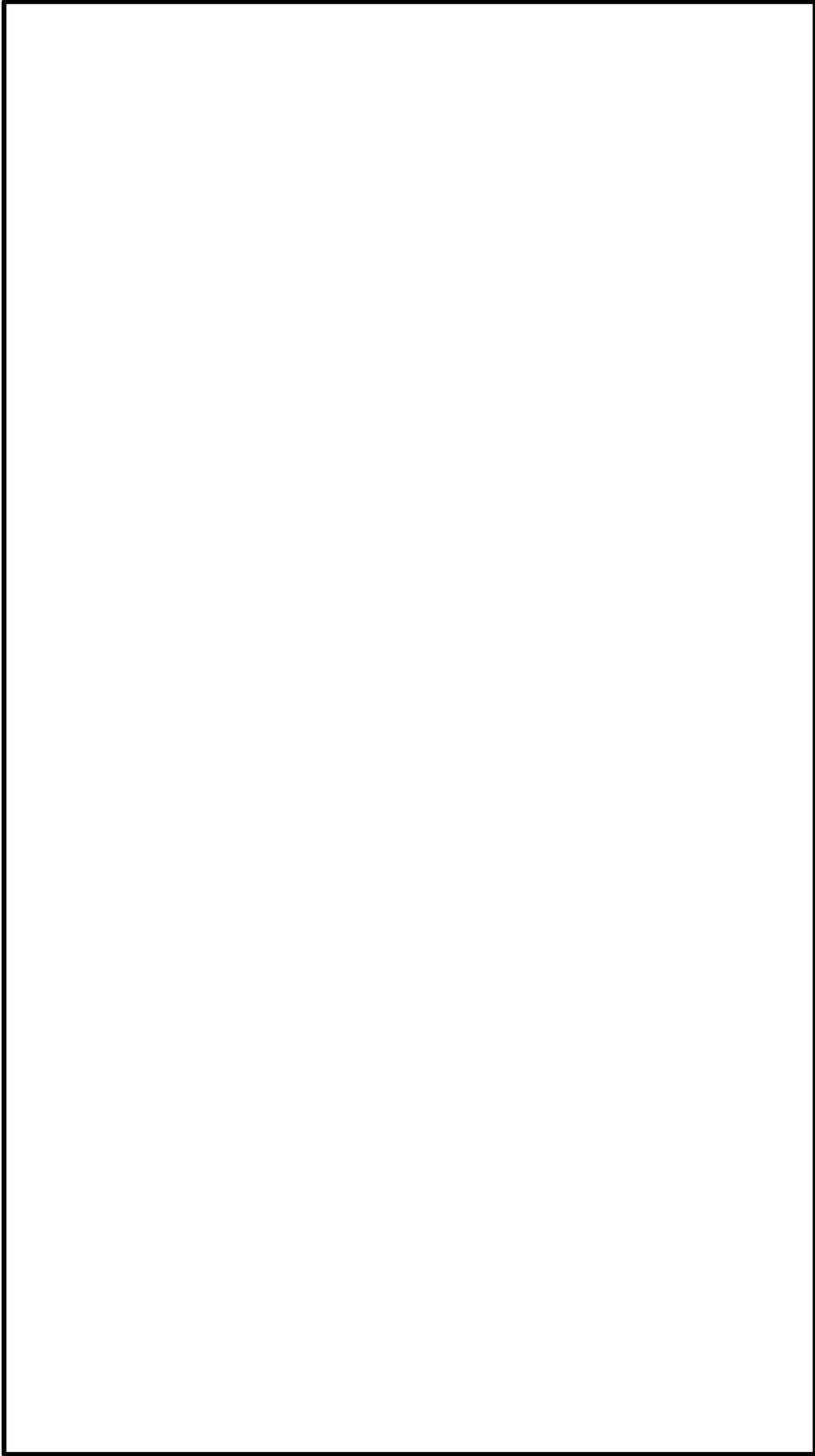


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物地下 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

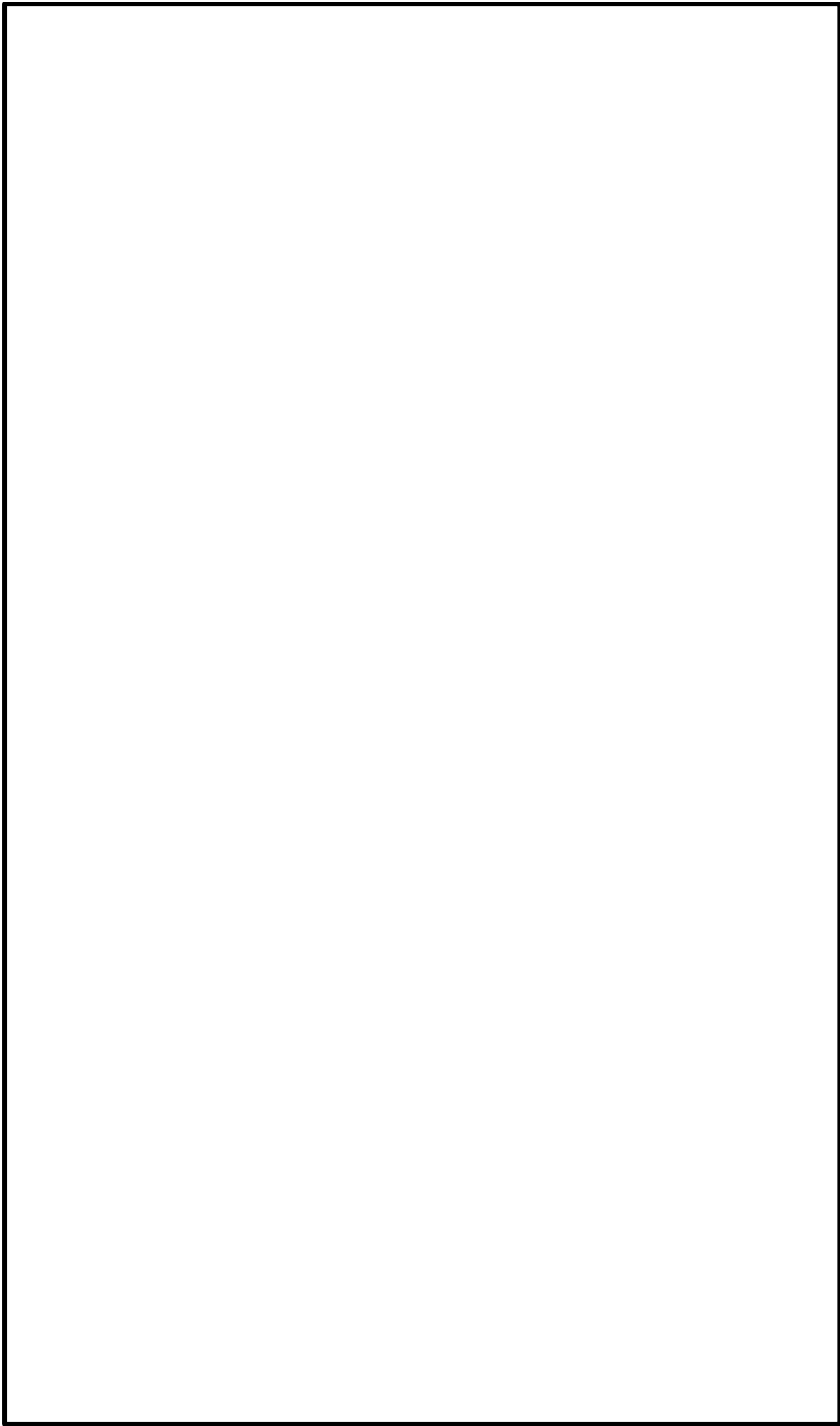


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

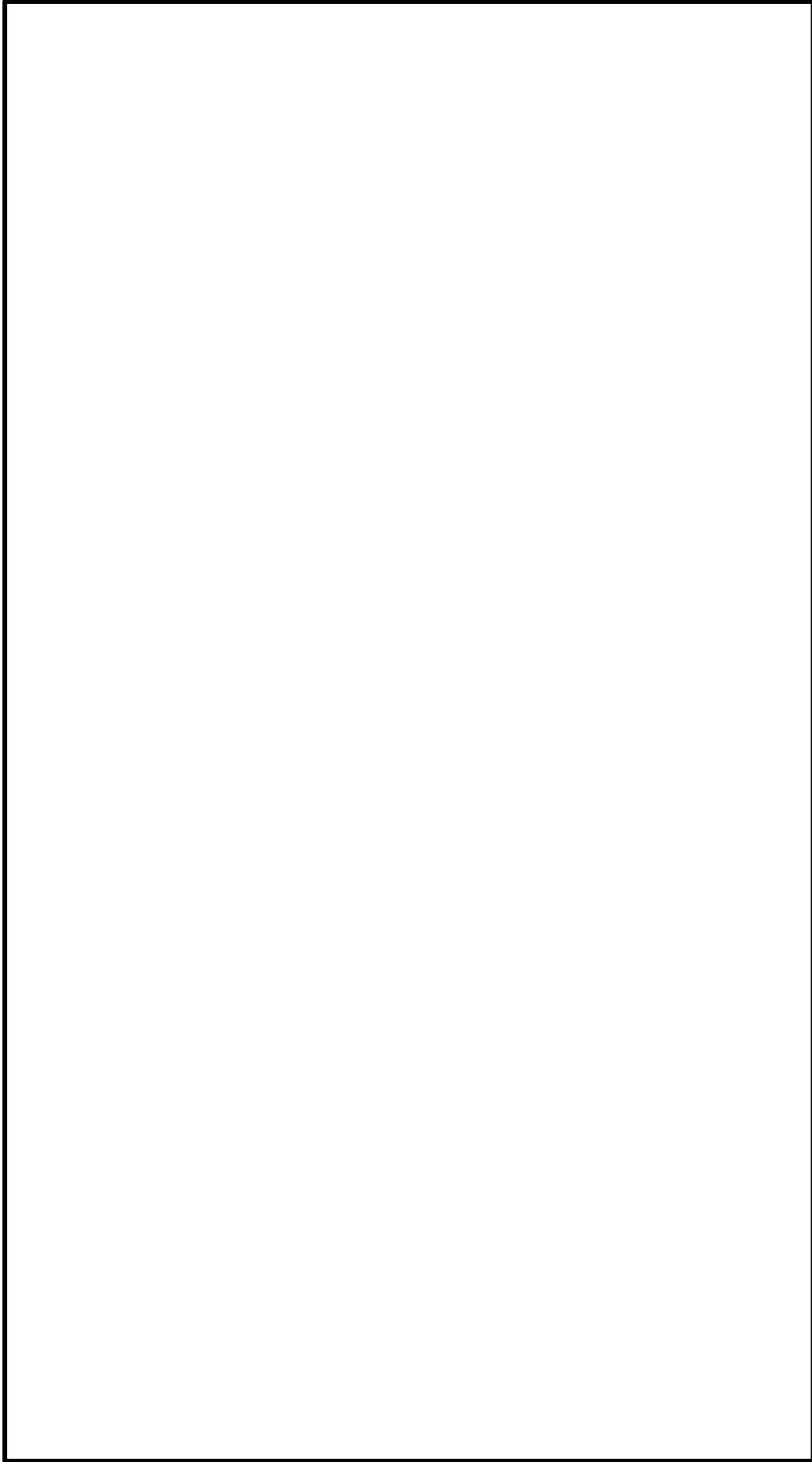


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物 2 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

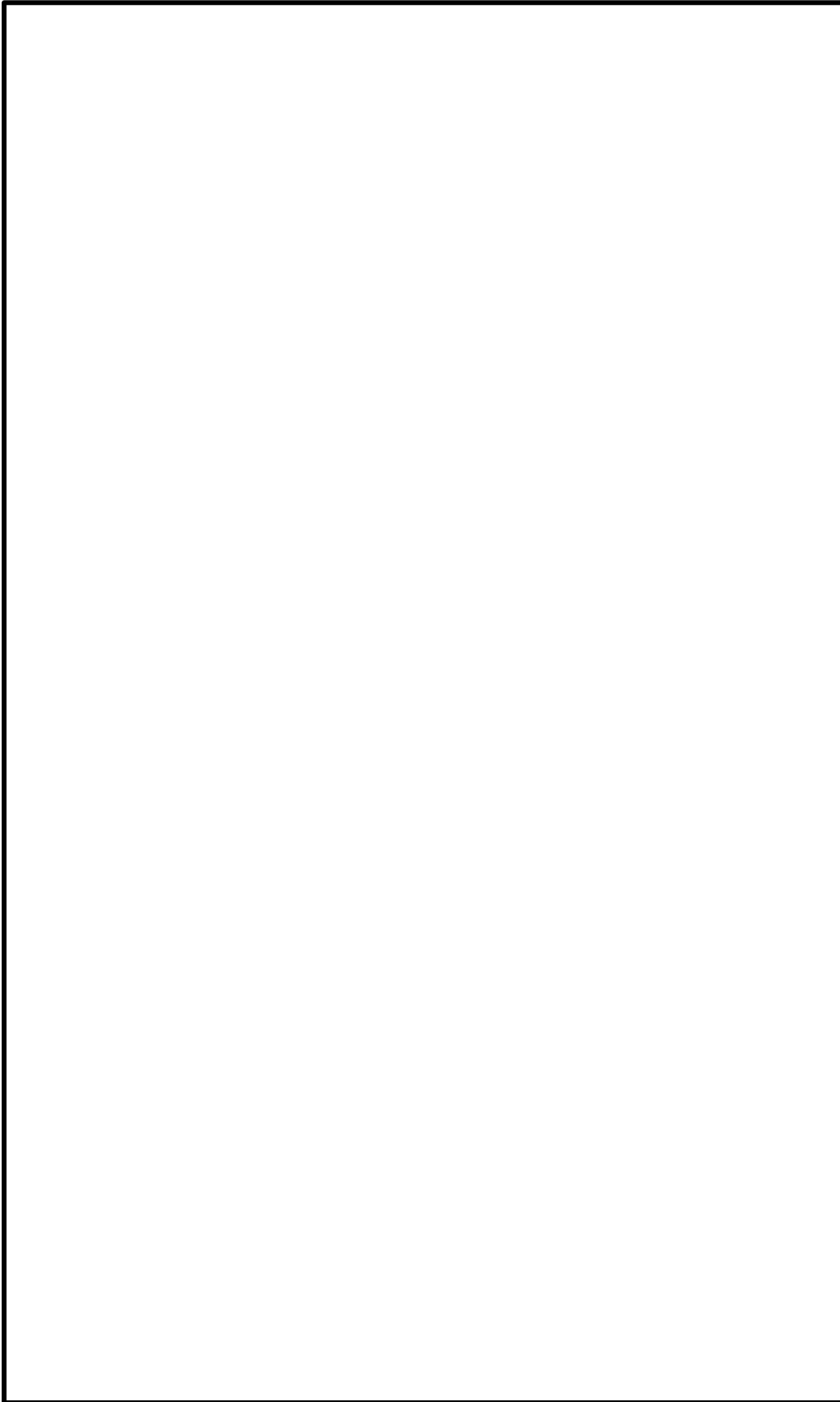


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物中 2 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

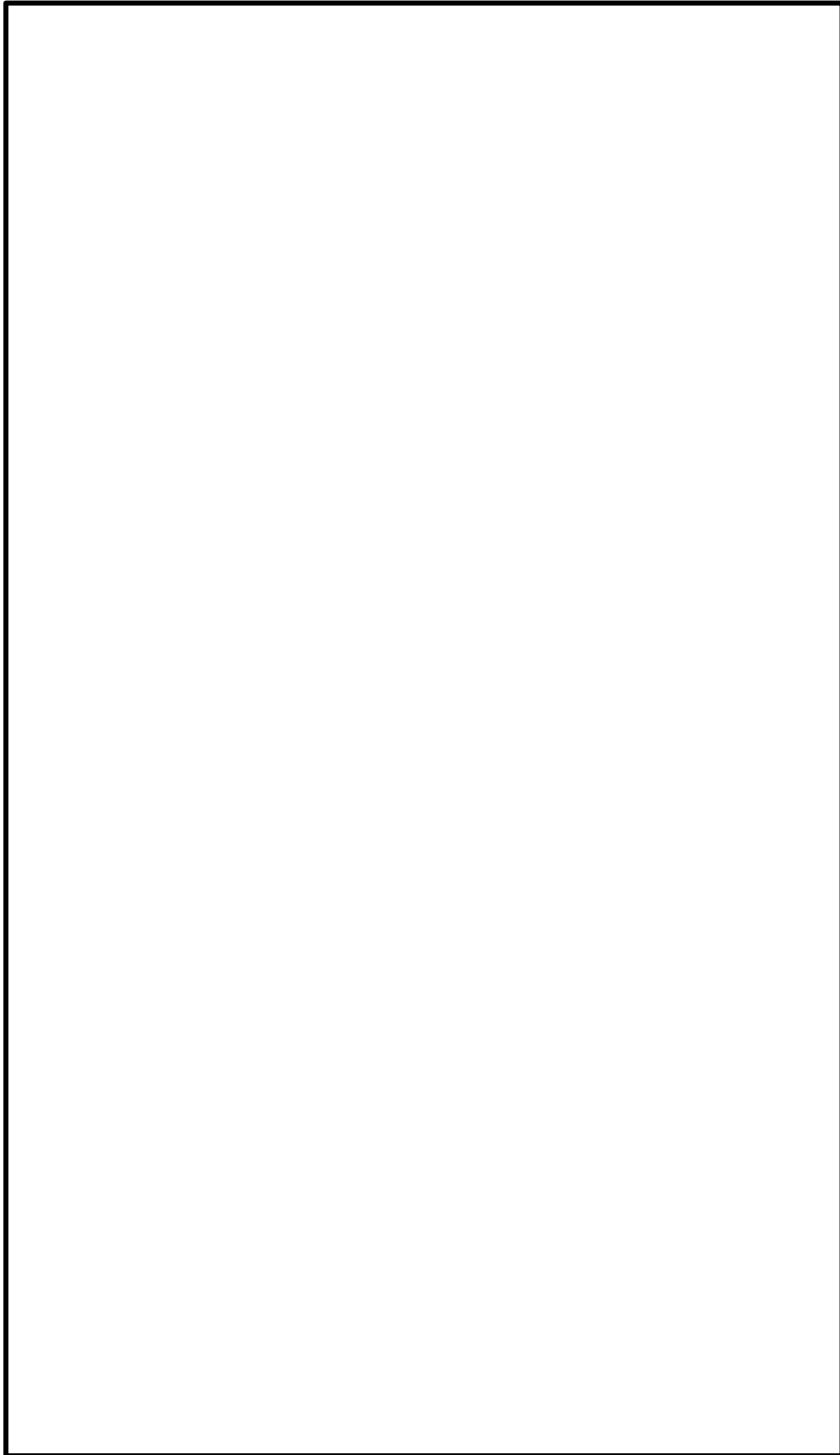


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物 3 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

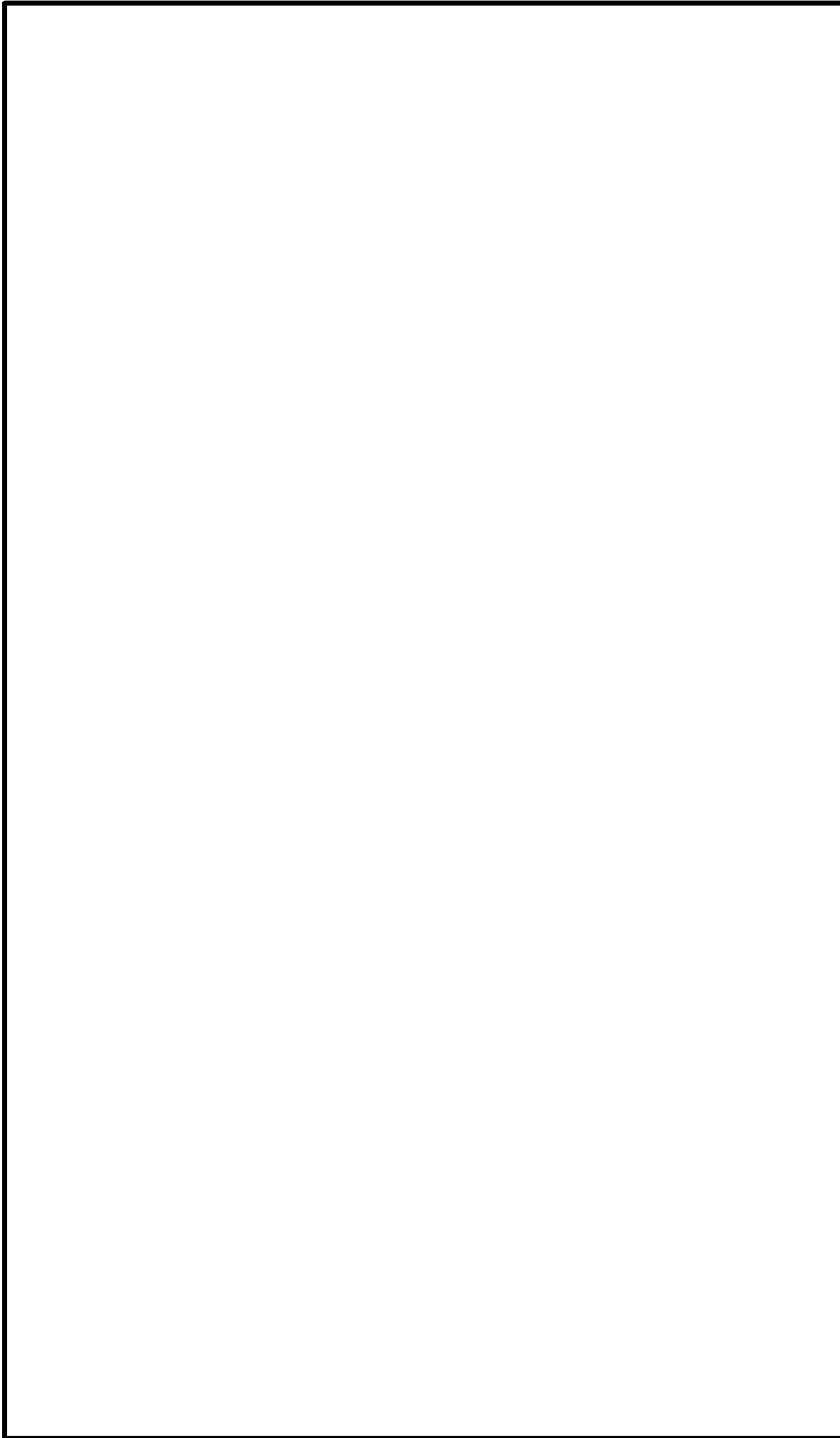


図 4-1 溢水防護区画（原子炉建物 4 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

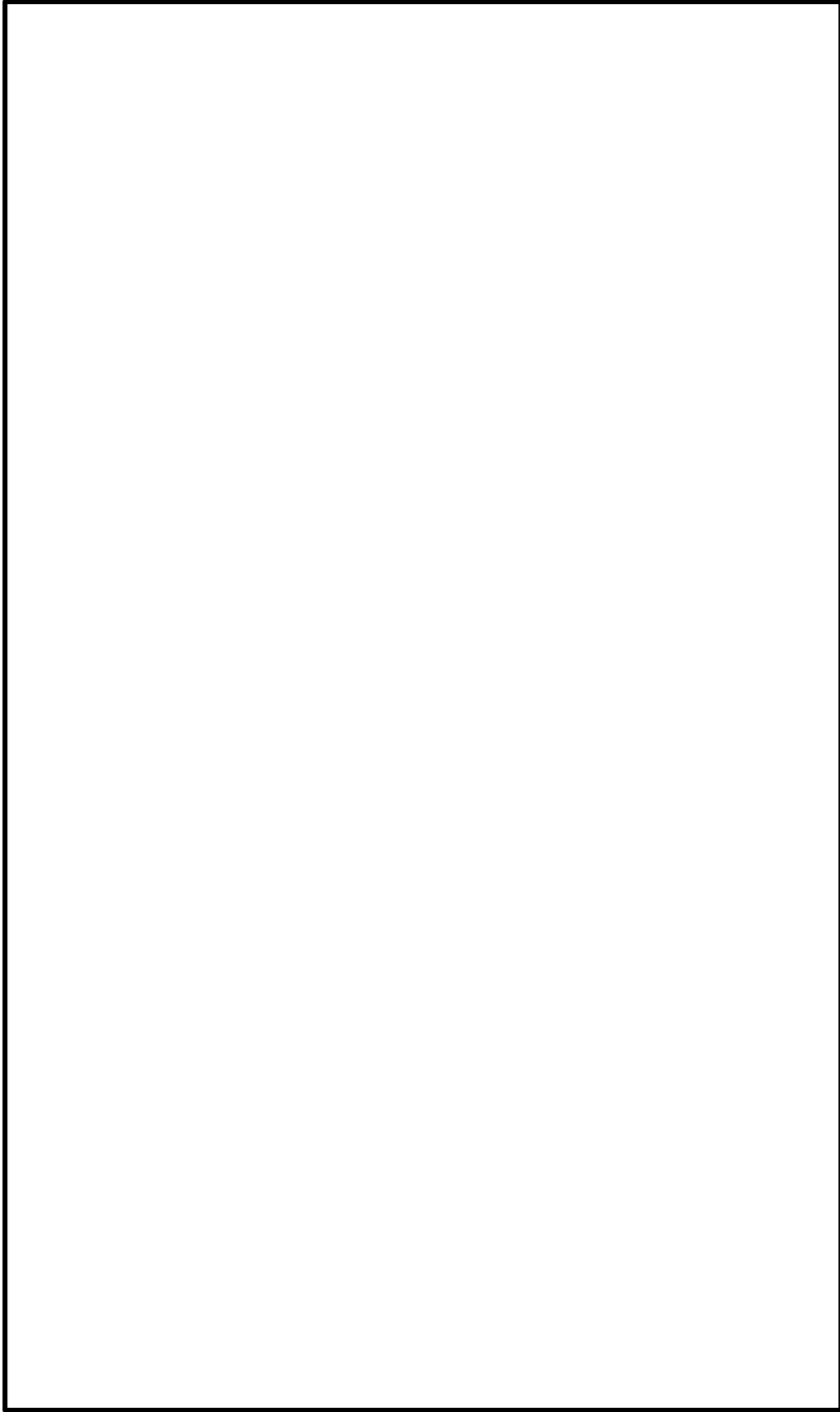


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物地下 2 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

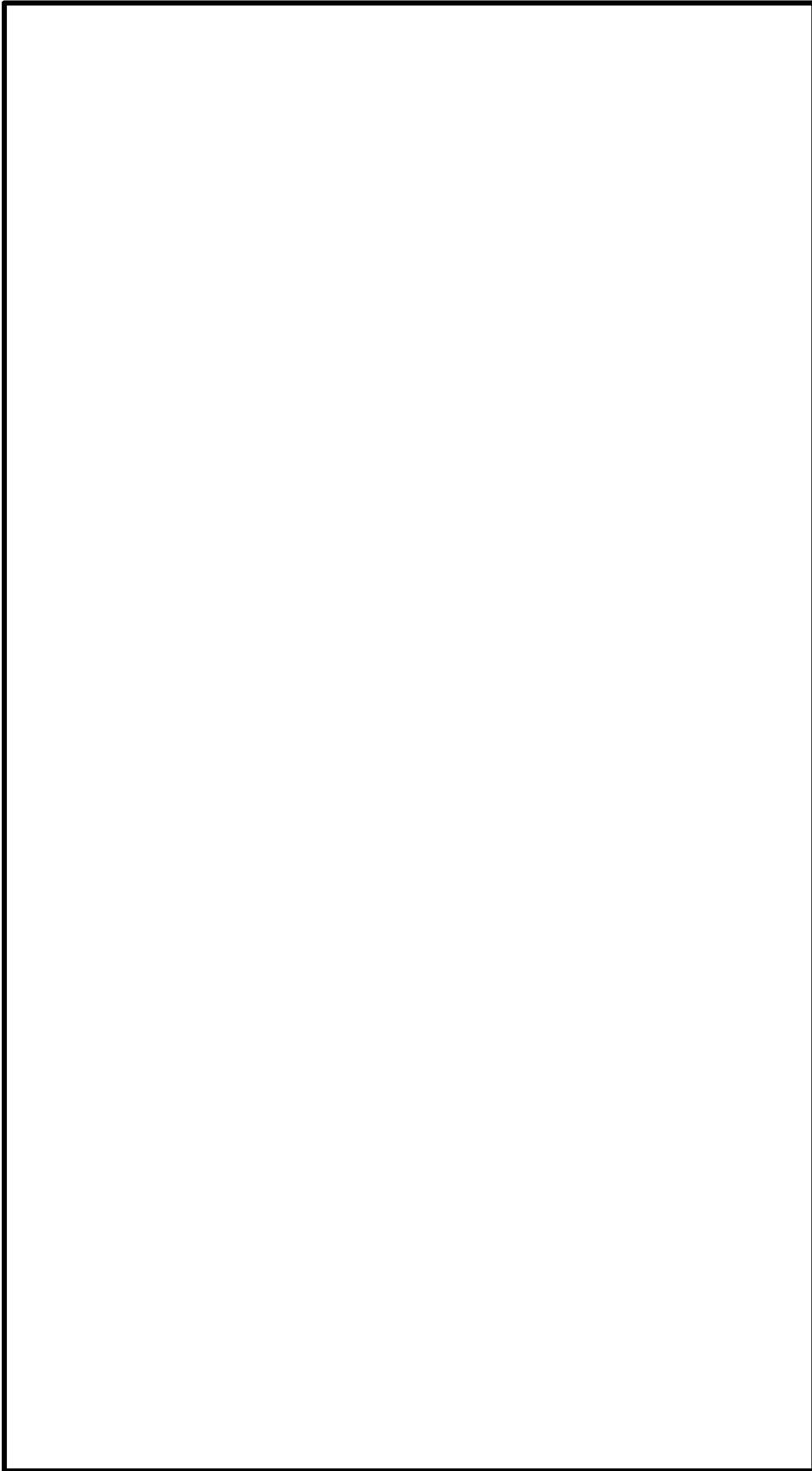


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物地下 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

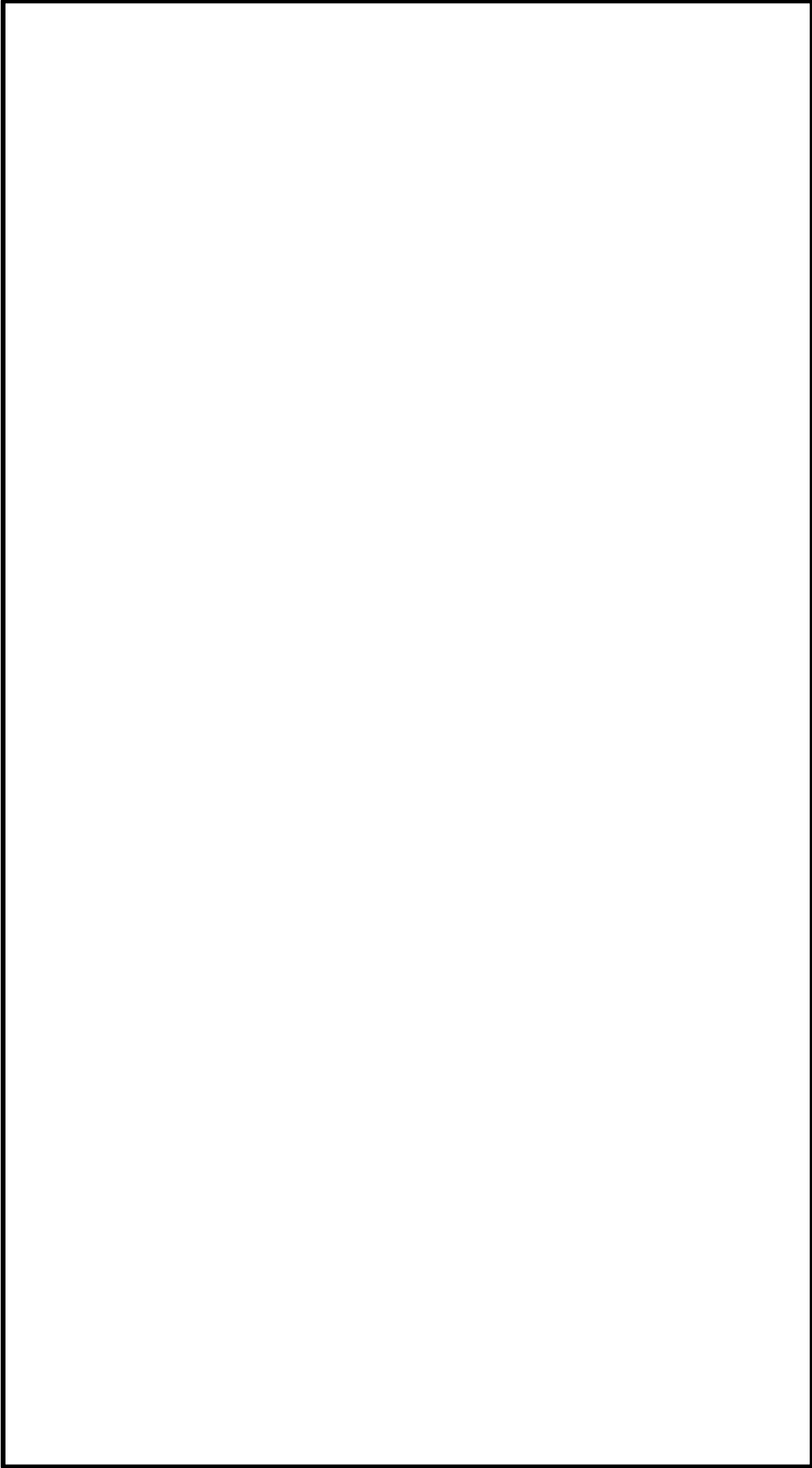


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物地下中 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

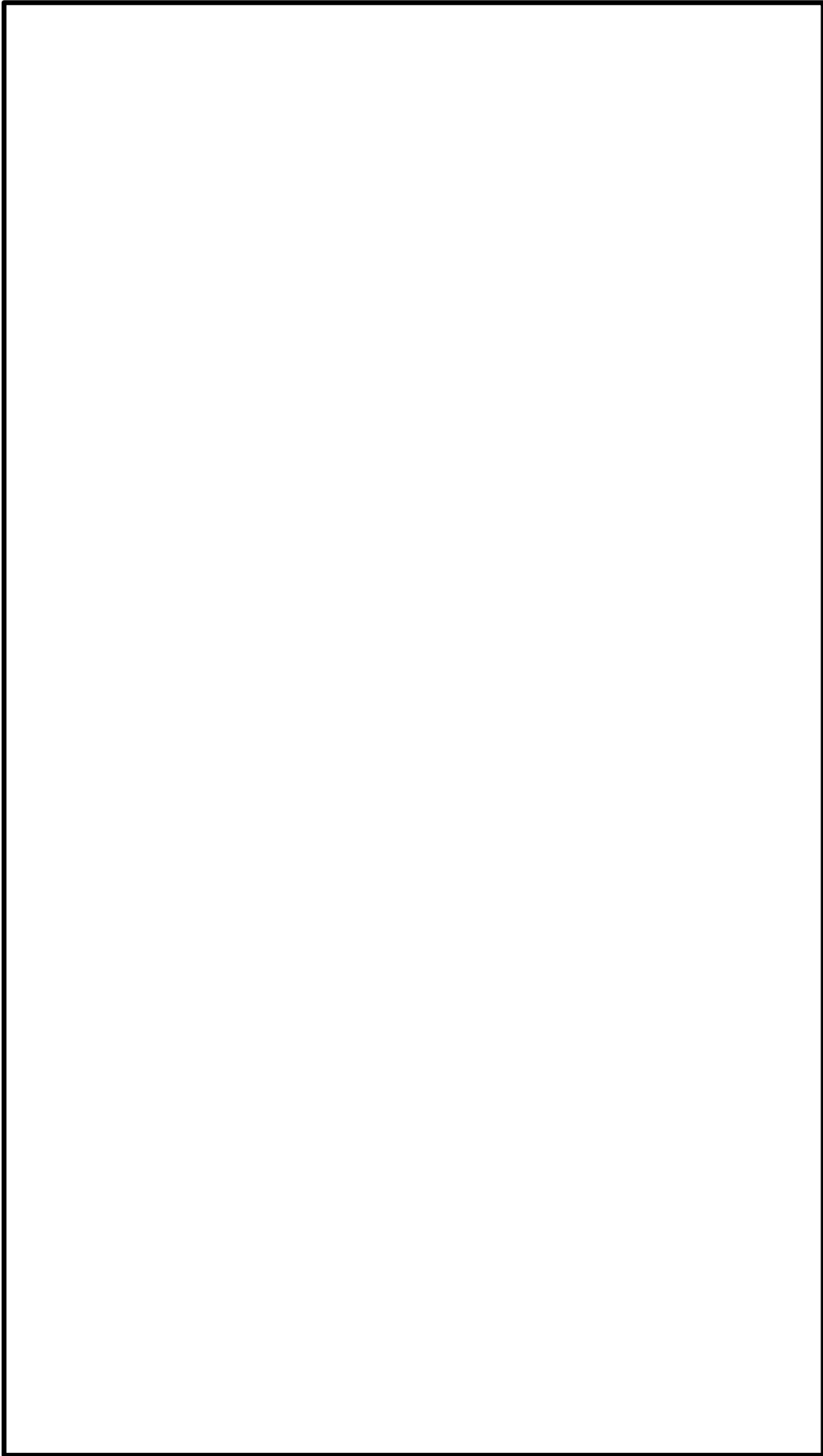


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

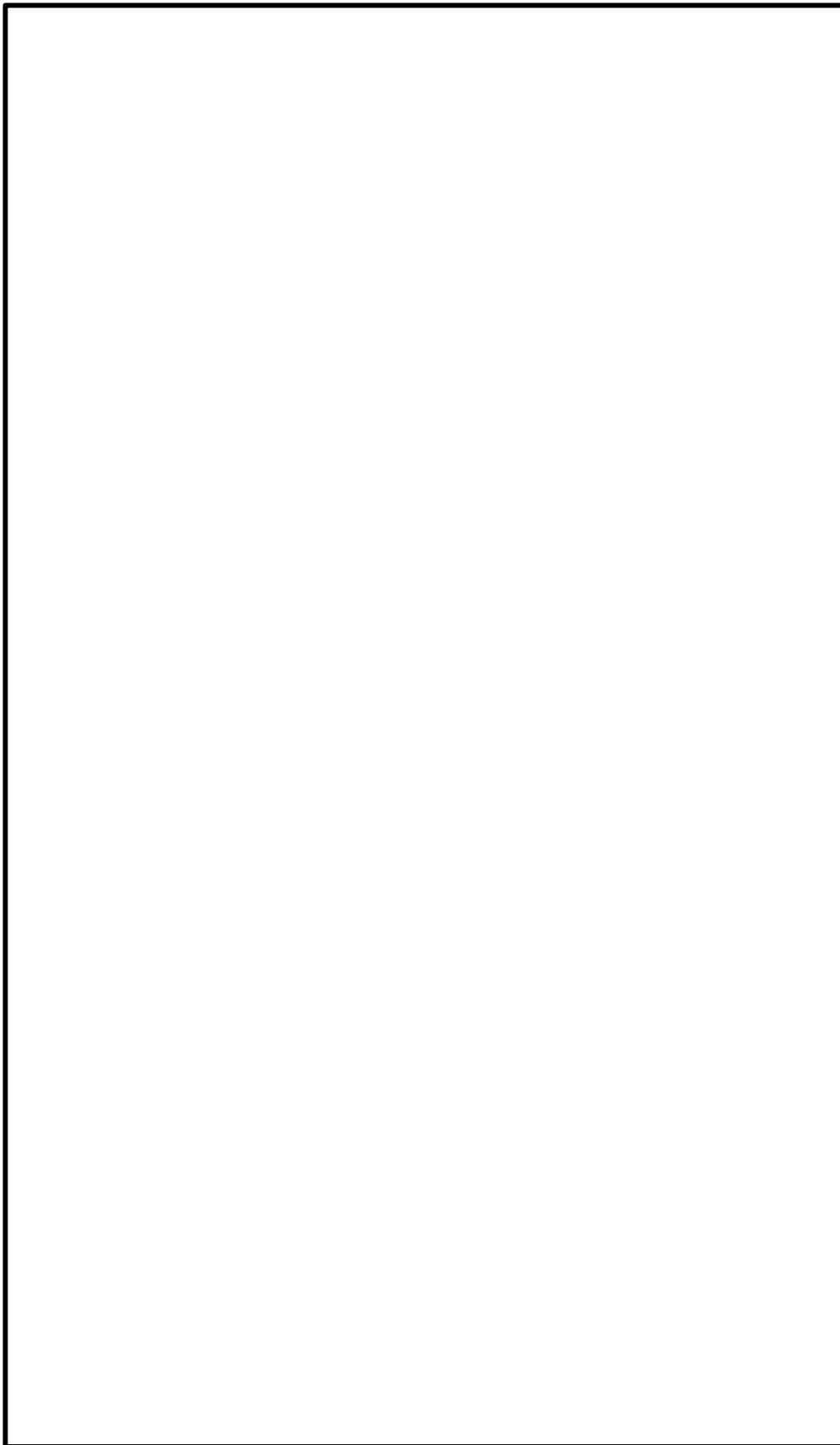


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物 2 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

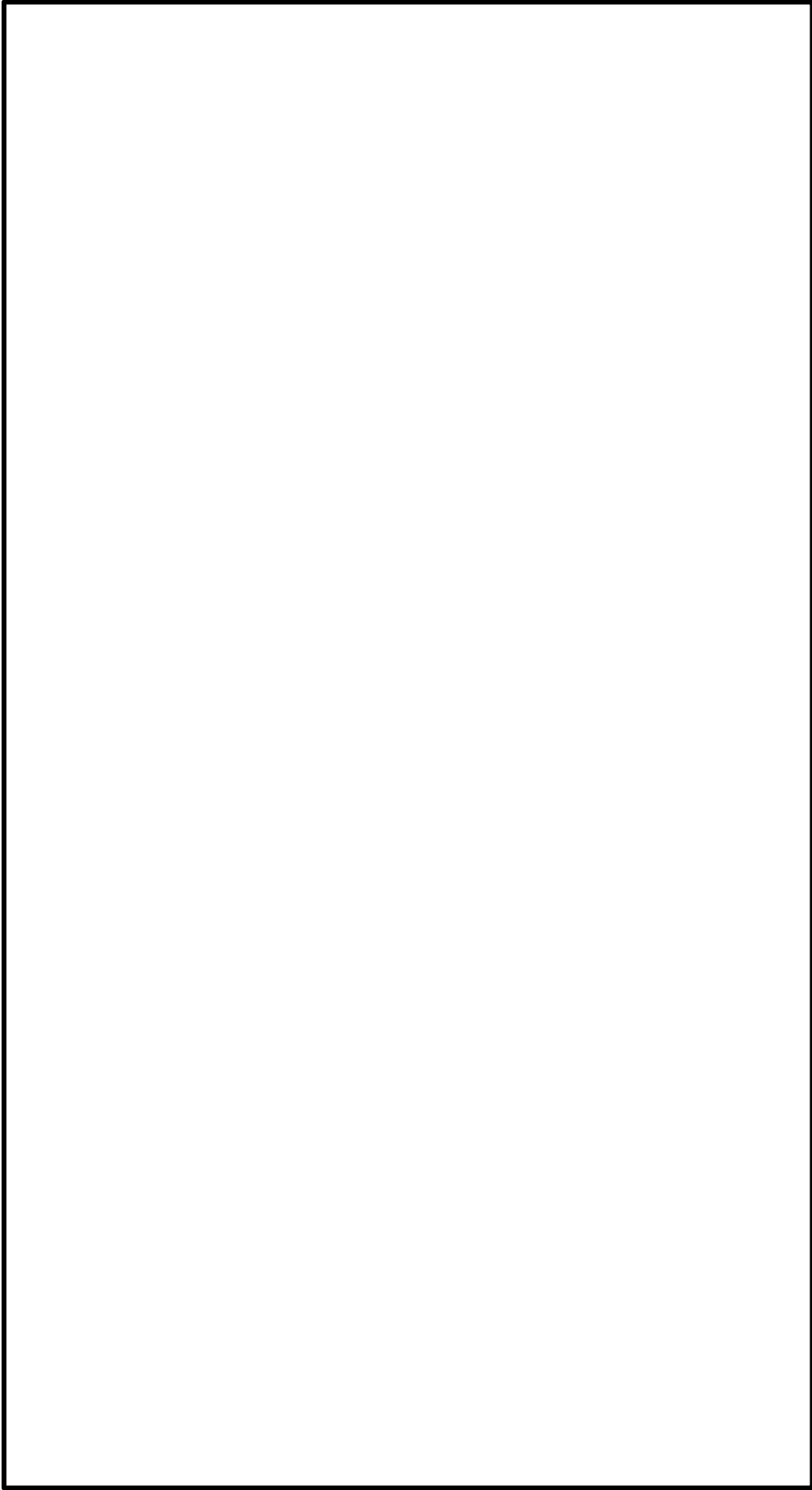


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物 3 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

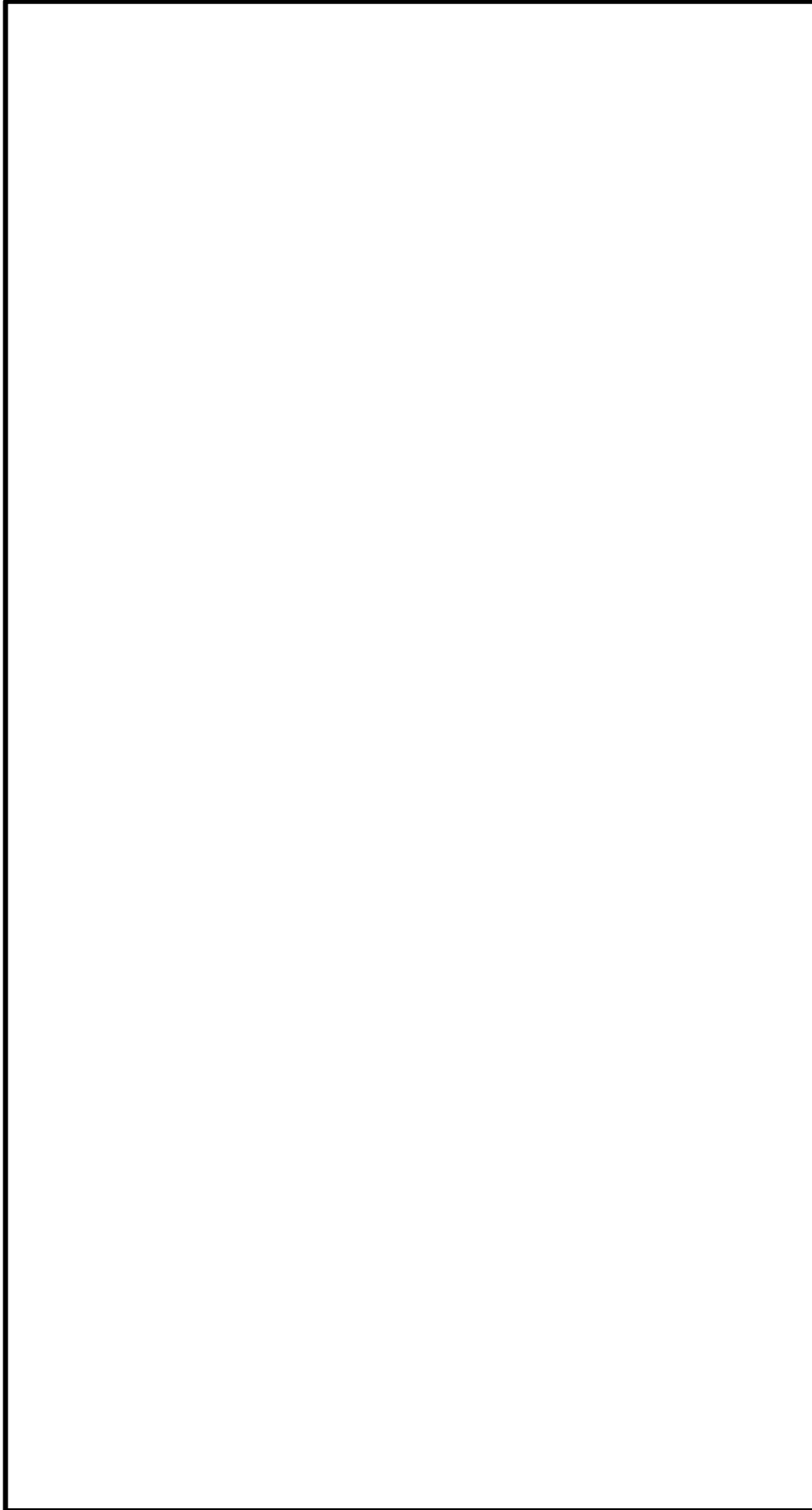


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物 4 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

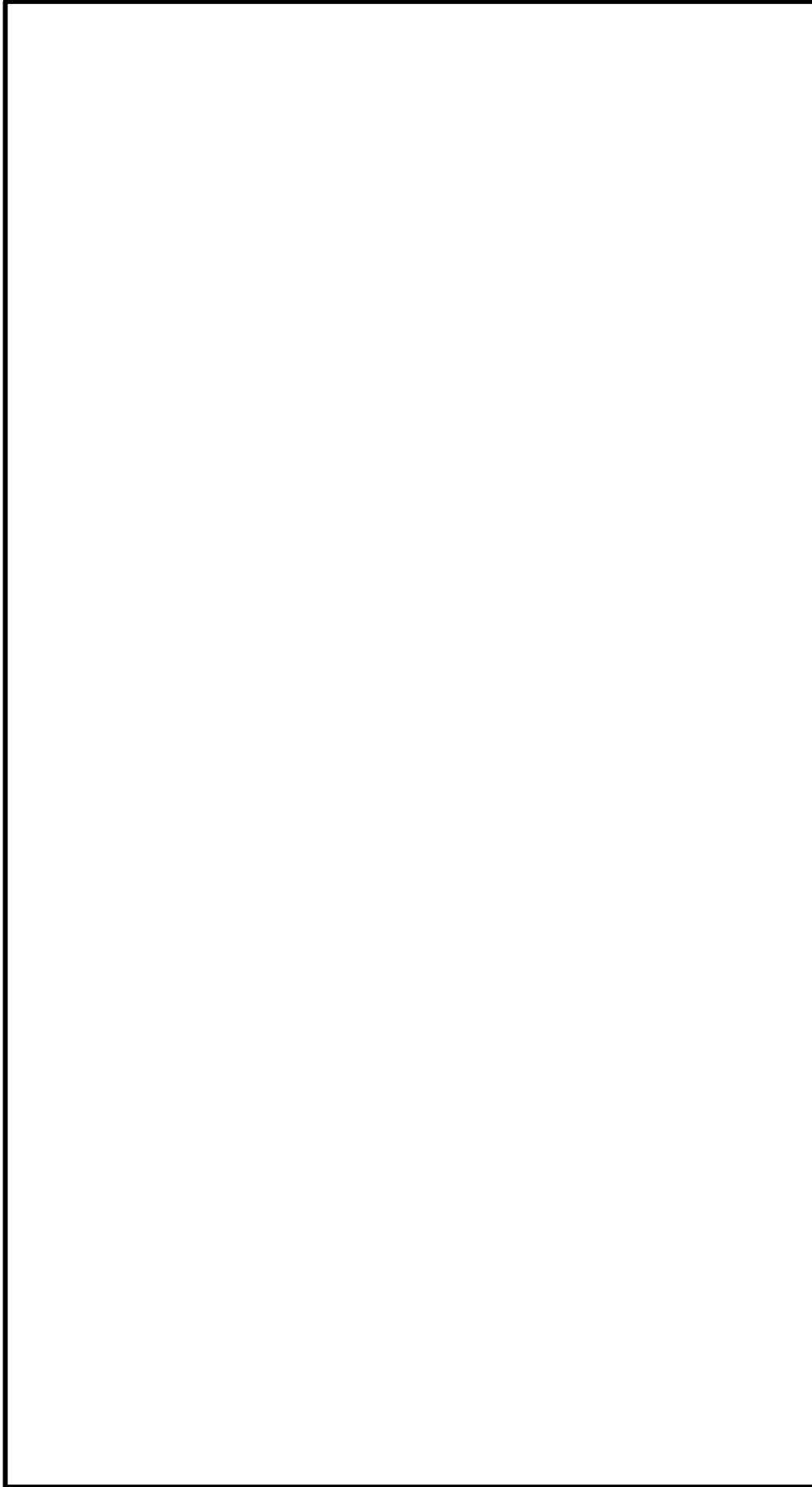


図 4-1 溢水防護区画（廃棄物処理建物 5 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

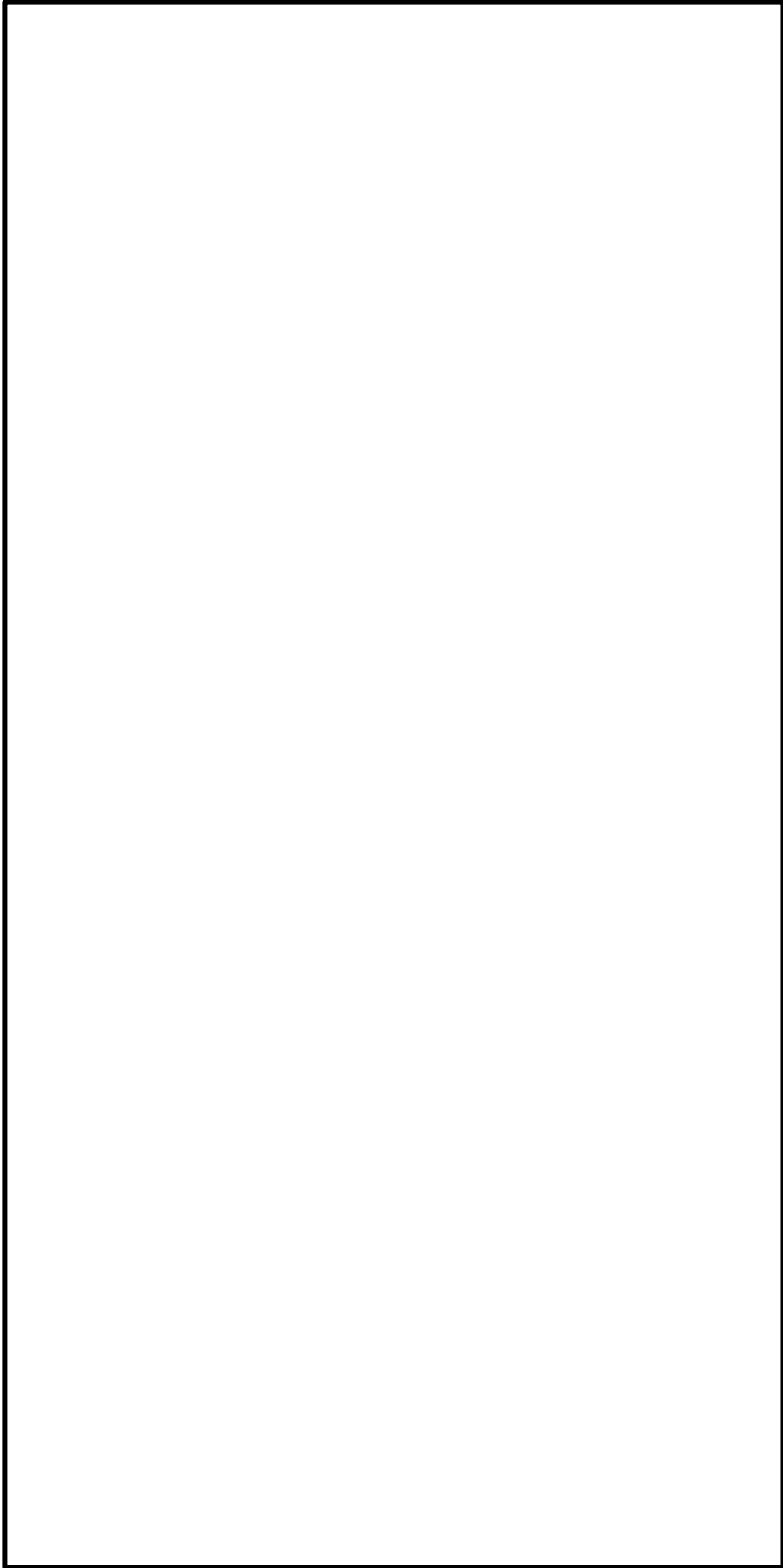


図 4-1 溢水防護区画（制御室建物 1 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

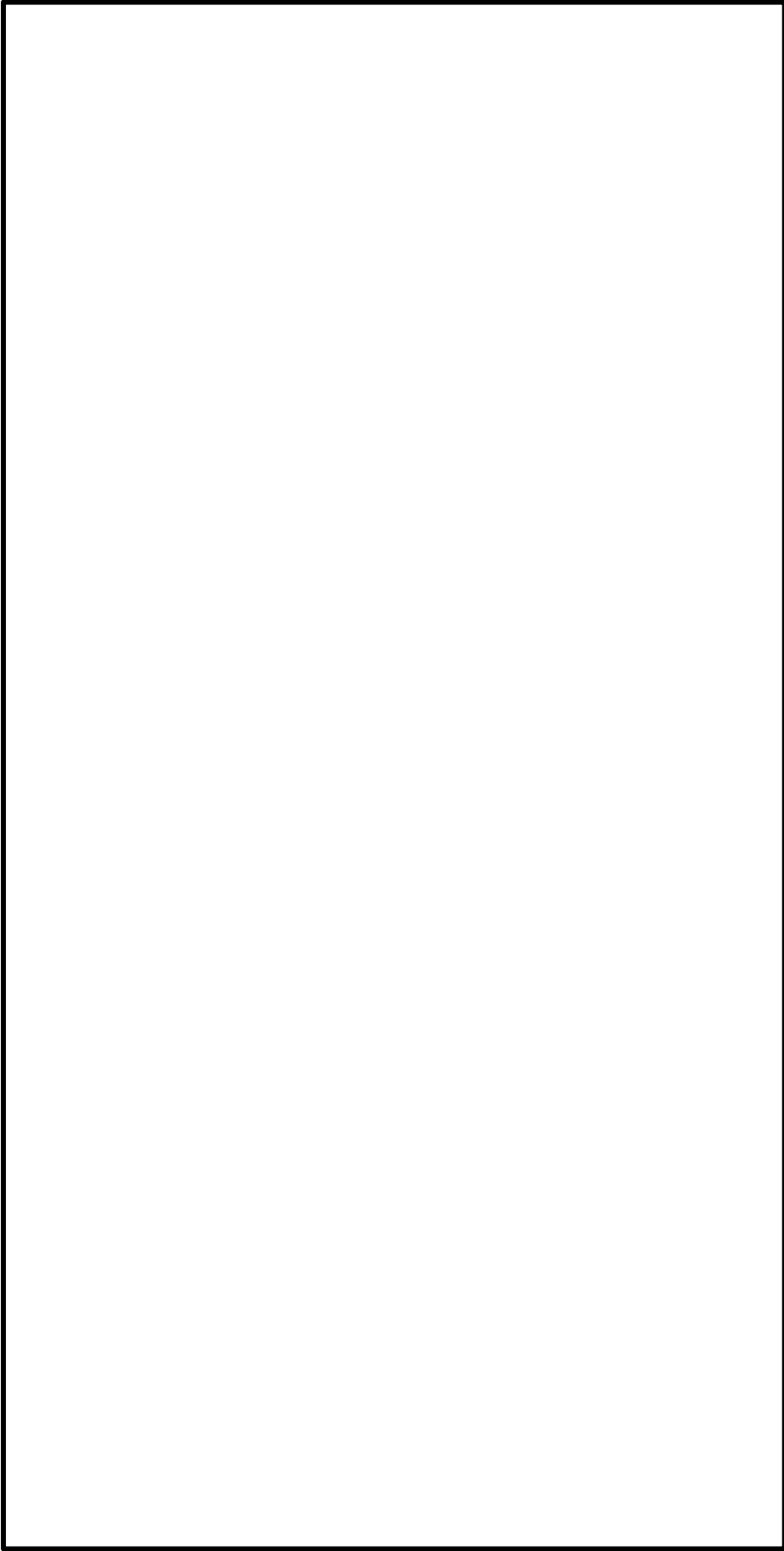


図 4-1 溢水防護区画（制御室建物中 2 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

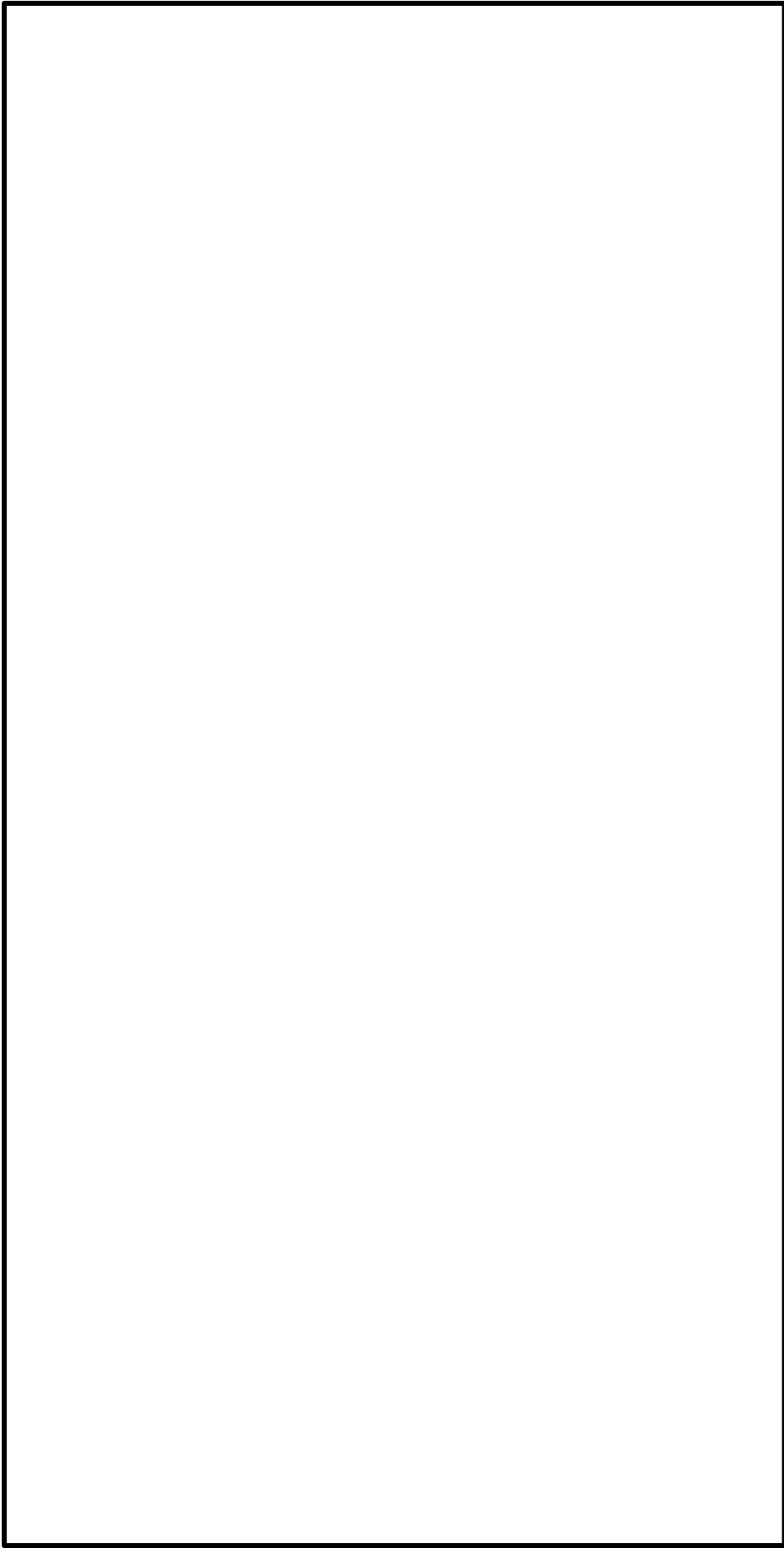


図 4-1 溢水防護区画（制御室建物 2 階）

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

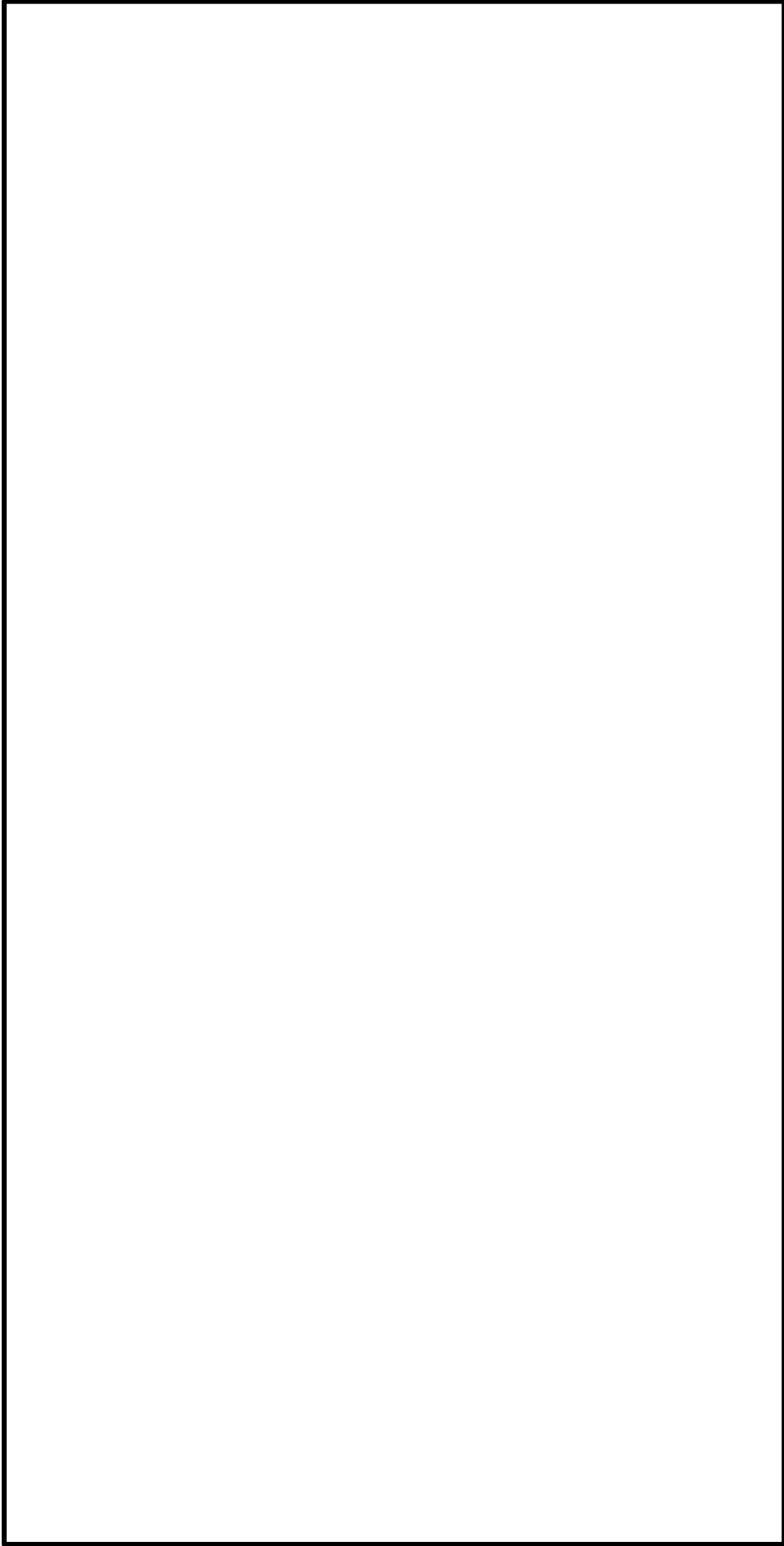


図 4-1 溢水防護区画（制御室建物 3 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

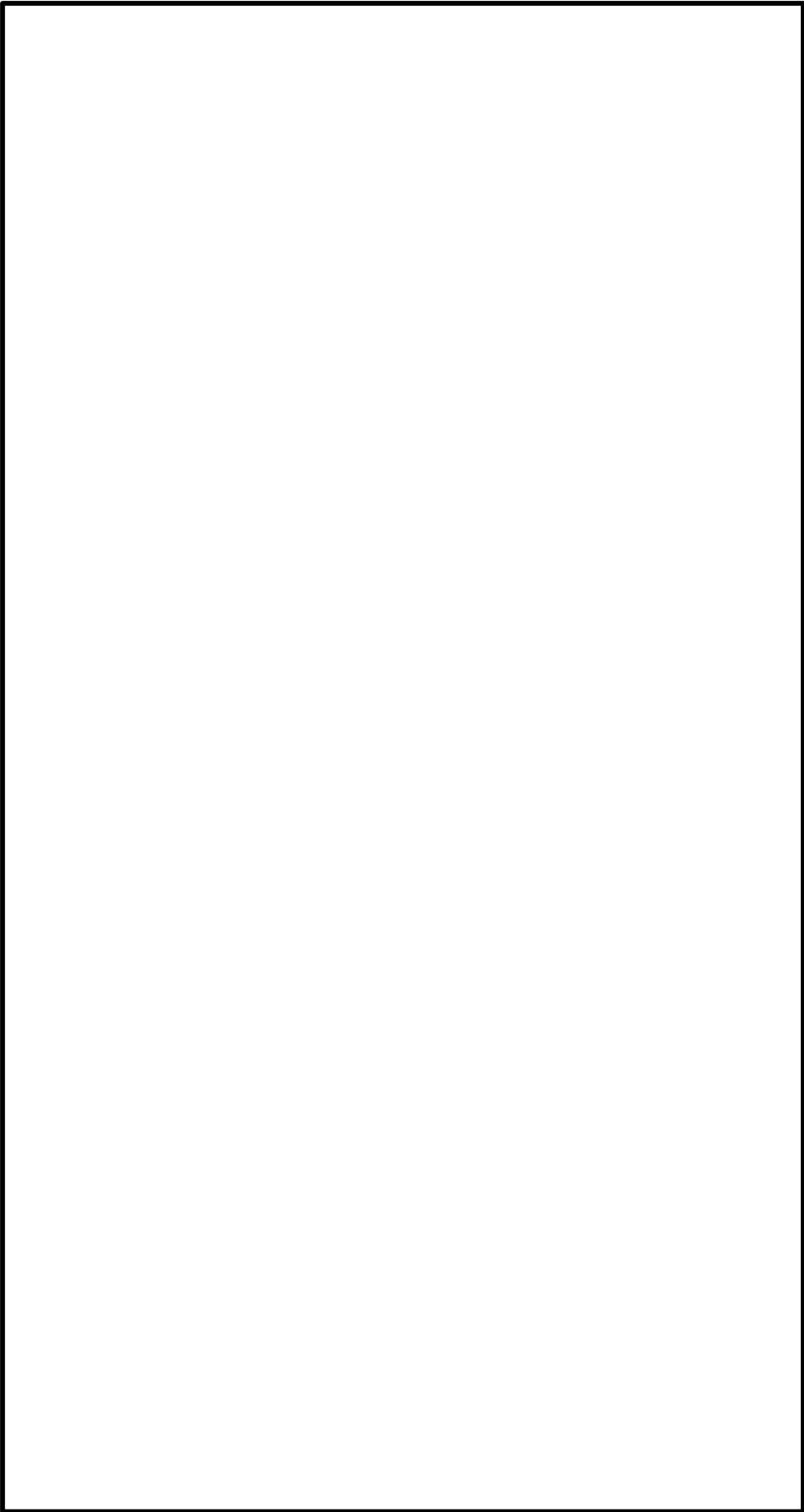


図 4-1 溢水防護区画（制御室建物 4 階）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



図 4-1 溢水防護区画（海水ポンプエリア）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

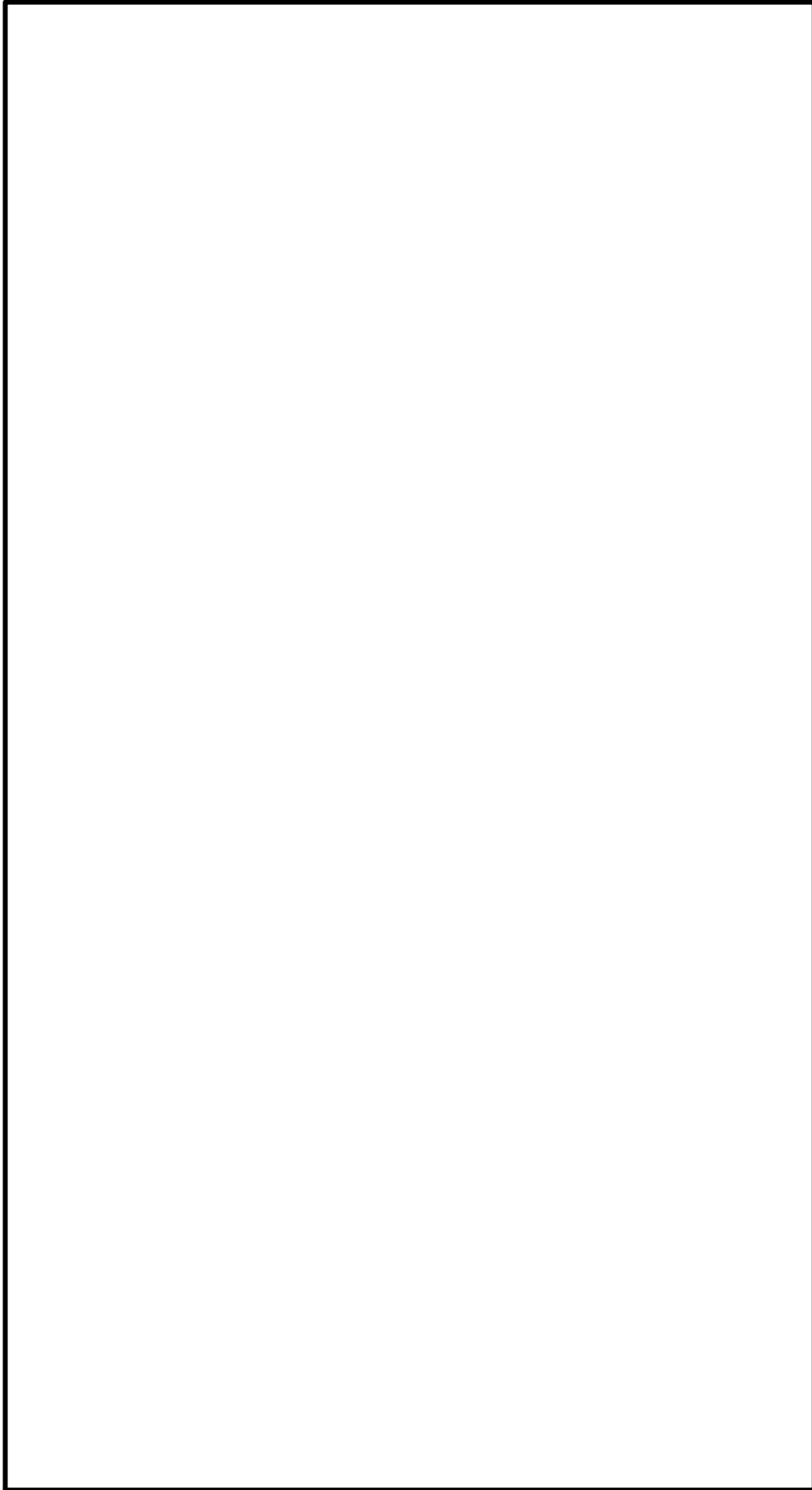


図 4-1 溢水防護区画（排気筒エリア）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

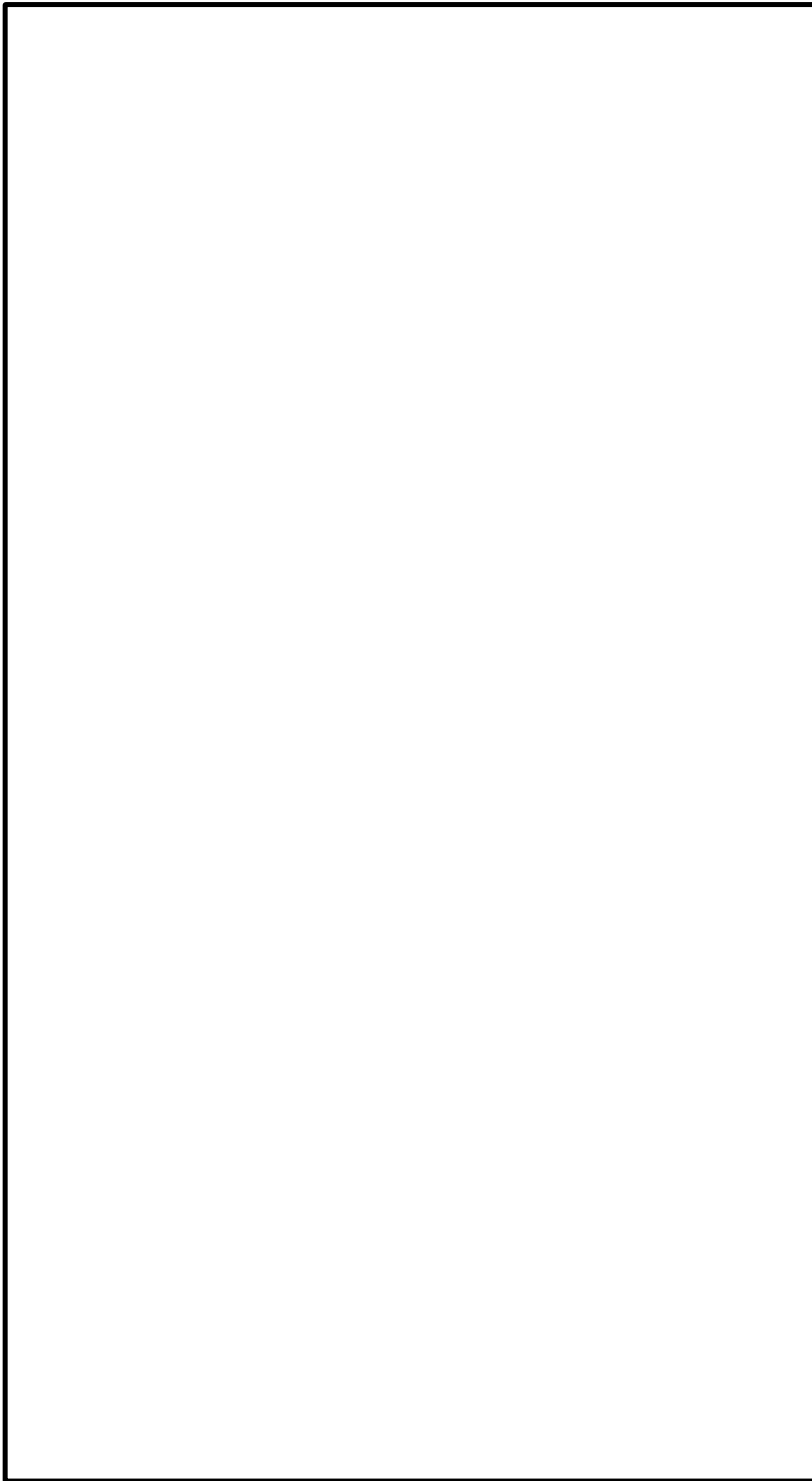


図 4-1 溢水防護区画(B-デューゼル燃料貯蔵タンク格納槽)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

4.3 溢水経路の設定

溢水影響評価において考慮する溢水経路は、溢水防護区画とその他の区画(溢水防護対象設備が存在しない区画又は通路)との間における伝播経路となる扉、壁貫通部、天井貫通部、床面貫通部、床ドレン等の接続状況及びこれらに対する溢水防護措置の有無を踏まえ、溢水経路モデルとして整理する。

4.3.1 溢水経路モデルの設定

各区画の壁、床及び天井面について、施工図面等及び現場調査により、溢水の伝播経路となり得る開口部や貫通部等を抽出し、各伝播経路の位置情報を整理する。これら伝播経路による各区画間の接続状況、これらに対する溢水防護措置の有無を踏まえ、溢水経路モデルを設定する。ここで、溢水経路を構成する開口部や貫通部に対する溢水防護措置は、基準地震動 S_s による地震力等の溢水の要因となる事象に伴い生じる荷重や環境に対し、必要な健全性を維持できるとともに、保守管理、水密扉閉止等の運用を適切に実施することにより溢水の伝播を防止できるものとする。この水密扉の閉止運用に関しては、運用管理が必要となる事項である(別添2参照)。

溢水防護対象設備を内包する建物等の溢水伝播経路概念図を図4-2に示す。ここでは、火災防護対策等として新たに実施した措置について止水性等を適切に考慮し伝播経路を設定する。

なお、扉の水密化、壁貫通部への止水措置、天井や床面開口部及び貫通部への止水措置等の溢水防護措置については、添付資料4を参照のこと。

また、定期検査作業に伴う溢水防護対象設備の不待機や扉の開放等、プラントの保守管理上やむを得ぬ措置の実施により、影響評価上設定したプラント状態と一時的に異なる状態となった場合については、重大事故等対処施設の利用も含めた現実的な対応も考慮し、その状態を踏まえた必要な安全機能が損なわれない運用とする(別添2参照)。

プラント停止中のスロッシングの発生時における溢水影響については、詳細を補足説明資料20,29に示す。なお、プラント停止時におけるハッチの運用面での対応、堰の設置等については、運用管理が必要となる事項である。(別添2参照)。

4.3.2 溢水経路の評価上の考慮

4.3.1にて調査した伝播経路について、溢水の伝播評価を行う際に、評価の対象となる区画(溢水発生源となる区画及び溢水の伝播経路に含まれる区画)における溢水水位が高くなるよう、評価対象区画毎に流出・流入に関する条件を設定する。具体的な条件を以下に示す。

- ① 評価対象区画において溢水が発生、又は他区画から流入した場合、評価上のステップとして仮想的に当該区画からの排水は考慮せず、区画内に全量滞留するものとする。

② ある評価対象区画から他の区画への伝播経路が存在する場合、溢水経路間の伝播量は、壁貫通部等を除き、上流側からの溢水量全量として評価する。壁貫通部等については、壁貫通部等より上方に滞留する溢水量の全量が伝播するものとして評価する。

③ 評価対象区画から他の区画への伝播経路が複数存在する場合、仮想的に同時に二つ以上の区画へは伝播しないものとして、それぞれの区画への伝播を個別に考慮する。

ただし、評価対象区画からの流出が定量的に確認できる以下の伝播経路については、その効果を考慮している。

(a) 機器搬出入ハッチ等の大開口部

機器搬出入ハッチの大開口部や定量的な排出が期待できる開口が存在する場合は、ここからの排水を考慮しても良いこととする。この際の開口部からの排出流量は、水路幅や堰高さ等を用いて算出する。

なお、開口部周囲に堰や壁等の排水を阻害する要因が存在する場合は、それを考慮することとする（補足説明資料4参照）。

(b) 床ドレン

評価区画内に閉止されていない床ドレン系の目皿が2つ以上存在し、定量的に排水が期待できる場合は、排出流量の最も大きい一箇所からの排水は期待できないことを仮定した上で、その他の箇所からの排水を考慮してもよいこととする。

この際の床ドレンからの排出流量Qは、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。

$$Q = A \times C \times \sqrt{2 \times g \times H} \times 3600 \quad [\text{m}^3/\text{h}]$$

Q	: 排出流量	[m ³ /h]
A	: 断面積	[m ²]
C	: 損失係数	[-]
g	: 重力加速度	[m/s ²]
H	: 水頭（当該区画の水位）	[m]

4.3.3 蒸気に対する溢水経路について

蒸気は液体の場合と伝播の仕方が異なることから、気密要求のある床、壁、天井等を境界として区域を分割し、それら区域間の伝播経路を設定する。火災防護対策等として新たに実施した措置について止水性等を適切に考慮する。

表4-1に溢水防護対象設備を内包する原子炉建物(二次格納施設及び付属棟)、廃棄物処理建物及び制御室建物の伝播経路に対する気密要求等を示す。なお、海水ポンプエリア、排気筒エリア及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の溢

水防護対象区画には蒸気の溢水源はなく，屋外で大気開放であり，蒸気の伝播はない。

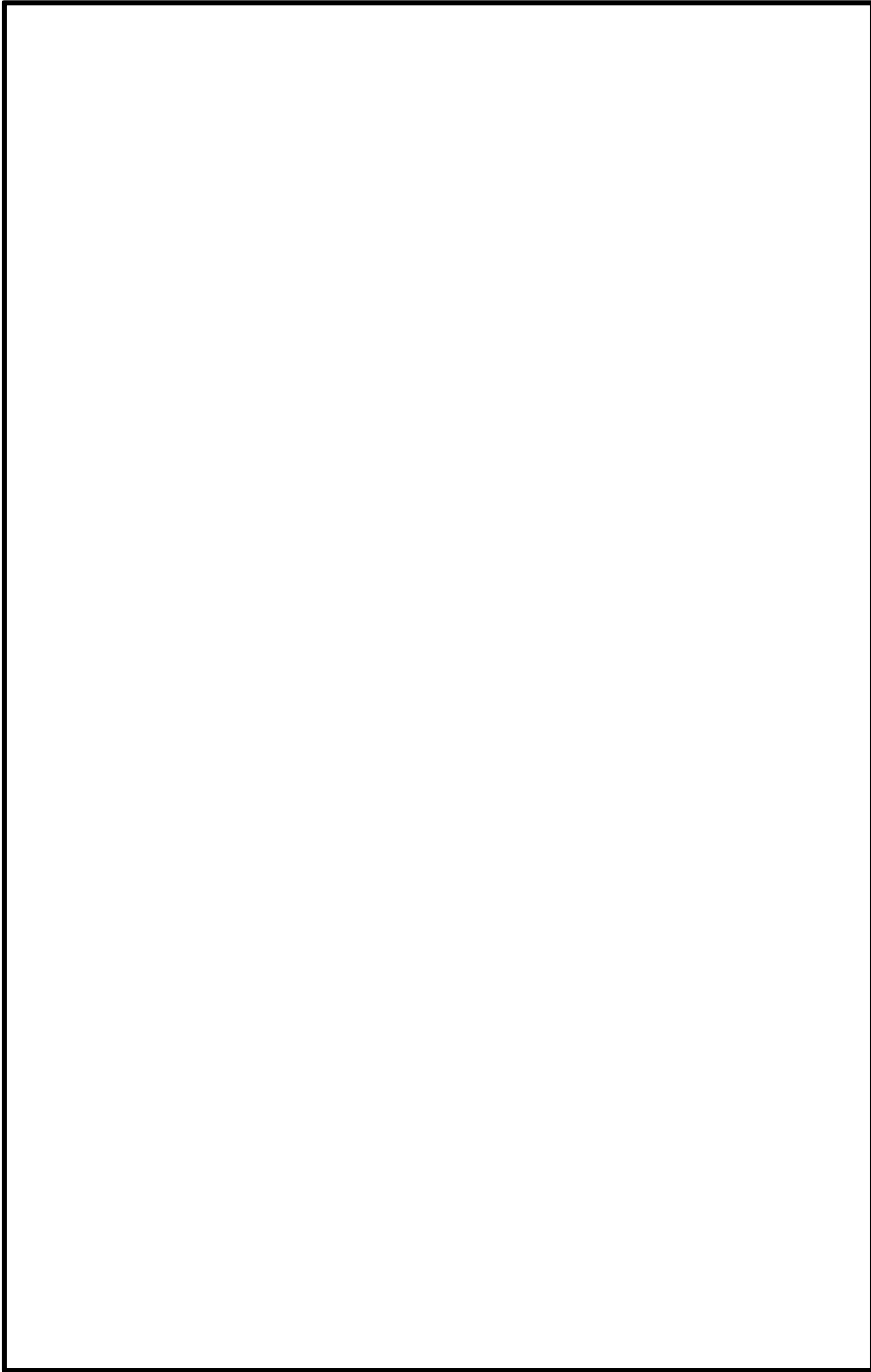


図 4-2 原子炉建物 管理区域 溢水伝播経路概念図 (その 1)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

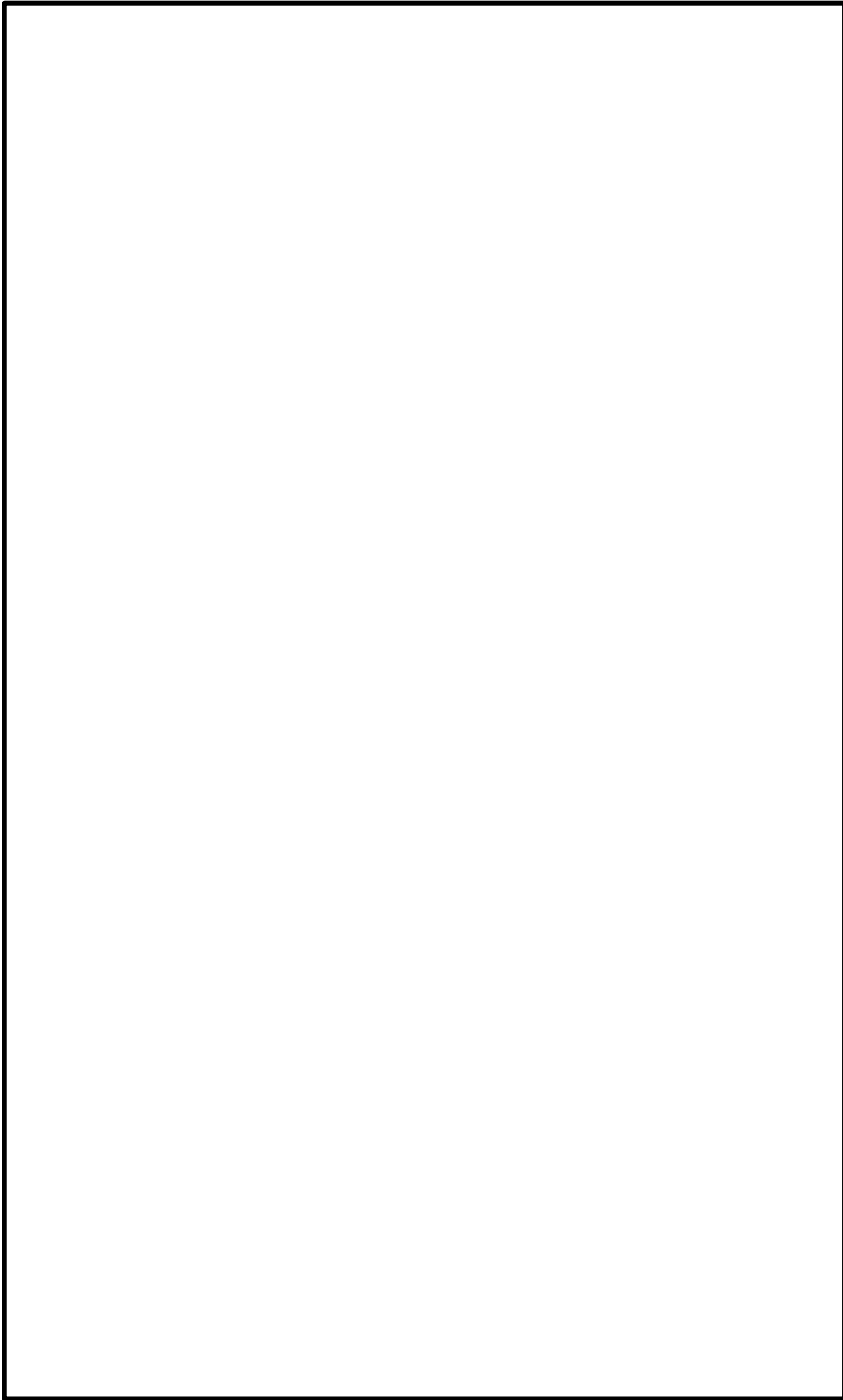


図 4-2 原子炉建物 管理区域 溢水伝播経路概念図 (その 2)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

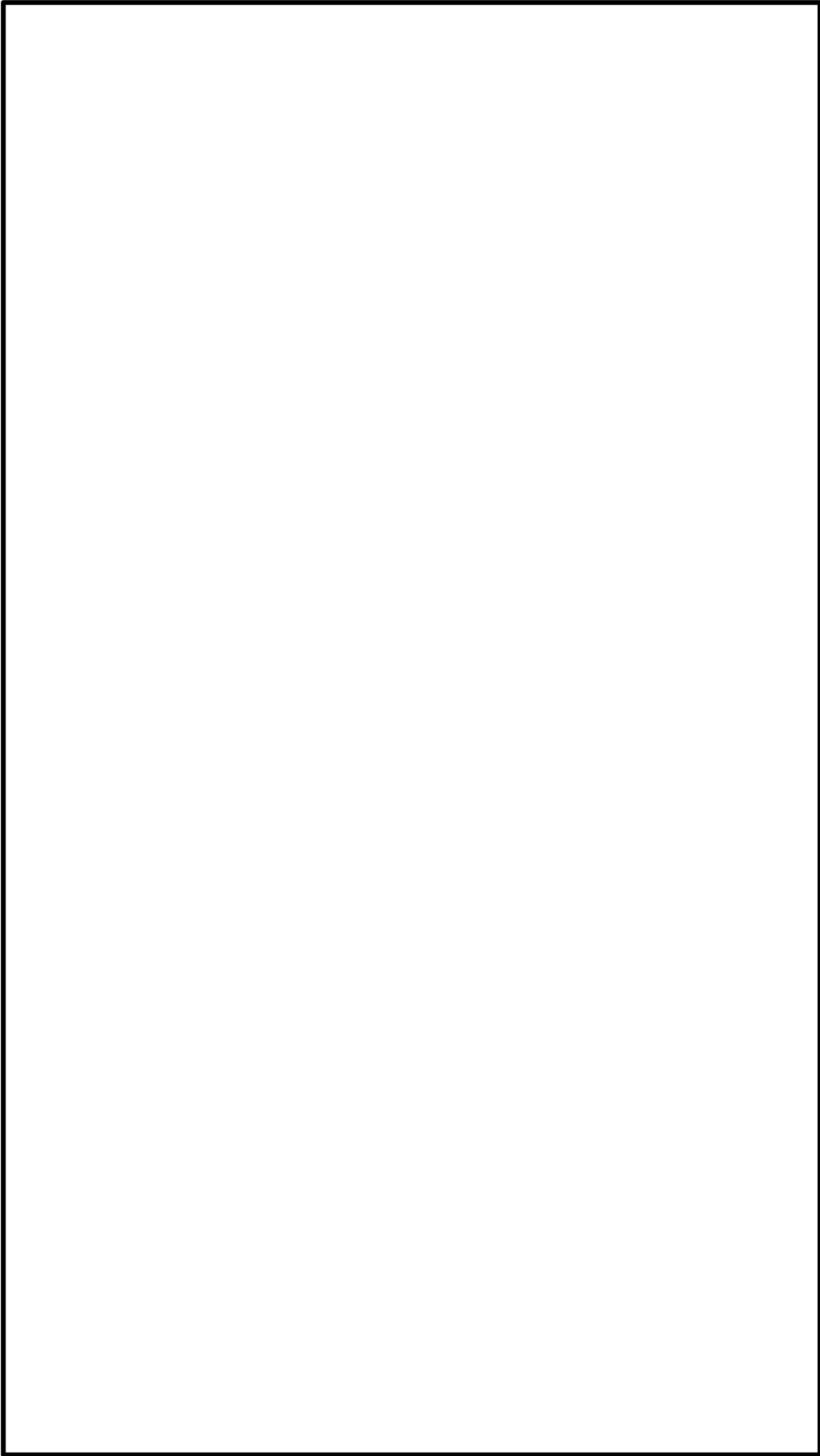


図 4-2 原子炉建物 非管理区域 溢水伝播経路概念図

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

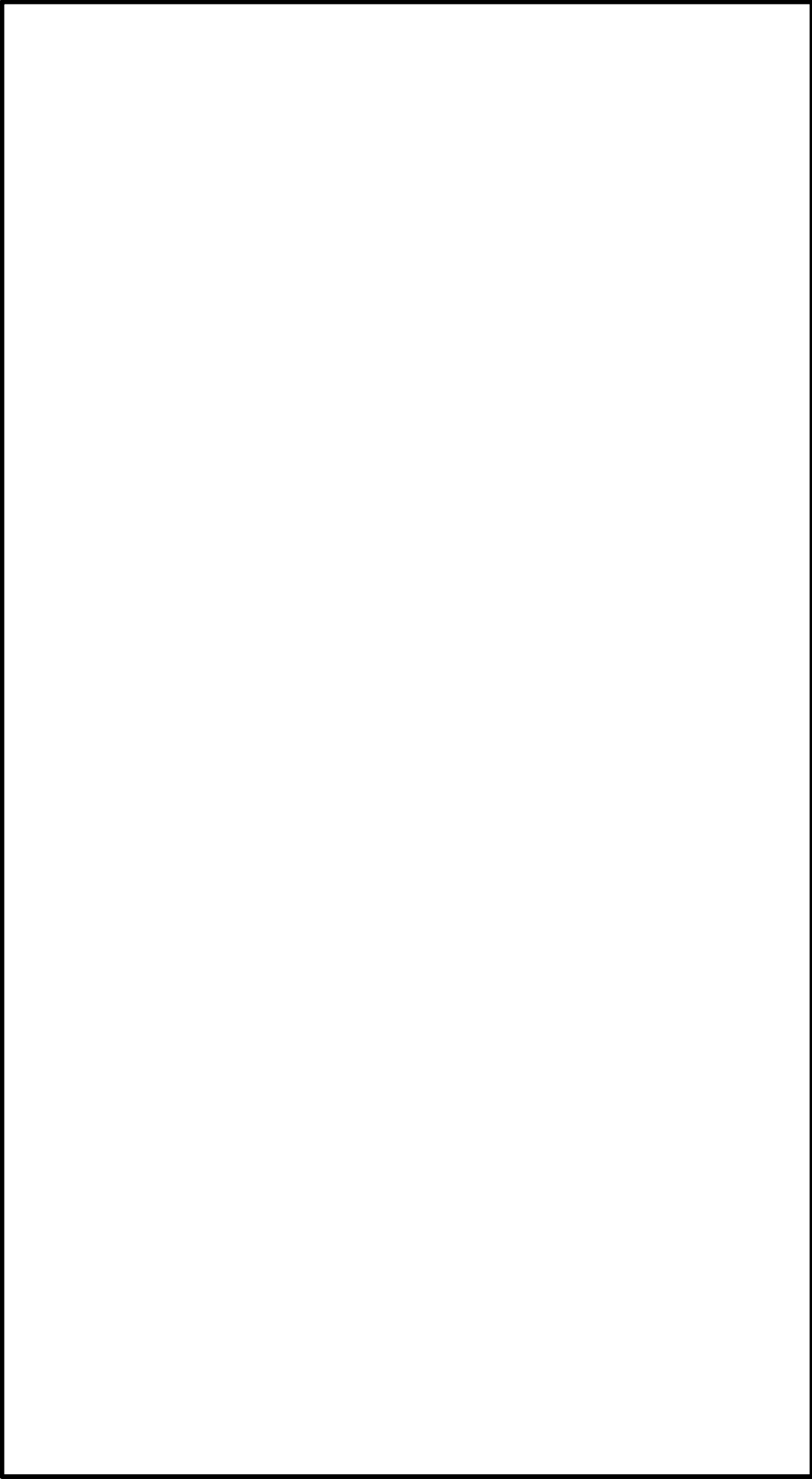


図 4-2 制御室建物 溢水伝播経路概念図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

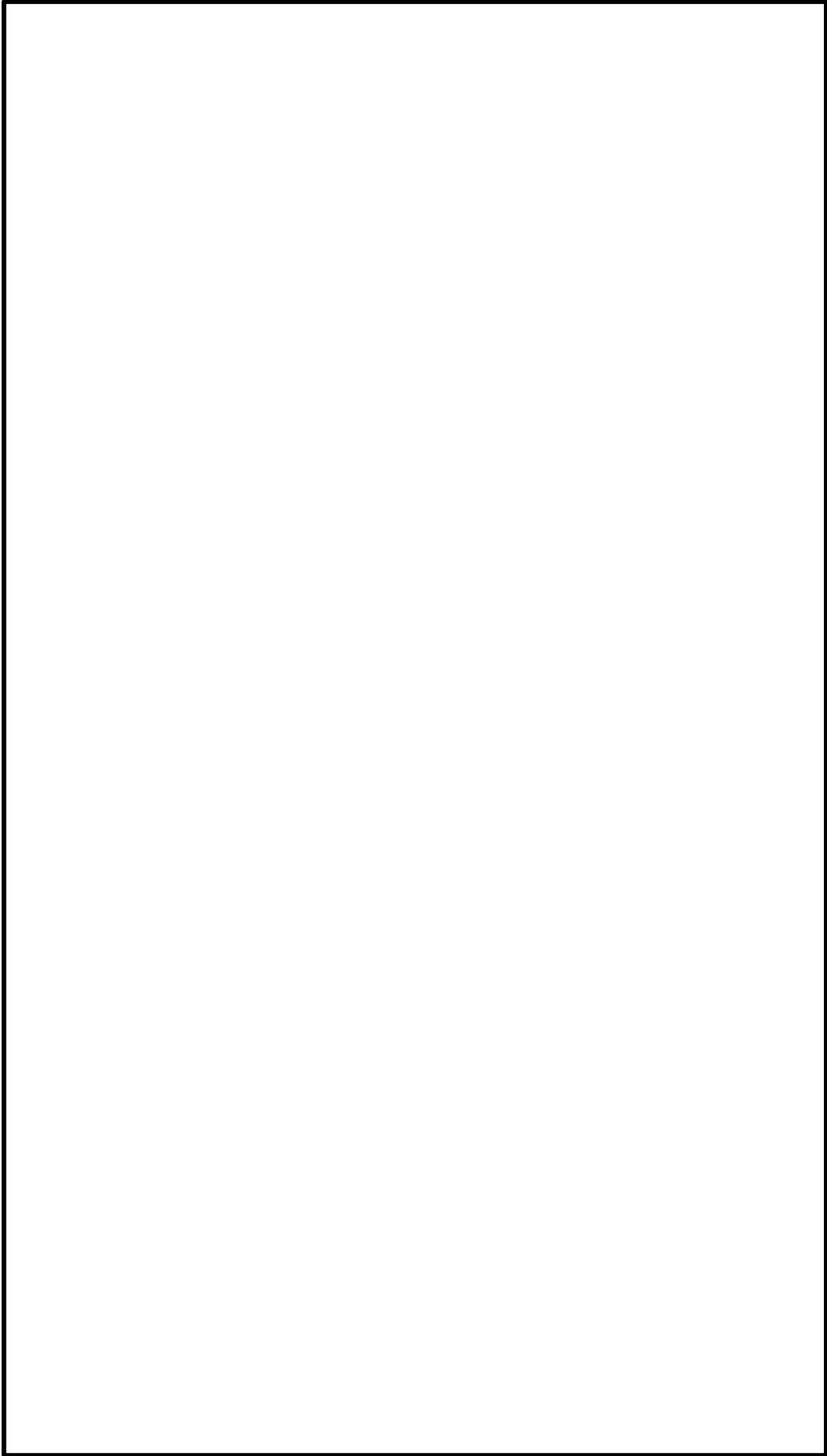


図 4-2 廃棄物処理建物 非管理区域 溢水伝播経路概念図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 4-1 蒸気に対する区域間の溢水経路

溢水防護対象設備を 内包する建物	接続建物	気密要求 ○：気密あり －：気密なし	備考
原子炉建物二次格納施設	原子炉建物付属棟	○	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建物付属棟，タービン建物及び廃棄物処理建物との境界には気密要求あり 主蒸気管破断事故等を想定し，漏えい蒸気を外気へ放出するブローアウトパネルあり
	タービン建物	○	
	廃棄物処理建物	○	
原子炉建物付属棟	原子炉建物二次格納施設	○	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建物二次格納施設，タービン建物及び廃棄物処理建物との境界には気密要求あり
	タービン建物	○	
	廃棄物処理建物	○	
廃棄物処理建物 (溢水防護対象区画)	原子炉建物二次格納施設	○	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建物二次格納施設，原子炉建物付属棟，タービン建物及び制御室建物との境界には気密要求あり 廃棄物処理建物のうち溢水防護区画境界には気密要求あり
	原子炉建物付属棟	○	
	タービン建物	○	
	廃棄物処理建物 (溢水防護対象区画以外)	○	
	制御建物	○	
制御室建物 (溢水防護対象区画)	廃棄物処理建物	○	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理建物との境界には気密要求あり 制御室建物のうち溢水防護区画境界には気密要求あり
	制御室建物 (溢水防護対象区画以外)	○	

5. 想定破損評価に用いる各項目の算出及び影響評価

想定破損による溢水に対し、溢水源毎の溢水量を算出し、4.にて設定した溢水経路をもとに、影響評価を実施する。評価方針としては、あらゆる箇所での溢水の発生を想定した上で、想定破損の溢水による溢水防護対象設備への溢水影響の確認及び機能喪失の判定を実施し、多重性、多様性を有する溢水防護対象設備の安全機能が同時に損なわれないことを確認する。

多重性、多様性を有する溢水防護対象設備の安全機能が同時に損なわれるおそれがある場合は、溢水源、溢水経路、又は溢水防護対象設備に対して、拡大防止対策、影響緩和対策、又は発生防止対策を組み合わせることで安全機能を損なわない設計とする。なお発生防止対策については、評価ガイドに則り応力評価に基づく想定破損の除外を実施することとし、詳細について補足説明資料18に示す。

想定破損に対する評価及び防護方針を図 5-1 に以下に示す。

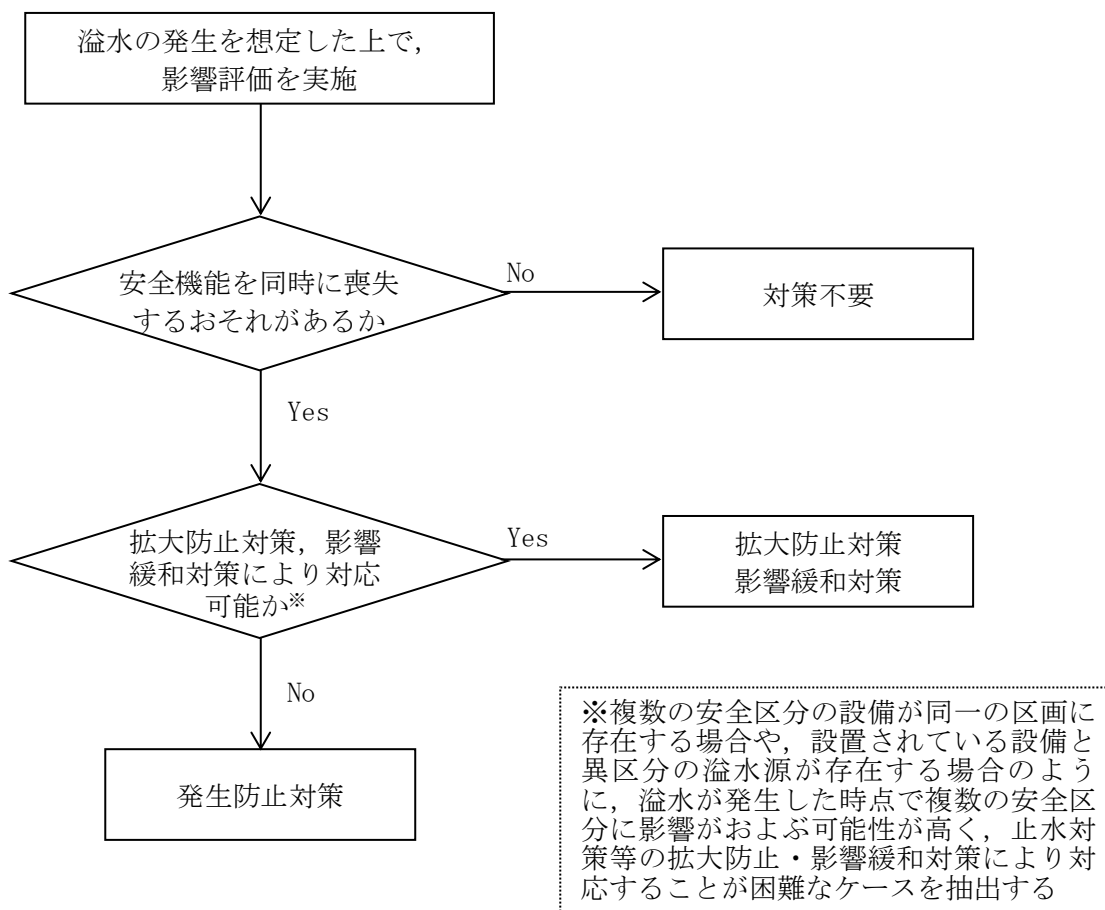


図 5-1 想定破損に対する評価及び防護方針の概要フロー

5.1 溢水量の算定

想定する機器の破損は、一系統における単一の機器の破損とし、他の系統及び機器は健全なものと仮定する。また、一系統にて多重性又は多様性を有する機器がある場合においても、そのうち単一の機器が破損すると仮定する。

5.1.1 溢水流量

破損を想定する機器は配管（容器の一部であって、配管形状のものを含む。）とし、破損形状は内包する流体のエネルギーに応じて以下の2種類に分類した。

○高エネルギー配管^{※1}：完全全周破断

○低エネルギー配管^{※2}：配管内径の1/2の長さで配管肉厚の1/2の幅を有する貫通クラック（以下、「貫通クラック」という。）

なお、高エネルギー配管及び低エネルギー配管の分類は以下とする。

※1 「高エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃を超えるか又は運転圧力が1.9MPa[gauge]を超える配管。ただし、被水及び蒸気の影響については配管径に関係なく評価する。

※2 「低エネルギー配管」は、呼び径25A(1B)を超える配管でプラントの通常運転時に運転温度が95℃以下で、かつ運転圧力が1.9MPa[gauge]以下の配管。ただし、被水の影響については配管径に関係なく評価する。なお、運転圧力が静水頭圧の配管は除く。

評価対象区画への単位時間あたりの流入量、すなわち溢水源となる配管からの単位時間あたりの流出量（以下、「溢水流量」という。）は、完全全周破断の場合は、原則として保守的に系統の定格流量とし、系統上の破断位置、口径、流体圧力等を考慮することにより、より適切な値が定量的に算定できる場合はその値を溢水流量とする。

貫通クラックの場合は、断面積、損失係数、水頭を用いて以下の計算式により求める。

$$Q_{in} = A \times C_{in} \times \sqrt{2 \times g \times H}$$

Q_{in}	： 溢水流量	[m ³ /s]
A	： 断面積	[m ²]
C_{in}	： 損失係数	[-]
g	： 重力加速度	[m/s ²]
H	： 水頭	[m]

ここで損失係数は破断箇所断面形状等をもとに0.82^{※3}とする。また、断面積(A)及び水頭(H)は、原則として系統全体の最大値(最大口径、最大肉厚、配管の最高使用圧力)を使用する。ただし、破断を想定する箇所を特定し、その箇所における口径、肉厚、圧力が明確な場合は、その値を使用する。

※3 溢水流量損失係数について(機械工学便覧 ベルヌーイの実用式より)

$$\text{溢水流量損失係数 } C_{in} = \sqrt{\frac{1}{1+\zeta}} = \sqrt{\frac{1}{1+0.5}} = 0.82$$

ζ : ノズル係数(破損部の入口形状に最も近い係数として0.5とした)
(図5-2の(c)参照)

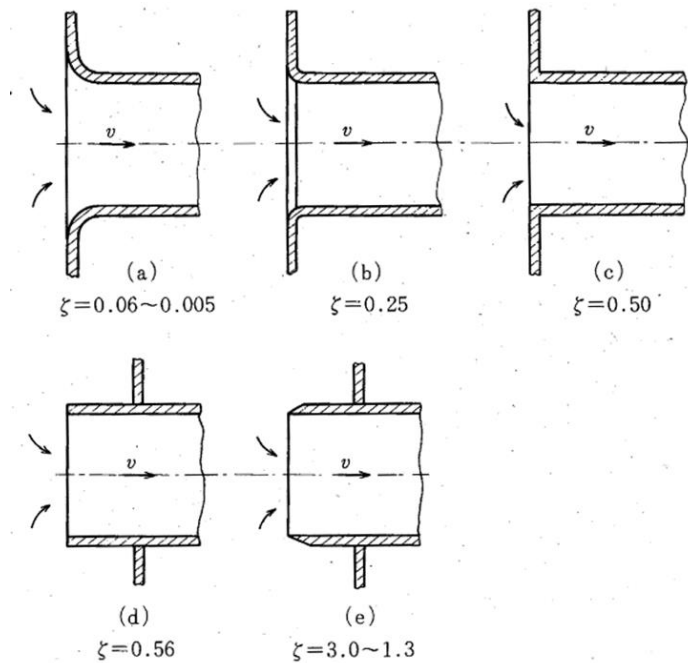


図5-2 管路の入口形状と損失係数

5.1.2 隔離時間

溢水の発生後、溢水を検知し隔離するまでの隔離時間を、手動隔離及び自動隔離のそれぞれの場合を想定し、以下のとおり設定する。なお、隔離に係る現場操作の実現性については補足説明資料6を参照のこと。

(1) 手動隔離

想定破損時の手動隔離時間の算出については、漏えい検知、現場移動、漏えい箇所の特定及び隔離操作等により、下記(i)～(iv)を組合せて算定する(各系統の手動隔離時間は補足説明資料6参照)。

- (i) 漏えい検知器又は床ドレンサンプの警報発信までの時間 10分
- (ii) 中央制御室から現場への移動時間(管理区域の場合は着替え時間を含む) 20分
- (iii) 漏えい箇所特定に要する時間 30分
- (iv) 隔離操作時間
 - ア. 中央制御室での弁閉操作に要する時間 10分
 - イ. 現場での弁閉操作に要する時間 20分

(2) 自動隔離

配管の破断を検知し、各種インターロック等により自動隔離が期待できる復水・給水系、原子炉浄化系及び原子炉補機冷却系については、溢水発生から隔離までの所要時間を個別に設定することとする。溢水評価で考慮するインターロックを表5-1に示す。

表5-1 溢水評価で考慮するインターロック

設置	系統	動作内容	動作条件
既設	復水・給水系	復水ポンプ停止	復水器ホットウェル水位低低
既設	原子炉浄化系	原子炉浄化系入口外側隔離弁閉	原子炉浄化系差流量高
既設	原子炉補機冷却系(非常用)	原子炉補機冷却水ポンプ停止	原子炉補機冷却系サージタンク水位極低
既設	原子炉補機冷却系(常用)	原子炉補機冷却系緊急遮断弁閉	原子炉補機冷却系サージタンク水位極低

5.1.3 系統保有水量

系統保有水量は、配管内及びポンプ等機器内の保有水量の合算値とした。系統保有水量は以下のとおり算出する。

- (1) 保有水量算出対象は水・油・薬品配管系統とする。
- (2) A系、B系など複数に分割される系統は、各々の系統について算出する。
- (3) 配管計装線図において、保有水量を算出する範囲を抽出する。
- (4) 抽出した範囲について、配管施工図を準備する。
- (5) 配管長は、以下を原則として配管施工図より算出する。
 - a. 配管施工図がない場合は、平面図を使用する。
 - b. エルボ、ティー等の管継手部は保守的に配管長を算出する（図 5-3 参照）。
 - c. レデューサは大口径側の口径を使用する。
 - d. バルブ、スペシャリティ、フランジは接続配管の内径面積×面間寸法により算出する。
- (6) 保有水量は、配管長×内径面積により算出する。
- (7) 機器保有水量は公称容量とし、公称容量がない場合は「運転時重量」と「乾燥重量」の差等とする。
- (8) 保有水量の算出にあたっては、評価に保守性を確保する観点から、以下のとおり取り扱う。
 - a. 配管施工図を使用した場合は、計算値に 10%の余裕を確保する。
 - b. 平面図を使用した場合は、計算値に 50%の余裕を確保する。
 - c. 機器保有水量に 10%の余裕を確保する。

ただし、屋外タンク等の公称容量が定められ、想定する保有水量が大きく変動する可能性の少ない機器に関しては、10%の安全率を乗する対象から除外する。

なお、本事項は運用管理が必要となる事項である（別添 2 参照）。

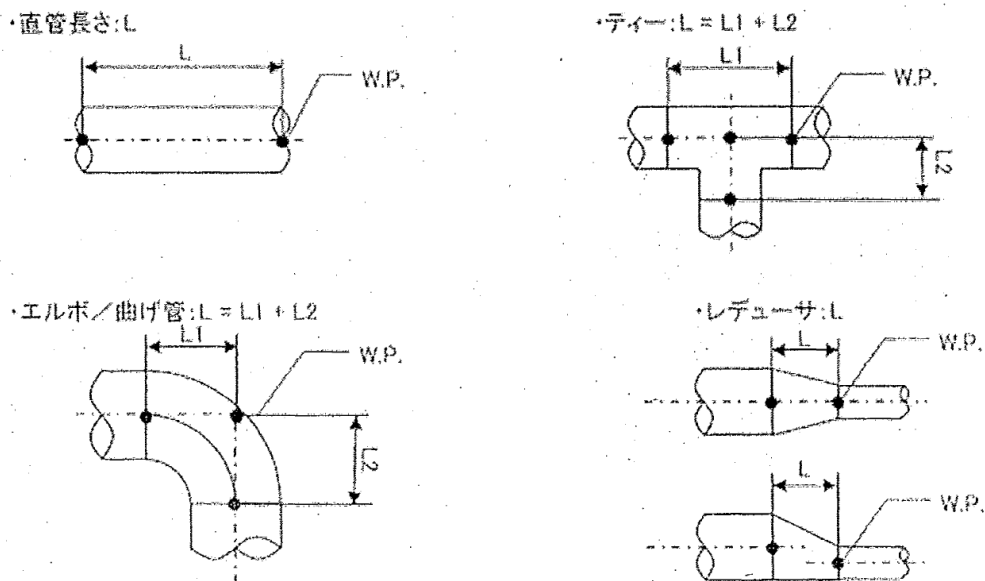


図 5-3 管継手の配管長

5.1.4 溢水量

5.1.1～5.1.3 の条件に基づき、以下の計算式により溢水量を算定する。

$$X = Q \times t + M$$

X : 溢水量 [m³], Q : 溢水流量 [m³/s]

t : 隔離時間 [s], M : 系統保有水量 [m³]

ここで、隔離までの流出量に関しては、当該系統の系統保有水量のみでなく、当該系統への補給水や他系統からの流入等を考慮する。また系統保有水量に関しては、溢水検知による隔離後に系統内の残水の漏えいが継続する可能性を考慮し、保守的に当該系統の全保有水量を加算する。ただし、隔離操作により隔離が可能と判断できる範囲及び配管の高さや引き回し等の関係から流出しないと判断できる範囲が明確に示せる場合は、その範囲を除いた保有水量が溢水するものとして溢水量を算定する。また、補給水や他系統からの流入も含めた当該系統から溢水し得る全保有水量が流出しきるまでに隔離することが困難な場合は、その全保有水量を溢水量として想定することとする。

各系統からの溢水量を添付資料3「溢水源とする機器としない機器について」に、例を図5-4に示す。保有水量として考慮する内容は以下のとおりとする。

- ・ 系統分：当該系統の配管及び機器に内包される保有水量
- ・ 水源分：当該系統に供給する主な水源の保有水量
- ・ 補給分：隔離までの間に当該系統に補給される補給水量
- ・ 他系統との接続：当該系統と接続している他の系統

- 想定破損による溢水量を示す。
- 想定破損における溢水量は、以下の保有水量を考慮した溢水量とする。
 - ・系統分：当該系統の配管及び機器に内包される保有水量
 - ・水源分：当該系統に供給する主な水源の保有水量
 - ・補給分：隔離までの間に当該系統に補給される補給水量
 - ・他系統との接続：当該系統と接続している他の系統

原子炉建物 4階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])				
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内				二次格外 (管理区域)
						R-4F-01-1N	R-4F-04N	R-4F-01-2N	R-4F-02N	R-4F-03N
						1454	9	74	-	19
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) トライフル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	23	38	●	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	91	-	□	-	-	-	-
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	57	1	●	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	31	8	●	-	-	-	-
FP	消火系		○	65	57	●	-	-	-	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
slosh1 (SFP)	スロッシング(オペフロ)			-	130	●	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震Bクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

- 溢水源となり得る機器が設置されている区画における溢水源の有無を示す。
- 想定破損による溢水評価では、機器の耐震性は考慮しないため、●又は□を入力している系統のうち最大溢水量となる系統からの溢水を想定する。

図 5-4 溢水源となり得る機器の設置区画及び溢水量 (例)

5.2 想定破損による没水影響評価

単一機器の破損により生じる溢水箇所を起点とし、溢水経路を経由して最終的な滞留箇所には到達するまでを一つの評価ケースと定め、溢水経路に位置する全ての溢水防護区画（以下、「評価対象区画」という。）における溢水水位を算定した。算定した溢水水位と評価対象区画内の溢水防護対象設備の機能喪失高さとを比較することにより、当該設備の機能への影響を評価し、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プール冷却機能及び給水機能が維持されるかを判定する。

この一連の評価を、想定される全ての単一の機器の破損ケース毎に実施し、結果として全ての評価ケースにおいて、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること、燃料プール冷却機能及び給水機能が維持されることを確認する。

想定破損による没水影響評価フローを図 5-5 に示す。

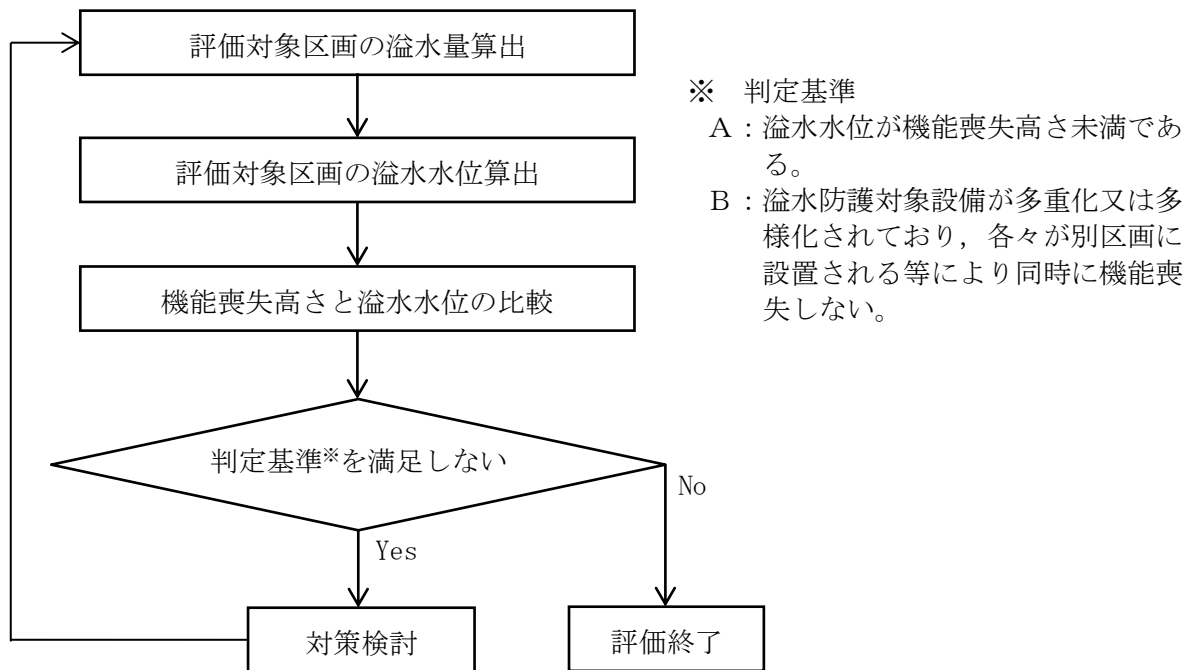


図 5-5 想定破損による没水影響評価フロー

(1) 評価方法

評価対象区画に対して、以下の方法により想定破損による没水影響評価を実施した。

a. 溢水量の算出

系統毎に以下の手法を用いて溢水量の算出を行った。

- ・原子炉建物，廃棄物処理建物は階層及び系統毎，その他の建物は系統毎の保有水量を算出した。
- ・漏えいが発生した場合の検知方法や運転員が事象を判断する際のパラメータ等を整理し，隔離により漏えいを停止するまでの時間に溢水流量を乗じ，さらに流出する系統の保有水量を加えて溢水量を算出した。

b. 溢水水位の算出

・溢水水位その1

溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。

$$\text{溢水水位 [m]} = \text{溢水量 [m}^3\text{]} / \text{滞留面積 [m}^2\text{]} + \text{床勾配 [m]}$$

・溢水水位その2

開口部等から流出を期待する場合は，評価対象区画への破損箇所からの単位時間あたりの流入量と評価対象区画にある開口部等からの流出量とが等しくなるとき最高水位となるため，この時の水位を算出した。

c. 機能喪失高さとの溢水水位の比較

溢水防護区画毎に当該区画で機能喪失高さが最も低い設備を選定し機能喪失高さに対し，溢水水位にゆらぎを考慮しても機能喪失しないことを確認した。

(2) 評価ケースの設定

防護対象区画で想定する単一機器の破損により生じる全ての溢水箇所を起点とし，区画毎に没水評価を実施する。算定した溢水水位と当該区画内の防護対象設備の機能喪失高さを比較することにより，当該設備の機能への影響を評価し，原子炉の停止機能，冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること，使用済燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認する。

以下に評価結果の代表例を示す。

単一機器の破損評価では，同一区画の一部の防護対象設備の機能に影響を及ぼすものの，区画分離の実施により同一の安全機能を有する他の区画（他系列）の機器機能は維持される。このため，代表例としては，流下経路の異なる安全区分毎に，最も溢水量の大きいケースを選定する。

○溢水発生区画

：原子炉建物地下1階 HPCS ポンプ室冷却機室 (R-B1F-09N)

○溢水源

：R-B1F-09N 内に敷設されている全溢水源とそれらの溢水量を以下表 5-2 にまとめる。これより最も溢水量の大きい高圧炉心スプレイ系を溢水源として設定する。

表 5-2 対象区画の溢水源

敷設されている溢水源	溢水量 (m ³)	代表溢水源
高圧炉心スプレイ補機冷却系	43	
高圧炉心スプレイ系	495	○
復水輸送系	65	
消火系	77	

(3) 溢水伝播評価

溢水伝播経路概念図を用いて、(2)の評価ケースにおける最終滞留区画に到達するまでの溢水経路に位置する溢水防護区画の溢水水位を評価する。評価は溢水発生区画(評価対象区画)を起点(一次)とし、隣接する区画(接続区画)への伝播を段階的に二次、三次と進め、それを最終滞留区画まで実施する。

以下に段階毎の溢水水位の評価結果、及び溢水伝播経路図を示す。

なお、ここで示す溢水評価は基本設計段階での評価であり、今後各種対策の実現性・詳細設計等を精査するに伴い変更が必要となる場合は、適宜反映することとする。

【水位算出方法（例示）】

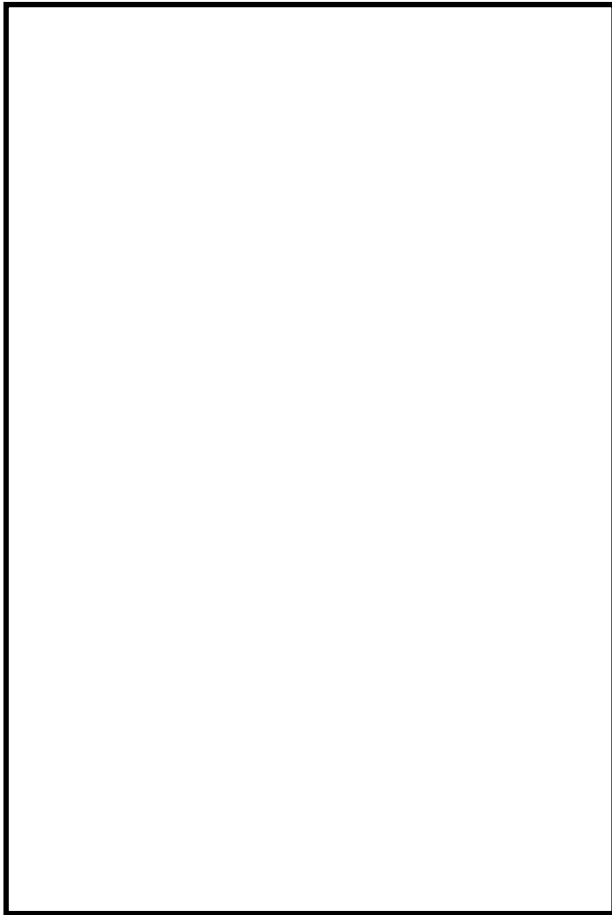
- (1) 評価対象区画の溢水水位を導出する。
 $\text{④溢水水位} = \text{①溢水量} / \text{②滞留面積} + \text{③床勾配}$
- (2) 評価対象区画から接続区画への伝播の有無を判定する。
 $\text{⑥伝播「有」} : \text{⑤伝播開始高さ} < \text{④溢水水位}$
 $\text{⑥伝播「無」} : \text{⑤伝播開始高さ} \geq \text{④溢水水位}$
- (3) (2) 接続区画への伝播有無判定で伝播「有」となった区画を次段階の評価対象区画として選定する。
 (例) 二次伝播評価対象区画は、一次伝播評価で「⑥伝播」判定が「有」となっている R-B1F-33N, R-B2F-10N, R-B2F-31N を対象として評価



一次伝播評価	評価対象区画		
	R-B1F-09N		
①溢水量 [m ³]	②滞留面積 [m ²]		
495	22		
③床勾配 [m]	④溢水水位 [m]		
0.075	0.17		
溢水発生区画。床開口部が存在しており、単位時間当たりの流入流量と開口部からの流出流量が等しくなくなるときの最高水位となるため、溢水水位は 0.17 [m] となる。 （「補足説明資料 4 開口部等からの排出について」参照）			
接続区画への伝播有無判定			
接続区画	境界形態	⑤伝播開始高さ [m]	⑥伝播
R-B1F-33N	扉	0	有
R-B2F-10N	開口	0	有
R-B2F-31N	扉・開口	0	有

図 5-6 溢水伝播範囲（代表例：1/3）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



二次伝播評価	評価対象区画		
	R-B2F-10N		
①溢水量[m ³]	②滞留面積[m ²]		
495	52		
③床勾配[m]	④溢水水位[m]		
0.075	9.6		
R-B1F-09N から床開口部を介した伝播であり、全溢水量が伝播すると考 える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に 考慮する。			
接続区画への伝播有無判定			
接続区画	境界形態	⑤伝播開始高さ[m]	⑥伝播
R-B2F-27-2N	扉	0	有
R-B2F-31N	水密扉*	0*	有

※止水方向と逆方向伝播の為、保守的に伝播するものとする。

二次伝播評価	評価対象区画		
	R-B1F-33N		
①溢水量[m ³]	②滞留面積[m ²]		
495	1		
③床勾配[m]	④溢水水位[m]		
0.075	21.6		
R-B1F-09N から扉を介した伝播の為、全溢水量を R-B1F-09N との合計面 積で割った溢水水位 (21.6m) を算出。			
接続区画への伝播有無判定			
接続区画	境界形態	⑤伝播開始高さ[m]	⑥伝播
無			

図 5-7 溢水伝播範囲 (代表例: 2/3)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

二次伝播評価	評価対象区画		
	R-B2F-31N		
①溢水量[m ³]	②滞留面積[m ²]		
495	988		
③床勾配[m]	④溢水水位[m]		
0.075	0.58		
R-B1F-09N から扉を介し、トーラス室上部から流下する為、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。			
接続区画への伝播有無判定			
接続区画	境界形態	⑤伝播開始高さ[m]	⑥伝播
R-B2F-02N	水密扉	7.0	無
R-B2F-09N	水密扉	7.0	無
R-B2F-10N	水密扉	7.0	無
R-B2F-15N	水密扉	7.0	無

二次伝播評価	
R-B2F-31N	
①溢水量[m ³]	②滞留面積[m ²]
495	988
③床勾配[m]	④溢水水位[m]
0.075	0.58
R-B1F-09N から扉を介し、トーラス室上部から流下する為、全溢水量が伝播すると考える。また上方からの落水であることから、被水による影響も同時に考慮する。	
接続区画への伝播有無判定	
接続区画	境界形態
無	無

三次伝播評価	評価対象区画
	R-B2F-27-2N
①溢水量[m ³]	②滞留面積[m ²]
495	4
③床勾配[m]	④溢水水位[m]
0.075	8.92
R-B2F-10N から扉を介した伝播の為、全溢水量を R-B2F-10N との合計面積で割った溢水水位 (8.92m) を算出。	
接続区画への伝播有無判定	
接続区画	境界形態
無	無
	⑤伝播開始高さ[m]
	⑥伝播

図 5-8 溢水伝播範囲 (代表例 : 3/3)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

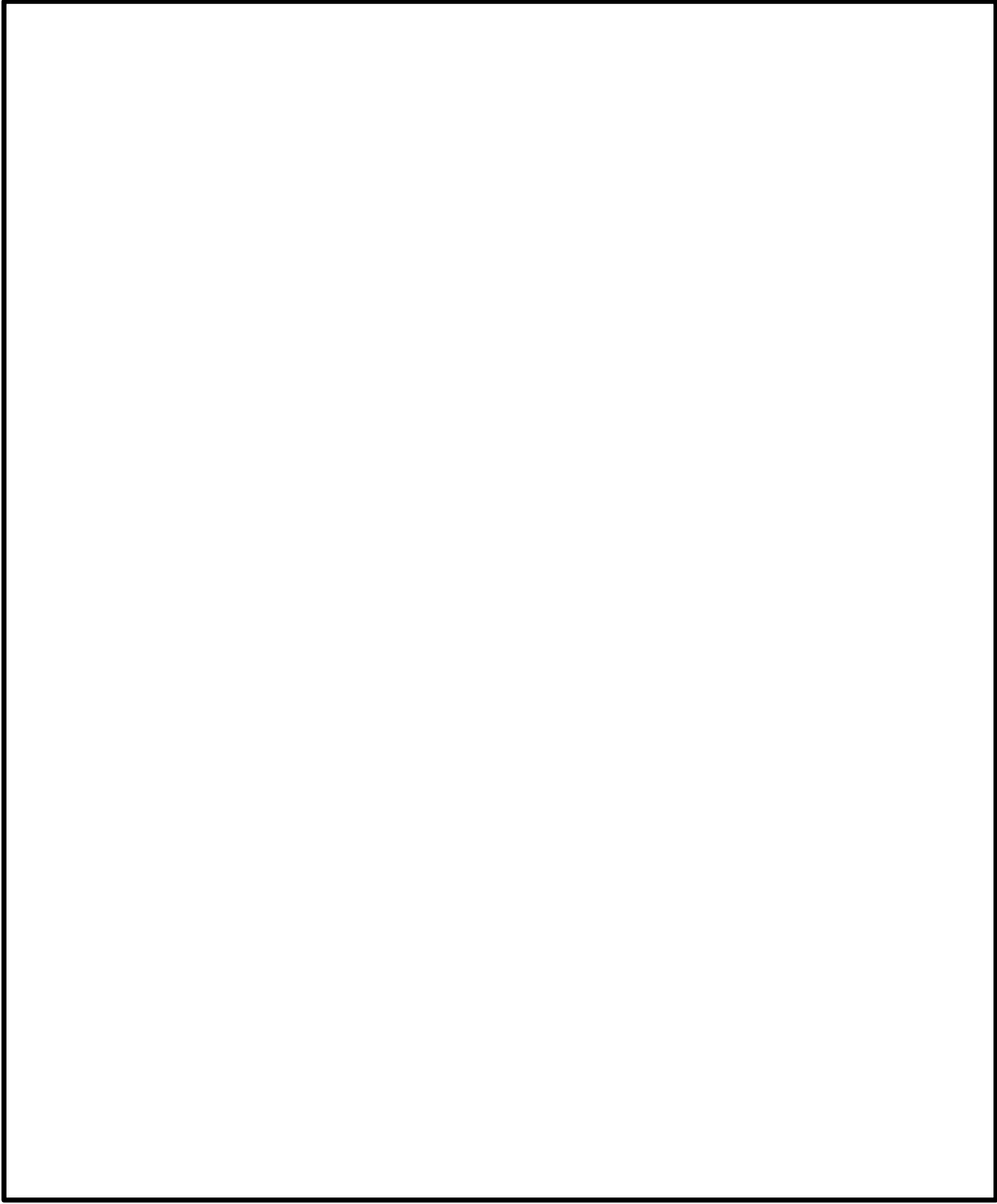
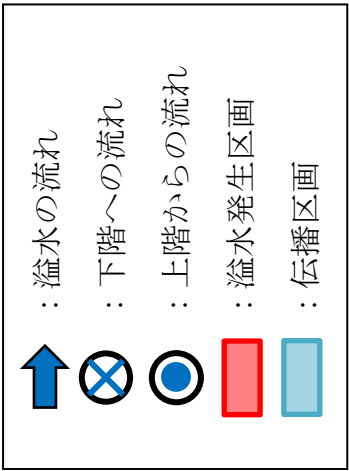
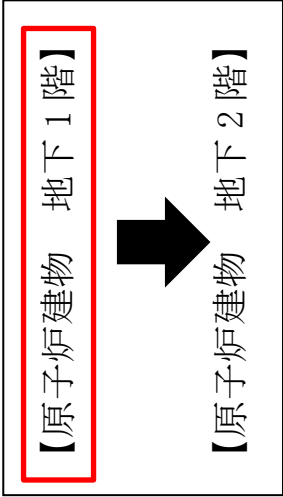


図 5-9 溢水伝播経路図(代表例：1/2)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

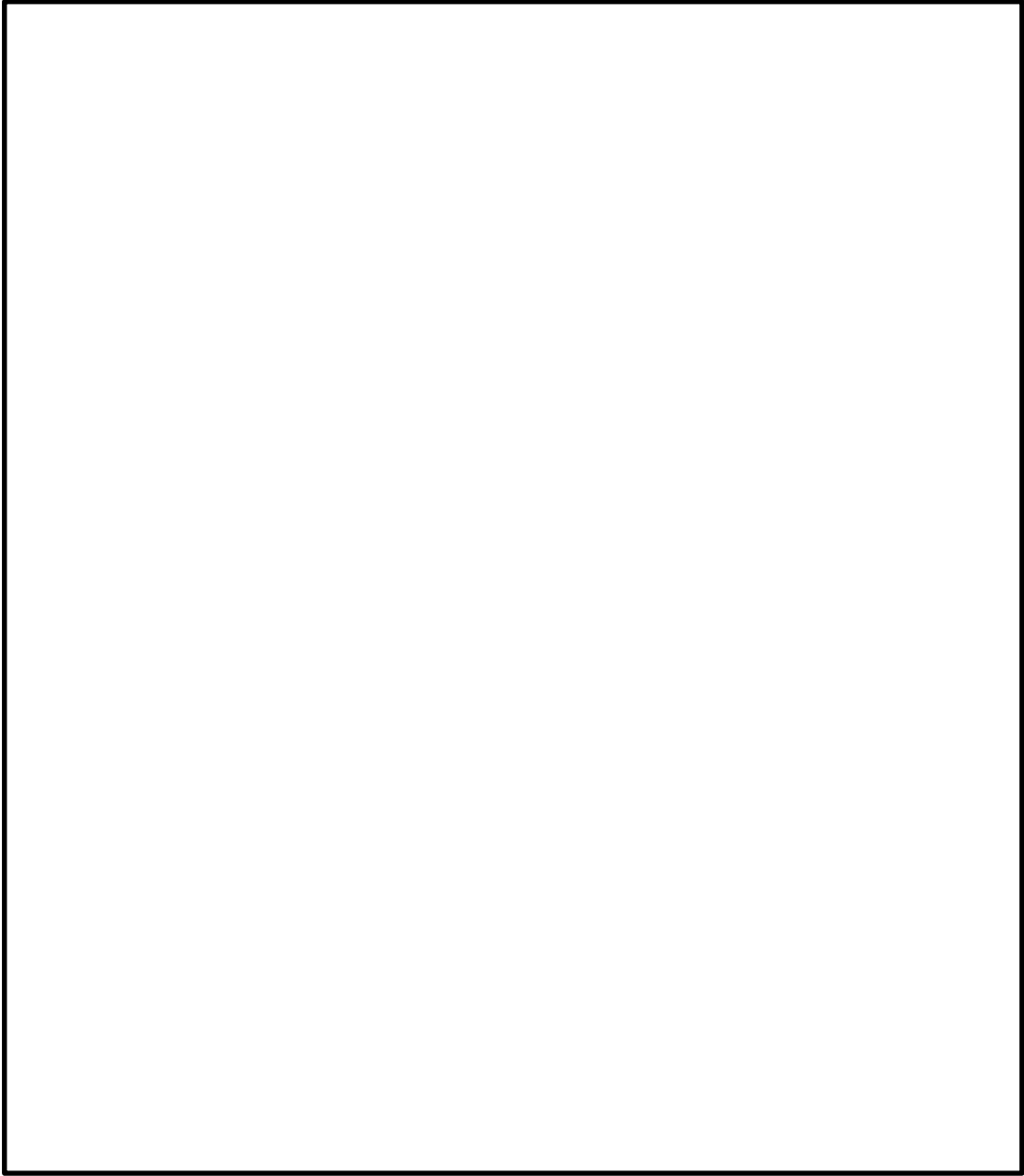
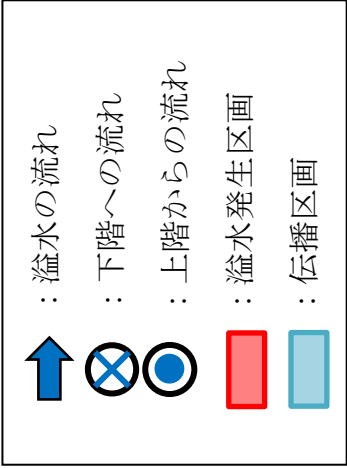
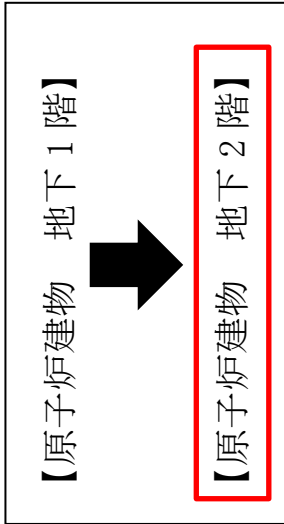


図 5-10 溢水伝播経路概略図(代表例 : 2/2)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(4) 没水影響評価例

(3) 項にて実施した溢水伝播評価の結果をもとに、各溢水防護対象設備の機能喪失判定を実施し、表 5-3、5-4 に示す。

表 5-3 没水影響評価 (例) (1/2)

防護対象区画	溢水防護対象設備	機器番号	溢水水位[m]	機能喪失高さ[m]	判定	
					没水※1	被水※2
			0.17	0.33	○	×
				0.40	○	×
			21.6	—	—	—
				4.54	×	×
			9.6	4.54	×	×
				2.36	×	×
				2.37	×	×
			8.92	1.72	×	×
				—	—	—
				9.96	○	○
			0.58	9.91	○	○
				11.1	○	○
				11.1	○	○
				9.8	○	○
				10.54	○	○
				11.35	○	○

※1：溢水水位にゆらぎを考慮した評価を実施。

※2：上階からの溢水伝播がある場合は被水による影響も評価する。ない場合は評価不要とし、「—」で示す。(「5.3 想定破損による被水影響評価」参照)

表 5-4 没水影響評価結果 (例) (2/2)

防護対象区画	溢水防護対象設備	機器番号	溢水水位[m]	機能喪失高さ[m]	判定	
					没水※1	被水※2
			0.58	10.7	○	○
				10.4	○	○
				7.42	○	○
				7.64	○	○
				7.65	○	○
				7.63	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.74	○	○
				9.7	○	○
				10.1	○	○
8.7	○	○				
8.57	○	○				

※1：溢水水位にゆらぎを考慮した評価を実施。

※2：上階からの溢水伝播がある場合は被水による影響も評価する。ない場合は評価不要とし、「－」で示す。(「5.3 想定破損による被水影響評価」参照)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(5) 判定

表 5-3, 5-4 の没水影響評価例で示した各溢水防護対象設備の機能喪失判定を踏まえ、プラント全体として安全機能が保たれているかについて判定を実施する。

表 5-3, 5-4 の例においては、一部の溢水防護対象設備の機能に影響を及ぼすものの、同一の安全機能を有する他の系列の溢水防護対象設備の機能は維持される。

したがって、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること、燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることから、判定基準を満足する（表 5-5 参照）。

表 5-5 没水による安全機能への影響評価 (例)

評価種別	既定設置	備考
没水発生区画	R-31F-QFN	総合判定 ○
没水源	高圧中心スプレイス	
没水範囲	3F5	

評価対象	安全機能	未触発時機能		原子炉内即時停止機能		低圧時機能		圧力逃がし機能		崩壊熱除去機能	
		RCU(A) RCU(B)	SLC(A) SLC(B)	RCIC HPCS	ABS(I) RBE(A) or LACS	ABS(D) (RBE(B) or RBE(C))	HPCS	SRV(I) SRV(II)	ABS(I) ABS(II)	RBE(A) RBE(B)	SRV(I) or ABS(I) (RBE(A) or LACS) and RBE(A)
機能判定	○	○	○	○	2区分以上	○	○	○	○	○	○
系統種別判定	RCU(A) RCU(B)	SLC(A) SLC(B)	RCIC HPCS	ABS(I) RBE(A) or LACS	ABS(D) (RBE(B) or RBE(C))	HPCS	SRV(I) SRV(II)	ABS(I) ABS(II)	RBE(A) RBE(B)	SRV(I) or ABS(I) (RBE(A) or LACS) and RBE(A)	SRV(II) or ABS(II) (RBE(B) or RBE(C) and RBE(D))
系統名	制御棒及び 燃料調整棒 (水圧調整ユニット)	はり剛水柱入系	原子炉 冷却系	自動減圧系+ A-系熱除去系 (低圧時スプレイス系)	自動減圧系+ B-系熱除去系 (低圧時スプレイス系)	高圧中心 スプレイス系	高圧中心 スプレイス系 逃がし安全弁	自動減圧系	高圧中心 スプレイス系 (低圧時スプレイス系)	高圧中心 スプレイス系 (低圧時スプレイス系)	高圧中心 スプレイス系 (低圧時スプレイス系)
系統区分	A B	A B	-	A -	- B C	-	-	-	A B	- A -	- B C B
安全区分	I II	I II	III	I I	II II	III	I II	I II	I II	I I	II II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	安全機能	機能判定	系統種別判定	系統名	系統区分	安全区分	判定	原子炉施設											
								燃料貯蔵槽内の 可燃性物質の 濃度低減機能	燃料貯蔵槽内の 可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	種別冷却機能/ 冷却用熱交換器機能	原子炉制御系 非常用熱交換器機能	事故時排気機能	冷却機能	給水機能	監視 機能			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統種別判定	RBE(A) or RBE(B)	隔離弁(内側) or 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	2区分以上	2区分以上	HVCA) or HVCB)	A系 or B系	RBE(A) or RBE(B)	FPCA) or FPCB)	RBE(A) or RBE(B)	RBE(A) or RBE(B)	FPCA) or FPCB)	RBE(A) or RBE(B)	-	-	-	-		
系統名	燃料調整棒系 (燃料調整棒ユニット)	燃料調整棒調整弁	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	原子炉種別冷却系 高圧中心スプレイス種別冷却系 高圧中心スプレイス種別熱交換器系	事故時排気系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系	燃料貯蔵槽系		
系統区分	A B	-	A B	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-	-	-	-		
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II		
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

(6) 評価結果

代表例で示した評価ケース以外の結果について、添付資料5に示す。

想定した溢水に対し、必要な対策を行うことで原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること、燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認した。

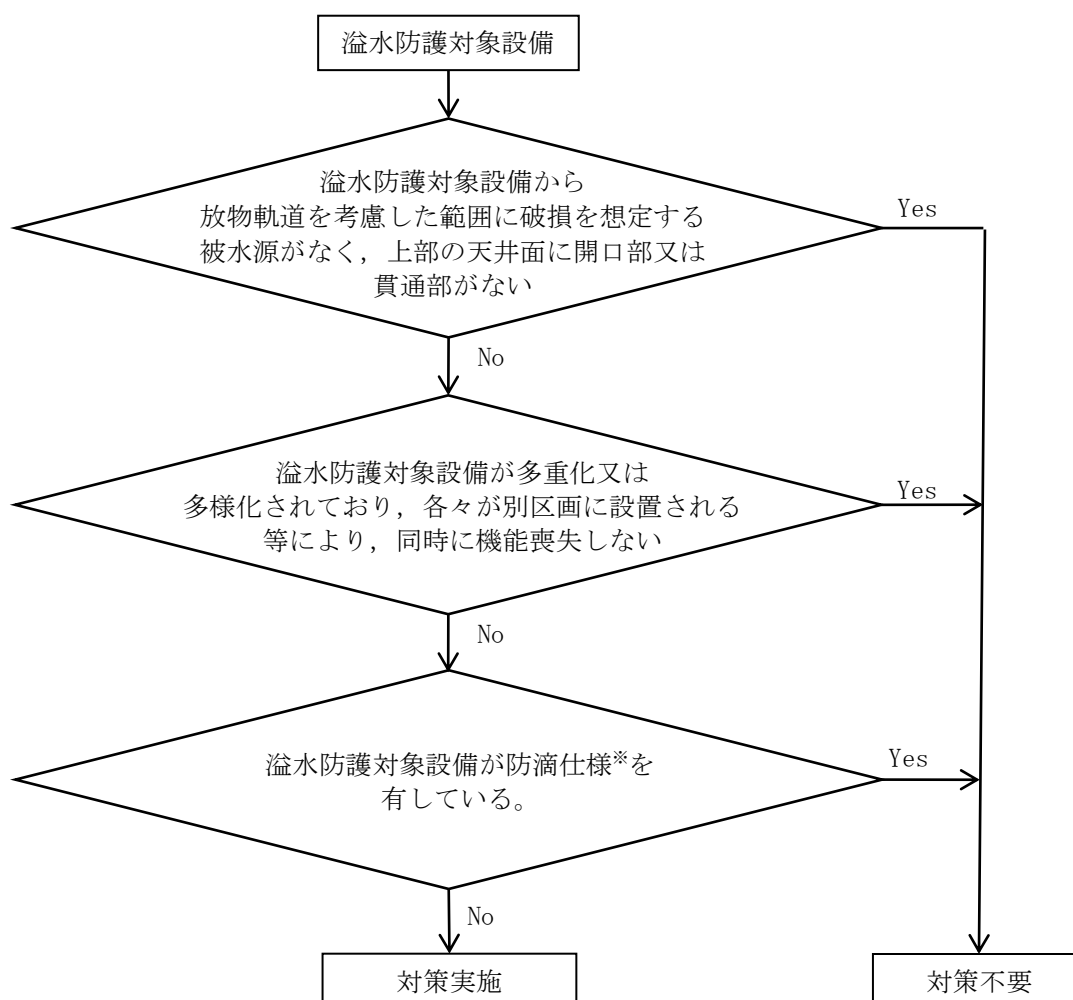
5.3 想定破損による被水影響評価

溢水源を内包する溢水防護区画における単一機器の破損による被水の発生に対し、溢水防護対象設備の被水影響評価を行い、当該設備の機能への影響を評価し、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プール冷却機能及び給水機能が維持されるかを判定する。

(1) 評価方法

想定破損による直接の被水並びに溢水経路にある天井面の開口部又は貫通部からの被水に対し、溢水防護対象設備の被水影響評価を行った。

想定破損による被水影響評価フローを図 5-11 に示す。



※ 防滴仕様とは、「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様、又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策を示す。

図 5-11 想定破損による被水影響評価フロー

(2) 被水影響評価(例)

評価結果の例として、非常用電気室に敷設されている消火系配管の貫通クラックによる被水影響評価を表 5-6 及び図 5-12 に示す。本評価例の場合、当該区画の溢水防護対象設備は機能喪失する可能性があるが、溢水防護対象設備は多重化され非常用電気室は区画化により系統分離されていることから、2 系統が同時に機能喪失しない結果となる。

想定した被水の影響に対し、必要となる対策を実施することにより原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。

表 5-6 非常用電気室に敷設されている消火系配管による被水影響評価例

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源, 天井開口又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定基準*	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
所内電気設備系	-	非常用マックラ盤 (2C-M/C)	R-2F-04N	-	○	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	非常用マックラ盤 (2D-M/C)	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	

※ 判定基準

- A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
- B : 溢水防護対象設備が多重化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
- C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

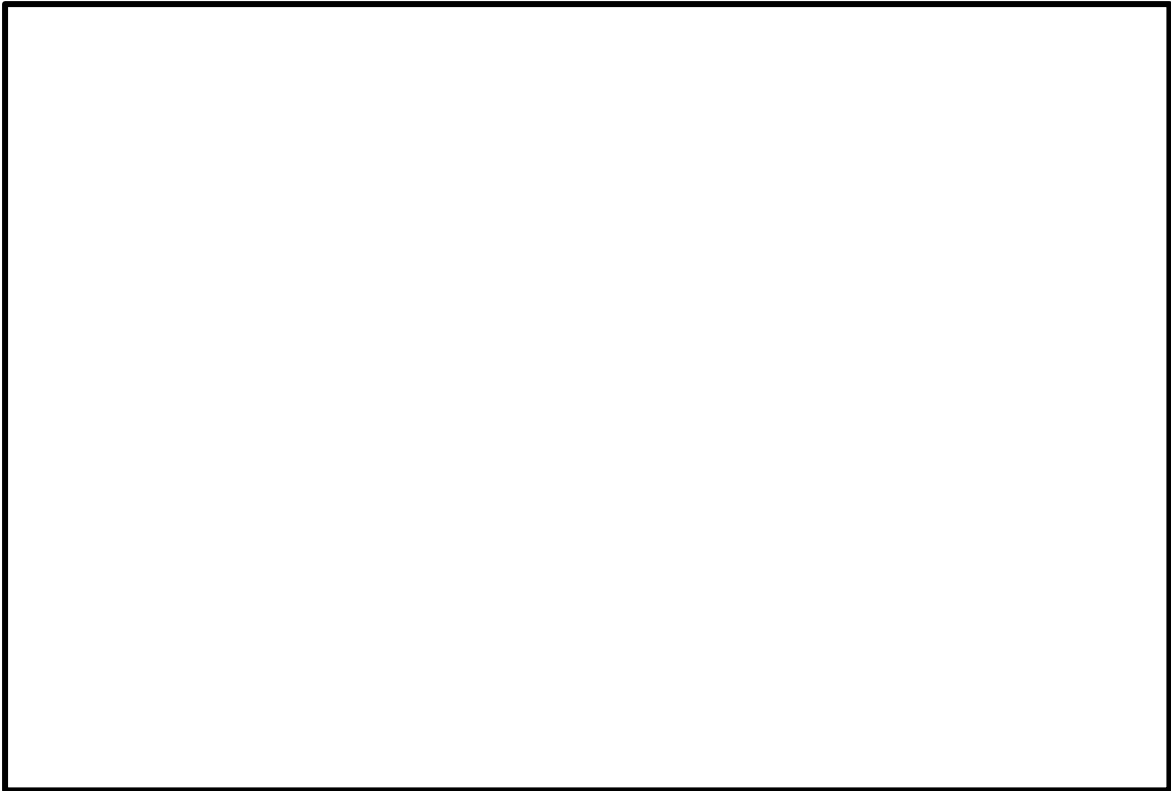


図 5-12 非常用電気室の消火系配管の被水影響評価において溢水防護対象設備の多重化により同時に機能喪失しないと評価した例

(3) 評価結果

想定破損による被水影響評価結果を添付資料 5 に示す。

想定した被水の影響に対し、必要となる対策を実施することにより原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

5.4 想定破損による蒸気影響評価

高エネルギー配管の破損により放出される蒸気に対して、溢水防護対象設備の蒸気影響評価を行い、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認する。

(1) 評価方法

高エネルギー配管の破損により生じる蒸気発生源の有無、伝播経路、溢水防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、溢水防護対象設備の蒸気影響評価を行った。想定破損による蒸気影響評価フローを図 5-13 に示す。

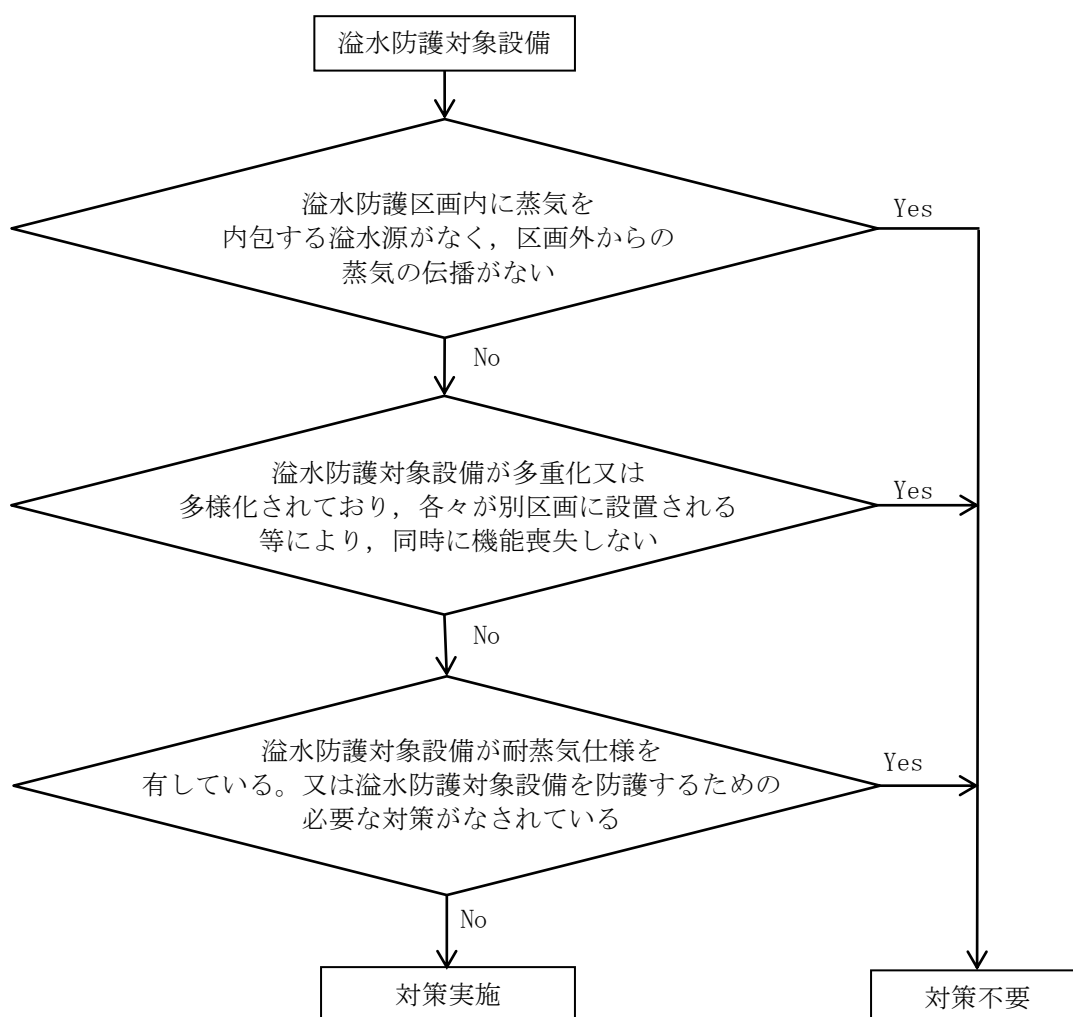


図 5-13 想定破損による蒸気影響評価フロー

(2) 評価結果

想定破損による蒸気影響評価結果を添付資料5に示す。

想定した蒸気の影響に対し、必要となる対策（配管のルート変更等）を実施することにより原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。

5.5 想定破損による影響評価結果

想定破損による没水、被水、蒸気の影響評価を行い、全ての評価ケースにおいて原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認した。

なお、対策の設計方針に関しては以下を参照のこと。

- 拡大防止対策：添付資料4 溢水影響評価において期待することができる設備
 - 「2.1.1 止水措置」
 - 「2.2 溢水防護対策設備設置箇所」

- 影響緩和対策：添付資料4 溢水影響評価において期待することができる設備
 - 「2.1.2 排水措置」補足説明資料4 開口部等からの排出について

- 発生防止対策：添付資料2 溢水源の分類及び運用について
 - 「2. 所内蒸気系の隔離運用について」補足説明資料18 配管の破損位置及び破損形状の評価について

6. 消火水評価に用いる各項目の算出及び影響評価

火災時の消火水系統からの放水による溢水を想定し、溢水防護対象設備に対する溢水影響を評価した。

6.1 溢水量の算定

消火活動等に伴う放水による溢水影響評価に用いる溢水量は、消火活動時に使用する消火栓からの放水量として以下のとおり算定する。

(1) 溢水流量

屋内の消火栓からの溢水量の算出に用いる溢水流量は、消防法施行令第十一条に規定される「屋内消火栓設備に関する基準」により、屋内消火栓からの放水量を 130 l/min とし、この値を 2 倍して溢水流量とした。

$$\begin{aligned}\text{溢水流量（屋内消火栓）} &= 130 \text{ [l/min]} \times 2 \text{ (倍)} = 260 \text{ [l/min]} \\ &= 15.6 \text{ [m}^3\text{/h]}\end{aligned}$$

屋外の消火栓からの溢水量の算出に用いる溢水流量は、消防法施行令第十九条に規定される「屋外消火栓設備に関する基準」により、屋外消火栓からの放水量を 350 l/min とし、この値を 2 倍して溢水流量とした。

$$\begin{aligned}\text{溢水流量（屋外消火栓）} &= 350 \text{ [l/min]} \times 2 \text{ (倍)} = 700 \text{ [l/min]} \\ &= 42.0 \text{ [m}^3\text{/h]}\end{aligned}$$

(2) 放水時間

消火活動における消火水の放水時間は、評価ガイドに従い原則 3 時間に設定した。ただし、火災源が小さい一部の区画については、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5 (1) (表 4-3 火災荷重と等価時間について)に従い、放水時間を設定した。

(3) 溢水量

溢水流量と放水時間から評価に用いる消火栓からの溢水量を以下のとおりとした。

- ・ 溢水量（屋内消火栓） = 15.6 [m³/h] × 放水時間
- ・ 溢水量（屋外消火栓） = 42.0 [m³/h] × 放水時間

6.2 消火水の放水による没水影響評価

消火活動等に伴う放水による溢水影響評価は、基本的に想定破損による没水・被水影響評価と同様である。ただし、火災による影響を考慮し、想定破損による没水、被水影響評価と異なる部分について以下に示す。

6.2.1 溢水の発生を想定する区画

火災の発生を想定する区画であって、消火栓による消火活動に伴う溢水の発生する区画はガス系消火設備又は消火器による消火を基本的な消火戦略として想定していない区画とする。消火活動に伴う溢水の発生を想定する区画を添付資料

6に示す。

なお、消火活動の詳細については、「火災防護計画」に定める消火活動手順に記載する。

6.2.2 消火水の放水による溢水防護対象設備への影響

火災が発生した区画に存在する溢水防護対象設備は、保守的に消火水の放水の影響により機能喪失していると想定する。ただし、火災発生箇所から離隔距離が十分大きい場合や、放水により同時に影響をうけないような対策がとられている場合はその限りではない。

なお、火災そのものによる防護対象設備への影響に関しては設置許可基準第八条「火災による損傷の防止」に関する審査にて評価することとし、ここでは放水による溢水影響を評価することとする。

6.2.3 火災による伝播経路への影響

火災の発生を想定する区画内に消火栓がない場合は、他区画から消火ホースを引き込むことになるため、その経路上の扉は開放されていると想定する。

また、溢水発生区画から他区画への伝播経路に止水措置が存在する場合は、火災の影響によりその止水機能が喪失するものと想定する。ただし、防火対策等により止水機能が喪失しないものに関しては、その止水機能に期待できることとする。

6.2.4 消火水の放水による没水影響評価結果

上記の火災による影響を考慮に入れ、消火水の放水による没水影響評価結果（区画の最大溢水水位評価結果）を添付資料6に示す。消火水の放水による溢水に対し、必要な対策を行うことで、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。

6.3 消火水の放水による被水影響評価

消火活動による放水に伴う被水は事象として想定しうるが、没水影響評価において同事象を考慮した評価を実施していることから、消火水による被水影響評価は没水影響評価に包含される。また上層階からの溢水の伝播による被水も没水影響評価にて同時に考慮しているため、没水影響評価に包含される。

6.4 消火水の放水による影響評価結果

消火水の放水による没水、被水の影響評価を行い、全ての評価ケースにおいて原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認した。

7. 地震時評価に用いる各項目の算出及び影響評価

7.1 地震に起因する溢水源

地震に起因する溢水は、地震により破損する機器・配管系（以下、7.では「機器等」という。）、燃料プール等のスロッシングを溢水源として考慮する。

7.2 地震により破損して溢水源となる対象設備

「3. 溢水源の選定」に示しているとおり、溢水源となり得る系統のうち、基準地震動 S_s による地震力によってバウンダリ機能が保持できないおそれのある機器等を溢水源とする。なお、耐震 S クラスの機器等については基準地震動 S_s による地震力によって破損は生じないことから溢水源として想定しない。また、耐震 B, C クラスの機器等のうち基準地震動 S_s に対する耐震性を有することを確認しているものは溢水源として想定しない。

7.3 耐震 B, C クラスの機器等の耐震性評価

基準地震動 S_s による地震力に対して、耐震 B, C クラスの機器等が耐震性を有することを確認する評価方法及び評価結果を示す。

機器等の破損による溢水防止の観点から、基準地震動 S_s による地震力に対して、耐震評価対象となる耐震 B, C クラスの機器等の構造強度評価を実施し、バウンダリ機能が保持されることを確認する。

7.3.1 機器の耐震性評価

構造強度評価は図 7-1, 図 7-2 に示すような、各機器の振動特性に応じたモデル化を行い、当該据付床の床応答スペクトル等を用いた地震応答解析（スペクトルモーダル解析等）や、定式化された評価式により各部の応力を算定する。

応力算定手法としては、「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007」（以下、「JSME」という。）及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987, JEAG 4601・補-1984, JEAG 4601-1991追補版」（以下、「JEAG」という。）等の規格基準で規定されているもの又は試験等で妥当性が確認されたものを用いる。

水平方向、鉛直方向の荷重等は、絶対値和又は SRSS 法により組み合わせる。

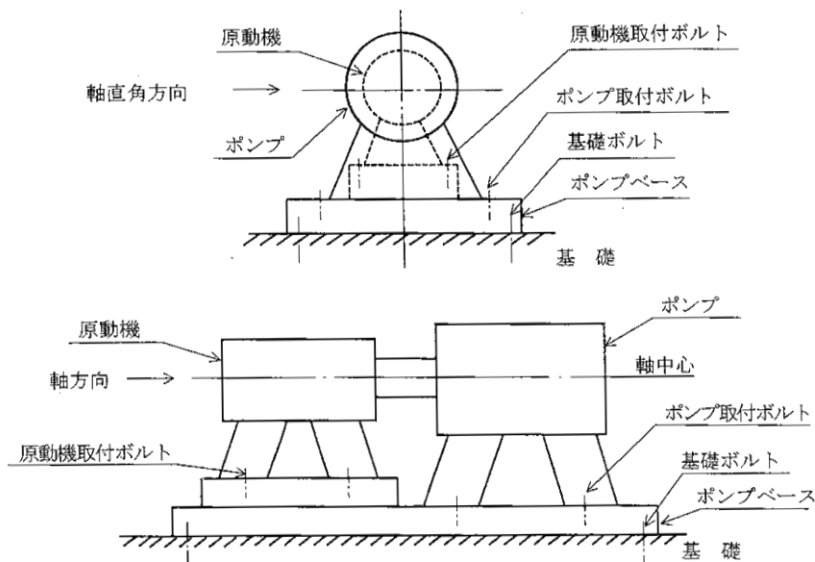
評価基準値は、規格基準で規定されているもの又は試験等で妥当性が確認されているものを用いる。

評価条件を整理して表 7-1 に示す。今回の耐震 B, C クラス機器の評価にあたっては、規格基準で規定されているもの又は試験等で妥当性が確認されているものと異なる評価手法、条件を適用したものはない。

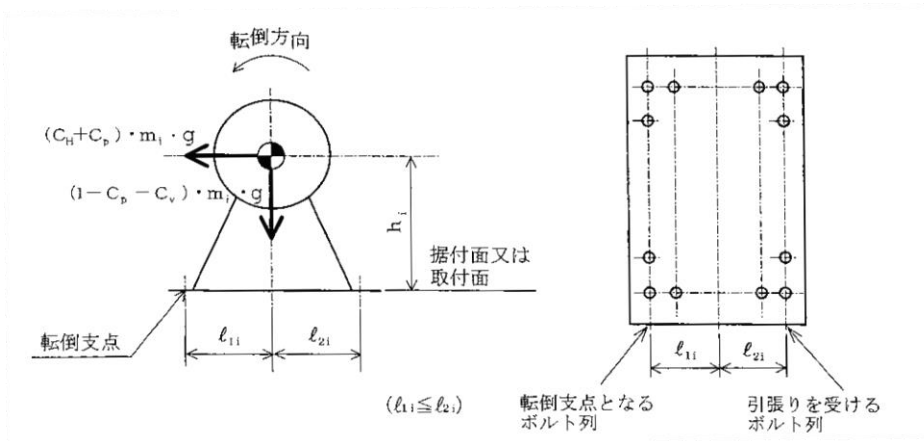
評価の結果、耐震評価対象となる耐震 B, C クラスの機器について計算応力が評価基準値以内であることを確認している。評価結果を添付資料 7 に示す。

表 7-1 機器（ポンプ、容器）の評価条件

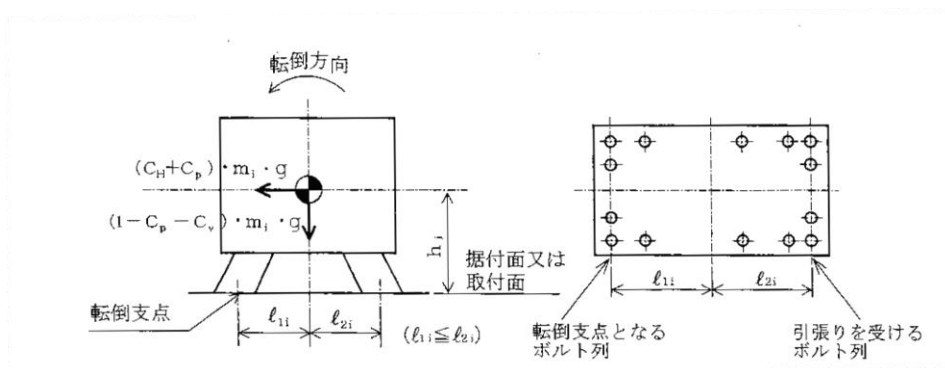
	B, C クラス機器 (溢水影響評価)	【参考】 S クラス機器 (設計評価)
手法	JEAG 等に基づく 構造強度評価	JEAG 等に基づく 構造強度評価
地震動	基準地震動 S_s	基準地震動 S_s 弾性設計用地震動 S_d
床応答スペクトル (FRS)	±10% 拡張	±10% 拡張
水平と鉛直地震力による 荷重の組合せ	絶対値和 又は SRSS	絶対値和 又は SRSS
減衰定数	水平 : 1.0% 鉛直 : 1.0%	水平 : 1.0% 鉛直 : 1.0%
許容応力状態	$IV_A S$	$S_s : IV_A S$ $S_d : III_A S$
評価項目	JEAG に基づく S クラス機器 等の評価項目 (例) 胴本体 支持部 基礎ボルト 等	JEAG に基づく S クラス 機器等の評価項目 (例) 胴本体 支持部 基礎ボルト 等



横形ポンプ概要図



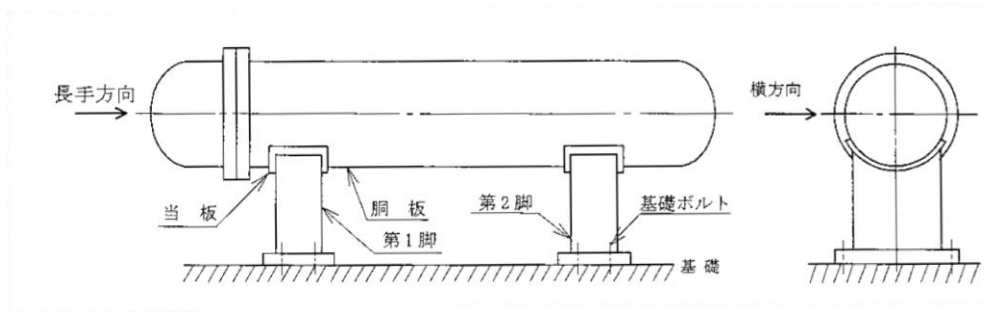
軸直角方向



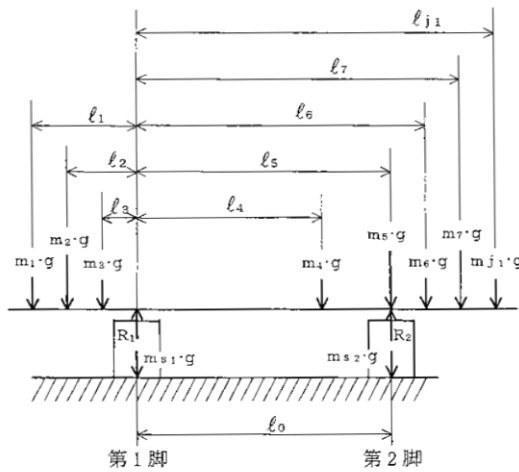
軸方向

- | |
|------------|
| 耐震性評価部位 |
| ➤ 基礎ボルト |
| ➤ ポンプ取付ボルト |
| ➤ 原動機取付ボルト |

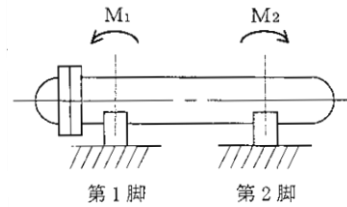
図 7-1 耐震評価の概要 (横形ポンプの例)



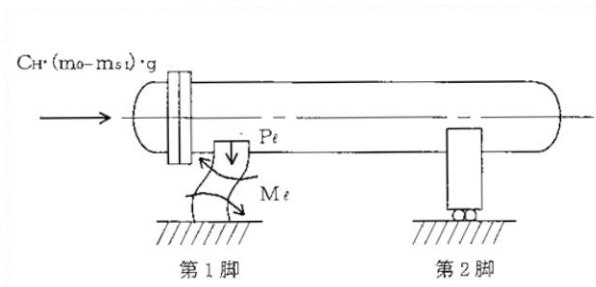
横置円筒形容器概要図



荷重状態



脚位置での曲げモーメント



長手方向荷重による
胴の第1脚付け根部
のモーメント及び鉛
直荷重

横方向荷重による
胴第1脚付け根部
のモーメント

- | |
|------------|
| 耐震性評価部位 |
| ➤ 基礎ボルト |
| ➤ ポンプ取付ボルト |
| ➤ 原動機取付ボルト |

図 7-2 耐震評価の概要 (横置円筒形容器の例)

7.3.2 配管の耐震性評価

耐震 B, C クラス機器等のうち、耐震評価対象となる配管については、建設時に 3次元多質点はりモデルによるスペクトルモーダル解析法又は定ピッチスパン法により応答解析を行っている。

今回の構造強度評価は、3次元多質点はりモデルによるスペクトルモーダル解析法を基本とする。ただし、建設時に小径管等で定ピッチスパン法を適用した配管については、定ピッチスパン法を用いる。定ピッチスパン法の場合は配管1スパンを考慮したモデル化を行い、最大床応答加速度における許容スパンと配管スパンを比較することにより評価を行う。

許容スパンの算定手法としては、JSME や JEAG 等の規格基準で定められたものを用いる。水平方向、鉛直方向の荷重等は、SRSS 法により適切に組み合わせる。

評価基準値は、JSME や JEAG 等の規格基準で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値を用いる。

評価条件を整理して表 7-2 に示す。耐震 B, C クラス配管の評価にあたっては、規格基準、試験等で妥当性が確認されたものと異なる評価手法、条件を適用したものはない。

評価の結果、耐震評価対象となる耐震 B, C クラスの配管について評価基準値を満足することを確認している。評価結果を添付資料 7 に示す。

表 7-2 配管の評価条件

	B, C クラス配管 (溢水影響評価)	【参考】 S クラス配管 (設計評価)
手法	3次元多質点はりモデルによる解析及び定ピッチスパン法による評価	3次元多質点はりモデルを用いた地震応答解析
地震波	基準地震動 Ss	基準地震動 Ss 弾性設計用地震動 Sd
床応答スペクトル (FRS)	水平 (NS, EW) , 鉛直 ±10%拡幅	水平 (NS, EW) , 鉛直 ±10%拡幅
水平と鉛直地震力による荷重の組合せ	SRSS 法	SRSS 法
減衰定数	0.5%, 1.0%, 1.5% 2.0%, 3.0% ※	0.5%, 1.0%, 1.5% 2.0%, 3.0% ※
許容応力状態	$IV_A S$	$Ss : IV_A S$ $Sd : III_A S$
評価項目	一次応力 一次+二次応力 疲労	一次応力 一次+二次応力 疲労

※ JEAG で規定されている値又は試験等で妥当性が確認されている値

7.4 燃料プールのスロッシングに伴う溢水量

基準地震動 S_s による燃料プールのスロッシング解析を行い、溢水量を算定した。燃料プールのスロッシングによる溢水は、燃料プール水面上にあるダクト吸入口への流入分を除き燃料プールのある原子炉建物4階に流出する。また、ダクト流入分については埋設ダクトに貯水可能である。評価結果を表7-3に示す。

燃料プールのスロッシングによる溢水量については、「8.1 燃料プール溢水量の評価方法」及び「8.2 燃料プール溢水量の評価結果」にて詳細を示す。

表 7-3 燃料プールのスロッシングによる溢水量

種類	溢水量[m ³]	埋設ダクト流入量[m ³]	合計[m ³]
燃料プール*	130	50	180

※ 上記の値は解析値を1.1倍した値。

7.5 溢水量の算定

地震時の溢水量の算定に当たり、基準地震動 S_s による地震力が作用した際のプラント状態を、以下のとおり想定した。

- ・「地震加速度大」による原子炉スクラム
- ・外部電源喪失（常用電源の負荷喪失）
- ・耐震 B, C クラス設備の機能喪失

次に、地震による機器の破損が複数箇所と同時に発生する可能性を考慮し、手動隔離による漏えい停止には期待できないものとして、建物内の各区分において機器が破損した場合の溢水量を算定する（図7-3参照）。

各区分における溢水量の算定手順は以下のとおり。

- 区分内の溢水源として想定する機器（容器及び配管）の属する系統の保有水のうち、当該フロアを含む上層階分の保有水量を溢水量として算出する（複数の建物にわたって敷設されている系統の場合は、全ての敷設範囲を考慮）。
- 区分内の各溢水源からの溢水量を合計し、当該区分における地震に起因する溢水量とする。このとき、同一のタンクを共有する等による溢水量の重複を考慮した補正を実施する。

なお、ここで示す溢水量は、基本設計段階での評価であり、今後各種対策の実現性・詳細設計等を精査するに伴い変動が必要となる場合は、適宜反映することとする。

原子炉建物 4階

➤ 耐震B,Cクラスの系統を示す。

➤ 地震起因による溢水量を示す。

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])				
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内				二次格外 (管理区域)
						R-4F-01-1N	R-4F-04N	R-4F-01-2N	R-4F-02N	R-4F-03N
						1454	9	74	-	19
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(N)	原子炉補機冷却系(常用系)		○	23	38	●	-	-	-	-
HVD	ドライウェル冷却系									
HVGW	空調換気設備冷却水系									
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○				-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○				-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	91	-	□	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○				-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○				-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○				-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○				-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○				-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○				-	-	-	-	-
LPOS	低圧炉心スプレイ系	○				-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○				-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○				-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○			-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○			-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	57	1	●	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	31	8	●	-	-	-	-
FP	消火系		○	65	57	●	-	-	-	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り製)		○			-	-	-	-	-
DEG(CW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○				-	-	-	-	-
DEG(CW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○				-	-	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○				-	-	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○				-	-	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○				-	-	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○				-	-	-	-	-
DEG(CW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○				-	-	-	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○				-	-	-	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○				-	-	-	-	-
slosh1	スロッシング(オペフロ)(SFP)				130	●	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

➤ 溢水源となり得る機器が設置されている区画における溢水源の有無を示す。
 ➤ 地震起因による溢水評価において溢水源とする系統は、●を入力している系統となる。

図7-3 溢水源となり得る機器の設置区画及び溢水量(例)

7.6 地震起因による没水影響評価

基準地震動 S_s による地震力によってバウンダリ機能が保持できないおそれのある機器及び燃料プールのスロッシングにより発生する溢水を溢水源として溢水防護対象設備の没水影響評価を行い、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること、燃料プール冷却機能及び給水機能が維持されることを確認する。

また本事象は、基準地震動 S_s に随伴して生じる可能性があることから、原則として全ての溢水防護対象設備が機能維持できることを判定基準とする。ただし、溢水防護対象設備であっても、元より基準地震動 S_s への耐震性が確保されていない機器（例：FMW 系統）についてはその限りではない。

地震起因による没水影響評価フローを図 7-4 に示す。

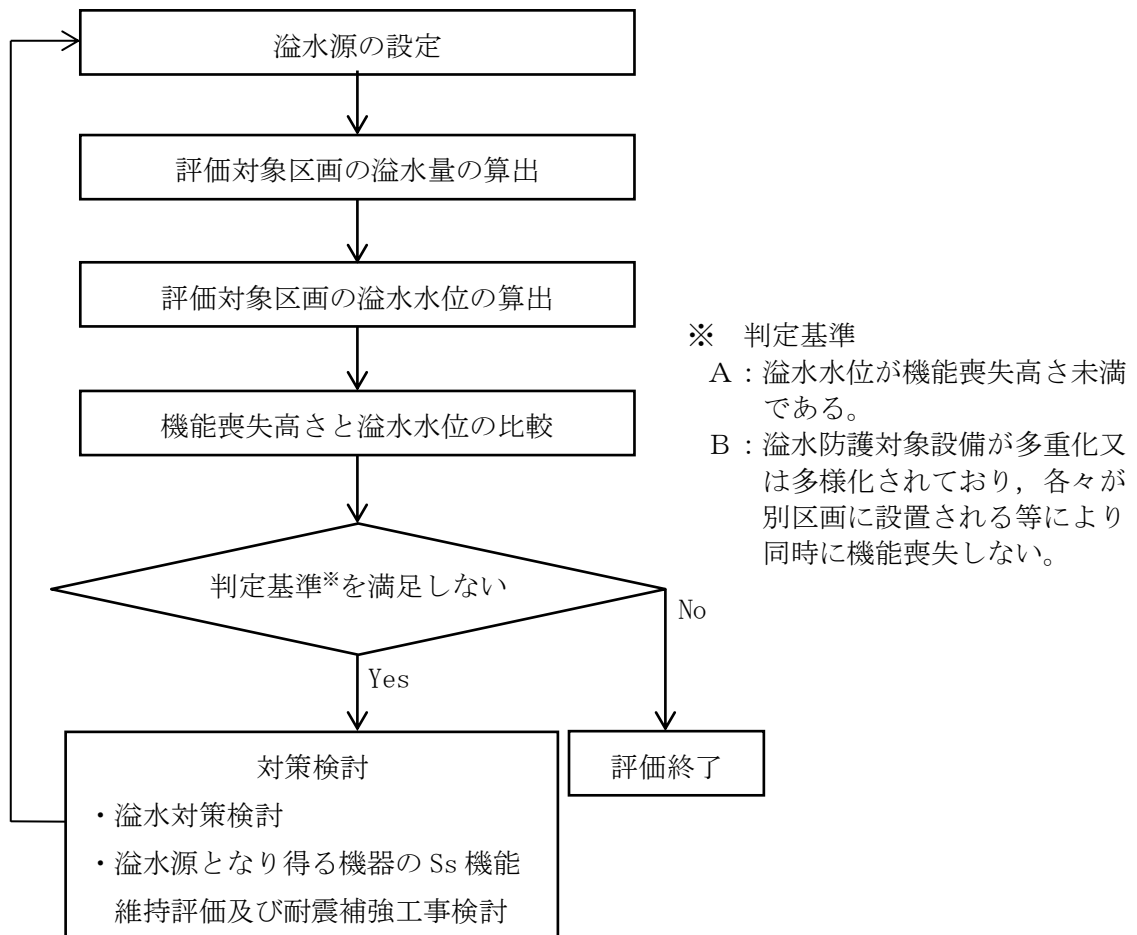


図 7-4 地震起因による没水影響評価フロー

(1) 評価方法

評価対象区画に対して、以下の方法により地震起因による没水影響評価を実施した。

a. 溢水量の算出

「7.5 溢水量の算定」に示しているとおおり、溢水量を算出した。

b. 溢水水位の算出

溢水防護区画毎に以下の方法で溢水水位を算出した。溢水水位算出のモデルケースを図 7-5 に示す。図 7-5 のように接続された区画①～④及び溢水源、溢水量、面積を設定する。区画間の伝播経路としては①～④間の横伝播経路に扉を、その他の縦伝播経路については縦貫通部を想定する。実際に堰等が設置され、伝播開始高さが設定される区画についての扱いは、想定破損による評価と同様とする。モデルケースの評価対象区画における溢水水位の算出例を図 7-6 に示す。

・ 溢水水位その 1

溢水量と滞留面積より溢水水位を算出した。

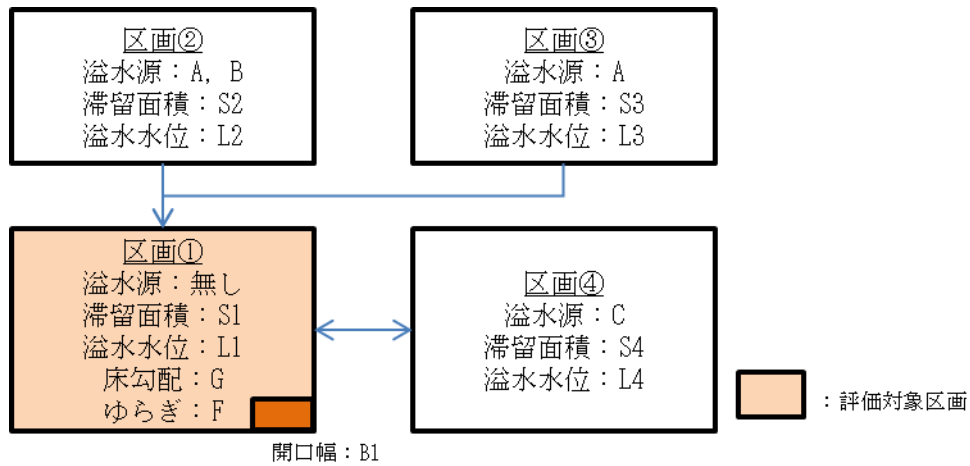
$$\text{溢水水位 [m]} = \text{溢水量 [m}^3\text{]} / \text{滞留面積 [m}^2\text{]} + \text{床勾配 [m]}$$

・ 溢水水位その 2

開口部等から流出を期待する場合は、評価対象区画への破損箇所からの単位時間あたりの流入量と評価対象区画にある開口部等からの流出量とが等しくなるとき最高水位となるため、この時の水位を算出した。また、評価対象区画への複数破損箇所からの流入がある場合は、これらの流入が同時に開始するものとした。

c. 機能喪失高さとの溢水水位の比較

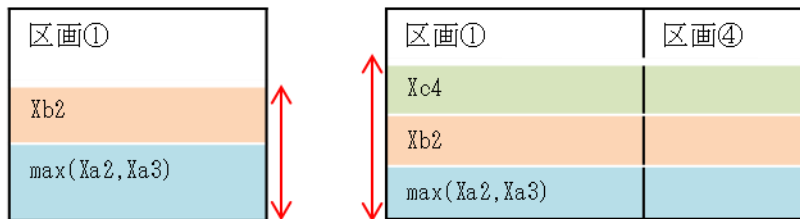
溢水防護区画毎に当該区画で機能喪失高さが最も低い設備を選定し機能喪失高さに対し、溢水水位にゆらぎを考慮しても機能喪失しないことを確認した。



区画	溢水量[m³]			単位時間当たりの流入量[m³/s]		
	溢水源A	溢水源B	溢水源C	溢水源A	溢水源B	溢水源C
①	-	-	-	-	-	-
②	Xa2	Xb2	-	Ya2	Yb2	-
③	Xa3	-	-	Ya3	-	-
④	-	-	Xc4	-	-	Yc4

図 7-5 モデルケースの設定

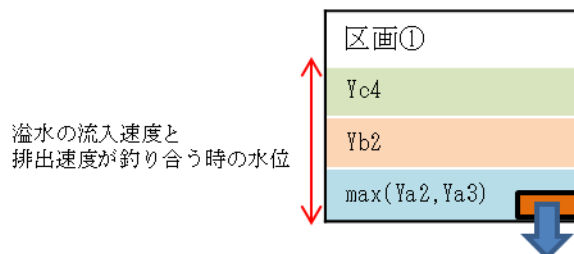
溢水水位その 1（開口部等による排出を考慮しない場合）



区画①で想定される最大水位その 1 は、上方の区画②および③からの伝播する溢水による水位か、または、区画④から伝播する溢水を含めた区画①、④の水位の大きい方となる。ただし、Xa2, Xa3 は同じ溢水源 A からの溢水であるため、これらの最大値を用いる。

$$L1 = \max\{\max(Xa2, Xa3) + Xb2\}/S1, [\max(Xa2, Xa3) + Xb2] + Xc4 / (S1 + S4) + G + F$$

溢水水位その 2（開口部等による排出を考慮する場合）



区画①で想定される最大水位その 2 は、上方の区画②および③から伝播する溢水と、区画④から伝播する溢水を含めた合計流量を用いる。水位は合計流量と排出係数（補足説明資料 26 参照）、および開口幅によって定まる。

$$L1 = [(\max(Ya2, Ya3) + Yb2) + Yc4] / (C \times B1)^{1/1.5} + G + F \quad (C \text{ は排出係数})$$

図 7-6 溢水水位算出例

(2) 評価結果

モデルケースにて実施した伝播評価を、実際の溢水伝播モデル及び溢水量を用いて評価し、各溢水防護区画の溢水水位を算出した。溢水防護対象設備が設置されている区画の溢水水位と、それら各区画における溢水防護対象設備の機能喪失判定及び被水対策の要否について、添付資料7に示す。なお、記載にあたっては、全ての溢水防護対象設備を防護する観点から、区画内の最も機能喪失高さの低い溢水防護対象設備を代表として選定した（添付資料7参照）。

評価の結果、適切な溢水対策を実施することで、必要な溢水防護対象設備が地震による溢水に影響を受けることはなく、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認した。

7.7 地震起因による被水影響評価

基準地震動 S_s による地震力によってバウンダリ機能が保持できないおそれのある機器及び燃料プールのスロッシングにより発生する溢水に対して、溢水防護対象設備の被水影響評価を行い、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されるよう被水対策を実施する。

また、上層階からの溢水の伝播による被水については、7.6 における伝播評価時に同時に評価を実施しており、必要な安全機能が維持されることを確認している。

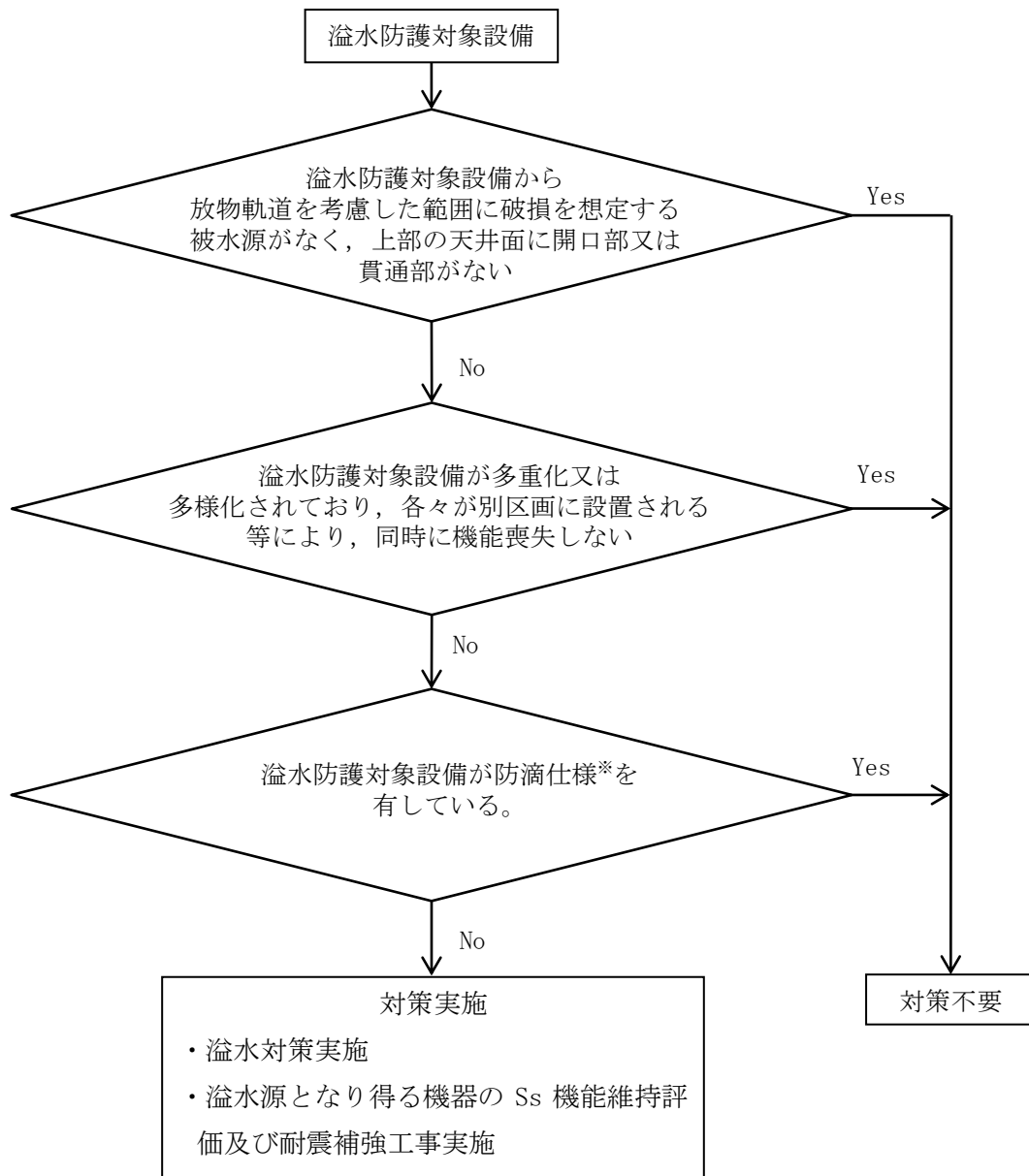
(1) 評価方法

基準地震動 S_s による地震力によってバウンダリ機能が保持できないおそれのある機器及び燃料プールのスロッシングによる直接の被水並びに溢水経路にある天井面の開口部又は貫通部からの被水に対し、溢水防護対象設備の被水影響評価を行った。地震起因による被水影響評価フローを図 7-7 に示す。

(2) 評価結果

地震起因による被水影響評価結果を添付資料 7 に示す。

想定した被水の影響に対し、必要な対策を行うことで原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。



※ 防滴仕様とは、「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様，又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策を示す。

図 7-7 地震起因による被水影響評価フロー

7.8 地震起因による蒸気影響評価

基準地震動 S_s による地震力によってバウンダリ機能が保持できないおそれのある機器から発生する蒸気源の有無、伝播経路、溢水防護対象設備の耐環境仕様等の観点から、溢水防護対象設備の蒸気影響評価を行った。地震起因による蒸気影響評価結果を添付資料 7 に示す。

想定した蒸気の影響に対し、必要となる対策（配管のルート変更等）を実施することにより原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が、その機能を失わないことを確認した。

7.9 地震起因による影響評価結果

地震時の没水、被水、蒸気の影響評価を行い、原子炉の停止機能、冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能、並びに燃料プールの冷却機能及び給水機能が維持されることを確認した。

なお、対策の設計方針に関しては以下を参照のこと。

- 拡大防止対策：添付資料 4 溢水影響評価において期待することができる設備
 - 「2.1.1 止水措置」
 - 「2.2 溢水防護対策設備設置箇所」

- 影響緩和対策：添付資料 4 溢水影響評価において期待することができる設備
 - 「2.1.2 排水措置」
 - 「2.3 内部流体漏えい対策について」補足説明資料 4 開口部等からの排出について

- 発生防止対策：添付資料 2 溢水源の分類及び運用について
 - 「2. 所内蒸気系の隔離運用について」補足説明資料 18 配管の破損位置及び破損形状の評価について

8. 燃料プールのスロッシングに伴う溢水評価について

基準地震動 S_s による地震力によって生じるスロッシング現象を三次元流動解析により評価し、溢水量を算出する。算出した溢水量からスロッシング後の燃料プールの水位低下を考慮しても、燃料プールの冷却機能及び給水機能が確保され、それらを用いることにより保安規定で定めた水温（水温 65°C 以下）及び遮蔽水位を維持できることを確認する。

燃料プールが設置される原子炉建物4階の機器配置図を図8-1、燃料プールの概要図を図8-2に示す。

8.1 解析評価

(1) 評価に用いる地震動

燃料プールのスロッシング周期は NS 方向及び EW 方向ともに約 4.3 秒であることから、基準地震動 S_s のうち、この領域における応答スペクトル値が最大となる地震動を評価に用いる。なお、スロッシング周期は下記のハウスナー理論により算出した。

$$\omega^2 = \frac{1.58g}{l} \tanh\left(1.58\frac{h}{l}\right)$$

$$T = \frac{2\pi}{\omega}$$

T : 固有周期 [s]

ω : 円固有振動数 [rad/s]

l : 振動方向長さの 1/2 [m]

h : 底面から液面までの高さ [m]

g : 重力加速度 [m/s²]

燃料プールのスロッシング解析に用いる地震動は、原子炉建物の燃料プール位置 (EL42.8m) における床応答とし、図 8-3 から、スロッシング固有周期領域 (4 秒～5 秒) において、応答加速度が最大となる S_s -D による応答波を用いる。なお、基準地震動 S_s -D は、特定の方向性を持たない応答スペクトル手法に基づき策定された地震動であるため、スロッシング評価においては、水平方向 (NS 方向又は EW 方向のいずれか 1 方向) と鉛直方向を組み合わせた解析を行う。スロッシング解析に用いた入力地震動の加速度時刻歴波形を図 8-4 に示す。

(2) 解析条件

解析条件を表 8-1 に、解析モデルを図 8-5 に、解析メッシュ図を図 8-6 に示す。

(3) スロッシング評価における地震力の組合せ

水平 2 方向及び鉛直方向の地震力を組み合わせた場合の溢水量は、簡便な取り扱いとして、NS 方向+鉛直方向、EW 方向+鉛直方向の溢水量を足し合わせ、溢水量が大きくなるよう保守的に設定する。

表 8-1 解析条件

項目	内容
モデル化範囲	燃料プール
境界条件	プール上部は開放とし，他は壁による境界を設定する。解析範囲外に流出した水は戻らないものとする。 壁面での水の流速は0となるように設定する。壁面と水の境界層は $k-\epsilon$ の乱流モデルとし，壁面での流体の乱れも考慮する。
初期水位	EL42.56m (HWL:High Water Level) ※ ¹
評価用地震動	基準地震動 Ss-D による燃料プール位置 (EL42.8m) の応答波
解析コード	汎用熱流体解析コード Fluent ver. 18.1.0
解析時間	100 秒※ ²
物性値	密度 [kg/m ³] : 1.190 (空気), 998.2 (水) 粘性係数 [Pa・s] : 1.827×10^{-5} (空気), 1.094×10^{-3} (水)
プール寸法	14000 mm (NS) × 13500 mm (EW) × 11730 mm (HWL)
プール内部構造物	内部構造物が流体の運動を阻害しないように，保守的な条件として燃料ラック等のプール内構造物はモデル化しない。
その他	プール周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。

※1 燃料プールの初期水位は，保守的にスキマサージタンクへのオーバーフロー水位より高い水位を設定する。

※2 溢水量に有意な増加が確認できなくなった時間 (図 8-7 参照)

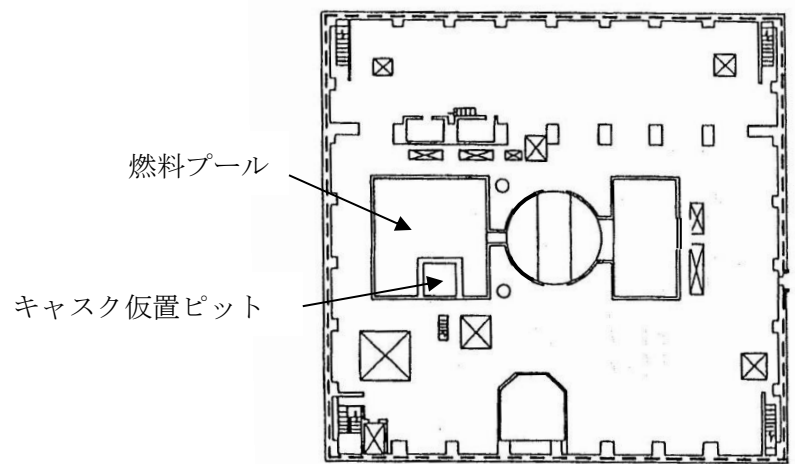


図 8-1 原子炉建物 4 階の機器配置図

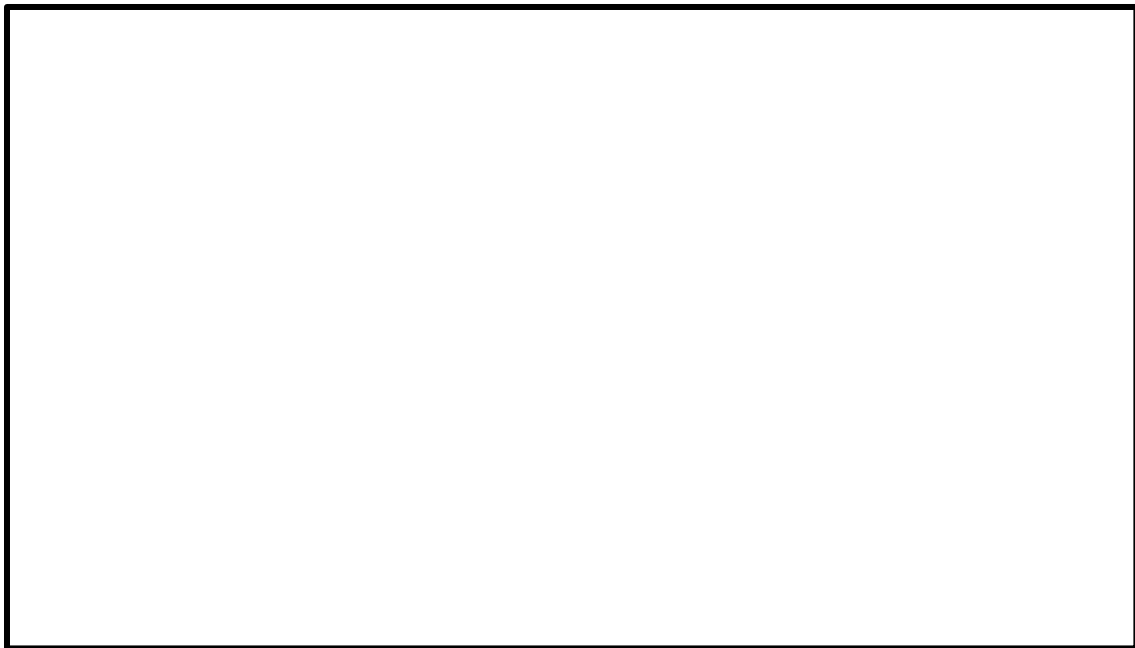


図 8-2 燃料プールの概要

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

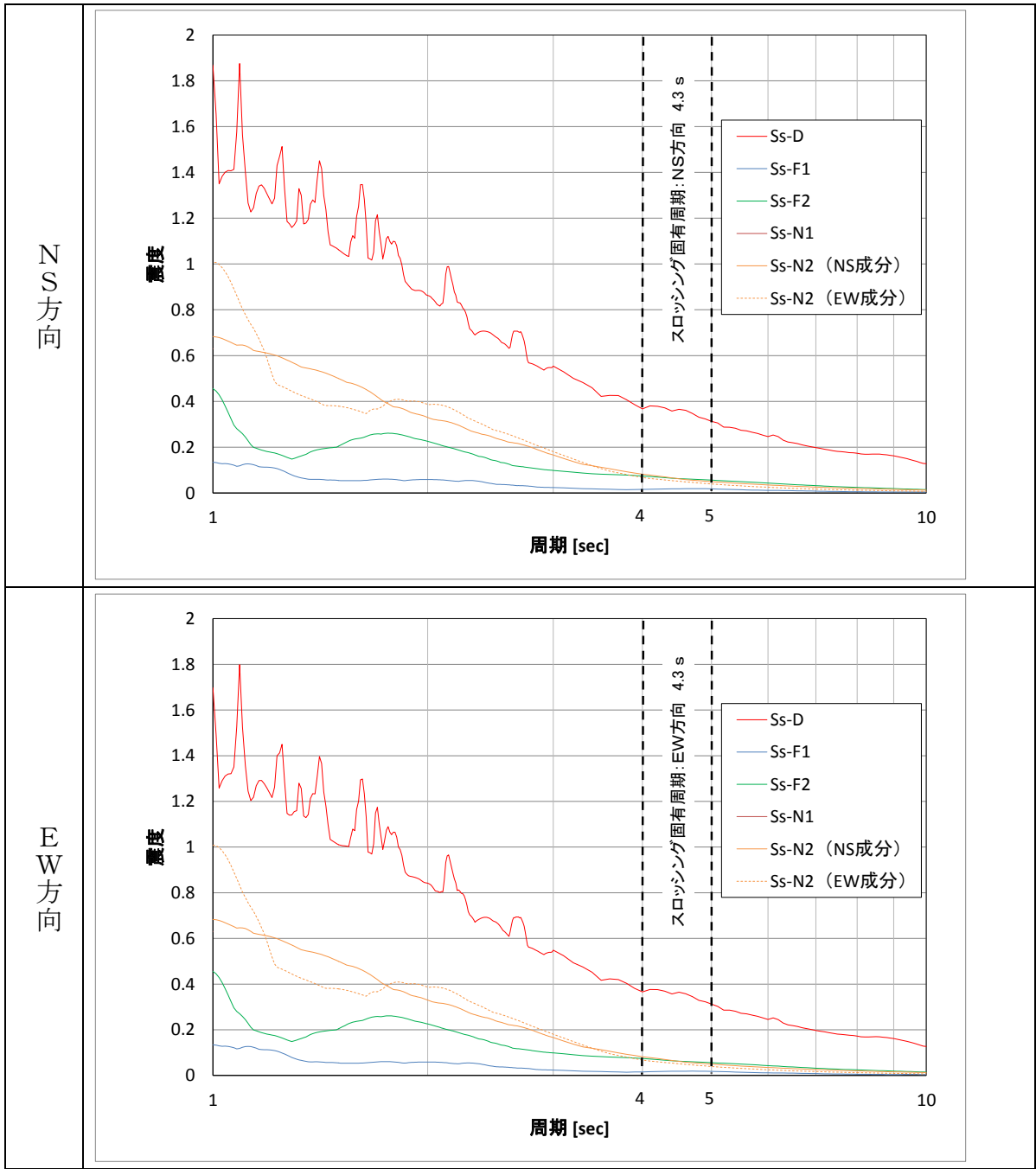


図 8-3 燃料プールの床応答スペクトル
(減衰定数 0.5%※, 原子炉建物 EL 42.8m)

※ 「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG 4601-1987」に基づき、液体の揺動に対する設計用減衰定数である 0.5%を用いた。

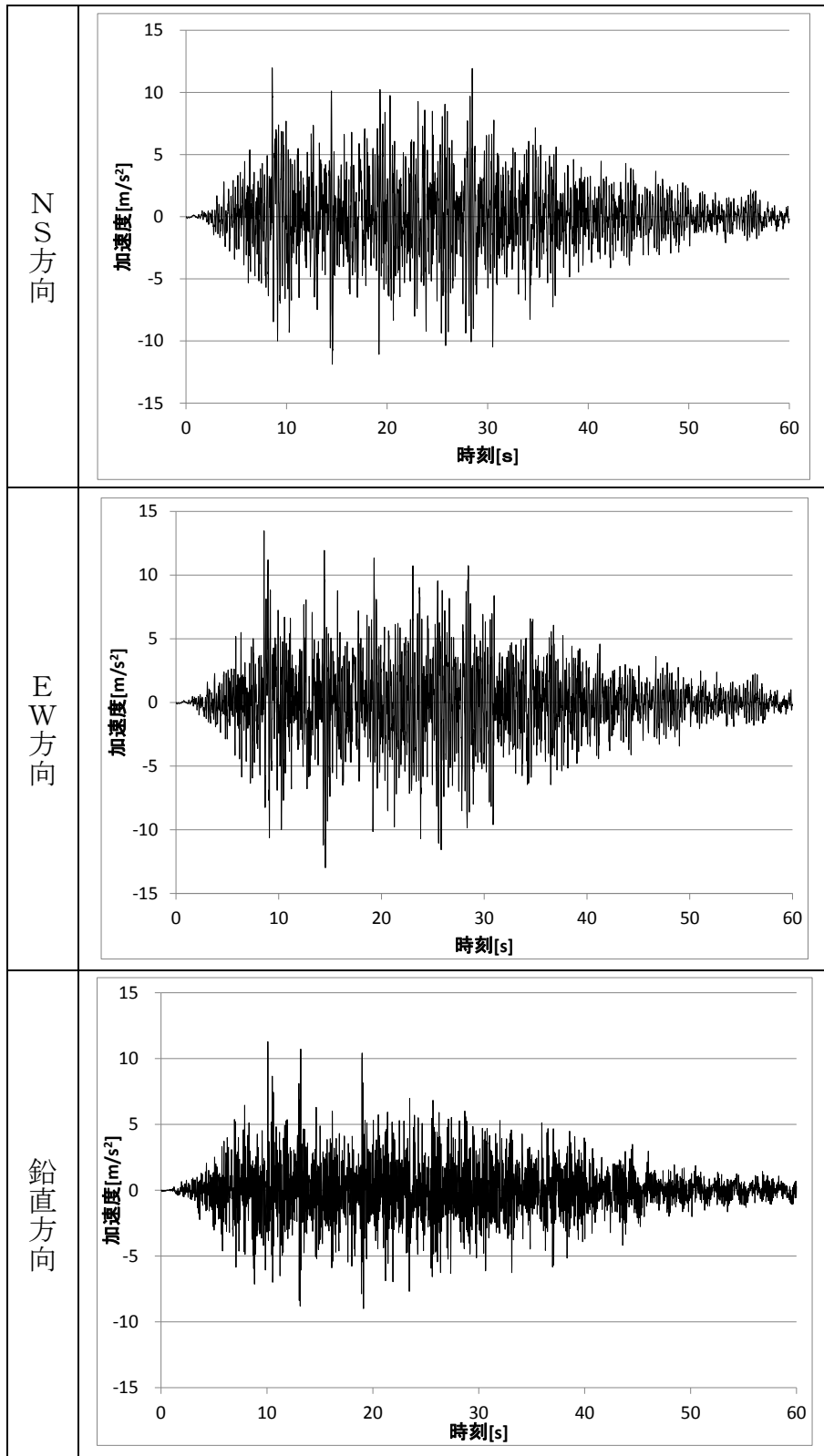


図 8-4 入力地震動 加速度時刻歴波形

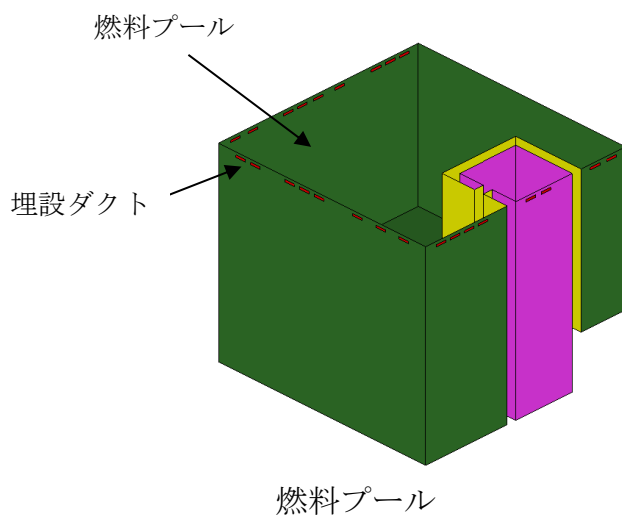


図 8-5 解析モデル図



図 8-6 解析メッシュ図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

8.2 溢水量評価結果

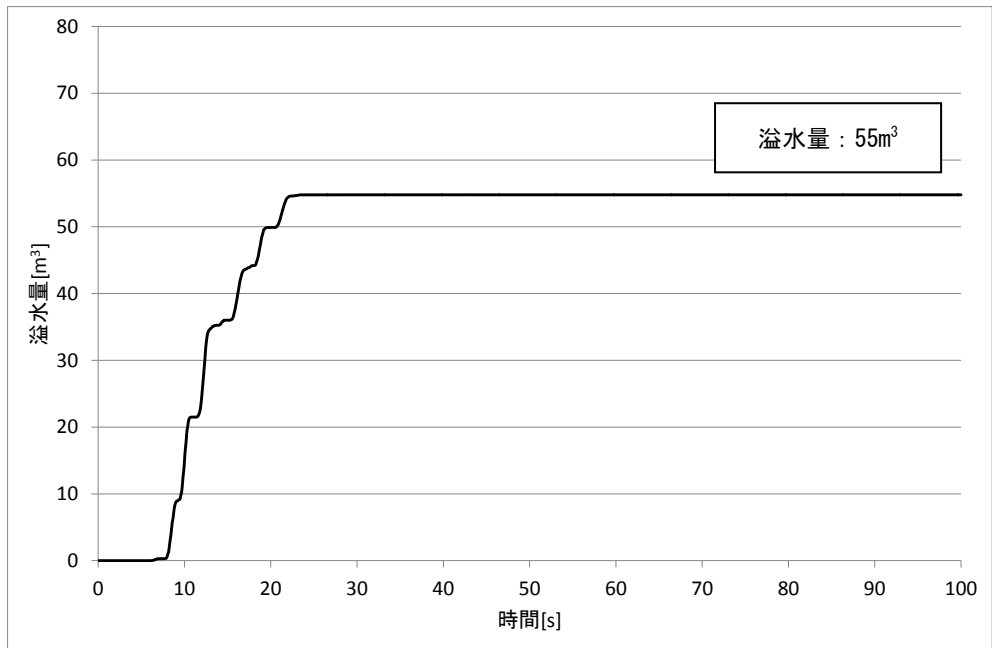
基準地震動 Ss による解析により算定した燃料プールのスロッシングによる溢水量を表 8-2 に、溢水量の時間変化を図 8-7 に、最大波高発生時間近傍における液面状態を図 8-8 に示す。

なお、保守的に燃料プール周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮せず、また、一度燃料プール外へ溢水した水が再度プール内に戻ることも考慮しない。

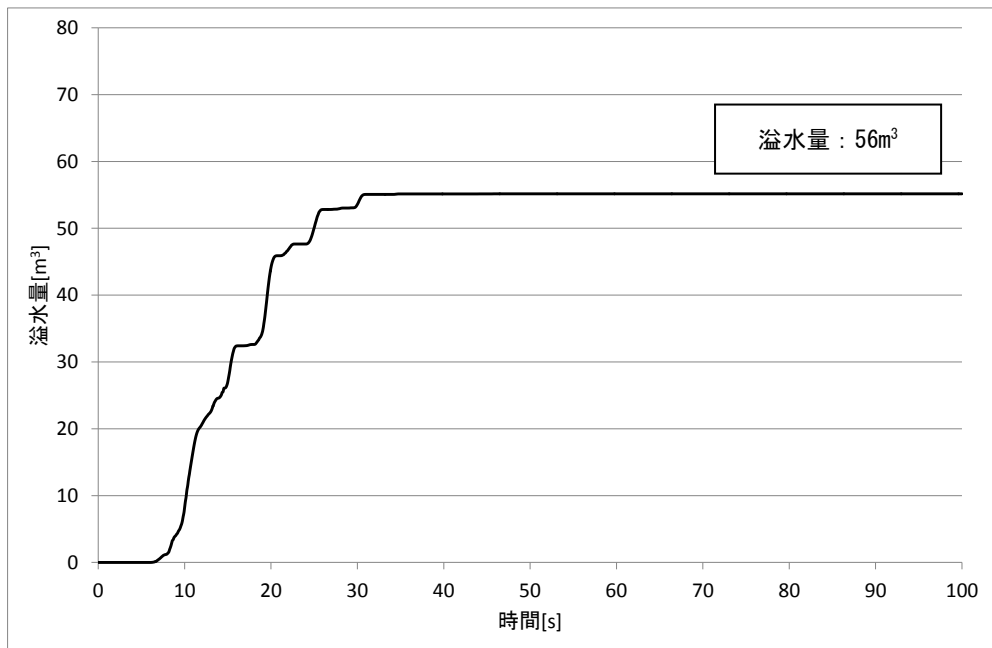
表 8-2 燃料プールのスロッシングによる溢水量

No.	解析ケース（入力条件）	床面への溢水量[m ³]	埋設ダクト流入量[m ³]	合計[m ³]
①	NS 方向 : Ss-D 鉛直方向 : Ss-D	55	20	75
②	EW 方向 : Ss-D 鉛直方向 : Ss-D	56	21	76

※ 表の値は、解析結果に対して小数点以下を切り上げた値を示す。

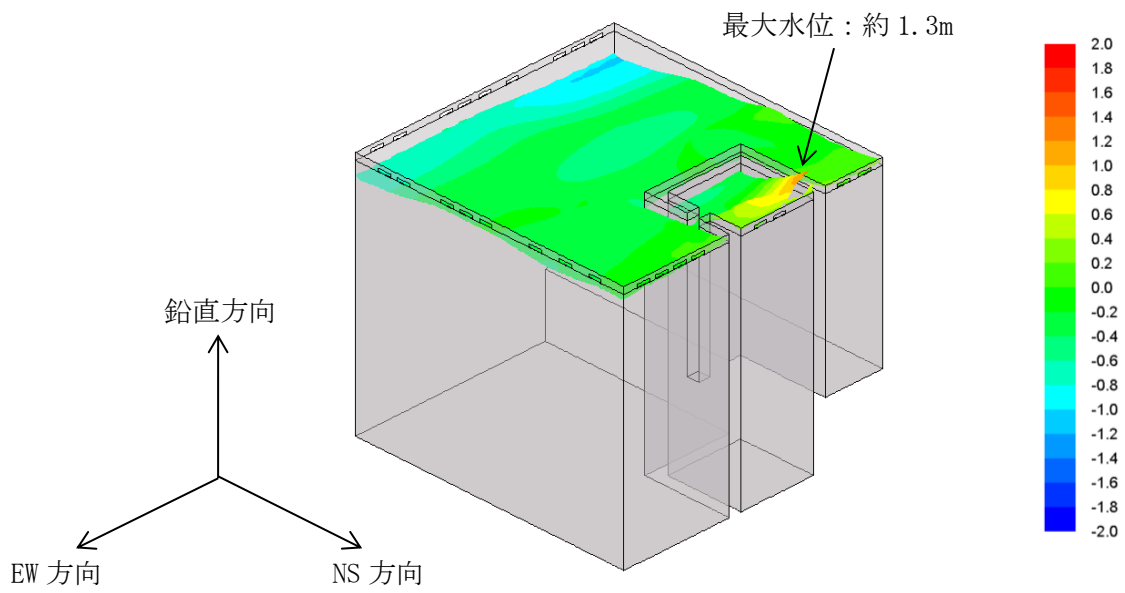


(1) 解析ケース① (NS 方向+鉛直方向)

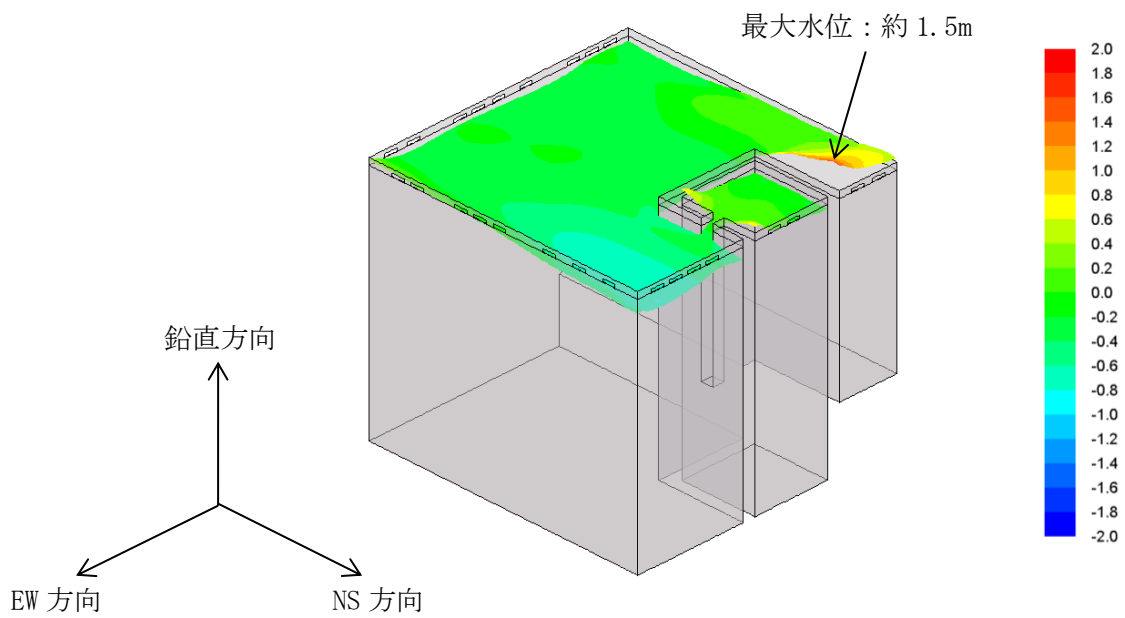


(2) 解析ケース② (EW 方向+鉛直方向)

図 8-7 燃料プールからの溢水量の時間変化



(1) 解析ケース① (NS 方向+鉛直方向)



(2) 解析ケース② (EW 方向+鉛直方向)

図 8-8 最大波高発生時間近傍における液面状態

8.3 内部溢水影響評価に用いる溢水量

内部溢水影響評価に用いる溢水量を表 8-3 に示す。内部溢水影響評価では、解析値に保守性を見込んだものをスロッシングによる溢水量として使用する。具体的には、水平 2 方向の組合せに配慮し、NS 方向+鉛直方向、EW 方向+鉛直方向の溢水量を足し合わせて設定する。また、解析コード (Fluent) の検証結果 (添付資料 8 参照) から、解析値と実験値の差を踏まえて解析値を 1.1 倍し、溢水量が大きくなるよう保守的に設定する。

参考として、3 方向同時入力によるスロッシング解析結果を表 8-4 に示す。また、代表として表 8-4 の No. 1 における溢水量の時間変化を図 8-9 に、最大波高発生時間近傍の液面状態を図 8-10 に示す。この結果から、内部溢水影響評価に用いる溢水量が保守的に設定されていることを確認している。

表 8-3 内部溢水影響評価に用いる溢水量

溢水量 ^{※1}			設定方法
床面への溢水量[m ³]	埋設ダクト流入量[m ³]	合計[m ³]	
110	41	151	解析結果を足し合わせた値 (表 8-2 の①+②)
121	45	166	上記値に解析コードの検証結果を 踏まえて 1.1 倍した値
130 ^{※2}	50	180	上記値に対し保守的に設定 (1 の位を切り上げ) (合計は床面と埋設ダクトの和)

※1 表中の値について、溢水量の足し合わせ及び係数倍は解析結果に基づき実施し、表記上は小数点以下を切り上げた値を示す。

※2 床面への溢水量(130m³)と耐震 B, C クラス機器の破損による溢水量(104m³)を考慮した溢水水位は 0.19m となる。これに対し、高さ 0.30m 以上の堰を設置する。

表 8-4 3方向同時入力によるスロッシング解析結果

No.	解析ケース（入力条件）	溢水量 ^{※1}			備 考
		床面への 溢水量 [m ³]	埋設ダク ト流入量 [m ³]	合計 [m ³]	
1	NS 方向：Ss-D EW 方向：組合せ用地震動 ^{※2} 鉛直方向：Ss-D	106	22	127	水平 2 方向に位相 特性の異なる地震 動を用いたケース
2	NS 方向：組合せ用地震動 ^{※2} EW 方向：Ss-D 鉛直方向：Ss-D	101	23	123	同上
3	NS 方向：Ss-D EW 方向：Ss-D 鉛直方向：Ss-D	85	22	106	水平 2 方向に同位 相の地震動を用い たケース

※1 表の値は、解析結果に対して小数点以下を切り上げた値を示す。

※2 「島根原子力発電所 2 号炉 地震による損傷の防止 別紙-10 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の適切な組合せに関する検討について 参考資料-3 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せの影響評価に用いる模擬地震波の作成方針」による水平 2 方向の影響検討用に設定された地震動。

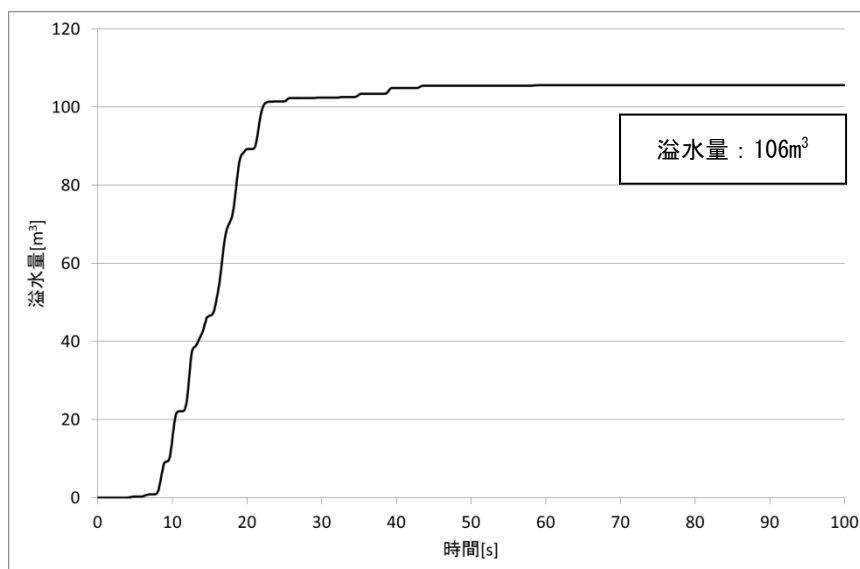


図 8-9 燃料プールからの溢水量の時間変化（表 8-4 の No. 1）

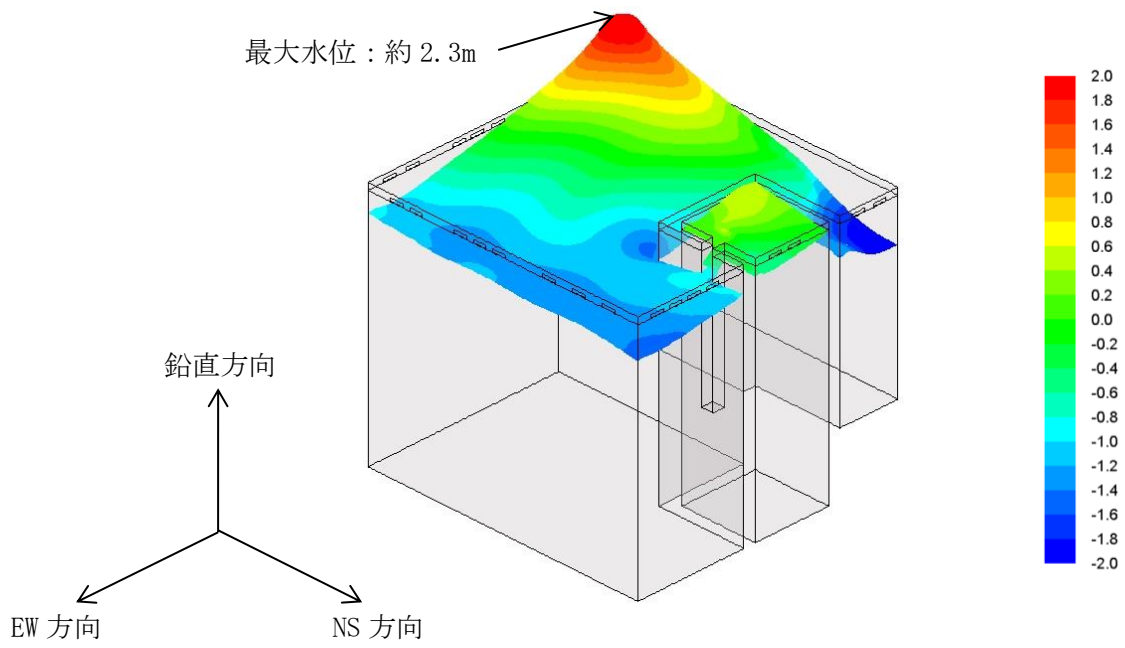


図 8-10 最大波高発生時間近傍における液面状態（表 8-4 の No. 1）

8.4 燃料プールのスロッシング後の機能維持評価

スロッシング後の燃料プールの水位を表 8-5 に示す。なお、溢水量の算出に当たっては、初期水位をスキマサージタンクへのオーバーフロー水位より高い水位である EL42.56m としているが、地震後の燃料プール水位の算出に当たっては、スキマサージタンクへのオーバーフロー水位である EL42.50m を基準とする。

溢水影響評価の結果、燃料プール冷却機能及び給水機能を有する溢水防護対象設備が機能喪失しないことを確認していることから、燃料プールの冷却機能及び燃料プールへの給水機能が維持されることを確認した。また、使用済燃料及び使用済制御棒の遮蔽に必要な水位が確保されていることから、使用済燃料及び使用済制御棒の遮蔽機能が維持されることを確認した。

表 8-5 燃料プールの水位

解析ケース	燃料プール
地震前の燃料プール水位 (初期水位) [m]	11.67 (EL42.50) (Normal Water Level) ※ ¹
地震後の燃料プール水位 [m]	10.59 (EL41.42)
水位低下量 [m]	1.08
燃料有効長頂部 [m]	4.24 (EL35.07)
遮蔽に必要な水位 [m] ※ ²	9.94 (EL40.77)

※¹ スキマサージタンクへのオーバーフロー水位

※² 燃料取替機床面での線量率が設計基準線量当量率 ($\leq 0.06\text{mSv/h}$) を満足する水位

9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価

溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価として、タービン建物からの溢水が、溢水防護対象設備が設置されている原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物に及ぼす影響を確認した。また、溢水防護対象設備のうち屋外に設置されている海水ポンプ等に対して、エリア外からの溢水による影響を確認した。溢水防護対象設備が設置されている原子炉建物、廃棄物処理建物、制御室建物とタービン建物並びに海水ポンプエリア、排気筒エリア及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の位置関係を図 9-1 に示す。

なお、タービン建物については、設置許可基準規則 第五条（津波による損傷の防止）において、復水器を設置するエリアから耐震 S クラスの設備を設置するエリアへの浸水対策として、復水器エリア防水壁等を設置し、耐震 S クラスの設備を設置するエリア（以下、「耐震 S クラスエリア（東）」及び「耐震 S クラスエリア（西）」という。）と復水器を設置するエリア（以下、「復水器エリア」という。）に区画する。タービン建物地下 1 階の区画図を図 9-2 に、タービン建物の溢水源及び溢水量を表 9-1 に示す。

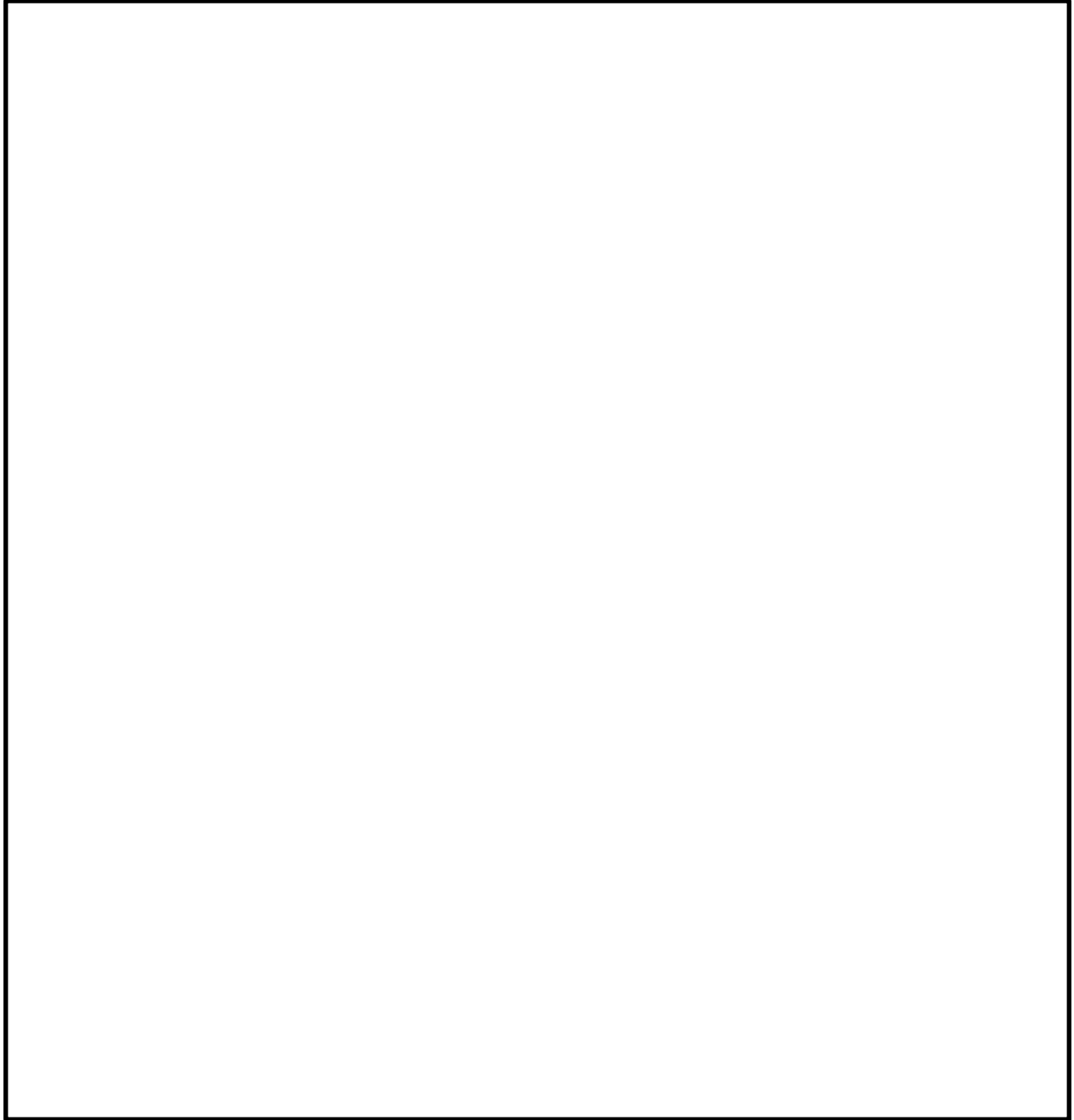


図 9-1 各建物並びに海水ポンプエリア，排気筒エリア及び
B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の位置関係

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

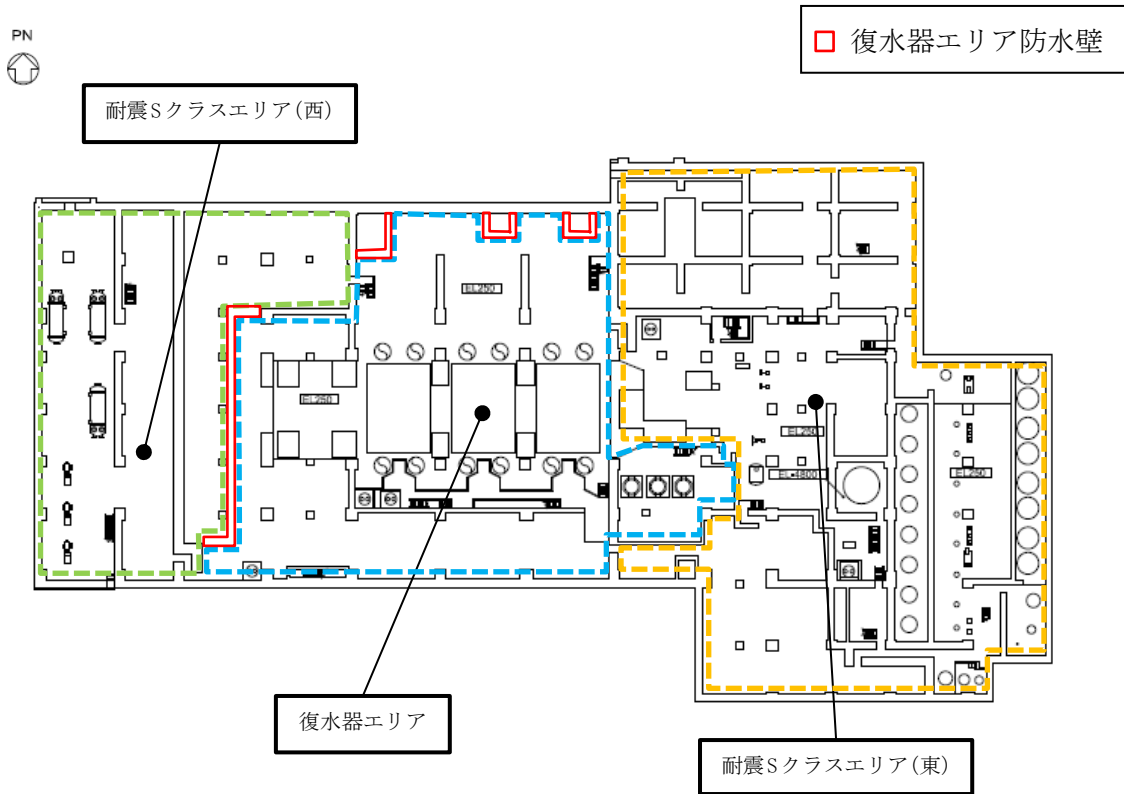


図 9-2 タービン建物地下1階の区画

表 9-1 タービン建物の溢水源及び溢水量

系統名称	耐震クラス	溢水量[m ³]		地震起因による溢水において流入を考慮する溢水源		
		想定破損	地震破損	復水器エリア	耐震Sクラスエリア(東)	耐震Sクラスエリア(西)
復水給水系	B, C	1646	1527	●	●	□
原子炉浄化系	B, C	-※	11	●	-	●
原子炉補機冷却系(常用系)	B, C	162	210	●	●	●
原子炉補機海水系(A)	S	457	-	-	-	-
原子炉補機海水系(B)	S	457	-	-	-	-
高圧炉心スプレイ補機海水系	S	119	-	-	-	-
発電機密封油系, タービン設備系, タービン油処理系	B, C	81	81	●	●	●
固定子冷却系	B, C	18	18	●	●	●
タービンヒータードレン系	B, C	998	1527	-	-	□
循環水系	B, C	14452	3130	(復水給水系に含まれる)	(復水給水系に含まれる)	-
タービン補機冷却系	B, C	273	241	●	●	●
タービン補機海水系	B, C	330	129	●	-	●
排ガス処理系	B, C	10	4	●	●	●
液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)	B, C	8	8	●	●	●
液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)	B, C	8	8	●	●	●
液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)	B, C	5	5	●	●	●
液体廃棄物処理系(ランドリドレン系)	B, C	118	118	●	●	●
固体廃棄物処理系(フィルタスラッジ系)	B, C	84	82	●	●	●
空調換気設備冷却水系	B, C	179	216	●	●	●
復水輸送系	B, C	75	53	●	●	●
補給水系	B, C	35	32	●	●	●
消火系	B, C	77	69	●	●	●
所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)	B, C	57	6	●	●	●
非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	S	13	-	-	-	-
非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	S	13	-	-	-	-
HPCSディーゼル発電機系(燃料油系)	S	13	-	-	-	-
再生薬品系	B, C	41	41	●	●	●
地震時に各エリアで考慮する溢水量の合計[m ³]				5989	2730	1332

●: 流入あり -: 流入なし □: 耐震B, Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる
 ※ タービン建物に敷設される原子炉浄化系配管は25A以下の配管であり、溢水源として考慮不要

9.1 復水器エリアにおける溢水

復水器エリアにおける溢水については、想定破損による溢水では循環水系配管の伸縮継手部の全円周状の破損を想定し、地震起因による溢水では循環水系配管の伸縮継手部の全円周状の破損及びその他の耐震 B, C クラス機器の破損を想定する。また、消火水の放水による溢水を想定する。

9.1.1 評価条件

(1) 評価条件

- ・伸縮継手部からの溢水は、破損から循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの時間を考慮する。
- ・循環水系配管の破損箇所での溢水の流出圧力は、循環水ポンプ運転時の系統圧力とする。なお、配管の圧損については保守的に考慮しない。
- ・循環水系配管の破損箇所は海水面より高いためサイフォン効果による流入はない。
- ・地震起因による溢水では、破損を想定する耐震 B, C クラス機器の保有水を考慮する。
- ・地震起因による溢水では、地震に伴い津波が襲来するものとし、循環水系配管を含む耐震 B, C クラス機器の破損箇所からの津波の流入を考慮する。
- ・消火水の放水による溢水では、屋内消火栓からの放水流量を考慮する。

(2) 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックについて

a. 概要

地震時に復水器エリア内の伸縮継手部が破損し、循環水系から大量の海水が流入した場合、溢水防護区画へ海水が伝播し、溢水防護対象設備が機能喪失に至るおそれがある。このため、図 9-3 に示すような地震時に循環水ポンプ停止、循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出入口弁を閉止するインターロックを設置し、復水器エリア内への海水の流入を低減する。

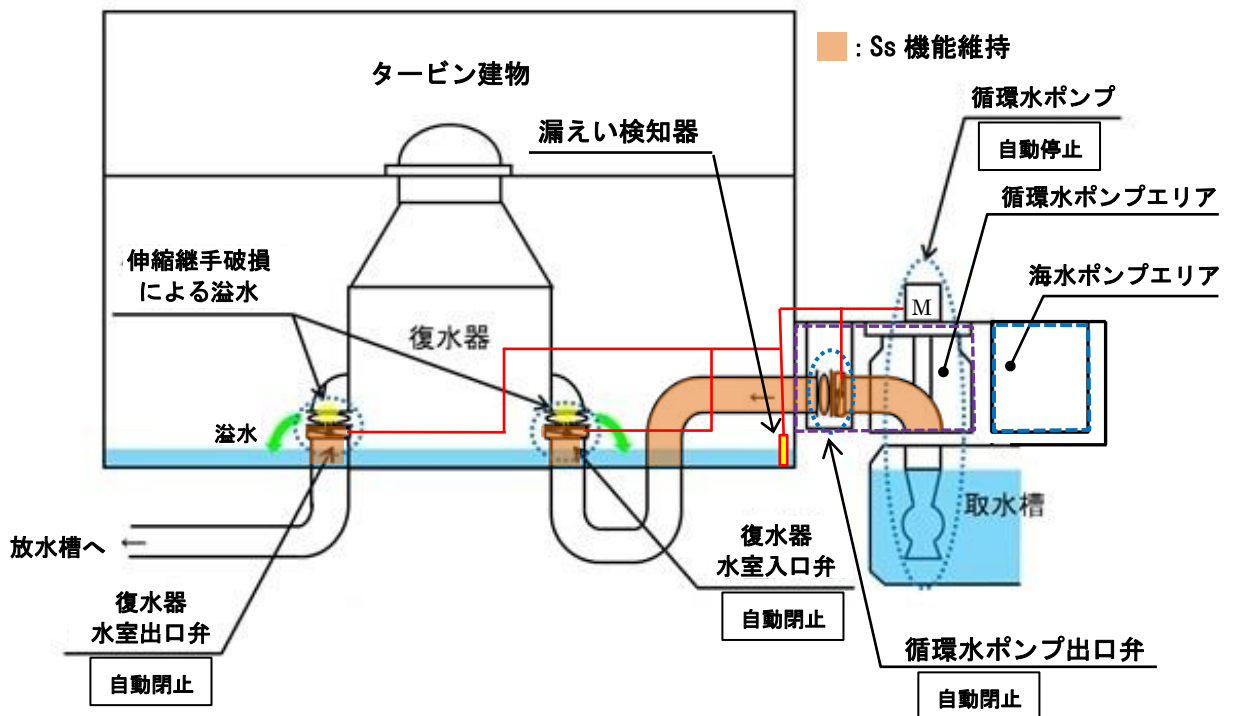


図 9-3 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロック設置概要図

b. インターロック動作条件

地震時には、確実に漏えいしたことを検出した上でインターロックを動作させるよう、図 9-4 に示すように地震大信号と漏えい検知器動作の AND 条件とする。インターロック回路、循環水ポンプ出口弁及び復水器水室出入口弁は、基準地震動 S_s に対して機能を維持する設計とし、非常用電源へ接続する。漏えい検知は床上 100mm にて検知する設計とする。漏えい検知器の作動原理は、溢水が電極式レベル計の検知レベルに達すると、電極間が導通し、漏えいを検知するものである。漏えい検知器の設置箇所を図 9-5 に、構造及び外観を図 9-6 に示す。

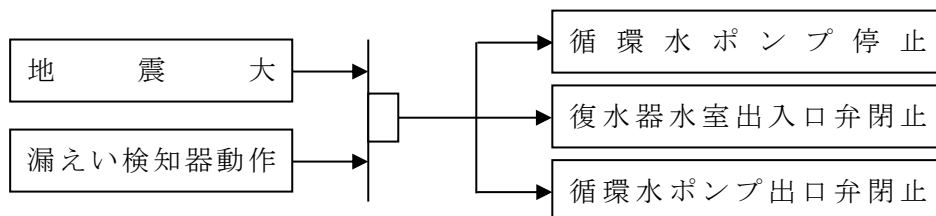


図 9-4 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロック

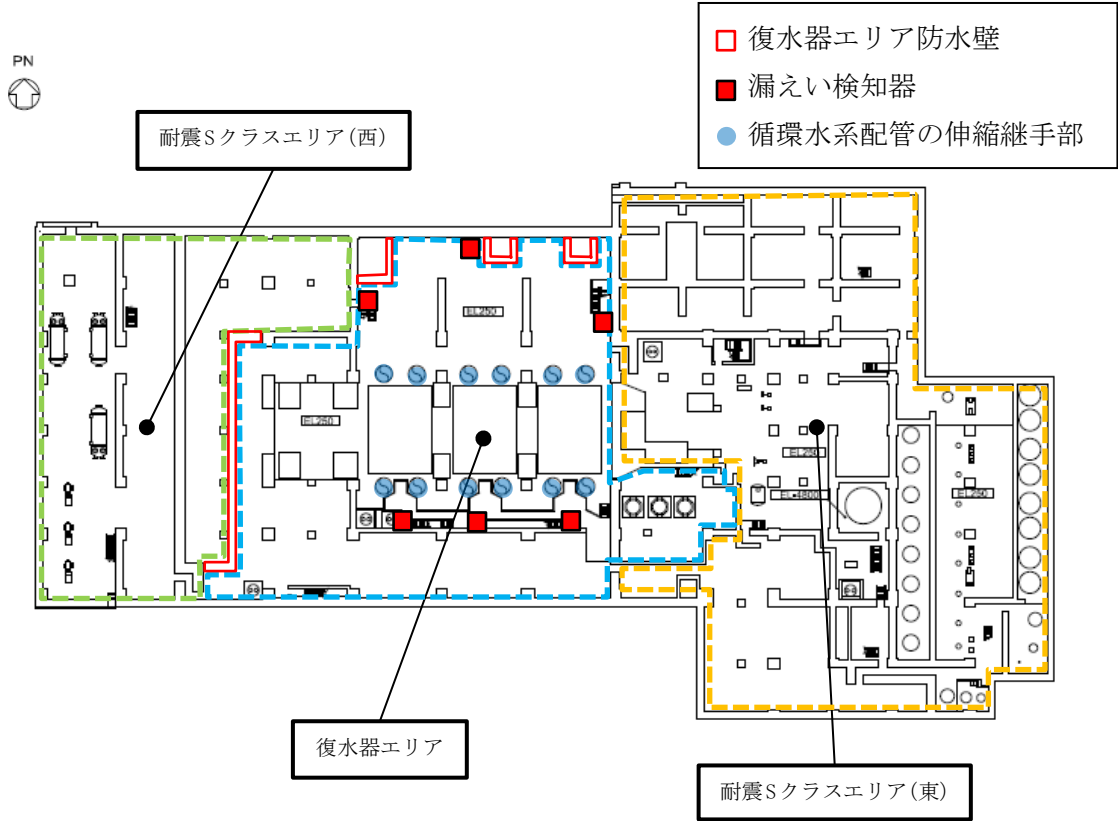


図 9-5 漏えい検知器設置箇所（タービン建物地下1階）

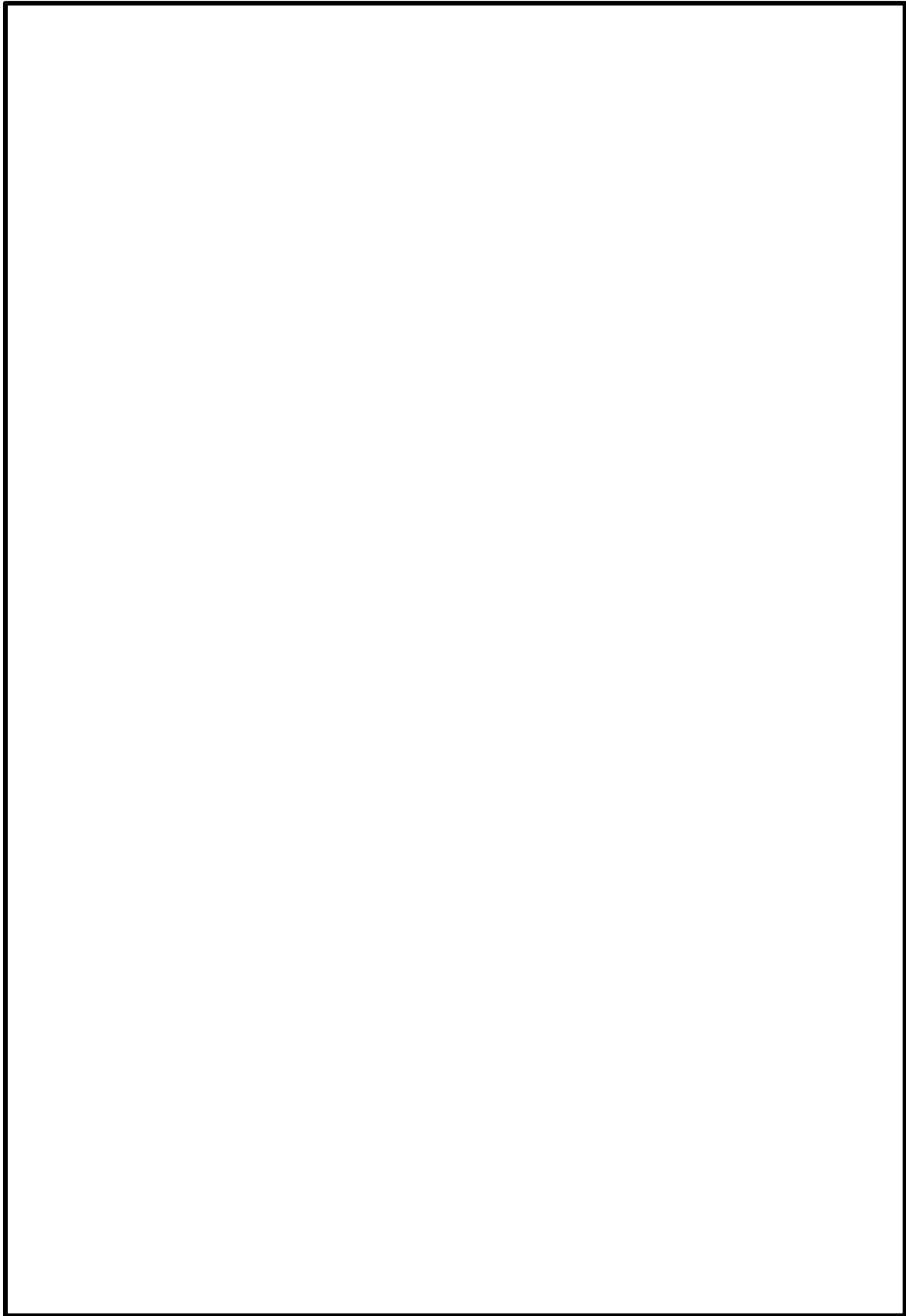


図 9-6 漏えい検知器の構造及び外観

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

c. インターロック設置の必要性

地震起因による溢水量は、インターロック非設置の場合はタービン建物の貯留可能容積を大きく上回ることから、タービン建物内から原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出が考えられる。

原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物への溢水の流出防止のためインターロックは必要である。

9.1.2 溢水量

(1) 想定破損による溢水量

循環水系配管の伸縮継手部からの溢水量は、溢水流量、隔離時間及び循環水系の保有水量から算出した。隔離時間は、破損から運転員による循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの時間とした。算出した溢水流量、隔離時間及び溢水量をそれぞれ表 9-2～4 に示す。また、実際に漏えい検知に要する時間は、循環水配管の溢水流量、漏えい検知器動作に必要な溢水量を考慮した結果、表 9-5 に示すとおり 10 秒未満であり、評価に用いた検知時間 5 分は十分に保守的である。

表 9-2 伸縮継手部からの溢水流量

部位	内径[mm]	破損幅[mm]	溢水流量[m ³ /h]
復水器水室出入口部	2,200	50	13,173

表 9-3 伸縮継手部の破損から隔離までの時間

項目	時間[min]
漏えい検知器による漏えい検知までの時間	5
現場への移動時間	20
漏えい箇所特定に要する時間	30
循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止時間	10
合計	65

表 9-4 想定破損による溢水量

項目	溢水量[m ³]
破損から循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの溢水量	14,271
循環水系の保有水量	181
合計	14,452

表 9-5 伸縮継手部の破損から漏えい検知までの時間評価

循環水系配管の伸縮継手部からの溢水流量	13, 173 [m ³ /h]
復水器エリア EL0. 25m~EL2. 0m の空間容積	1, 827 [m ³]
漏えい検知方法	漏えい検知器
漏えい検知器設定値	床面 + 20 [mm]
漏えい検知器動作に必要な溢水量	20. 9 [m ³]
漏えい検知器動作までの時間	5. 8 [s]

(2) 地震起因による溢水量

循環水系配管の伸縮継手部からの溢水量に加え、タービン建物内の耐震 B, C クラス機器の保有水量から算出した。隔離時間は、地震発生から復水器エリアの漏えい検知インターロックによる循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの時間とした。算出した溢水流量、隔離時間及び溢水量をそれぞれ表 9-6~8 に示す。

表 9-6 伸縮継手部からの溢水流量

部位	部位数	内径 [mm]	破損幅 [mm]	溢水流量 [m ³ /h]
復水器水室出入口部	12	2, 200	50	233, 534
復水器水室連絡管部	6	2, 100	50	

表 9-7 伸縮継手部の破損から隔離までの時間及び漏えい検知方法

項目	時間 [min]
地震発生から漏えい検知インターロックによる循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの時間	1 *
漏えい検知方法	漏えい検知器
漏えい検知器設定値	床面 + 100 [mm]

※ 漏えい検知時間 3. 1 [sec] + 弁閉止時間 55 [sec] を切り上げた値

表 9-8 地震起因による溢水量

項目		溢水量 [m ³]
循環水系配管の伸縮継手部	地震発生から漏えい検知インターロックによる循環水ポンプ停止及び復水器水室出入口弁の閉止までの溢水量	2, 047*
	循環水系の保有水量	1, 083
耐震 B, C クラス機器の保有水量		2, 859
合計		5, 989

※ $233, 534 [m^3/h] \times 3. 1 [sec] + 233, 534 [m^3/h] \times (60 - 3. 1) [sec] \div 2 \doteq 2, 047 [m^3]$

(3) 消火水の放水による溢水量

「6.1 溢水量の算定」に基づき、消火水の放水による溢水量の算出に用いる放水流量を130[l/min]とし、この値を2倍して溢水流量とした。放水時間と溢水流量から評価に用いる消火水の放水による溢水量を以下のとおりとした。

$$\cdot 130[1/\text{min}/\text{個}] \times 2 \text{ 倍} \times 3.0[\text{h}] = 46.8[\text{m}^3]$$

9.1.3 復水器エリアにおける溢水影響評価結果

復水器エリアの溢水事象により浸水する範囲について、溢水防護対象設備が設置されている原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物との境界貫通部に対して止水処置を施すことにより、溢水防護対象設備への影響がないことを確認した。各溢水事象における評価結果を以下に示す。

(1) 想定破損による没水影響評価結果

復水器エリアの溢水を貯留できる EL5.3m（復水器エリア防水壁高さ）以下の空間容積を表 9-9 に示す。

循環水系配管の伸縮継手部からの溢水量（14,452m³）は、復水器エリアの貯留可能容積（6,680m³）より大きいことから、タービン建物1階（EL5.5m）を溢水経路として、耐震Sクラスエリア（東）に流出する。溢水の浸水する範囲を図 9-7 に、タービン建物全体（耐震Sクラスエリア（西）を除く）の溢水を貯留できる EL8.8m（タービン建物から原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物への流出高さ）以下の空間容積を表 9-10 に示す。空間容積の算出にあたっては、タービン建物床面積から機器等の設置面積相当分を差し引き、上階の床スラブ厚を差し引いた高さを乗じて算出した。

循環水系配管の伸縮継手部からの溢水量（14,452m³）は、タービン建物全体（耐震Sクラスエリア（西）を除く）の貯留可能容積（24,816m³）より小さいことから（溢水水位 EL5.9m）、タービン建物内に貯留可能で、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。溢水水位の算出結果を表 9-11 に示す。

$$\begin{array}{l} 14,452\text{m}^3 \\ \text{(循環水系配管の伸縮} \\ \text{継手部からの溢水量)} \end{array} > \begin{array}{l} 6,680\text{m}^3 \\ \text{(復水器エリアの貯留可能容積)} \end{array}$$

$$\begin{array}{l} 14,452\text{m}^3 \\ \text{(循環水系配管の伸縮} \\ \text{継手部からの溢水量)} \end{array} < \begin{array}{l} 24,816\text{m}^3 \\ \text{(タービン建物全体 (耐震Sクラス} \\ \text{エリア (西) を除く) の貯留可能容積)} \end{array}$$

表 9-9 復水器エリアの溢水を貯留できる空間容積

範囲	空間容積[m ³]
EL0.25~EL2.0m	1,827
EL2.0 ~EL5.3m	4,853
合計	6,680

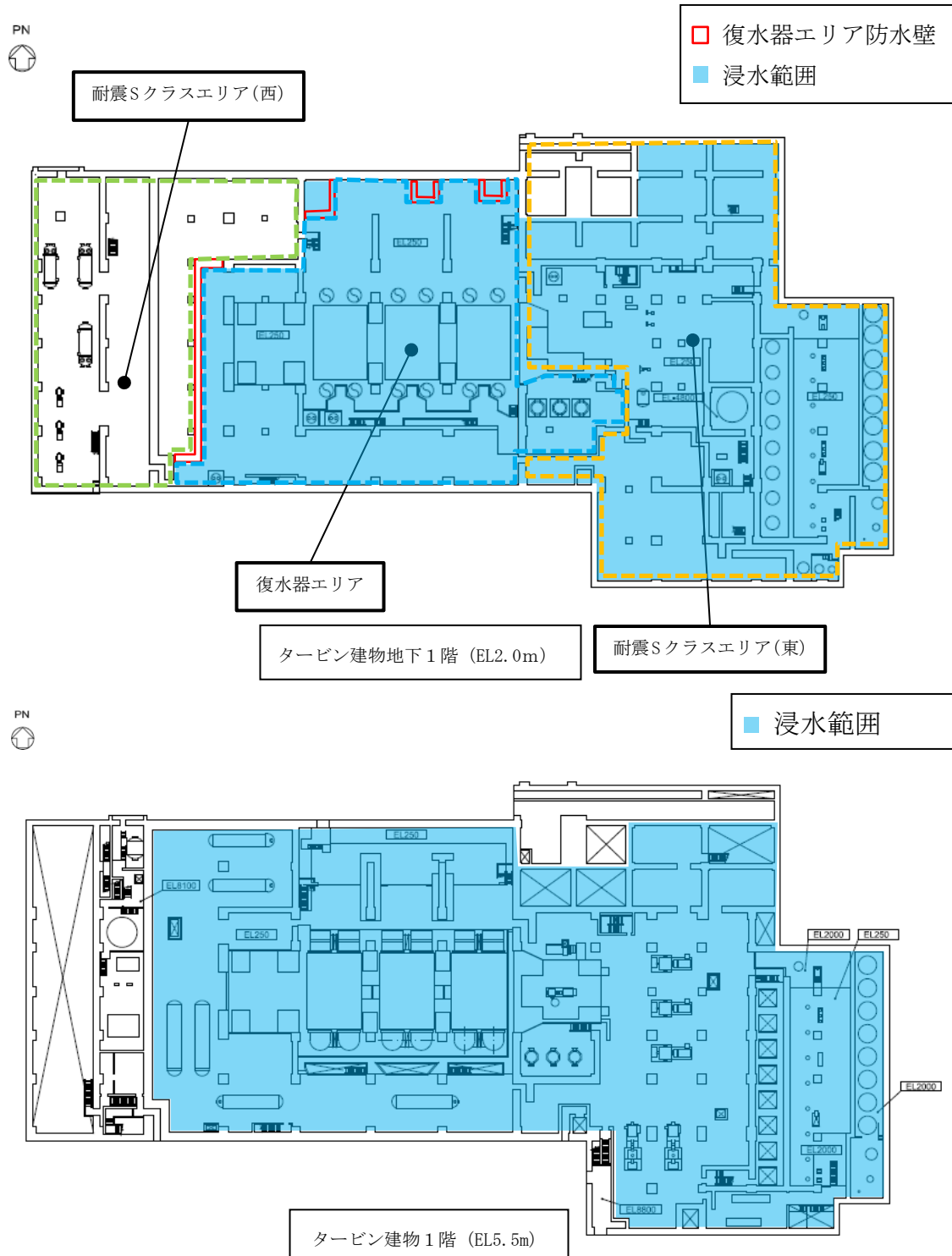


図 9-7 循環水配管の想定破損により溢水の浸水する範囲

表 9-10 タービン建物全体（耐震 S クラスエリア（西）を除く）
の溢水を貯留できる空間容積

範囲	空間容積[m ³]
EL-4.8～EL0.25m	176
EL0.25～EL2.0m	3,236
EL2.0～EL5.5m	10,052
EL5.5～EL8.8m	11,352
合計	24,816

表 9-11 想定破損による溢水水位算出結果

諸元	値
①EL5.5m より上部に滞留する溢水量 ^{※1}	988 [m ³]
②EL5.5m における溢水の浸水する範囲の滞留面積	3,440 [m ²]
③水上高さ	0.075 [m]
④EL5.5m より上部に滞留する溢水水位 ^{※2}	0.4 [m] (EL5.9m)

※1 循環水系配管の伸縮継手部からの溢水量（14,452m³）から表 9-10 における EL5.5m 以下の空間容積（13,464m³）を差し引いた値

※2 以下の式より算出

$$④ = ① / ② + ③$$

(2) 地震起因による没水影響評価結果

地震起因による溢水量(5,989m³)は、復水器エリアの貯留可能容積(6,680m³)より小さいことから（溢水水位 EL4.8m）、復水器エリアに貯留可能で、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。溢水水位の算出結果を表 9-12 に示す。

$$5,989\text{m}^3 < 6,680\text{m}^3$$

(地震起因による溢水量) (復水器エリアの貯留可能容積)

表 9-12 地震起因による溢水水位算出結果

諸元	値
①EL2.0m より上部に滞留する溢水量 ^{※1}	4,162 [m ³]
②EL2.0m における復水器エリアの滞留面積	1,546 [m ²]
③水上高さ	0.075 [m]
④EL2.0m より上部に滞留する溢水水位 ^{※2}	2.8 [m] (EL4.8m)

※1 地震による溢水量（5,989m³）から表 9-9 における EL2.0m 以下の空間容積（1,827m³）を差し引いた値

※2 以下の式より算出

$$④ = ① / ② + ③$$

(3) 消火水の放水による没水影響評価結果

消火水の放水による溢水量(46.8m³)は想定破損による溢水量(14,452m³)より小さいことから、想定破損による溢水評価に包含され、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。

9.2 耐震 S クラスエリアにおける溢水

耐震 S クラスエリア（東）及び（西）における溢水について、想定破損による溢水ではエリア内で最も溢水量の大きい復水給水系配管の破損を想定し、地震起因による溢水では耐震 B, C クラス機器の破損を想定する。また、消火水の放水による溢水を想定する。

9.2.1 評価条件

- ・ 想定破損による溢水では、エリア内で最も溢水量の大きい復水給水系配管の破損を考慮する。
- ・ 地震起因による溢水では、破損を想定する耐震 B, C クラス機器の保有水を考慮する。
- ・ 地震起因による溢水では、地震に伴い津波が襲来するものとし、タービン補機海水系配管を含む耐震 B, C クラス機器の破損箇所からの津波の流入を考慮する。
- ・ 消火水の放水による溢水では、屋内消火栓からの放水流量を考慮する。

9.2.2 溢水量

(1) 想定破損による溢水量

エリア内で想定する溢水のうち、最も溢水量の大きい復水給水系 (1, 646m³) とした。

(2) 地震起因による溢水量

エリア内に設置される耐震 B, C クラス機器の保有水量から算出した。各エリアの溢水量を表 9-13 に示す。

表 9-13 地震起因による溢水量

エリア	溢水量 [m ³]
耐震 S クラスエリア（東）	2, 730
耐震 S クラスエリア（西）	1, 332

(3) 消火水の放水による溢水量

9.1.2 (2)と同様に、46.8m³とした。

9.2.3 耐震 S クラスエリア（東）及び（西）における溢水影響評価結果

耐震 S クラスエリア（東）及び（西）の溢水事象により浸水する範囲について、溢水防護対象設備が設置されている原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物との境界貫通部に対して止水処置を施すことにより、溢水防護対象設備への影響がないことを確認した。各溢水事象における評価結果を以下に示す。

(1) 耐震 S クラスエリア (東)

a. 想定破損による没水影響評価結果

想定破損による溢水量 (1,646m³) は、地震起因による溢水量(2,730m³) より小さいことから、地震起因による溢水評価に包含され、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。地震起因の没水影響評価結果を b. 項に示す。

b. 地震起因による没水影響評価結果

耐震 S クラスエリア (東) の溢水を貯留できる EL4.9m (天井高さ) 以下の空間容積を表 9-14 に示す。

地震起因による溢水量(2,730m³) は、耐震 S クラスエリア (東) の貯留可能容積 (6,598m³) より小さいことから (溢水水位 EL2.8m), エリア内に貯留可能で、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。溢水水位の算出結果を表 9-15 に示す。

$$\begin{array}{ccc} 2,730\text{m}^3 & < & 6,598\text{m}^3 \\ \text{(地震起因による溢水量)} & & \text{(耐震 S クラスエリア (東) の貯留可能容積)} \end{array}$$

表 9-14 耐震 S クラスエリア (東) の溢水を貯留できる空間容積

範囲	空間容積[m ³]
EL-4.8~EL0.25m	176
EL0.25~EL2.0m	1,409
EL2.0 ~EL4.9m	5,013
合計	6,598

表 9-15 地震起因による溢水水位算出結果

諸元	値
①EL2.0m より上部に滞留する溢水量 ^{※1}	1,145[m ³]
②EL2.0m における耐震 S クラスエリア (東) の滞留面積	1,731[m ²]
③水上高さ	0.075[m]
④EL2.0m より上部に滞留する溢水水位 ^{※2}	0.8[m] (EL2.8m)

※1 地震による溢水量 (2,730m³) から表 9-14 における EL2.0m 以下の空間容積 (1,585m³) を差し引いた値

※2 以下の式より算出

$$\text{④} = \text{①} / \text{②} + \text{③}$$

c. 消火水の放水による没水影響評価結果

消火水の放水による溢水量 (46.8m³) は地震起因による溢水量 (2,730m³) より小さいことから、地震起因による溢水評価に包含され、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。

(2) 耐震 S クラスエリア (西)

a. 想定破損による没水影響評価結果

耐震 S クラスエリア (西) の溢水を貯留できる EL4.9m (天井高さ) 以下の空間容積を表 9-16 に示す。

想定破損による溢水量 (1,646m³) は、耐震 S クラスエリア (西) の貯留可能容積 (3,131m³) より小さいことから (溢水水位 EL3.6m)、エリア内に貯留可能で、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。溢水水位の算出結果を表 9-17 に示す。

1,646m³ < 3,131m³
 (想定破損による溢水量) (耐震 S クラスエリア (西) の貯留可能容積)

表 9-16 耐震 S クラスエリア (西) の溢水を貯留できる空間容積

範囲	空間容積[m ³]
EL2.0 ~ EL4.9m	3,131

表 9-17 想定破損による溢水水位算出結果

諸元	値
①EL2.0m より上部に滞留する溢水量	1,646[m ³]
②EL2.0m における耐震 S クラスエリア (西) の滞留面積	1,080[m ²]
③水上高さ	0.075[m]
④EL2.0m より上部に滞留する溢水水位 ^{※1}	1.6[m] (EL3.6m)

※1 以下の式より算出

$$④ = ① / ② + ③$$

b. 地震起因による没水影響評価結果

地震起因による溢水量 (1,332m³) (溢水水位 EL3.4m) は、想定破損による溢水量 (1,646m³) より小さいことから、想定破損による溢水評価に包含され、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。溢水水位の算出結果を表 9-18 に示す。

表 9-18 地震起因による溢水水位算出結果

諸元	値
①EL2.0m より上部に滞留する溢水量	1,332[m ³]
②EL2.0m における耐震 S クラスエリア (西) の滞留面積	1,080[m ²]
③水上高さ	0.075[m]
④EL2.0m より上部に滞留する溢水水位 ^{※1}	1.4[m] (EL3.4m)

※1 以下の式より算出

$$\text{④} = \text{①} / \text{②} + \text{③}$$

c. 消火水の放水による没水影響評価結果

消火水の放水による溢水量 (46.8m³) は想定破損による溢水量 (1,646m³) より小さいことから、想定破損による溢水評価に包含され、原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物へ溢水の流出がないことを確認した。

9.3 海域活断層及び日本海東縁部に想定される地震による津波について

海域活断層及び日本海東縁部に想定される地震による津波については、図 9-8、9-9 に示す通り、海域と接続のある耐震 B, C クラス機器のうち、循環水系に加え、タービン補機海水系についてもインターロックによる弁閉止及び出口側配管の逆止弁により津波の流入を防止することから、循環水系配管を含む耐震 B, C クラス機器の破損箇所からタービン建物へ津波の流入はない。タービン補機海水系の対策概要図を図 9-10-1, 2 に示す。

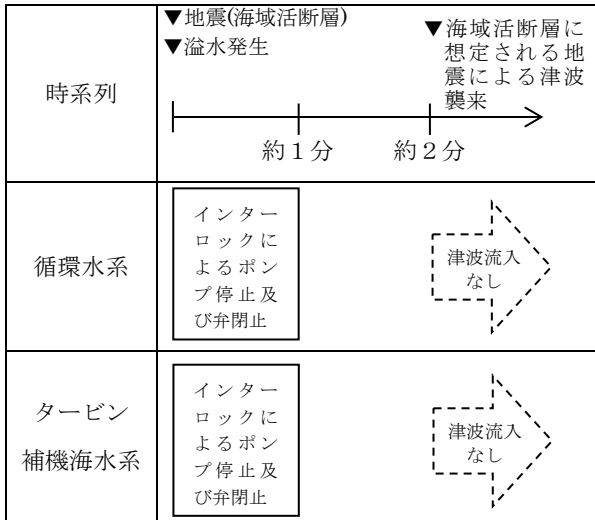


図 9-8 海域活断層に想定される地震による津波襲来に係る時系列

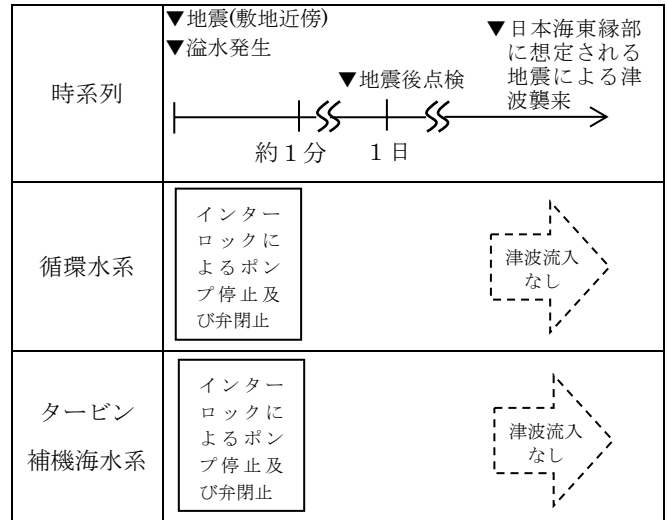


図 9-9 日本海東縁部に想定される地震による津波襲来に係る時系列

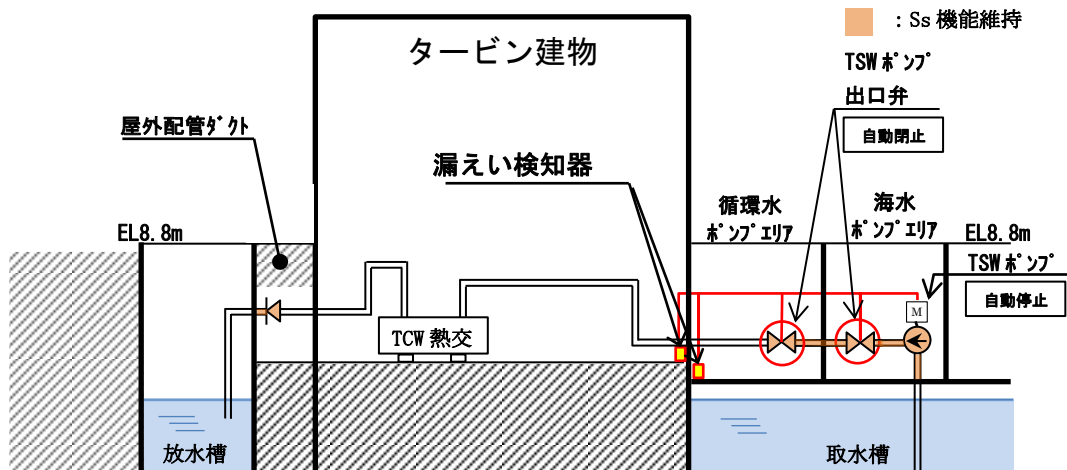


図 9-10-1 タービン補機海水系の対策概要 (断面図)

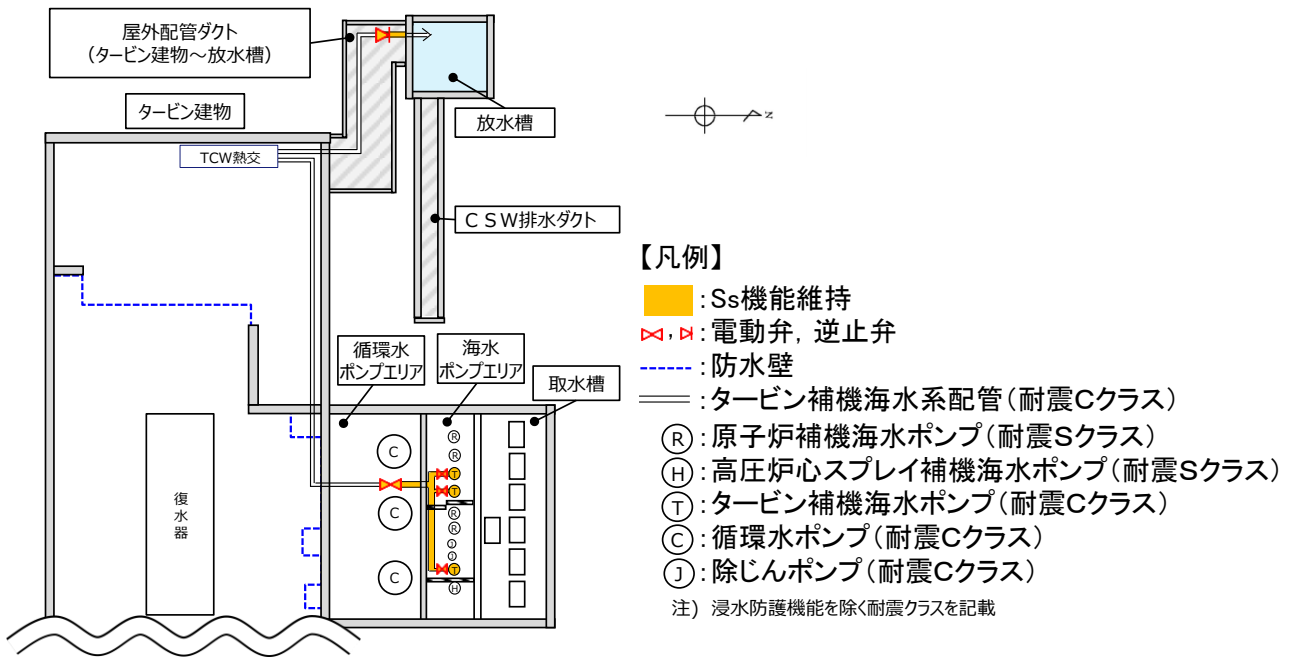


図 9-10-2 タービン補機海水系の対策概要 (平面図)

9.4 タービン建物に設置されている防護対象設備について

タービン建物に設置されている原子炉補機海水系配管等の防護対象設備について、それらの設備が溢水により機能喪失しないことを確認した。

(1) 防護対象設備について

タービン建物のうち、最終滞留区画に設置されている防護対象設備の配置を図9-11に、防護対象設備を表9-19に示す。

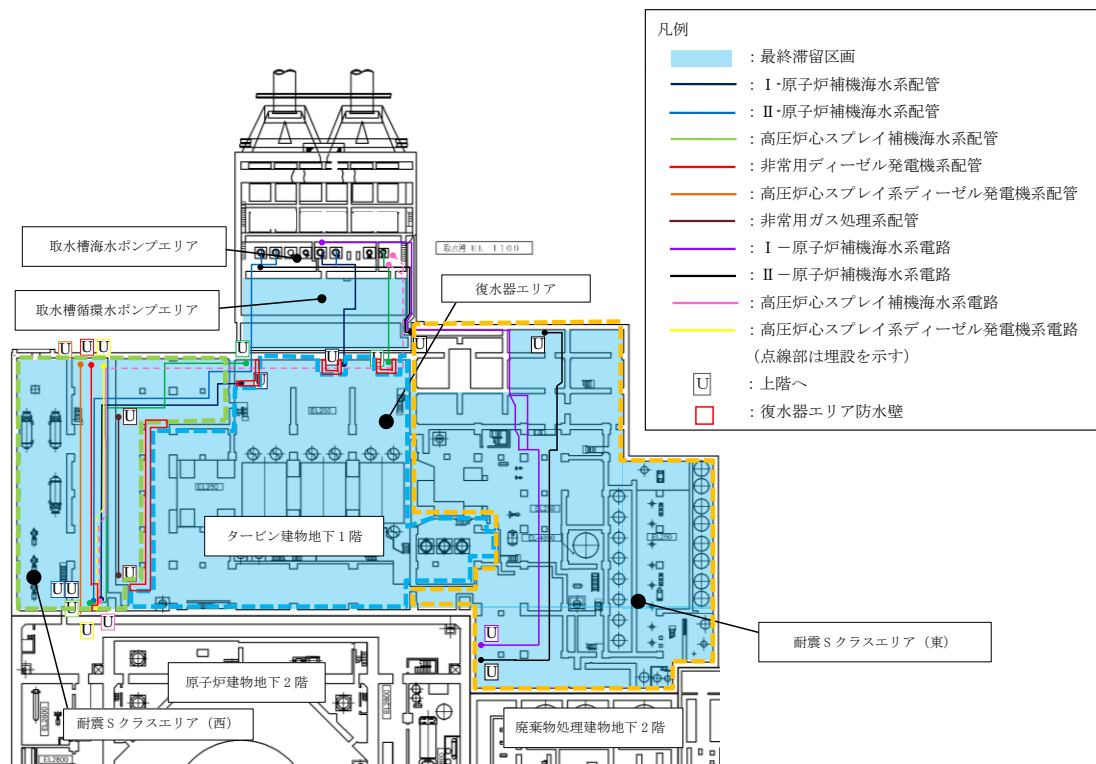


図 9-11 防護対象設備配置図

表 9-19 防護対象設備

設置区画	設備	
タービン建物	原子炉補機海水系	配管
		ケーブル
	高圧炉心スプレイ補機海水系	配管
		ケーブル
	非常用ディーゼル発電機系	配管
高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機系	配管 ケーブル	
非常用ガス処理系	配管	

(2) 配管及びケーブルの溢水影響について

a. 評価条件について

9.1 項及び 9.2 項の評価より，タービン建物における最大の溢水水位 EL5.9m に相当する水頭圧を外圧条件とした。

b. 評価結果

(a) 配管

没水時の外圧に対する健全性評価の例を表 9-20 に示す。なお、弁は配管に比べ肉厚であるため、配管の評価に包含される。配管の製造最小厚さから外圧に対する許容圧力を算出し、没水時の外圧に対する健全性を確認した。

(b) ケーブル

ケーブルはシース（難燃性特殊耐熱ビニル）で覆った構造であり，非常時の環境条件（静水圧換算：18m 以上）を考慮した設計であるため，没水時の外圧により機能喪失しない。また，海水に対する影響については，海水による浸水試験（試験時間：200 時間）を実施し，外観及び絶縁抵抗に影響がないことを確認している。なお，没水するケーブルについては溢水により機能を喪失する接続部（端子部）がないことを確認した。

表 9-20 タービン建物に敷設される配管の外圧に対する許容圧力

系統	原子炉補機海水系配管	高圧炉心スプレイ補機海水系配管	非常用ディーゼル発電機系配管	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機系配管	非常用ガス処理系配管
外径 Do[mm]	711.2	267.4	60.5	60.5	406.4
板厚 t[mm]	9.5	9.3	5.5	5.5	9.5
製造上最小厚さ ts[mm]	8.5	8.13	4.81	4.81	8.31
付録材料図表 Part7 により定まる値 B	9.7	55	110	110	34
材質	SM41C	STPT42	STPT42	STPT42	STPT42
水頭圧[MPa]	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
許容圧力 [MPa]*	0.15	2.22	11.6	11.6	0.92
許容圧力 > 水頭圧判定	○	○	○	○	○

※ 「発電用原子力設備規格 設計・建設規格（JSME S NC1-2005/2007）」

「PPC-3411 直管 (2) 外圧を受ける直管」を準用した以下の式を用い，製造上の最小厚さから許容圧力を算定した値

$$t_s = \frac{3P_e D_0}{4B}$$

P_e : 許容圧力 [MPa]

t_s : 製造上の最小厚さ [mm]

D_0 : 管の外径 [mm]

B : 付録材料図表 Part7 により定まる値

9.5 循環水ポンプエリアにおける溢水

海水ポンプエリアに隣接する循環水ポンプエリアの循環水系配管の伸縮継手部の全円周状の破損を想定し、海水ポンプエリアへの溢水影響を評価した。算出した溢水流量を表 9-21 に、溢水影響評価結果を表 9-22 に示す。越流水深の算出にあたっては、Govinda Rao の式（補足説明資料 30 参照）を使用した。

海水ポンプエリアに設置している海水ポンプエリア防水壁（EL10.8m）は、循環水ポンプエリア天端（EL8.8m）より 2.0m 高く設計しており、隣接する循環水ポンプエリアでの想定破損により溢水が発生した場合においても、循環水ポンプエリア天端の越流水深は 0.24m であることから、海水ポンプエリア防水壁を越流して隣接する海水ポンプエリアに流入することはない。循環水系配管破損時の平面図を図 9-12 に、断面図を図 9-13 に示す。

表 9-21 循環水系配管の伸縮継手部の溢水流量

部位	内径[mm]	破損幅[mm]	溢水流量[m ³ /h]
循環水ポンプ出口配管伸縮継手部	2,600	50	15,590

表 9-22 循環水ポンプエリアの溢水影響評価結果

W	循環水ポンプエリア壁の高さ[m]	7.7
B	排出を期待する開口長さ[m]	23.6
L	循環水ポンプエリア壁の幅[m]	1.0
Q	エリア内の溢水流量[m ³ /h]	15,590
h	越流水深[m]	0.24
H	許容越流水深[m]	2.0
評価結果(判定基準：H≥h)		○

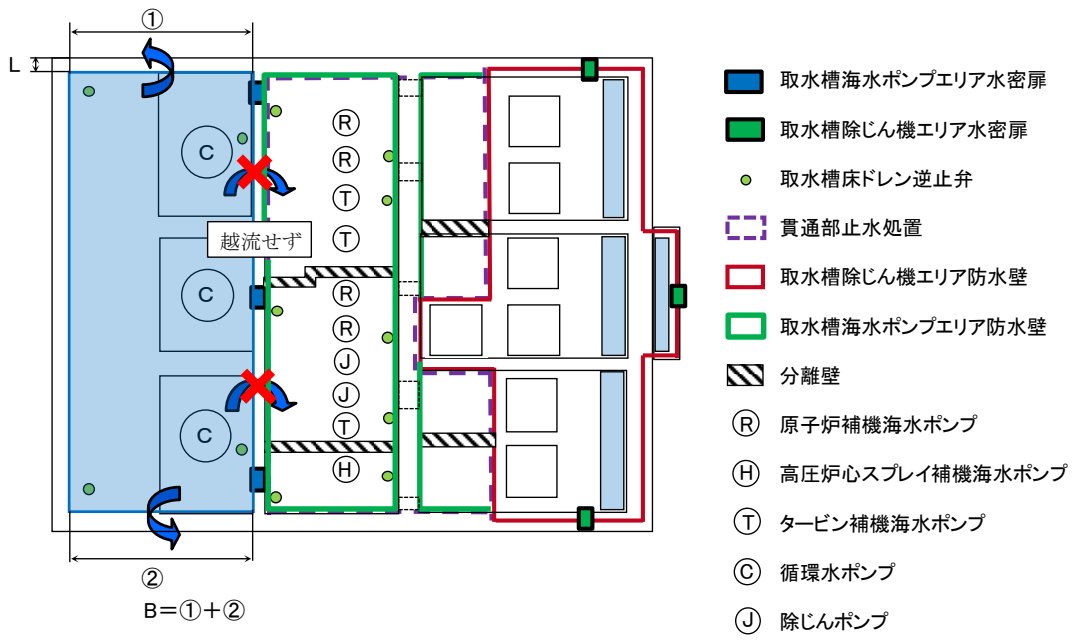


図 9-12 取水槽海水ポンプエリア平面図 (循環水系配管破損時)

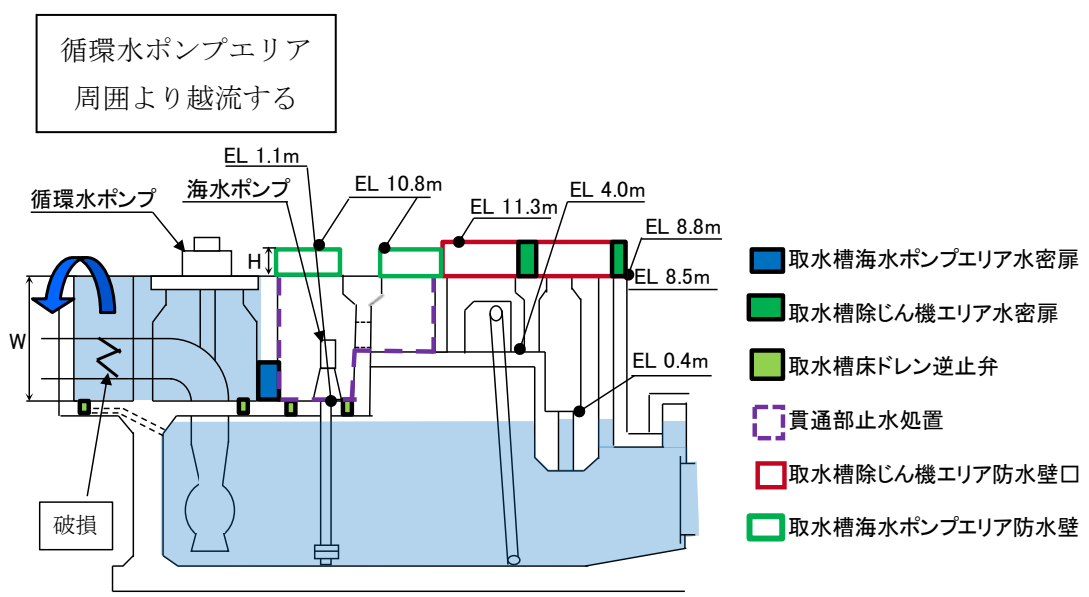


図 9-13 取水槽海水ポンプエリア断面図 (循環水系配管破損時)

9.6 評価結果

9.1～9.5の各溢水事象により浸水する範囲について、溢水防護対象設備が設置されている原子炉建物、廃棄物処理建物、制御室建物及び海水ポンプエリアとの境界貫通部に対して止水措置を施すことにより、溢水防護対象設備への影響がないことを確認した。

10. 建物外からの溢水影響評価

島根原子力発電所2号炉における溢水防護対象設備を内包する建物の外部にある溢水源としては、海水を除き、屋外タンク及び貯水槽等（以下「屋外タンク等」という。）の保有水並びに地下水が挙げられる。ここでは、これらの溢水が溢水防護対象設備に与える影響を評価する。

なお、海水の溢水に関しては「9. 溢水防護対象設備が設置されているエリア外からの溢水影響評価」及び設置許可基準規則 第五条（津波による損傷の防止）に対する適合性において説明する。また、屋外タンク等は全て大気開放構造であり、最高使用圧力が静水頭圧であるため、想定破損による溢水源として考慮しない。

10.1 屋外タンク等の溢水による影響

(1) 地震起因による屋外タンク等からの溢水影響

屋外タンク等の溢水として、地震による損傷が否定できない屋外タンク等の破損による溢水を考慮する必要がある。

島根原子力発電所の敷地内に設置されている屋外タンク等のうち溢水源とする屋外タンク等を溢水源とする屋外タンク等の選定フロー（図10-1）により抽出した（詳細を補足説明資料27に示す）。結果を表10-1に、また抽出された屋外タンク等の配置を図10-2に示す。

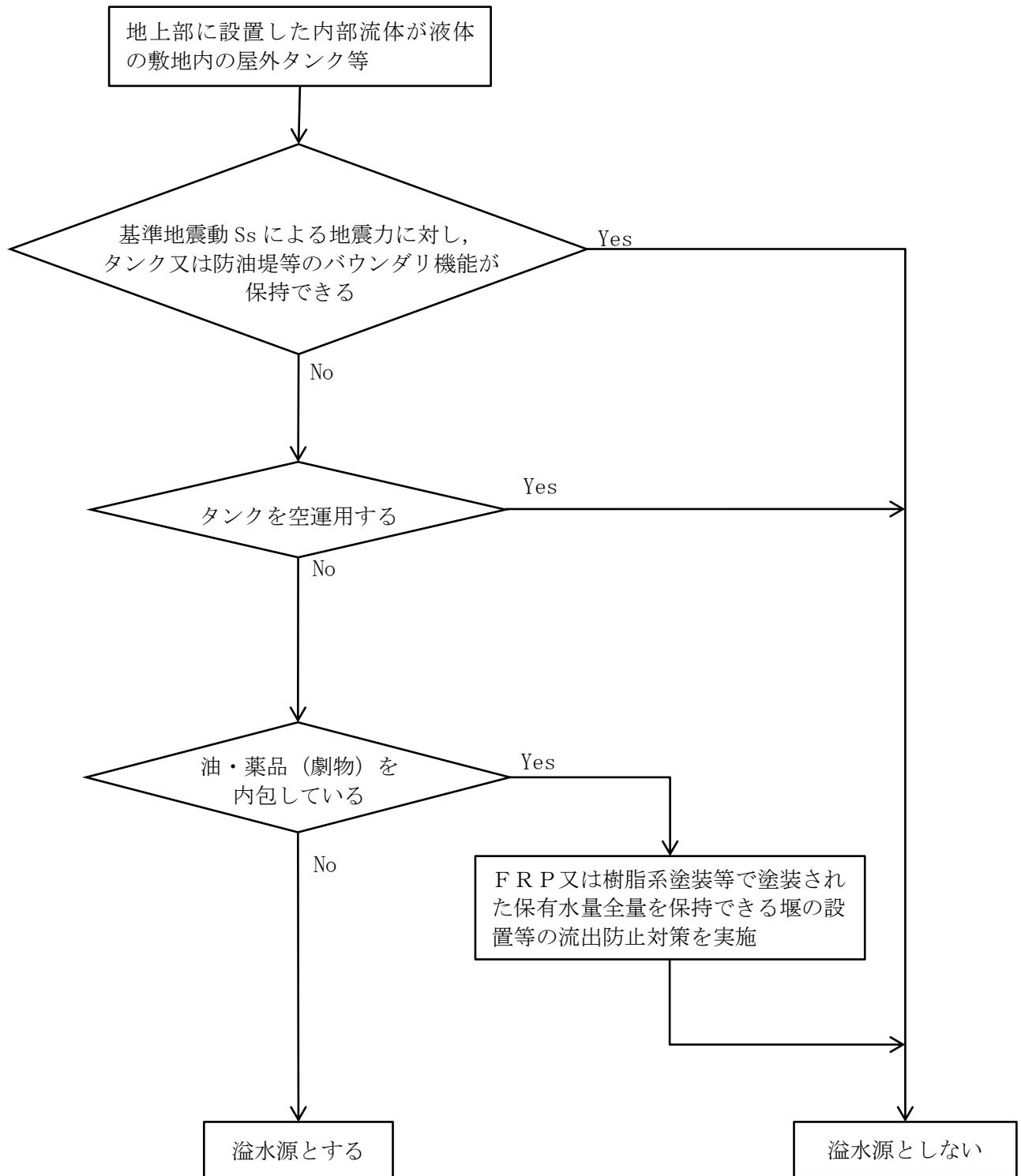


図 10-1 溢水源とする屋外タンク等の選定フロー

表 10-1 溢水源とする屋外タンク等

No	名称	保有水量 [m ³]	溢水伝播 挙動評価 に用いる 溢水量 [m ³] ^{※3}	配置 No	保有水量20m ³ 以上(山間部 除く)の屋外 タンク等	エリア No	合計 保有水量 [m ³]	溢水伝播 挙動評価 に用いる 合計溢水量 [m ³] ^{※2}
1	雑用水タンク	33	49	25	○	エリア ①	2,832	3,366 (2,994)
2	宇中系統中継水槽(西山水槽)	30	45	26	○			
3	碓子水洗タンク	146	161	22	○			
4	ガスタービン発電機用軽油タンク用消火タンク	49	73	23	○			
5	A-44m盤消火タンク	155	171	30	○			
6	B-44m盤消火タンク	155	171	30	○			
7	輪谷貯水槽(東側)沈砂池	260	286	20	○			
8	原水80t水槽	80	120	24	○			
9	仮設水槽-1(2号西側法面付近)	20	30	39	○			
10	仮設水槽-2(2号西側法面付近)	20	30	40	○			
11	仮設水槽-3(2号西側法面付近)	20	30	45	○			
12	輪谷貯水槽(東側)	1,864 ^{※1}	2,200	19	○			
13	泡消火薬剤貯蔵槽(ガスタービン発電機用軽油タンク)	1	—	n-43	—			
14	山林用防火水槽(スカイライン)	50	—	n-52	—			
15	山林用防火水槽(スカイライン)	50	—	n-52	—			
16	仮設水槽(2号西側法面付近)	2	—	n-59	—			
17	防火水槽	20	—	n-74	—			
18	防火水槽	20	—	n-73	—			
19	鉄イオン溶解タンク(2号)	19	—	n-9	—			
20	純水タンク(A)	600	660	10	○	エリア ②	7,681	8,602 (7,712)
21	純水タンク(B)	600	660	10	○			
22	2号ろ過水タンク	3,000	3,300	11	○			
23	1号除だく槽	87	131	12	○			
24	1号ろ過器	62	93	13	○			
25	2号除だく槽	102	113	14	○			
26	2号ろ過器	36	54	15	○			
27	2号濃縮槽	30	45	16	○			
28	1号ろ過水タンク	3,000	3,300	17	○			
29	74m盤受水槽(2槽)	60	90	27	○			
30	純水装置廃液処理設備	42	63	31	○			
31	22m盤受水槽	30	45	37	○			
32	59m盤トイレ用水貯槽	32	48	44	○			
33	所内ボイラブロータンク	1	—	n-24	—			
34	所内ボイラ冷却水冷却塔	1	—	n-24	—			
35	C-真空脱気塔	3	—	n-28	—			
36	D-真空脱気塔	3	—	n-28	—			
37	C/D用冷却水回収槽	2	—	n-28	—			
38	A-真空脱気塔	2	—	n-38	—			
39	B-真空脱気塔	2	—	n-38	—			
40	冷却水回収槽	2	—	n-38	—			
41	1号除だく槽排水槽	7	—	n-41	—			
42	トイレ用ろ過水貯槽	8	—	n-41	—			
43	変圧器消火水槽	306	336	4	○	エリア ③	441	539 (455)
44	電解液受槽(1号)	22	33	5	○			
45	A-サイトバンカ建物消火タンク	46	69	18	○			
46	B-サイトバンカ建物消火タンク	46	69	18	○			
47	管理事務所4号館用消火タンク	21	32	36	○			
48	電解液受槽(2号)	10	—	n-8	—			
49	1号海水電解装置電解槽(循環5分 8槽)	2	—	n-8	—			
50	2号海水電解装置電解槽(非循環5分 12槽)	2	—	n-8	—			
51	3号ろ過水タンク(A)	1,000	1,100	1	○			
52	3号純水タンク(A)	1,000	1,100	2	○			
53	消火用水タンク(A)	1,200	1,320	3	○			
54	消火用水タンク(B)	1,200	1,320	3	○			
55	3号仮設海水淡水化装置(海水受水槽)	25	38	29	○	エリア ④	6,979	7,735 (7,023)
56	仮設合併処理槽	31	46	34	○			
57	3号純水タンク(B)	1,000	1,100	32	○			
58	3号ろ過水タンク(B)	1,000	1,100	33	○			
59	A-45m盤消火タンク	155	171	38	○			
60	B-45m盤消火タンク	155	171	38	○			
61	宇中受水槽	24	36	46	○			
62	宇中合併浄化槽(1)	63	94	42	○			
63	宇中合併浄化槽(2)	126	139	43	○			
64	海水電解装置脱気槽	12	—	n-13	—			
65	補助ボイラ排水処理装置 排水PH中和槽	3	—	n-14	—			
66	重油タンク用泡原液差圧調合槽	2	—	n-15	—			
67	補助ボイラ補機冷却水薬液注入貯槽	1	—	n-14	—			
68	ブロータンク	1	—	n-14	—			
69	排水放流槽	1	—	n-14	—			
70	訓練用模擬槽	4	—	n-58	—			
71	3号仮設海水淡水化装置(RO処理水槽)	15	—	n-76	—			
72	3号仮設海水淡水化装置(仮設純水槽)	5	—	n-77	—			
73	管理事務所1号館東側調整池	1,520	1,672	9	○	エリア ⑤	1,830	2,014 (1,840)
74	A-50m盤消火タンク	155	171	28	○			
75	B-50m盤消火タンク	155	171	28	○			
76	濁水処理装置	10	—	n-71	—			
合計							20,024	22,256

- ※1 輪谷貯水槽のスロッシング解析値(1,694m³)と実験値の差を踏まえて1.1倍し、切上げた値。
 ※2 ()内はエリア内の溢水源とする屋外タンク等の保有水量の合計を示す。
 ※3 評価に用いる溢水量は保有水量を以下のとおり割り増した。
 20m³以上100m³以下の屋外タンク等:1.5倍
 100m³を超える屋外タンク等:1.1倍
 輪谷貯水槽(東側):1,864m³を上回る2,200m³とした。

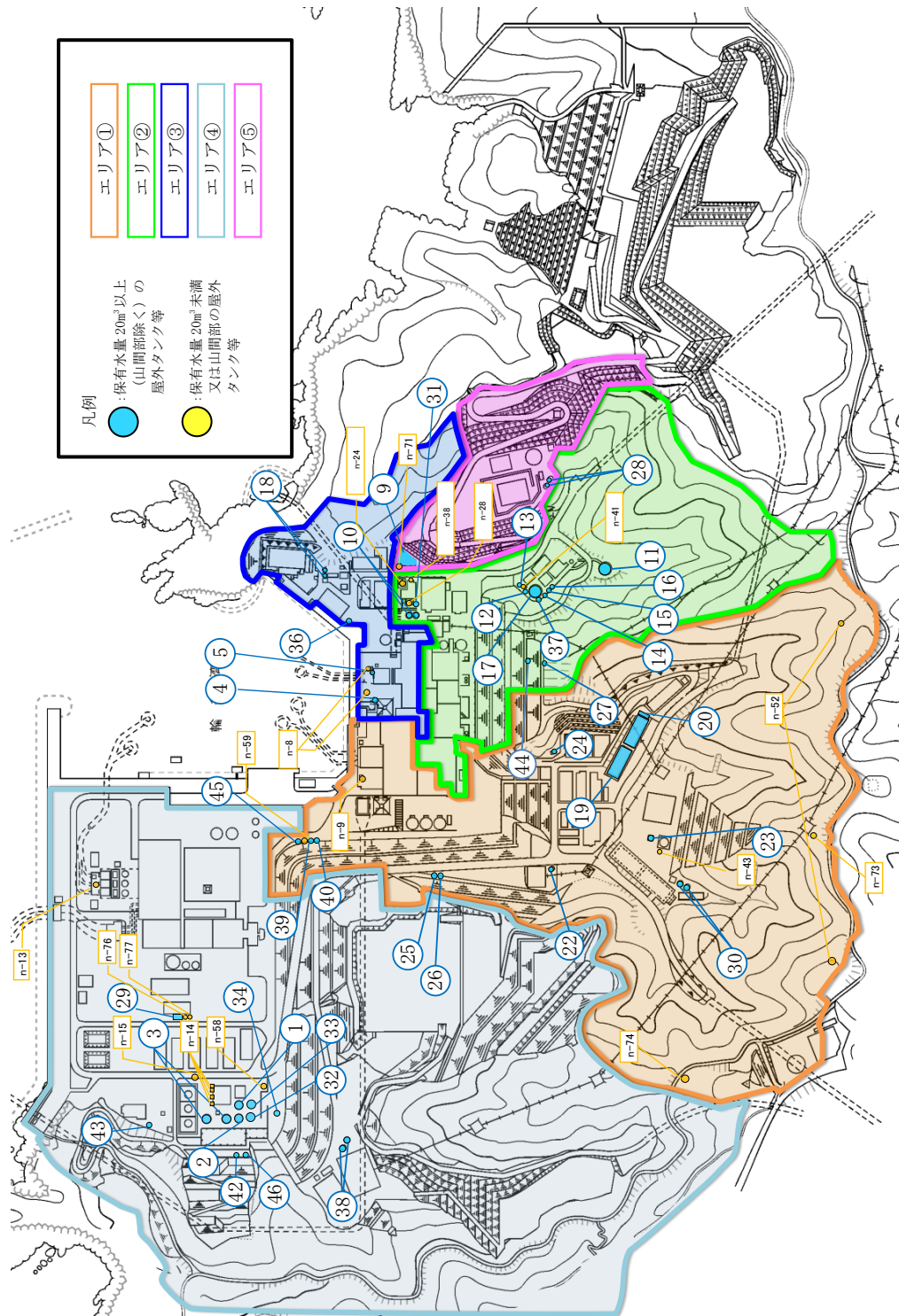


図 10-2 溢水源とする屋外タンク等の配置図

a. 屋外タンク等の溢水伝播挙動評価

屋外タンク等の地震による損傷形態としてはタンクの側板基礎部や側板上部の座屈，また接続配管の破断等が考えられる。このため，地震によりタンクに大開口が生じ短時間で大量の水が流出するようなことはないと考えられるが，屋外タンク等の損傷形態及び流出水の伝播に係る条件について，以下に示す保守的な設定を行った上で，溢水伝播挙動評価を行う。

溢水伝播挙動評価は汎用熱流体解析コードFluentを用いて，以下に示す評価モデルにより敷地の水位を算出する。

なお，輪谷貯水槽（東側）は，溢水防護対象設備の設置されている建物より高所に設置しており，溢水防護対象設備の設置されている建物・区画へ流下することが考えられるため，基準地震動 S_s によって生じるスロッシング量を考慮する。

■溢水伝播挙動評価条件

- 溢水源となる屋外タンク等を表現し，地震による損傷をタンク側板が瞬時に消失するとして模擬する。
- 構内排水路による排水機能及び敷地外への排出は期待しない。
- 輪谷貯水槽（東側）は基準地震動 S_s によって生じるスロッシングによる溢水量（時刻歴）を模擬する。

■評価モデル

島根原子力発電所の敷地形状を三次元モデルで模擬する。評価モデルを図 10-3-1 に示す。

溢水源のモデル化にあたっては，敷地形状（尾根，谷，敷地高さ）を踏まえた発電所構内に流入する降水の集水範囲から，屋外タンク等の設置エリアを5箇所のエリアに区分する。エリアを区分するうえで考慮した敷地形状を表 10-2 に示す。

表 10-1 に示す保有水量 20m^3 以上（山間部除く）の屋外タンク等はその設置位置でモデル化する。また，分散している溢水源を集中させることで水位が高くなることから，保有水量 20m^3 未満又は山間部の屋外タンク等は，その設置位置でモデル化せず，各エリアでモデル化する屋外タンク等の保有水量を割り増すことで考慮する。

区分した各エリアと屋外タンク等の配置を図 10-2 に，各エリア内の屋外タンク等の合計保有水量と溢水伝播挙動評価に用いる溢水量を表 10-1 に示す。

表 10-2 エリア区分で考慮した敷地形状

設置エリア	考慮した主な敷地形状
エリア①／②	尾根
エリア①／③	敷地高さ
エリア①／④	尾根
エリア②／③	敷地高さ
エリア②／⑤	敷地高さ
エリア③／⑤	谷

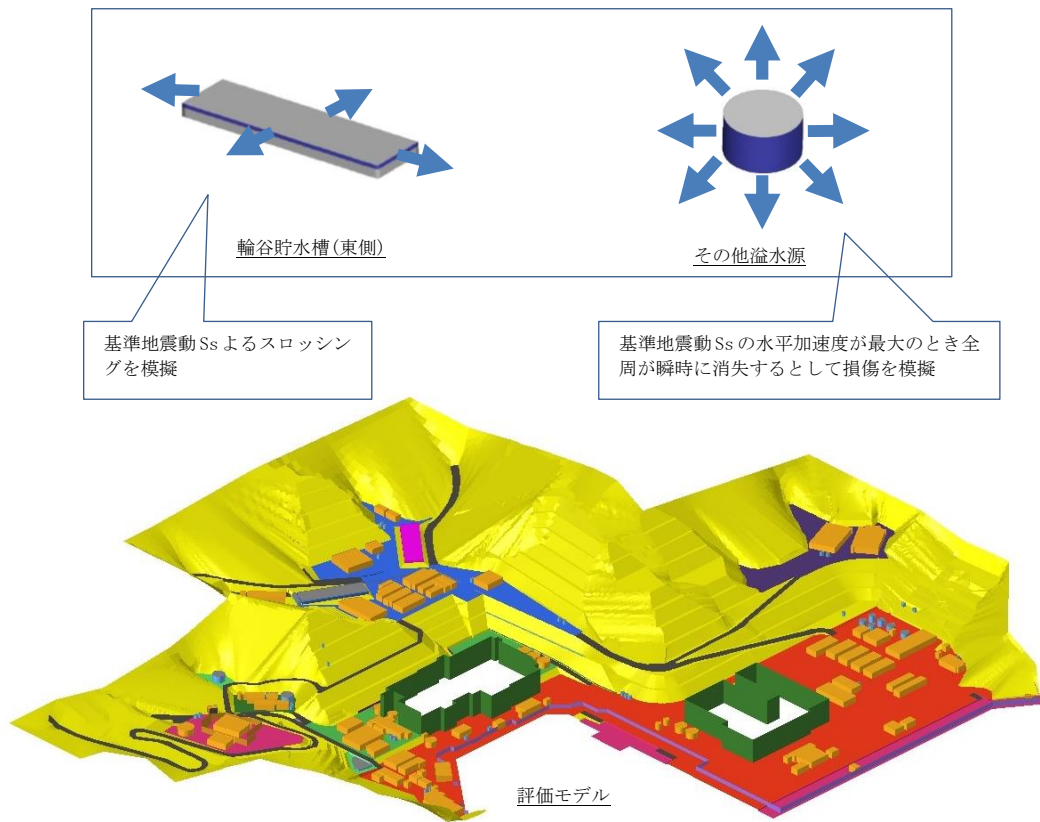
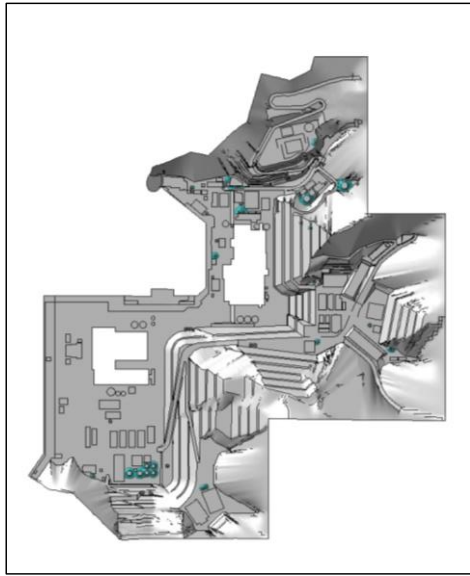


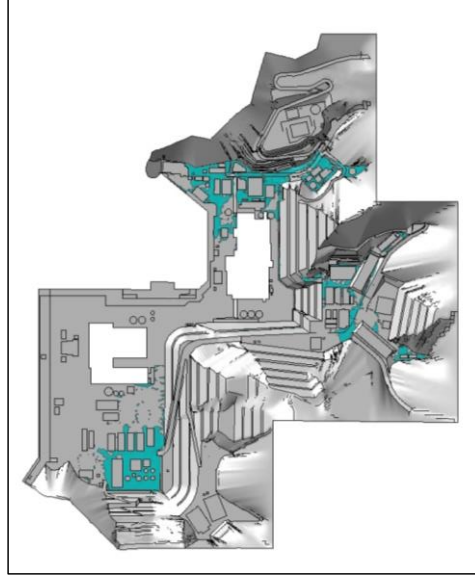
図 10-3-1 溢水伝播挙動の評価モデル

b. 評価結果

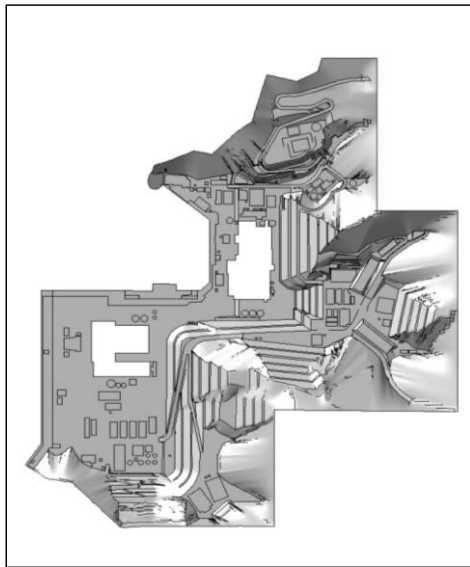
評価の結果として得られた溢水伝播挙動を図 10-3-2 に、代表箇所における浸水深の時刻歴を図 10-3-3 に、最大浸水深を表 10-3 に示す。



10.0 [s]



60.0 [s]



5.0 [s]

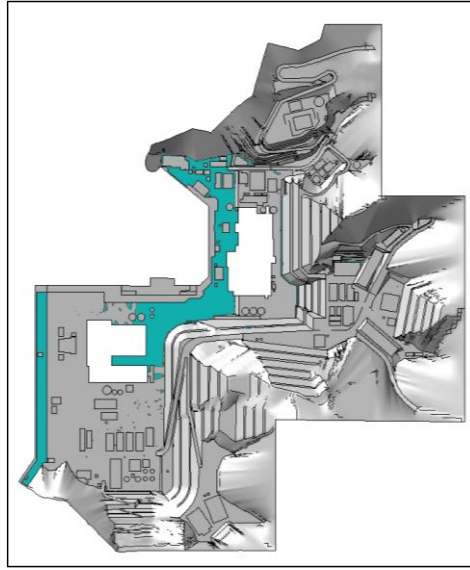


20.0 [s]

図 10-3-2 屋外タンクの溢水伝播挙動 (1/2)



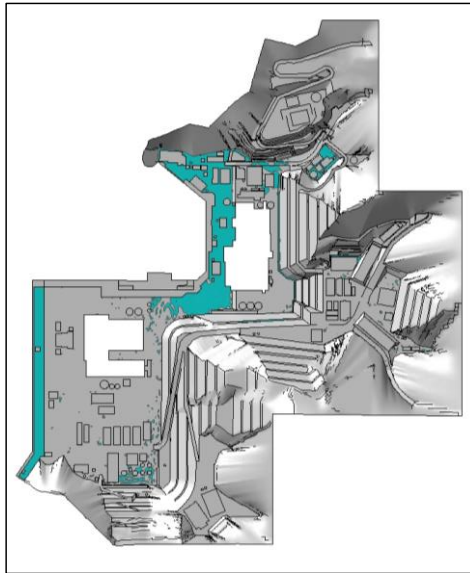
300.0 [s]



1200.0 [s]



120.0 [s]



600.0 [s]

図 10-3-2 屋外タンクの溢水伝播挙動 (2/2)

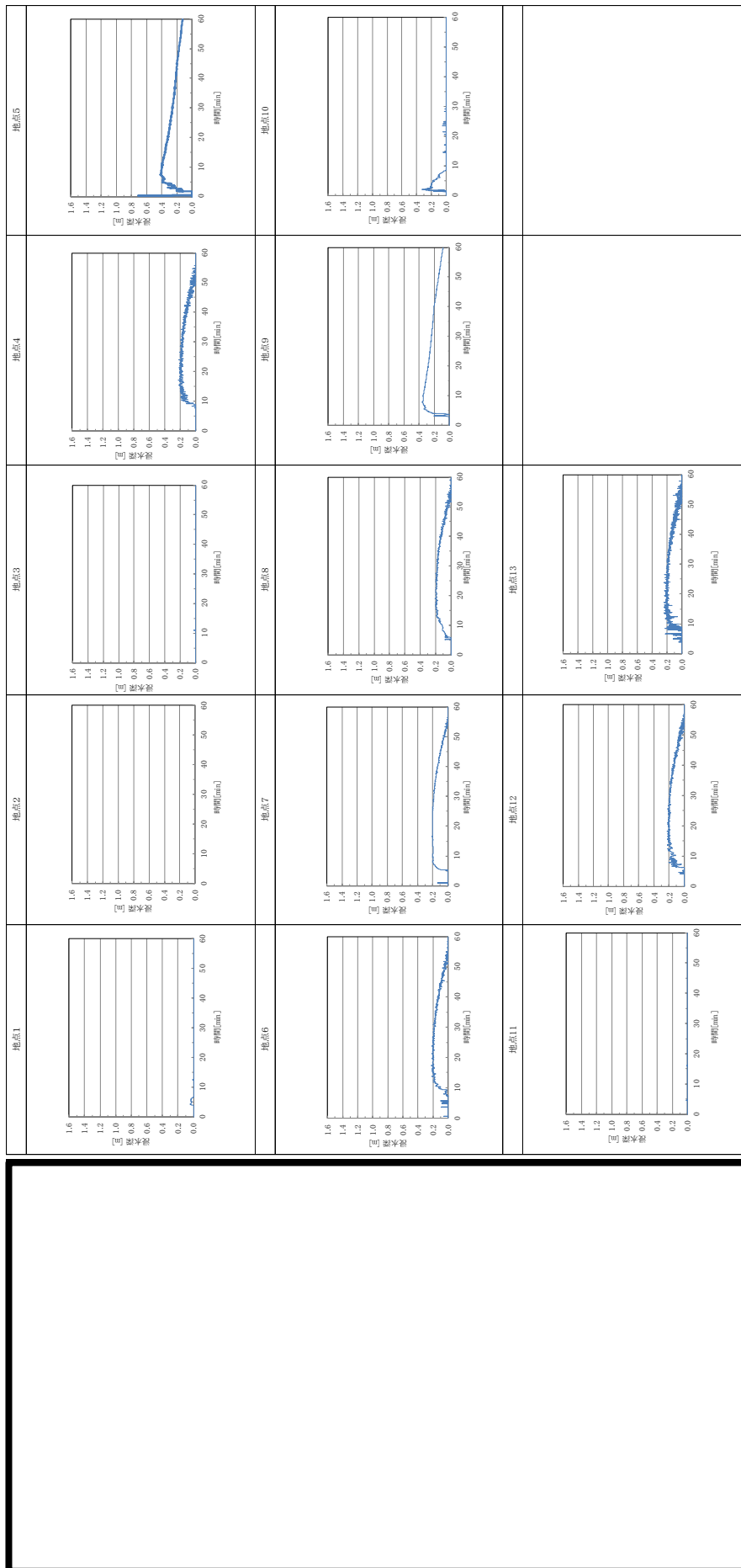


図 10-3-3 代表箇所における浸水深時刻歴

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 10-3 代表箇所における最大浸水深

代表箇所		基準高さ EL [m]	最大 浸水深 [m]	建物外周扉等 の設置位置 EL [m]
地点 1	原子炉建物南面	15.0	0.05	15.3
地点 2	原子炉建物西面 1	15.0	0.01	15.3
地点 3	原子炉建物西面 2	15.0	0.03	15.3
地点 4	タービン建物南面 1	8.5	0.23	8.8
地点 5	タービン建物南面 2	8.5	0.72	8.9
地点 6	タービン建物南面 3	8.5	0.22	9.1
地点 7	タービン建物南面 4	8.5	0.21	9.26
地点 8	海水ポンプエリア西面	8.5	0.21	8.8
地点 9	海水ポンプエリア東面	8.5	0.36	8.8
地点 10	廃棄物処理建物南面	15.0	0.33	15.35
地点 11	B-非常用ディーゼル発電機燃料 貯蔵タンク格納槽北面	15.0	0.02	15.35
地点 12	A-非常用ディーゼル発電機燃 料移送ポンプピット西面	8.5	0.23	8.7
地点 13	高圧炉心スプレー系非常用ディ ーゼル発電機燃料移送ポンプ ピット西面	8.5	0.25	8.7

c. 影響評価

屋内に設置される溢水防護対象設備の建物外からの溢水に対する流入経路としては表 10-4 に示す経路が挙げられる。なお、制御室建物については直接地表面と接する外壁はなく、屋外タンク等の溢水が直接浸水する経路はない。

また、屋外に設置されている溢水防護対象設備としては以下があるが、これらに対する流入経路は地表部からの直接伝播となる。

- ・ A、H-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ
- ・ B-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ
- ・ 原子炉補機海水ポンプ
- ・ 高圧炉心スプレー補機海水ポンプ

以上の各流入経路のうち、溢水防護区画への流入経路①～⑤に対する影響評価の結果は次のとおりであり、いずれの経路からも溢水防護区画への浸水はない。

流入経路①

溢水防護対象設備を設置する原子炉建物及び廃棄物処理建物については、

各扉付近の溢水水位より外壁に設置された扉の設置位置（敷地高さ(EL15.0m)から0.3m以上)が高いことから溢水防護区画への浸水はない。タービン建物については、外壁にある扉付近の水位が最大で0.72mであり、扉の設置位置(タービン建物東側開口部下端高さ0.4m)を超えるが、開口部下端高さを超える水位の継続時間が短く、流入する溢水は約 5 m^3 と少量である。タービン建物のうち耐震Sクラスエリア(東)内に流入した場合、耐震Sクラスエリア(東)における地震起因による溢水量(約 $2,730\text{ m}^3$)に含めても、耐震Sクラスエリア(東)の溢水を貯留できる空間容積(約 $6,598\text{ m}^3$)より小さく貯留可能であることから溢水防護区画への浸水はない。

流入経路②

溢水伝播挙動評価による建物廻りの水位は最大でも0.8m程度である。これに対して、地上1m以下の貫通部に対してシリコン等の止水措置を実施していない箇所はないため、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

流入経路③

2号炉建物に隣接する1号炉原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物については敷地高さ(EL8.5m及びEL15.0m)から0.3mの高さまで建物扉や貫通部がないことを確認している。屋外タンク等からの溢水が1号炉タービン建物等に流入した場合でも、その水の量は僅かと考えられるが、保守的な想定として1号炉タービン建物近傍に設置する溢水源となるタンク(純水タンク(A)(B))(約 $1,200\text{ m}^3$)が流入したとしても1号炉タービン建物の貯留可能容積は $11,170\text{ m}^3$ であるため、流入水は当該建物内に収容されることから、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

流入経路④

地下ダクト等はEL8.5mの地下部に7箇所、EL15.0mの地下部に4箇所あり、屋外とダクト又はダクトと建物境界部に止水処置を実施するため、本経路から溢水防護区画への浸水はない(詳細評価は補足説明資料9に示す)。

流入経路⑤

建物間接合部にはエキスパンションジョイント止水板等が設置されているため、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

一方、屋外に設置されるA、H-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプについては、当該設備を設置する区画に高さ2mの防水壁及び水密扉を設置すること、また、B-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプについては、当該設備近傍の浸水深は低く(表10-3 地点11 最大浸水深:0.02m)、扉の設置位置(敷地高さ(EL15.0m)から0.35m)の方が高いことから溢水防護区画への浸水はない。

原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプについては、当該設備を設置する取水槽海水ポンプエリアの天端開口部に高さ 2m の防水壁を設置することにより、溢水による影響を防止する。

なお、詳細設計の段階において屋外に設置する溢水防護対象設備についても、本項に示す溢水伝播挙動評価により得られる各設置位置における浸水深に対して対策を講じることにより、溢水による影響を防止する。

以上より、地震起因による屋外タンク等からの溢水は、溢水防護対象設備に影響を与えることがないものと評価する。

表 10-4 溢水防護区画への流入経路

NO.	流入経路
①	建物外壁にある扉
②	建物外壁にある隙間部（配管貫通部）
③	1号建物扉 →1号建物扉と溢水防護対象設備を設置された建物の境界における開口部
④	地下ダクト接続箇所
⑤	建物間の接合部

(2) 土石流による屋外タンク等からの溢水影響

屋外タンク等の溢水として、土石流による損傷が否定できない屋外タンク等の損傷による溢水を考慮する必要がある。

島根原子力発電所の敷地内に設置されている屋外タンク等のうち土石流危険区域内に設置される屋外タンク等を溢水源として抽出した。結果を表 10-5 に、また抽出された屋外タンク等の配置を図 10-4 に示す。なお、輪谷貯水槽（西側）はコンクリート構造の密閉式貯水槽であるため、溢水源としない。

表 10-5 溢水源とする屋外タンク等

No	名称	保有水量 [m ³]	溢水伝播 挙動評価 に用いる 溢水量 [m ³] ^{※2}	配置 No	保有水量20m ³ 以上の屋外タ ンク等	エリア No	合計 保有水量 [m ³]	溢水伝播 挙動評価 に用いる 合計溢水量 [m ³] ^{※1}
1	A-4m盤消火タンク	155	171	30	○	エリア ①	10,570	11,628 (10,585)
2	B-4m盤消火タンク	155	171	30	○			
3	輪谷貯水槽（東側）沈砂池	260	286	20	○			
4	輪谷貯水槽（東側）	10,000	11,000	19	○			
5	25MVA緊急用変圧器	15	—	n-60	—		15	
6	2号ろ過水タンク	3,000	3,300	11	○	エリア ②	6,347	7,081 (6,362)
7	1号除だく槽	87	131	12	○			
8	1号ろ過器	62	93	13	○			
9	2号除だく槽	102	113	14	○			
10	2号ろ過器	36	54	15	○			
11	2号濃縮槽	30	45	16	○			
12	1号ろ過水タンク	3,000	3,300	17	○			
13	22m盤受水槽	30	45	37	○			
14	1号除だく槽排水槽	7	—	n-41	—			
15	トイレ用ろ過水貯槽	8	—	n-41	—			
16	A-サイトバンカ建物消火タンク	46	69	18	○	エリア ③	113	170 (113)
17	B-サイトバンカ建物消火タンク	46	69	18	○			
18	管理事務所4号館用消火タンク	21	32	36	○			
合 計							17,060	18,879

※1 ()内はエリア内の溢水源とする屋外タンク等の保有水量の合計を示す。

※2 評価に用いる溢水量は保有水量を以下のとおり割り増した。

20m³以上 100m³以下の屋外タンク等：1.5倍

100m³を超える屋外タンク等：1.1倍

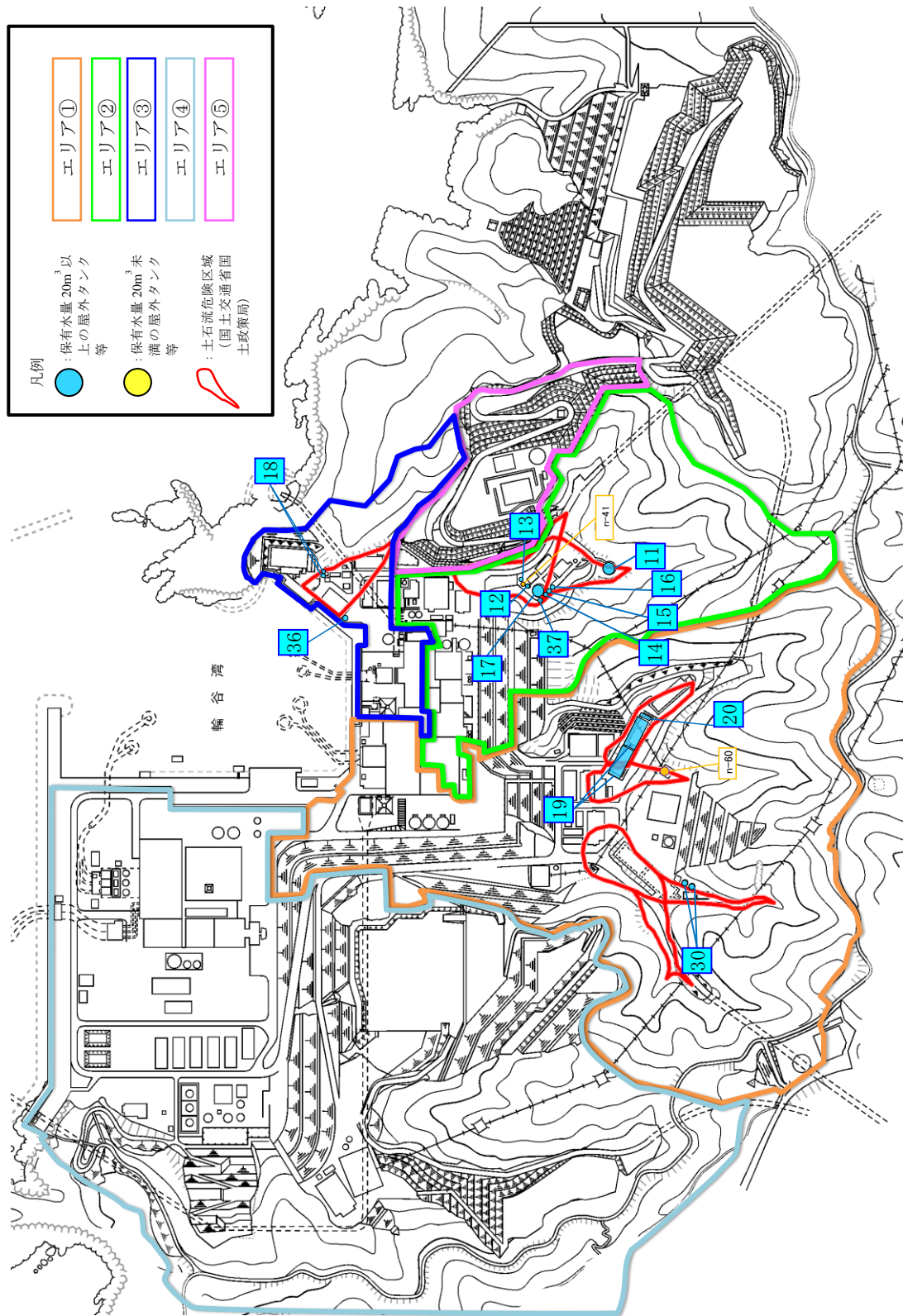


図 10-4 溢水源とする屋外タンク等の配置図

a. 屋外タンク等の溢水伝播挙動評価

屋外タンク等の土石流による損傷形態及び流出水の伝播に係る条件について、以下に示す保守的な設定を行った上で、溢水伝播挙動評価を行う。

溢水伝播挙動評価は汎用熱流体解析コードFluentを用いて、以下に示す評価モデルにより敷地の水位を算出する。

■溢水伝播挙動評価条件

- 溢水源となる屋外タンク等を表現し、土石流による損傷をタンク側板が瞬時に消失するとして模擬する。なお、輪谷貯水槽（東側）も貯水槽側壁が瞬時に消失するとして模擬する。
- 構内排水路による排水機能及び敷地外への排出は期待しない。

■評価モデル

島根原子力発電所の敷地形状を三次元モデルで模擬する（図 10-3-1）。

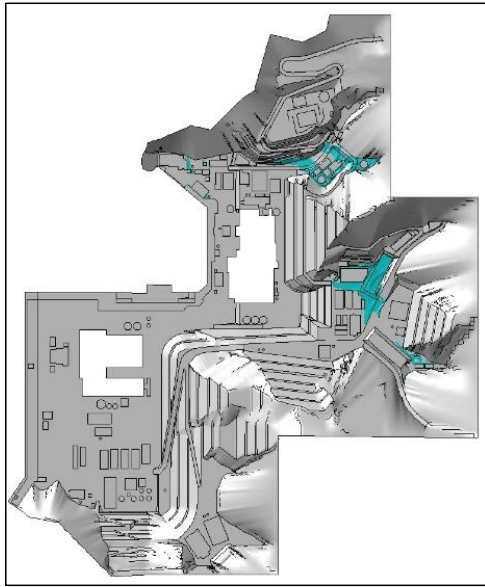
溢水源のモデル化にあたっては、敷地形状（尾根、谷、敷地高さ）を踏まえた発電所構内に流入する降水の集水範囲から、屋外タンク等の設置エリアを5箇所エリアに区分する。エリアを区分するうえで考慮した敷地形状を表 10-2 に示す。

表 10-5 に示す保有水量 20m^3 以上の屋外タンク等はその設置位置でモデル化する。また、分散している溢水源を集中させることで水位が高くなることから、保有水量 20m^3 未満の屋外タンク等は、その設置位置でモデル化せず、各エリアでモデル化する屋外タンク等の保有水量を割り増すことで考慮する。

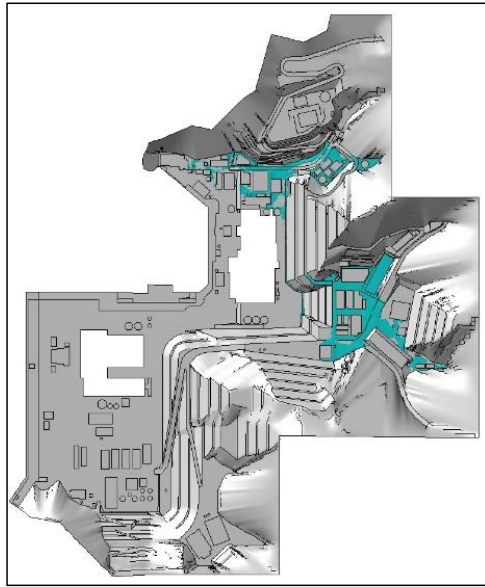
区分した各エリアと屋外タンク等の配置を図 10-4 に、各エリア内の屋外タンク等の合計保有水量と溢水伝播挙動評価に用いる溢水量を表 10-5 に示す。

b. 評価結果

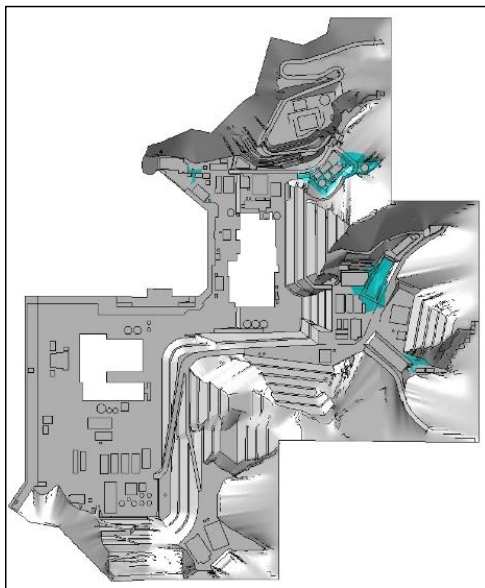
評価の結果として得られた溢水伝播挙動を図 10-5 に、代表箇所における最大浸水深を表 10-6 に示す。



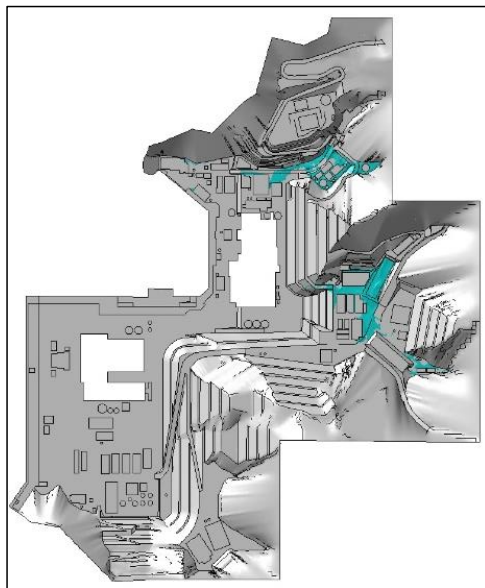
10.0 [s]



60.0 [s]



5.0 [s]

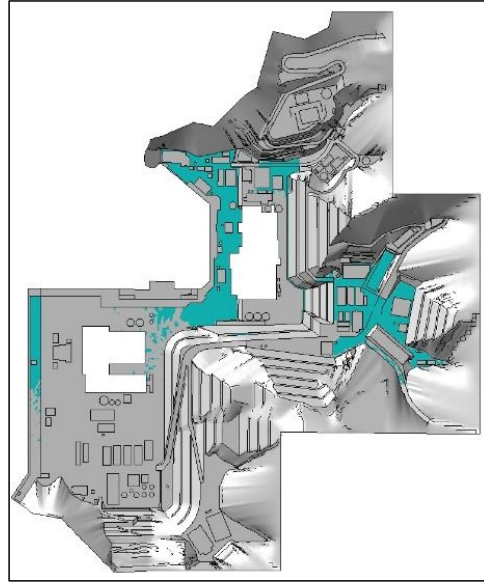


20.0 [s]

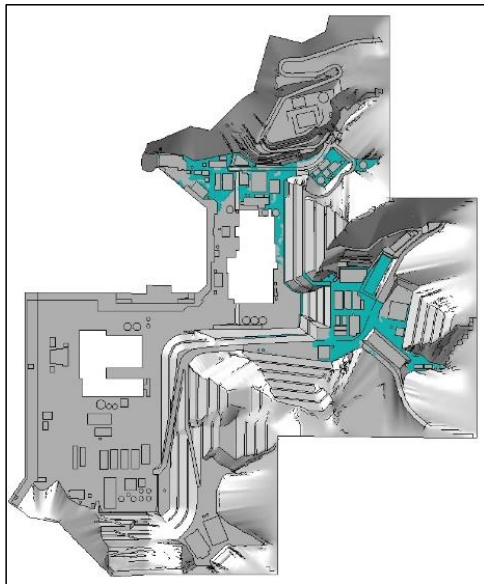
図 10-5 屋外タンクの溢水伝播挙動 (1/2)



300.0 [s]



1200.0 [s]



120.0 [s]



600.0 [s]

図 10-5 屋外タンクの溢水伝播挙動 (2/2)

表 10-6 代表箇所における最大浸水深

代表箇所		基準高さ EL [m]	最大浸水深 [m]	建物外周扉等 の設置位置 EL [m]
地点 1	原子炉建物南面	15.0	0.06	15.3
地点 2	原子炉建物西面 1	15.0	0.11	15.3
地点 3	原子炉建物西面 2	15.0	0.12	15.3
地点 4	タービン建物南面 1	8.5	0.21	8.8
地点 5	タービン建物南面 2	8.5	0.33	8.9
地点 6	タービン建物南面 3	8.5	0.21	9.1
地点 7	タービン建物南面 4	8.5	0.21	9.26
地点 8	海水ポンプエリア西面	8.5	0.20	8.8
地点 9	海水ポンプエリア東面	8.5	0.29	8.8
地点 10	廃棄物処理建物南面	15.0	0.32	15.35
地点 11	B-非常用ディーゼル発電機燃料 貯蔵タンク格納槽北面	15.0	0.08	15.35
地点 12	A-非常用ディーゼル発電機燃 料移送ポンプピット西面	8.5	0.23	8.7
地点 13	高圧炉心スプレー系非常用デ ィーゼル発電機燃料移送ポン プピット西面	8.5	0.24	8.7

c. 影響評価

屋内に設置される溢水防護対象設備の建物外からの溢水に対する流入経路としては表 10-4 に示す経路が挙げられる。なお、制御室建物については直接地表面と接する外壁はなく、屋外タンク等の溢水が直接浸水する経路はない。

また、屋外に設置されている溢水防護対象設備としては以下があるが、これらに対する流入経路は地表部からの直接伝播となる。

- ・ A, H-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ
- ・ B-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ
- ・ 原子炉補機海水ポンプ
- ・ 高圧炉心スプレー補機海水ポンプ

以上の各流入経路のうち、溢水防護区画への流入経路①～⑤に対する影響評価の結果は次のとおりであり、いずれの経路からも溢水防護区画への浸水はない。

流入経路①

溢水防護対象設備を設置する原子炉建物及び廃棄物処理建物については、

各扉付近の溢水水位より外壁に設置された扉の設置位置（敷地高さ(EL15.0m)から0.3m以上）が高いことから溢水防護区画への浸水はない。また、タービン建物についても、各扉付近の溢水水位より外壁に設置された扉の設置位置（敷地高さ(EL8.5m)から0.3m以上）が高いことから溢水防護区画への浸水はない。

流入経路②

溢水伝播挙動評価による建物廻りの水位は最大でも0.4m程度である。これに対して、地上1m以下の貫通部に対してシリコン等の止水措置を実施していない箇所はないため、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

流入経路③

2号炉建物に隣接する1号炉原子炉建物、タービン建物及び廃棄物処理建物については敷地高さ(EL8.5m及びEL15.0m)から0.3mの高さまで建物扉や貫通部がないことを確認している。屋外タンク等からの溢水が1号炉タービン建物等に流入した場合でも、その水の量は僅かと考えられるが、保守的な想定として、土石流危険区域内ではないが1号炉タービン建物近傍に設置するタンク（純水タンク（A）（B））（約1,200m³）が流入したとしても1号炉タービン建物の貯留可能容積は11,170m³であるため、流入水は当該建物内に収容されることから、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

流入経路④

地下ダクト等はEL8.5mの地下部に7箇所、EL15.0mの地下部に4箇所あり、屋外とダクト又はダクトと建物境界部に止水処置を実施するため、本経路から溢水防護区画への浸水はない（詳細評価は補足説明資料9に示す）。

流入経路⑤

建物間接合部にはエキスパンションジョイント止水板等が設置されているため、本経路から溢水防護区画への浸水はない。

一方、屋外に設置されるA、H-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプについては、当該設備を設置する区画に高さ2mの防水壁及び水密扉を設置すること、また、B-非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプについては、当該設備近傍の浸水深は低く（表10-6 地点11 最大浸水深：0.08m）、扉の設置位置（敷地高さ(EL15.0m)から0.35m）の方が高いことから溢水防護区画への浸水はない。

原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプについては、当該設備を設置する取水槽海水ポンプエリアの天端開口部に高さ2mの防水壁を設置することにより、溢水による影響を防止する。

なお、詳細設計の段階において屋外に設置する溢水防護対象設備についても、本項に示す溢水伝播挙動評価により得られる各設置位置における浸水深に対し

て対策を講じることにより、溢水による影響を防止する。

以上より、土石流による屋外タンク等の溢水は、溢水防護対象設備に影響を与えないものと評価する。

10.2 地下水の溢水による影響

島根原子力発電所2号炉では、溢水防護区画を構成する原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物の周辺地下部に、図10-6に示すように地下水位低下設備を設置することとしており、同設備により各建物周辺に流入する地下水の排出を行う。

10.2.1 各建物の地下水位低下設備の設置について

原子炉建物、廃棄物処理建物及び制御室建物の周辺地下部に、基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を設置することによって、地震時及び地震後においても地下水を地上の雨水排水系統へ排水することが可能である。また、地下水位低下設備の電源は、非常用電源系統より供給することから、外部電源喪失時にも排水が可能となっており、水位が上昇し続けることはない（「島根原子力発電所2号炉 地震による損傷の防止 別紙-17 地下水位低下設備について」参照）。

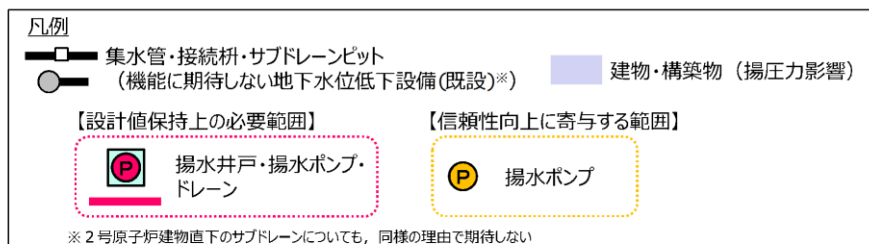
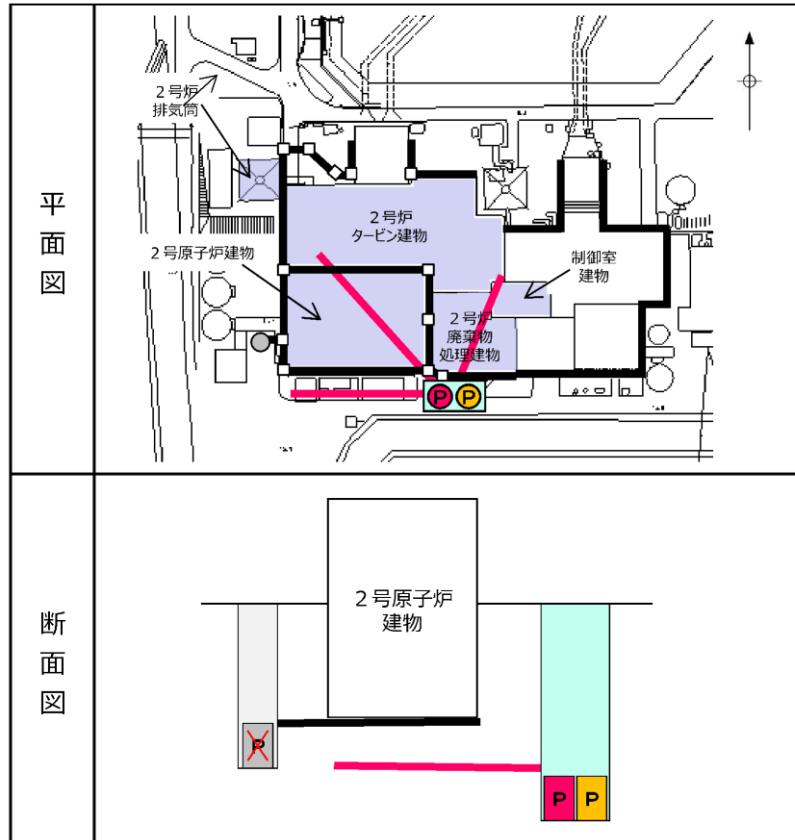


図10-6 地下水位低下設備の構成例

10.2.2 影響評価

地下水の溢水防護区画への流入経路としては地下部における配管等の貫通部の隙間部及び建物間の接合部が考えられるが、基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持する地下水位低下設備を設置することから、建物まで地下水位が上昇することはない、地下水が溢水防護区画内に浸水することはない。

なお、地下水位をタービン建物の地表面 (EL8.5m) と想定し、溢水防護区画への浸水対策として、地下部における配管貫通部等の隙間部には止水措置を行っており、また建物間の接合部にはエキスパンションジョイント止水板を設置している。

以上より、地下水は、溢水防護対象設備に影響を与えないものと評価する。

11. 放射性物質を内包する液体の漏えい防止

11.1 漏えい防止に対する設計上の考慮

管理区域内で発生した溢水について、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部止水処置等）を施すことにより、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備の破損により生じた放射性物質を含む液体が管理されない状態で管理区域外へ漏えいすることを防止することを目的に以下のような設計とする。

- ・放射性物質を含む液体を扱う大容量ポンプの設置区域や、廃棄物処理設備の設置区域に対して、放射性液体の管理区域外への流出、拡大を防止する設計とする。
- ・放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、伝播経路となる箇所について、壁、扉、堰等による漏えい防止対策を行う設計とする。
- ・放射性物質を含む液体の漏えいの拡大を防止するために、床勾配及び側溝を設置し、漏えいした放射性液体を床ドレンに確実に導く設計とする。

これらの設計に基づき、放射性物質を含む液体の溢水伝播に対して実施する放射性物質を含む液体の漏えい防止対策設備を表 11-1 に示す。

なお、施設定期検査中を考慮した原子炉ウェル及び蒸気乾燥器／気水分離器ピットのスロッシングに伴う溢水影響について、補足説明資料 29 に示す。

表 11-1 放射性物質を含む液体の漏えい防止対策設備

設置建物	設置場所	設置高さ EL[m]	対象	管理番号
原子炉建物	A-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ボンベラック室	23.8	防水壁	2R-2-WW-1
	RCW バルブ室	23.8	堰	2R-2-DM-15
	第2チェックポイント	15.3	堰	2R-1-DM-3A, 3B
	南西大物搬入口	15.3	堰	2R-1-DM-9
	第3チェックポイント	8.8	堰	2R-B1-DM-5
廃棄物処理建物	廃棄物処理建物送風機室	32.0	堰	2RW-4-DM-2
	南側シャッター前	32.0	堰	2RW-4-DM-1
	廃棄物処理建物 C/C 室	22.1	防水壁	2RW-2-WW-1
	A-原子炉浄化樹脂貯蔵タンク 水中ポンプ操作室	22.1	防水壁	2RW-2-WW-2
	大物搬入口	15.3	水密扉	2RW-1-WD-1
	ドラム缶搬入口	15.3	水密扉	2RW-1-WD-2
タービン建物	T/B 工具室	32.0	堰	2T-4-DM-1
	常用電気室送風機室	20.6	堰	2T-3-DM-7
	T/B 送風機室	20.6	堰	2T-3-DM-8
	オペフロ南東階段	20.6	堰	2T-3-DM-1
	固定子冷却装置室	12.5	防水壁	2T-2-WW-1
	大物搬入口	8.8	堰	2T-2-DM-2
	TCW 熱交換器室	2.0	水密扉	2T-B1-WD-1
制御室建物	第1チェックポイント	8.8	堰	2C-2-DM-1, 2

11.2 漏えい防止対策

11.1 項で示した設計上の考慮に加え、以下のようなケースを想定し、万が一の場合に備えた更なる漏えい防止対策を以下のように実施している。

- ①管理区域内を通る海水系統の破損箇所を経由する漏えい
- ②非管理区域で発生する非放射性ドレンを放出する系統からの漏えい

11.2.1 管理区域内を通る海水系統の破損箇所を経由する漏えい

島根原子力発電所2号炉の海水系統（循環水系、原子炉補機海水系、高圧炉心スプレー補機海水系及びタービン補機海水系）は、タービン建物の管理区域を通る配管があるため、それぞれの海水系統に対する建物外への漏えい防止を確認する。

循環水系については、地震時の海水の流入を防止することを目的に、漏えい検知による循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックを設置しているため、これにより放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により生じた放射性物質を含む液体はタービン建物内から建物外へ漏えいしない（図 11-1 参照）。

原子炉補機海水系及び高圧炉心スプレー補機海水系については、基準地震動 S_s による地震力に対してバウンダリ機能が保持されるため、放射性物質を含む液体を内包する容器又は配管の破損により生じた放射性物質を含む液体はタービン建物内から建物外へ漏えいしない。

タービン補機海水系については、基準地震動 S_s による地震力により破損し、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備の破損により生じた放射性物質を含む液体が破損箇所に流入する可能性があるが、タービン建物のうち耐震 S クラスエリア（西）の地震起因による溢水水位（約 EL3.4m, 9.2.3 項参照）は、放水槽側のタービン補機海水系の建物貫通部高さ EL3.65m 未満である。また、取水槽側は逆止弁が付いていることから、放射性物質を含む液体を内包する容器、配管その他の設備の破損により生じた放射性物質を含む液体がタービン建物内から建物外へ漏えいすることはない（図 11-2 参照）。

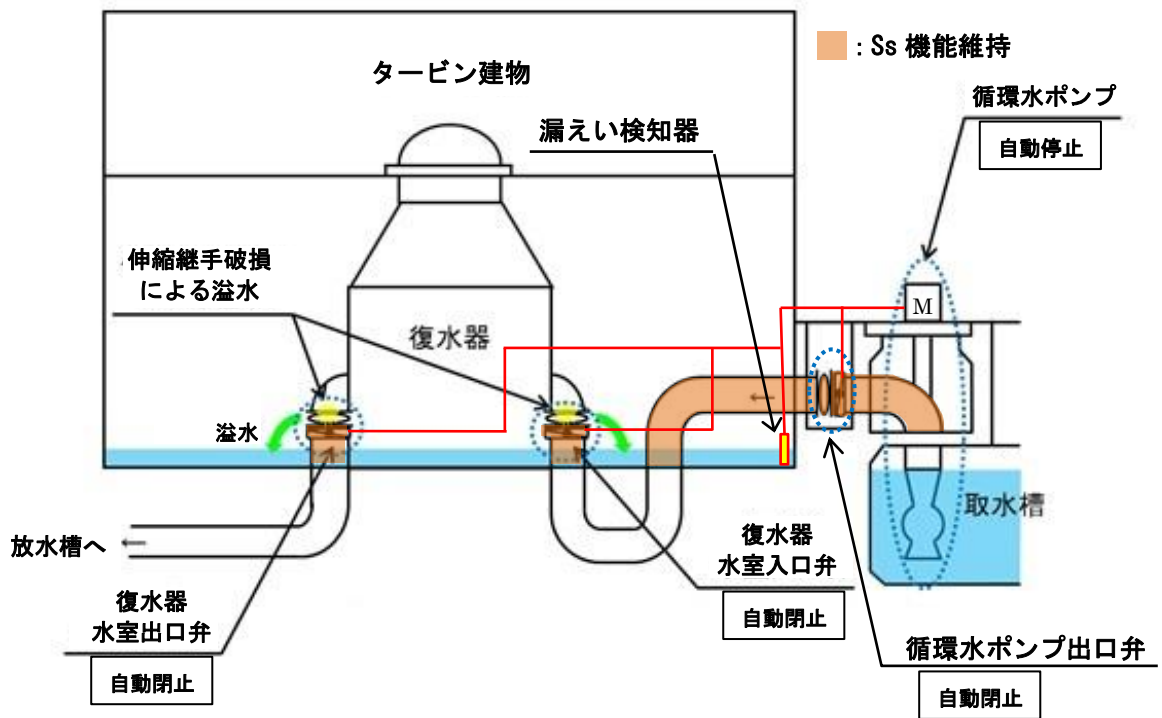


図 11-1 循環水系溢水対策イメージ

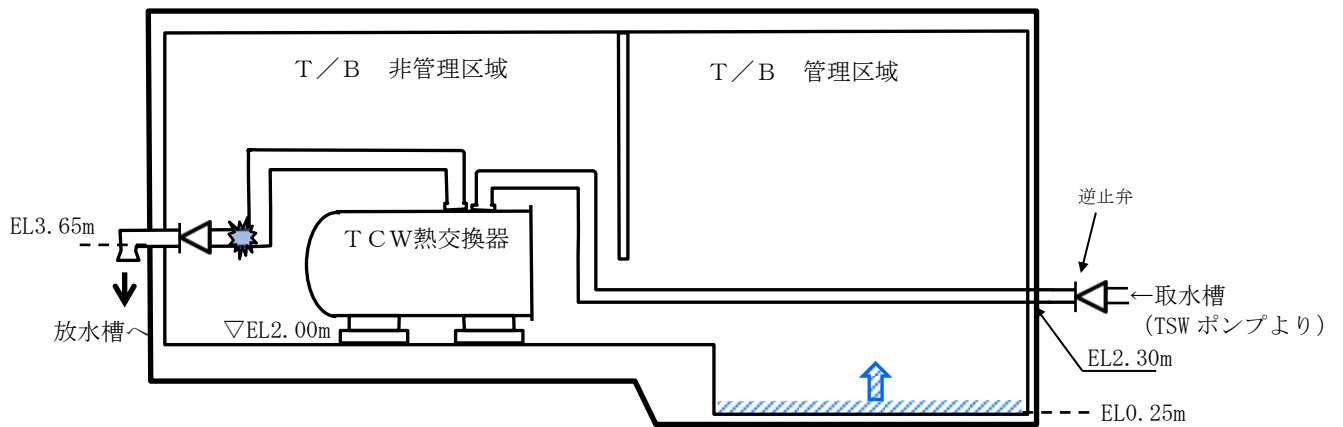


図 11-2 タービン補機海水系溢水対策イメージ

11.2.2 非放射性ドレン移送系からの漏えい

非放射性ドレン移送系は、原子炉建物非管理区域内にサンプを5箇所、タービン建物管理区域内にサンプタンク1箇所設置している。これらのサンプ及びサンプタンクに流入したドレンは、全て廃棄物処理建物に設置されているランドリドレンタンクに移送し、系外放出する前にサンプリングを実施する運用としていることから、仮に原子炉建物非管理区域内等に設置している非放射性ドレン移送系に放射性物質が混入した場合でも、放出前に検知することができる。

なお、タービン建物非管理区域から直接系外放出する配管は常時閉運用の弁を設置しているため、管理されない状態で非放射性ドレン移送系から建物外へ漏えいすることはない（図 11-3 参照）。

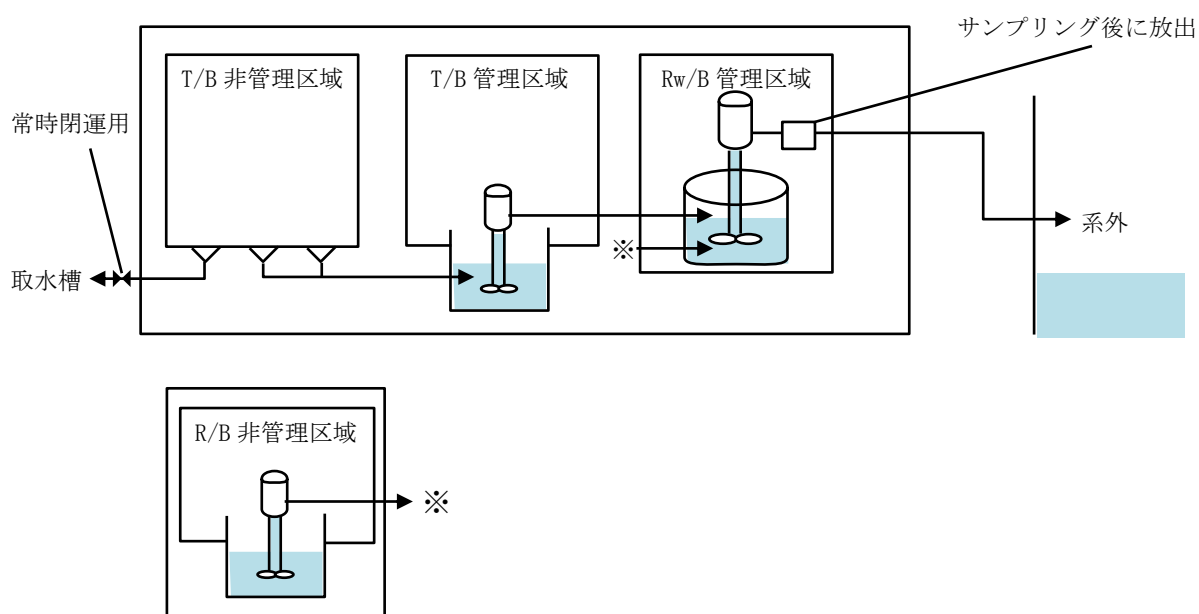


図 11-3 非放射性ドレン移送系からの建物外への漏えい防止対策イメージ

添付資料 1 機能喪失判定の考え方と選定された溢水防護対象設備について

1. 溢水防護対象設備の機能喪失判定

1.1 機能喪失高さ

没水により溢水防護対象設備の機能が喪失する高さを機能喪失高さとして明確にする。各設備の機能喪失高さの考え方を表 1-1 及び図 1-1～1-5 に示す。機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。なお、機能喪失高さの設定においては、電線管接続部等を考慮している。

表 1-1 溢水防護対象設備の機能喪失高さの考え方

設備	機能喪失高さ	
	基本設定箇所※	個別設定箇所
ポンプ／電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部
空気作動弁／電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部

※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位

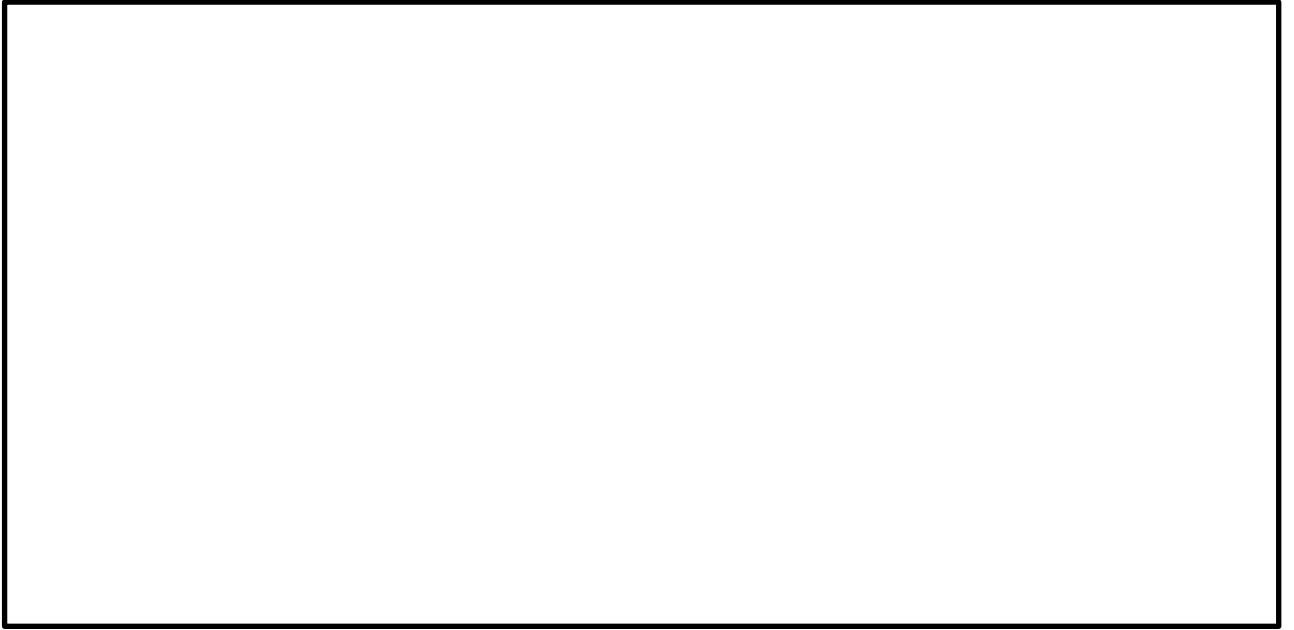


図 1-1 機能喪失高さ (ポンプの例)

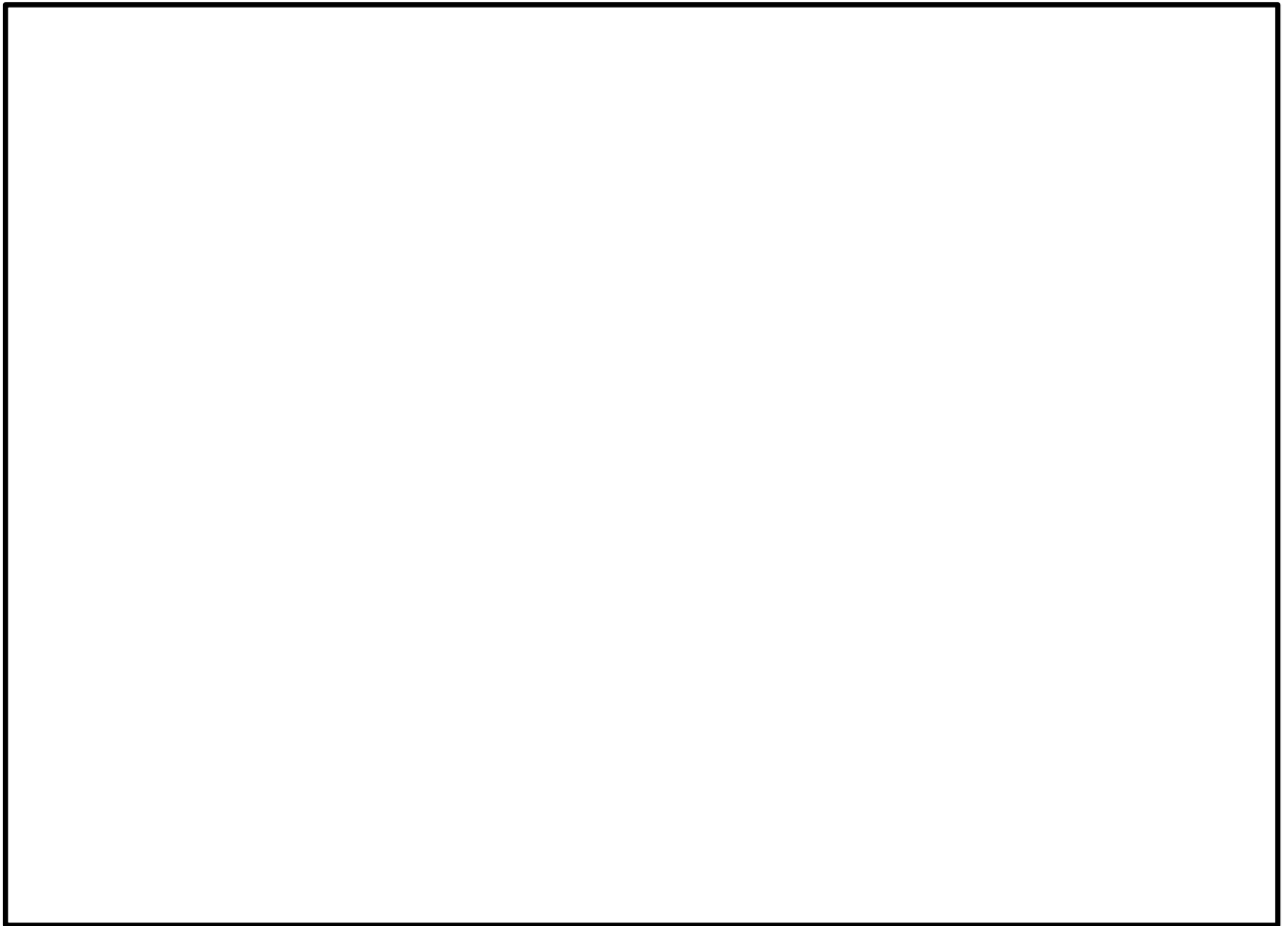


図 1-2 機能喪失高さ (電動弁の例)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

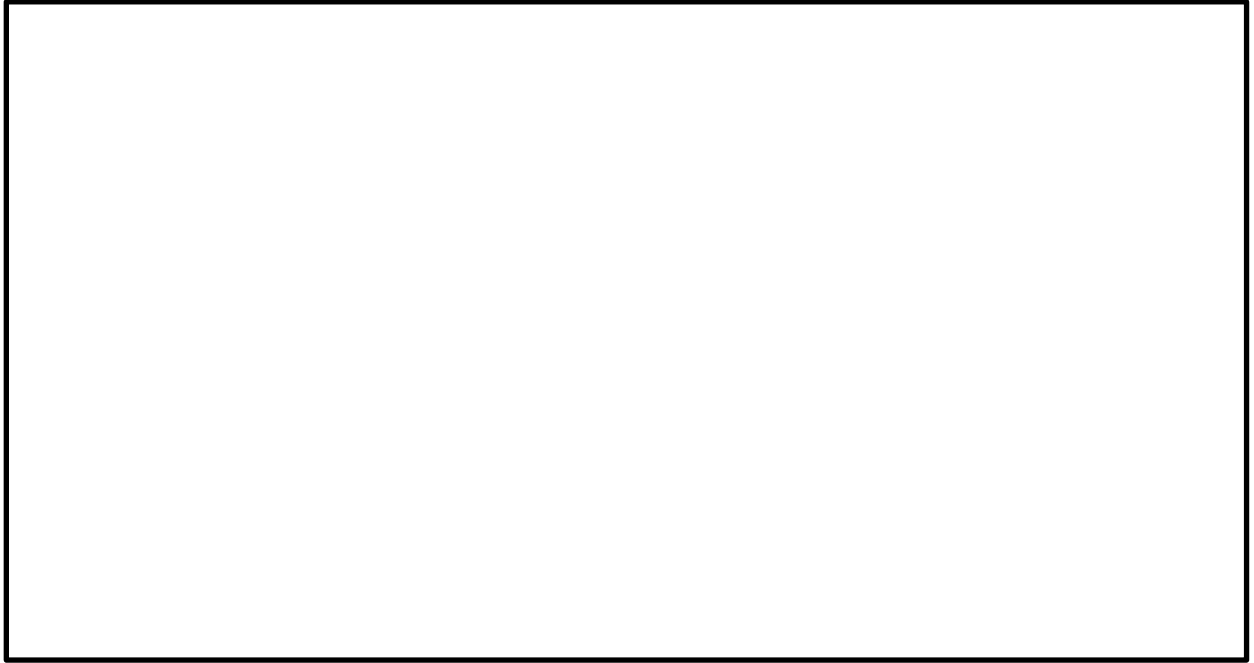


図 1-3 機能喪失高さ（盤の例）

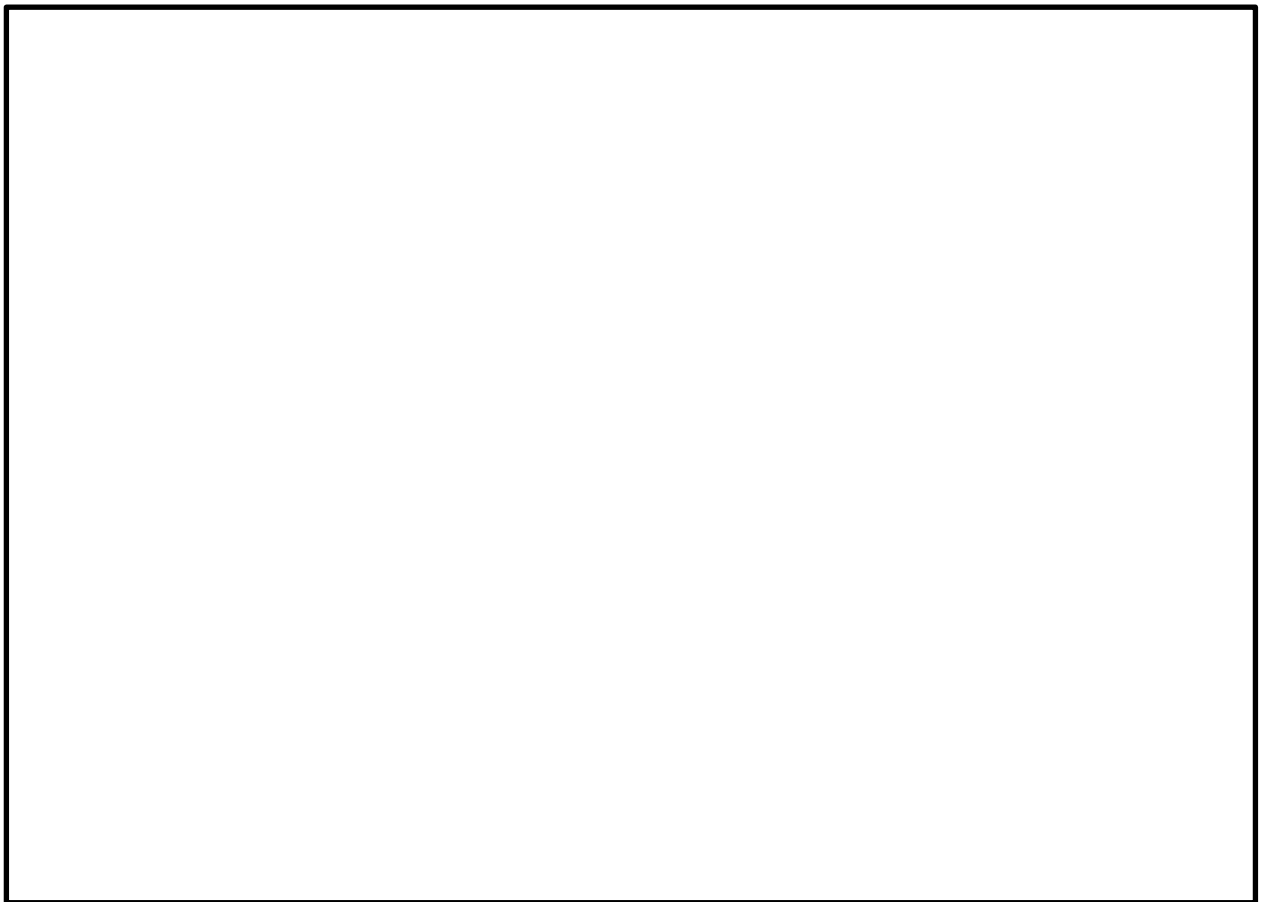


図 1-4 機能喪失高さ（ラックの例）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

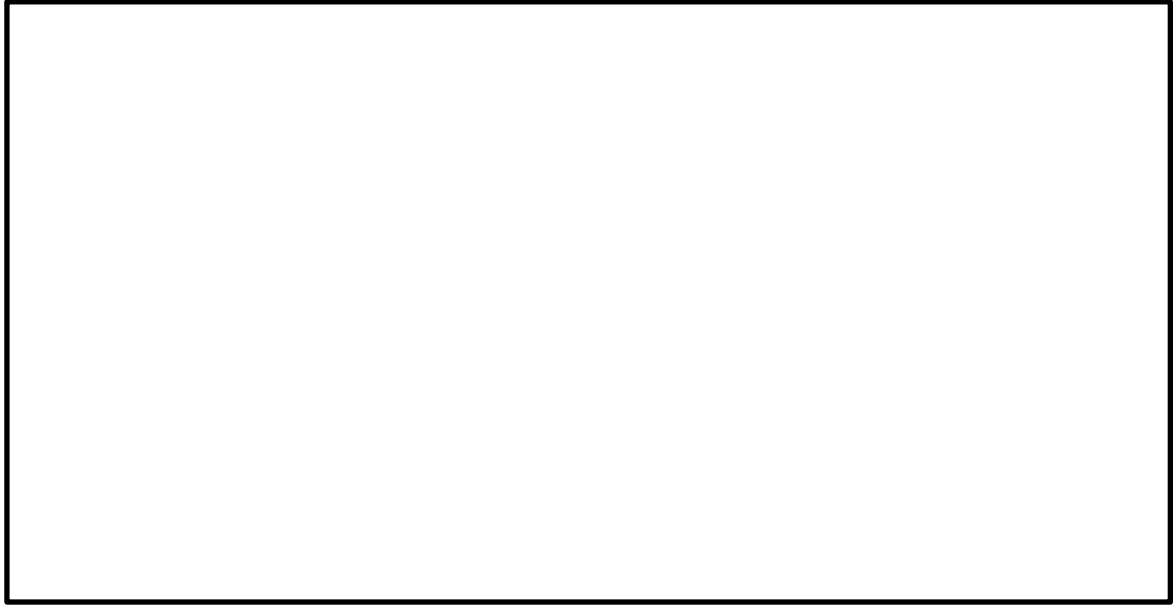
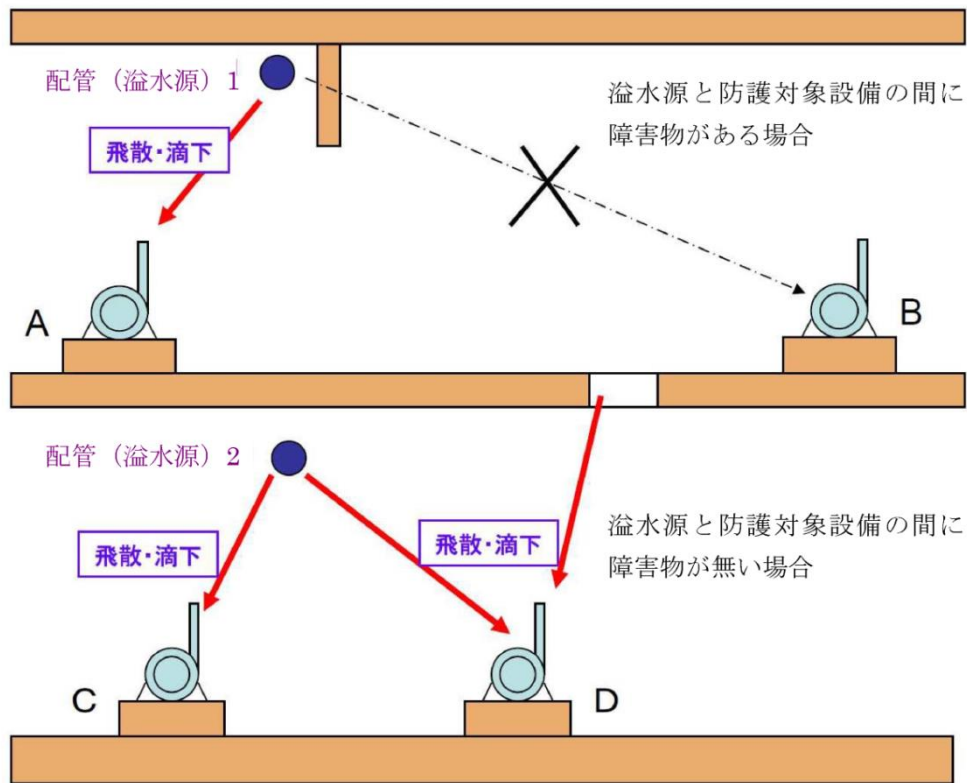


図 1-5 機能喪失高さ（計器の例）

1.2 被水による機能喪失判定

被水により溢水防護対象設備の機能が喪失する場合の被水源及び上階からの伝播経路と溢水防護対象設備の位置関係について図 1-6 に示す。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



溢水防護対象設備	配管（被水源）1	配管（被水源）2
A	機能喪失	機能喪失せず
B	機能喪失せず	機能喪失せず
C	機能喪失せず	機能喪失
D	機能喪失	機能喪失

図 1-6 被水による機能喪失の考え方

1.3 蒸気による機能喪失判定

溢水防護対象設備の蒸気による機能喪失判定は、溢水防護対象設備の仕様（温度、湿度及びその継続時間等）と蒸気漏えい発生時の環境条件を比較する。蒸気漏えい発生時の環境条件は建設時に求めた原子炉冷却材喪失事故時の環境条件に包含されるため、原子炉冷却材喪失事故時の環境条件と溢水防護対象設備の仕様を比較し、原子炉冷却材喪失事故時の環境条件がより厳しい場合は機能喪失と判定する。

2. 抽出された溢水影響評価上の防護対象設備

溢水影響評価上の防護対象設備（溢水防護対象設備）の選定の考え方を図 2-1 及び表 2-1 に示す。

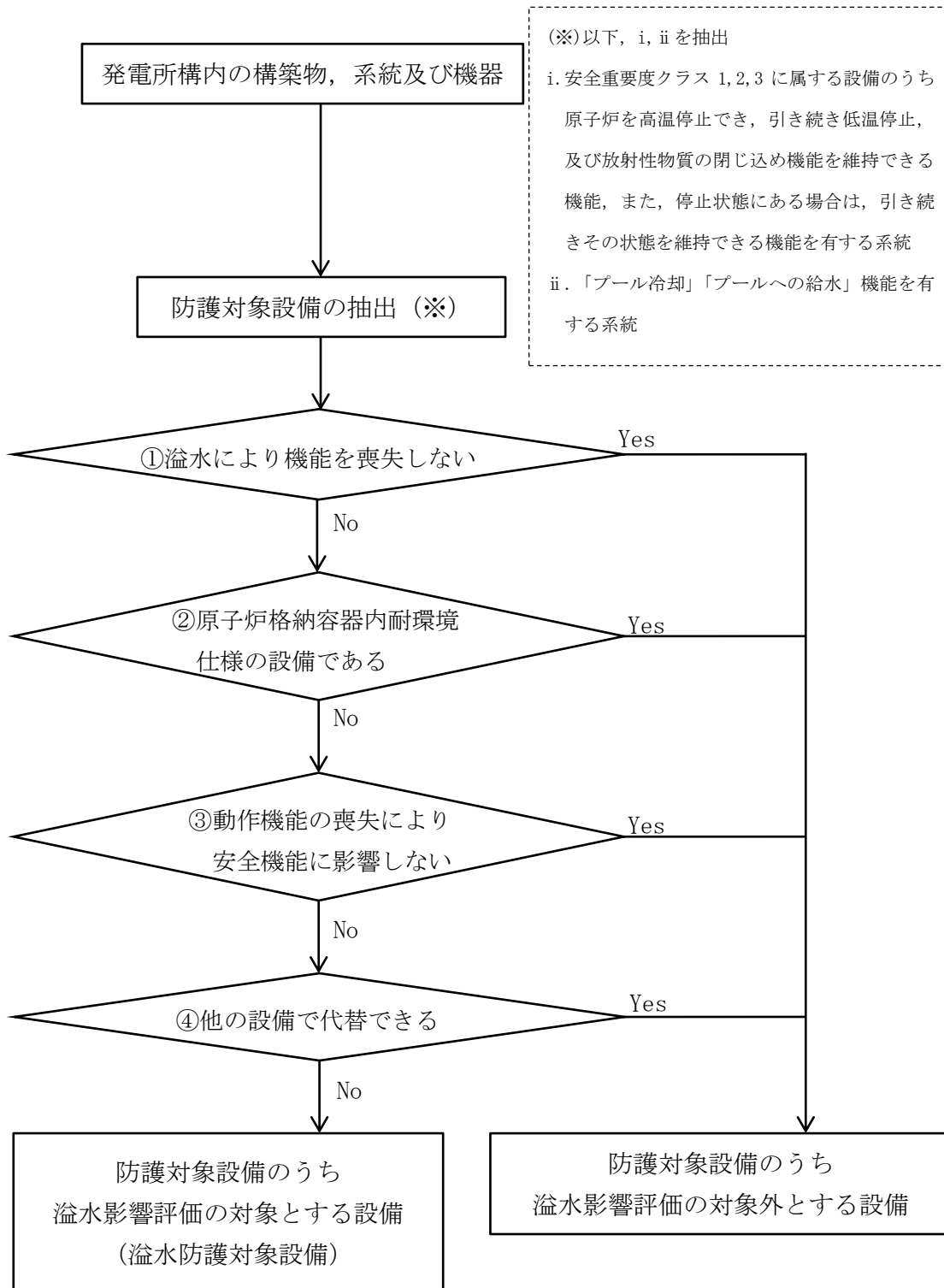


図 2-1 防護対象設備のうち溢水影響評価対象の選定フロー

表 2-1 溢水影響評価の対象外とする理由

各ステップの項目	理由
①溢水により機能を喪失しない	静的機器（容器，熱交換器，フィルタ，逆止弁等）は，溢水により機能喪失しない。
②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備である	原子炉格納容器内の設備のうち，温度・圧力条件及び溢水影響を考慮した耐環境仕様の設備は，溢水により機能喪失はしない。
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない	フェイル・セーフ設計となっている機器は，動作機能が喪失しても安全機能に影響しない（通常待機時から機能遂行時にかけて動作要求がない設備等（例 常時閉の格納容器隔離弁）も含む）。
④他の設備で代替できる	他の設備により要求機能が代替できる設備は機能喪失しても安全機能に影響しない（代替する他の設備が同時に機能喪失しない場合に限る（例 耐環境仕様の格納容器内側隔離弁に対する格納容器外側隔離弁は，機能喪失しても安全機能に影響しない））。

2.1 溢水防護対象設備リストの整理

図 2-1 に示した選定フローにより選定された溢水防護対象設備を，表 2-2 に示す。

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (1/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
原子炉補機冷却系	MV214-12A	A1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-B2F-04N
原子炉補機冷却系	MV214-13A	A2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-B2F-04N
原子炉補機冷却系	MV214-12B	B1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-B2F-06N
原子炉補機冷却系	MV214-13B	B2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-B2F-06N
原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	MV214-7A	A-RHR 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29956	個別	R-2F-09N
原子炉補機冷却系	MV214-7B	B-RHR 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28884	個別	R-2F-10N
原子炉補機冷却系	MV214-3A	A-RCW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	MV214-3B	B-RCW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	MV214-1A	A-RCW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-B1F-11N
原子炉補機冷却系	MV214-1B	B-RCW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11090	個別	R-B1F-11N
原子炉補機海水系	MV215-2A	A-RCW 熱交換海水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16240	個別	R-1F-14N
原子炉補機海水系	MV215-2B	B-RCW 熱交換海水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16820	個別	R-1F-15N
原子炉補機海水系	MV215-1B	B-RSW ポンプ 出口弁	取水槽	EL 1100	EL 3710	個別	Y-24AN
原子炉補機海水系	MV215-1D	D-RSW ポンプ 出口弁	取水槽	EL 1100	EL 3710	個別	Y-24AN
原子炉補機海水系	P215-1B	B-原子炉補機海水ポンプ	取水槽	EL 1100	EL 2785	個別	Y-24AN
原子炉補機海水系	P215-1D	D-原子炉補機海水ポンプ	取水槽	EL 1100	EL 2785	個別	Y-24AN
原子炉補機海水系	MV215-1A	A-RSW ポンプ 出口弁	取水槽	EL 1100	EL 3710	個別	Y-24BN
原子炉補機海水系	MV215-1C	C-RSW ポンプ 出口弁	取水槽	EL 1100	EL 3710	個別	Y-24BN
原子炉補機海水系	P215-1A	A-原子炉補機海水ポンプ	取水槽	EL 1100	EL 2785	個別	Y-24BN
原子炉補機海水系	P215-1C	C-原子炉補機海水ポンプ	取水槽	EL 1100	EL 2785	個別	Y-24BN
燃料プール冷却系	MV216-1	FPC フィルタ入口弁	原子炉建物	EL 28300	EL 32360	基本	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N
燃料プール冷却系	P216-1A	A-燃料プール冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 28300	EL 28700	個別	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N
燃料プール冷却系	P216-1B	B-燃料プール冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 28300	EL 28700	個別	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N
燃料プール冷却系	TE216-50~55	燃料プール水位・温度 (SA)	原子炉建物	EL 34800	EL 36050	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
燃料プール冷却系	MV216-5A	A-FPC 熱交入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 38290	基本	R-3F-09N
燃料プール冷却系	MV216-5B	B-FPC 熱交入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 38290	基本	R-3F-09N
燃料プール冷却系	MV216-6	FPC フィルタバイパス弁	原子炉建物	EL 34800	EL 38290	基本	R-3F-09N
燃料プール冷却系	LS216-2	燃料プール水位	原子炉建物	EL 42800	EL 43006	基本	R-4F-01-1N
燃料プール冷却系	TE216-3	燃料プール水温度	原子炉建物	EL 42800	EL 42794	基本	R-4F-01-1N
窒素ガス制御系	PX217-2B	ドラウウェル圧力	原子炉建物	EL 23800	EL 24500	基本	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N
窒素ガス制御系	MV217-18	非常用ガス処理入口隔離弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36200	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
高圧炉心スプレイ補機冷却系	P218-1	高圧炉心スプレイ補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 2600	EL 2970	基本	R-B2F-12N
高圧炉心スプレイ補機海水系	MV219-1	HPSW ポンプ 出口弁	取水槽	EL 1100	EL 2360	基本	Y-24CN
高圧炉心スプレイ補機海水系	P219-1	高圧炉心スプレイ補機海水ポンプ	取水槽	EL 1100	EL 2352	個別	Y-24CN
原子炉隔離時冷却系	M221-1	原子炉隔離時冷却系ケーソン	原子炉建物	EL 1300	EL 2250	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-2	注水弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4470	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-22	ケーソン蒸気入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4470	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-3	ポンプトラス水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2520	個別	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-51	RCIC 主塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 1890	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-6	ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4470	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-7	復水器冷却水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2650	基本	R-B2F-01N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (2/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
原子炉隔離時冷却系	P221-1	原子炉隔離時冷却ポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 2250	基本	R-B2F-01N
原子炉隔離時冷却系	MV221-10	真空ポンプ 出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11260	基本	R-B2F-31N
原子炉隔離時冷却系	MV221-23	タービン排気隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11213	基本	R-B2F-31N
原子炉隔離時冷却系	MV221-21	蒸気外側隔離弁	原子炉建物	EL 19000	EL 20690	個別	R-1F-07-2N
原子炉隔離時冷却系	2-2360	RCICタービン制御盤(SII)	原子炉建物	EL 23800	EL 24073	個別	R-2F-05N
残留熱除去系	MV222-17A	A-RHRポンプ ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4200	基本	R-B2F-02N
残留熱除去系	MV222-1A	A-RHRポンプ トラス水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-02N
残留熱除去系	MV222-8A	A-RHRポンプ 炉水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-02N
残留熱除去系	P222-1A	A-残留熱除去ポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 3950	個別	R-B2F-02N
残留熱除去系	MV222-17C	C-RHRポンプ ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4000	基本	R-B2F-03N
残留熱除去系	MV222-1C	C-RHRポンプ トラス水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-03N
残留熱除去系	P222-1C	C-残留熱除去ポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 3970	個別	R-B2F-03N
残留熱除去系	MV222-17B	B-RHRポンプ ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 4200	基本	R-B2F-15N
残留熱除去系	MV222-1B	B-RHRポンプ トラス水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-15N
残留熱除去系	MV222-8B	B-RHRポンプ 炉水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-15N
残留熱除去系	P222-1B	B-残留熱除去ポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 3965	個別	R-B2F-15N
残留熱除去系	MV222-11A	A-RHRポンプ 炉水戻り弁	原子炉建物	EL 1300	EL 12400	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-11B	B-RHRポンプ 炉水戻り弁	原子炉建物	EL 1300	EL 12400	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-15A	A-RHRテスト弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11100	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-16A	A-RHR トラススプレイ弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11847	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-16B	B-RHR トラススプレイ弁	原子炉建物	EL 1300	EL 12657	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-7	RHR 炉水入口外側隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 12000	基本	R-B2F-31N
残留熱除去系	MV222-15B	B-RHRテスト弁	原子炉建物	EL 15300	EL 17290	個別	R-1F-10N
残留熱除去系	MV222-15C	C-RHRテスト弁	原子炉建物	EL 15300	EL 17300	個別	R-1F-10N
残留熱除去系	MV222-2B	B-RHR 熱交ハバース弁	原子炉建物	EL 15300	EL 20100	個別	R-1F-10N
残留熱除去系	MV222-5A	A-RHR 注水弁	原子炉建物	EL 19000	EL 21030	個別	R-1F-07-2N
残留熱除去系	MV222-2A	A-RHR 熱交ハバース弁	原子炉建物	EL 19000	EL 29500	個別	R-1F-30N
残留熱除去系	MV222-3B	B-RHR ドライウェル第1スプレイ弁	原子炉建物	EL 19500	EL 22030	個別	R-1F-12N
残留熱除去系	MV222-4B	B-RHR ドライウェル第2スプレイ弁	原子炉建物	EL 19500	EL 22030	個別	R-1F-12N
残留熱除去系	MV222-13	RHR 炉頂部冷却外側隔離弁	原子炉建物	EL 23800	EL 25090	個別	R-2F-14N
残留熱除去系	MV222-3A	A-RHR ドライウェル第1スプレイ弁	原子炉建物	EL 23800	EL 24800	基本	R-2F-14N
残留熱除去系	MV222-4A	A-RHR ドライウェル第2スプレイ弁	原子炉建物	EL 23800	EL 24800	基本	R-2F-14N
残留熱除去系	MV222-5B	B-RHR 注水弁	原子炉建物	EL 23800	EL 24800	基本	R-2F-15N
残留熱除去系	MV222-5C	C-RHR 注水弁	原子炉建物	EL 23800	EL 24600	基本	R-2F-15N
低圧炉心スプレイ系	MV223-1	LPCSポンプ 入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 2315	基本	R-B2F-09N
低圧炉心スプレイ系	P223-1	低圧炉心スプレイポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 2900	個別	R-B2F-09N
低圧炉心スプレイ系	MV223-3	LPCSテスト弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11700	基本	R-B2F-31N
低圧炉心スプレイ系	MV223-4	LPCSポンプ ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 8720	個別	R-B2F-31N
低圧炉心スプレイ系	dPX223-1	LPCS 注水弁差圧	原子炉建物	EL 15300	EL 15970	個別	R-1F-03N R-1F-22N
低圧炉心スプレイ系	MV223-2	LPCS 注水弁	原子炉建物	EL 19500	EL 20760	個別	R-1F-32N
高圧炉心スプレイ系	LS224-2A	トラス水位	原子炉建物	EL 1300	EL 5840	基本	R-B2F-10N
高圧炉心スプレイ系	LS224-2B	トラス水位	原子炉建物	EL 1300	EL 5840	基本	R-B2F-10N
高圧炉心スプレイ系	MV224-2	HPCSポンプ トラス水入口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3670	個別	R-B2F-10N
高圧炉心スプレイ系	P224-1	高圧炉心スプレイポンプ	原子炉建物	EL 1300	EL 3020	個別	R-B2F-10N
高圧炉心スプレイ系	MV224-7	HPCSポンプ トラス側ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 8940	個別	R-B2F-31N
高圧炉心スプレイ系	MV224-8	HPCSポンプ CST側第1ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 8950	個別	R-B2F-31N
高圧炉心スプレイ系	MV224-9	HPCSポンプ CST側第2ミニマフロー弁	原子炉建物	EL 1300	EL 8930	個別	R-B2F-31N
高圧炉心スプレイ系	MV224-3	HPCS 注水弁	原子炉建物	EL 19500	EL 20760	個別	R-1F-33N
ほう酸水注入系	MV225-1A	A-SLC タク出口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36130	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	MV225-1B	B-SLC タク出口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36150	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	MV225-2A	A-SLC 注入弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36005	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (3/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
ほう酸水注入系	MV225-2B	B-SLC 注入弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36020	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	P225-1A	A-ほう酸水注入ポンプ	原子炉建物	EL 34800	EL 35390	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	P225-1B	B-ほう酸水注入ポンプ	原子炉建物	EL 34800	EL 35390	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	PS225-1A	A-SLC 注入ポンプ潤滑油圧力	原子炉建物	EL 34800	EL 35930	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
ほう酸水注入系	PS225-1B	B-SLC 注入ポンプ潤滑油圧力	原子炉建物	EL 34800	EL 35945	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	D226-1A	A-SGT 前置カス処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35470	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	D226-1B	B-SGT 前置カス処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35450	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	D226-2A	A-SGT 後置カス処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35470	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	D226-2B	B-SGT 後置カス処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35480	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	M226-1A	A-非常用カス処理系排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35500	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	M226-1B	B-非常用カス処理系排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35500	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	MV226-1A	A-SGT 入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36370	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	MV226-1B	B-SGT 入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36370	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	MV226-2A	A-SGT 出口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36370	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	MV226-2B	B-SGT 出口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36370	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
非常用カス処理系	MV226-4A	A-SGT 排風機入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35895	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (4/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
非常用ガス処理系	MV226-4B	B-SGT 排風機入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35895	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-101A	A-CAMS トラスサンプ リンク 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-101B	B-CAMS トラスサンプ リンク 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-102A	A-CAMS サンプ リンク ガス戻り 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-102B	B-CAMS サンプ リンク ガス戻り 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-103A	A-CAMS サンプ リンク トレン戻り 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-103B	B-CAMS サンプ リンク トレン戻り 隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11044	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-2A	A-FCS 出口隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11000	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-2B	B-FCS 出口隔離弁	原子炉建物	EL 1300	EL 11400	基本	R-B2F-31N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-100A	A-CAMS トライウェルサンプ リンク 隔離弁	原子炉建物	EL 23800	EL 25450	基本	R-2F-14N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-1A	A-FCS 入口隔離弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26149	基本	R-2F-14N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-100B	B-CAMS トライウェルサンプ リンク 隔離弁	原子炉建物	EL 23800	EL 25220	基本	R-2F-15N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-1B	B-FCS 入口隔離弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26962	基本	R-2F-15N
可燃性ガス濃度制御系	D229-1A	A-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35500	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	D229-1B	B-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35475	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-3A	A-FCS 冷却水入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35470	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-3B	B-FCS 冷却水入口弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35450	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-4A	A-FCS 系統入口流量調節弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35540	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-4B	B-FCS 系統入口流量調節弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35575	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-5A	A-FCS 再循環流量調節弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36510	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-5B	B-FCS 再循環流量調節弁	原子炉建物	EL 34800	EL 36485	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
可燃性ガス濃度制御系	MV229-6A	A-FCS 冷却水供給弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35560	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (5/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
可燃性ガス濃度制御系	MV229-6B	B-FCS 冷却水供給弁	原子炉建物	EL 34800	EL 35560	個別	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
所内電気設備系	-	2-RCIC 直流-C/C	原子炉建物	EL 10300	EL 10560	個別	R-B1F-16N
所内電気設備系	-	2C1-R/B-C/C	原子炉建物	EL 23800	EL 23857	個別	R-2F-04N
所内電気設備系	-	非常用マック盤(2C-M/C)	原子炉建物	EL 23800	EL 23820	基本	R-2F-04N
所内電気設備系	-	非常用ポートマック盤(2C-L/C)	原子炉建物	EL 23800	EL 23848	個別	R-2F-04N
所内電気設備系	-	2D2-R/B-C/C	原子炉建物	EL 23800	EL 23857	個別	R-2F-05N
所内電気設備系	-	2D3-R/B-C/C	原子炉建物	EL 23800	EL 23860	基本	R-2F-05N
所内電気設備系	-	非常用マック盤(2D-M/C)	原子炉建物	EL 23800	EL 23820	基本	R-2F-05N
所内電気設備系	-	非常用ポートマック盤(2D-L/C)	原子炉建物	EL 23800	EL 23848	個別	R-2F-05N
所内電気設備系	-	2A-DG-C/C	原子炉建物	EL 2800	EL 2890	個別	R-B2F-05N
所内電気設備系	-	2B-DG-C/C	原子炉建物	EL 2800	EL 2890	個別	R-B2F-08N
所内電気設備系	-	2HPCS-C/C	原子炉建物	EL 2800	EL 2925	個別	R-B2F-11N
所内電気設備系	-	高压炉心スプレイ系蓄電池	原子炉建物	EL 2800	EL 2905	基本	R-B2F-13N
所内電気設備系	-	非常用マック盤(2HPCS-M/C)	原子炉建物	EL 2800	EL 2920	個別	R-B2F-14N
所内電気設備系	2-2265H	高压炉心スプレイ系直流盤	原子炉建物	EL 2800	EL 3020	個別	R-B2F-14N
所内電気設備系	2-2267H	高压炉心スプレイ系充電器盤	原子炉建物	EL 2800	EL 2985	個別	R-B2F-14N
所内電気設備系	-	2C2-R/B-C/C	原子炉建物	EL 28800	EL 28890	個別	R-M2F-01N
所内電気設備系	-	2C3-R/B-C/C	原子炉建物	EL 28800	EL 28890	個別	R-M2F-01N
所内電気設備系	-	2D1-R/B-C/C	原子炉建物	EL 8800	EL 8880	個別	R-B1F-17-1N
所内電気設備系	-	2B-計装-C/C	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12420	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2-2260B	B-計装分電盤	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12482	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2-2261B	B-計装用無停電交流電源装置	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12580	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2-2263B	B-原子炉中性子計装用分電盤	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12830	基本	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2-2265B	B-115V 系直流盤	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12563	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2-2267B	B-115V 系充電器盤	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12505	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2265D-1	230V 系直流盤(RCIC)	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12490	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	2267E-1	230V 系充電器盤(RCIC)	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12528	個別	RW-MB1F-05N
所内電気設備系	-	B-原子炉中性子計装用蓄電池	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12640	個別	RW-MB1F-06N
所内電気設備系	2-2268B	B-原子炉中性子計装用充電器盤	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12415	個別	RW-MB1F-07N
所内電気設備系	-	230V 系蓄電池(RCIC)	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12880	個別	RW-MB1F-08N
所内電気設備系	-	B-115V 系蓄電池	廃棄物処理建物	EL 12330	EL 12840	個別	RW-MB1F-08N
所内電気設備系	2-961A	A-中央分電盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
所内電気設備系	2-961B	B-中央分電盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
所内電気設備系	2-961H	HPCS-中央分電盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
所内電気設備系	2-2267D	115V 系予備充電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 16980	基本	RW-1F-10N
所内電気設備系	-	2A-計装-C/C	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2260A	A-計装分電盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2260C	一般計装分電盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2261A	A-計装用無停電交流電源装置	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2263A	A-原子炉中性子計装用分電盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17430	基本	RW-1F-10N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (6/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
所内電気設備系	2-2265A	A-115V 系直流盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2267A	A-115V 系充電器盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	2-2268A	A-原子炉中性子計装用充電器盤	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17005	個別	RW-1F-10N
所内電気設備系	-	A-115V 系蓄電池	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17720	個別	RW-1F-11N
所内電気設備系	-	A-原子炉中性子計装用蓄電池	廃棄物処理建物	EL 16930	EL 17230	個別	RW-1F-11N
原子炉棟空調換気系	H261-3	LPCS ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 11300	EL 11630	基本	R-B1F-13N
原子炉棟空調換気系	H261-4C	C-RHR ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 1300	EL 1640	基本	R-B2F-03N
原子炉棟空調換気系	H261-7A	A-FPC ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 28300	EL 28690	個別	R-M2F-19N
原子炉棟空調換気系	H261-7B	B-FPC ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 28300	EL 28690	個別	R-M2F-19N
原子炉棟空調換気系	H261-4B	B-RHR ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 8800	EL 9220	個別	R-B1F-01N R-B1F-08N
原子炉棟空調換気系	H261-4A	A-RHR ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 8800	EL 9230	個別	R-B1F-07N
原子炉棟空調換気系	H261-2	HPCS ポンプ室冷却機	原子炉建物	EL 8800	EL 9130	基本	R-B1F-09N
中央制御室空調換気系	D264-1A	A-中央制御室空調和装置	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22530	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	D264-1B	B-中央制御室空調和装置	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 23240	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	H264-1A	A-中央制御室冷凍機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22420	基本	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	H264-1B	B-中央制御室冷凍機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22400	基本	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	M264-1A	A-中央制御室送風機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22830	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	M264-1B	B-中央制御室送風機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22810	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	M264-3A	A-中央制御室排風機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22600	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	M264-3B	B-中央制御室排風機	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22600	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	P264-1A	A-中央制御室冷水循環ポンプ	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22570	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	P264-1B	B-中央制御室冷水循環ポンプ	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22570	個別	RW-2F-02N
中央制御室空調換気系	D264-3	中央制御室非常用再循環処理装置	廃棄物処理建物	EL 25300	EL 25810	個別	RW-2F-01N
中央制御室空調換気系	M264-2A	A-中央制御室非常用再循環送風機	廃棄物処理建物	EL 25300	EL 25860	個別	RW-2F-01N
中央制御室空調換気系	M264-2B	B-中央制御室非常用再循環送風機	廃棄物処理建物	EL 25300	EL 25850	個別	RW-2F-01N
原子炉建物付属棟空調換気系	H268-4A	A-RCW ポンプ熱交換器室冷却機	原子炉建物	EL 15300	EL 15790	個別	R-1F-14N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-1	A-非常用 DG 室送風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24520	個別	R-2F-06N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-2	B-非常用 DG 室送風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24540	個別	R-2F-07N
原子炉建物付属棟空調換気系	D268-3	HPCS 電気室外気処理装置	原子炉建物	EL 23800	EL 24420	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	H268-4B	B-RCW ポンプ熱交換器室冷却機	原子炉建物	EL 23800	EL 24420	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-8A	A-HPCS 電気室送風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24540	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-8B	B-HPCS 電気室送風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24520	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-9A	A-HPCS 電気室排風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24450	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-9B	B-HPCS 電気室排風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24440	個別	R-2F-21N
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-3	HPCS-DG 室送風機	原子炉建物	EL 23800	EL 24450	個別	R-2F-22N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (7/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
原子炉建物付属棟空 調換気系	D268-1	A-非常用電気室外気処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35230	個別	R-3F-02N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-4A	A1-非常用電気室送風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35740	個別	R-3F-02N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-4B	A2-非常用電気室送風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35700	個別	R-3F-02N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-5A	A1-非常用電気室排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35740	個別	R-3F-02N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-5B	A2-非常用電気室排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35750	個別	R-3F-02N
原子炉建物付属棟空 調換気系	D268-2	B-非常用電気室外気処理装置	原子炉建物	EL 34800	EL 35250	個別	R-3F-03N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-6A	B1-非常用電気室送風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35720	個別	R-3F-03N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-6B	B2-非常用電気室送風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35740	個別	R-3F-03N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-7A	B1-非常用電気室排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35720	個別	R-3F-03N
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-7B	B2-非常用電気室排風機	原子炉建物	EL 34800	EL 35720	個別	R-3F-03N
非常用ディーゼル発電 機系	LS280-151A	A-DEG 燃料タンク液位	原子炉建物	EL 10500	EL 13160	個別	R-B1F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300A-1	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300A-2	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-1A	1 次水温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-200A	潤滑油温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-1A	A-非常用ディーゼル機関	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-3A	A-非常用ディーゼル発電機	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-04N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300B-1	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300B-2	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-1B	1 次水温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-200B	潤滑油温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-1B	B-非常用ディーゼル機関	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-3B	B-非常用ディーゼル発電機	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300H-1	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300H-2	始動用空気塞止弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3100	基本	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-1H	1 次水温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-200H	潤滑油温度調整弁	原子炉建物	EL 1300	EL 3150	基本	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-1H	高圧炉心スプレイ系ディーゼル機関	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	M280-3H	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機	原子炉建物	EL 1300	EL 2110	個別	R-B2F-07N
非常用ディーゼル発電 機系	LS280-151B	B-DEG 燃料タンク液位	原子炉建物	EL 9000	EL 11640	個別	R-B1F-05N
非常用ディーゼル発電 機系	LS280-151H	H-DEG 燃料タンク液位	原子炉建物	EL 9000	EL 11660	個別	R-B1F-06N
非常用ディーゼル発電 機系	P280-1A	A-燃料移送ポンプ	排気筒エリア	EL 7550	EL 8210	個別	Y-18N
非常用ディーゼル発電 機系	P280-1H	高圧炉心スプレイ系燃料移送ポンプ	排気筒エリア	EL 7550	EL 8220	個別	Y-23N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (8/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
非常用ディーゼル発電機系	P280-1B	B-燃料移送ポンプ	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽	EL 13400	EL 14025	基本	Y-73N
燃料ポンプ補給水系	MV285-1	FMWポンプ入口弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11420	個別	R-B1F-01N R-B1F-08N
燃料ポンプ補給水系	MV285-2	FMWポンプ出口弁	原子炉建物	EL 8800	EL 11770	個別	R-B1F-01N R-B1F-08N
燃料ポンプ補給水系	P285-1	燃料ポンプ補給水ポンプ	原子炉建物	EL 8800	EL 9280	個別	R-B1F-01N R-B1F-08N
原子炉保護系	PoS293-6A-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6A-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6B-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6B-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6C-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6C-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6D-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
原子炉保護系	PoS293-6D-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	原子炉建物	EL 15300	EL 18090	基本	R-1F-09N R-1F-26N
プロセス放射線モニタ系	AMP295-26A	A-格納容器雰囲気モニタリアンプ	原子炉建物	EL 10300	EL 11270	基本	R-B1F-16N
プロセス放射線モニタ系	RE295-26A	A-格納容器雰囲気モニタ(サブレクションチェンバ)	原子炉建物	EL 1300	EL 10000	基本	R-B2F-31N
プロセス放射線モニタ系	RE295-26B	B-格納容器雰囲気モニタ(サブレクションチェンバ)	原子炉建物	EL 1300	EL 9870	基本	R-B2F-31N
プロセス放射線モニタ系	AMP295-25A	A-格納容器雰囲気モニタリアンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16260	基本	R-1F-02N
プロセス放射線モニタ系	RE295-25A	A-格納容器雰囲気モニタ(ドライウエル)	原子炉建物	EL 15300	EL 21540	個別	R-1F-07-1N
プロセス放射線モニタ系	AMP295-25B	B-格納容器雰囲気モニタリアンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16250	基本	R-1F-15N
プロセス放射線モニタ系	RE295-25B	B-格納容器雰囲気モニタ(ドライウエル)	原子炉建物	EL 19500	EL 20020	基本	R-1F-12N
プロセス放射線モニタ系	AMP295-26B	B-格納容器雰囲気モニタリアンプ	原子炉建物	EL 8800	EL 9500	基本	R-B1F-17-1N
プロセス放射線モニタ系	2-YMR-4A	A-排気筒モニタサンプリング	排気筒エリア	EL 8800	EL 8970	個別	Y-30N
プロセス放射線モニタ系	2-YMR-5A	A-排気筒低レンジモニタサンプリング	排気筒エリア	EL 8800	EL 8880	基本	Y-30N
プロセス放射線モニタ系	2-YMR-4B	B-排気筒モニタサンプリング	排気筒エリア	EL 8800	EL 8970	個別	Y-31N
プロセス放射線モニタ系	2-YMR-5B	B-排気筒低レンジモニタサンプリング	排気筒エリア	EL 8800	EL 8880	基本	Y-31N
原子炉圧力容器計装系	LX298-11B	原子炉水位 (広域帯水位計)	原子炉建物	EL 15300	EL 16065	基本	R-1F-03N R-1F-22N
原子炉圧力容器計装系	LX298-1A	原子炉水位	原子炉建物	EL 15300	EL 16585	基本	R-1F-03N R-1F-22N
原子炉圧力容器計装系	LX298-1C	原子炉水位	原子炉建物	EL 15300	EL 16585	基本	R-1F-03N R-1F-22N
原子炉圧力容器計装系	PX298-5B	原子炉圧力	原子炉建物	EL 15300	EL 16065	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-1	RCIC 計器ラック	原子炉建物	EL 1300	EL 2215	個別	R-B2F-01N
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3A	A-RHR 計器ラック	原子炉建物	EL 1300	EL 1665	個別	R-B2F-02N
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3C	C-RHR 計器ラック	原子炉建物	EL 1300	EL 1700	基本	R-B2F-03N
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIB-B2-1	LPCS 流量・圧力計器架台	原子炉建物	EL 1300	EL 2160	個別	R-B2F-09N
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3B	B-RHR 計器ラック	原子炉建物	EL 1300	EL 1870	個別	R-B2F-15N
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208A	A-SRM/IRM 前置増幅器盤	原子炉建物	EL 15300	EL 15900	基本	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208B	B-SRM/IRM 前置増幅器盤	原子炉建物	EL 15300	EL 15900	基本	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208C	C-SRM/IRM 前置増幅器盤	原子炉建物	EL 15300	EL 15900	基本	R-1F-03N R-1F-22N

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (9/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2208D	D-SRM/IRM 前置増幅器盤	原子炉建物	EL 15300	EL 15900	基本	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-2-2	A-PLR ポンプ 計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15985	基本	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-2-4	B-PLR ポンプ 計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15985	基本	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-3A	A-主蒸気流量計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15967	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-3C	C-主蒸気流量計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15925	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8A	A-原子炉圧力容器計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15934	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8C	C-原子炉圧力容器計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15941	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8D	D-原子炉圧力容器計器ラック	原子炉建物	EL 15300	EL 15890	個別	R-1F-03N R-1F-22N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2211-22	C-メタラ・ロード センタ保護継電器盤	原子炉建物	EL 23800	EL 24400	基本	R-2F-04N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8A	A-原子炉格納容器圧力計器ラック	原子炉建物	EL 23800	EL 24660	個別	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8B	B-原子炉格納容器圧力計器ラック	原子炉建物	EL 23800	EL 24360	個別	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8C	C-原子炉格納容器圧力計器ラック	原子炉建物	EL 23800	EL 24360	個別	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8D	D-原子炉格納容器圧力計器ラック	原子炉建物	EL 23800	EL 24350	個別	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220A1	A-ディーゼ ル発電機制御盤	原子炉建物	EL 2800	EL 2890	個別	R-B2F-05N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220B1	B-ディーゼ ル発電機制御盤	原子炉建物	EL 2800	EL 2890	個別	R-B2F-08N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220H1	HPCS-ディーゼ ル発電機制御盤	原子炉建物	EL 2800	EL 2980	個別	R-B2F-11N
中央制御室機器・現 地制御盤	2RCB-51	ほう酸水注入系操作箱	原子炉建物	EL 34800	EL 35400	基本	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-3A	A-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ラ ック	原子炉建物	EL 34800	EL 34985	個別	R-3F-06N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-3B	B-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ラ ック	原子炉建物	EL 34800	EL 34980	個別	R-3F-100N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-5B	B-原子炉格納容器 H2・O2 クーララ ック	原子炉建物	EL 34800	EL 35460	個別	R-3F-100N

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (10/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-8B	B-ジェットポンプ 流量計器ラック	原子炉建物	EL 8800	EL 9700	個別	R-B1F-01N R-B1F-08N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-8A	A-ジェットポンプ 流量計器ラック	原子炉建物	EL 8800	EL 9380	個別	R-B1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-4	HPCS 計器ラック	原子炉建物	EL 8800	EL 9200	基本	R-B1F-09N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-YIB-1B	II-RSW ポンプ 出口圧力計器収納箱	取水槽	EL 1100	EL 3950	基本	Y-24AN
中央制御室機器・現 地制御盤	2-YIB-1A	I-RSW ポンプ 出口圧力計器収納箱	取水槽	EL 1100	EL 3950	基本	Y-24BN

--	--	--	--	--	--	--	--

中央制御室機器・現 地制御盤	2-920A	A-RHR・LPCS 継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-920B	B・C-RHR 継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-921	HPCS 継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-921A	HPCS トリップ 設定器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-923A	A-格納容器隔離継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-923B	B-格納容器隔離継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924A	A-原子炉保護継電器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924A1	A1-原子炉保護トリップ 設定器盤	廃棄物処理建 物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 2-2 溢水防護対象設備リスト (11/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [mm]	機能喪失 高さ[mm]	設定 箇所	設置区画
中央制御室機器・現地制御盤	2-924A2	A2-原子炉保護トリップ 設定器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-924B	B-原子炉保護継電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-924B1	B1-原子炉保護トリップ 設定器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-924B2	B2-原子炉保護トリップ 設定器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-925	制御棒スクラムテスト盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-934A	A-原子炉フﾟロセス計測盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-934B	B-原子炉フﾟロセス計測盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-961G2	B-直流地絡検出装器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-970A	A-自動減圧継電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-970B	B-自動減圧継電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-972A	A-原子炉補助継電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-972B	B-原子炉補助継電器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-973A-2	A-格納容器 H2/O2 濃度計演算器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-973B-2	B-格納容器 H2/O2 濃度計演算器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-976A	S I -工学的安全施設トリップ 設定器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-976B	S II -工学的安全施設トリップ 設定器盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-984A	原子炉警報電源盤	廃棄物処理建物	EL 16900	EL 17010	基本	RW-1F-05N RW-1F-07N
中央制御室機器・現地制御盤	2-2256A	A-中央制御室冷凍機制御盤	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22285	個別	RW-2F-02N
中央制御室機器・現地制御盤	2-2256B	B-中央制御室冷凍機制御盤	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22295	個別	RW-2F-02N
中央制御室機器・現地制御盤	2-WIR-2-6A	中央制御室 A-冷凍機計器ラック	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22480	基本	RW-2F-02N
中央制御室機器・現地制御盤	2-WIR-2-6B	中央制御室 B-冷凍機計器ラック	廃棄物処理建物	EL 22100	EL 22480	基本	RW-2F-02N

2.2 溢水影響評価の対象外とした設備の整理

- (1) 図 2-1 に示した選定フローにより溢水影響評価の対象外とした設備のリストを表 2-3 に示す。

表 2-3 溢水影響評価の対象外とした設備のリスト (1/4)

系統名称	設備番号	設備名称	評価対象外とした理由
原子炉再循環系	AV201-1	炉水ポンプリング内側隔離弁	②
原子炉再循環系	AV201-2	炉水ポンプリング外側隔離弁	③
原子炉再循環系	AV201-5A, B	A, B-再循環カウチンパージ元弁	③
主蒸気系	AV202-1A~D	A~D-主蒸気内側隔離弁	②
主蒸気系	AV202-2A~D	A~D-主蒸気外側隔離弁	③
主蒸気系	MV202-10A~D	A~D-主蒸気管水抜きラインドレン弁	③
主蒸気系	MV202-11	主蒸気管水抜き弁	③
主蒸気系	MV202-2	主蒸気ドレン内側隔離弁	②
主蒸気系	MV202-3	主蒸気ドレン外側隔離弁	③
主蒸気系	RV202-1A~M	A~M-主蒸気逃がし安全弁	②
主蒸気系	T202-1A~M	A~M-主蒸気系逃がし安全弁機能用アキュムレータ	①
主蒸気系	T202-2B, D, E, G, K, M	B, D, E, G, K, M-主蒸気系逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ	①
主蒸気系	T202-3A~D	A~D-主蒸気内側隔離弁用アキュムレータ	①
主蒸気系	T202-4A~D	A~D-主蒸気外側隔離弁用アキュムレータ	①
主蒸気系	TE202-4A ~ D, 5A ~ D, 6A ~ D, 7A~D, 8A~D, 9A~D	主蒸気管周囲温度	③
制御棒駆動系	AV212-126	水圧ユニットスクラム弁	③
制御棒駆動系	D212-2	制御棒駆動機構	①
制御棒駆動系	T212-125	水圧ユニットアキュムレータ	①
制御棒駆動系	T212-128	水圧ユニット窒素容器	①
原子炉浄化系	MV213-1A, B	A, B-CUW 入口元弁	②
原子炉浄化系	MV213-2	RPV ドレン側流量調節弁バypass弁	②
原子炉浄化系	MV213-3	CUW 入口内側隔離弁	②
原子炉浄化系	MV213-4	CUW 入口外側隔離弁	④
原子炉補機冷却系	CV214-1A, B	中央制御室冷凍機出口圧力調節弁	③
原子炉補機冷却系	H214-1A-1~3	A1~3-原子炉補機冷却系熱交換器	①
原子炉補機冷却系	H214-1B-1~3	B1~3-原子炉補機冷却系熱交換器	①
原子炉補機冷却系	MV214-40	PCV 内冷却水入口外側隔離弁	④
原子炉補機冷却系	MV214-41	PCV 内冷却水出口内側隔離弁	②
原子炉補機冷却系	MV214-42	PCV 内冷却水出口外側隔離弁	④
原子炉補機冷却系	T214-1A, B	A, B-原子炉補機冷却系サージタンク	①
原子炉補機海水系	ST215-1A, B	I, II系-原子炉補機海水ストレナ	①
燃料プール冷却系	-	燃料プール	①
燃料プール冷却系	H216-1A, B	A, B-熱交換器	①
燃料プール冷却系	T216-1A, B	A, B-スキマサージタンク	①
窒素ガス制御系	AV217-19	HVR 入口隔離弁	③
窒素ガス制御系	AV217-2	N2 ドライウェル入口隔離弁	③
窒素ガス制御系	AV217-3	N2 トラス入口隔離弁	③
窒素ガス制御系	AV217-7	N2 補給隔離弁	③
窒素ガス制御系	AV217-8A	N2 補給ドライウェル入口隔離弁	③
窒素ガス制御系	AV217-8B	N2 補給トラス入口隔離弁	③
窒素ガス制御系	MV217-4	N2 ドライウェル出口隔離弁	③
窒素ガス制御系	MV217-5	N2 トラス出口隔離弁	③
高圧炉心スプレイ補機冷却系	H218-1	熱交換器	①

表 2-3 溢水影響評価の対象外とした設備のリスト (2/4)

系統名称	設備番号	設備名称	評価対象外とした理由
高圧炉心スプレ補機冷却系	T218-1	高圧炉心スプレ補機冷却系サージタンク	①
高圧炉心スプレ補機海水系	S219-1	高圧炉心スプレ補機海水ストレナ	①
原子炉隔離時冷却系	MV221-20	蒸気内側隔離弁	②
原子炉隔離時冷却系	S221-2	原子炉隔離時冷却ポンプサブレクションチェンバーストレナ	①
残留熱除去系	CV222-1	炉頂部冷却水流量調節弁	③
残留熱除去系	H222-1A, B	A, B-残留熱除去系熱交換器	①
残留熱除去系	MV222-14	RHR 炉頂部冷却内側隔離弁	②
残留熱除去系	MV222-22A, B	A, B-RHR 熱交水室入口弁	③
残留熱除去系	MV222-6	RHR 炉水入口内側隔離弁	②
残留熱除去系	S222-1A~C	A~C-残留熱除去ポンプサブレクションチェンバーストレナ	①
残留熱除去系	TE222-5A-2, 6, 5B-2, 6	トラス水温度	②
低圧炉心スプレ系	S223-1	低圧炉心スプレポンプサブレクションチェンバーストレナ	①
高圧炉心スプレ系	S224-2	高圧炉心スプレポンプサブレクションチェンバーストレナ	①
ほう酸水注入系	T225-1	ほう酸水貯蔵タンク	①
非常用ガス処理系	AV226-1A, B	A, B-R/B 連絡弁	③
逃がし安全弁 N2 ガス供給系	MV227-1A, B	A, B-ADS 外側 N2 隔離弁	④
逃がし安全弁 N2 ガス供給系	MV227-3	逃がし弁 N2 供給弁	④
液体廃棄物処理系	MV252-1	ドライウェル機器ドレン内側隔離弁	②
液体廃棄物処理系	MV252-2	ドライウェル機器ドレン外側隔離弁	④
液体廃棄物処理系	MV252-3	ドライウェル床ドレン内側隔離弁	②
液体廃棄物処理系	MV252-4	ドライウェル床ドレン外側隔離弁	③
中央制御室空調換気系	AD264-1	A, B-制御室再循環風量調整ダンパ	③
中央制御室空調換気系	AD264-2	A, B-ケーブル処理室排気切替ダンパ	③
中央制御室空調換気系	AD264-3	A, B-制御室再循環空気排気切替ダンパ	③
中央制御室空調換気系	AD264-4A, B	A, B-中央制御室排風機用 インレットガイドベーン	③
中央制御室空調換気系	AV264-5	中央制御室排気内側隔離弁	③
中央制御室空調換気系	AV264-6	中央制御室排気外側隔離弁	③
中央制御室空調換気系	AV264-7A, B	A, B-中央制御室非常用再循環処理装置入口隔離弁	③
中央制御室空調換気系	CV264-17	中央制御室給気外側隔離弁	③
中央制御室空調換気系	CV264-18	中央制御室給気内側隔離弁	③
中央制御室空調換気系	VD264-3	中央制御室外気処理装置ハイスタンプ	①
ドライウェル冷却系	MV265-1	HVD 格納容器入口弁	④
ドライウェル冷却系	MV265-2	HVD 冷却機出口弁	②
ドライウェル冷却系	MV265-3	HVD 格納容器出口弁	④

表 2-3 溢水影響評価の対象外とした設備のリスト (3/4)

系統名称	設備番号	設備名称	評価対象外とした理由
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	A-非常用電気室 A1, 2 送風機入口ダクト	①
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	B-非常用電気室 B1, 2 送風機入口ダクト	①
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	HPCS 電気室 A, B 送風機入口ダクト	①
復水輸送系	T271-1	復水貯蔵タンク	①
補給水系	MV272-196	MUW PCV 代替冷却外側隔離弁	④
計装用圧縮空気系	MV277-50	IA PCV 外側隔離弁	④
ポンプリング系	AV278-1A~D	A~D-N2 ガスポンプリング 第 1 隔離弁	③
ポンプリング系	AV278-2A~D	A~D-N2 ガスポンプリング 第 2 隔離弁	③
ポンプリング系	AV278-3	N2 ガスポンプリング 戻り 第 2 隔離弁	③
ポンプリング系	AV278-4	N2 ガスポンプリング 戻り 第 1 隔離弁	③
ポンプリング系	MV278-400	原子炉水ポンプリング 内側隔離弁 (PASS)	②
ポンプリング系	MV278-401	原子炉水ポンプリング 外側隔離弁 (PASS)	③
ポンプリング系	MV278-405	液体ポンプ 戻り 第 1 隔離弁	③
ポンプリング系	MV278-406	液体ポンプ 戻り 第 2 隔離弁	③
非常用ディーゼル発電機系	D280-3A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレイス燃料フィルタ	①
非常用ディーゼル発電機系	D280-4A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレイス潤滑油フィルタ	①
非常用ディーゼル発電機系	D280-5A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレイスシリング油フィルタ	①
非常用ディーゼル発電機系	H280-1A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス潤滑油冷却器	①
非常用ディーゼル発電機系	H280-3A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス 1 次水冷却器	①
非常用ディーゼル発電機系	S280-101A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス燃料移送ポンプ 入口ストレーナ	①
非常用ディーゼル発電機系	S280-312A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレイス 1, 2 始動用空気ストレーナ	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-1A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス燃料地下タンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-3A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス燃料タンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-4A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス潤滑油サブタンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-5A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイスシリング油タンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-6A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス 1 次水空気抜タンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-7A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレイス 1 次水膨張タンク	①
非常用ディーゼル発電機系	T280-8A, B, H-1	A, B, 高圧炉心スプレイス空気だめ(自動)	①
原子炉保護系	LS293-3A~D	A, B-スクラム排水容器水位スイッチ	③
原子炉保護系	PoS293-1A, B, 2A, B, 3A, B, 4A, B	主蒸気止め弁開度スイッチ	③
原子炉保護系	PoS293-5A~D-1, 2	主蒸気止め弁開度スイッチ	②
原子炉保護系	PoS293-7A~D, 8A~D, 9A~D	タービンハイス弁開度スイッチ	③
原子炉保護系	PS293-4A~D	蒸気加減弁急速閉用油圧スイッチ	③
原子炉保護系	VbS293-1A~D, 2A~D, 3A~D	スクラム地震計	③
中性子計装系	LPRM04-21, 29, 37A~D	LPRM 検出器	②
中性子計装系	LPRM12-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	②
中性子計装系	LPRM20-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	②
中性子計装系	LPRM28-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	②

表 2-3 溢水影響評価の対象外とした設備のリスト (4/4)

系統名称	設備番号	設備名称	評価対象外とした理由
中性子計装系	LPRM36-05, 13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	②
中性子計装系	LPRM44-13, 21, 29, 37, 45A~D	LPRM 検出器	②
中性子計装系	MV294-2A~D	移動型計測装置(ボール弁)	③
中性子計装系	NE294-11~18	IRM 検出器(ch. 11~18)	②
中性子計装系	NE294-21~24	SRM 検出器(ch. 21~24)	②
プロセス放射線モニタ系	AMP295-13A~D	A~D-主蒸気管モニタリアンプ	③
プロセス放射線モニタ系	AV295-15, 16	PRM トライウェル内漏えい検出モニタ入口第1, 2 隔離弁	③
プロセス放射線モニタ系	AV295-17, 18	PRM トライウェル内漏えい検出モニタ出口第1, 2 隔離弁	③
プロセス放射線モニタ系	RE295-13A~D	A~D-主蒸気管モニタ(イオンチェンバ)	③
プロセス放射線モニタ系	RE295-16A~D	A~D-燃料取替階モニタ	③
プロセス放射線モニタ系	RE295-17A~D	A~D-原子炉棟排気高レンジモニタ	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-2206A~H	A~H-スクラムリノイトヒューズ盤	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-2259A, B	A, B-原子炉保護系 MG 盤	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-RCB-80A, B, H	A, B, HPCS-タービン発電機速度検出用変換器箱	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIB-2-1A, B	A, B-スクラム排水容器水位計器架台	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-1-3B, D	B, D-主蒸気流量計器ラック	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-1-8B	B-原子炉圧力容器計器ラック	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-TIR-1-1A, B	A, B-主蒸気圧力計器ラック	③
中央制御室機器・現地制御盤	2-TIR-3-9A, B	A, B-復水器真空計器ラック	③
-	-	手動弁一式	①
-	-	逆止弁一式	①
-	-	配管一式	①

2.3 溢水影響評価の対象外とする理由

(1) 「①溢水により機能を喪失しない」による対象外

溢水により機能を喪失しないとした防護対象設備について、没水時の健全性を評価した。表 2-4 に示すように、各建物の最大階高（当該床から上階床までの階高のうち最大となる値）に相当する水頭圧を外圧条件とした。

表 2-4 各建物の外圧条件

建物	水頭圧[m]	最大階高
原子炉建物	8	3 階～4 階
廃棄物処理建物	7	2 階～3 階
取水槽	10	床～防水壁天端

a. 配管及び弁

配管及び弁の没水時の外圧に対する健全性評価の例を表 2-5 に示す。

「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007」に基づき算出した機器の外圧に対する許容圧力が溢水水位による外圧を上回るため、健全性を維持できる。なお、弁は配管に比べ肉厚であるため、配管の評価に含まれる。

表 2-5 配管の没水時の外圧による影響評価結果（代表例）

建物	原子炉建物	廃棄物処理建物	取水槽
代表配管※1	700A-RSW-7A	200A-RCW-61A	700A-RSW-2A
外径 Do[mm]	711.2	216.3	711.2
板厚 t[mm]	9.5	8.2	9.5
製造上最小厚さ ts[mm]	8.5	7.17	8.5
付録材料図 表 Part7 により定まる値 B	15.9	89.5	16.6
材質	SM41C	STPT42	SM41C
許容圧力[MPa]※2	0.25	3.95	0.26
水頭圧[MPa]	0.08	0.07	0.10
許容圧力>水頭圧判定	○	○	○

※1 評価を実施するにあたり、各建物の対象配管のうち、保守的に外径(Do)/板厚(t)が最大となる配管を代表として選定した。なお、評価では内圧は大気圧とした。

※2 「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 (JSME S NC1-2005/2007) PPC-3411 直管 (2) 外圧を受ける直管」を準用した以下の式を用い、製造上最小厚さから許容圧力を算定した値

$$t_s = \frac{3P_e D_0}{4B}$$

P_e : 許容圧力 [MPa]

t_s : 製造上の最小厚さ [mm]

D_0 : 管の外径 [mm]

B : 付録材料図 表 Part7 により定まる値

b. 容器（熱交換器）

容器（熱交換器）の没水時の外圧及び浮力に対する健全性評価の例として、表 2-6 に示す 4 つの熱交換器を評価した。

表 2-6 評価対象の熱交換器

設備番号	設備名称
H214-1A-1～3, 1B-1～3	A1～3, B1～3-原子炉補機冷却系熱交換器
H216-1A, B	A, B-燃料プール冷却水熱交換器
H218-1	高圧炉心スプレッド補機冷却水熱交換器
H222-1A, B	A, B-残留熱除去熱交換器

(a) 没水時の外圧に対する健全性評価

熱交換器が没水した場合、熱交換器の胴体には水頭圧が外圧として負荷される。熱交換器は内部流体による満水状態であり、胴体には内圧が負荷されているため、没水時の外圧と熱交換器の内圧を比較し、外圧が内圧を上回り胴体に外側から差圧が負荷されるかを確認した。没水時の水頭圧による外圧と各熱交換器の内圧(運転圧力)を表 2-7 に示す。没水時に生じる外圧は熱交換器の内圧より小さいことから、外側から差圧が負荷される事はない。したがって、内圧に対して強度を有している熱交換器は健全性を維持できる。

表 2-7 没水時の外圧と各熱交換器の内圧比較結果

溢水時に機器が水没した際に生じる圧力(外圧) [MPa]	各熱交換器の運転圧力(内圧) [MPa]							
	原子炉補機冷却系熱交換器		燃料プール冷却水熱交換器		高圧炉心スプレッド補機冷却水熱交換器		残留熱除去熱交換器	
	管側	胴側	管側	胴側	管側	胴側	管側	胴側
0.08 (水頭圧：8m)	0.44	0.78	0.78	0.78	0.29	0.78	0.98	0.78

(b) 没水時の浮力に対する健全性評価

没水時に生じる浮力が自重を上回る場合、基礎ボルトに対して引張荷重が生じる。機器が水没した際に生じる浮力は、以下の式(1)にて算出する。

熱交換器内部は満水状態にあり、溢水は機器の内包流体とほぼ同じ性質の水であることから、機器が没水した場合でも内部流体と溢水の有意な密度差は生じず浮力は発生しない。したがって、浮力が追加荷重として負荷されることはなく、熱交換器は健全性を維持できる。

$$F = \rho \times g \times V \quad \dots\dots\dots (1)$$

- F : 機器が水没した際に生じる浮力
- ρ : 機器内部流体の密度と溢水の密度差
- g : 重力加速度
- V : 機器の体積

c. 容器（タンク）

容器（タンク）の没水時の外圧及び浮力に対する健全性評価の例として、表 2-8 に示す 3 つのタンクを評価した。

表 2-8 評価対象のタンク

設備番号	設備名称
T214-1A, B	A, B-原子炉補機冷却系サージタンク
T225-1	ほう酸水貯蔵タンク
T218-1	高圧炉心スプレイ補機冷却系サージタンク

(a) 没水時の外圧に対する健全性評価

タンクが没水した場合、タンクには水頭圧が外圧として負荷される。タンクは開放構造のため、没水時の外圧と各タンクの内圧はいずれも静水頭圧であり、表 2-9 に示すとおり没水によりタンクの破損には至らず、健全性は維持される。

表 2-9 タンクの没水時の外圧による影響評価結果（代表例）

建物	原子炉建物		
設備名称	原子炉補機冷却系サージタンク	ほう酸水貯蔵タンク	高压炉心スプレィ補機冷却系サージタンク
内径 Di [mm]	2500	3000	1500
板厚 t [mm]	9	8	9
製造上最小厚さ ts [mm]	6.42	4.88	6.40
付録材料図 表 Part7 により定まる値 B	14	4	21
材質	SM41A	SUS316L	SM41A
許容圧力 [MPa]※1	0.0475	0.0086	0.118
水頭圧 [MPa]※2	0.003	0.0035	0.05
許容圧力 > 水頭圧判定	○	○	○

※1 「発電用原子力設備規格 設計・建設規格（JSME S NC1-2005/2007）PVC-3122 円筒形の胴の厚さの規定（3）外面に圧力を受ける円筒形の胴」を準用した以下の式を用い、製造上の最小厚さから許容圧力を算定した値

$$t_s = \frac{3P_e D_0}{4B}$$

Pe: 許容圧力 [MPa]
 ts: 製造上の最小厚さ [mm]
 D0: 胴の外径 [mm]
 B: 付録材料図 表 Part7 により定まる値

※2 タンク内保有水なし、各溢水事象の最大水位。

(b) 没水時の浮力に対する健全性評価

タンクが没水した際に生じる浮力が自重を上回る場合、基礎ボルトに対して引張荷重が生じる。タンクは常に保有水があるが、タンクが空の場合の基礎ボルトの健全性を確認する。評価結果を表 2-10 に示すとおり、健全性が維持できる。

表 2-10 タンク基礎ボルトの健全性評価結果

設備名称	発生応力 [MPa]	許容応力 [MPa]	判定
原子炉補機冷却系サージタンク	25	176	○
ほう酸水貯蔵タンク	30	176	○
高压炉心スプレィ補機冷却系サージタンク	8	176	○

d. 空調ダンパ及びダクト

防護対象設備である空調ダンパ及びダクトは、没水時の水圧により破損のおそれがあるため、堰設置等の没水対策を行い、健全性を維持させる。なお、床を貫通するダクトに対して堰等の没水対策を実施する場合は、現場調査の結

果に基づき、被水が堰内に流入するのを防止する対策として、被水防止カバー等の対策を実施する。

e. 現場確認の実施について

溢水防護対象設備は、図 2-1 のフローにより防護対象設備から選定しており、開放構造である設備については現場確認を実施している。溢水防護対象設備としない防護対象設備のうち、「①溢水により機能を喪失しない」として溢水影響評価の対象外としている設備（タンク、熱交換器、ろ過脱塩器、逆止弁、手動弁及び配管等の静的機器）は、図 2-2 の「①溢水により機能を喪失しない設備」の選定フローにより現場確認実施の要否について検討した。その結果を表 2-11 に示す。

確認対象となった開放構造のタンクについて、溢水水位とベント管等開放構造部の位置から、溢水の流入がないことを図面及び現場にて確認した。開放構造のタンクの溢水流入確認結果を表 2-12 に、現場確認結果の例として B-原子炉補機冷却系サージタンクのベント管設置箇所を図 2-3 に、非常用ディーゼル発電機系 A-燃料地下タンクのベント管設置箇所を図 2-4 に示す。

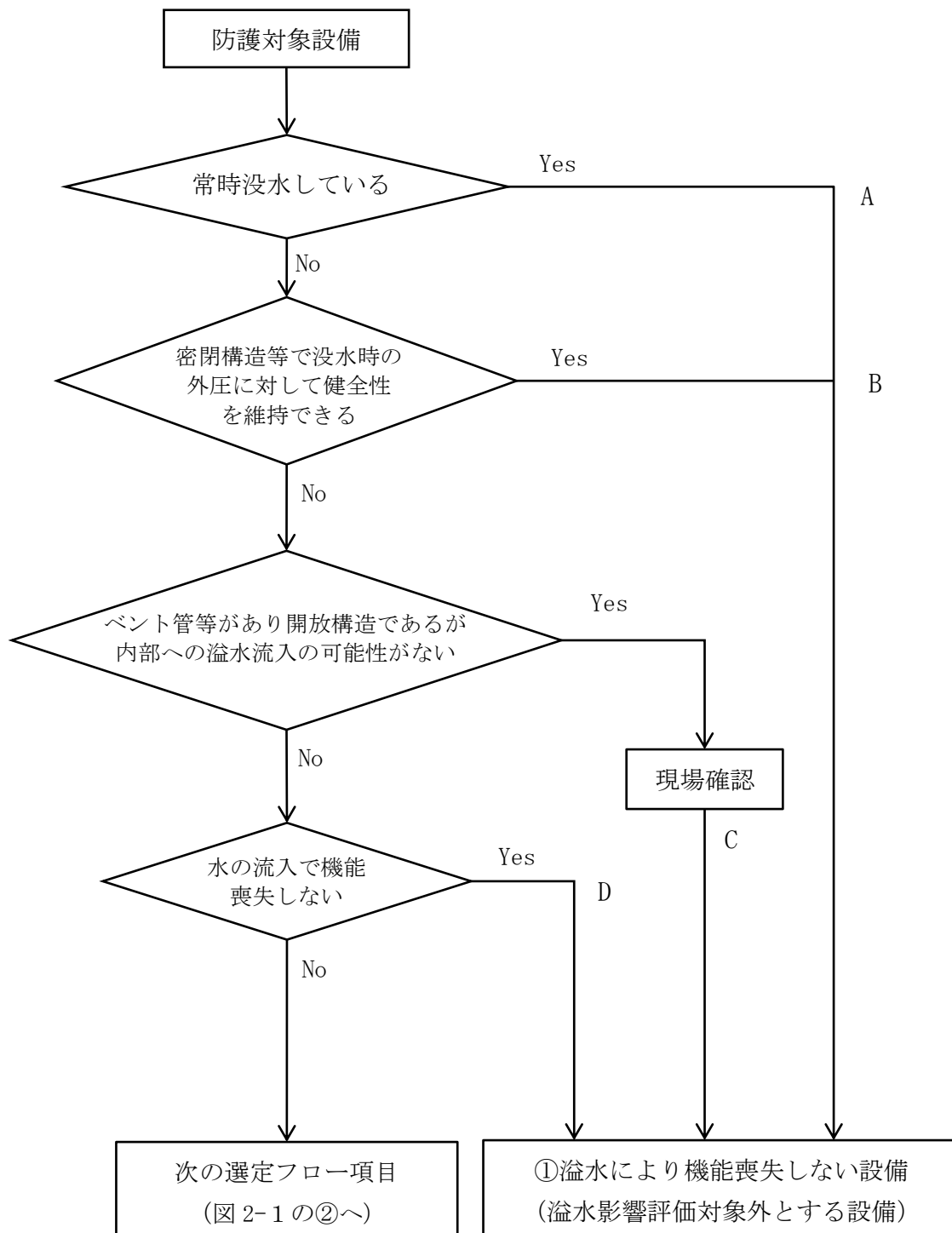


図 2-2 「①溢水により機能を喪失しない設備」の選定フロー

表 2-11 「①溢水により機能を喪失しない設備」の判定 (1/2)

系統名称	設備番号	設備名称	判定※1	現場確認 要否※2
主蒸気系	T202-1A～M	A～M-主蒸気系逃がし安全弁機能用アキュムレータ	B	×
主蒸気系	T202-2B, D, E, G, K, M	B, D, E, G, K, M-主蒸気系逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ	B	×
主蒸気系	T202-3A～D	A～D-主蒸気内側隔離弁用アキュムレータ	B	×
主蒸気系	T202-4A～D	A～D-主蒸気外側隔離弁用アキュムレータ	B	×
制御棒駆動系	D212-2	制御棒駆動機構	B	×
制御棒駆動系	T212-125	水圧ユニットアキュムレータ	B	×
制御棒駆動系	T212-128	水圧ユニット窒素容器	B	×
原子炉補機冷却系	H214-1A-1～3	A1～3-原子炉補機冷却系熱交換器	B	×
原子炉補機冷却系	H214-1B-1～3	B1～3-原子炉補機冷却系熱交換器	B	×
原子炉補機冷却系	T214-1A, B	A, B-原子炉補機冷却系サージタンク	C	○
原子炉補機海水系	ST215-1A, B	I, II系-原子炉補機海水ストレーナ	B	×
燃料プール冷却系	-	燃料プール	A	×
燃料プール冷却系	H216-1A, B	A, B-熱交換器	B	×
燃料プール冷却系	T216-1A, B	A, B-スキマサージタンク	D	×
高圧炉心スプレィ補機冷却系	H218-1	熱交換器	B	×
高圧炉心スプレィ補機冷却系	T218-1	高圧炉心スプレィ補機冷却系サージタンク	C	○
高圧炉心スプレィ補機海水系	S219-1	高圧炉心スプレィ補機海水ストレーナ	B	×
原子炉隔離時冷却系	S221-2	原子炉隔離時冷却ポンプサプレッションチェンバーストレーナ	A	×
残留熱除去系	H222-1A, B	A, B-残留熱除去系熱交換器	B	×
残留熱除去系	S222-1A～C	A～C-残留熱除去ポンプサプレッションチェンバーストレーナ	A	×
低圧炉心スプレィ系	S223-1	低圧炉心スプレィポンプサプレッションチェンバーストレーナ	A	×
高圧炉心スプレィ系	S224-2	高圧炉心スプレィポンプサプレッションチェンバーストレーナ	A	×
ほう酸水注入系	T225-1	ほう酸水貯蔵タンク	C	○
中央制御室空調換気系	VD264-3	中央制御室外気処理装置ハイパスタンプ	B	×
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	A-非常用電気室 A1, 2 送風機入口ダンプ	B	×
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	B-非常用電気室 B1, 2 送風機入口ダンプ	B	×
原子炉建物付属棟空調換気系	VD	HPCS 電気室 A, B 送風機入口ダンプ	B	×
復水輸送系	T271-1	復水貯蔵タンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	D280-3A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレィ系燃料フィルタ	B	×
非常用ディーゼル発電機系	D280-4A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレィ系潤滑油フィルタ	B	×
非常用ディーゼル発電機系	D280-5A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレィ系シリンダ油フィルタ	B	×
非常用ディーゼル発電機系	H280-1A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系潤滑油冷却器	B	×
非常用ディーゼル発電機系	H280-3A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系 1 次水冷却器	B	×
非常用ディーゼル発電機系	S280-101A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系燃料移送ポンプ入口ストレーナ	B	×

表 2-11 「①溢水により機能を喪失しない設備」の判定 (2/2)

系統名称	設備番号	設備名称	判定※1	現場確認 要否※2
非常用ディーゼル発電機系	S280-312A, B, H-1, 2	A, B, 高圧炉心スプレィ系 1, 2 始動用空気ストレーナ	A	×
非常用ディーゼル発電機系	T280-1A, 1A-2, 2B-1, 2B-2, 2B-3, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系燃料地下タンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-3A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系燃料タンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-4A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系潤滑油ポンプタンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-5A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系シリンダ油タンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-6A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系 1 次水空気抜タンク	B	×
非常用ディーゼル発電機系	T280-7A, B, H	A, B, 高圧炉心スプレィ系 1 次水膨張タンク	C	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-8A, B, H-1	A, B, 高圧炉心スプレィ系空気だめ(自動)	B	×
-	-	逆止弁一式	B	×
-	-	手動弁一式	B	×
-	-	配管一式	B	×

※1 A：常時没水

B：密閉構造等で外圧健全性あり

C：開放構造であるが、溢水流入の可能性がない

D：水の流入で、機能喪失しない

※2 ○：現場確認必要 ×：現場確認不要

表 2-12 開放構造のタンクの溢水流入確認結果

系統名称	設備番号	設備名称	開放構造部 床上高さ [m]	タンク設置 区画の最大 溢水水位 ^{※1} [m]	評価結果 ^{※2}
原子炉補機冷却系	T214-1A	A-原子炉補機冷却系サージタンク	4.0	0.19	○
原子炉補機冷却系	T214-1B	B-原子炉補機冷却系サージタンク	4.0	0.19	○
高圧炉心スプレイ補機冷却系	T218-1	高圧炉心スプレイ補機冷却系サージタンク	4.4	4.31	○
ほう酸水注入系	T225-1	ほう酸水貯蔵タンク	4.5	0.19	○
復水輸送系	T271-1	復水貯蔵タンク	13.0	0.03	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-1A, 1A-2	A-燃料地下タンク	4.2	0.23	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-2B-1, 2B-2, 2B-3	B-燃料地下タンク	4.2	0.02	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-1H	高圧炉心スプレイ系燃料地下タンク	4.2	0.25	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-3A	A-燃料デイトンク	2.0	0.15 ^{※3}	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-3B	B-燃料デイトンク	2.0	0.65 ^{※3}	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-3H	高圧炉心スプレイ系燃料デイトンク	1.9	2.78	○ ^{※4}
非常用ディーゼル発電機系	T280-4A	A-潤滑油サンプタンク	1.1	3.01	○ ^{※4}
非常用ディーゼル発電機系	T280-4B	B-潤滑油サンプタンク	1.1	3.20	○ ^{※4}
非常用ディーゼル発電機系	T280-4H	高圧炉心スプレイ系潤滑油サンプタンク	1.1	0.70	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-5A	A-シリング油タンク	7.9	3.01	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-5B	B-シリング油タンク	7.9	3.20	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-5H	高圧炉心スプレイ系シリング油タンク	6.7	0.70	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-7A	A-1 次水膨張タンク	7.7	3.01	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-7B	B-1 次水膨張タンク	7.7	3.20	○
非常用ディーゼル発電機系	T280-7H	高圧炉心スプレイ系 1 次水膨張タンク	6.5	0.70	○

※1 想定破損，消火水の放水又は地震起因による溢水のうち，機器設置区画で溢水水位が最大となるもの

※2 ○：開放構造部から流入しない

×：開放構造部から流入する

※3 流入の有無に関わらず，破損により機能喪失するタンクの属する系統の想定破損を除いた最大溢水水位

※4 想定破損時に開放構造部より溢水が流入するが，多重化された機能が同時に機能喪失しないことを確認している。

B-原子炉補機冷却系サージタンクのベント管

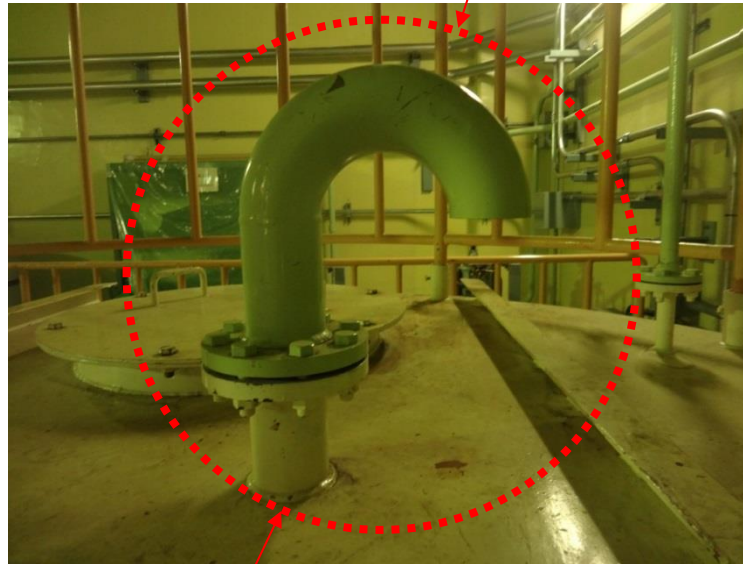


図 2-3 現場確認結果 (例) B-原子炉補機冷却系サージタンク
ベント管設置箇所

(原子炉建物 地上 4 階 EL42800)



図 2-4 現場確認結果 (例) 非常用ディーゼル発電機系
A-燃料地下タンクベント管設置箇所
(屋外 EL8500)

(2) 「②原子炉格納容器内耐環境仕様の設備である」による対象外

原子炉格納容器内の防護対象設備は、設計基準事故において想定される溢水を考慮した設計としているため、溢水影響評価の対象外とする。

a. 没水影響評価

原子炉冷却材喪失事故（以下「LOCA」という。）時に原子炉格納容器内の破断から流出する冷却水及び原子炉格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブレーション・チェンバ（以下「S/C」という。）へ流れ込む設計となっている。

また、LOCA 時の注水源は、S/C であることから、LOCA 時に原子炉格納容器のベント管設置位置よりも高水位まで PCV が溢水することはないため、没水影響評価において対象外とする。

b. 被水影響評価

LOCA 時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、原子炉格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。PCV スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、LOCA 時に動作が必要となる機器については、LOCA 時の雰囲気下で機能を達成するように設計及び試験を行っているため、被水影響評価の対象外とする。

c. 蒸気影響評価

原子炉格納容器内の防護対象設備は、設計基準事故において最も環境が過酷な LOCA 時の原子炉格納容器内の状態を考慮した耐環境仕様で設計しているため、蒸気影響評価の対象外とする。

(3) 「③動作機能の喪失により安全機能に影響しない」による対象外

動作機能が喪失した場合においても、その設備の持つ機能として安全側に作動するようフェイル・セーフ設計となっている空気作動弁等の設備に関しては、結果として要求される安全機能を達成しうることから、安全機能に影響はない。なお、フェイル・セーフ動作後に他の安全機能を発揮するために動作が必要となるような設備がないことを確認している。また、常時閉状態の隔離弁のように、通常の待機時から機能遂行時にかけて、その動作機能が喪失した場合でも安全機能に影響がない機器は、詳細な評価の対象外とする。

(4) 「④他の設備で代替できる」による対象外

他の設備で代替できるため溢水影響評価対象外とした防護対象設備は、原子炉浄化系、原子炉補機冷却系、逃し安全弁 N₂ ガス供給系、液体廃棄物処理系、ドライウエル冷却系、補給水系及び計装用圧縮空気系の原子炉格納容器外側隔離弁である。表 2-13 に溢水影響評価対象外とした設備及び代替する設備を示す。代替する設備は防護対象設備と同等の仕様であることを確認しており、これらの原

子炉格納容器外側隔離弁が機能喪失した場合においても、逆止弁又は電動弁の閉止により隔離が可能である。系統概略図を図 2-5 に示す。

表 2-13 「④他の設備で代替できる」とした防護対象設備及び代替する設備

防護対象設備		代替する設備		代替 パターン
設備番号	設備名称	設備番号	設備名称	
MV213-4	CUW 入口外側隔離弁	MV213-3	CUW 入口内側隔離弁	B
MV214-40	PCV 内冷却水入口外側隔離弁	V214-151	RCWPCV 冷却水入口内側隔離弁	A
MV214-42	PCV 内冷却水出口外側隔離弁	MV214-41	PCV 内冷却水出口内側隔離弁	B
MV227-1A	A-ADS 外側 N2 隔離弁	V227-3A	ADS 自動減圧機能用内側隔離弁	A
MV227-1B	B-ADS 外側 N2 隔離弁	V227-3B	ADS 自動減圧機能用内側隔離弁	A
MV227-3	逃がし弁 N2 供給弁	V227-6	ADS 逃がし弁機能用内側隔離弁	A
MV252-2	ドライウェル機器ドレン外側隔離弁	MV252-1	ドライウェル機器ドレン内側隔離弁	B
MV265-1	HVD 格納容器入口弁	V265-6	HVD 格納容器入口逆止弁	A
MV265-3	HVD 格納容器出口弁	MV265-2	HVD 冷却機出口弁	B
MV272-196	MUW PCV 代替冷却外側隔離弁	V272-3	MUW PCV 代替冷却内側隔離弁	A
MV277-50	IA PCV 外側隔離弁	V277-64	IA 格納容器供給逆止弁	A

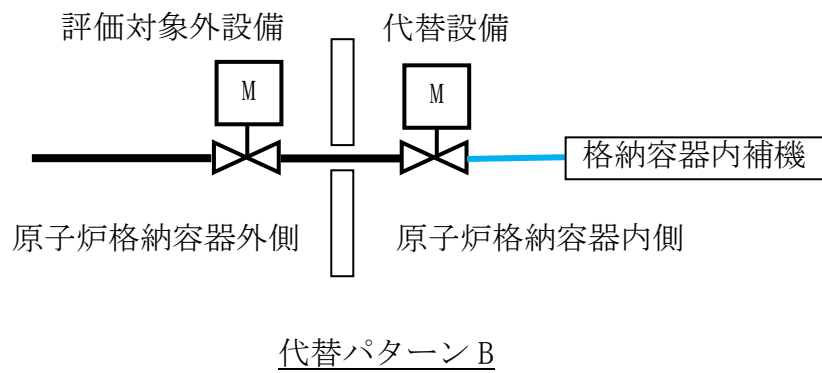
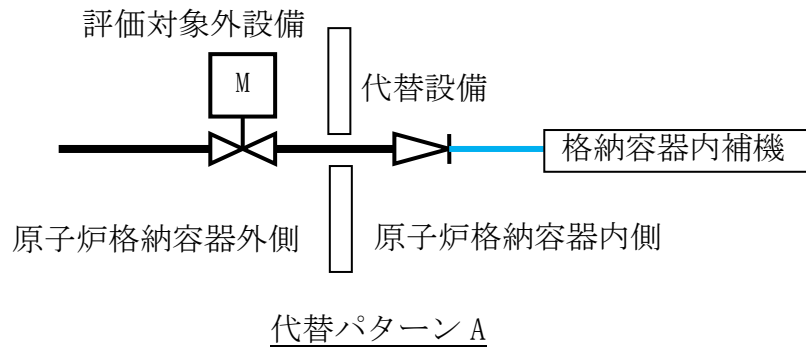


図 2-5 系統概略図

添付資料2 溢水源の分類及び運用について

1. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について

評価ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても「高エネルギー配管として運転している時間の割合がプラント運転期間[※]の1%より小さければ、低エネルギー配管とすることができる。」と定められている。

運転している時間が短いことから低エネルギー配管とした5系統と原子炉建物内の所内蒸気系について、低エネルギー配管として分類できることを確認した。表1-1に運転時間割合の算出結果を、表1-2にプラント停止時の残留熱除去系の運転時間を、表1-3に計画外停止時の系統の運転時間を示す。

表1-1に示す高エネルギー配管として運転している時間の割合及び表1-2に示すプラント停止時の残留熱除去系の運転時間は、詳細な運転記録のある第10回定期検査後から第17回定期検査開始までの約10年間の実績で算出しているが、以下の理由により、運転開始からの運転時間の割合は大きく変わるものではなく、低エネルギー配管の判定に影響を及ぼすことはないと考える。

- ・プラント運転中の定期試験の頻度は変わるものではない。
- ・計画外停止を含め、プラント運転中に低圧炉心スプレイ系、高圧炉心スプレイ系、ほう酸水注入系及び原子炉隔離時冷却系が作動した実績はなく、定期試験時のみ運転している。
- ・プラント停止時の残留熱除去系の運転時間は、停止操作毎に大きく変わるものではない。保守的にすべての停止操作が実績のうちの最大値である3時間(2時間42分を切り上げ)としたとしても、1%に対して十分余裕がある。

なお、表1-1に示す系統の運転時間を管理することにより、高エネルギー配管としての運転時間がプラント運転期間の1%より小さいことを確認していくこととする。

※ 「プラント運転期間」としては、評価ガイドが「高エネルギー状態にある運転期間」が短時間である系統の配管の考え方の参考とした米国NRCのStandard Review Plan(SRP) Branch Technical Position(BTP)3-4

「Postulated Rupture Locations in Fluid System Piping Inside and Outside Containment」では、「原子炉起動、出力運転中、温態待機、低温停止状態までの冷却期間」とされており、これを適用した。

表 1-1 高エネルギー配管の運転時間割合算出結果

系統略称	系統名	運転時間割合 [%]	計算式 ^{※1}	高エネルギー配管の運転時間 [h]	プラント運転期間 [h]
RHR	A-残留熱除去系	0.08	49.5[h]/65202[h]=0.08[%]	45.0 ^{※2}	65202 ^{※5}
	B-残留熱除去系	0.03	18.4[h]/65202[h]=0.03[%]	16.7 ^{※2}	
	C-残留熱除去系	0.03	15.2[h]/65202[h]=0.03[%]	13.8 ^{※2}	
LPCS	低圧炉心スプレイ系	0.05	26.4[h]/65202[h]=0.05[%]	24.0 ^{※3}	
HPCS	高圧炉心スプレイ系	0.06	33.0[h]/65202[h]=0.06[%]	30.0 ^{※3}	
SLC	A-ほう酸水注入系	0.22	141.5[h]/65202[h]=0.22[%]	128.6 ^{※4}	
	B-ほう酸水注入系	0.22	141.5[h]/65202[h]=0.22[%]	128.6 ^{※4}	
RCIC	原子炉隔離時冷却系	0.05	30.6[h]/65202[h]=0.05[%]	27.8 ^{※3}	
HS	所内蒸気系 (原子炉建物内)	0.29	184.8[h]/65202[h]=0.29[%]	168.0 ^{※6}	

※1 保守的に調査結果に 10%の余裕を確保した。

※2 以下の①定期試験と②停止操作時の 2つの時間の合計で算出した。

①定期試験

至近の 1 サイクル中に実施した定期試験データから、高エネルギー状態 (1.9MPa 以上) となっている運転時間を抽出し、抽出した運転時間のうち最長である時間を定期試験 1 回あたりの高エネルギー状態での運転時間とした。これにプラント運転期間中のポンプ運転回数を乗じて全体の高エネルギー運転時間を算出した。なお、定期試験以外も含めて、原子炉隔離時冷却系運転時のトーラス水冷却運転も考慮している。

②停止操作時

高エネルギー状態 (95℃以上) の運転時間については、プラント停止操作時の実績データより、プラント運転期間中の実運転時間を抽出。

※3 プラント運転期間中の定期試験のうちポンプの総運転時間。

※4 プラント運転期間中の定期試験に要した時間。

※5 第 10 回定期検査後 (平成 14 年 2 月 19 日) から第 17 回定期検査開始 (平成 24 年 1 月 27 日) までの約 10 年間とし、定期検査によるプラント停止工程の「冷温停止」到達以降からプラント起動時の「原子炉起動」までの時間及び計画外停止期間を除外した時間。

※6 プラント運転期間中、原子炉建物内の所内蒸気系は常時隔離運用とするが、定期検査中の原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービン等の試運転時に一時的に所内蒸気を使用する。約 10 年間の期間中に 7 回試運転実績があり、1 回の試運転は数時間で終了するため、保守的に 1 回の試運転で蒸気を 24 時間通気するとして算出した時間。

表 1-2 プラント停止時の残留熱除去系の運転時間

定検回	運転時間
第 11 回定検 (平成 15 年 4 月)	50 分
第 12 回定検 (平成 16 年 9 月)	39 分
第 13 回定検 (平成 18 年 2 月)	31 分
第 14 回定検 (平成 19 年 5 月)	43 分
第 15 回定検 (平成 20 年 9 月)	1 時間 40 分
第 16 回定検 (平成 22 年 3 月)	1 時間 8 分
第 17 回定検 (平成 24 年 1 月)	1 時間 24 分

表 1-3 計画外停止時の系統運転時間

計画外停止 (年月)	トラブルの内容	運転系統											
		A-RHR	B-RHR	C-RHR	LPCS	HPCS	A-SLC	B-SLC	RCIC	HS			
平成元年 4 月	原子炉再循環ポンプ A 号機の回転数低下のため原子炉手動停止	○ 記録なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 2 年 11 月	原子炉再循環ポンプ 電動機潤滑油位低下に伴う原子炉手動停止	○ 記録なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 2 年 12 月	原子炉出力上昇中の原子炉自動停止	○ 記録なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 5 年 1 月	原子炉再循環ポンプ A 号機のメカニカル不具合による原子炉手動停止	○ 記録なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 7 年 1 月	「スチーム排出水容器水位異常高」信号による原子炉自動停止	○ 記録なし	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 16 年 3 月	原子炉格納容器内ドライケル冷却機凝縮水量及び床トレイ量増加に伴う原子炉手動停止	○ 2 時間 42 分	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 17 年 3 月	原子炉再循環ポンプ B 号機メカニカルシールの不具合に伴う原子炉手動停止	○ 1 時間 32 分	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
平成 17 年 6 月	原子炉再循環ポンプ B 号機メカニカルシールの不具合に伴う原子炉手動停止	○ 51 分	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

2. 所内蒸気系の隔離運用について

原子炉建物内及び廃棄物処理建物内のうち溢水防護区画に敷設されている所内蒸気系配管については、上流のタービン建物内で常時隔離運用し、かつ一部配管のルート変更を行う。所内蒸気系の隔離箇所と配管ルート変更箇所の概要図を図 2-1 に、蒸気源有無の全体概略図を図 2-2 に示す。

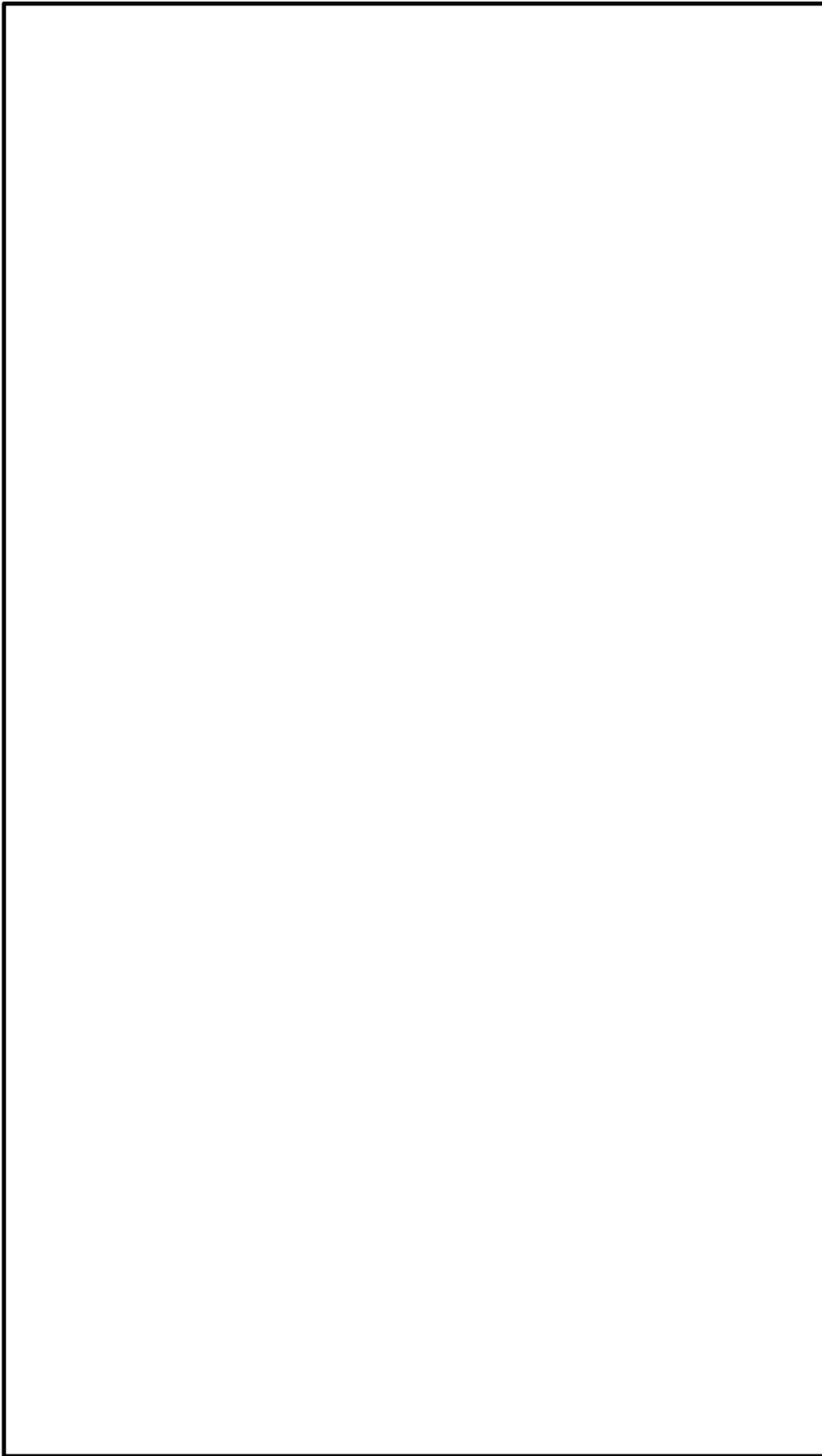


図 2-1 所内蒸気系配管の隔離箇所と配管ルート箇所の概要図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

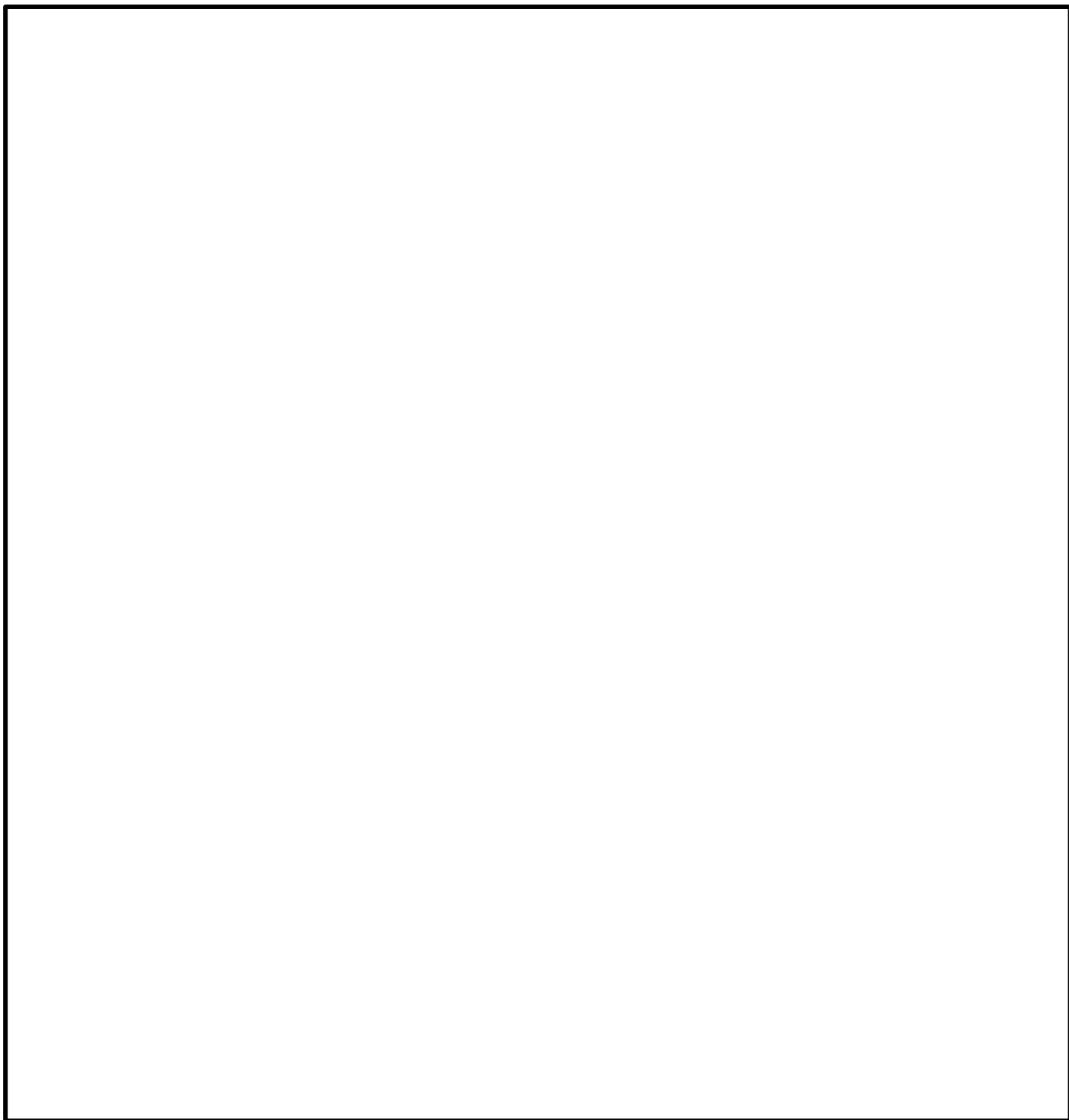


図 2-2 蒸気源有無の全体概略図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

添付資料3 溢水源とする機器としない機器について

1. 溢水源とする機器としない機器のリスト

1.1 溢水源となり得る機器について

溢水源となり得る機器として、原子炉建物、制御室建物、廃棄物処理建物、タービン建物及び取水槽等に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、ろ過脱塩器等）並びに配管を抽出した。溢水源となり得る主な機器のリストを表1-1に、溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量を表1-2に、溢水源となり得る機器の配置を図1-1～19に示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (1/6)

建 物	設 置 階*	設 備	耐震 クラス
原子炉建物	地上4階 (EL42.8m)	原子炉補機冷却系サージタンク	S
		燃料プール	S
		配管	—
	地上3階 (EL34.8m)	ドライウェル冷凍機	C
		燃料プール冷却系熱交換器	B
		燃料プール冷却系ろ過脱塩器逆洗水タンク	C
		燃料プール冷却系ろ過脱塩器フリオートタンク	C
		スキマサージタンク	B
		ほう酸水貯蔵タンク	S
		配管	—
	地上中2階 (EL30.5m)	原子炉浄化系ろ過脱塩装置ろ過脱塩器	B
		燃料プール冷却系ろ過脱塩装置ろ過脱塩器	B
		原子炉浄化系サージタンク	C
		原子炉浄化系非再生熱交換器	B
		原子炉浄化系脱塩装置脱塩器	B
		配管	—
	地上2階 (EL23.8m)	残留熱除去系熱交換器	S
		スクラム排水容器	C
		空調換気設備冷却水冷凍機	C
		原子炉浄化系再生熱交換器	B
		原子炉浄化系補助熱交換器	C
		配管	—
	地上1階 (EL15.3m)	原子炉補機冷却系熱交換器	S
配管		—	

※（ ）内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (2/6)

建 物	設 置 階※	設 備	耐震 クラス
原子炉建物	地下1階 (EL8.8m)	ディーゼル燃料タンク	S
		高圧炉心スプレイ補機冷却系サージタンク	S
		配管	—
	地下2階 (EL1.3m)	ディーゼル発電設備 シリンダ油タンク	S
		ディーゼル発電設備 潤滑油フィルタ	S
		ディーゼル発電設備 シリンダ油フィルタ	S
		ディーゼル発電設備 燃料フィルタ	S
		ディーゼル発電設備 潤滑油冷却器	S
		ディーゼル発電設備 1次水冷却器	S
		ディーゼル発電設備 1次水プリアータ	S
		ディーゼル発電設備 1次水空気抜タンク	S
		ディーゼル発電設備 1次水膨張タンク	S
		ディーゼル発電設備 潤滑油プリアータ	S
		ディーゼル発電設備 燃料ドレン受缶	S
		ディーゼル発電設備 潤滑油サンプタンク	S
		高圧炉心スプレイ補機冷却系熱交換器	S
		R/B北西コーナ室床ドレンサンプ	C
		R/B北東コーナ室床ドレンサンプ	C
		DEG室床ドレンサンプ	C
		HPCSポンプ室床ドレンサンプタンク	C
		RHRポンプ室床ドレンサンプタンク	C
LPCSポンプ室床ドレンサンプタンク	C		
原子炉建物機器ドレンサンプタンク	C		
原子炉建物床ドレンサンプタンク	C		
サブプレッション・チェンバ	S		
配管	—		
制御室建物	地上4階 (EL16.9m)	配管	—
	地上3階 (EL12.8m)	配管	—
	地上2階 (EL8.8m)	電気温水ボイラ	C
		配管	—
	地上中2階 (EL5.3m)	配管	—
地上1階 (EL1.6m)	配管	—	

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (3/6)

建 物	設 置 階※	設 備	耐震 クラス
廃 棄 物 処 理 建 物	地上 5 階 (EL37.5m)	ラトリ・ドレン濃縮器復水器	C
		ラトリ・ドレン脱塩器	C
		ラトリ・ドレンインビタ添加タンク	C
		ラトリ・ドレン乾燥機復水器	C
		ラトリ・ドレン濃縮器	C
		配管	—
	地上 4 階 (EL32.0m)	配管	—
	地上 3 階 (EL26.7m)	化学廃液濃縮器復水器	C
		床ドレン濃縮器復水器	C
		真空発生装置循環水タンク	C
		ラトリ・ドレンすすぎ水受タンク	C
		ラトリ・ドレン収集タンク	C
		ラトリ・ドレンサンプルタンク	C
		濃縮廃液タンク用温水タンク	C
		ラトリ・ドレン濃縮廃液タンク	C
		配管	—
	地上 2 階 (EL22.1m)	中央制御室冷凍機	S
		床ドレン濃縮器	C
		ラトリ・ドレンサンプルタンク	C
		機器ドレンろ過脱塩器	C
		機器ドレン脱塩器	C
		機器ドレンろ過脱塩装置フリコトタンク	C
		凝縮水ろ過脱塩器	C
		凝縮水脱塩器	C
		化学廃液濃縮器	C
		配管	—
		地上 1 階 (EL15.3m)	インビタ添加タンク
	硫酸添加タンク		C
	配管		—
	地下中 1 階 (EL12.3m)	濃縮廃液ポンプ封水冷却器	C
		配管	—

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (4/6)

建 物	設 置 階※	設 備	耐震 クラス
廃棄物 処理建物	地下 1 階 (EL8.8m)	R W / B 陰イオンフロックタンク	C
		R W / B 陽イオンフロックタンク	C
		復水系スラッジ貯蔵タンク	C
		復水系樹脂貯蔵タンク	C
		原子炉浄化系樹脂貯蔵タンク	B
		配管	—
	地下 2 階 (EL3.0m)	R W / B 所内蒸気ドレン回収タンク	C
		機器ドレンタンク	C
		機器ドレン処理水タンク	C
		凝縮水受タンク	C
		処理水タンク	C
		床ドレンタンク	C
		化学廃液タンク	C
		ラトリ・ドレンタンク	C
		濃縮廃液タンク	C
		復水スラッジ分離タンク	C
		機器ドレンろ過脱塩装置逆洗水受タンク	C
		機器ドレンスラッジ分離タンク	C
		原子炉浄化系スラッジ貯蔵タンク	B
		廃棄物処理建物機器ドレンサンプタンク	C
		廃棄物処理建物床ドレンサンプタンク	C
		廃棄物処理建物化学廃液サンプタンク	C
		配管	—
タービン 建 物	地上 4 階 (EL32.0m)	配管	—
	地上 3 階 (EL20.6m)	タービン補機冷却水サージタンク	C
		排ガス除湿冷凍設備	C
		温水ボイラ用膨張タンク兼用給水タンク	C
		配管	—

※ () 内は, 設置階の基準床高さを示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (5/6)

建 物	設 置 階*	設 備	耐震 クラス
タービン 建 物	地上 2 階 (EL12.5m)	第 1 給水加熱器	C
		第 2 給水加熱器	C
		主油タンク油冷却器	C
		RFPタービン油冷却器	C
		空気抽出器復水器	C
		グラント蒸気復水器	C
		第 6 給水加熱器	B
		固定子冷却装置	C
		湿分分離器ドレンタンク	C
		グラント蒸気発生器	C
		排ガス復水器	C
		排ガス除湿冷却器	C
		配管	—
		地上 1 階 (EL5.5m)	第 3 給水加熱器
	第 4 給水加熱器		C
	第 5 給水加熱器		B
	油計量タンク		C
	制御油タンク		C
	配管		—
	地下 1 階 (EL2.0m)	タービン補機冷却水熱交換器	C
		復水脱塩装置脱塩器	B
		復水ろ過脱塩装置フ リコトタンク	C
		復水脱塩装置好カ樹脂再生塔	C
		復水脱塩装置アニオン樹脂再生塔	C
		T/B 所内蒸気ドレン回収タンク	C
		復水器	C
		復水ろ過脱塩装置ろ過脱塩器	B
		封水回収タンク	C
		タービン建物配管室床ドレンサンプタンク	C
		タービン建物復水器室機器ドレンサンプタンク	C
タービン建物発電機架台北機器ドレンサンプタンク		C	
復水器室床ドレンサンプタンク		C	
復水ろ過脱塩装置逆洗水受タンク		C	
タービン建物逆洗水ポンプ室床ドレンサンプタンク	C		
配管	—		

※ () 内は, 設置階の基準床高さを示す。

表 1-1 溢水源となり得る機器リスト (6/6)

建 物	設 置 階*	設 備	耐震 クラス
取水槽	— (EL1.1m)	配管	—
排気筒エリア	— (EL3.5m)	A-ディーゼル燃料貯蔵タンク	S
		HPC S-ディーゼル燃料貯蔵タンク	S
		配管	—
B-ディーゼル 燃料貯蔵タンク 格納槽	— (EL9.35m)	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク	S
		配管	—

※ () 内は, 設置階の基準床高さを示す。

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (1/27)

原子炉建物 4階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])				
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内				二次格外 (管理区域)
						R-4F-01-1N	R-4F-04N	R-4F-01-2N	R-4F-02N	R-4F-03N
						1454	9	74	-	19
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		55	-	●	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	23	38	●	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	91	-	□ 想定破損除外	-	-	-	-
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	57	1	●	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	31	8	●	-	-	-	-
FP	消火系		○	65	57	●	-	-	-	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-
slosh1	スロッシング(オベフロ)(SFP)			-	130	●	-	-	-	-

●: 溢水源あり

□: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)

-: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (2/27)

原子炉建物 3階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-3F-04-1N, 04-2N, 07N, 16-1N	R-3F-06N	R-3F-05N	R-3F-09N	R-3F-10N	R-3F-11N 25N	R-3F-12-1N	R-3F-12-2N	R-3F-13N
600	35	22	45	17	58	28	56	20						
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	□	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		62	-	●	●	-	●	-	-	●	●	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		67	-	●	-	-	●	-	-	●	●	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系)ドライウエル冷却系空調換気設備冷却水系		○	43	58	●	□	-	-	-	●	●	●	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	102	16	-	-	-	●	-	●	●	●	●
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	●	-	-	●	-	●	●	●	●
MUW	補給水系		○	33	28	□	□	-	●	●	●	●	●	●
FP	消火系		○	66	58	□	-	□	-	-	□	-	□	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (3/27)

原子炉建物 3階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内						二次格外 (非管理区域)		
						R-3F-15N	R-3F-16-2N	R-3F-21N	R-3F-22N	R-3F-100N	R-3F-102N	R-3F-01N	R-3F-02N	R-3F-03N
						13	6	4	1	29	72	11	288	277
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		62	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		67	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
ROW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	43	58	-	-	-	-	-	-	-	□	●
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	102	16	-	●	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-	□	-	-	-	-
FP	消火系		○	66	58	-	-	-	-	□	-	-	□	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (4/27)

原子炉建物 3階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])			
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (非管理区域)			
						R-3F-14N	R-3F-17N	R-3F-19N	R-3F-20N
						113	27	20	12
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		62	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		67	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	43	58	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	102	16	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-
FP	消火系		○	66	58	□	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (5/27)

原子炉建物 中2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-M2F-03N, 04N, 05N	R-M2F-06N, 07N	R-M2F-08N	R-M2F-09N	R-M2F-10N	R-M2F-11N, 12N, 26N	R-M2F-14N	R-M2F-15N	R-M2F-16N
						162	53	8	10	10	87	8	8	9
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	□	-	□	●	●	□	●	●	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		68	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		79	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	71	86	-	□	●	-	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	□ 想定破損除外	-	-	-	●	-	-	●
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	●	□	-	-	-	□	-	-	-
FP	消火系		○	66	58	-	□	-	-	-	□	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	●	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (6/27)

原子炉建物 中2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-M2F-17N	R-M2F-18-1N, 21N, 22N	R-M2F-18-2N	R-M2F-19N	R-M2F-20N	R-M2F-24N	R-M2F-25N	R-M2F-27N	R-M2F-100N
9	163	16	79	58	5	22	3	10						
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	□	-	-	-	-	●	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		68	-	-	●	-	●	●	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		79	-	-	●	-	●	●	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系)ドライウエル冷却系空調換気設備冷却水系		○	71	86	-	□	□	●	□	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	●	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	-	●	●	●	-	-	-	□	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	●	-	●	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	66	58	-	□	□	●	-	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (7/27)

原子炉建物 中2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号,下段:区画滞留面積[m ²])			
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内		二次格外 (管理区域)	
						R-M2F-102N	R-M2F-23N	R-M2F-01N	R-M2F-02N
						83	16	72	102
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-
ROW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		68	-	-	-	-	-
ROW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		79	-	-	-	-	-
ROW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	71	86	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	58	2	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-
FP	消火系		○	66	58	-	-	-	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	●	-	-	-

- : 溢水源あり
- : 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
- : 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (8/27)

原子炉建物 2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-2F-09N	R-2F-10N	R-2F-11N, 12N, 18N, 19N, 24N, 25N	R-2F-13N	R-2F-14N	R-2F-15N	R-2F-16N	R-2F-17N	R-2F-28N
						48	48	571	134	37	37	89	5	7
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	●	●	□	●	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	□	-	□	-	□	-	●	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		101	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		120	-	●	●	●	●	-	-	●	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系)ドライウエル冷却系空調換気設備冷却水系		○	143	158	-	-	●	-	-	-	●	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	□ 想定破損除外	-	-	-	-	□	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIG	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	●	-	-	●	●	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	●	●	-	-	●	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	59	28	-	-	●	●	□	□	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	●	●	●	-	-	-	●	-	-
FP	消火系		○	67	59	-	□	□	-	-	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	●	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (9/27)

原子炉建物 2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (管理区域)			二次格外 (非管理区域)					
						R-2F-02N	R-2F-03N	R-2F-08N	R-2F-01N	R-2F-04N	R-2F-05N	R-2F-06N	R-2F-07N	R-2F-20N
						20	11	257	29	168	262	38	36	102
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		101	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		120	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系)ドライウエル冷却系空調換気設備冷却水系		○	143	158	-	-	□	-	-	-	-	-	●
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIG	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	59	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	67	59	-	-	□	-	□	□	□	-	●
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (10/27)

原子炉建物 2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])			
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (非管理区域)			
						R-2F-21N	R-2F-22N	R-2F-23N	R-2F-29N
						451	20	32	-
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		101	-	●	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		120	-	●	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	143	158	●	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレー補機冷却系	○		-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレー補機海水系	○		-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレー系	○		-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレー系	○		-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	59	28	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-
FP	消火系		○	67	59	□	-	●	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-

- : 溢水源あり
- : 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
- : 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (11/27)

原子炉建物 1 階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-1F-03N, 22N	R-1F-04N	R-1F-05N	R-1F-06N	R-1F-07-1N	R-1F-07-2N	R-1F-08N	R-1F-09N, 26N	R-1F-10N
						767	25	16	26	52	55	14	301	19
CW FW	復水給水系		○	456	163	-	-	-	-	-	-	-	●	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	●	-	-	-	●	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	□	-	-	●	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		164	-	●	-	●	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		188	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	181	196	●	-	-	-	●	□	●	●	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	●	-	●	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	●	-	●	-	●	●	-	●	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●
LPCS	低压炉心スプレイ系	○		231	-	●	-	-	-	●	-	-	-	-
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		495	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	61	30	□	-	-	-	●	●	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	●	-	-	-	●	●	●	●	-
FP	消火系		○	68	60	□	-	-	-	-	-	-	-	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	●

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (12/27)

原子炉建物 1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-1F-11N	R-1F-12N	R-1F-13N	R-1F-16N	R-1F-17N	R-1F-18N	R-1F-19N	R-1F-20N	R-1F-21N
						16	98	85	114	29	19	-	8	29
CW FW	復水給水系		○	456	163	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	●	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		164	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		188	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	181	196	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低压炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	61	30	-	-	□	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	●	-	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	68	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (13/27)

原子炉建物 1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])										
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内										二次格外 (管理区域)
						R-1F-25N	R-1F-28N	R-1F-29N	R-1F-30N	R-1F-32N	R-1F-33N	R-1F-34N	R-1F-101N	R-1F-011N		
						4	-	65	26	33	33	18	9	24		
CW FW	復水給水系		○	456	163	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	●	●	●	-	-	-		
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		164	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-		
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		188	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系)ドライウエル冷却系空調換気設備冷却水系		○	181	196	-	-	●	●	●	□	-	-	-		
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-		
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-		
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-		
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-		
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-		
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-		
SLC	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
CWT	復水輸送系		○	61	30	-	-	-	-	●	●	-	-	-		
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	●	-	-	-	-	□		
FP	消火系		○	68	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (14/27)

原子炉建物 1 階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (管理区域)			二次格外 (非管理区域)					
						R-1F-01-2N	R-1F-102N	R-1F-02N	R-1F-14N	R-1F-15N	R-1F-24-1N	R-1F-24-2N	R-1F-27N	R-1F-31N
						16	77	515	222	232	23	11	-	-
CW FW	復水給水系		○	456	163	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		164	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		188	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	181	196	-	-	□	□	□	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLO	ほう酸水注入系	○		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	61	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	33	28	-	-	-	-	□	-	-	-	-
FP	消火系		○	68	60	-	-	●	□	□	-	□	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (15/27)

原子炉建物 地下1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ²]	地震起因 [m ²]	二次格内								
						R-B1F-01N, 08N	R-B1F-02N	R-B1F-03N	R-B1F-07N	R-B1F-09N	R-B1F-10N	R-B1F-13N	R-B1F-26N	R-B1F-27N
						326	13	10	49	22	23	12	-	-
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	●	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	□	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)		○	199	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)		○	208	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	208	223	□	-	-	□	-	□	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)		○	457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)		○	457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系		○	43	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系		○	495	-	□	-	-	-	□	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	39	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	●	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	□	-	-	□	□	□	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	●	●	-	-	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	77	69	□	-	-	□	□	□	□	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)		○	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)		○	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)		○	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	●	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動S_{el}による地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (16/27)

原子炉建物 地下1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内				二次格外 (管理区域)				
						R-B1F-28N	R-B1F-30N	R-B1F-32N	R-B1F-33N	R-B1F-14-1N	R-B1F-14-2N	R-B1F-15N	R-B1F-18-1N	R-B1F-18-2N
						9	-	5	1	15	13	243	38	11
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		199	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		208	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	208	223	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高压炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高压炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低压炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高压炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	39	11	-	-	-	-	-	-	●	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	-	-	-	-	-	●	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	-	-	-	-	-	-	●	-	-
FP	消火系		○	77	69	-	-	-	-	-	-	●	□	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ss1による地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (17/27)

原子炉建物 地下1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (管理区域)				二次格外 (非管理区域)				
						R-B1F-21N	R-B1F-31N	R-B1F-04N	R-B1F-05N	R-B1F-06N	R-B1F-11N	R-B1F-12N	R-B1F-16N	R-B1F-17-1N
						44	-	14	13	9	341	158	474	121
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	●	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		199	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		208	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	208	223	●	-	-	-	-	●	●	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	39	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	-	-	-	●	●	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	●	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	●	-	-	-	-	●	□	●	-
FP	消火系		○	77	69	-	-	-	-	-	●	-	□	□
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	●	-	-	-	-	●	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
DEG(CW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (18/27)

原子炉建物 地下1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])						
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (非管理区域)						
						R-B1F-17-2N	R-B1F-18-3N	R-B1F-20N	R-B1F-23N	R-B1F-24N	R-B1F-25N	R-B1F-29N
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		199	-	-	●	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		208	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	208	223	□	-	●	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		457	-	-	●	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		457	-	-	●	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	●	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	39	11	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	●	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	-	-	●	-	-	-	□
FP	消火系		○	77	69	□	-	●	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(OW)(A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(OW)(B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(OW)(H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	●	-	●	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 ○: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

●: 溢水源あり
 ○: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (19/27)

原子炉建物 地下2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内								
						R-B2F-01N	R-B2F-02N	R-B2F-03N	R-B2F-09N	R-B2F-10N	R-B2F-15N	R-B2F-21N	R-B2F-22-1N,2N	R-B2F-24-1N,2N
						92	53	110	51	52	53	11	4	4
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		205	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		215	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	209	224	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	□	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	□	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	10	6	-	●	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	182	182	-	-	-	-	□	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	20	6	-	●	●	●	●	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-	-	□	□	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	-	□	□	-	□	-	-	-	-
FP	消火系		○	77	69	□	□	-	□	□	□	-	-	-
HS	所内蒸気系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (20/27)

原子炉建物 地下2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格内				二次格外 (非管理区域)				
						R-B2F-26-1N,2N	R-B2F-27-1N,2N	R-B2F-31N	R-B2F-04N	R-B2F-05N	R-B2F-06N	R-B2F-07N	R-B2F-08N	R-B2F-11N
						4	4	988	70	91	69	69	81	173
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	●	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		205	-	-	-	●	●	●	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		215	-	-	-	●	-	-	●	-	●	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	209	224	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	□	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	10	6	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	182	182	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	20	6	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	-	●	-	●	●	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-	●	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	-	-	●	□	-	□	□	-	-
FP	消火系		○	77	69	-	-	-	-	-	-	-	□	□
HS	所内蒸気系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(CW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		11	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
DEG(CW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		11	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		13	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		13	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
DEG(CW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	●	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (21/27)

原子炉建物 地下2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])								
		S	B, C	想定破壊 [m ²]	地震起因 [m ²]	二次格外 (非管理区域)								
						R-B2F-12N	R-B2F-13N	R-B2F-14N	R-B2F-16N	R-B2F-17N 18N 19N	R-B2F-20N	R-B2F-23N	R-B2F-25N	R-B2F-28N
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		205	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		215	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウェル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	209	224	-	-	-	●	-	-	-	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	●	-	●	●	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		119	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	10	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	182	182	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	20	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-	-	●	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	□	□	□	●	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	77	69	-	-	-	□	□	-	-	-	-
HS	所内蒸気系		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(QW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(QW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
DEG(QW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-	-	●	●	-	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり
 □: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (22/27)

原子炉建物 地下2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])	
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	二次格外 (非管理区域)	
						R-B2F-29N	R-B2F-30N
CW FW	復水給水系		○	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	67	12	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	158	158	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I)	○		205	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		215	-	-	-
RCW(N) HVD HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系		○	209	224	-	-
RSW(A)	原子炉補機海水系(I)	○		-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(II)	○		-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系	○	○	154	63	-	-
HPCW	高圧炉心スプレイ補機冷却系	○		43	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		119	-	-	-
RCIC	原子炉隔離時冷却系	○		-	-	-	-
RHR(A)	残留熱除去系(A)	○		311	-	-	-
RHR(B)	残留熱除去系(B)	○		306	-	-	-
RHR(C)	残留熱除去系(C)	○		235	-	-	-
LPCS	低圧炉心スプレイ系	○		231	-	-	-
HPCS	高圧炉心スプレイ系	○		495	-	-	-
SLC	ほう酸水注入系	○		-	-	-	-
RWL(RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・機器)		○	10	6	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	182	182	-	-
RWL(RD2)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン移送系・床)		○	20	6	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化学廃液系)		○	-	-	-	-
RWL(MSC)	液体廃棄物処理系(非放射性ドレン移送系)		○	18	1	-	-
CWT	復水輸送系		○	65	34	-	-
MUW	補給水系		○	35	32	-	-
FP	消火系		○	77	69	-	-
HS	所内蒸気系		○	-	-	-	-
DEG(CW/A)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(A)	○		11	-	-	-
DEG(CW/B)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(B)	○		11	-	-	-
DEG(LO/A)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(A)	○		13	-	-	-
DEG(LO/B)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(B)	○		13	-	-	-
DEG(FO/A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		29	-	-	-
DEG(FO/B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		29	-	-	-
DEG(CW/H)	非常用ディーゼル発電機系(冷却水系)(HPCS)	○		11	-	-	-
DEG(LO/H)	非常用ディーゼル発電機系(潤滑油系)(HPCS)	○		13	-	-	-
DEG(FO/H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		22	-	-	-
FMW	燃料プール補給水系		○	-	1	-	-

●: 溢水源あり
 ○: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが, 基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
 -: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (23/27)

廃棄物処理建物 2階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])	
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	非管理区域	
						RW-2F-01N	RW-2F-02N
						126	263
CW	復水系		○	-	-	-	-
CRD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-
RW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I) 中央制御室空調換気系 I	○		141	-	-	● 想定破損除外
RW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II) 中央制御室空調換気系 II	○		166	-	-	● 想定破損除外
RW(N) HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) 空調換気設備冷却水系		○	178	189	-	□ 想定破損除外
FPC	燃料プール冷却系		○	-	-	-	-
RWL (RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン 移送系・機器)		○	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化 学廃液系)		○	-	-	-	-
RWL(LD)	液体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-
RWS (CONW)	固体廃棄物処理系(濃縮廃液系)		○	-	-	-	-
RWS(SS)	固体廃棄物処理系(フィルタス ラッジ系)		○	-	-	-	-
RWS	固体廃棄物処理系(使用済樹脂 系)		○	-	-	-	-
RWS(LD)	固体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	-	-	-	-
FP	消火系		○	68	60	□ 想定破損除外	□ 想定破損除外
HW	所内上水系		○	-	2	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-
RAC	再生薬品系		○	-	-	-	-

●: 溢水源あり

□: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)

-: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (24/27)

廃棄物処理建物 1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])		
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	非管理区域		
						RW-1F-05N 07N	RW-1F-10N	RW-1F-11N
						190	94	43
CW	復水系		○	-	-	-	-	-
ORD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I) 中央制御室空調換気系 I	○		-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II) 中央制御室空調換気系 II	○		-	-	-	-	-
RCW(N) HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) 空調換気設備冷却水系		○	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系		○	-	-	-	-	-
RWL (RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン 移送系・機器)		○	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化 学廃液系)		○	-	-	-	-	-
RWL(LD)	液体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-	-
RWS (CONW)	固体廃棄物処理系(濃縮廃液系)		○	-	-	-	-	-
RWS(SS)	固体廃棄物処理系(フィルタス ラッジ系)		○	-	-	-	-	-
RWS	固体廃棄物処理系(使用済樹脂 系)		○	-	-	-	-	-
RWS(LD)	固体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	-	-	-	-	-
HW	所内上水系		○	-	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-
RAC	再生薬品系		○	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり

□: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)

—: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (25/27)

廃棄物処理建物 中地下1階

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])		
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	非管理区域		
						RW-MB1F-05N	RW-MB1F-06N	RW-MB1F-08N
						110	18	40
CW	復水系		○	-	-	-	-	-
ORD	制御棒駆動系		○	-	-	-	-	-
CUW	原子炉浄化系		○	-	-	-	-	-
RCW(A) HVC(A)	原子炉補機冷却系(非常用系I) 中央制御室空調換気系 I	○		-	-	-	-	-
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II) 中央制御室空調換気系 II	○		-	-	-	-	-
RCW(N) HVCW	原子炉補機冷却系(常用系) 空調換気設備冷却水系		○	-	-	-	-	-
FPC	燃料プール冷却系		○	-	-	-	-	-
RWL (RD1)	液体廃棄物処理系(放射性ドレン 移送系・機器)		○	-	-	-	-	-
RWL(E)	液体廃棄物処理系(機器ドレン)		○	-	-	-	-	-
RWL(F)	液体廃棄物処理系(床ドレン・化 学廃液系)		○	-	-	-	-	-
RWL(LD)	液体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-	-
RWS (CONW)	固体廃棄物処理系(濃縮廃液系)		○	-	-	-	-	-
RWS(SS)	固体廃棄物処理系(フィルタス ラッジ系)		○	-	-	-	-	-
RWS	固体廃棄物処理系(使用済樹脂 系)		○	-	-	-	-	-
RWS(LD)	固体廃棄物処理系(ランドリドレン 系)		○	-	-	-	-	-
CWT	復水輸送系		○	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	-	-	-	-	-
HW	所内上水系		○	-	-	-	-	-
HS	所内蒸気系(蒸気凝縮水戻り側)		○	-	-	-	-	-
RAC	再生薬品系		○	-	-	-	-	-

●: 溢水源あり

□: 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)

-: 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (26/27)

制御室建物

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])	
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	非管理区域	
						C-4F-01N	
						408	
RCW(B) HVC(B)	原子炉補機冷却系(非常用系II)	○		-	-	-	
TCW	タービン補機冷却系		○	-	-	-	
MUW	補給水系		○	-	-	-	
FP	消火系		○	-	-	-	
HW	所内上水系		○	-	-	-	

- : 溢水源あり
- : 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
- : 溢水源なし

表 1-2 溢水源となり得る系統の設置区画及び溢水量 (27/27)

取水槽, 排気筒エリア, B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽

系統略称	系統名称	耐震クラス		溢水量		区画番号及び区画滞留面積(上段:区画番号, 下段:区画滞留面積[m ²])							
		S	B, C	想定破損 [m ³]	地震起因 [m ³]	非管理区域							
						Y-24AN	Y-24BN	Y-24CN	Y-18N	Y-23N	Y-30N	Y-31N	Y-73
						54	38	20	7	8	12	57	35
RSW(A)	原子炉補機海水系(A)	○		5425	-	-	●	-	-	-	-	-	-
RSW(B)	原子炉補機海水系(B)	○		5425	-	●	-	-	-	-	-	-	-
HPSW	高圧炉心スプレイ補機海水系	○		1867	-	-	-	●	-	-	-	-	-
TSW	タービン補機海水系(取水エリア)	○		4315	129	●	●	-	-	-	-	-	-
MUW	補給水系		○	57	17	□	□	-	-	-	-	-	-
FP	消火系		○	905	70	□	□	□	-	-	-	-	-
OTC	取水槽設備系	○		2947	-	-	●	●	-	-	-	-	-
DEG(FO)(A)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(A)	○		13	-	-	-	-	●	-	-	-	-
DEG(FO)(B)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(B)	○		13	-	-	-	-	-	-	-	-	●
DEG(FO)(H)	非常用ディーゼル発電機系(燃料油系)(HPCS)	○		13	-	-	-	-	-	●	-	-	-

- : 溢水源あり
- : 溢水源あり(耐震B,Cクラスであるが、基準地震動Ssによる地震力に対してバウンダリ機能が保持できる)
- : 溢水源なし

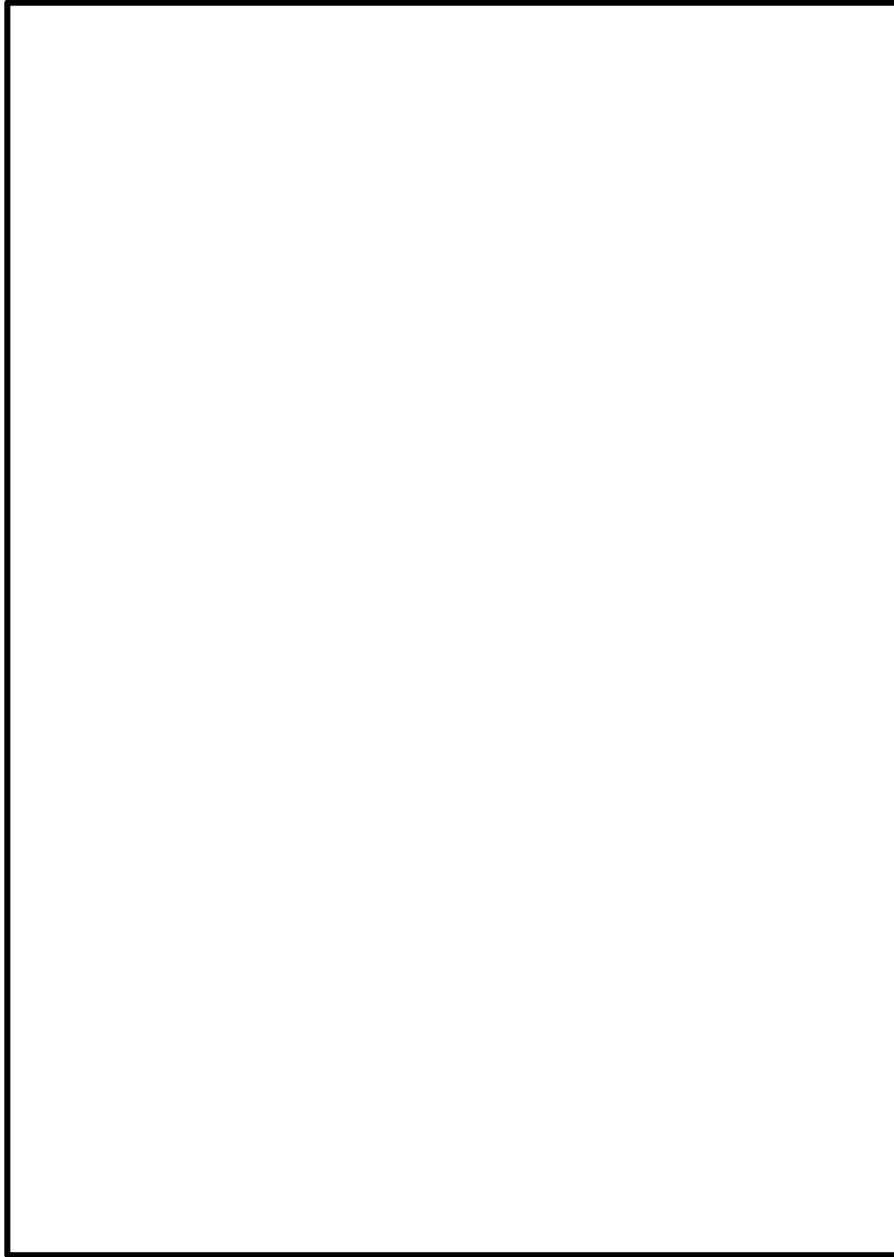


図 1-1 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物 4 階 EL42.8m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

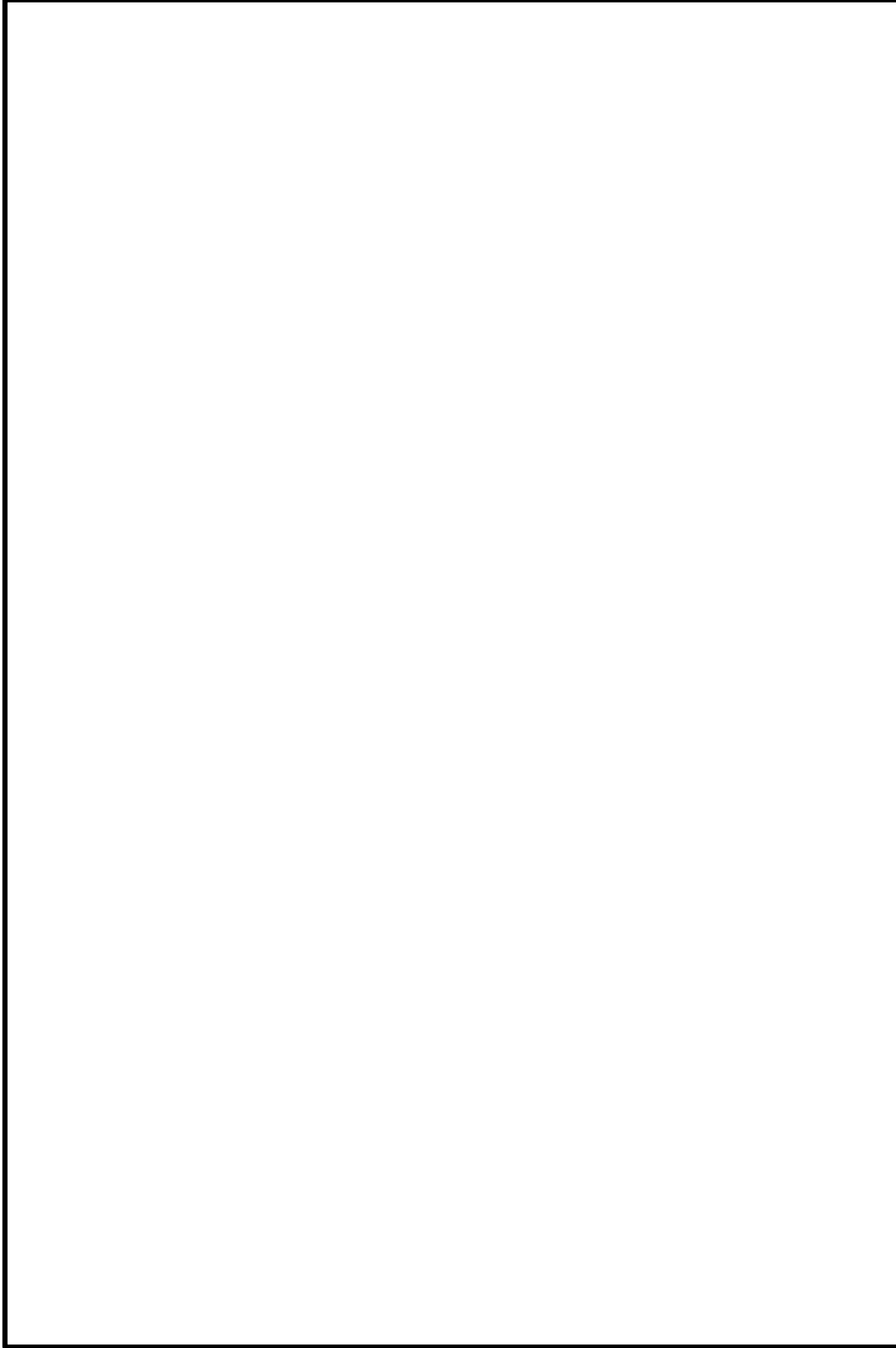


図 1-2 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物 3 階 EL.34.8m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

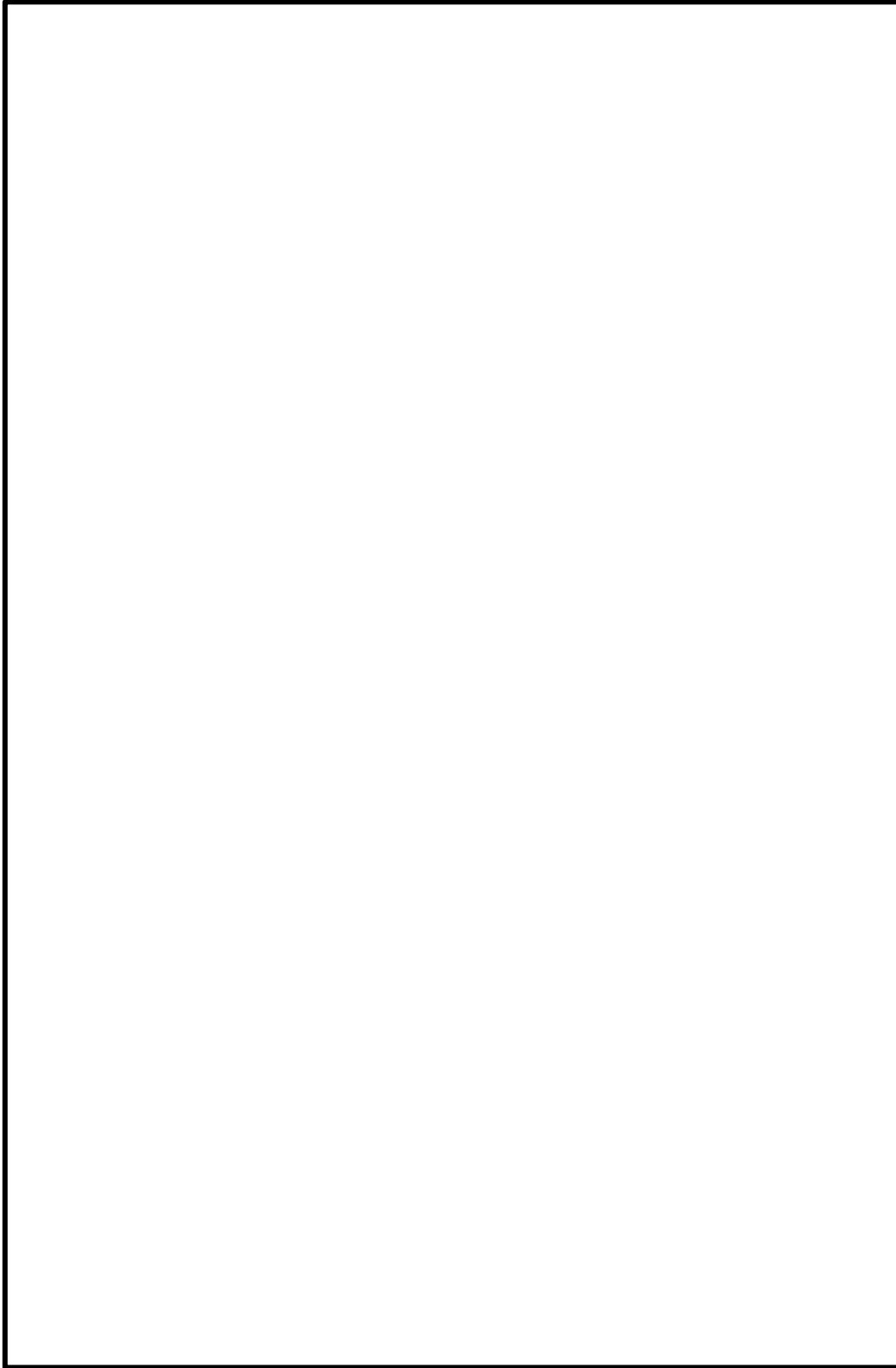


図 1-3 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物中 2 階 EL30.5m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

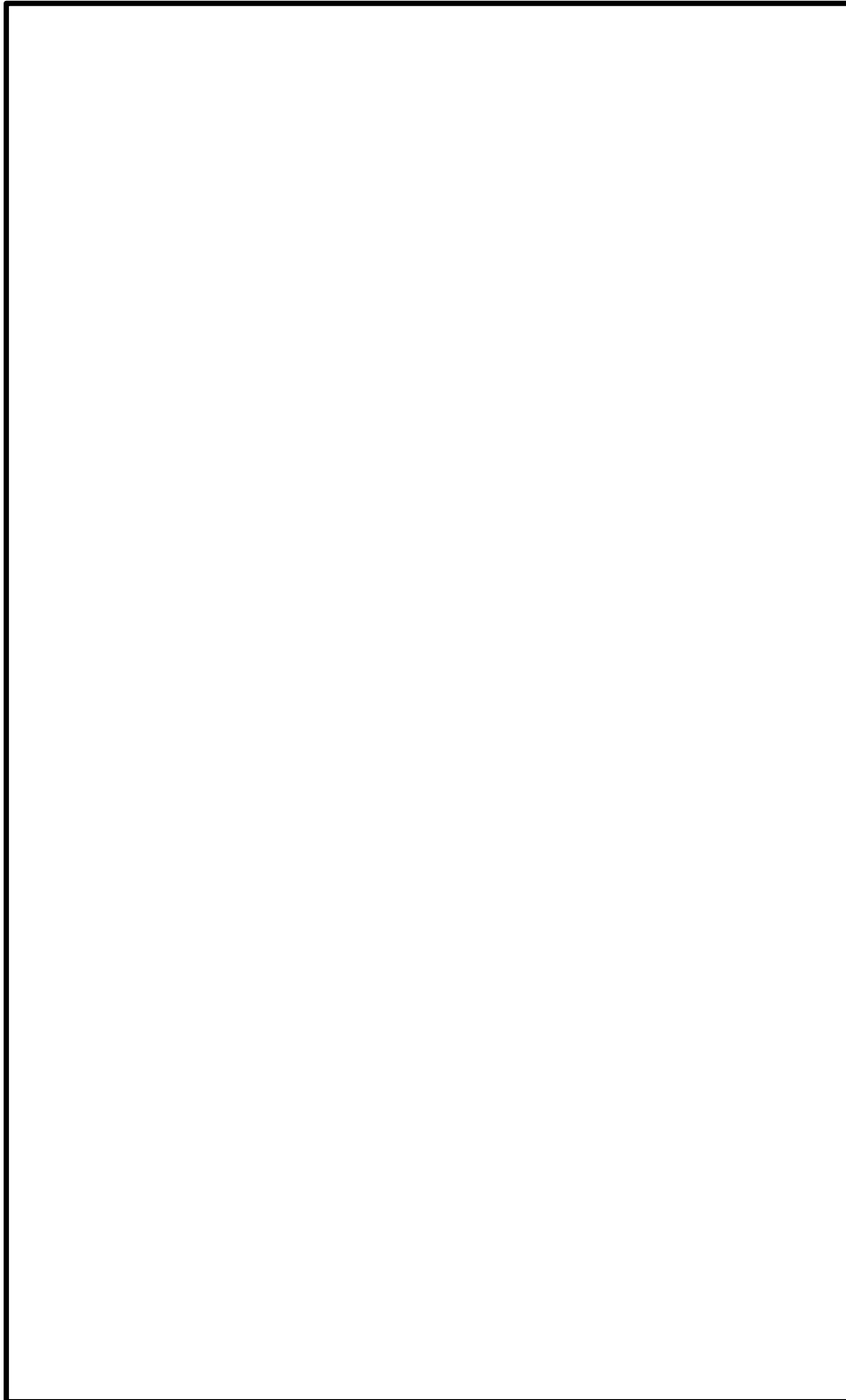


図 1-4 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物 2 階 EL23.8m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

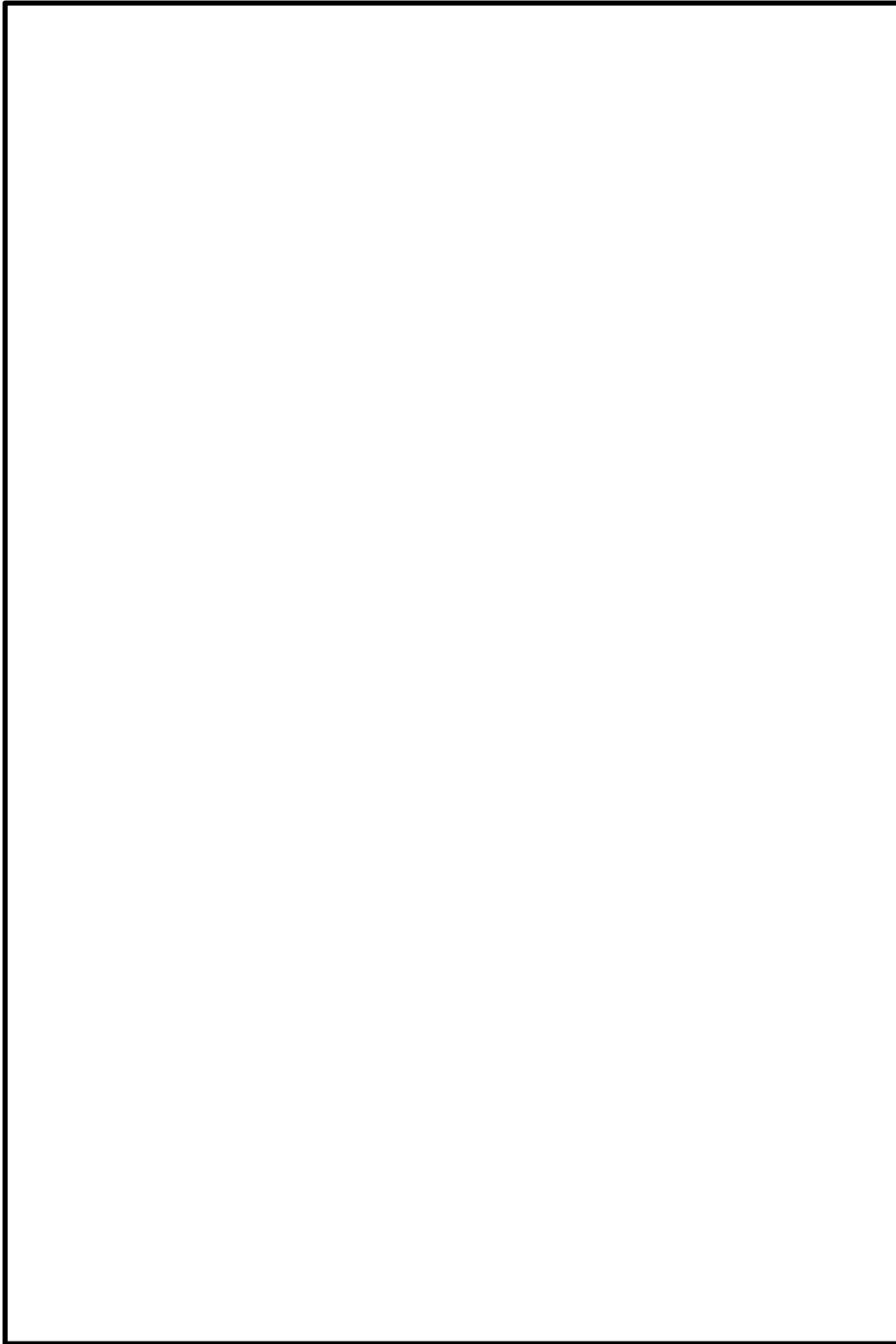


図 1-5 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物 1 階 EL15.3m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

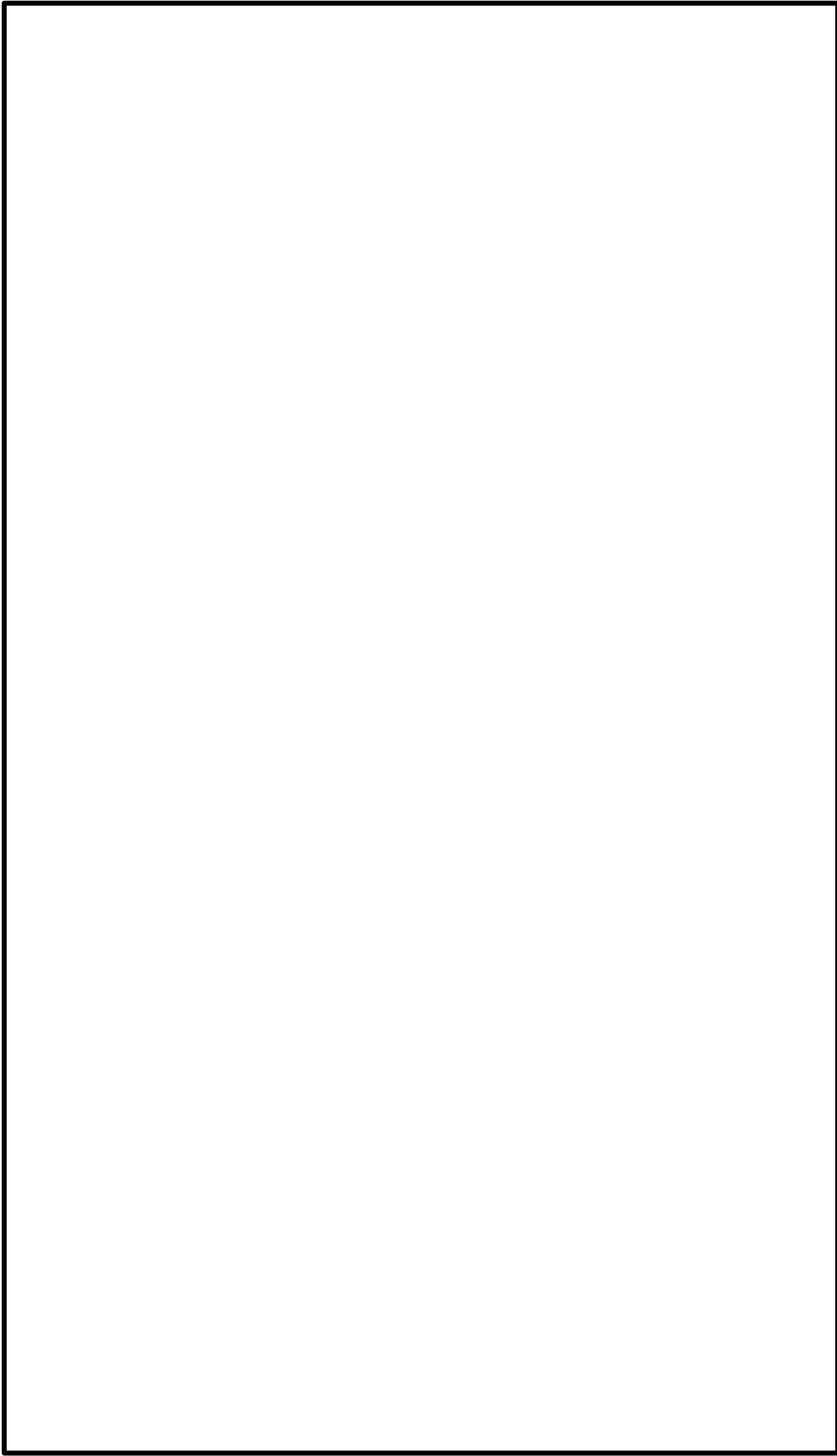


図 1-6 溢水源となり得る主な機器の配置（原子炉建物地下 1 階 EL8.8m 及び原子炉容器内 EL10.1m）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

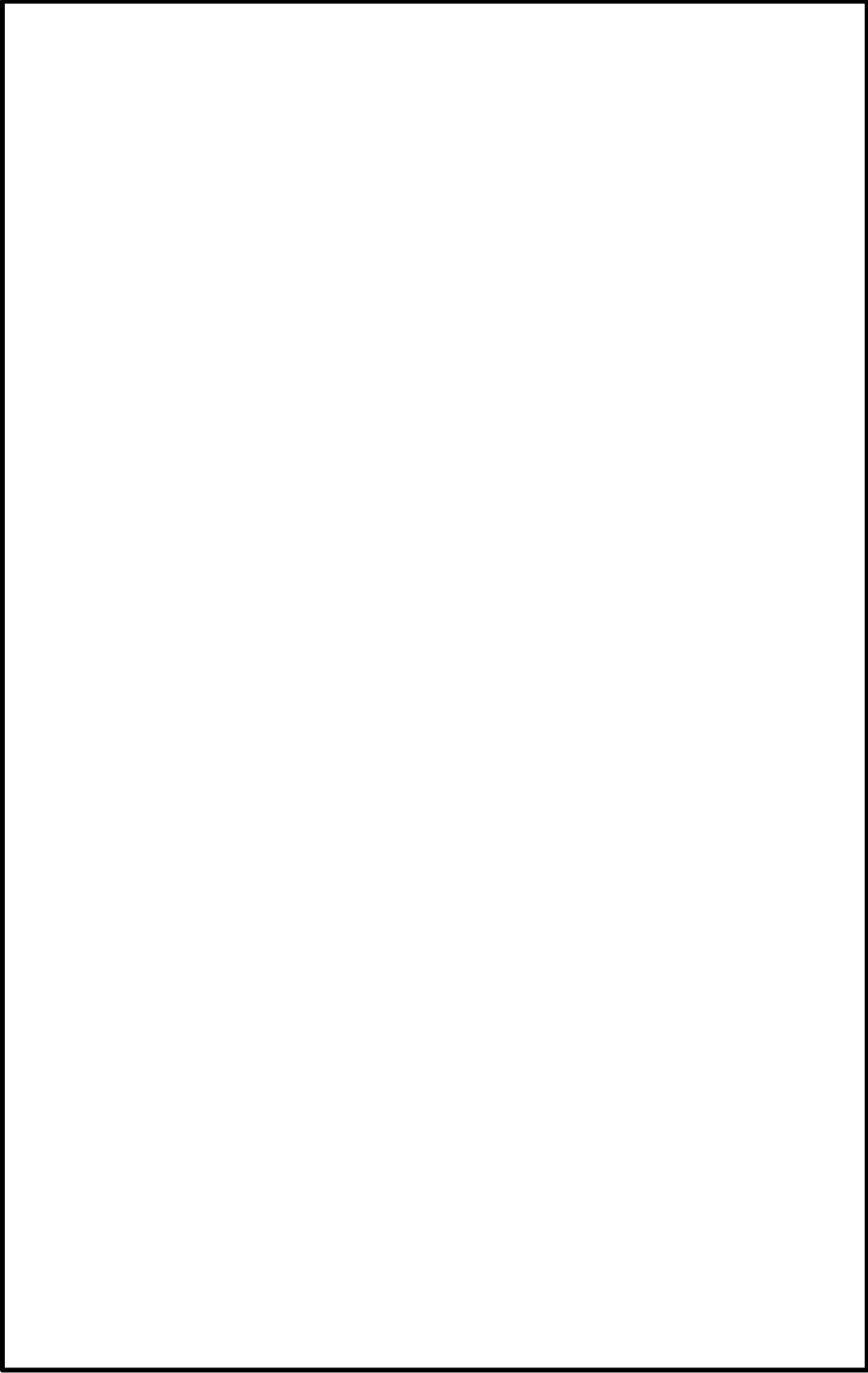


図 1-7 溢水源となり得る主な機器の配置 (原子炉建物地下 2 階 EL1.3m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

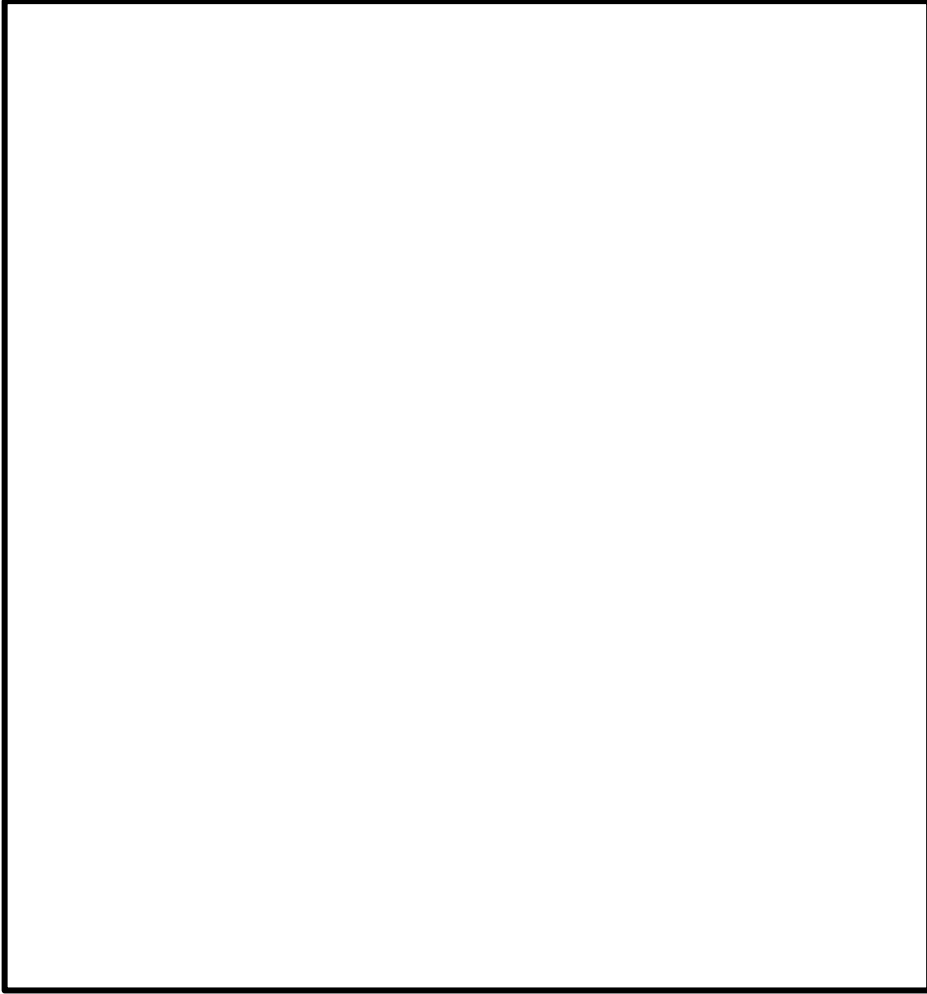


図 1-9 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物 5階 EL.37.5m)

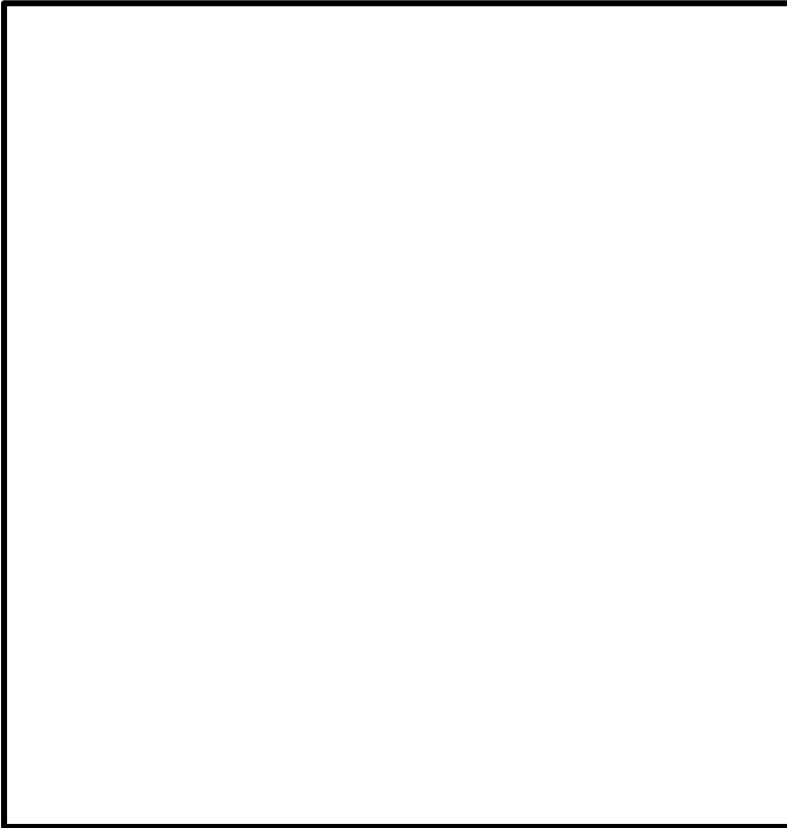


図 1-8 溢水源となり得る主な機器の配置
(制御室建物 2階 EL.8.8m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

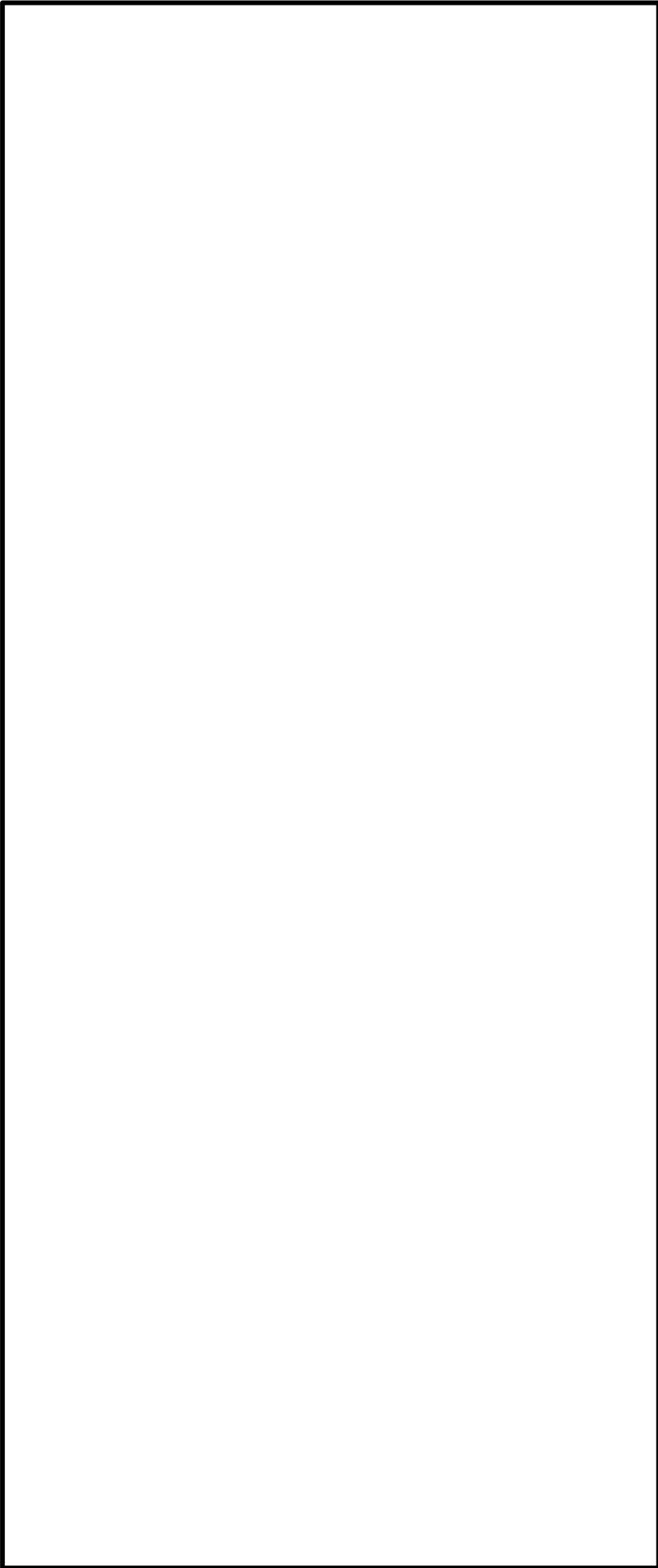


図 1-10 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物 3 階 EL:26.7m)

図 1-11 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物 2 階 EL:22.1m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

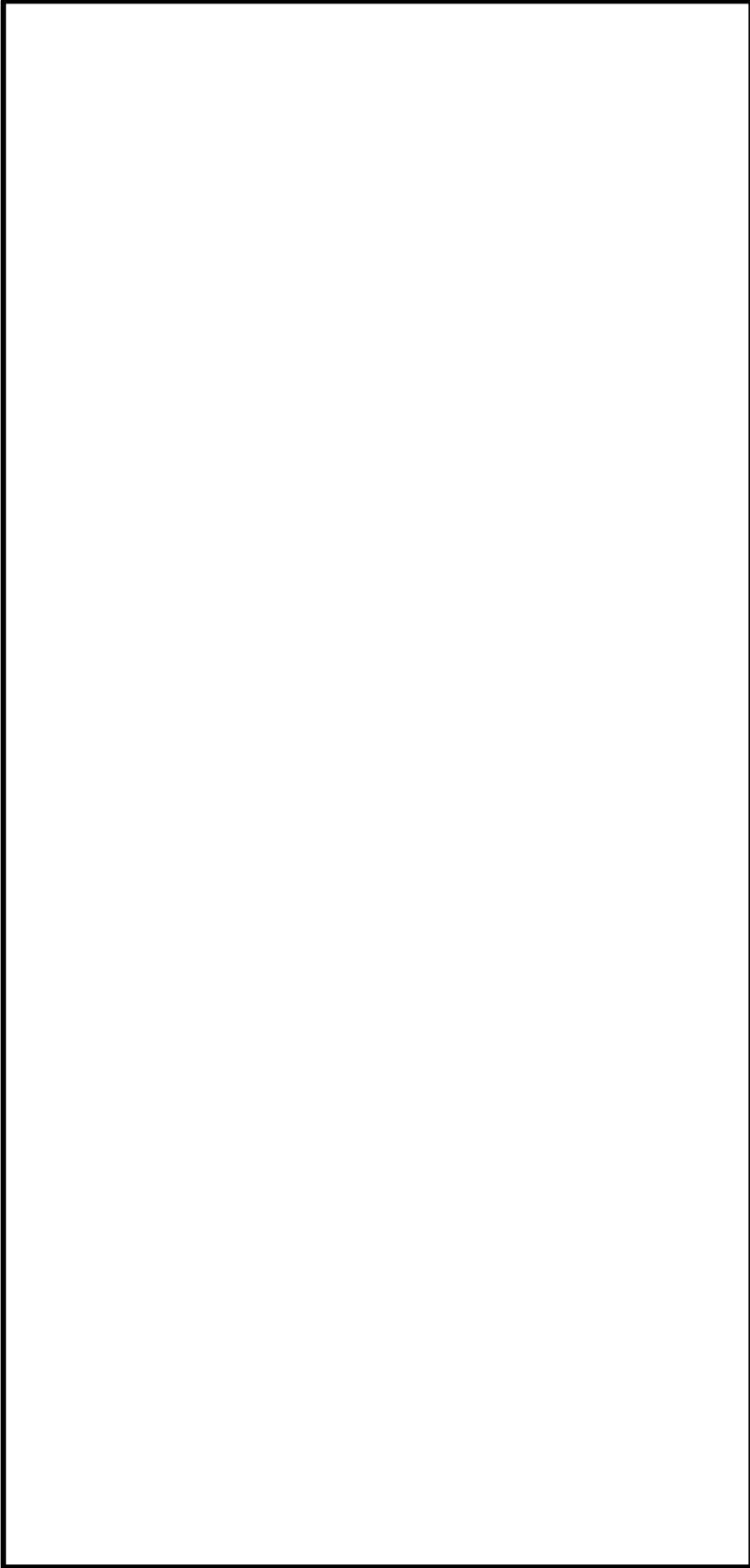


図 1-12 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物 1 階 EL15.3m)

図 1-13 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物地下中 1 階 EL12.3m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

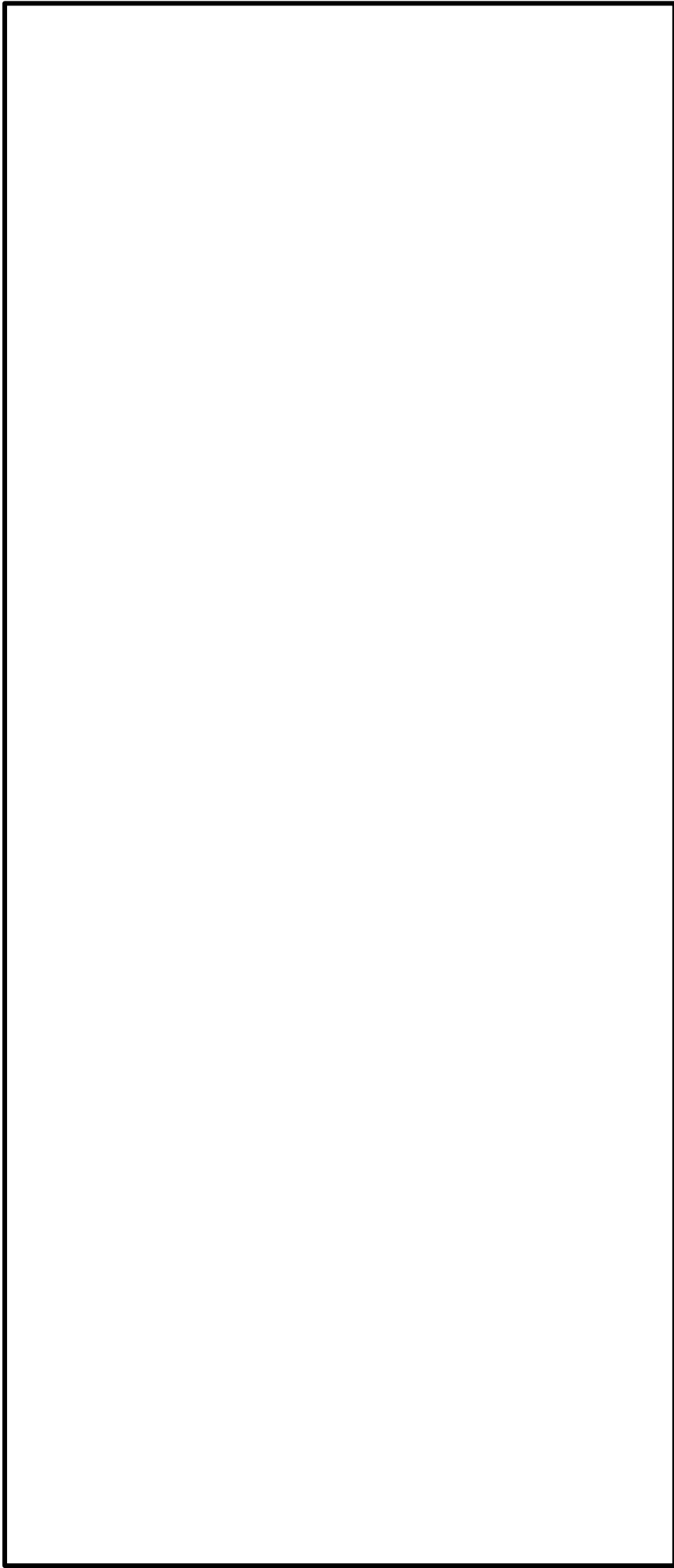


図 1-15 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物地下 2 階 EL3.0m)

図 1-14 溢水源となり得る主な機器の配置
(廃棄物処理建物地下 1 階 EL8.8m)

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

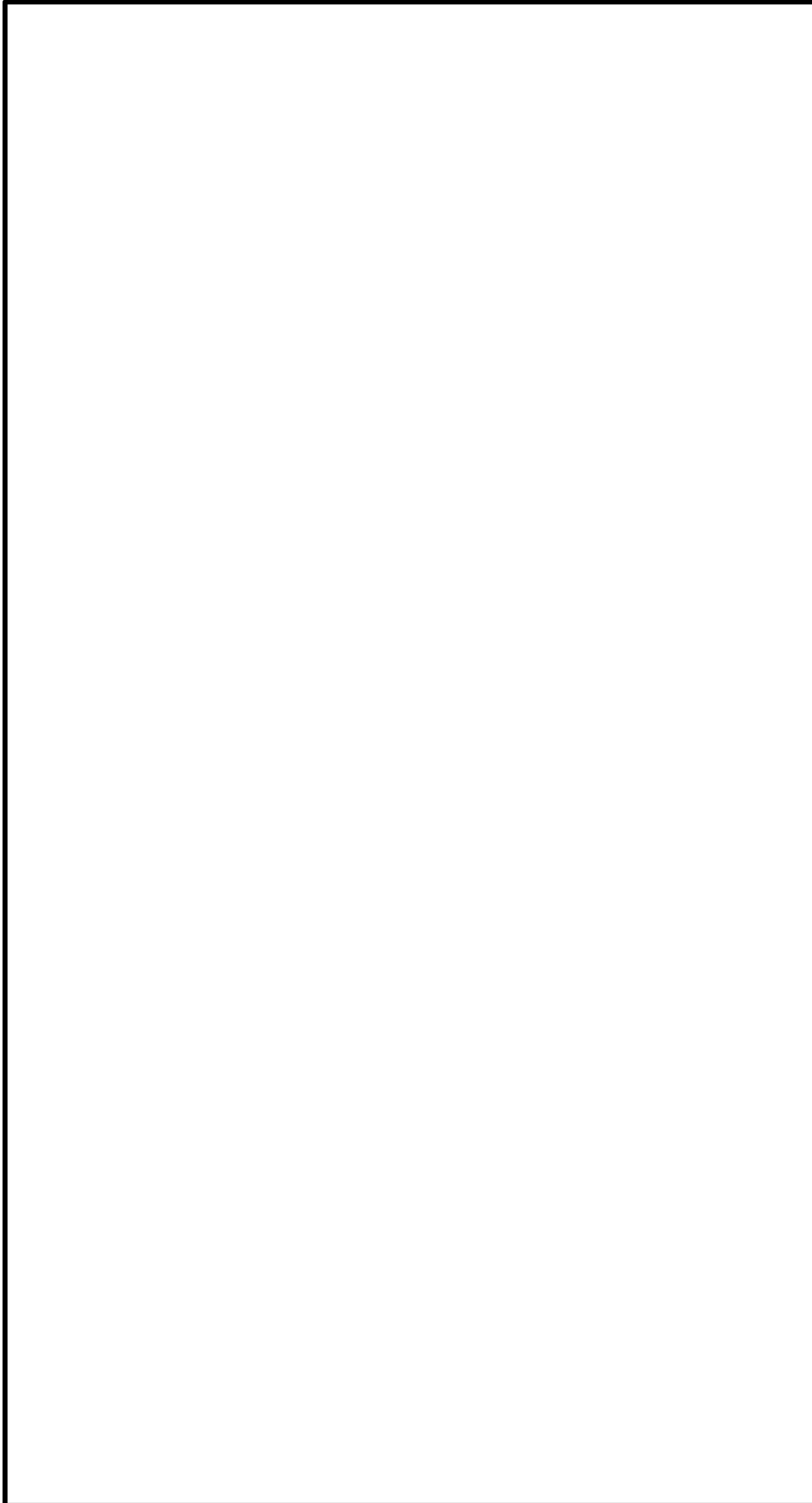


図 1-16 溢水源となり得る主な機器の配置 (タービン建物 3 階 EL20.6m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

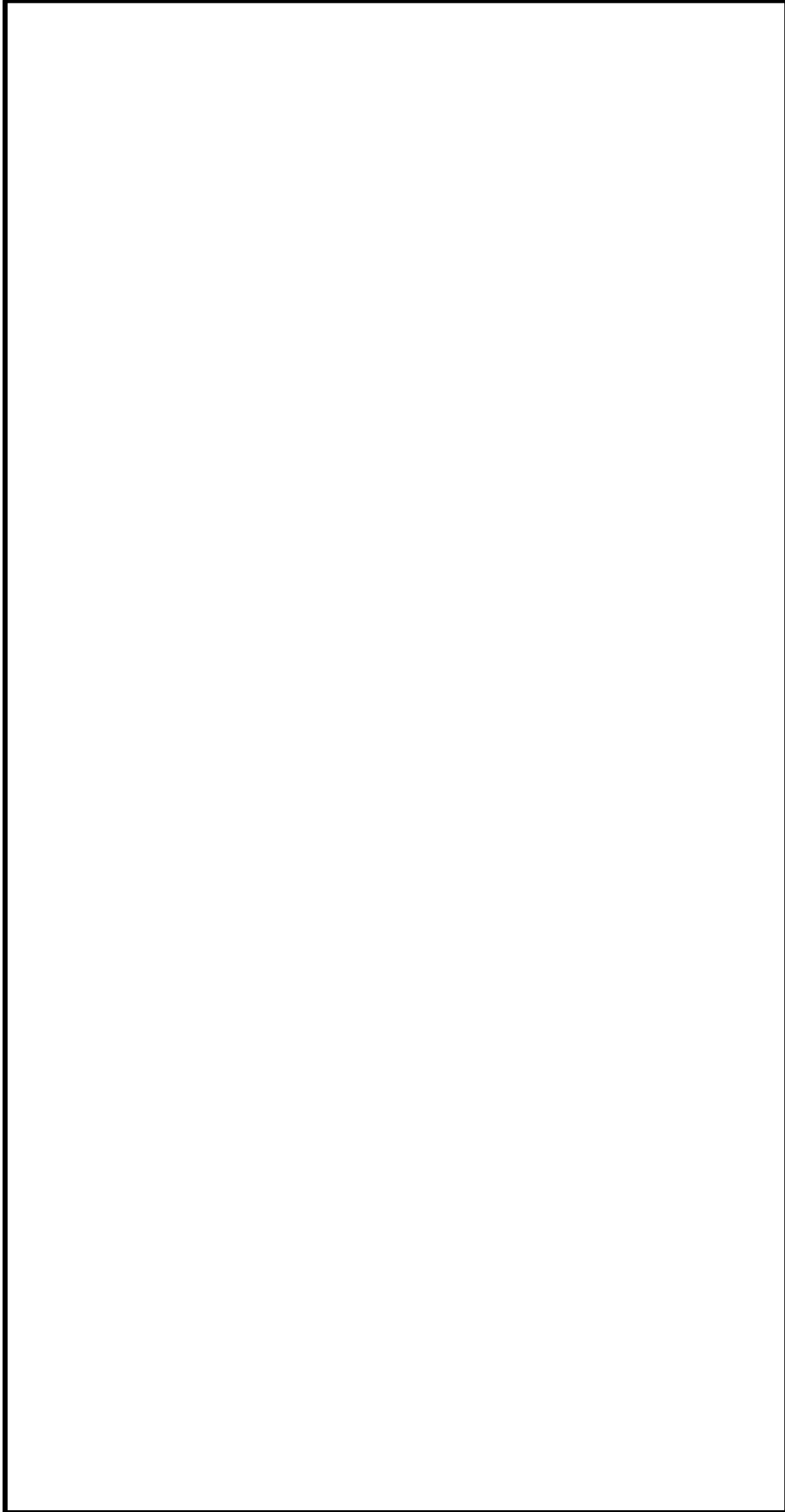


図 1-17 溢水源となり得る主な機器の配置 (タービン建物 2階 EL12.5m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

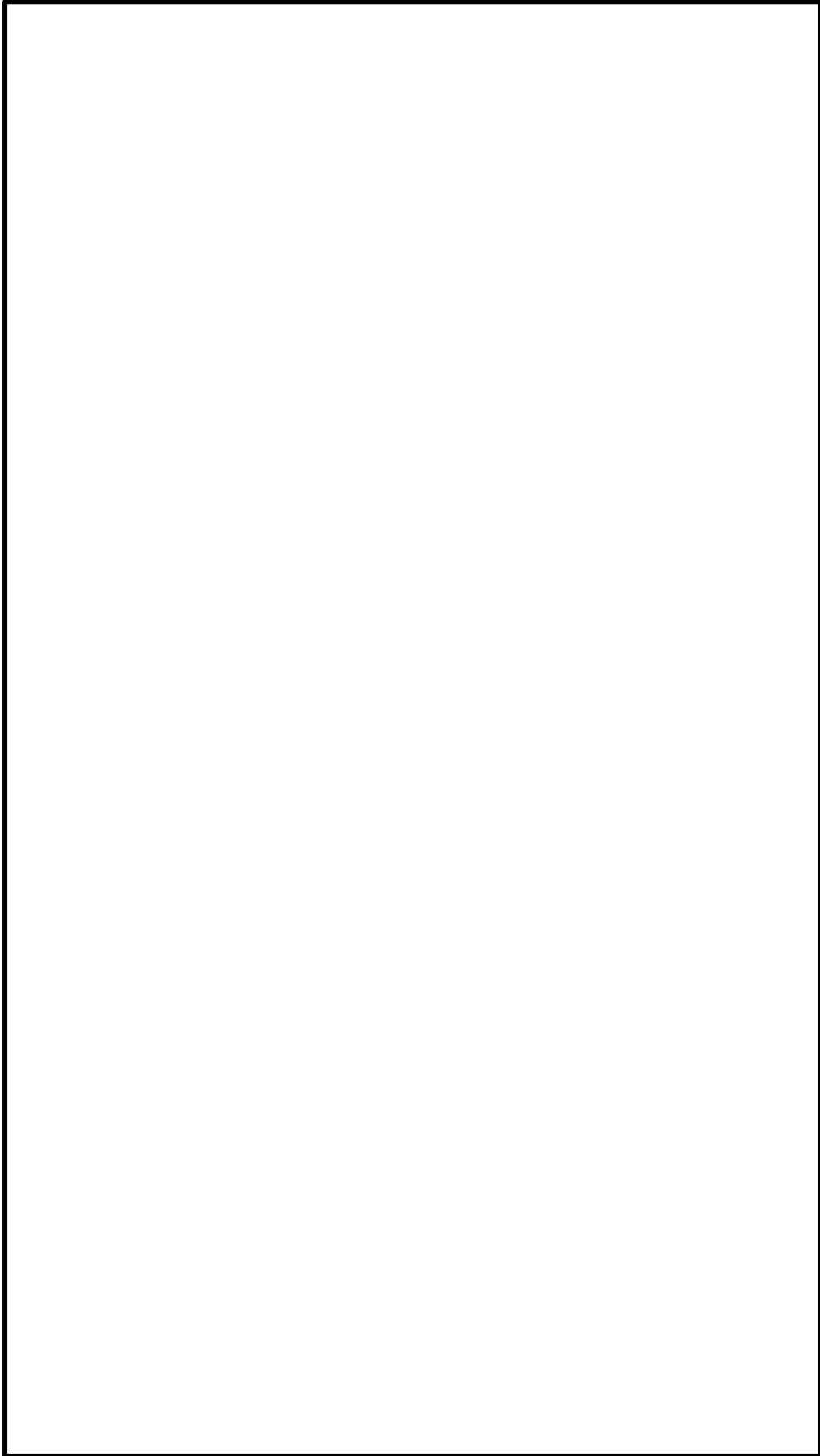


図 1-18 溢水源となり得る主な機器の配置 (タービン建物 1 階 EL5.5m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

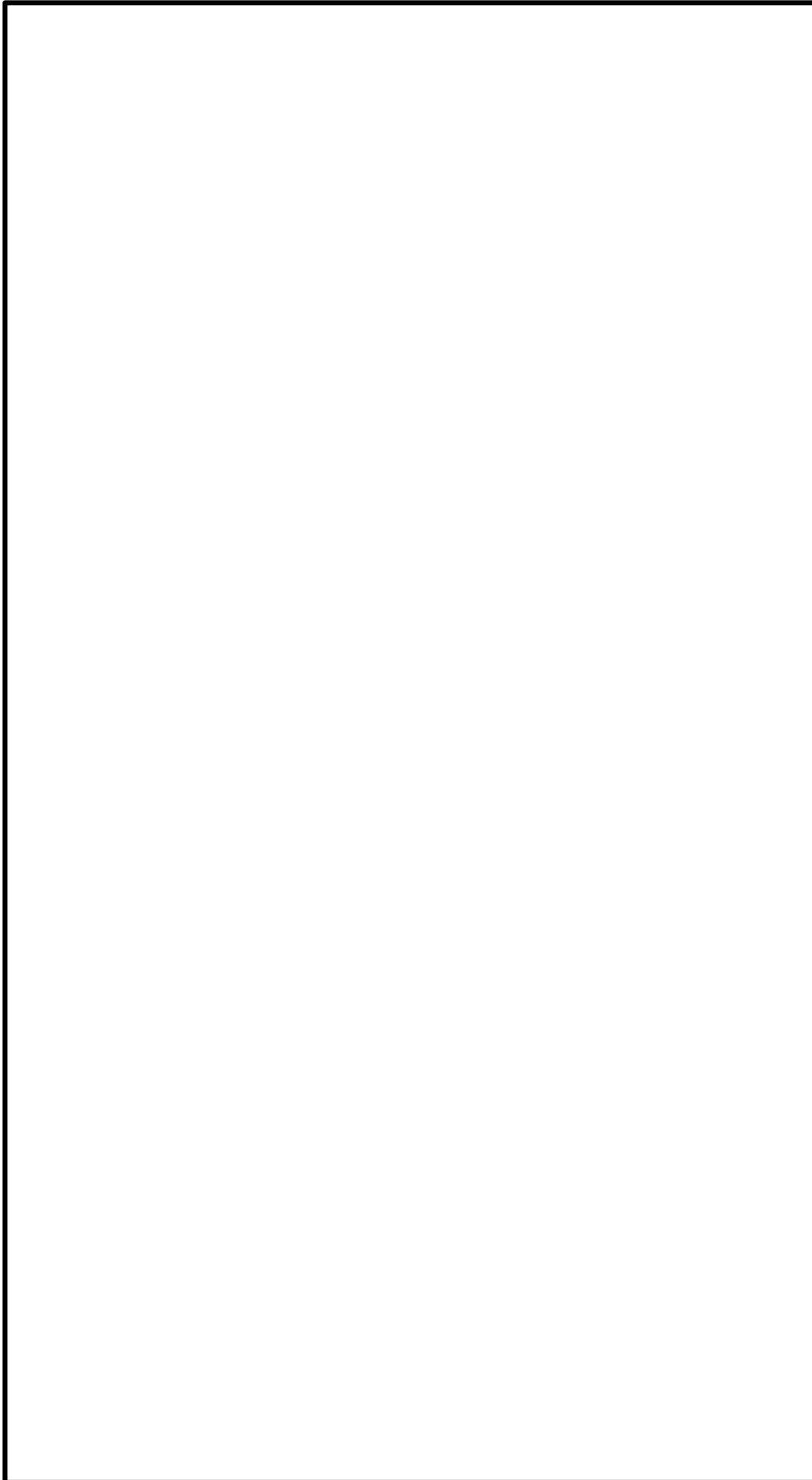


図 1-19 溢水源となり得る主な機器の配置 (タービン建物地下 1 階 EL2.0m)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

1.2 地震起因による溢水源の設定及び溢水源としない機器について

地震起因の没水・被水影響評価フロー（本文 図 7-5, 7-8）に基づき影響評価を行い、溢水源とする機器と、Ss 機能維持評価により溢水源としない機器を選定した。溢水源とする機器としない機器を表 1-3 に、Ss 機能維持評価により溢水源としない配管を表 1-4 に示す。

表 1-3 溢水源とする機器としない機器(1/4)

建物	設置階 ^{※1}	機器	溢水源とする機器	溢水源としない機器
原子炉建物	地上3階 (EL34.8m)	ドライウエル冷凍機	○	—
		燃料プール冷却系熱交換器	—	○
		燃料プール冷却系ろ過脱塩器逆洗水タンク	○	—
		燃料プール冷却系ろ過脱塩器プリコートタンク	○	—
	地上中2階 (EL30.5m)	原子炉浄化系ろ過脱塩装置ろ過脱塩器	○	—
		燃料プール冷却系ろ過脱塩装置ろ過脱塩器	○	—
		原子炉浄化系サージタンク	○	—
		原子炉浄化系非再生熱交換器	○	—
		原子炉浄化系脱塩装置脱塩器	○	—
		燃料プール冷却水ポンプ	—	○
		原子炉浄化ろ過脱塩装置ホールディングポンプ	—	○
	地上2階 (EL23.8m)	スクラム排水容器	○	—
		空調換気設備冷却水冷凍機	○	—
		原子炉浄化系再生熱交換器	○	—
		原子炉浄化系補助熱交換器	○	—
		原子炉浄化循環ポンプ	—	○
	地上1階 (EL15.3m)	P L R ポンプ用MGセット油冷却器	—	○
		P L R ポンプ用MGセット誘導電動機用空気冷却器	—	○
		P L R ポンプ用MGセット交流発電機空気冷却器	—	○
		P L R ポンプ用MGセット室冷却機	—	○
	地下1階 (EL8.8m)	復水輸送ポンプ	—	○
		原子炉浄化補助ポンプ	—	○

※1 () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-3 溢水源とする機器としない機器(2/4)

建物	設置階※1	機器	溢水源とする機器	溢水源としない機器
原子炉建物	地下1階 (EL8.8m)	CRDポンプ室冷却機	—	○
		CRDポンプ油冷却器	—	○
		R C I Cポンプ室冷却機	—	○
		N2 ガス製造装置空気圧縮機	—	○
	地下2階 (EL1.3m)	R/B北西コーナ室 床ドレンサンプ	○	—
		R/B北東コーナ室 床ドレンサンプ	○	—
		DEG室床ドレンサンプ	○	—
		HPCSポンプ室 床ドレンサンプタンク	○	—
		RHRポンプ室 床ドレンサンプタンク	○	—
		LPCSポンプ室 床ドレンサンプタンク	○	—
		原子炉建物 機器ドレンサンプタンク	○	—
		原子炉建物 床ドレンサンプタンク	○	—
	—	配管	○※2	○※3
制御室建物	地上2階 (EL8.8m)	電気温水ボイラ	○	—
	—	配管	○※2	○※3
廃棄物 処理 建物	地上5階 (EL37.5m)	ランドリ・ドレン 濃縮器復水器	○	—
		ランドリ・ドレン脱塩器	○	—
		ランドリ・ドレン インヒビタ添加タンク	○	—
		ランドリ・ドレン 乾燥機復水器	○	—
		ランドリ・ドレン濃縮器	○	—
	地上3階 (EL26.7m)	化学廃液濃縮器復水器	○	—
		床ドレン濃縮器復水器	○	—
		真空発生装置循環水タンク	○	—

※1 () 内は、設置階の基準床高さを示す。

※2 右記以外。

※3 詳細は表 1-4 による。

表 1-3 溢水源とする機器としない機器(3/4)

建物	設置階※1	機器	溢水源とする機器	溢水源としない機器
廃棄物 処理 建物	地上3階 (EL26.7m)	ランドリ・ドレン すすぎ水受タンク	○	—
		ランドリ・ドレン 収集タンク	○	—
		ランドリ・ドレン サンプルタンク	○	—
		濃縮廃液タンク用 温水タンク	○	—
		ランドリ・ドレン 濃縮廃液タンク	○	—
	地上2階 (EL22.1m)	床ドレン濃縮器	○	—
		ランドリ・ドレン サンプタンク	○	—
		機器ドレンろ過脱塩器	○	—
		機器ドレン脱塩器	○	—
		機器ドレンろ過脱塩装置 プリコートタンク	○	—
		凝縮水ろ過脱塩器	○	—
		凝縮水脱塩器	○	—
	地上1階 (EL15.3m)	インヒビタ添加タンク	○	—
		硫酸添加タンク	○	—
	地下中1階 (EL12.3m)	濃縮廃液ポンプ封水用 冷却器	○	—
	地下1階 (EL8.8m)	RW/B陰イオン フロックタンク	○	—
		RW/B陽イオン フロックタンク	○	—
		復水系スラッジ貯蔵タンク	○	—
		復水系樹脂貯蔵タンク	○	—
		原子炉浄化系樹脂貯蔵 タンク	○	—
	地下2階 (EL3.0m)	RW/B所内蒸気 ドレン回収タンク	○	—
		機器ドレンタンク	○	—
		機器ドレン処理水タンク	○	—
		凝縮水受タンク	○	—

※1 () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-3 溢水源とする機器としない機器(4/4)

建物	設置階※1	機器	溢水源とする機器	溢水源としない機器
廃棄物 処理 建物	地下2階 (EL3.0m)	処理水タンク	○	—
		床ドレンタンク	○	—
		化学廃液タンク	○	—
		ランドリ・ドレンタンク	○	—
		濃縮廃液タンク	○	—
		復水スラッジ分離タンク	○	—
		機器ドレンろ過脱塩装置 逆洗水受タンク	○	—
		機器ドレンスラッジ 分離タンク	○	—
		原子炉浄化系スラッジ 貯蔵タンク	○	—
		廃棄物処理建物 機器ドレンサンプタンク	○	—
		廃棄物処理建物 床ドレンサンプタンク	○	—
	廃棄物処理建物 化学廃液サンプタンク	○	—	
—	—	配管	○※2	○※3
海水 ポンプ エリア	— (EL1.1m)	配管	—	○※3

※1 () 内は、設置階の基準床高さを示す。

※2 右記以外。

※3 詳細は表 1-4 による。

表 1-4 溢水源としない配管(1/5)

建物	設置階※	設置区画	配管
原子炉建物	地上 4 階 (EL42. 8m)	R-4F-01-1N	燃料プール冷却系
	地上 3 階 (EL34. 8m)	R-3F-04-1N	原子炉補機冷却系
		R-3F-04-2N	空調換気設備冷却水系
		R-3F-07N	復水輸送系
		R-3F-16-1N	補給水系 消火系
		R-3F-06N	空調換気設備冷却水系 補給水系
		R-3F-05N	消火系
		R-3F-11N	原子炉浄化系
		R-3F-25N	消火系
		R-3F-12-2N	消火系
		R-3F-100N	補給水系 消火系
		R-3F-02N	空調換気設備冷却水系 消火系
		R-3F-03N	消火系
	R-3F-14N	消火系	
	地上中 2 階 (EL30. 5m)	R-M2F-3N	原子炉浄化系
		R-M2F-4N	
		R-M2F-5N	
		R-M2F-06N	原子炉補機冷却系 燃料プール冷却系 ドライウェル冷却系
		R-M2F-07N	空調換気設備冷却水系 補給水系 消火系
		R-M2F-08N	原子炉浄化系
		R-M2F-11N	原子炉浄化系
		R-M2F-12N	補給水系
		R-M2F-26N	消火系
R-M2F-18-1N		原子炉補機冷却系	
R-M2F-21N		空調換気設備冷却水系	
R-M2F-22N	消火系		

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-4 溢水源としない配管 (2/5)

建物	設置階※	設置区画	配管
原子炉建物	地上中 2 階 (EL30.5m)	R-M2F-18-2N	原子炉浄化系 原子炉補機冷却系 ドライウエル冷却系 消火系
		R-M2F-20N	原子炉補機冷却系 ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系
		R-M2F-27N	復水輸送系
		R-M2F-02N	消火系
	地上 2 階 (EL23.8m)	R-2F-09N	原子炉浄化系
		R-2F-10N	燃料プール冷却系 消火系
		R-2F-11N R-2F-12N	原子炉浄化系 消火系
		R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	
		R-2F-14N	制御棒駆動系 原子炉浄化系 復水輸送系
		R-2F-15N	復水輸送系
		R-2F-08N	原子炉補機冷却系 空調換気設備冷却水系 消火系
		R-2F-04N	消火系
		R-2F-05N	消火系
		R-2F-06N	消火系
		R-2F-21N	消火系

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-4 溢水源としない配管 (3/5)

建物	設置階※	設置区画	配管
原子炉建物	地上 1 階 (EL15.3m)	R-1F-03N	復水輸送系
		R-1F-22N	消火系
		R-1F-07-1N	原子炉浄化系
		R-1F-07-2N	原子炉補機冷却系 ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系
		R-1F-10N	消火系
		R-1F-13N	復水輸送系
		R-1F-33N	空調換気設備冷却水系
		R-1F-01-1N	補給水系
		R-1F-02N	原子炉補機冷却系 空調換気設備冷却水系
		R-1F-14N	原子炉補機冷却系 原子炉補機海水系 空調換気設備冷却水系 消火系
		R-1F-15N	原子炉補機冷却系 原子炉補機海水系 ドライウエル冷却系 空調換気設備冷却水系 補給水系 消火系
		R-1F-24-2N	消火系
	地下 1 階 (EL8.8m)	R-B1F-01N R-B1F-08N	原子炉補機冷却系 高圧炉心スプレイ系 空調換気設備冷却水系 復水輸送系 消火系
		R-B1F-07N	原子炉補機冷却系 復水輸送系 消火系
		R-B1F-09N	高圧炉心スプレイ系 復水輸送系 消火系

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

表 1-4 溢水源としない配管(4/5)

建物	設置階※	設置区画	配管
原子炉建物	地下1階 (EL8.8m)	R-B1F-10N	原子炉浄化系 原子炉補機冷却系 復水輸送系 消火系
		R-B1F-13N	消火系
		R-B1F-18-1N	消火系
		R-B1F-21N	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系
		R-B1F-11N	原子炉補機海水系
		R-B1F-12N	補給水系
		R-B1F-16N	消火系
		R-B1F-17-1N	消火系
		R-B1F-17-2N	原子炉補機冷却系 消火系
		R-B1F-20N	原子炉補機海水系
		R-B1F-29N	補給水系
	地下2階 (EL1.3m)	R-B2F-01N	原子炉隔離時冷却系 消火系
		R-B2F-02N	補給水系 消火系
		R-B2F-03N	補給水系
		R-B2F-09N	復水輸送系 消火系
		R-B2F-10N	高圧炉心スプレイ系 液体廃棄物処理系（機器ドレン系） 復水輸送系 補給水系 消火系
		R-B2F-15N	消火系
		R-B2F-31N	原子炉隔離時冷却系 高圧炉心スプレイ系

※（ ）内は，設置階の基準床高さを示す。

表 1-4 溢水源としない配管(5/5)

建物	設置階※	設置区画	配管系統
原子炉建物	地下 2 階 (EL1. 3m)	R-B2F-04N	補給水系
		R-B2F-06N	補給水系
		R-B2F-07N	補給水系
		R-B2F-08N	消火系
		R-B2F-11N	消火系
		R-B2F-12N	高圧炉心スプレー系 補給水系
		R-B2F-13N	補給水系
		R-B2F-14N	補給水系
		R-B2F-16N	高圧炉心スプレー補機海水系 消火系
		R-B2F-17N R-B2F-18N R-B2F-19N	消火系
廃棄物処理建物	地上 2 階 (EL22. 1m)	RW-2F-01N	消火系
		RW-2F-02N	原子炉補機冷却系 消火系
海水ポンプ エリア	— (EL1. 1m)	Y-24AN	補給水系 消火系
		Y-24BN	補給水系 消火系
		Y-24CN	消火系

※ () 内は、設置階の基準床高さを示す。

添付資料4 溢水影響評価において期待することができる設備

1. 溢水防護の概要

1.1 溢水経路に対する対策

評価ガイドに従い、内部溢水の発生を想定した場合、貫通部や扉の間隙等を介して広範囲に溢水が伝播するおそれがある。このような溢水伝播経路に対する止水措置、並びに発生した溢水を排水するための排水設備の設置(以下「排水措置」という。)の溢水防護対策を実施することにより、溢水防護対象設備が設置される区画への溢水の伝播を防ぐ等、溢水の影響を限定的にすることができ、溢水想定下においても安全機能を維持することが可能となる。

上記を踏まえ、発生要因毎の溢水源の特性を考慮し、以下の基本方針に基づき溢水防護対策を実施している。

なお、ここで示す溢水防護対策は基本設計段階での評価であり、今後各種対策の実現性・詳細設計等を精査するに伴い変更が必要となる場合は、適宜反映する。

1.1.1 想定破損（溢水の影響を評価するために想定する機器の破損等により生じる溢水）

溢水源の想定にあたっては、溢水防護対象設備自体を含め、一系統における単一の機器の破損による溢水を想定する。このため、多重性又は多様性を有する機器の間に溢水伝播経路が存在する場合、単一の機器の破損により、同一の機能を有する複数の系統に影響を与えるおそれがある。

上記を踏まえ、多重性又は多様性が損なわれないよう、止水措置による安全系統の分離を行っている(図1-1参照)。また、多重性又は多様性が損なわれないよう、排水措置による溢水の影響緩和を行っている(図1-2参照)。

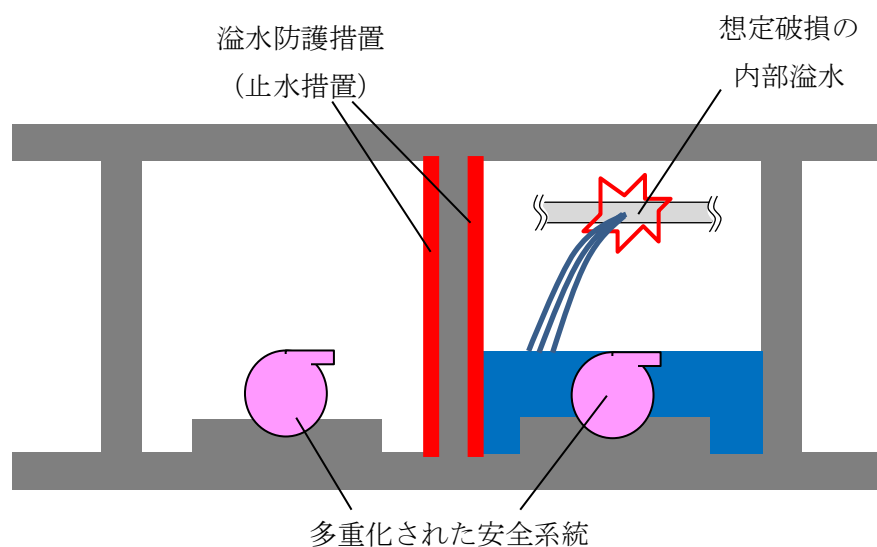


図1-1 想定破損に対する溢水防護概念図

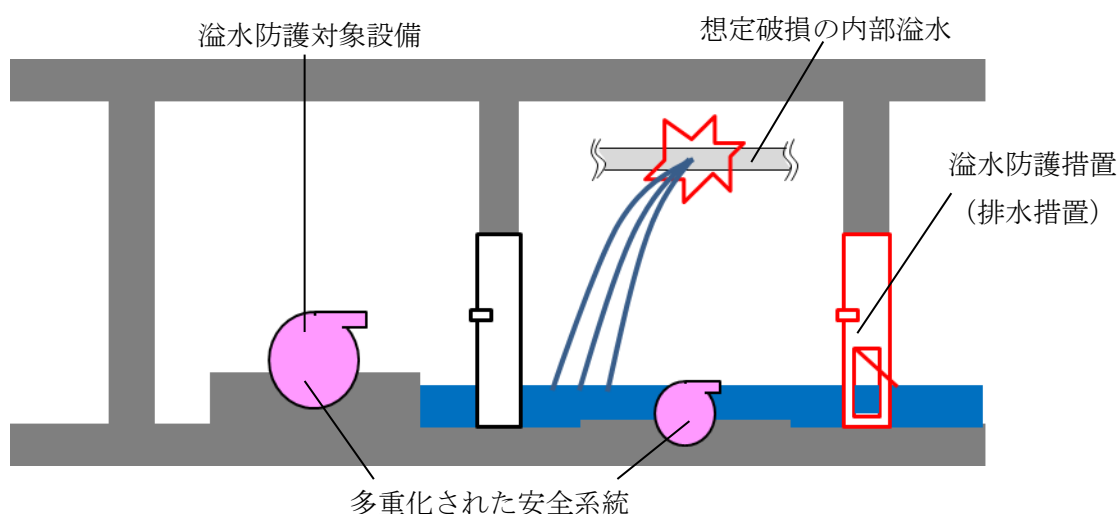


図1-2 排水措置の溢水防護概念図

1.1.2 消火水等の溢水（発電所内で生じる異常状態（火災を含む）の拡大防止のために設置される系統からの放水による溢水）

溢水源の想定にあたっては、1.1.1の想定破損と同様に、消火活動に伴う放水による単一の溢水を想定する。このため、溢水伝播経路に対する溢水防護も想定破損と同様に実施している。

1.1.3 地震起因の破損（地震に起因する機器の破損等により生じる溢水）

溢水源の想定にあたっては、基準地震動 S_s による地震力に対する耐震性が確認されていない耐震B、Cクラスに属する系統からの溢水を保守的に想定する。

1.1.1、1.1.2と異なり単一以上の破損が想定されるため、想定破損に比べて相対的に溢水量が大きく、溢水防護区画外からの溢水の影響が大きくなる傾向となる。

上記を踏まえ、溢水防護区画外の溢水により多重性又は多様性を有する安全機能が損なわれないよう止水措置又は排水措置を行っている。なお、溢水防護区画内の溢水源については、必要に応じて基準地震動 S_s による地震力に対して耐震性を確保し、溢水防護区画内での溢水の発生を防止している（図1-3参照）。

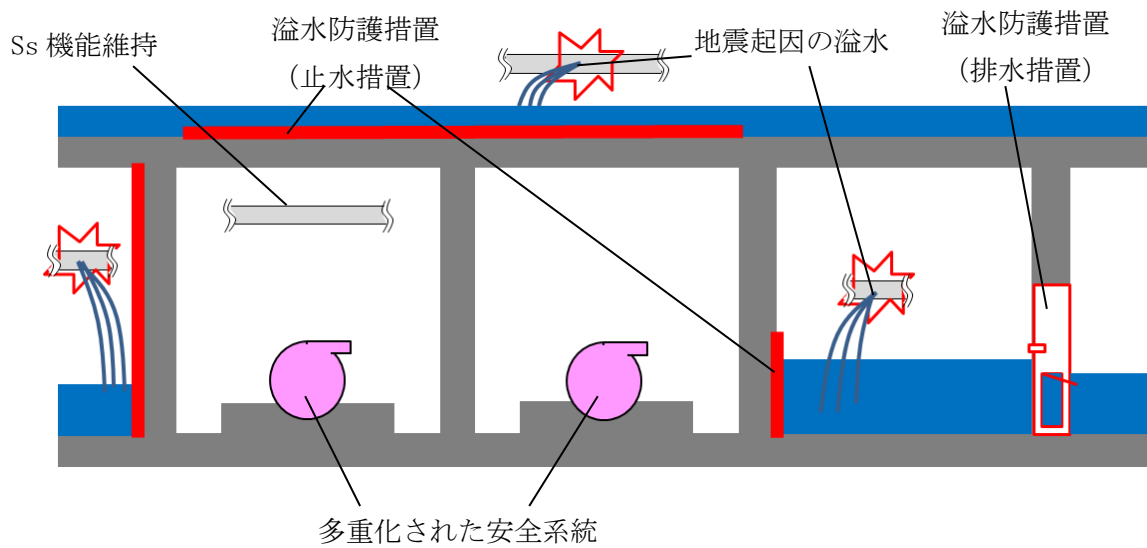


図1-3 地震起因の破損に対する溢水防護概念図

1.2 溢水防護対象設備に対する対策

内部溢水の発生を想定した場合に、没水、被水及び蒸気の影響により溢水防護対象設備が機能喪失するおそれがある。このような溢水防護対象設備に対する止水措置又は被水措置の溢水防護対策を実施することにより、溢水想定下においても安全機能を維持することが可能になる。別添1 2.3で示している防護するための設計方針に基づき溢水対策を実施した。

なお、ここで示す溢水防護対策は基本設計段階での評価であり、今後各種対策の実現性・詳細設計等を精査するに伴い変更が必要となる場合は、適宜反映する。

2. 溢水防護対策

溢水防護が必要となる溢水経路又は溢水防護対象設備に水密扉，堰，又は壁面・床面貫通部止水処置（シリコン，ラバーブーツ，モルタル）等の溢水防護対策を実施している（図2-1参照）。

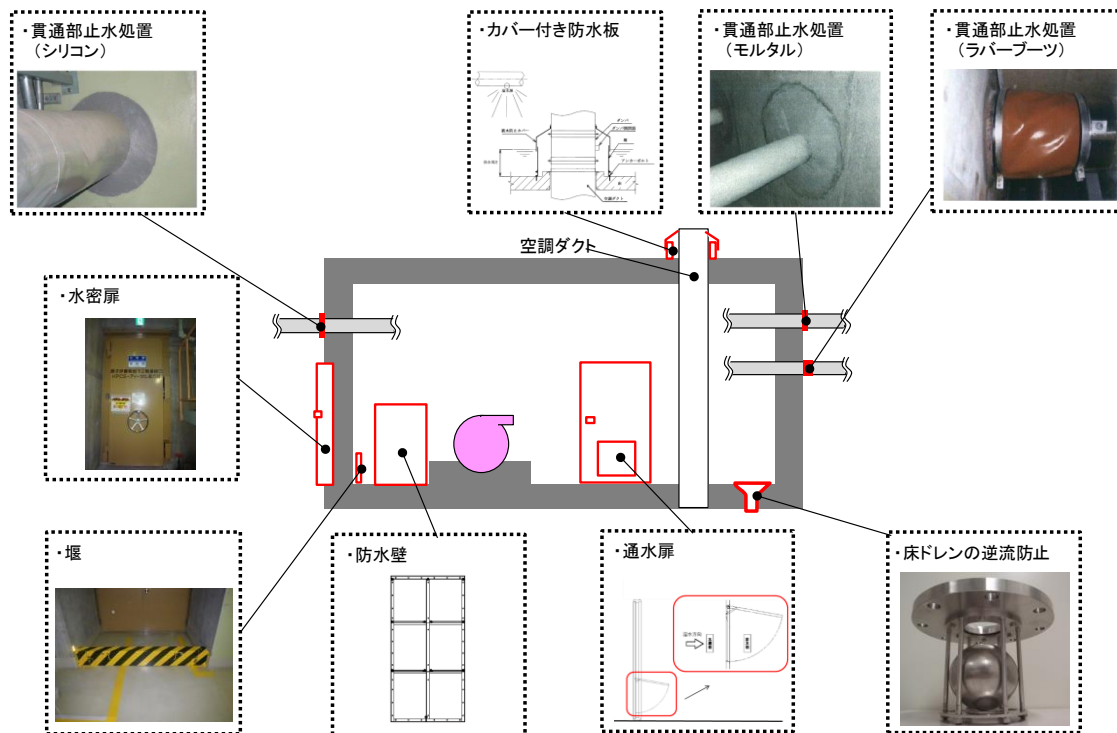


図 2-1 主要な溢水防護対策の施工例

2.1 溢水防護対策の概要

2.1.1 止水措置

溢水防護対象設備を防護するため、止水設備を設置する。貫通部止水処置を除く溢水防護対象設備の設置箇所一覧を表 2-1 に示す。

表 2-1 止水設備設置箇所一覧 (1/2)

設置場所	設置高さ (EL[m])	対象	箇所数
原子炉 建物	42.8	堰	5
	34.8	堰	8
		防水壁	1
	31.1	堰	1
	30.5	堰	3
	28.3	堰	2
	23.8	堰	13
		防水壁	1
	15.3	水密扉	1
		堰	7
	10.3	堰	3
		水密扉	5
	8.8	堰	3
		水密扉	2
	2.8	堰	1
		逆止弁	5
		水密扉	3
2.6	逆止弁	2	
	水密扉	7	
1.3	逆止弁	15	
	被水カバー	2	

表 2-1 止水設備設置箇所一覧 (2/2)

設置場所	設置高さ(EL[m])	対象	箇所数
廃棄物処理 建物	25.3	水密扉	1
	22.1	堰	2
	16.9	堰	10
	12.5	水密扉	1
	8.8	水密扉	1
制御室建物	16.9	堰	4
取水槽	1.1	水密扉	3
	8.8	防水壁	1
排気筒 エリア	8.8	堰	1

2.1.1.1 止水設備の構造及び性能

止水設備の構造及び性能について、代表例を図 2-2～11 に示す。

(1) 水密扉



図 2-2 水密扉

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(2) 堰

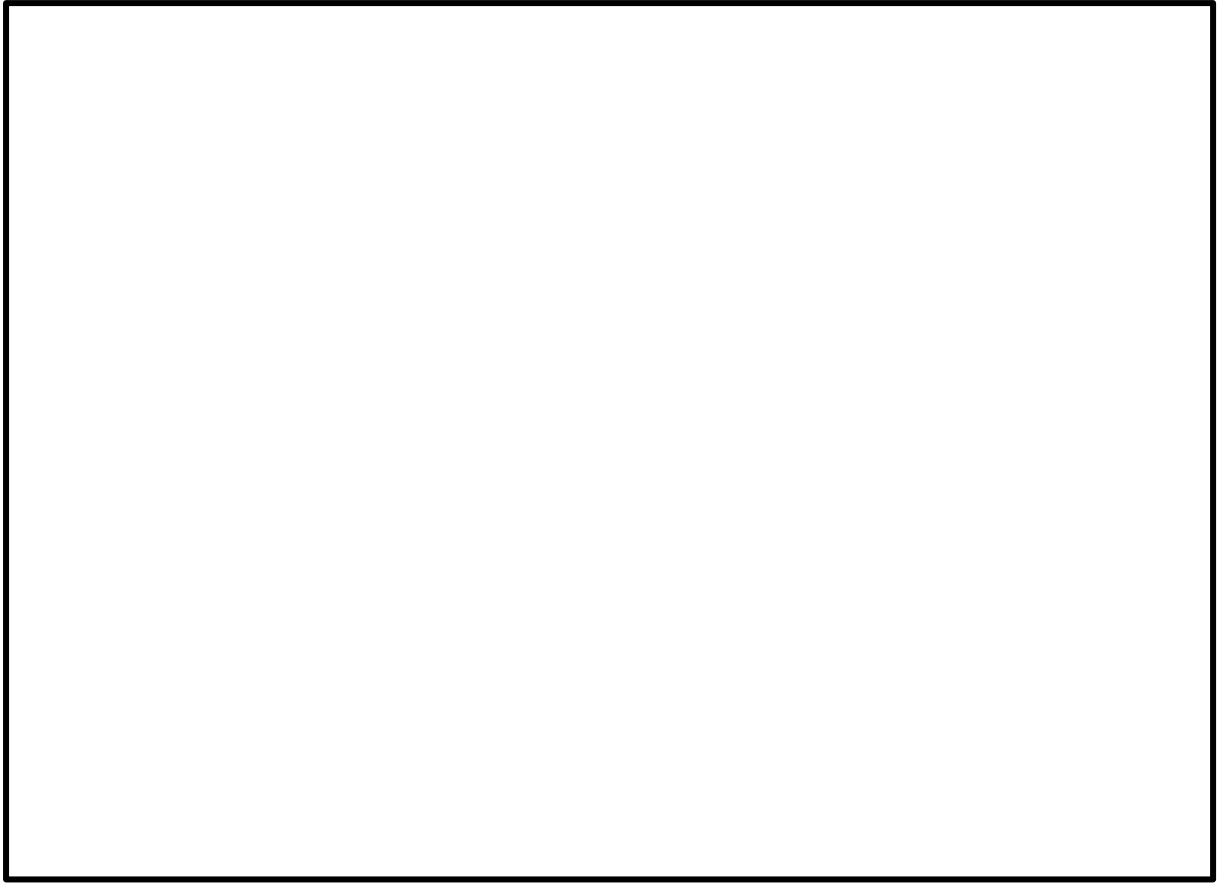


図 2-3 堰

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(3) 防水壁



図 2-4 防水壁

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(4) 逆止弁

種類	フロート式※ 配管フランジタイプ

図 2-5 逆止弁

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(5) 逆止弁

種類	フロート式※ 目皿タイプ

図 2-6 逆止弁

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(6) 貫通部止水処置

種類	シリコン

図 2-7 貫通部止水処置 (シリコン)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(7) 貫通部止水処置

種類	ラバーブーツ

図 2-8 貫通部止水処置 (ラバーブーツ)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(8) 貫通部止水処置

種類	モルタル

図 2-9 貫通部止水処置 (モルタル)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(9) 貫通部止水処置

種類	カバー付き防水板

図 2-10 カバー付き防水板

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(10) 被水カバー

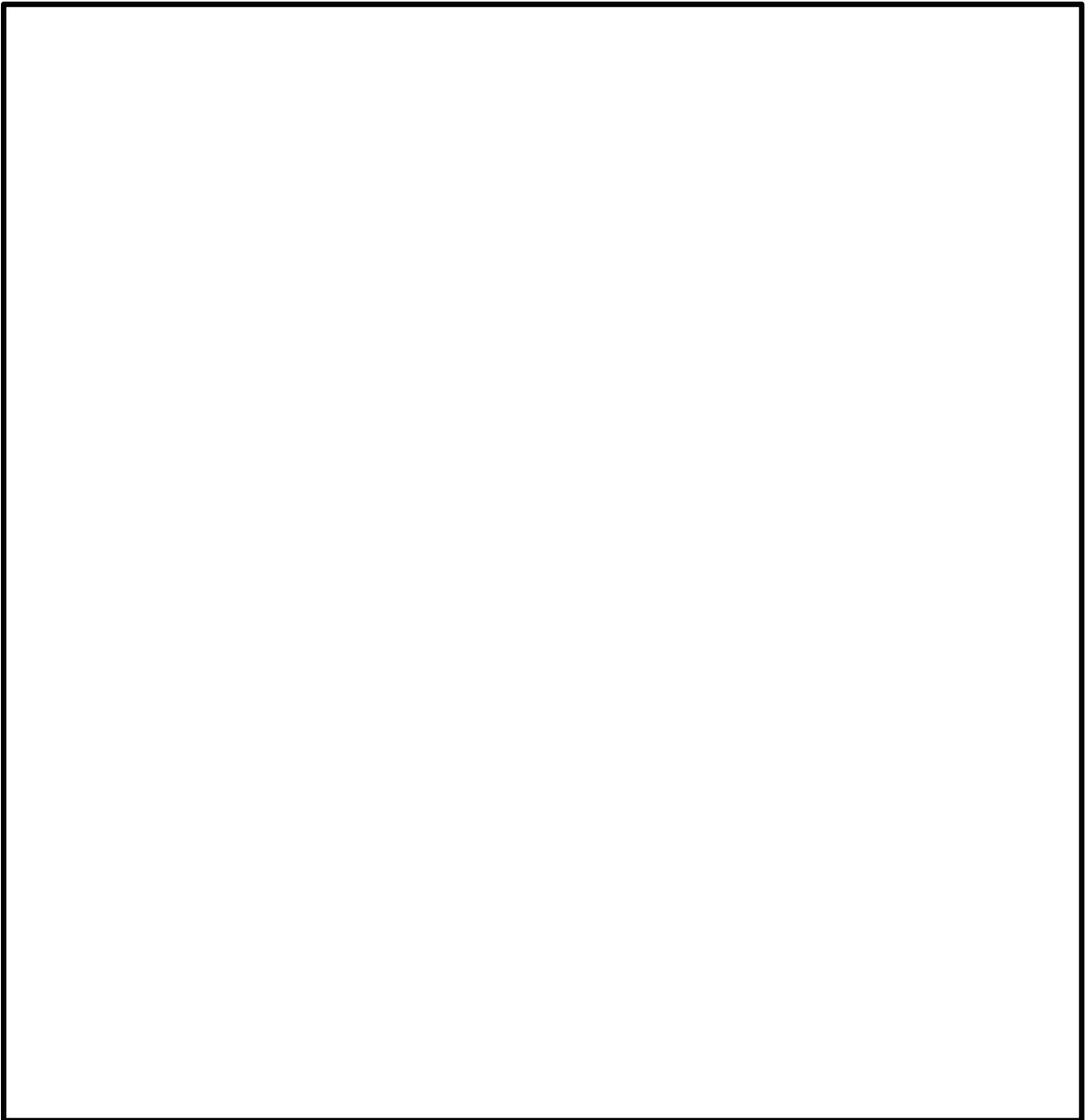


図 2-11 被水カバー（例）

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2.1.2 排水措置

溢水防護対象設備を防護するため、排水設備を設置する。設備設置箇所一覧を表 2-2 に示す。

表 2-2 排水設備設置箇所一覧

設置場所	設置高さ (EL[m])	対象	箇所数
原子炉 建物	23.8	通水扉	2
	15.3	通水扉	2

2.1.2.1 排水設備の構造

排水設備の構造及び性能を図 2-12 に記す。

(1) 通水扉

種類	小扉フラップ型
主要寸法	開口サイズ 600mm×600mm
主要材料	溶融亜鉛めっき鋼板
通水性能	制限水位以下で開放すること
耐震性	基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持

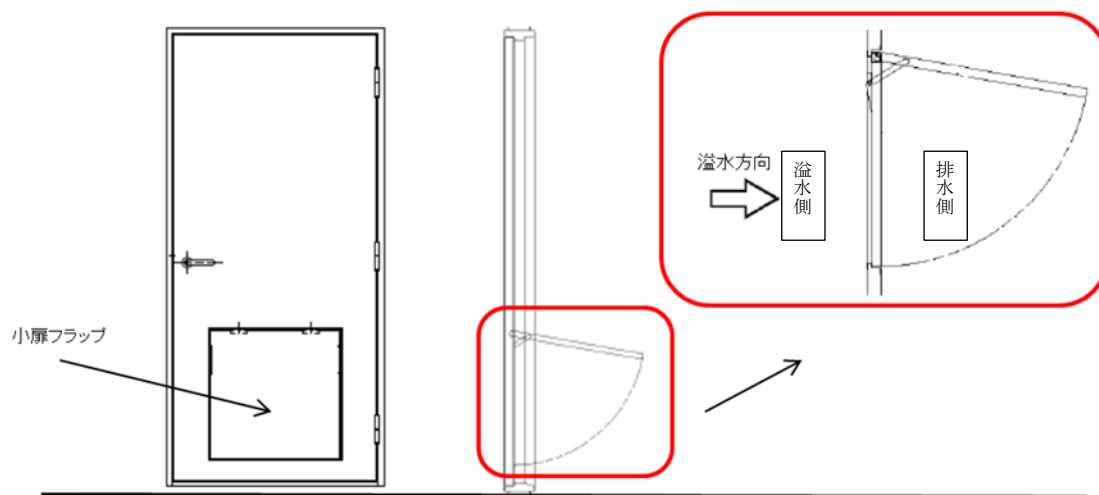


図 2-12 通水扉

2.1.3 溢水防護対策に用いる材料の選定について

建物の配管等貫通部については、貫通物の種類、温度等に応じて水密性のあるシール材の充填等による止水処理を実施する。建物の配管等貫通部における止水処理の例を表 2-3 に示す。

また、溢水防護対策に用いる材料の選定にあたっては、火災防護上、火災荷重を可能な限り低減させる配慮を行っている。具体的には、配管貫通部やケーブルトレイ貫通部、水密扉やハッチ、堰、防水壁等の止水に用いるシール材には不燃性又は難燃性の材料を選定する。

表 2-3 建物の配管等貫通部における止水処理（例）

貫通物	止水処理	施工内容		説明
		断面図	写真	
低温配管	モルタル	[断面図と写真の欄は図表として省略されている]	[断面図と写真の欄は図表として省略されている]	貫通スリーブと配管の間にモルタルを充填する
	シリコン			貫通スリーブと配管の間にシリコンを充填する
高温配管	ラバーブーツ			貫通スリーブと配管にラバーブーツの端部を固定する
	シリコン			貫通スリーブとケーブルトレイの間、ケーブルトレイ内にシリコンを充填する
ケーブルトレイ				電線管が接続するプルボックス内にシリコンを充填する
電線管				

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2.1.4 貫通部の止水対策の耐水圧性能及び地震時の健全性について

貫通部については止水対策が必要となる箇所に対して、シーリング材、ラバーブーツ及びモルタル施工を実施することとしており、これらの止水措置の耐水圧性能及び地震時の健全性を以下のとおり確認している。

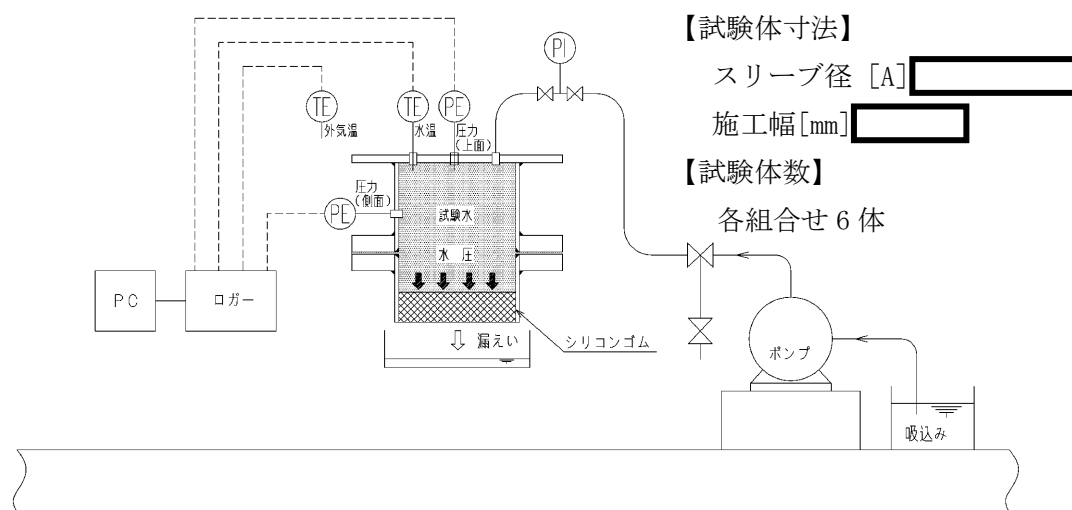
2.1.4.1 シーリング材、ラバーブーツ及びモルタルの止水性能について

(1) シーリング材

a. シリコン（配管貫通部）

配管貫通部の止水処理に用いるシリコンについては、図 2-13 に示す試験体による耐圧試験により止水性能を確認した。なお、保守的に試験体には配管を模擬していない。

本試験において得られたシリコンの許容耐圧値は [] (試験体 6 体のうち最も低い破壊限界値) であり、約 [] の静水圧に相当することから、止水性能は確保できる。



【試験方法】

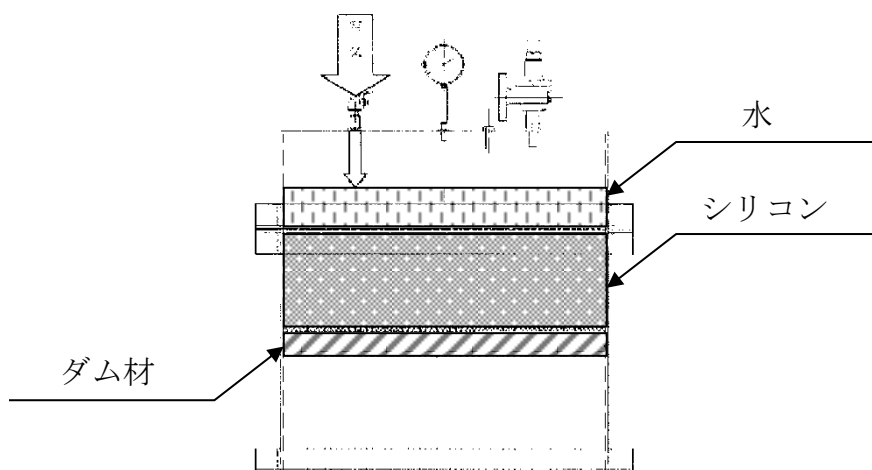
試験装置に注水後、水により加圧
試験圧力 []，保持時間 15 分

図 2-13 試験体形状

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

b. シリコン（ケーブルトレイ，電線管）

ケーブルトレイ，電線管の止水処理に用いるシリコンについては，図2-14に示すとおり，試験圧力0.15MPa（静水圧15m相当）で継続加圧した結果，漏えいは認められなかったため，止水性能は十分に確保できる。



【試験条件】

シリコン充填高さ：

【試験方法】

試験装置に注水後，空気により加圧
試験圧力（0.15MPa），保持時間72時間

図2-14 試験装置全体図

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(2) ラバーブーツ

配管貫通部の止水処理に用いるラバーブーツについては、耐圧試験によって耐水性を確認し、配管貫通部に要求される耐水性を満足するものを使用する。

図 2-15 に示す試験体による耐圧試験により止水性能を確認した。試験体の諸元及び試験結果を表 2-4、2-5 に示す。

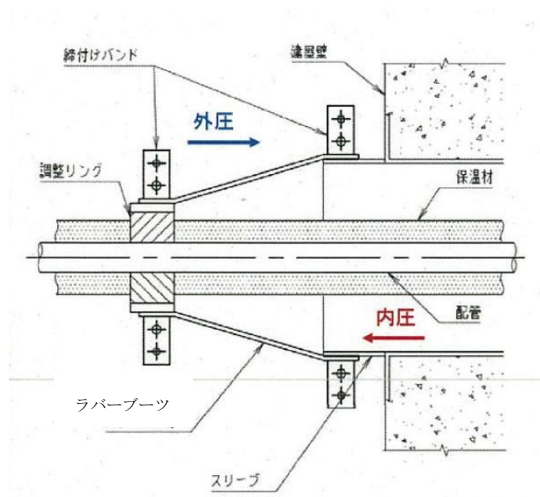


図 2-15 試験装置全体図

表 2-4 試験体諸元・試験結果 (型式 1)

No.	呼び寸法		許容耐圧値 [MPa]	
	配管径 [A]	スリーブ径 [A]	内圧	外圧
1	[Redacted]		0.04	0.03
2			0.03	0.02

表 2-5 試験体諸元・試験結果※ (型式 2)

No.	呼び寸法		許容耐圧値 [MPa]	
	配管径 [A]	スリーブ径 [A]	内圧	外圧
1	[Redacted]		0.20	0.20
2			0.20	0.20
3			0.20	-

※「原子カプラントにおける貫通部シール水密性能検証試験」(三菱重工業株式会社)より抜粋

【試験方法】

ラバーブーツ内側・外側から水により加圧

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(3) モルタル

貫通部の止水処理に用いるモルタルについては、以下のとおり静水圧に対し十分な耐性を有していることを確認している。モルタルの評価概要を図 2-16 に示す。

【検討条件】

- ・スリーブ径：D [mm]
- ・モルタルの充填深さ：L [mm]
- ・配管径：d [mm]
- ・モルタル許容付着強度※：2.0 [N/mm²]
- ・静水圧：0.2 [N/mm²]（保守的に 20m 相当の静水圧を想定）

※「鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説 2010」による。

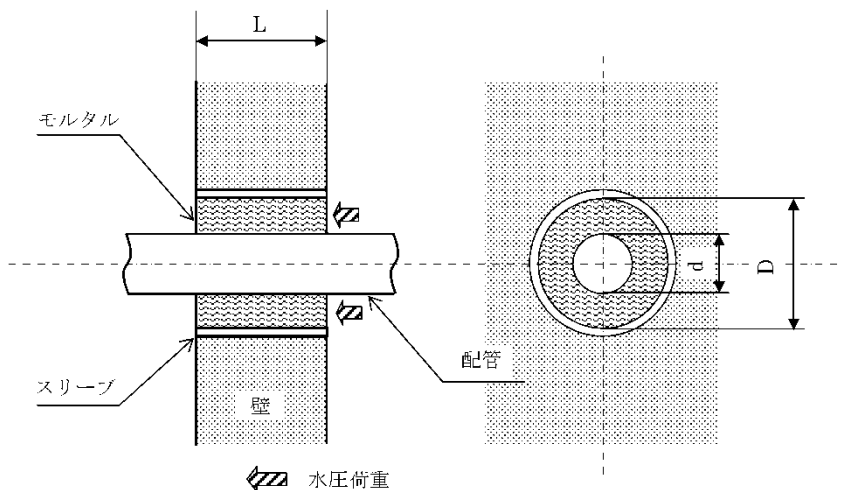


図 2-16 モルタル評価概要図

① モルタル部分に作用する水圧荷重 (P1)

静水圧がモルタル部分に作用したときに生じる荷重は以下のとおり。

$$P1 [N] = 0.2 [N/mm^2] \times (\pi \times (D^2 - d^2) / 4) [mm^2]$$

② モルタルの許容付着荷重 (P2)

静水圧がモルタル部分に作用したときに、モルタルが耐える限界の付着荷重は以下のとおり。

$$P2 [N] = 2.0 [N/mm^2] \times (\pi \times (D + d) \times L) [mm^2]$$

モルタルの付着強度は、付着面積及び充填深さに比例するため、ここでは、保守的に貫通部に配管がない状態 (d=0) を想定し評価を行った。

静水圧に対して止水性能を確保するためには、 $P1 \leq P2$ であるため、以下のように整理できる。

$$0.03 \times D \text{ [mm]} \leq L \text{ [mm]}$$

上式より、モルタル施工箇所が止水性能を発揮するためには、貫通スリーブ径の3%以上の充填深さが必要である。例えば400mmの貫通スリーブに対して、約12mm以上の充填深さが必要であるが、実機における対象貫通部の最小厚さ200mmに対し、モルタルは壁厚さと同程度の厚さで充填されていることを踏まえると、止水性能は十分に確保できる。

2.1.4.2 シール材、ラバーブーツ及びモルタルの耐震性について

(1) シール材及びラバーブーツ

シリコンは伸縮性に優れたシール材であり、また、ラバーブーツについては、配管等の変位追従性に優れた構造となっていることから、地震によりシール材及びラバーブーツの健全性が損なわれることはない。

(2) モルタル

モルタルを充填した貫通部のうち配管口径100A以下かつモルタル充填深さ500mm以上のものについては、配管口径100A及びモルタル充填深さ500mmを代表ケースとして、また、配管口径が100Aを超えるか、又はモルタル充填深さが500mm未満のものについては個々の配管口径及びモルタル充填深さによる評価を行い、表2-6のとおり基準地震動 S_s による地震力において貫通部に発生する圧縮・付着荷重が、モルタルの許容荷重以下になることを確認した。

表 2-6 貫通部に発生する荷重とモルタルの許容荷重

評価 ケース	配管口径 [A]	モルタル 充填深さ [mm]	圧縮荷重評価		付着荷重評価	
			発生荷重 [kN]	許容荷重 ^{※2} [kN]	発生荷重 [kN]	許容荷重 ^{※2} [kN]
代表						
個別 ^{※1}						

※1 代表ケースに包含されないもののうち、裕度が最小のものを記載。

※2 「鉄筋コンクリート構造計画基準・同解説2010」による。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2.1.5 止水設備及び排水設備が内部火災影響評価に与える影響について

止水及び排水設備の主要材料は鋼板等の金属材料であるが、水密扉に内包するグリス等の可燃性材料を一部使用している。ただし、これらの可燃性材料は微量であり、内部火災影響評価で用いる各区画の等価時間（発熱量と火災荷重より算出）に十分包含されるため、止水及び排水設備の新規設置により、内部火災影響評価へ影響を与えない。また、止水設備の設置箇所と内部火災対策で設置する耐火壁（貫通部シール、防火扉及び防火ダンパ）の設置箇所が重複する場合は、止水及び耐火の両方の性能を満足できるように設備を設置する。具体例としては水密扉と防火扉の両方を設置する対策があり、図 2-17 に原子炉建物地下 1 階の設置箇所を示す。



図 2-17 止水設備と耐火壁の重複設置の例
(原子炉建物地下 1 階)

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2.2 溢水防護対策設備設置箇所

2.2.1 溢水防護対策設備設置箇所（貫通部止水処置除く）

貫通部止水処置を除いた溢水防護対策設備の設置箇所を図 2-18～39 に示す。

2.2.2 貫通部止水処置の施工対象範囲

貫通部止水処置の施工対象となる壁面及び床面を以下の図 2-40～61 に示す。

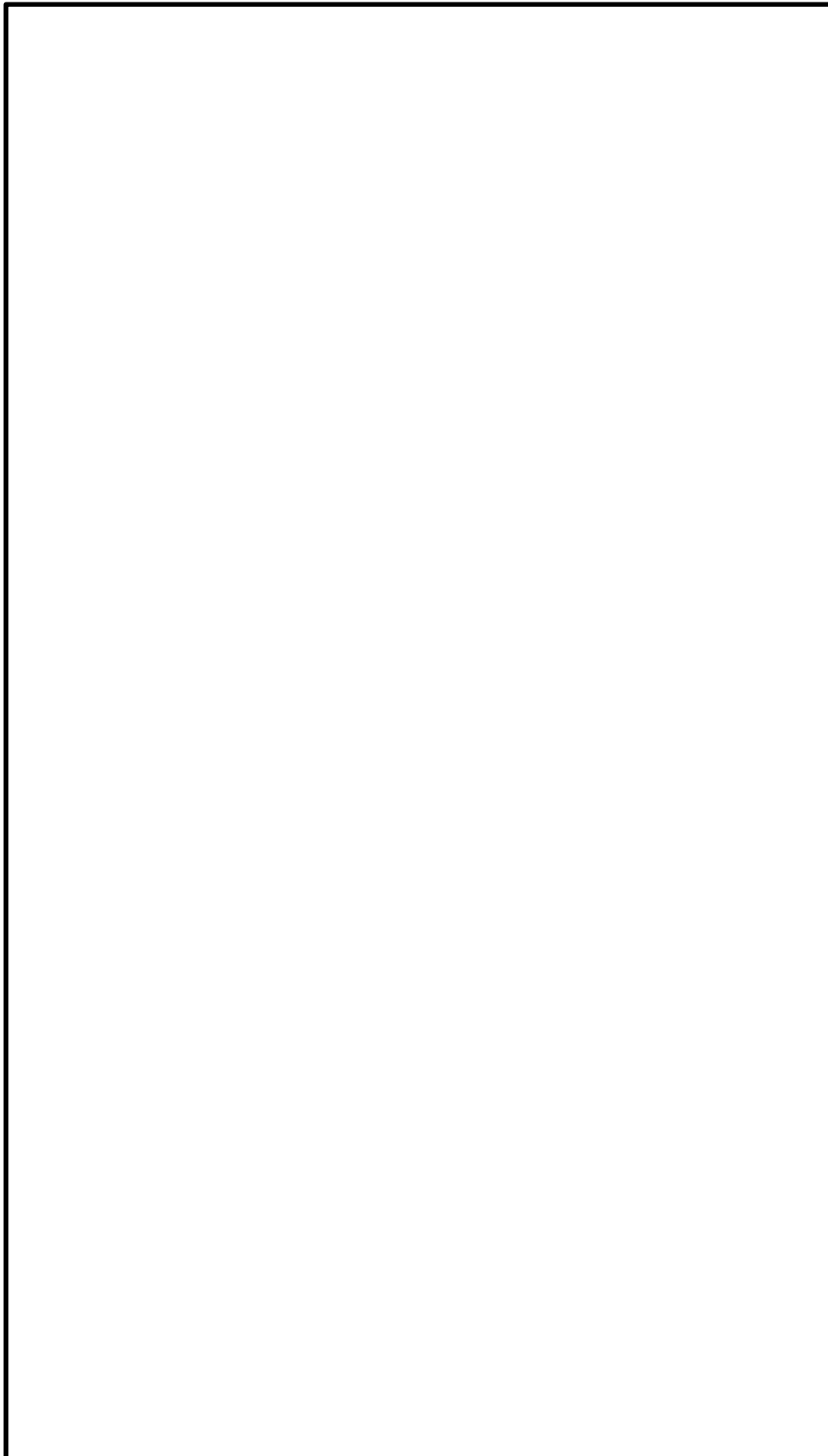


図 2-18 原子炉建物地下 2 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

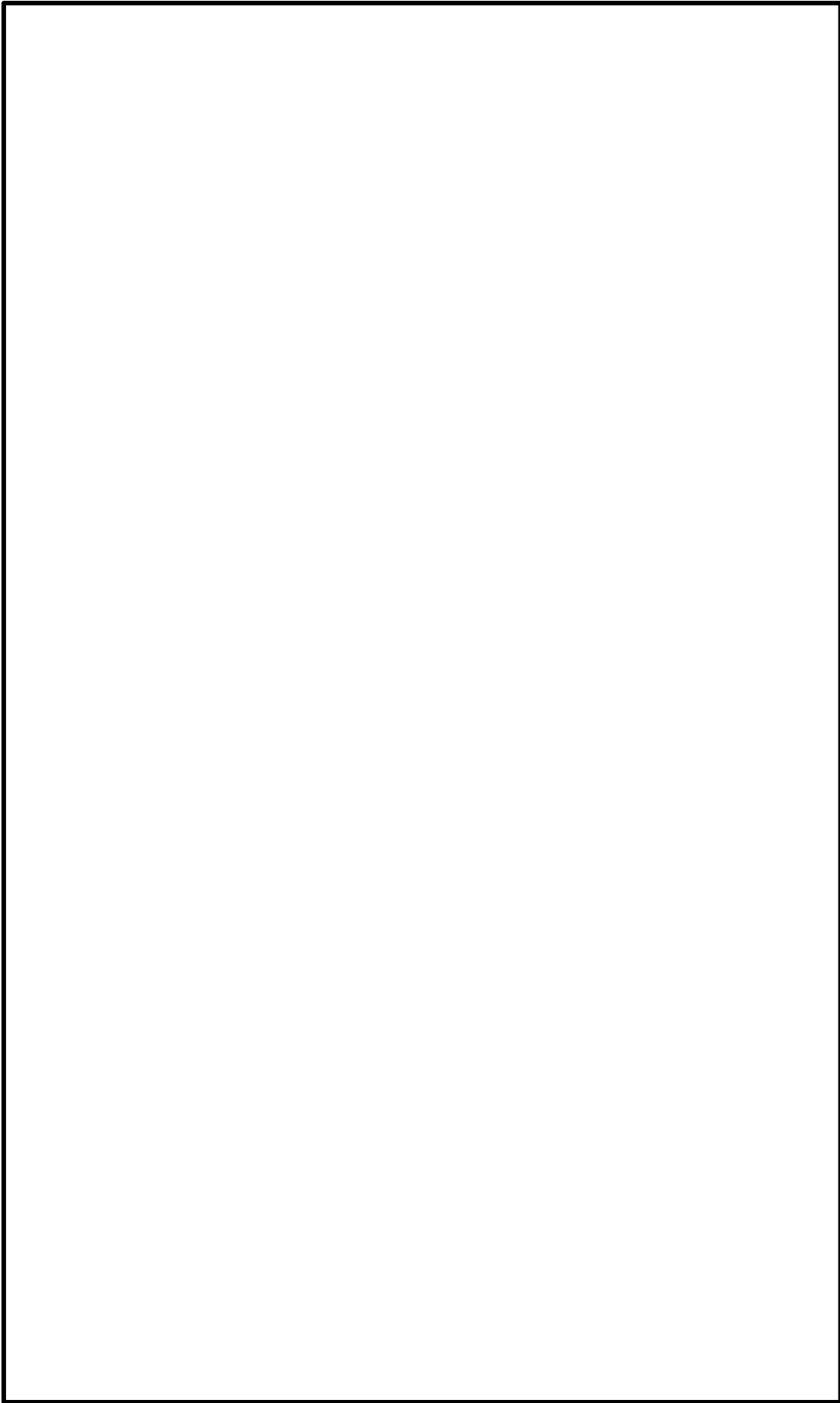


図 2-19 原子炉建物地下 1 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

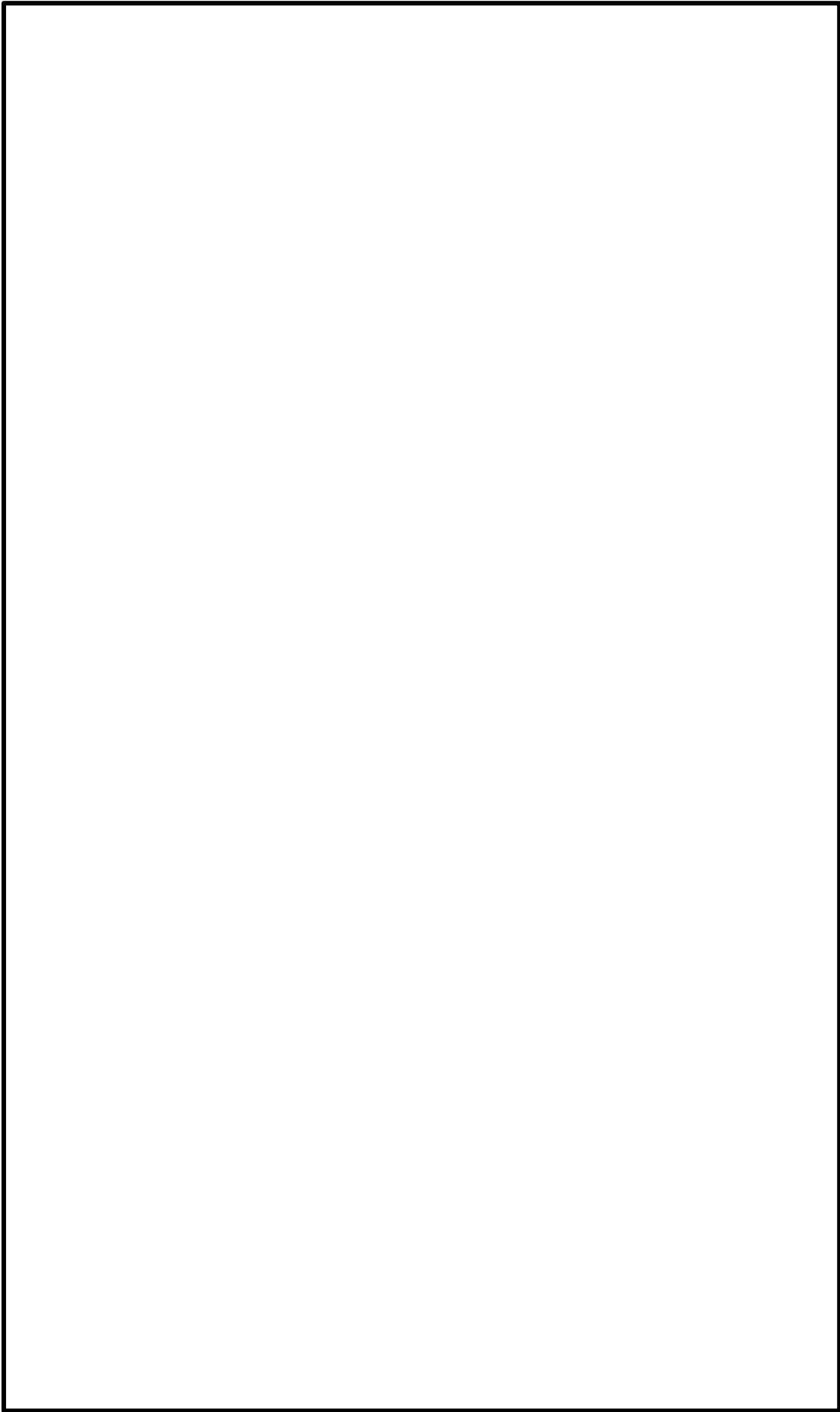


図 2-20 原子炉建物 1 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

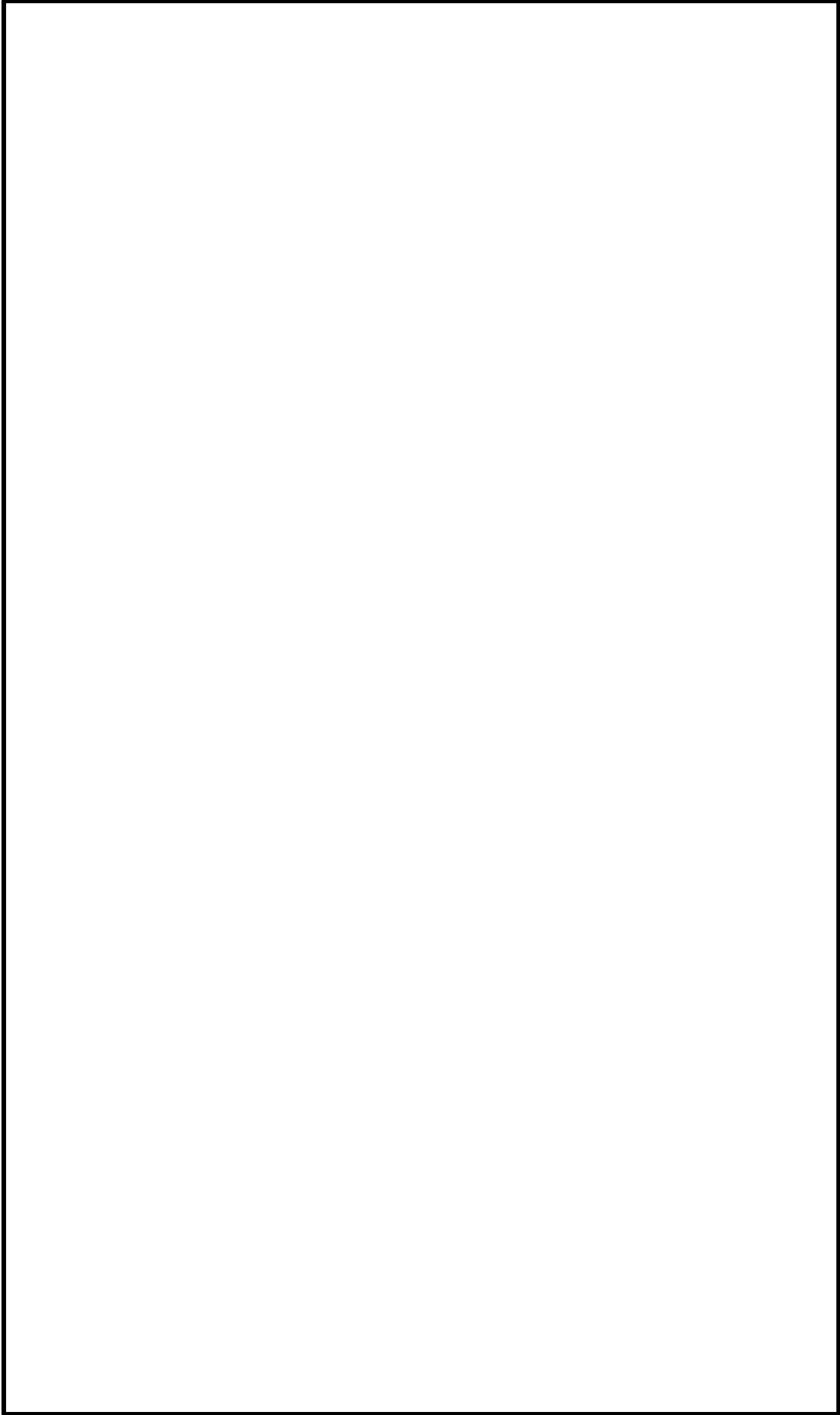


図 2-21 原子炉建物 2 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

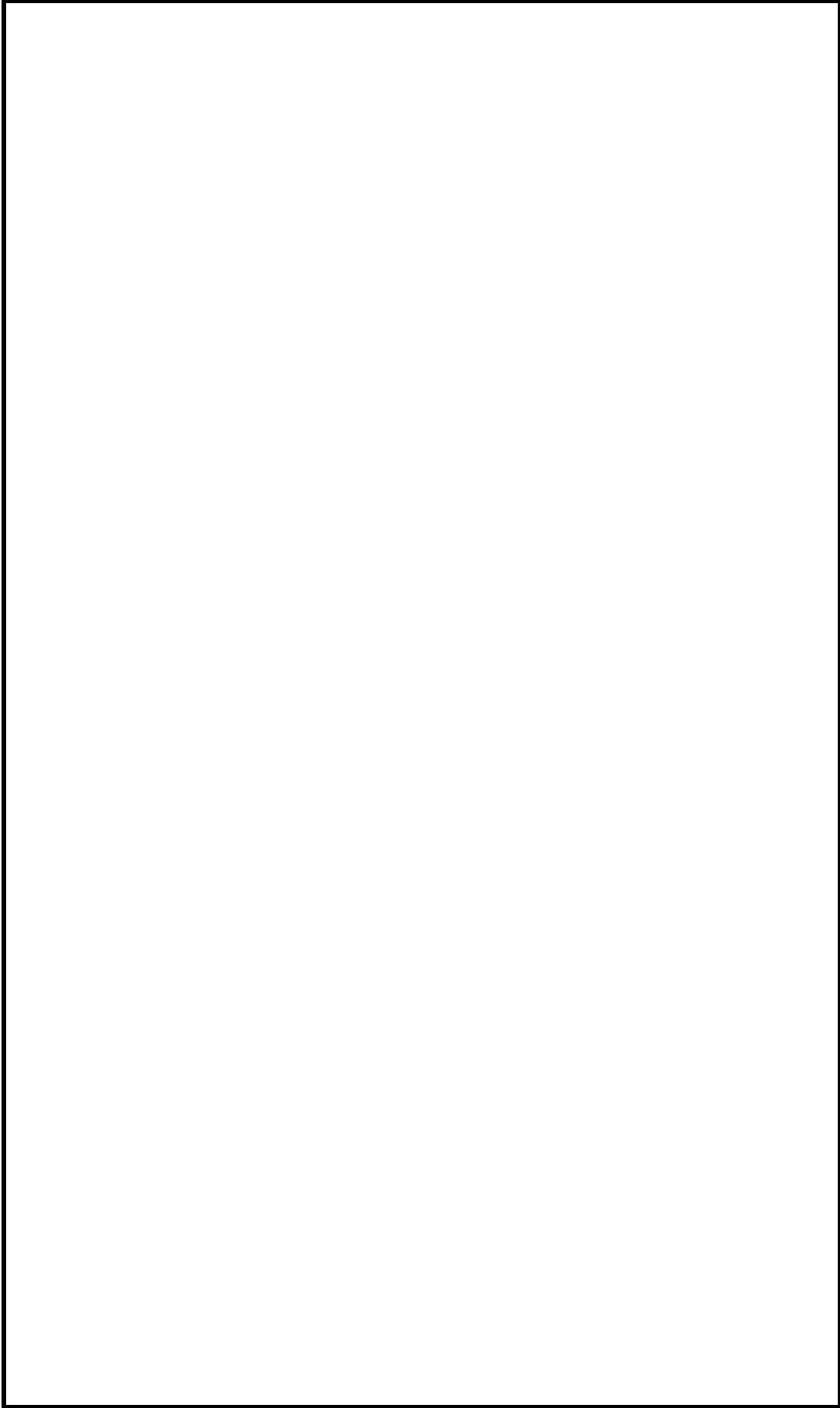


図 2-22 原子炉建物中 2 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

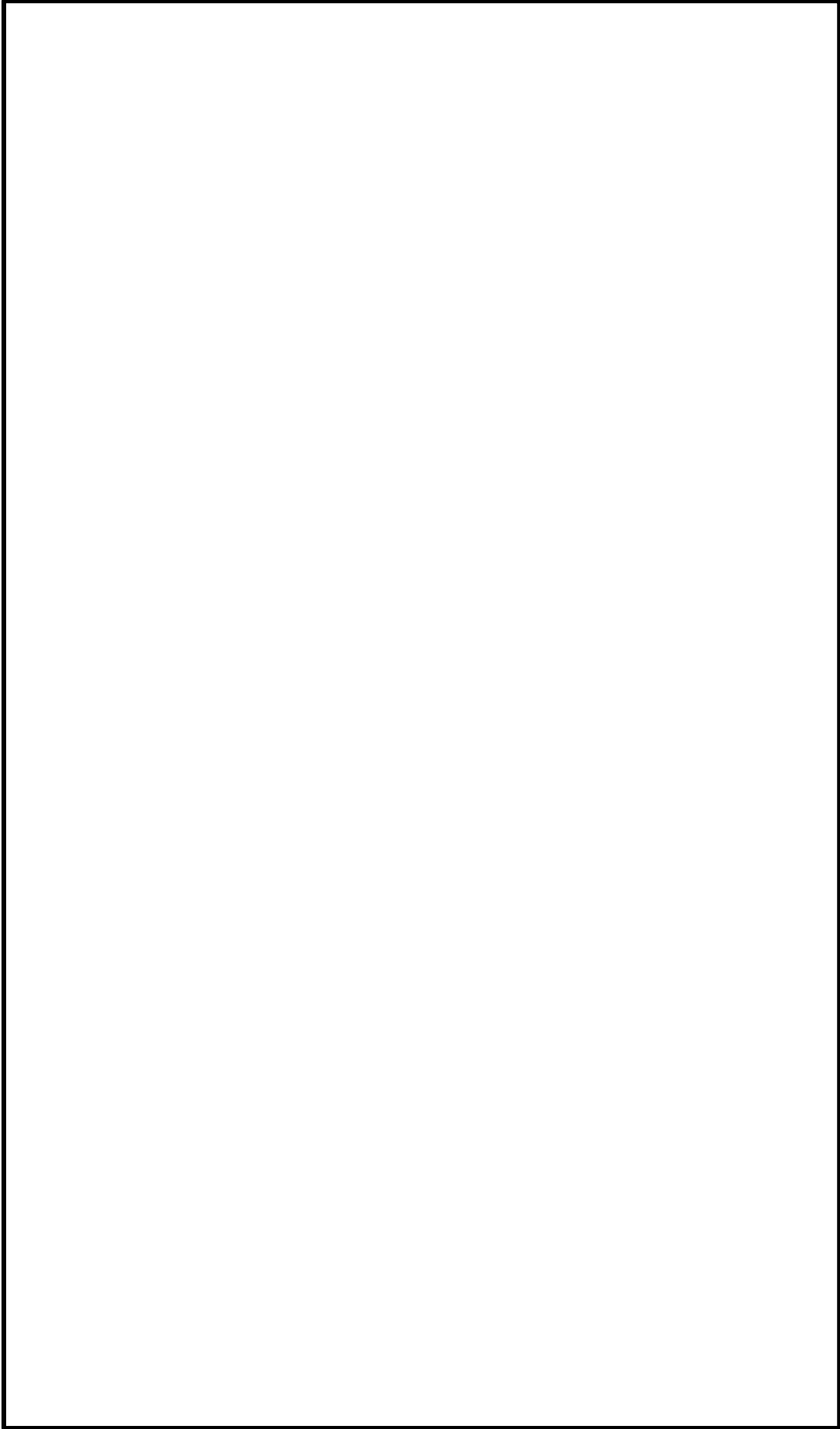


図 2-23 原子炉建物 3 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

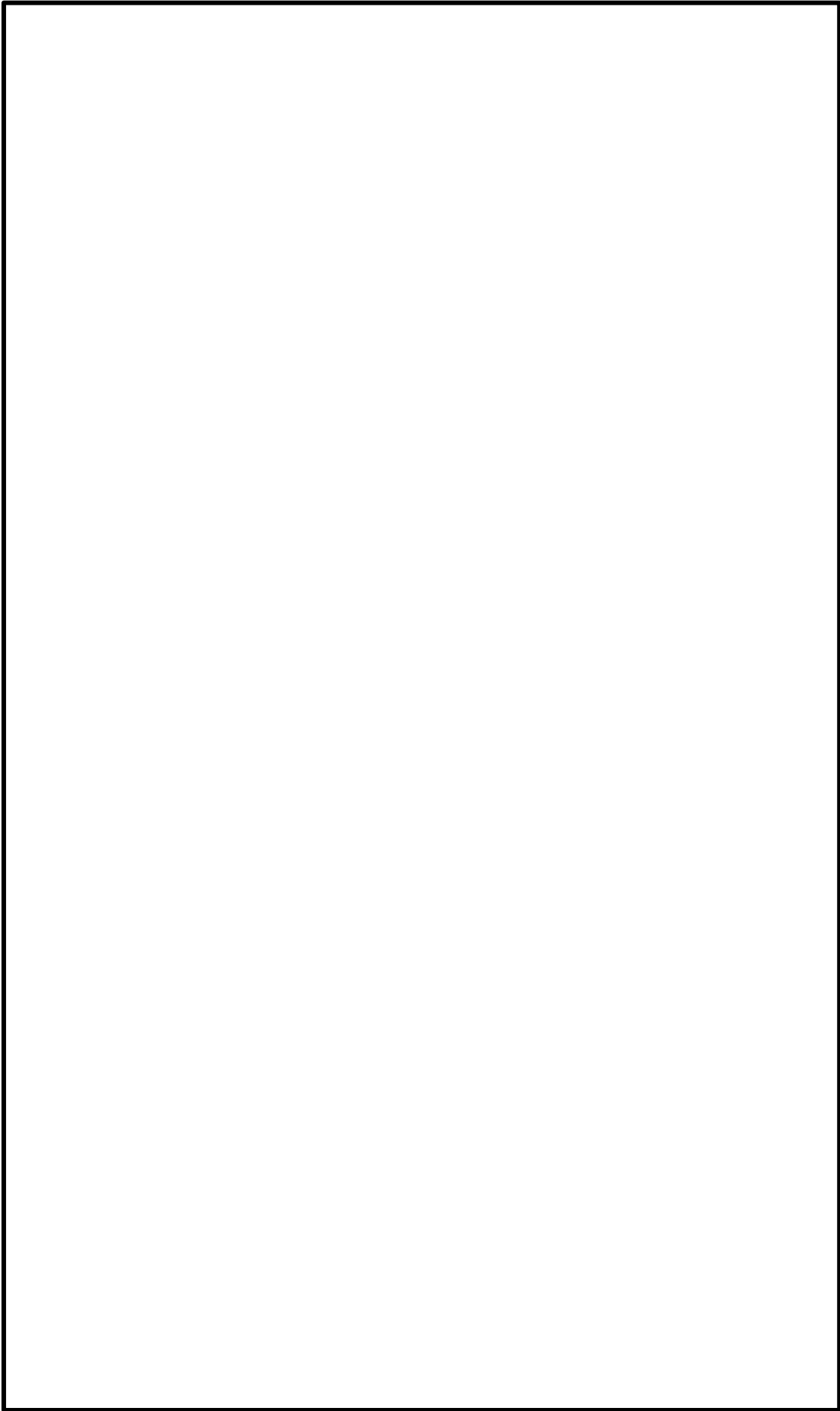


図 2-24 原子炉建物 4 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



図 2-26 廃棄物処理建物地下 1 階 溢水防護対策設備設置箇所

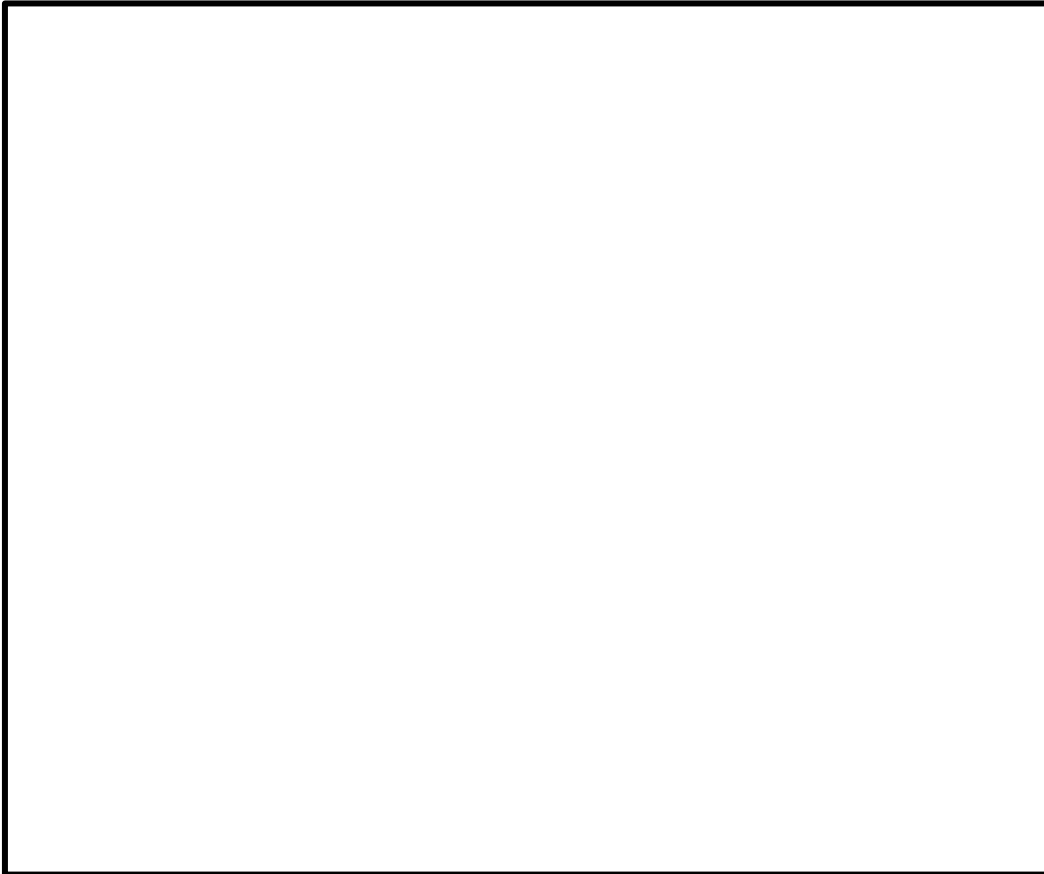


図 2-25 廃棄物処理建物地下 2 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



図 2-28 廃棄物処理建物 1 階 溢水防護対策設備設置箇所



図 2-27 廃棄物処理建物地下中 1 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

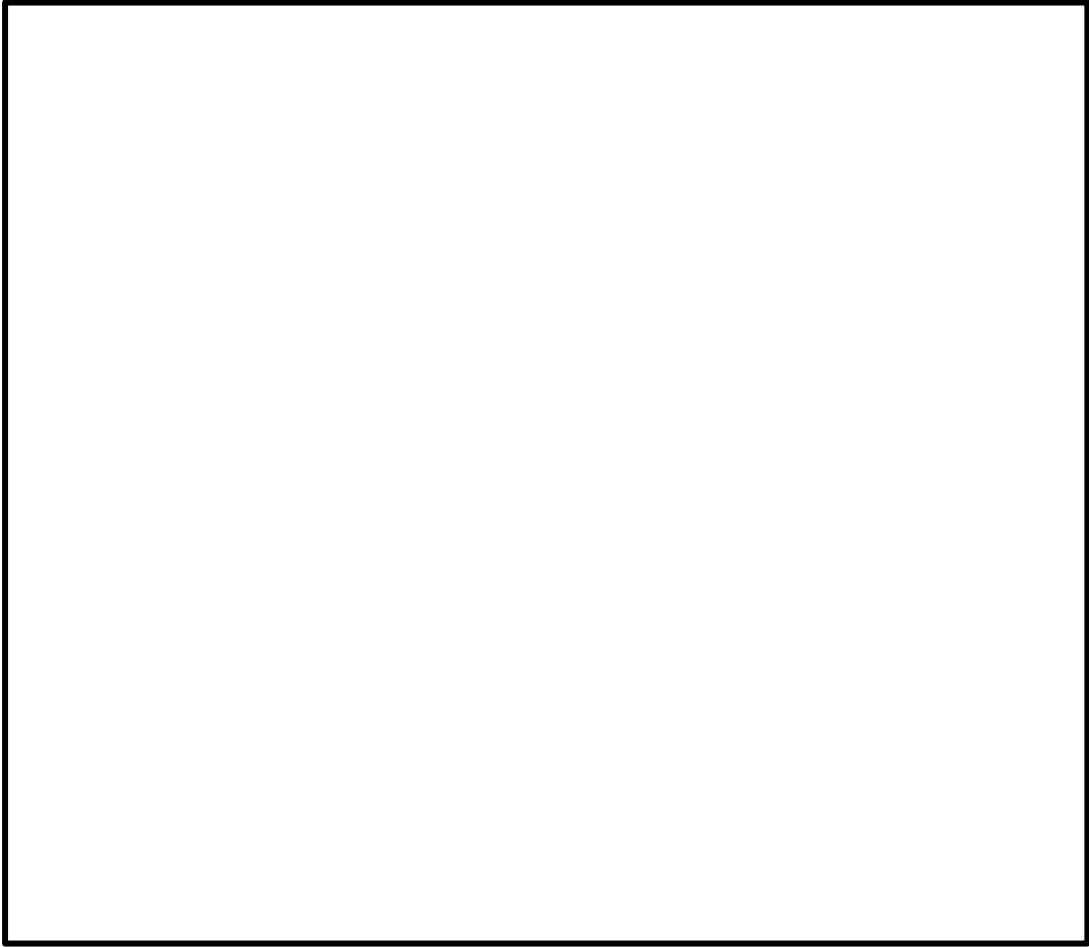


図 2-30 廃棄物処理建物 3 階 溢水防護対策設備設置箇所

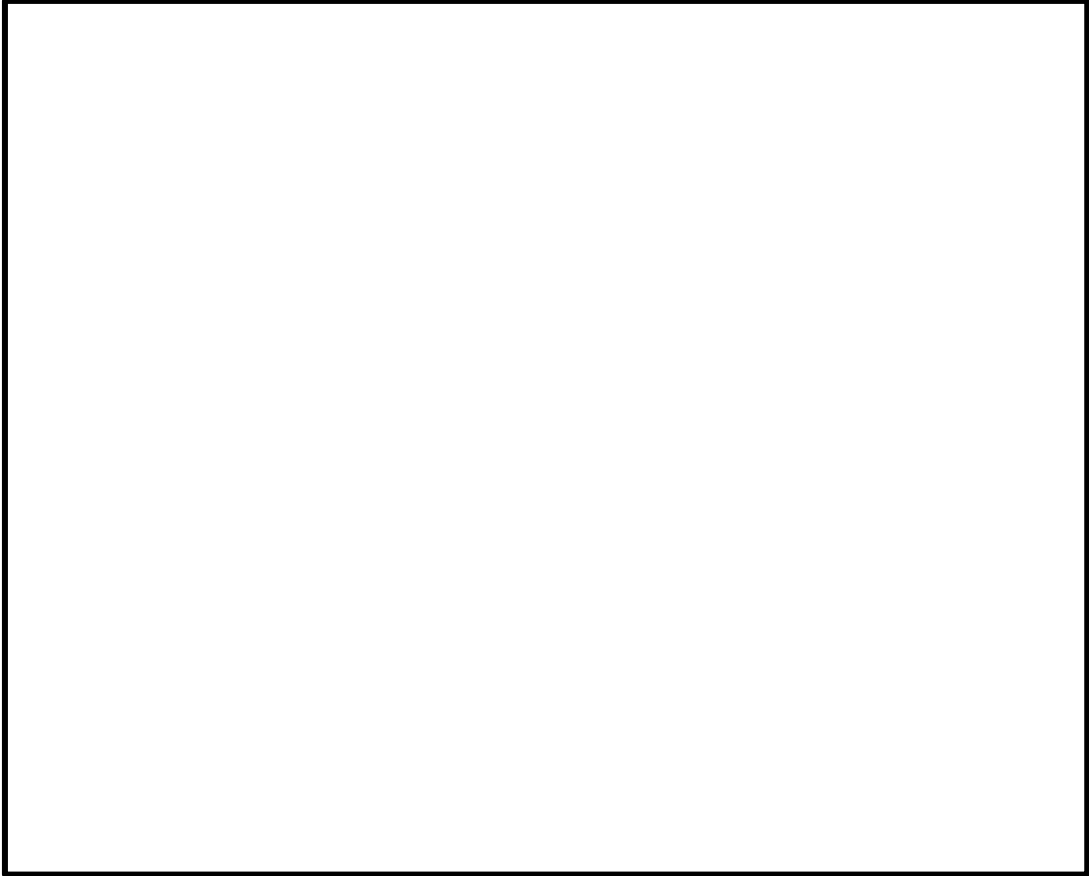


図 2-29 廃棄物処理建物 2 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

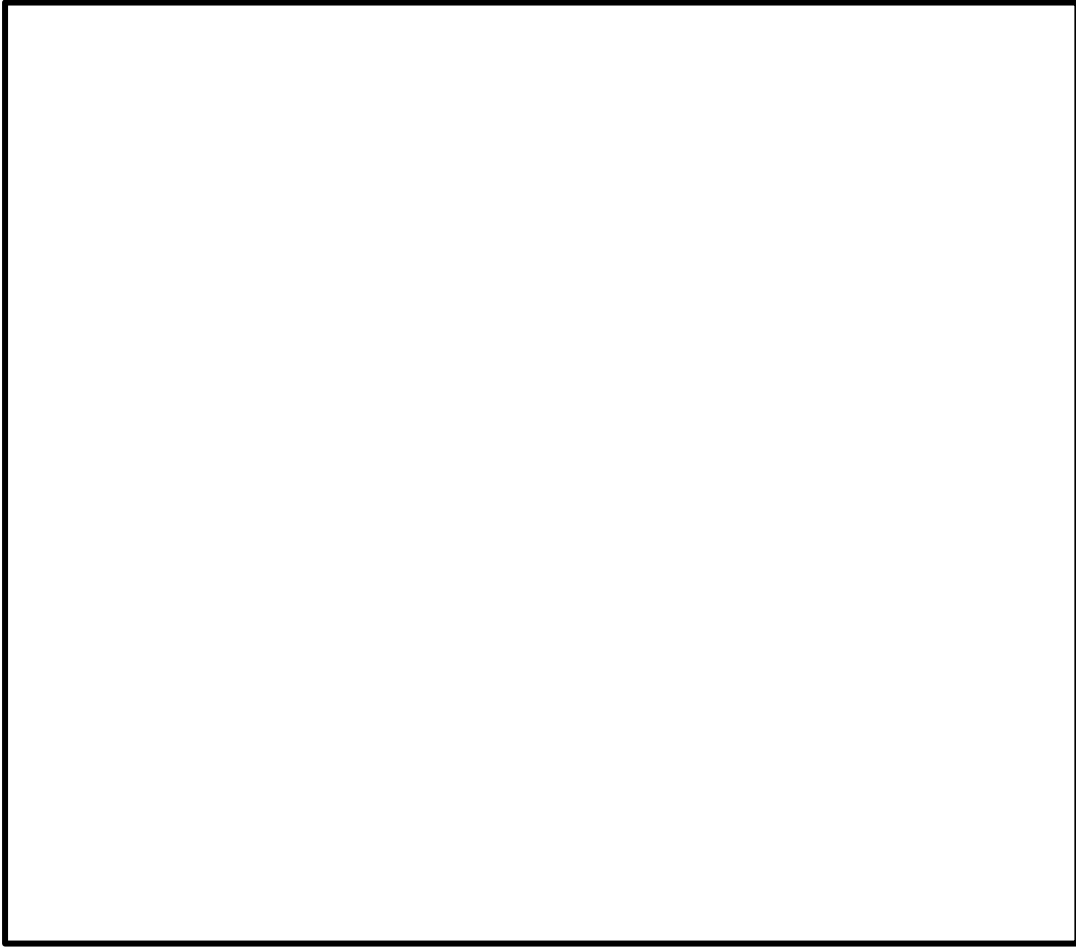


図 2-32 廃棄物処理建物 5 階 溢水防護対策設備設置箇所

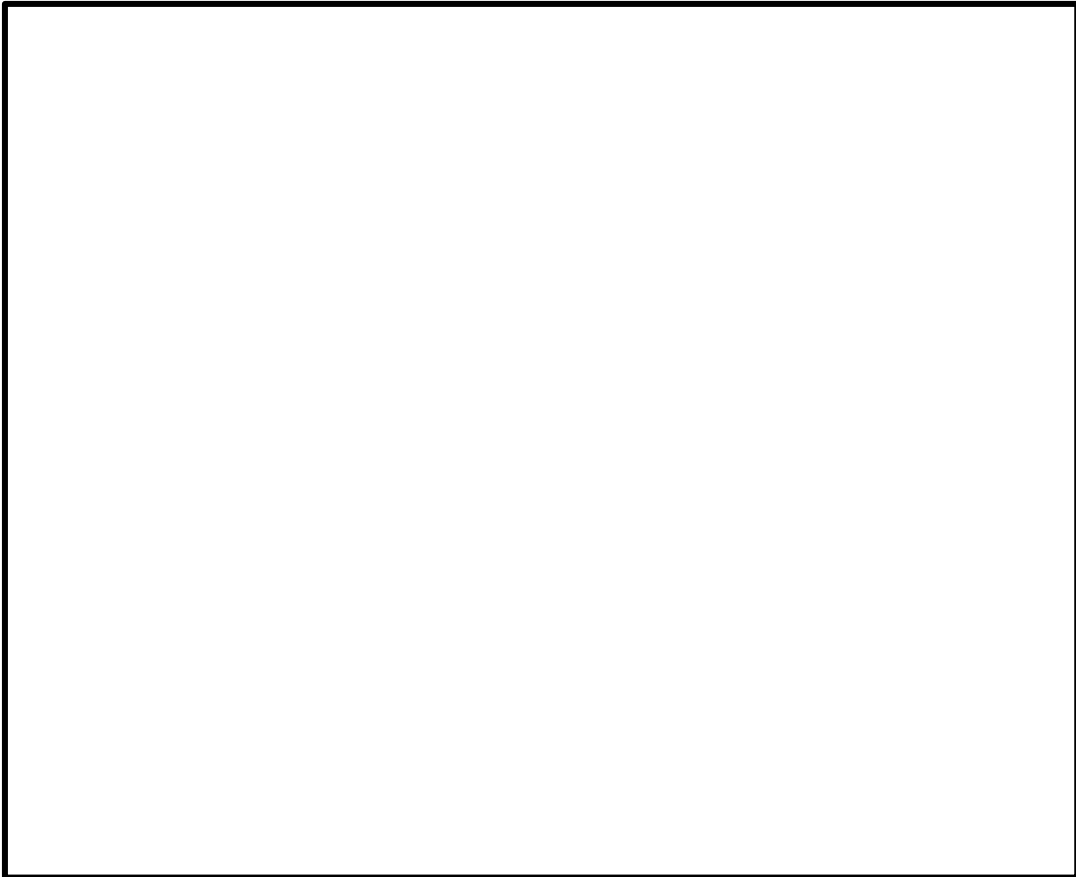


図 2-31 廃棄物処理建物 4 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



図2-35 制御室建物2階 溢水防護対策設備設置箇所



図2-34 制御室建物中2階 溢水防護対策設備設置箇所

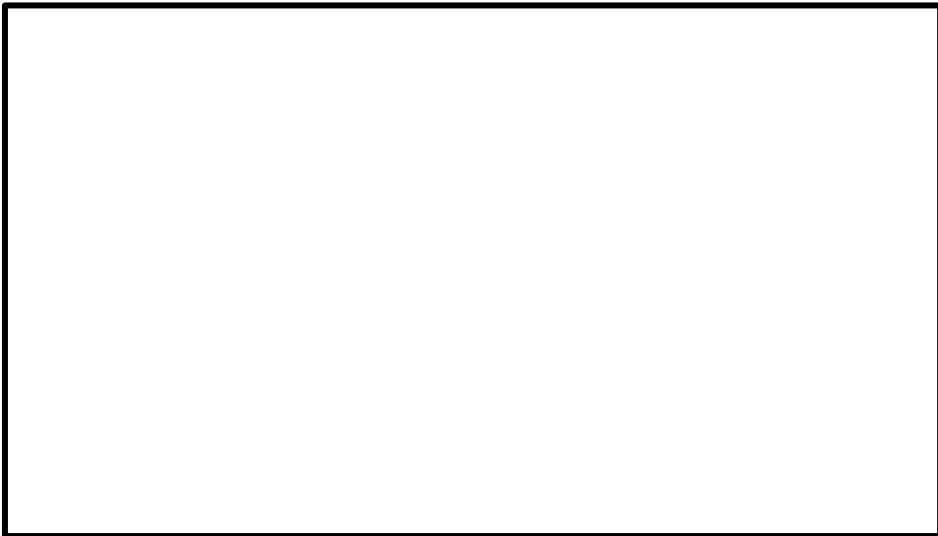


図2-33 制御室建物1階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



図 2-36 制御室建物 3 階 溢水防護対策設備設置箇所

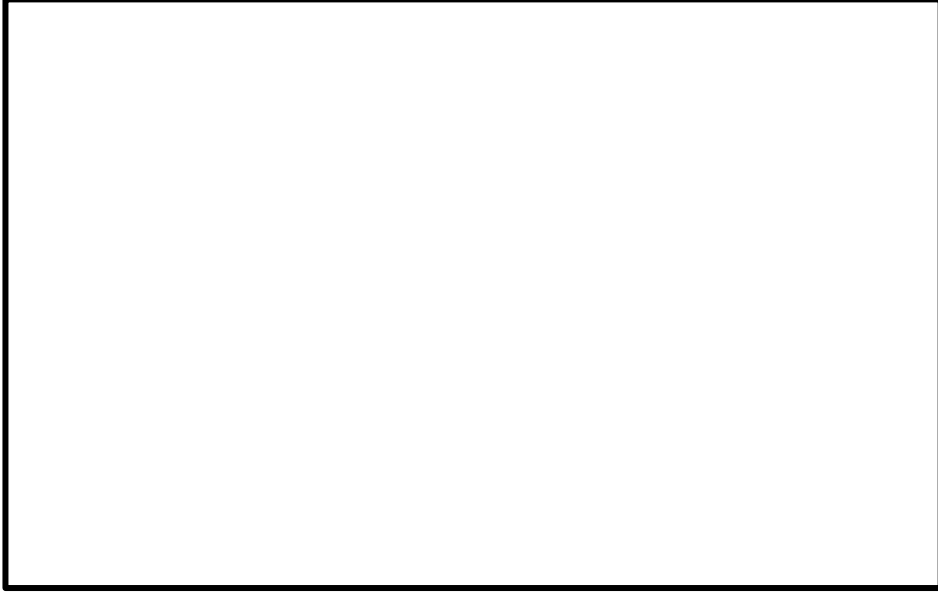


図 2-37 制御室建物 4 階 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

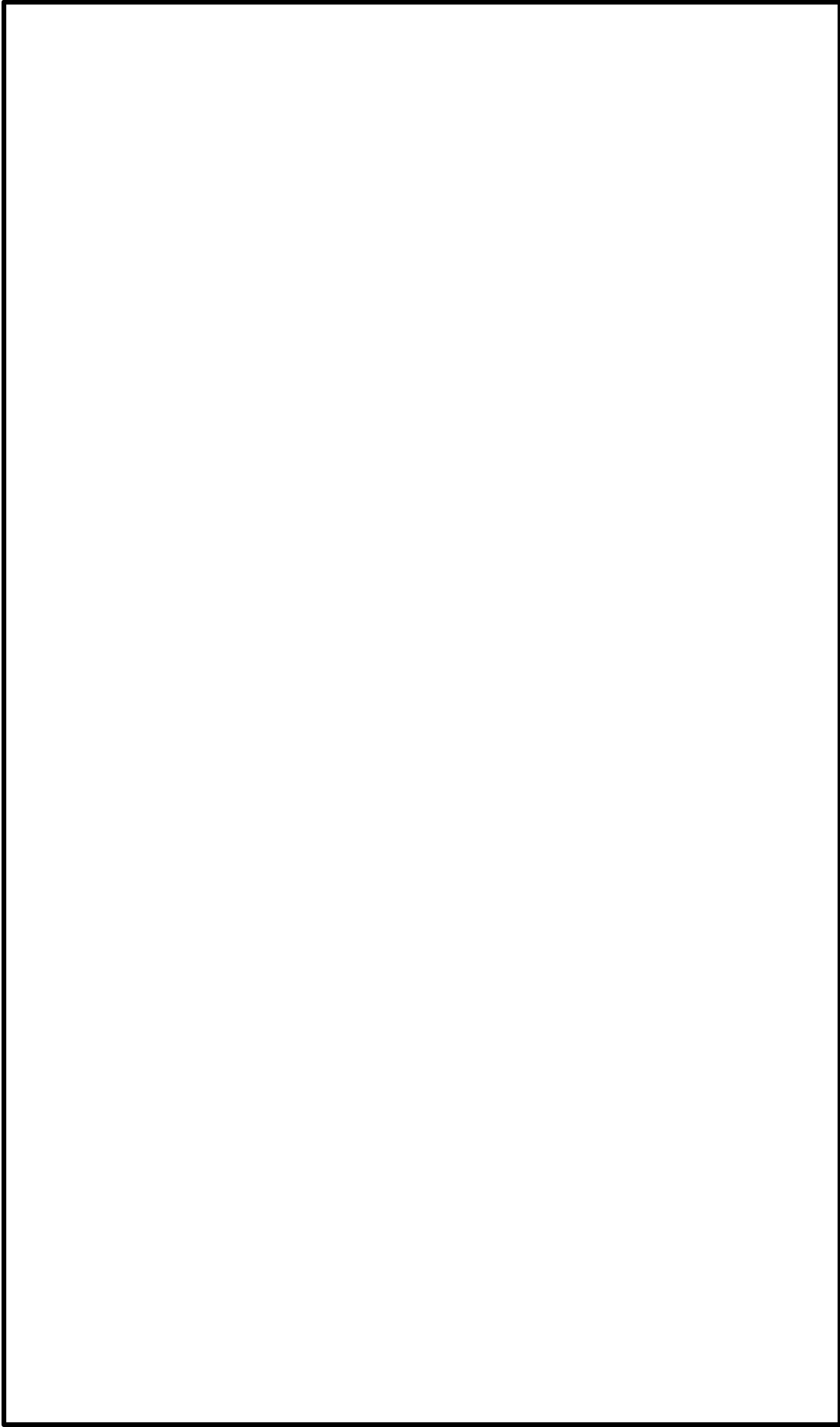


図 2-38 取水槽 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

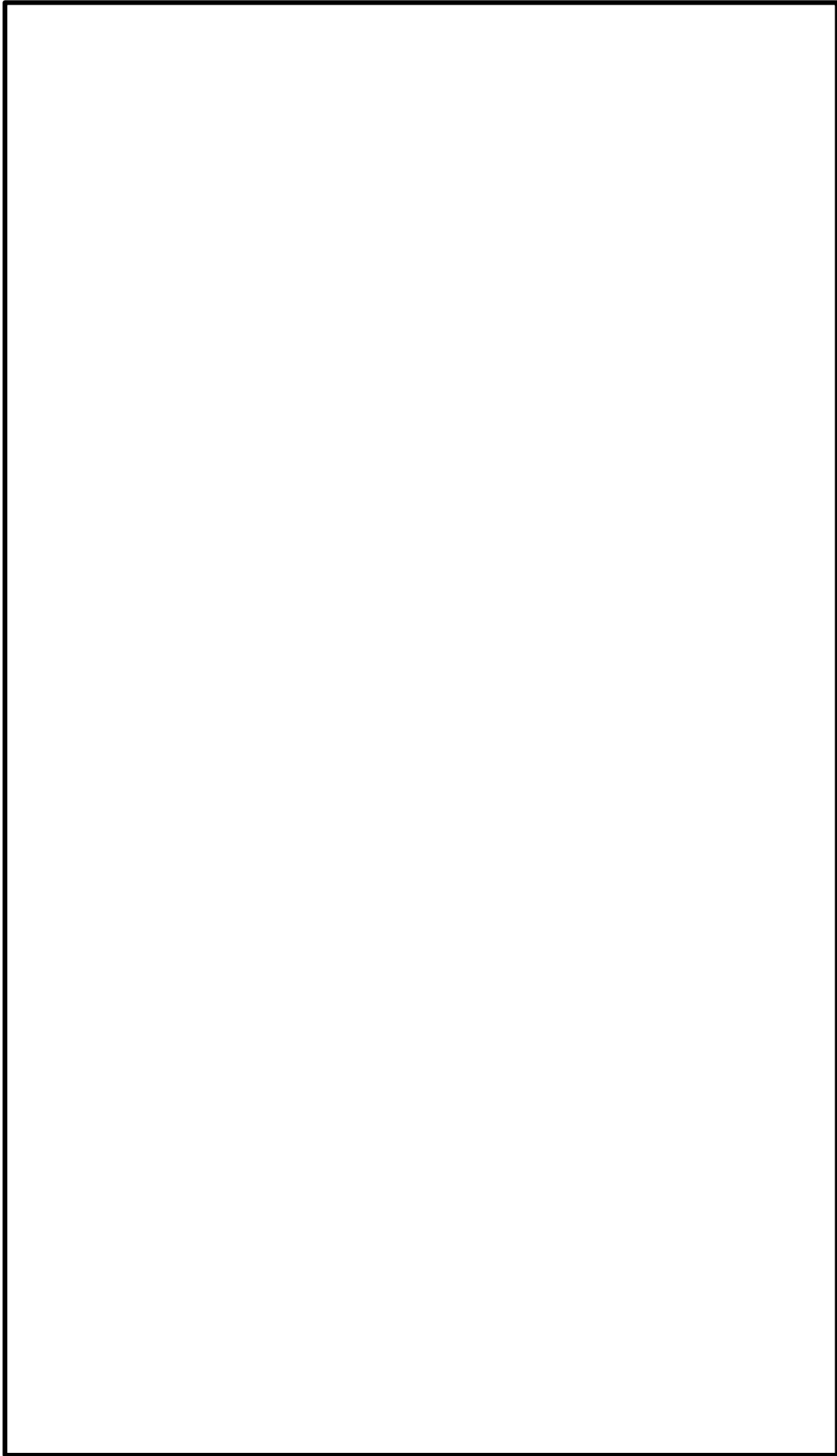


図 2-39 排気筒エリア 溢水防護対策設備設置箇所

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

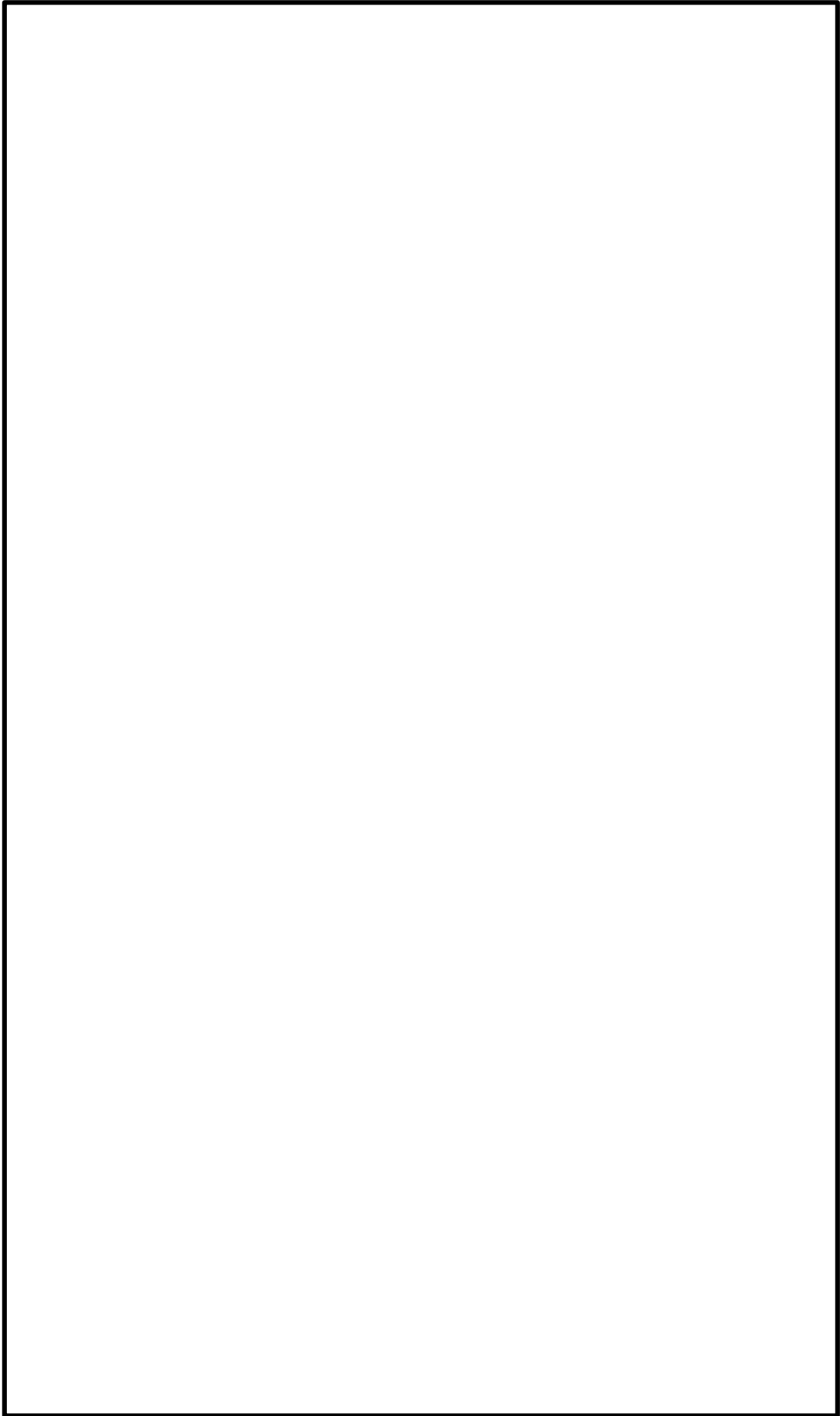


図 2-40 原子炉建物地下 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

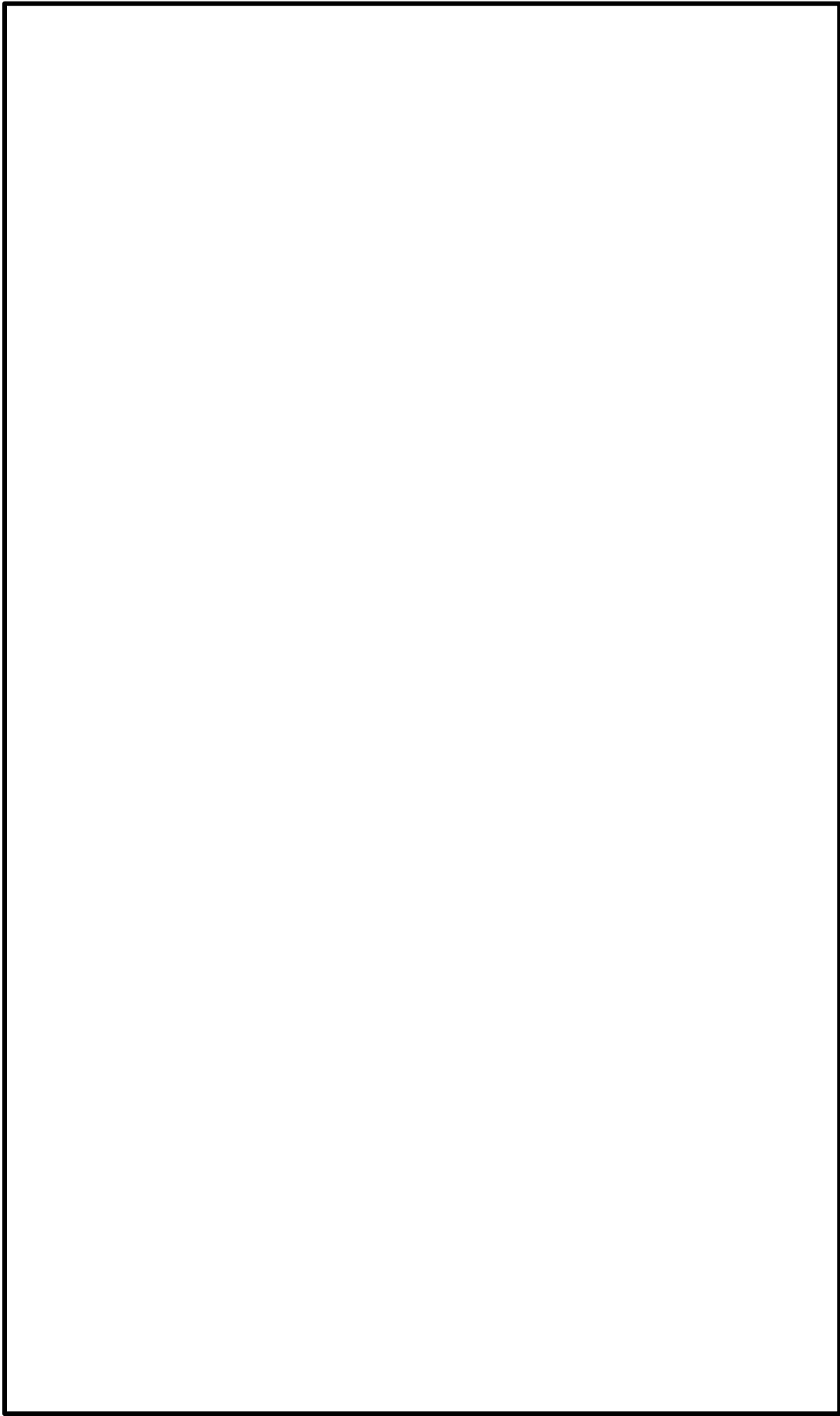


図 2-41 原子炉建物地下 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

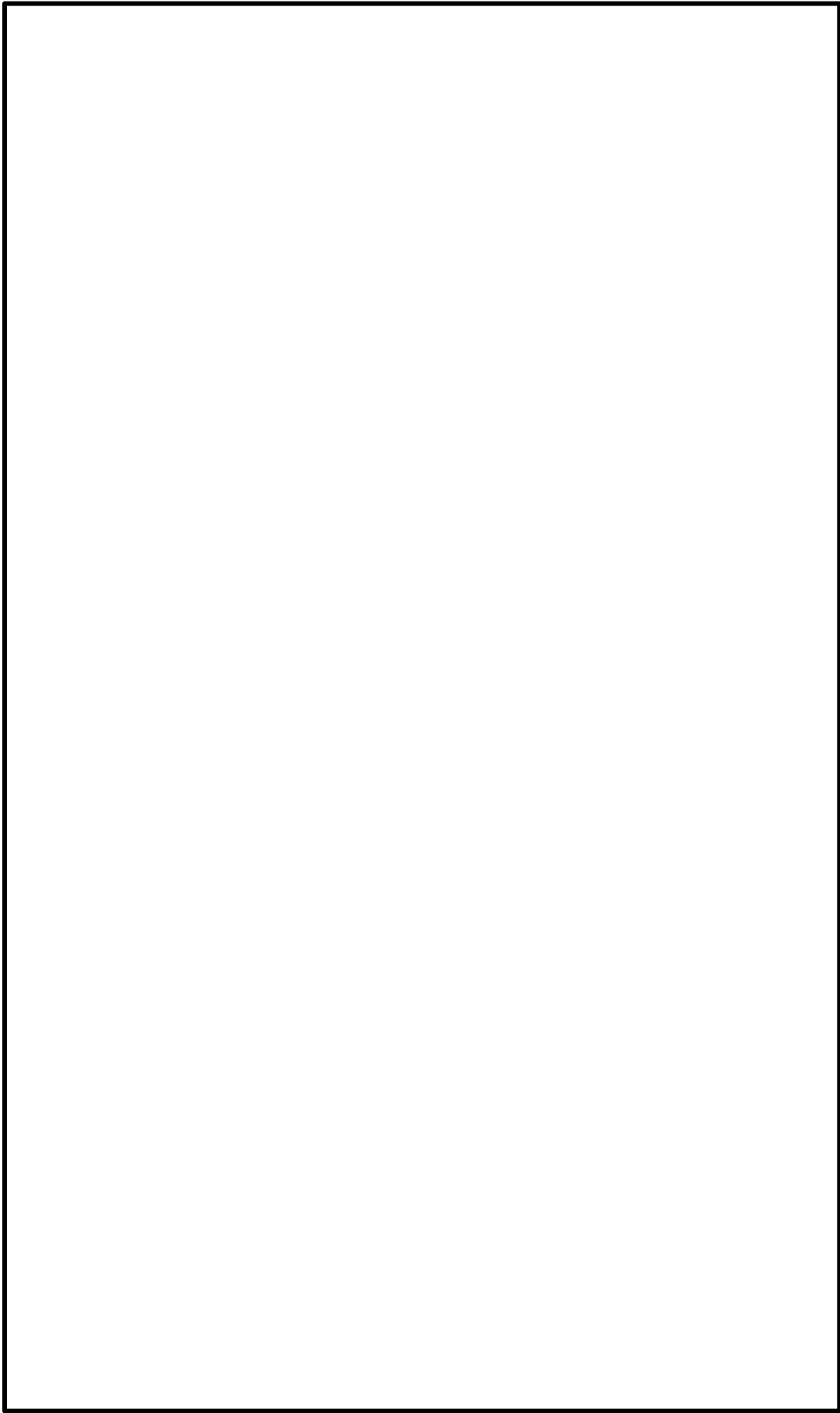


図 2-42 原子炉建物 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

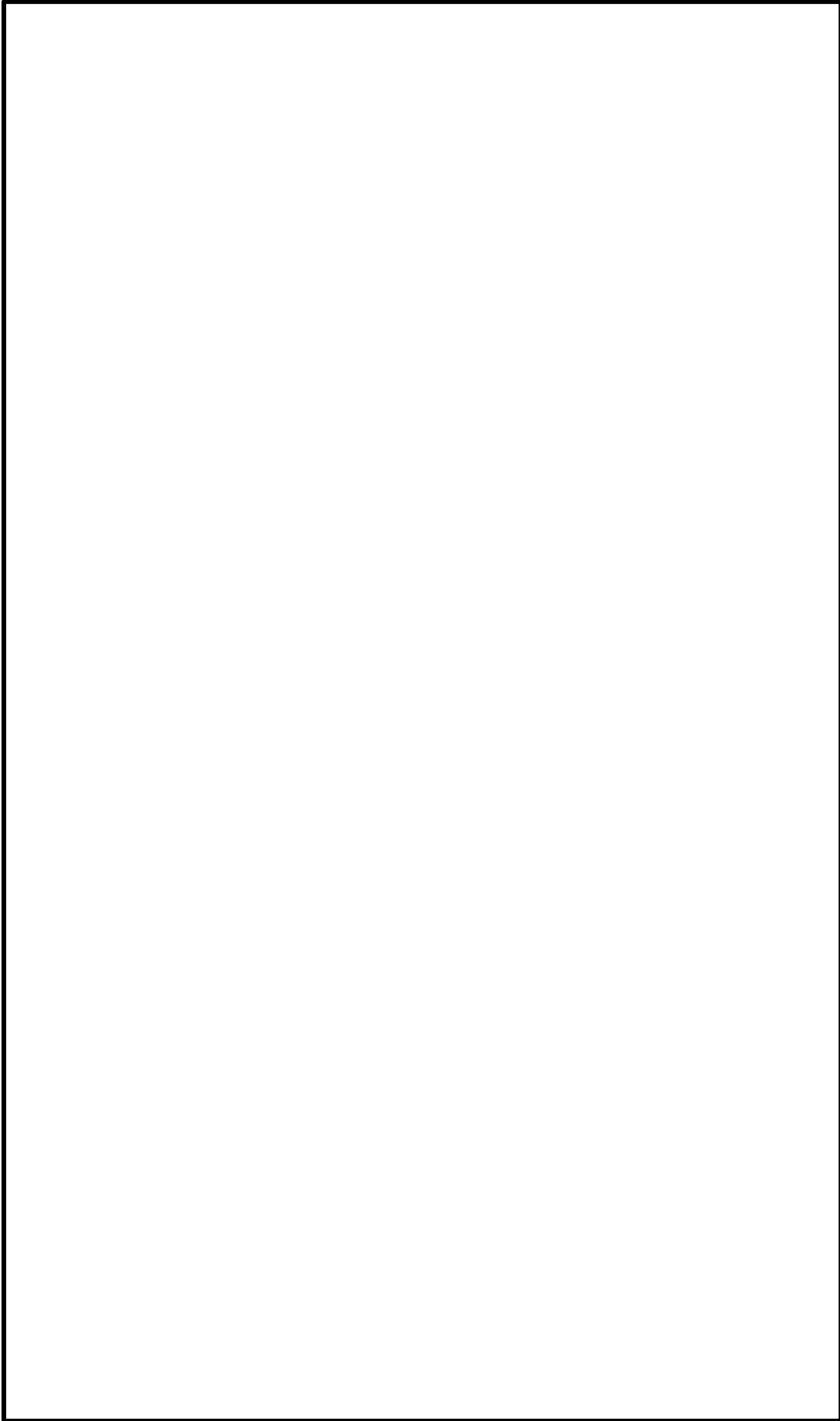


図 2-43 原子炉建物 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

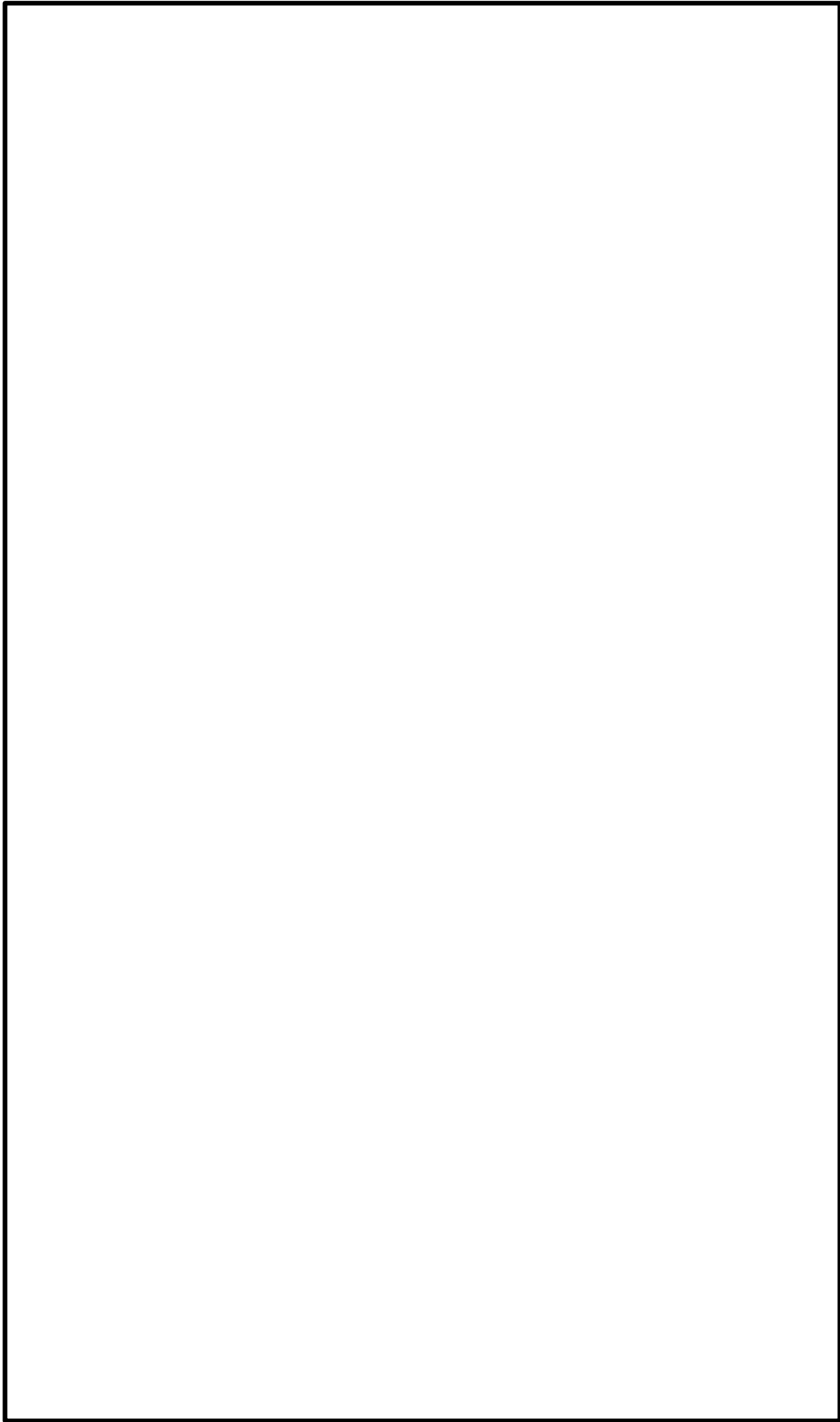


図 2-44 原子炉建物中 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

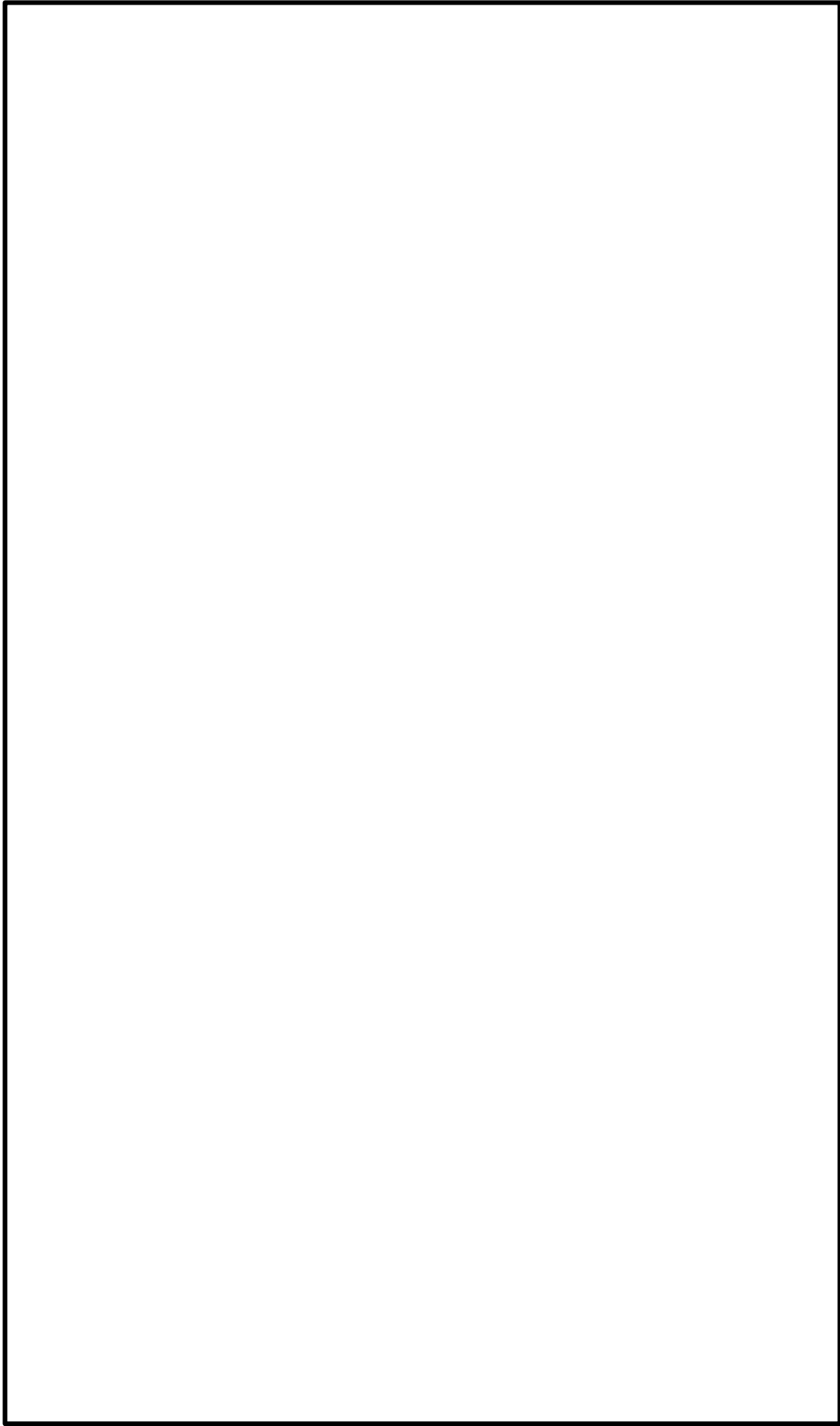


図 2-45 原子炉建物 3 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

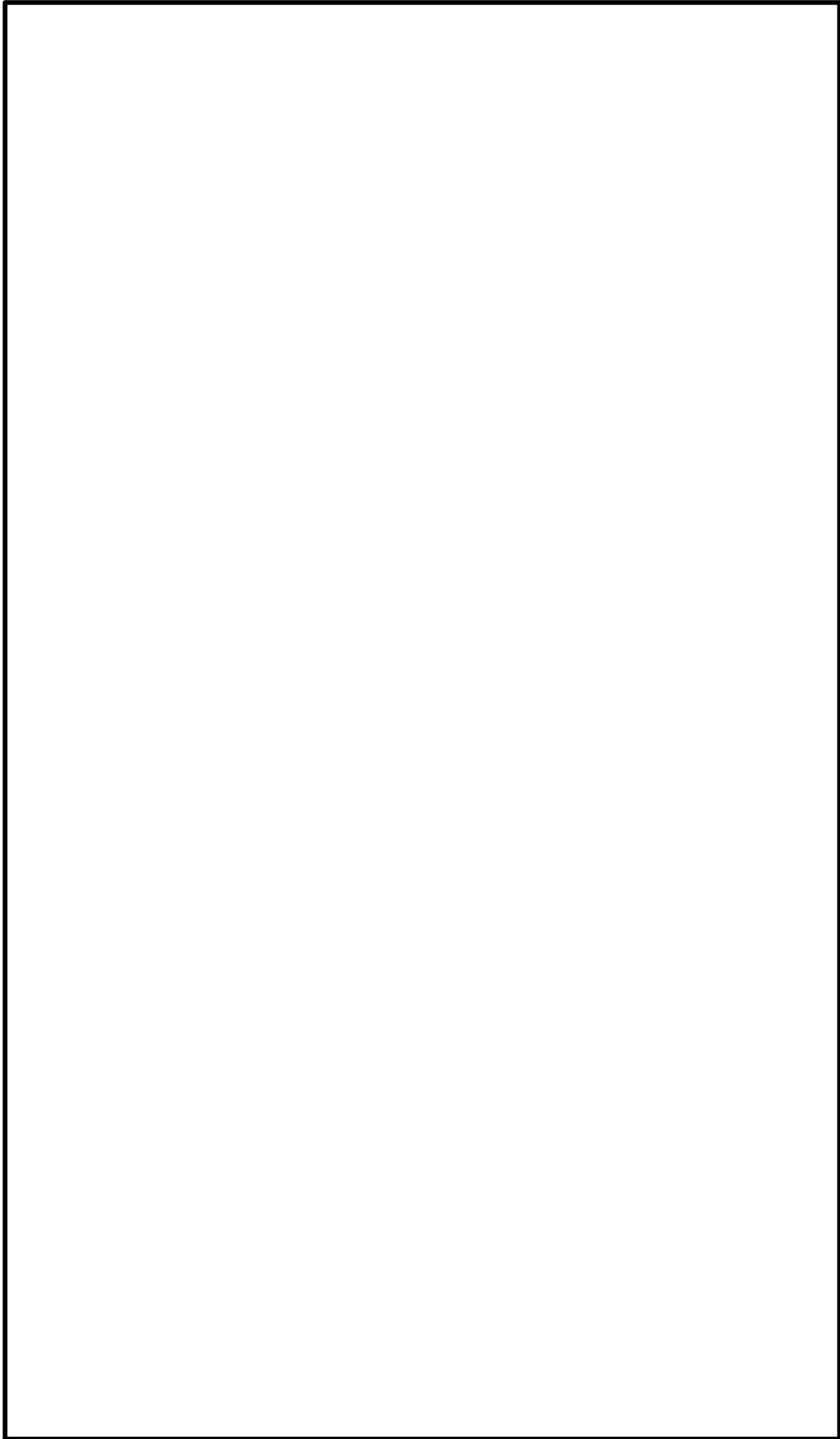


図 2-46 原子炉建物 4 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

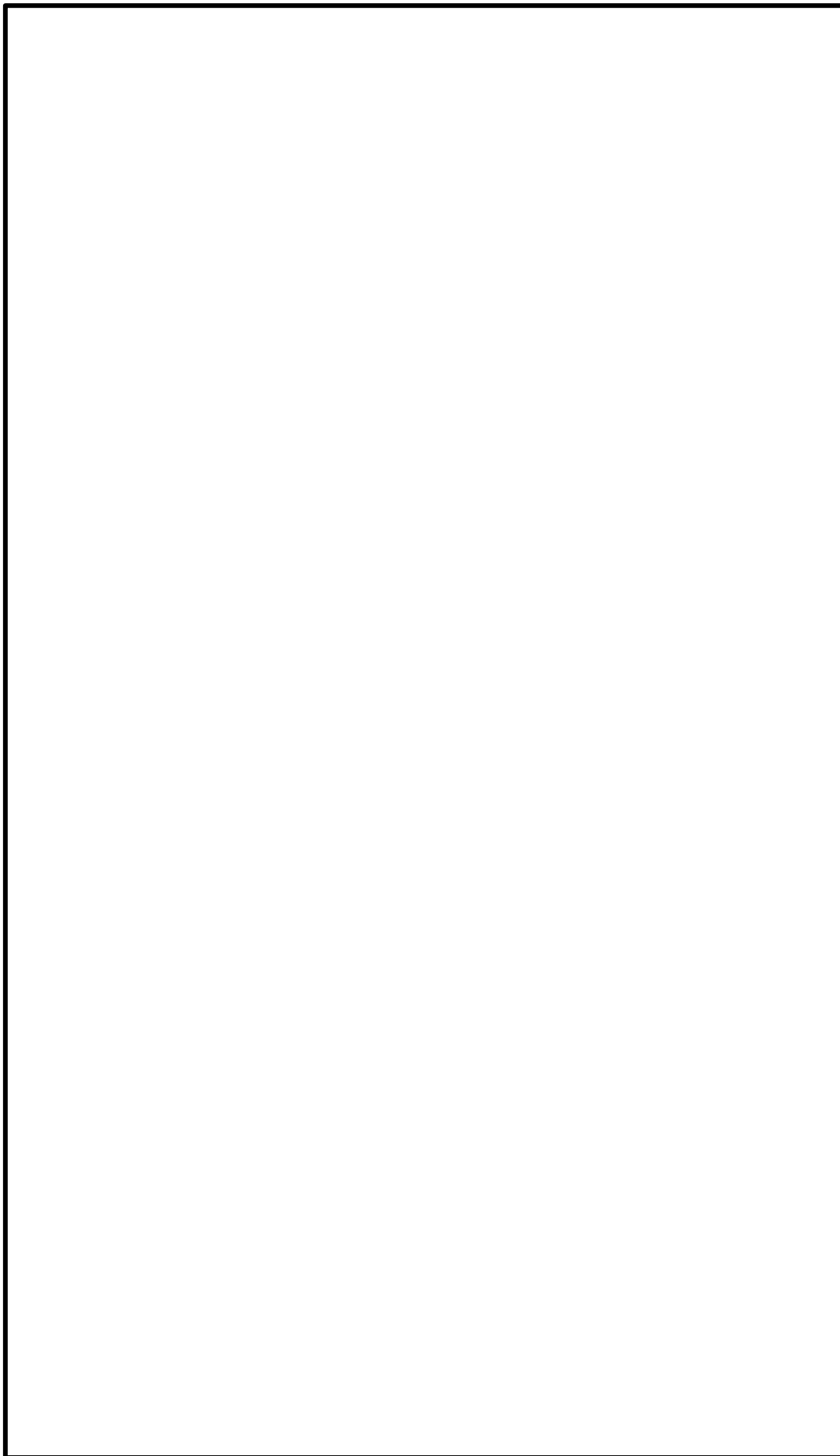


図 2-47 廃棄物処理建物地下 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

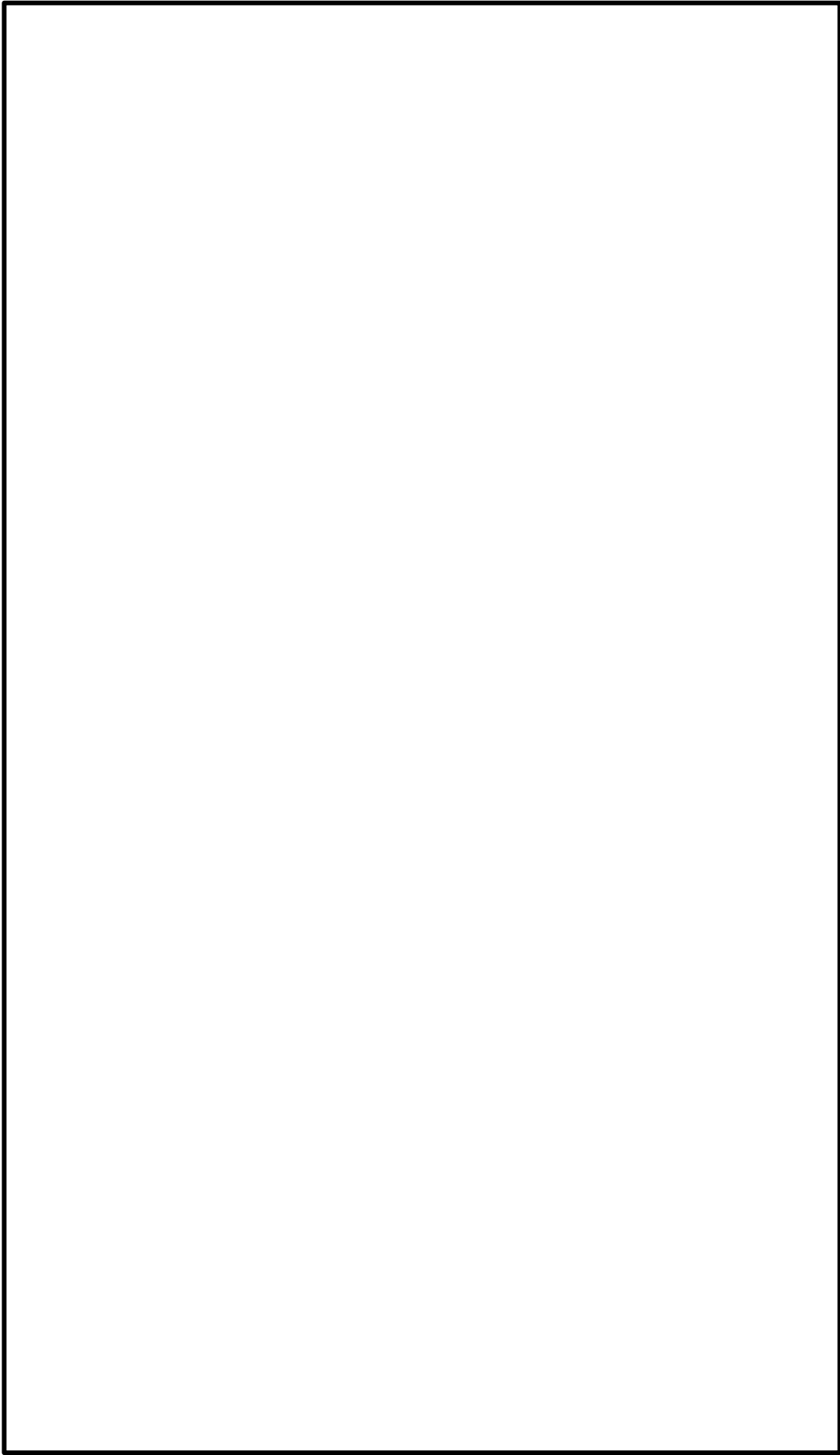


図 2-48 廃棄物処理建物地下 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

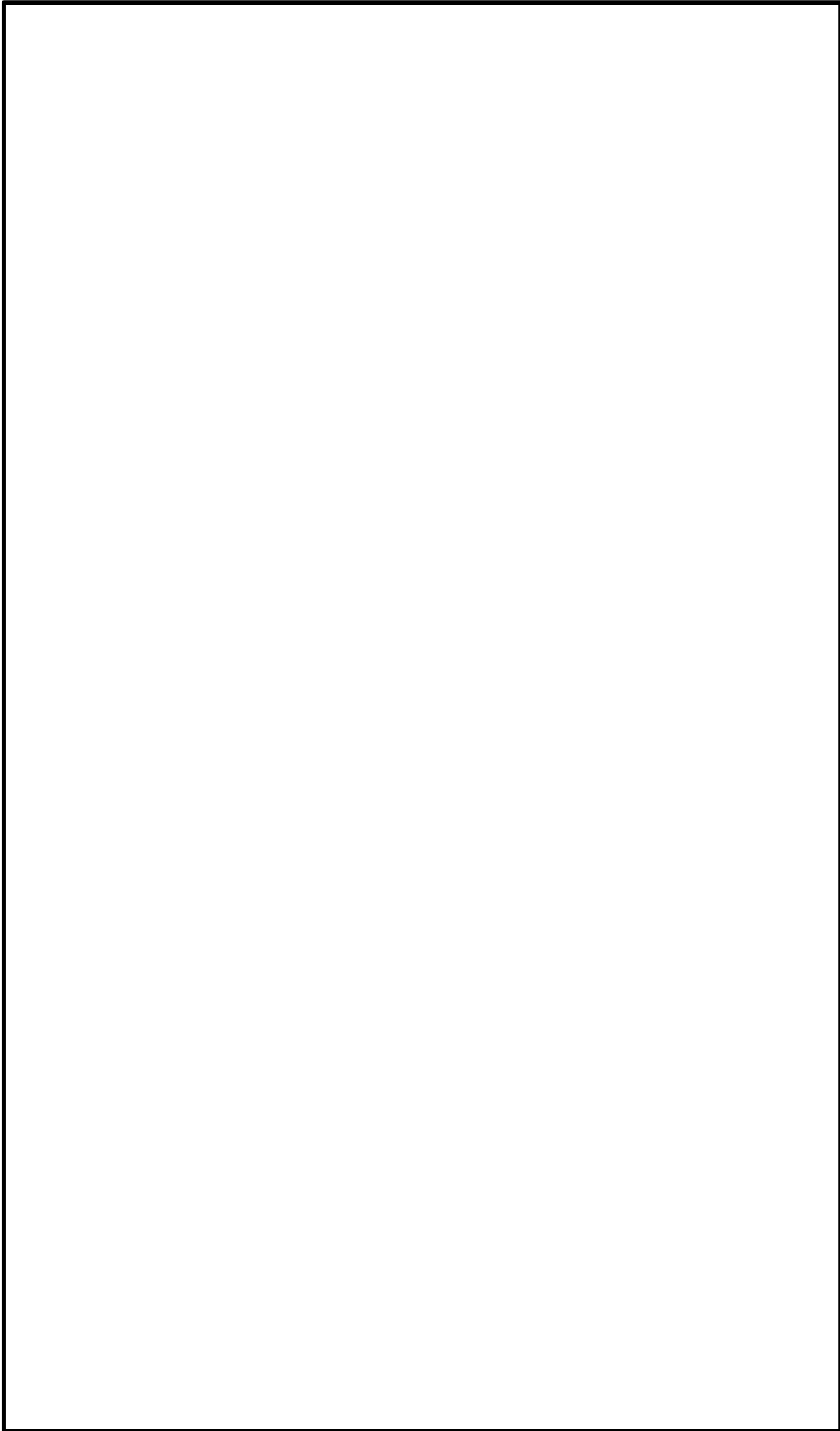


図 2-49 廃棄物処理建物地下中 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

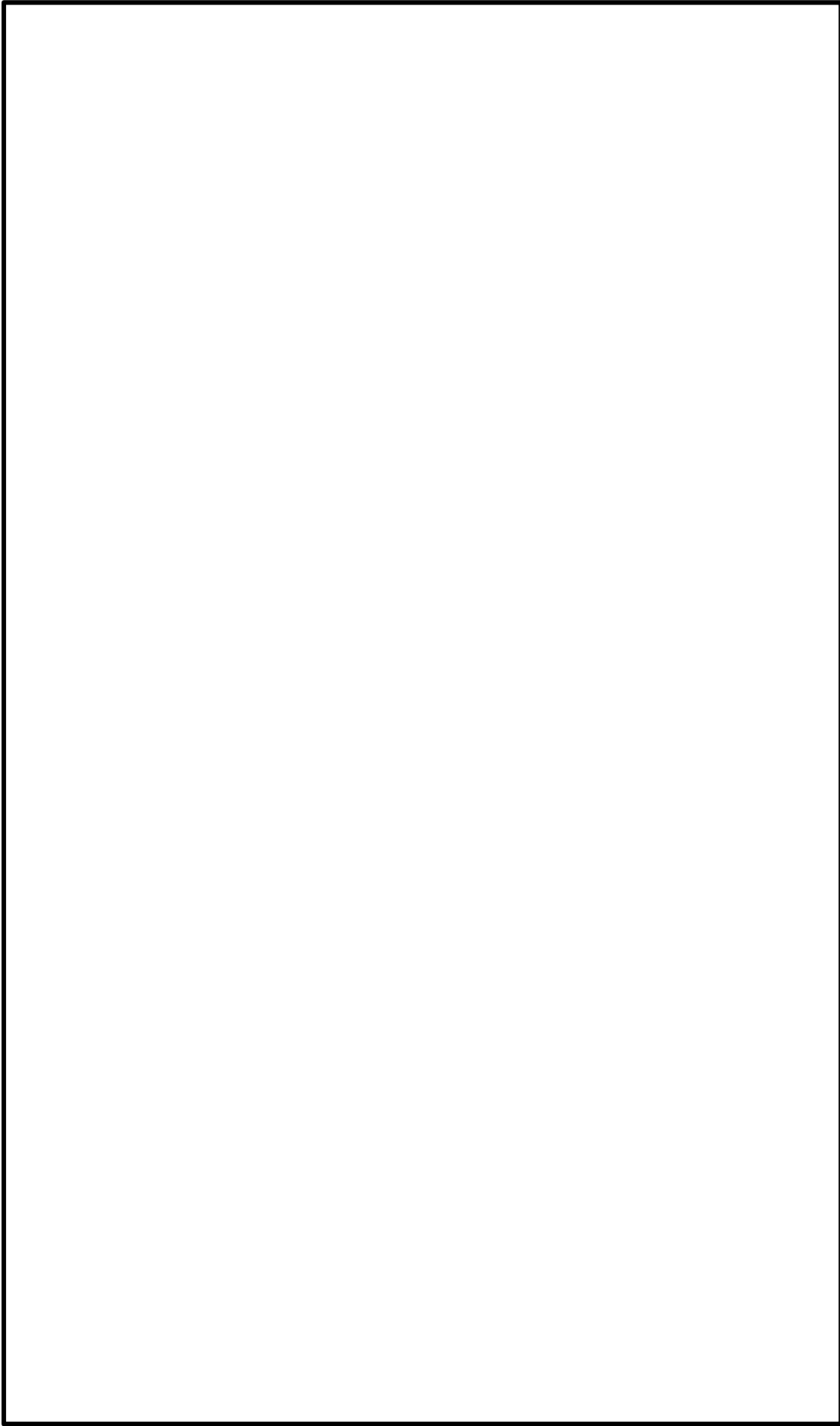


図 2-50 廃棄物処理建物 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

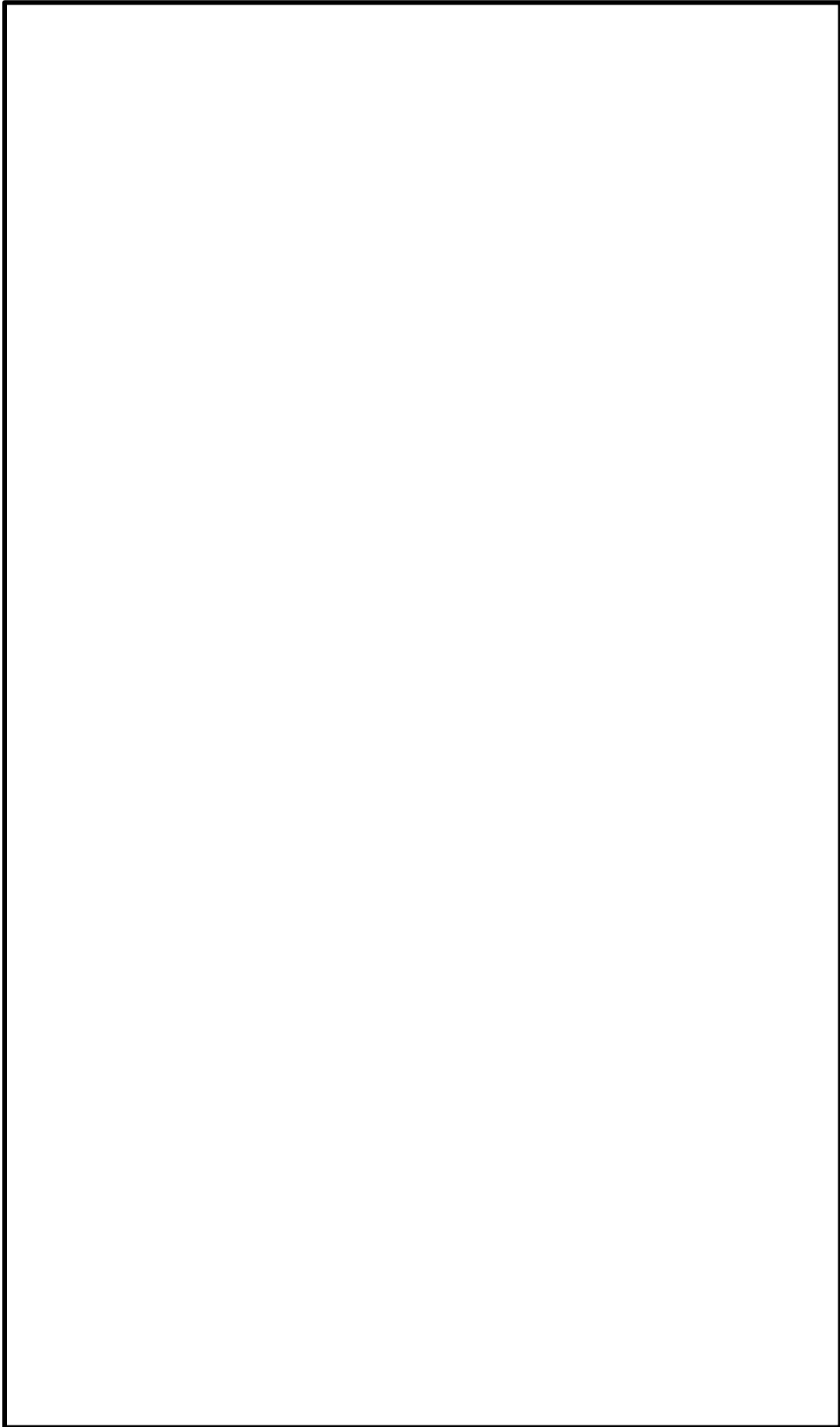


図 2-51 廃棄物処理建物 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

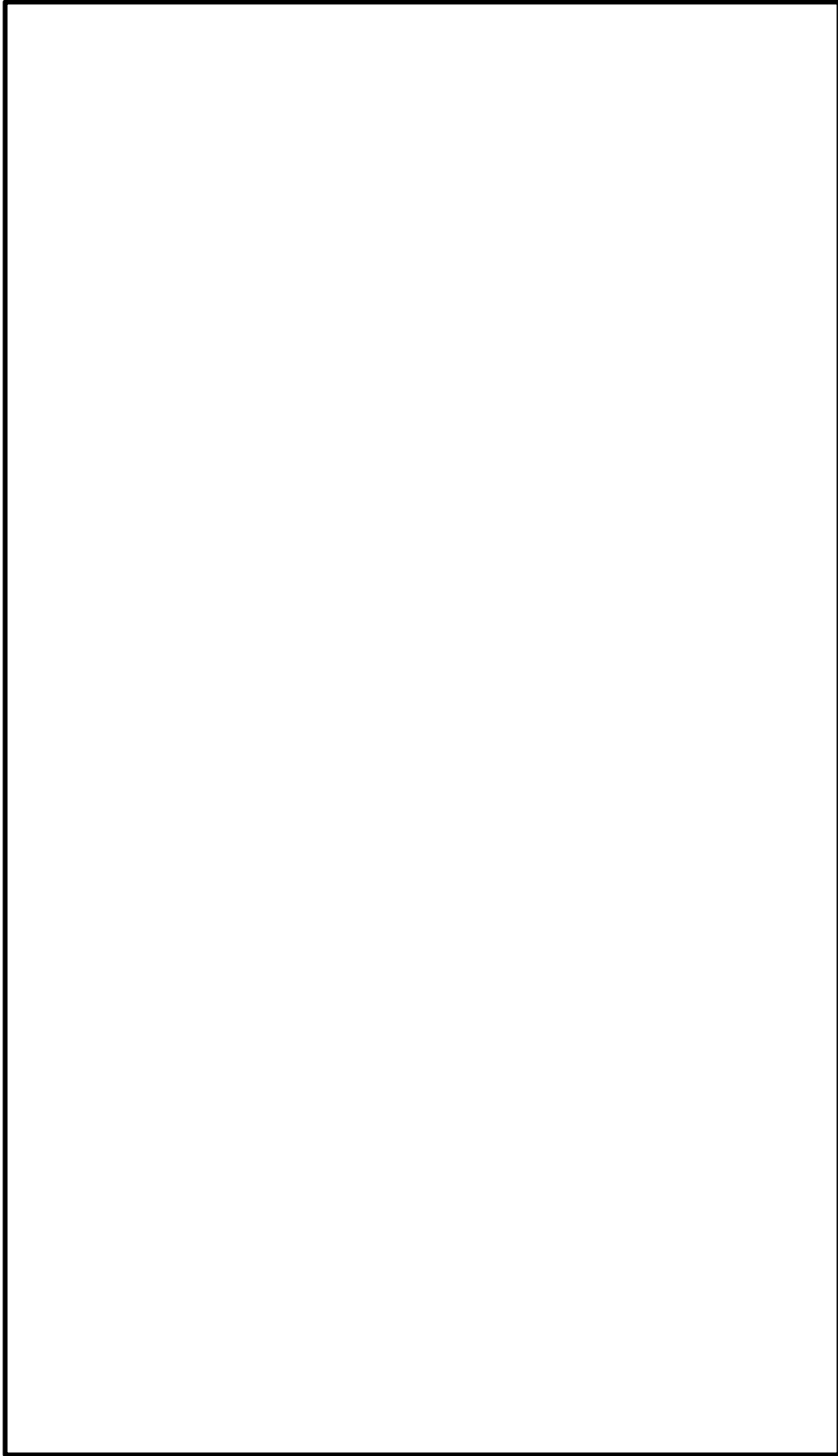


図 2-52 廃棄物処理建物 3 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

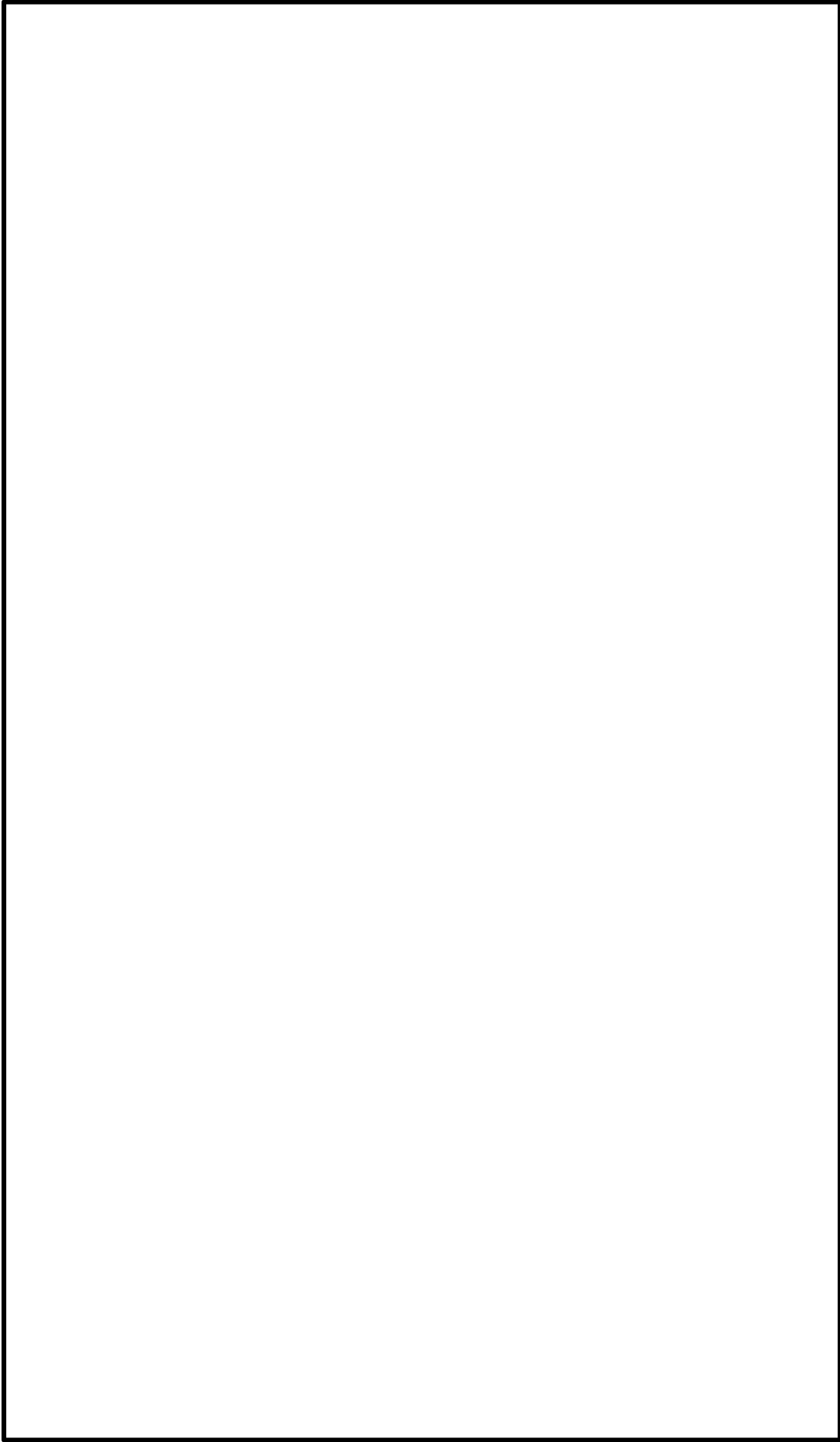


図 2-53 廃棄物処理建物 4 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

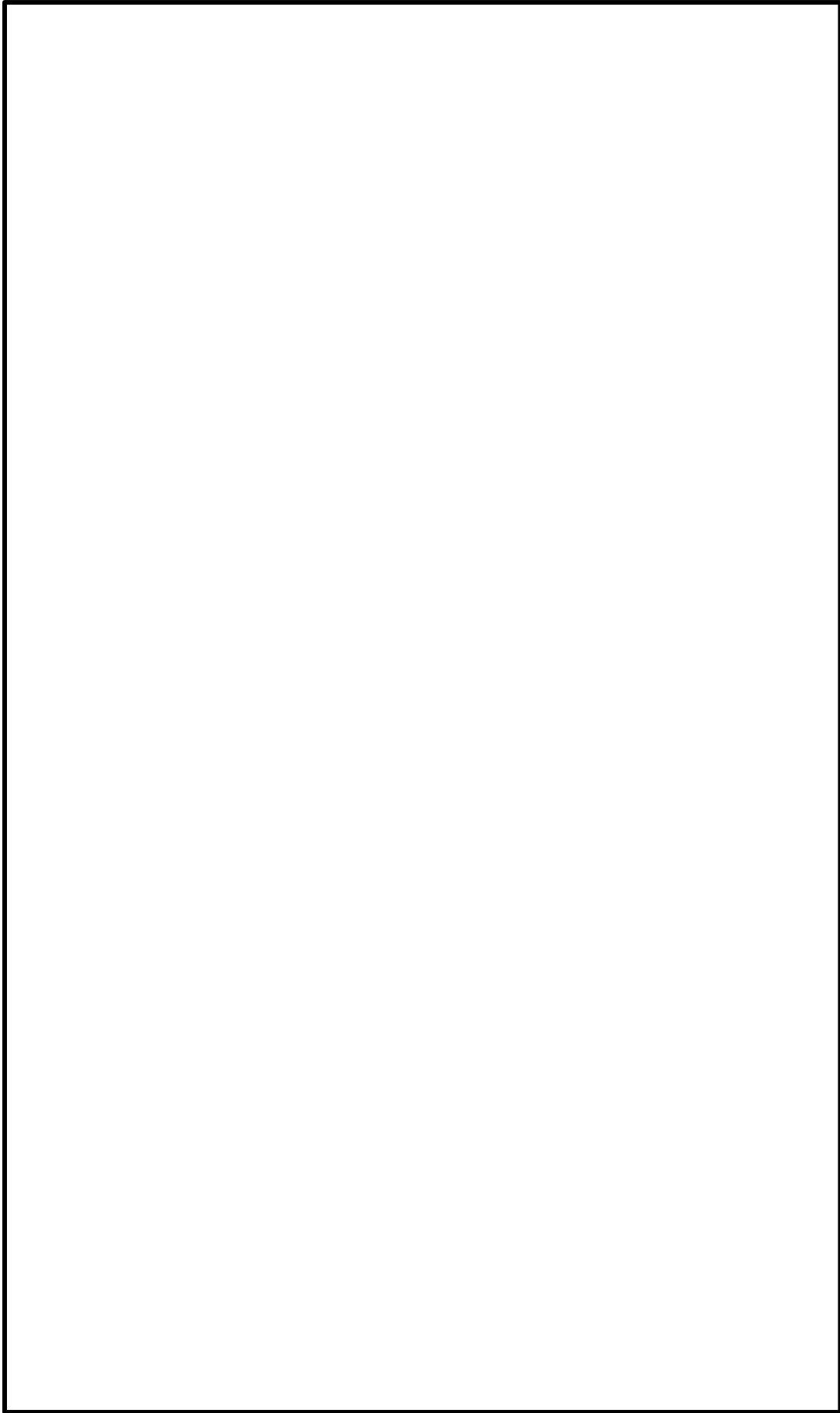


図 2-54 廃棄物処理建物 5 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

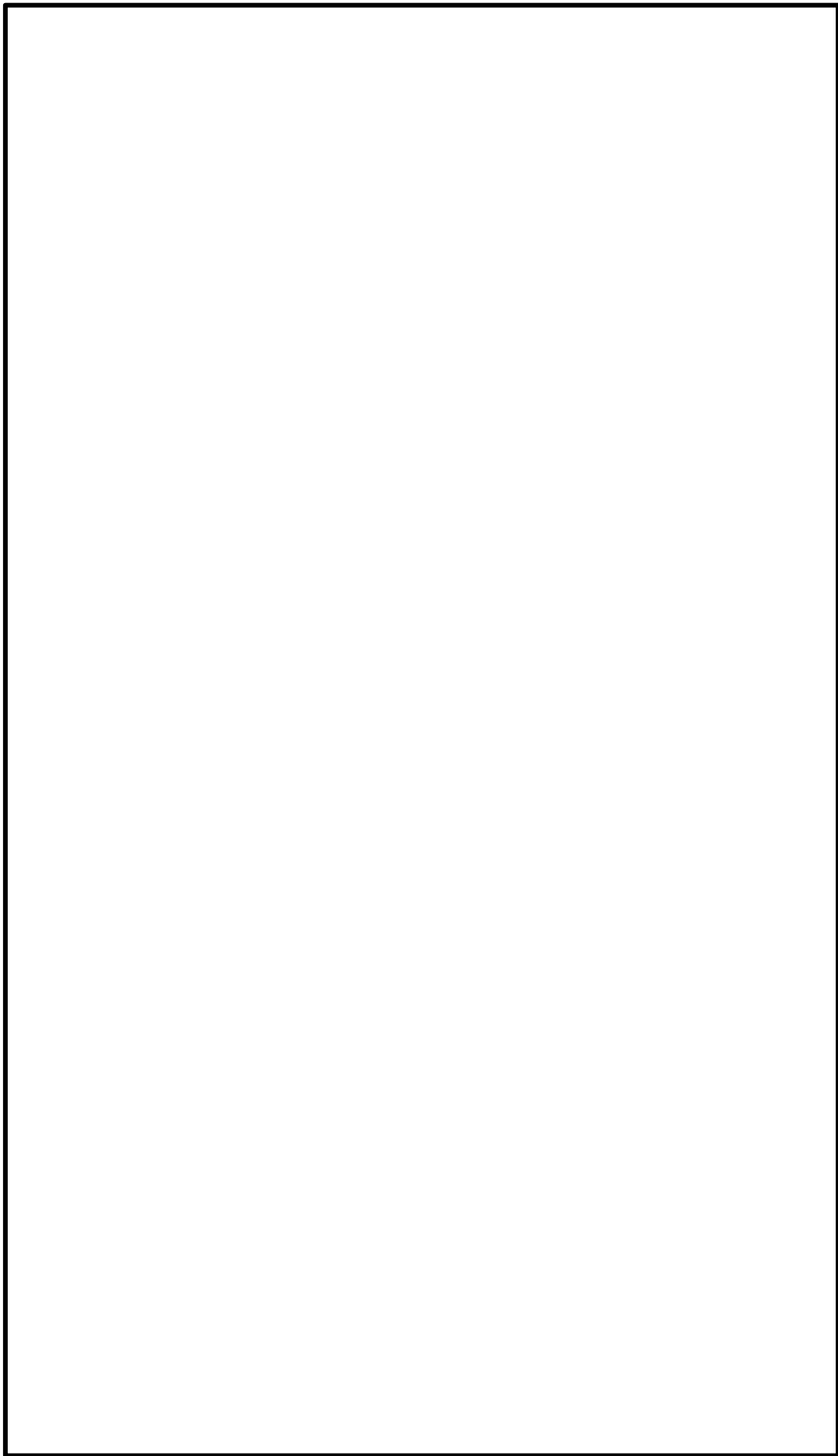


図 2-55 制御室建物 1 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

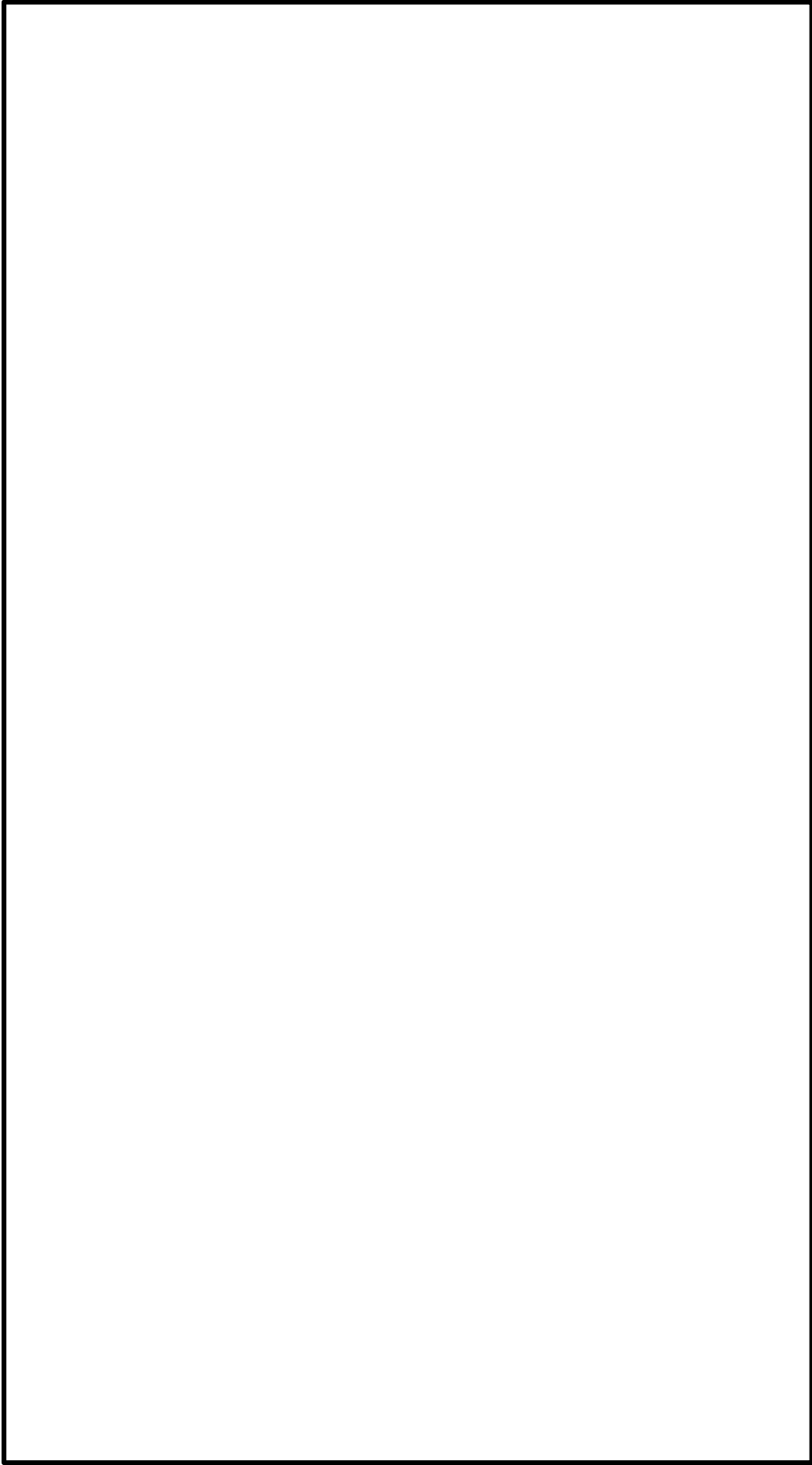


図 2-56 制御室建物中 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

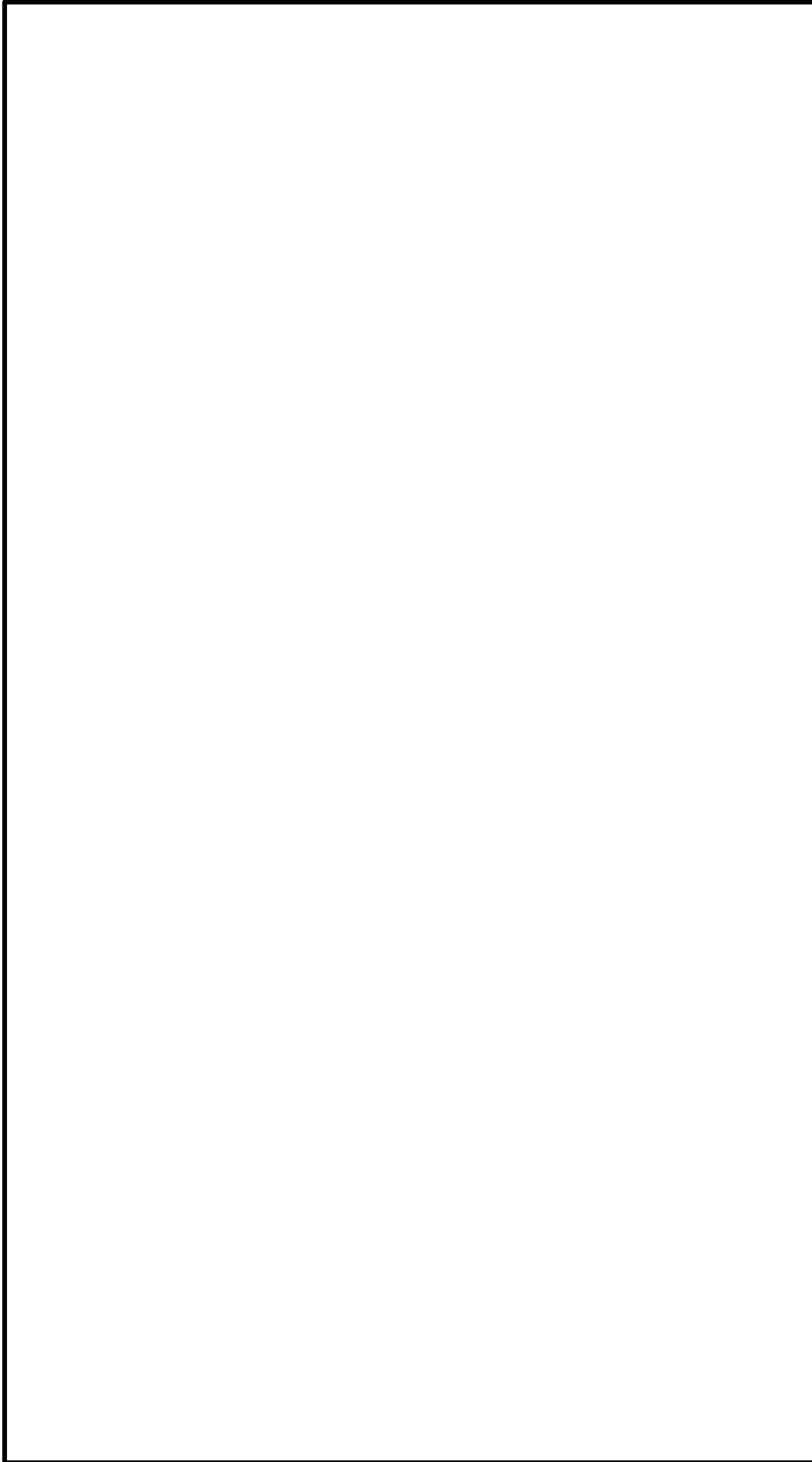


図 2-57 制御室建物 2 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

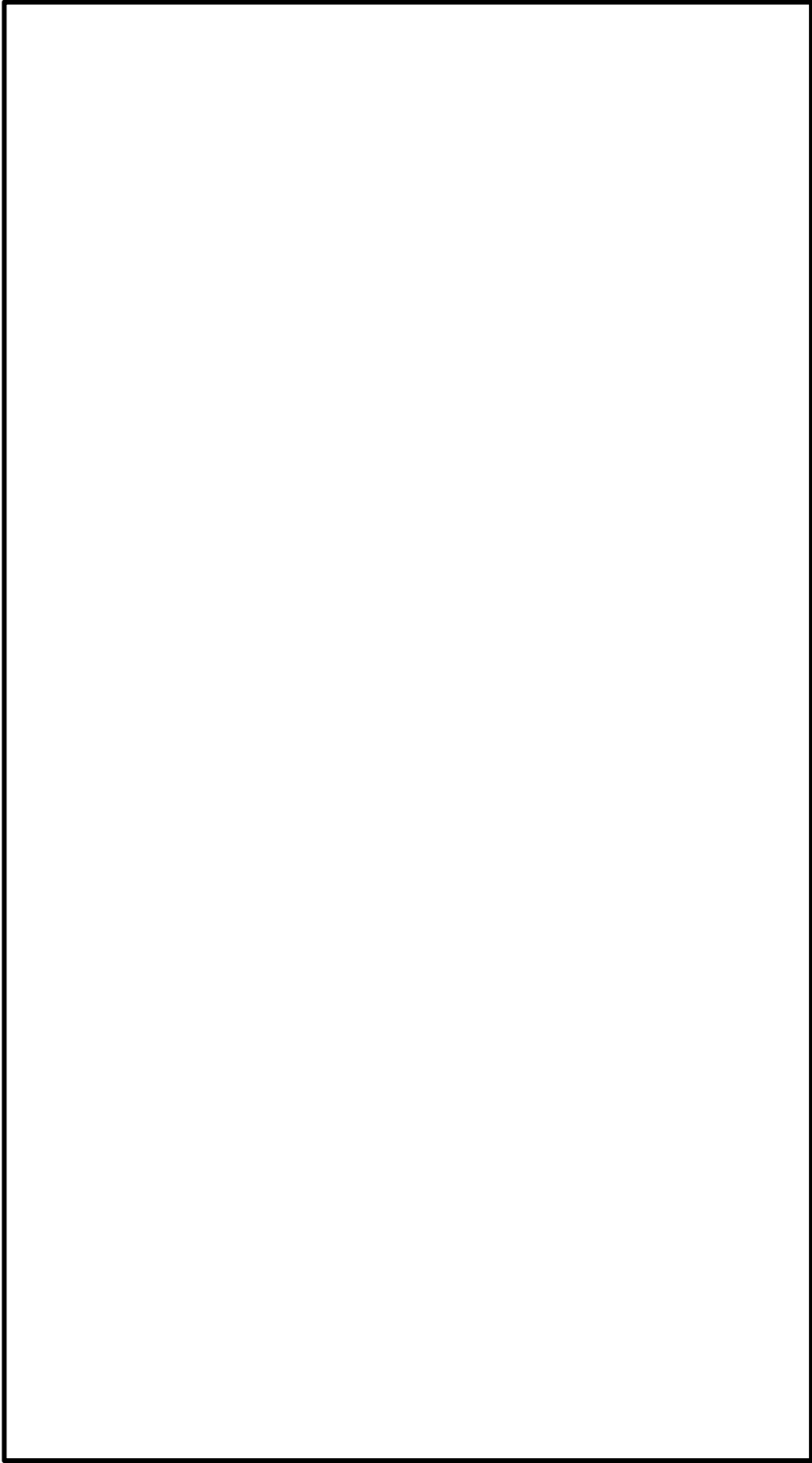


図 2-58 制御室建物 3 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

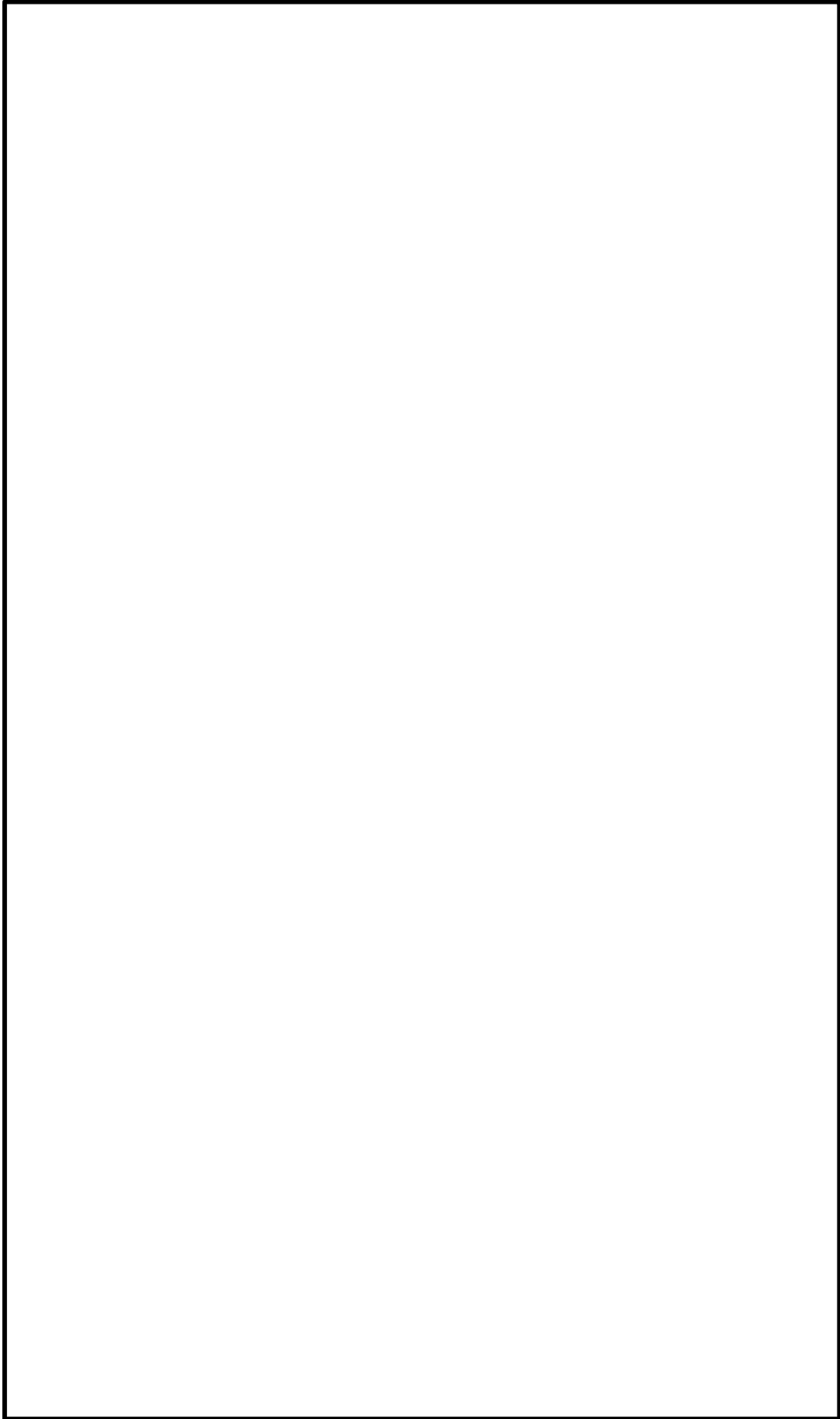


図 2-59 制御室建物 4 階 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

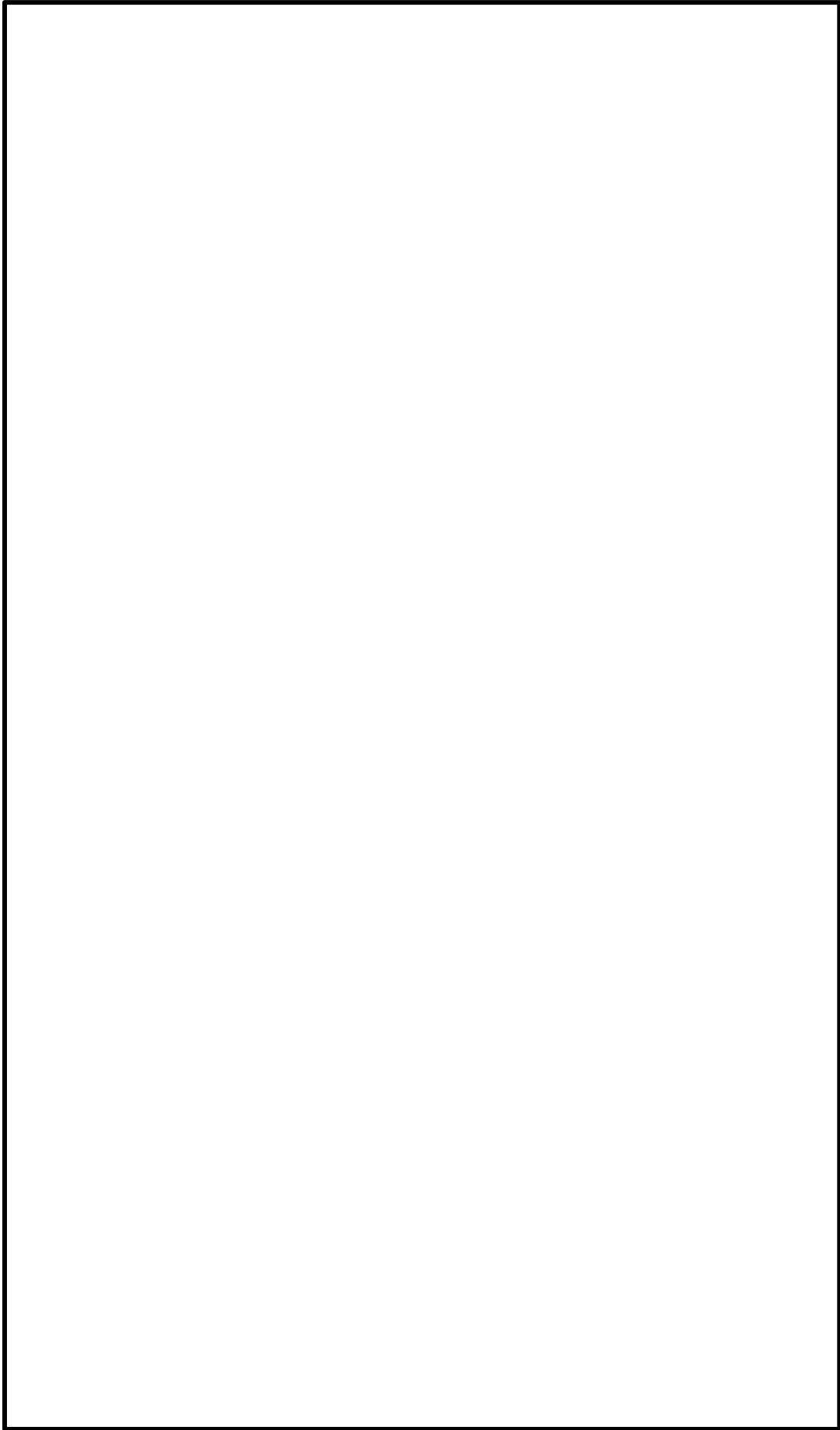


図 2-60 取水槽 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

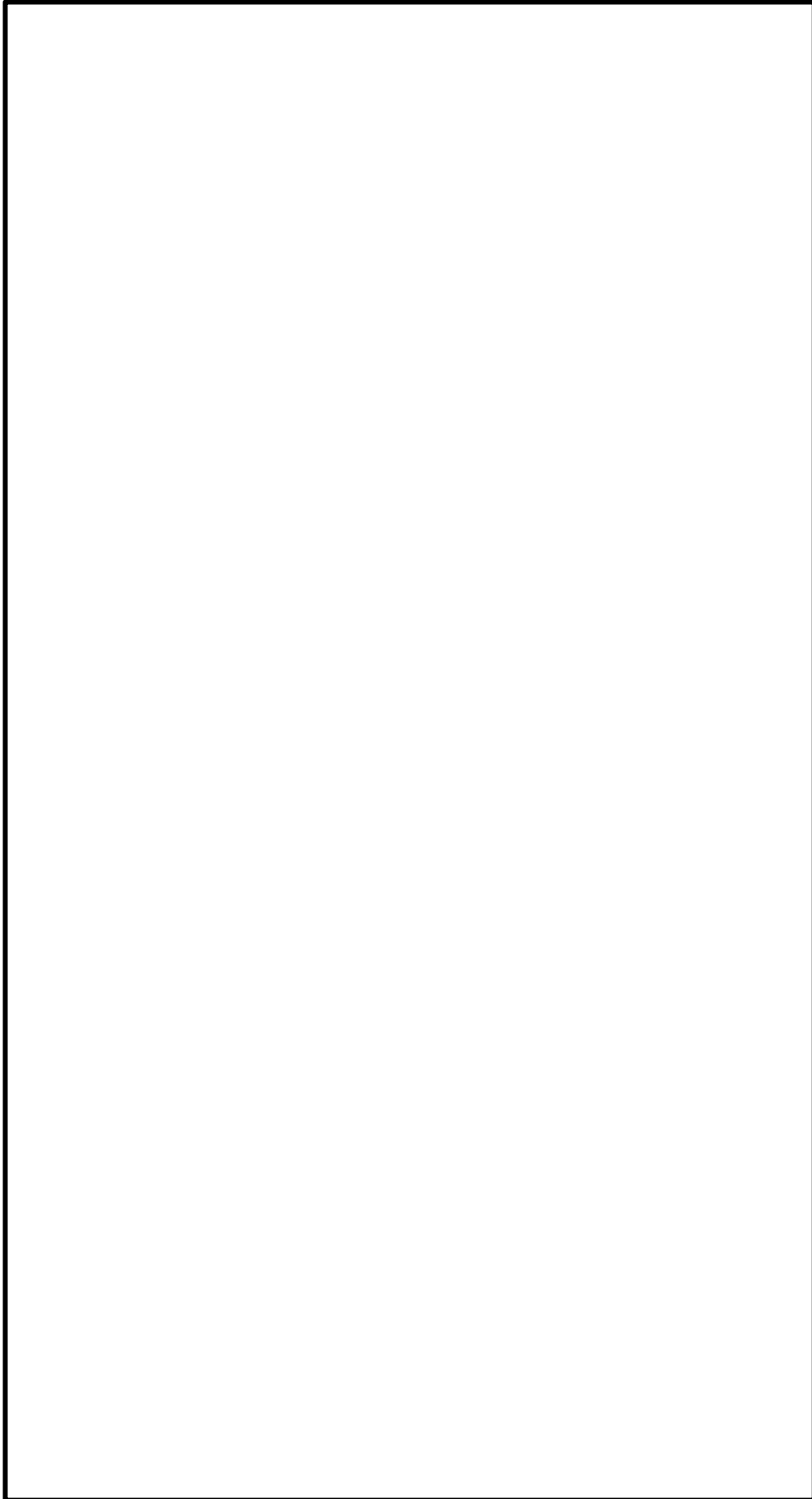


図 2-61 排気筒エリア 貫通部止水処置施工対象範囲

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

2.3 内部流体漏えい対策について

2.3.1 はじめに

本資料は地震時の内部流体漏えい対策として実施する以下の(1)～(4)について説明するものである。

- (1) 主蒸気隔離弁漏えい制御系の撤去
- (2) 大型タンク遮断弁の設置
- (3) 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックの設置
- (4) 燃料プール冷却系弁閉止インターロックの設置

2.3.2 対策内容

(1) 主蒸気隔離弁漏えい制御系の撤去

主蒸気隔離弁漏えい制御系は、事故時主蒸気隔離弁からの漏えい蒸気を抑制するため設けているがシート性能が向上した主蒸気隔離弁を採用しており、主蒸気隔離弁の後備設備として設置しておく必要性がなくなったことから、地震時の内部流体漏えい対策として、当該系統の撤去を行う。

a. 系統概要

主蒸気隔離弁漏えい制御系は、主蒸気隔離弁の下流側の主蒸気管に設ける主蒸気第3弁と、漏えい蒸気を各主蒸気隔離弁及び主蒸気第3弁間からサブプレッション・プール水中に導く配管系及び原子炉棟に導く配管系で構成する。系統概要図を図2-62に示す。

主蒸気第3弁の下流側における主蒸気管破断事故時、主蒸気管流量大又は主蒸気管周囲温度高の信号による主蒸気隔離弁閉等の信号を確認した後、本系統を手動にて作動させ主蒸気隔離弁からの漏えい蒸気をサブプレッション・プール水中に排出し、プール水中で凝縮することによって、破断口への蒸気の漏えいを制御することができる。冷却材喪失事故時には、主蒸気隔離弁からの漏えい蒸気を原子炉棟内に導き、非常用ガス処理系にて処理することができる。

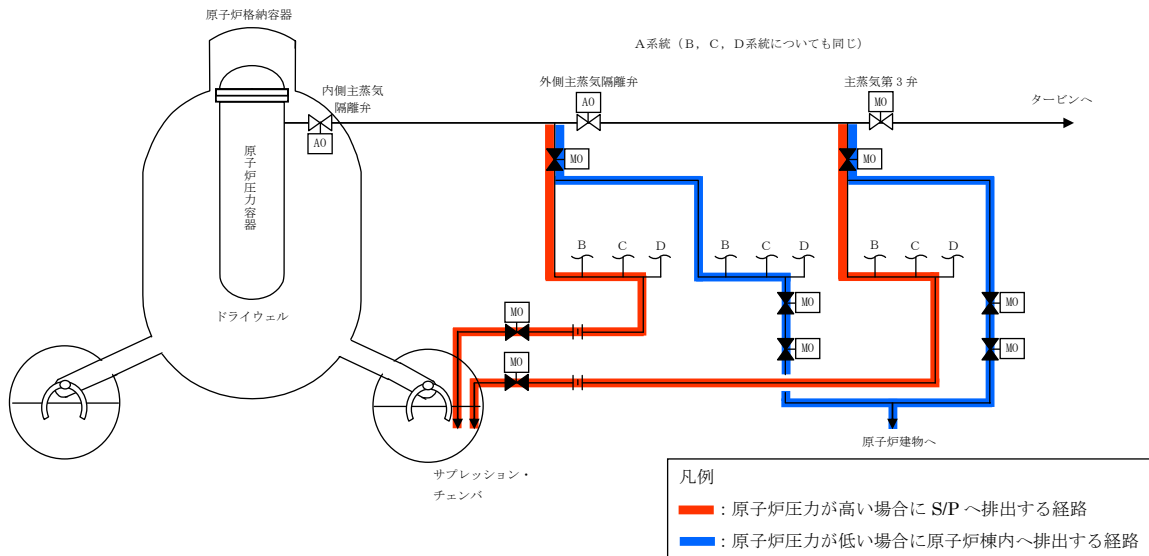


図 2-62 主蒸気隔離弁漏えい制御系系統概要図

b. 撤去範囲

主蒸気隔離弁漏えい制御系の機能のみを有する範囲についてその他の既設設備へ影響のない範囲で撤去する。ただし、既設設備への影響を考慮し、主蒸気隔離弁漏えい制御系以外の機能も有する範囲については、表 2-7 に示すとおり、今後も維持する。また、機能廃止範囲を図 2-63 に示す。

表 2-7 今後も維持する範囲

維持する範囲	機能概要
主蒸気第 3 弁	主蒸気管の機器クラスを当該弁により区分する。具体的にはクラス 2 機器とクラス 3 機器を区分する。
主蒸気隔離弁内側及び外側間に設置されているサブレーション・プールへのベントライン	プラント停止時における主蒸気管の水抜きのため、ドレンラインとして活用する。

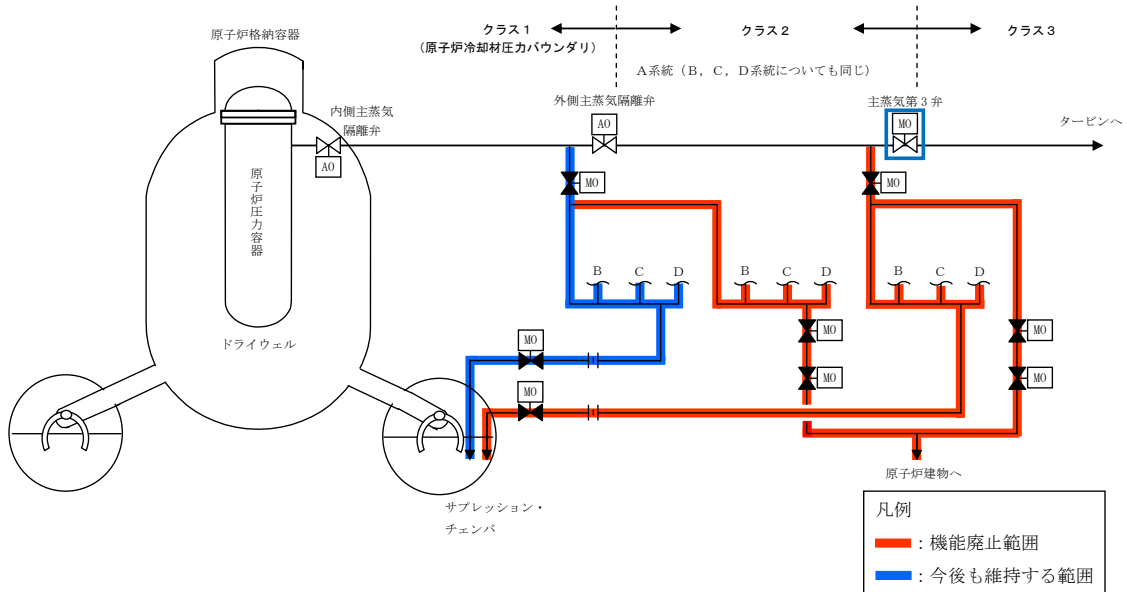


図 2-63 主蒸気隔離弁漏えい制御系の機能廃止範囲

c. 撤去理由

主蒸気隔離弁漏えい制御系は、主蒸気管破断事故時等に主蒸気隔離弁からの漏えい蒸気を制御するため設置したものである。島根2号炉では、シート性能が向上した主蒸気隔離弁を採用しているため、主蒸気隔離弁の漏えい率検査では、判定基準に対し十分低い漏えい率であることを確認しており、主蒸気隔離弁が高い信頼性を有していることから、主蒸気隔離弁漏えい制御系は主蒸気隔離弁の後備設備として設置しておく必要性がなくなっている。

このため、通常運転時に地震等が発生し、本系統配管の破損による蒸気や放射性物質の漏えいリスク低減のために主蒸気隔離弁漏えい制御系を撤去する。

(a) 主蒸気隔離弁のシート性能向上について

島根2号炉の主蒸気隔離弁は、漏えいリスク低減を考慮した改良型を採用している。改良型とは、弁座シート面と弁体が安定して接触するように従来型から弁体の上部ガイド径を縮小することで、シート性能を向上させている。図2-64に主蒸気隔離弁の全体図、図2-65に弁体の改良内容の概略説明を示す。



図 2-64 主蒸気隔離弁全体図



図 2-65 弁体の改良内容の概略説明

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

(b) 主蒸気隔離弁漏えい率試験

島根2号炉の主蒸気隔離弁漏えい率試験（全8弁：内側4弁，外側4弁）の結果を図2-66に示す。判定基準10%/day以下に対し，漏えい率は十分低い結果となっている。

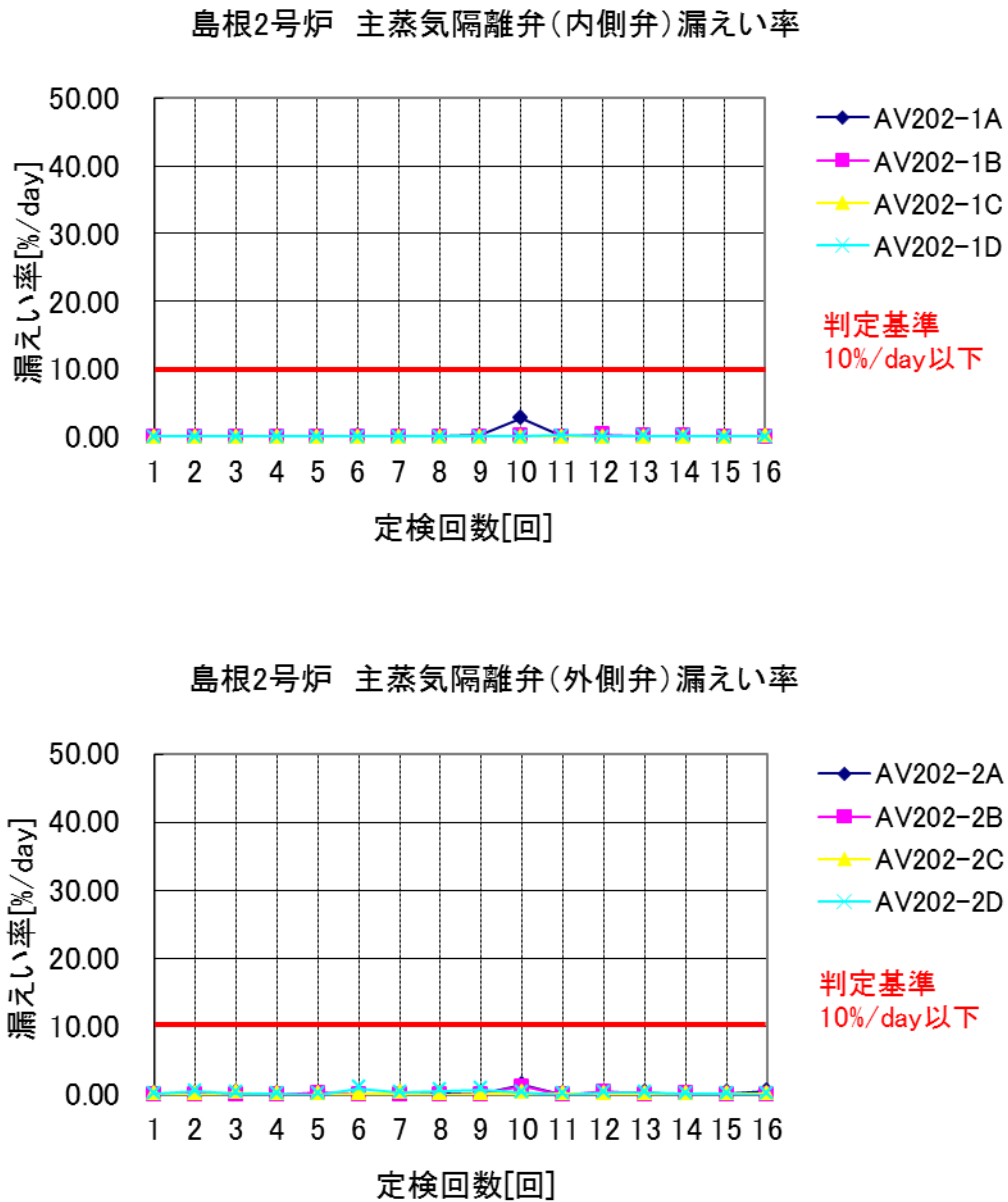


図2-66 島根2号炉 主蒸気隔離弁漏えい率

(2) 大型タンク遮断弁の設置

a. 概要

地震によって屋外の大型タンク及び配管が破損せず，大型タンクに接続する系統が地震時に建物内で破損した場合，大型タンク内の保有水が流入することにより，溢水防護対象設備が機能喪失に至るおそれがある。このため，大型タンク遮断弁（以下「遮断弁」という。）及び地震時に遮断弁を閉止するインターロックを設置し，図 2-67 に示す大型タンクについて建物内への流入を低減する。

なお，大型タンク遮断弁を設置する復水貯蔵タンク等は重大事故等対処設備の水源として期待していない。

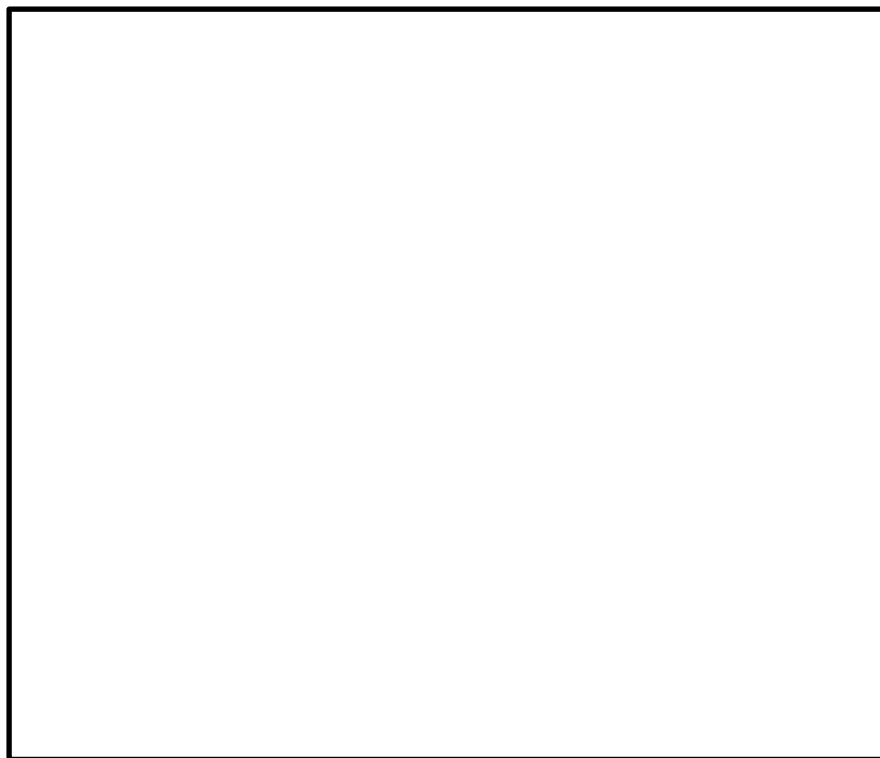


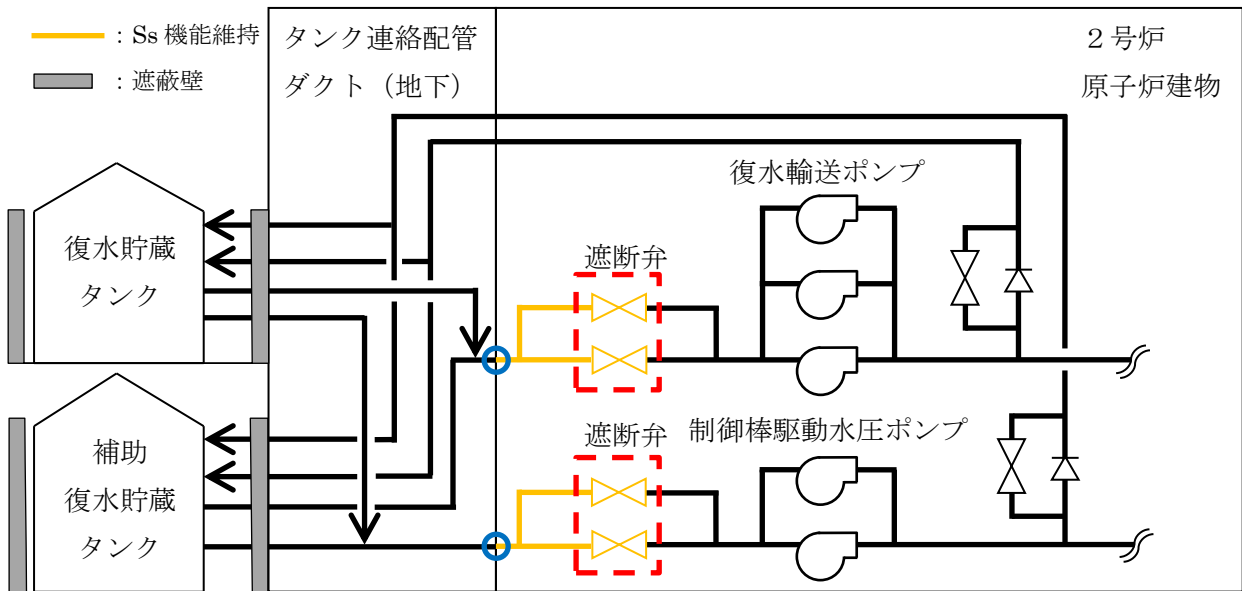
図 2-67 建物内への流入を抑制する大型タンク

b. 遮断弁について

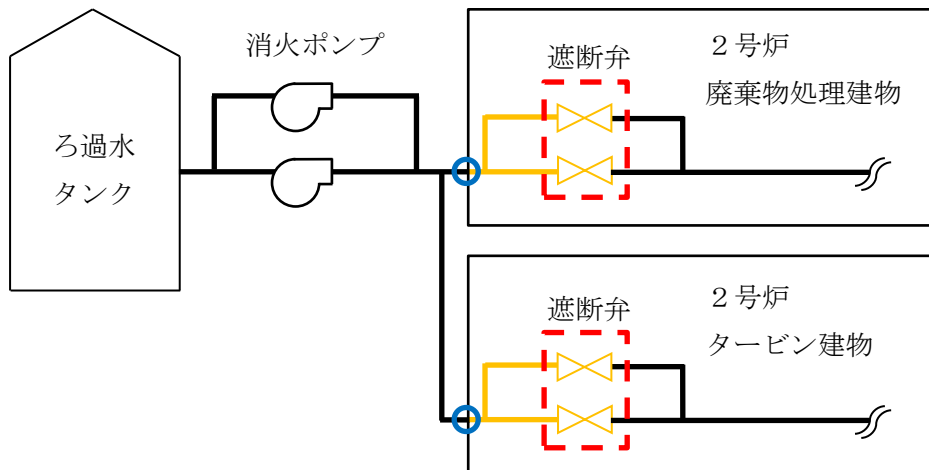
大型タンク毎の遮断弁の系統構成を図 2-68 に，遮断弁の設置例を図 2-69 に示す。復水貯蔵タンク及び補助復水貯蔵タンクについては制御棒駆動系等への供給水源であること，ろ過水タンクについては消火活動の際の供給水源であることから，当該タンクの遮断弁については単一故障を考慮し多重化を図っている。多重化された遮断弁の電源は，電源区分を分離する。遮断弁及び遮断弁から上流側の建物境界部までの配管は基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持する設計とする。

なお，復水貯蔵タンクの遮断弁は，非常用炉心冷却系の配管には設置せず，常用系の配管にのみ設置する。

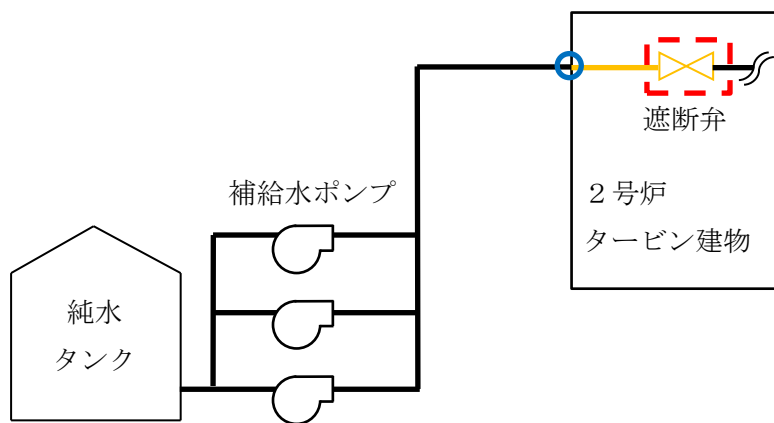
本資料のうち，枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。



(1) 復水貯蔵タンク及び補助復水貯蔵タンクの遮断弁の系統構成



(2) ろ過水タンクの遮断弁の系統構成



(3) 純水タンクの遮断弁の系統構成

○ : 建物境界の貫通部止水処置がシリコンの場合は、建物外の2方向拘束点まで、モルタルの場合は、モルタルが2方向拘束点となるため建物境界までを Ss 機能維持

図 2-68 大型タンク遮断弁の系統構成

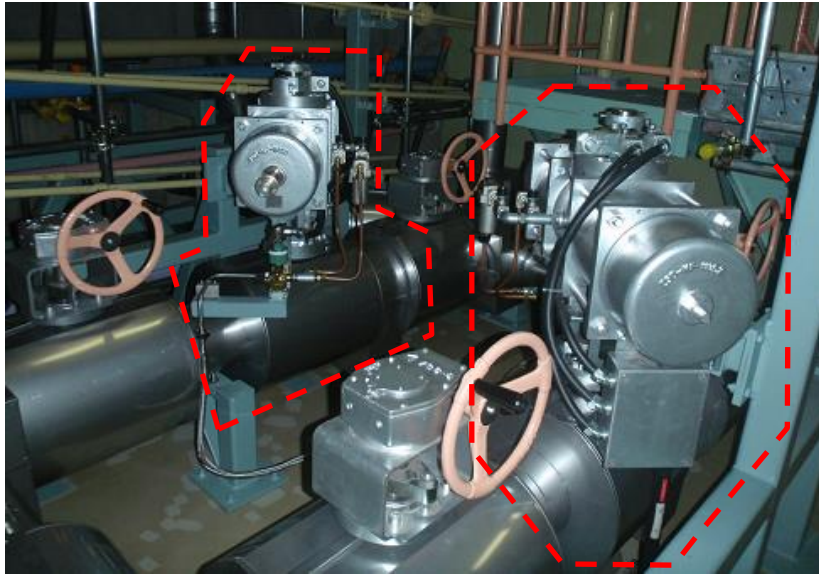


図 2-69 遮断弁の設置例（消火系配管 2号炉 廃棄物処理建物）

c. 遮断弁のインターロックについて

図 2-70 に示すように，地震大信号により遮断弁を閉止する。

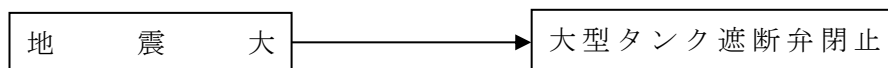


図 2-70 遮断弁閉止インターロック

(3) 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックの設置

地震時に復水器エリア内の伸縮継手部が破損した場合に備えてインターロックを設置している（本文 9.1.1 (2)参照）。

(4) 燃料プール冷却系弁閉止インターロックの設置

a. 概要

地震時に燃料プール冷却系のうち、ろ過脱塩装置ろ過脱塩器周りからの溢水影響を低減させるために、図 2-71 に示す燃料プール冷却系ろ過脱塩装置入口弁の閉止を行うインターロックを設置する。当該弁を含むろ過脱塩装置ろ過脱塩器周り以外の範囲は基準地震動 S_s による地震力に対して機能維持する設計とする。

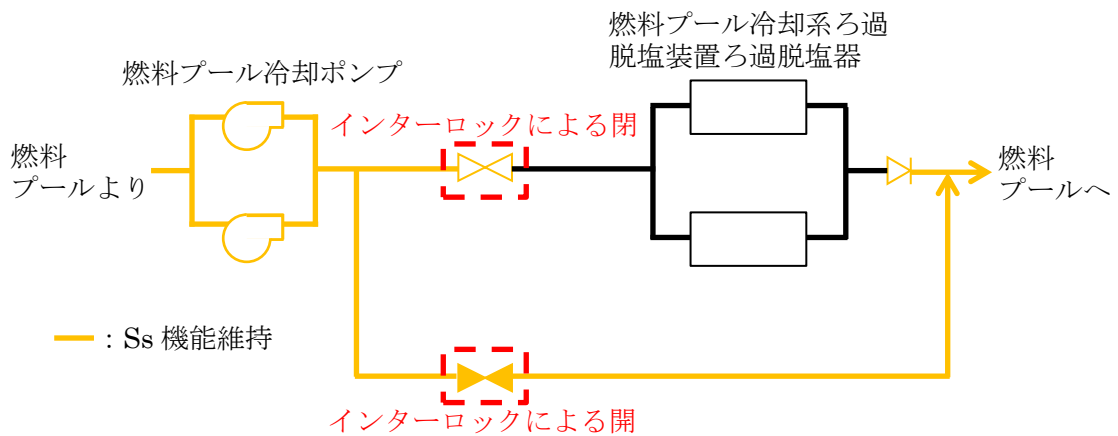


図 2-71 燃料プール冷却系インターロック設置概要図

b. インターロックについて

図 2-72 に示すように、地震大信号により弁を閉止又は開する。

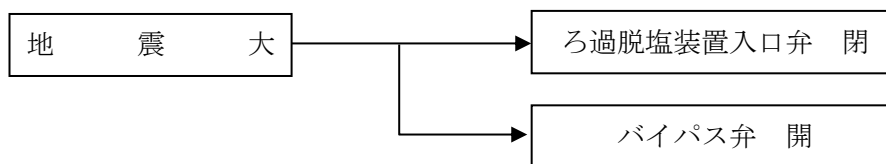


図 2-72 弁開閉インターロック

2.3.3 既設回路への影響について

2.3.3.1 安全保護系と計測制御系の分離

大型タンク遮断弁閉止，循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止，並びに燃料プール冷却系弁閉止インターロックは，計測制御系（常用系）の信号にて設計している。ただし，検出部である地震計は安全保護系と共用しているが，地震計からの「地震大」信号は，図 2-73 に示すように継電器にて安全保護系と計測制御系を電氣的に分離しており，計測制御系統側で短絡，地絡等の故障が生じた場合でも安全保護系側にその影響を与えない設計としている。したがって，「設置許可基準規則」第二十四条第一項第七号『計測制御系統施設の一部を安全保護回路と共用する場合には，その安全保護機能を失わないよう，計測制御系統施設から機能的に分離されたものとする。』を満足している。

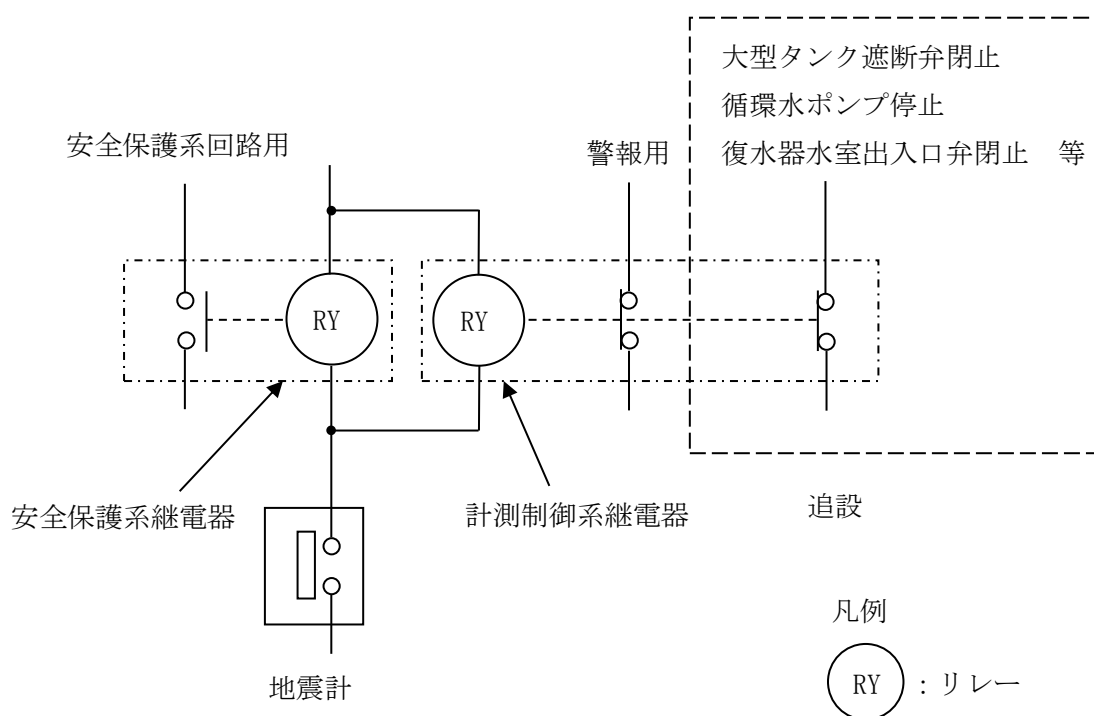


図 2-73 「地震大」信号の分岐方法

2.3.3.2 安全解析への影響

(1) 主蒸気隔離弁漏えい制御系の撤去

主蒸気隔離弁漏えい制御系は、設計基準事故「原子炉冷却材喪失」及び「主蒸気管破断」時に、閉止した主蒸気隔離弁を通してタービン建物へ流入する蒸気漏えい量の低減を目的に設置しているが、安全解析ではその効果を考慮していない。このため、主蒸気隔離弁漏えい制御系の撤去による安全解析への影響はない。

(2) 大型タンク遮断弁の設置

大型タンク遮断弁及び地震時に弁を閉止するインターロックを設置し、建物内への大型タンク保有水の流入を抑制することとしているが、大型タンク遮断弁を設置する系統は、安全解析で想定する事象に対処するための安全機能に該当しない。このため、大型タンク遮断弁の設置による安全解析への影響はない。

(3) 循環水ポンプ停止及び循環水系弁閉止インターロックの設置

本インターロックの設置により、誤動作した場合には復水器の真空が低下しタービントリップに伴う原子炉圧力の上昇に至る可能性があるが、「負荷の喪失（発電機負荷遮断，タービンバイパス弁不作動）」事象よりも圧力上昇が緩慢であることから厳しい結果とはならず、本インターロックの設置による安全解析への影響はない。

(4) 燃料プール冷却系弁閉止インターロックの設置

本インターロックを設置し溢水影響を低減させることとしているが、燃料プール冷却系は、安全解析で想定する事象に対処するための安全機能に該当しない。このため、本インターロックの設置による安全解析への影響はない。

添付資料5 想定破損による溢水影響評価について

1. 想定破損による没水影響評価結果まとめ
想定破損による没水影響評価結果を表 1-1 に示す。
2. 想定破損による被水影響評価結果まとめ
想定破損による被水影響評価結果を表 2-1 に示す。
3. 想定破損による蒸気影響評価結果まとめ
想定破損による蒸気影響評価結果を表 3-1 及び蒸気源有無の全体概略図を図 3-1 に示す。

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損		総合判定	備考
	R-2UF-01N			
海水発生区画				
海水源				
浸水量[m ³]	311			

評価対象	原子炉施設														
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能									
安全機能															
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]		
系統機能判定															
系統名	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系 原子炉停止制御系 (水圧制御ユニット)		
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	-	A	-	A	B	
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール				
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能				
安全機能															
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○				
系統機能判定															
系統名	格納容器隔離系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離系 (格納容器冷却ユニット)	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	可溶性ガス濃度制御系	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室 空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系 燃料プール補給水	RRR(A) RRR(B)	RRR(A) RRR(B)	RRR(A) RRR(B)				
系統区分	A	B	-	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	-	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	-	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-12F-02N	○	
海水源	RHR(A)		
浸水量[m ³]	311		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RHR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット)	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A	-
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離系	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	-	A	B	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	I	II	III	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-10P-03N	○	
浸水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or LPS] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RRR(A) or LPS]	ADS(II) [RRR(B) or RRR(C)]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) [RRR(A) or LPS] and RRR(A)	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)] and RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+B-(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉内モード)	ファイブアンドブリードによる除熱(I)	ファイブアンドブリードによる除熱(II)
系統区分	A B	A B A	-	- A -	B C	-	-	- A B	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I I	I I	I I
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										燃料プール			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-	
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-	
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-BZF-04N	○	
浸水源	RCA(A), HCC(A)		
浸水水量	205		

評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保排時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	物集熱除去機能	
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(I) and HCI(II) or SIC(I) and SIC(II)	RC/HC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RC/HC or HPCS	ADS(I) and ADS(II) or RBR(A) or RBR(C)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) or RBR(A) or RBR(C) and RBR(B)	[SRV(I) or ADS(II)] or RBR(B) or RBR(C) and RBR(B)
系統名	制御棒及び調整駆動装置（水圧調整ユニット）	制御棒及び調整駆動装置（水圧調整ユニット） ほう薬水注入系	原子炉保排時注水システム	自動減圧系+A-滞留熱除去系 （低圧注水モード） 高圧炉心スプレイ系 低圧炉心スプレイ系 自動減圧系 滞留熱除去系	高圧炉心スプレイ系 自動減圧系 速がし安全弁	残留熱除去系（炉心停止時保排モード） 速がし安全弁 自動減圧系 滞留熱除去系 （低圧注水モード） 速がし安全弁 自動減圧系	残留熱除去系（炉心停止時保排モード） 速がし安全弁 自動減圧系 滞留熱除去系（低圧注水モード） 速がし安全弁 自動減圧系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	II III	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	× ○	○ ○	○ ○	○ ○	× ○	○ ○

評価対象	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉隔離室/非常用蒸気空間機能	事故時状態記憶		冷却機能	給水機能		監視機能
								A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)		RHR(A) or RHR(B)	FHW or [RHR(A) or RHR(B)]	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HCC(A) and HCC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW	RHR(A) and RHR(B)	-
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HCC(A) and HCC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW	RHR(A) and RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系（格納容器冷却モード）	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系 濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 滞留熱除去系 高圧炉心スプレイ系 滞留熱除去系	中心制御室 蒸気発生系	事故時計測系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系	監視機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	× ○	× ○	× ○	× ○	○ ○	○ ○	× ○	× ○	× ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-10P-05N	○	
海水源	RCA(A), HCC(A)		
浸水量[m ³]	205		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能 <td colspan="5">廃熱除去機能</td>	廃熱除去機能							
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RHR(A) or RHR(B)] or [RHR(C) or RHR(D)]							
系統機能判定	RCA(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RHR(C)	SRV(I) or SRV(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and [RHR(A) or RHR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]		
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系	自動減圧系+ A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	自動減圧系	自動減圧系	残熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残熱除去系 (低圧注水モード)	残熱除去系 (低圧注水モード)		
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	-	A	-	A	B	
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	I	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源	原子炉補給冷却系	原子炉制御室非常用換気空調機	事故時計測系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水	残熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	-	A	B	-	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-12F~06N	○	
浸水源	R2W(B), H2C(B)		
浸水量[m ³]	215		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		H01(I) and H01(II) or S1C(I) and S1C(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	H01(A) and H01(B)	S1C(A) and S1C(B)	R1C or HPCS	ADS(I) or RRR(A) or LPS or RRR(B) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	R01(A) or R01(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	R01(A) or R01(B)	R01(A) or R01(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	H2C(A) or H2C(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	R01(A) or R01(B)	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系/高圧冷却系 高圧中心スプレイ系/補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考															
海水発生区画	R-HPF-07N	○																
海水源	HCPW																	
浸水量[m ³]	43																	
原子炉施設																		
評価対象	原子炉保護時注水機能	未燃再燃時機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	冷卻機能	燃料プール	監視機能											
安全機能	原子炉保護時緊急停止機能 HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B) HCU(C) and HCU(D)	SIC(A) and SIC(B)	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [SRV(III) or SRV(IV)] [SRV(V) or SRV(VI)] [SRV(VII) or SRV(VIII)] [SRV(IX) or SRV(X)] [SRV(XI) or SRV(XII)] [SRV(XIII) or SRV(XIV)]	[SRV(I) or SRV(II)] [SRV(III) or SRV(IV)] [SRV(V) or SRV(VI)] [SRV(VII) or SRV(VIII)] [SRV(IX) or SRV(X)] [SRV(XI) or SRV(XII)] [SRV(XIII) or SRV(XIV)] [SRV(XV) or SRV(XVI)] [SRV(XVII) or SRV(XVIII)] [SRV(XIX) or SRV(XX)] [SRV(XXI) or SRV(XXII)]	[SRV(I) or SRV(II)] [SRV(III) or SRV(IV)] [SRV(V) or SRV(VI)] [SRV(VII) or SRV(VIII)] [SRV(IX) or SRV(X)] [SRV(XI) or SRV(XII)] [SRV(XIII) or SRV(XIV)] [SRV(XV) or SRV(XVI)] [SRV(XVII) or SRV(XVIII)] [SRV(XIX) or SRV(XX)] [SRV(XXI) or SRV(XXII)]	[SRV(I) or SRV(II)] [SRV(III) or SRV(IV)] [SRV(V) or SRV(VI)] [SRV(VII) or SRV(VIII)] [SRV(IX) or SRV(X)] [SRV(XI) or SRV(XII)] [SRV(XIII) or SRV(XIV)] [SRV(XV) or SRV(XVI)] [SRV(XVII) or SRV(XVIII)] [SRV(XIX) or SRV(XX)] [SRV(XXI) or SRV(XXII)]										
機能判定	○	○	○	○	○	○	○											
系統機能判定	原子炉保護時注水機能	原子炉保護時注水機能	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)					
系統名	原子炉保護時緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水圧制御ユニット)					
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	A	-	A	-	A	B	C	B	
安全区分	I	II	I	II	III	III	I	II	I	II	I	II	I	I	II	II	II	II
判定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

原子炉施設				燃料プール				監視機能			
安全機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
機能判定	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○			
系統機能判定	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FHW	RHR(A) or RHR(B)			
系統名	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/原子炉冷却系/高圧炉心スプレィ補給冷却系/高圧炉心スプレィ補給海水系	中央制御室空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系			
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B			
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II			
判定	○	○	○	○	○	○	○	○			

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-12F-08N	○	
浸水源	R2W(B), H2C(B)		
浸水量[m ³]	215		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
安全機能	○												
機能判定													
系統機能判定													
系統名	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)	原子炉の緊急停止機能 制御棒及び調整機動作 (水注調整ユニット)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	-	A	-	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール				燃料プール				
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	格納容器の隔離機能	格納容器の隔離機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	事故時状態記憶	事故時状態記憶	事故時状態記憶	事故時状態記憶	事故時状態記憶
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機能判定													
系統機能判定													
系統名	格納容器の冷却機能 (格納容器冷却ユニット)	格納容器の隔離機能 (格納容器隔離ユニット)	格納容器の隔離機能 (格納容器隔離ユニット)	格納容器の隔離機能 (格納容器隔離ユニット)	非常用電源機能 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源機能 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源機能 非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源機能 非常用電源 非常用電源 非常用電源	事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶	事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶	事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶	事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶	事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶 事故時状態記憶
系統区分	A	B	A	B	-	-	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損		総合判定		備考
	R-12F-09N	○	○		
海水発生区画	R-12F-09N				
海水源	RHR(A)				
浸水量[m ³]	311				
原子炉施設					
評価対象	原子炉保護時注水機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	隔離熱除去機能
安全機能	原子炉緊急停止機能	HG1(I) and HG1(II) or SLC(I) and SLC(II)	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[RHR(A) or LKCS] and [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C)] and [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C)] and [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C)]
機能判定	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SLC(A) and SLC(B)	ADS(I) and [RHR(A) or LKCS]	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C)] and [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C)]
系統名	制御棒及び調整棒駆動系(水注調整ユニット)	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
	制御棒及び調整棒駆動系(水注調整ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	自動減圧系+B-(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B C	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設							燃料プール				
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能				
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)				
機能判定	○	○	○	○	○	○	[RHR(A) or RHR(B)]	○				
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)				
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイズ/高圧炉心スプレイズ補給海水系	事故時計算系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系				
系統区分	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B				
安全区分	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II				
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○				

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B2F-10N	○	
浸水源	HCS		
浸水量[m ³]	195		

評価対象	原子炉施設																			
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能														
安全機能	[HGI(1) and HGI(II)] or [SLC(1) and SLC(II)]			2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(1) or ABS(1)] or [SRV(II) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HCS	ABS(1) and RRR(O)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱及び制御棒駆動系 (水圧調整ユニット)	残留熱及び制御棒駆動系 (水圧調整ユニット) ほう動水注入系	高圧中心スプレイ系 原子炉冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	自動減圧系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設																			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	冷却器機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能										
安全機能	[RRR(A) or RRR(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[SGT(A) or SGT(B)]	[HGC(A) or HGC(B)]	[FPC(A) or FPC(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	FCS(A) or FCS(B)	SGT(A) or SGT(B)	HGC(A) or HGC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測用電源	中心制御室 空調換気系	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	事故時計測系	残留熱除去系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	監視機能										
系統区分	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-10P-12N	○	
海水源	HPSW		
浸水量[m ³]	119		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or LKS] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]				
機能判定	○	○	○	○	○	○				
系統機能判定	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	RVC or HPS	ADS(I) or RRR(A) or LKS	ADS(II) or RRR(C)	HPS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
系統名	原子炉の緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水圧制御ユニット) ほか 海水注入系	原子炉の緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	自動減圧系+B (C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	残留熱除去系 (低圧注水モード) 自動減圧系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系 (低圧注水モード) 自動減圧系
系統区分	A	B	-	A	B	C	-	A	B	C
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール												
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-10P-13N	○	
浸水源	漏電		
浸水量[m ³]	35		

評価対象	原子炉保護		原子炉施設		備考
	原子炉保護時注水機能	未燃燃料貯蔵機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	
安全機能	原子炉緊急停止機能 HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B) HCU(C) and HCU(D)	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RR(C) or RR(D)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RR(A) or RR(B) or RR(C) or RR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(C) and RR(D)	SGC(A) and SGC(B)	ABS(II) or RR(C)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II) and RR(A) or RR(B) or RR(C) and RR(D)
系統名	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)
系統区分	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	燃料貯蔵内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	燃料貯蔵内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	
系統名	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	
判定	○	○	○	○	○	○	○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-10P-14N	○	
海水源	HPCW		
浸水量[m ³]	43		

評価対象	原子炉施設																						
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能																	
安全機能																							
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SGI(A) and SGI(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	ABS(I) or ABS(II)	RVC or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	RVC or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉降圧時注水系統	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)	高圧圧入系 (低圧注水モード)
系統区分	A	B	-	A	-	B	C	-	-	A	B	-	A	B	-	A	B	-	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	III	I	II	III	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール													
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能																								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上	2E区以上
系統名	格納容器冷却系 (格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-10P-15N	○	
海水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	306		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	水蒸気維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A) or RRR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RRR(C) and RRR(D)	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B A	-	- B C	-	-	-	- A B	- A	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	II	III	I II	I II	I II	I I	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×

評価対象	原子炉施設											
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	除種容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-10P-16N	○	
海水源	RWC(N), WID, HCF		
浸水量[m ³]	200		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RRR(A)	SRV(I) or SRV(II) and RRR(A)	[SRV(I) or SRV(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時冷却系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	非常用電源機能/非常用冷却電源機能/非常用電源機能	RRR(A) and RRR(B)	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用電源機能	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時計算系	燃料プールの冷却系	残留熱除去系	燃料プールの補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-12F-17N, R-12F-18N, R-12F-19N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	77		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほうろ筒水注入系	原子炉保護時冷却系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	R-HPF-31N	HPCS		
海水発生区画			○	
海水源				
海水量[m ³]	495			

評価対象	原子炉施設							
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	滞留熱除去機能		
安全機能								
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ABS(I)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RRR(C) or HPCS	ABS(I) or RRR(B) or RRR(C)	HPCS	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) or SRV(II) or ABS(II)	SRV(I) or ABS(I) and RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	滞留熱及び制御棒駆動系(水注用サブユニット)	滞留熱及び制御棒駆動系(水注用サブユニット)	原子炉滞留熱冷却系	自動減圧系+ A-滞留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系 滞留熱除去系 自動減圧系	滞留熱除去系(低圧注水モード)	滞留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設								燃料プール			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能												
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	○	
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	
系統名	滞留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ補給冷却系 高圧中心スプレイ補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系 滞留熱除去系	燃料プールの補給水	滞留熱除去系	
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I	
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-01N, R-B1F-08N	○	
溢水源	CRD		
溢水量[m ³]	228		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	[HG1(A) and HG1(B)]	[HG1(A) and HG1(B)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HG1(A) and HG1(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RBR(A) or RBR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RBR(A) or RBR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RBR(A) or RBR(B)	SRV(I) or ADS(I)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット) ほか 節水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (炉心停止時注水モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	I	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	中心制御室/空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HIF-02N	○	
海水源	漏洩		
浸水量[m ³]	335		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能	[HG1(A) and HG1(B)]	[HG1(A) and HG1(B)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HG1(A) and HG1(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or ABS(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	[SRV(I) or SRV(II)] and [RHR(A) or RHR(B)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系統	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード) and [RHR(A) or RHR(B)]
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	A B C
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	[RHR(A) or RHR(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]	[FCS(A) or FCS(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	[RHR(A) or RHR(B)]
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	I	II	III	I	II	I	II	I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-04N	○	
海水源	BEC(F0) (A)		
積水量[m ³]	29		

評価対象	原子炉施設								
	原子炉の緊急停止機能	本体昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能			
安全機能					[SRV(I) or SRV(II)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(C) or RR(D)]			
機能判定	○	○	○	○	○	○			
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or RR(A) or RR(C)	ADS(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(II) or RR(A) or RR(B)	[SRV(I) or ADS(II)] or [RR(B) or RR(C) and RR(D)]
系統名	制御棒及び調整駆動系(水注調整ユニット)	制御棒及び調整駆動系(水注調整ユニット)ほか節水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B A	-	- B C	-	A B	A B	A -	- B C B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○ ○	○ × ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ × ○	○ ○ ×	○ × ○	○ ○ ○

評価対象	原子炉施設							燃料プール				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)]	FWF or [RR(A) or RR(B)]	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	ISG(A) or ISG(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区分以上	2E区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用電源	原子炉補給冷却系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故検出装置	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系統	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○ ×	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ × ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HUF-05N	○	
海水源	BEG(F0) (B)		
浸水範囲	29		

評価対象		原子炉施設														
安全機能	原子炉の緊急停止機能	本底昇降機機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能		隔離熱除去機能									
	原子炉の緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RGIC or HPCS	ABS(II) or BRR(O)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	BRR(A) or BRR(B)	FPCS	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	BRR(A) or BRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]
系統名	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能
	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能
	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能
	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能
	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能

評価対象		燃料プール											
安全機能	燃料容器の冷却機能	隔離機能	放射線物質の濃度低減機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
	燃料容器の冷却機能	隔離機能	放射線物質の濃度低減機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	
	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の冷却機能	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HIF-06N	○	
海水源	BEG(F0) (D)		
浸水量[m ³]	22		

評価対象		原子炉施設										
安全機能	原子炉の緊急停止機能	本機単独機能		原子炉保護時注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能		
		HGI(A) and HGI(B)	HGI(C) and HGI(D)	HGI(E) and HGI(F)	HGI(G) and HGI(H)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	
機能判定	○											
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SIG(A) and SIG(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	原子炉冷却系	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残圧系	残圧系	残圧系	残圧系	残圧系
系統区分	A	B	-	-	B	C	-	-	-	A	B	C
安全区分	I	II	III	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象		燃料プール											
安全機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区以上	2E区以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHW	RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス補給海水系	中心制御室/空調換気系	事故検出装置	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-07N	○	
海水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	298		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能					[SRV(A) or RRR(B)] or [SRV(A) or ADS(II)] and [RRR(A) or LKS] and [RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]							
機能判定	○	○	○	○	○							
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SGI(A) and SGI(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(II)	[RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)]	
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	原子炉保護時冷却系	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系	自動減圧系	速がし安全弁	残置熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残置熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	A B C	-	-	A B	-	A	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I	II	II	I	II	I	II	I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能												
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残置熱除去系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-09N	○	
海水源	HPS		
浸水量[m ³]	195		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(III) or SRV(IV)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]					
機能判定	○	○	○	○	○	○					
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPS	ABS(I) or RRR(B) or RRR(C)	HPS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(III) or ABS(III) and RRR(C) and RRR(D)			
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	残留熱除去系 (炉心停止時炉内モード)	ファイナンドアードリードによる除熱(I)	速がし安全弁	速がし安全弁	残留熱除去系 (炉心停止時炉内モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	A B	A	-	A	B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) and RRR(B) FWF	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) and RRR(B) FWF	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-10N	○	
海水源	RWC(N), WID, HCF		
浸水範囲	ZWS		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	[HGI(1) and HGI(II)] [SLC(1) and SLC(II)]		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or ABS(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能						
安全機能						[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]							
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FRR	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)		
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用電源	原子炉補給冷却系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	監視機能	
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-HF-11N	○	
浸水源	RSW(A)		
浸水量[m ³]	457		

評価対象	原子炉施設			
	原子炉保護時注水機能	未燃燃料貯蔵機能	低圧注水機能	廃熱除去機能
安全機能	原子炉保護時緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(C) or RRR(D)]
機能判定	○	○	○	○
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(II) and RRR(A)
系統名	原子炉保護時緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時緊急停止機能 (水注制御ユニット) ほうろく水注入系	原子炉保護時緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時緊急停止機能 (水注制御ユニット) ほうろく水注入系
系統区分	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	FCS(A) and FCS(B)	SGT(A) and SGT(B)	2E5分以上	2E5分以上	A3 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	可燃性ガス濃度制御系	非常用ガス処理系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-12N	○	
海水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	298		

評価対象	原子炉の緊急停止機能		原子炉の保時注水機能		原子炉の圧力逃がし機能		原子炉の除熱機能		
	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B)	
安全機能									
機能判定	○		○		○		○		
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	ADS(I) and RRR(A) or RRR(C)	ADS(II) and RRR(B) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	自動減圧系+A-残留除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイ系	自動減圧系+B-(C)-残留除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時炉心冷却モード)	残留熱除去系 (炉心停止時炉心冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B C	B C	-	-	-	A	A
安全区分	I II	I II	I II	II	III	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉の除熱				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	格納容器隔離弁 (格納容器冷却モード)	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 補給海水系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II III	I II III	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-13N	○	
海水源	RWC(A), HVC(A)		
浸水量[m ³]	199		

評価対象	原子炉施設				原子炉建屋		圧力逃がし機能		機械熱除去機能		
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	2区分以上	圧力逃がし機能	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II) or RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II) or RRR(A) or RRR(B)
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	RC/C or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RC/C or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水注制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水注制御ユニット)	原子炉降圧系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	III	III	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計算系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A	B	-	-	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	III	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-H1F-15N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m³]	77		

原子炉施設												
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(1) and HCI(2) or SLC(1) and SLC(2)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or BRR(O)	ABS(I) or SRV(II)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)	BRR(A) or BRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイ系	自動減圧系+ B-(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系
系統区分	A B	A B A	-	-	-	C	-	A	B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	II	III	I	II	I	I	I II
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール												
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表I-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-11F-16N	○	
溢水源	FP		
浸水範囲	77		

評価対象		原子炉施設											
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時の注水機能		低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
機能判定	○	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SGI(A) and SGI(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	ABS(II) and [RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	HPCS	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)]	RRR(A) or RRR(B)	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
系統名	原子炉の緊急停止機能	原子炉の注水機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能	原子炉の注水機能
系統区分	A	B	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III	III
安全区分	I	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象		燃料プール											
安全機能	燃料容器の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○	○		
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FWF	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
系統名	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	燃料容器冷却機能	
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-11F-17-1N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	77		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほうろ筒水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										燃料プール					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能					
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○					
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FWF	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	-		
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能			
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-		
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-		
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-UIF-17-2N	○	
海水源	RWC(N), WID, HCF		
浸水量[m ³]	298		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HCI(1) and HCI(II) or SIC(1) and SIC(II)		2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(1) and RRR(O)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ABS(II)	RRC(A) or RRC(B)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉内モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A	-
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設											
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
安全機能												
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRC(A) and RRC(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)	RRC(A) and RRC(B)	FPC(A) and FPC(B)	RRC(A) and RRC(B)	RRC(A) and RRC(B)	RRC(A) and RRC(B)
系統名	格納容器駆動系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源
系統区分	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	R-UIF-18-1N	FP		
海水発生区画				
海水源				
浸水量[m ³]				

評価対象	原子炉施設																			
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能														
安全機能																				
機能判定																				
系統機能判定																				
系統名																				
系統区分																				
安全区分																				
判定																				

評価対象	原子炉施設										燃料プール												
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能												
安全機能																							
機能判定																							
系統機能判定																							
系統名																							
系統区分																							
安全区分																							
判定																							

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-20N	○	
海水源	RSW(A)		
浸水量[m ³]	457		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]
系統名	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系維持機能 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水機能	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)
系統区分	A B	A B	-	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	原子炉緊急停止機能 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室 非常用換気空調系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HIF-20N	○	
海水源	RSW(B)		
浸水量[m ³]	457		

原子炉施設									
評価対象	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能		原子炉保護時注水機能		圧力逃がし機能		廃熱除去機能	
		HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
安全機能	○								[RRR(A) or RRR(B)] or [SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(C) or RRR(D)] or [SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(E) or RRR(F)]
機能判定	○								○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and RRR(A) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット) ほう動水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉心モード)	ファイナードアンドブリードによる除熱(I) 残留熱除去系(炉心停止時炉心モード) 残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール												
評価対象	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶		冷却機能	給水機能	監視機能
								FCS(A) or FCS(B)	FPC(A) or FPC(B)			
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	A or B系	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○			○		
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E区分以上	2E区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FWF	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-	I II
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-21N	○	
海水源	HCS		
浸水量[m ³]	195		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能					[SRV(A) or RHR(B)] or [SRV(A) or ADS(C)] and [RHR(A) or LPS] and RHR(A)						
機能判定	○	○	○	○	○						
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RHR(A) or RHR(B)	
系統名	制御棒及び調整機動作系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作系(水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	原子炉保護時注水系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区分以上	2E区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表I-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-24N	○	
海水源	BEG(F0) (D)		
浸水量[m ³]	22		

原子炉施設																		
評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	沸騰熱除去機能												
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[RR(A) or RR(B)] and [RR(C) or RR(D)]												
機能判定	○	○	○	○	○	○												
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) and RRR(A) or RRR(B) and RRR(C) and RRR(D)												
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	原子炉冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	自動減圧系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系	残圧中心スプレイス系		
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	-	A	B	-	A	-	A	-	B	C	B
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール													
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)		
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)		
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計算系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給系	残留熱除去系		
系統区分	A	B	-	A	B	-	A	B	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	I	I	II	III	I	II	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-28N	○	
海水源	RWC(A), HWC(A)		
浸水範囲	199		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(II) or ADS(II)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	[RRC(A) or RRC(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(A) or RRC(B)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RRC(A) or LPS]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRC(A) or RRC(B)	SRV(I) or [ADS(I)] and [RRC(A) or LPS] and RRC(A)	[SRV(I) or ADS(II)] and [RRC(B) or RRC(C) and RRC(D)]		
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系 モード	速がし安全弁 自動減圧系 (低圧注水モード)	フィードアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)	
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A	-	A B C B
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I	I	I II	II II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ×	○ ○ ○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRC(A) and RRC(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRC(A) and RRC(B)	RRC(A) and RRC(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRC(A) and RRC(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRC(A) and RRC(B)	RRC(A) and RRC(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	× ○	○ ○	○ ○	× ○	○ ○	○ ×	○ ○	× ○	○ ×	○ ×	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-HF-29N	○	
海水源	漏洩		
浸水範囲	35		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉保護時 注水機能	本施設維持機能	原子炉保護時 注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	HQ(C) or HQ(D)	ABS(I) or ABS(II) or RRR(B) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II) or ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II) or ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (高圧炉心スプレイスモード)	速がし安全弁	残留熱除去系 (高圧炉心スプレイスモード)	速がし安全弁	残留熱除去系 (高圧炉心スプレイスモード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRR(A) or RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系統
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-01-1N	○	
海水源	漏洩		
浸水量[m ³]	9		

原子炉施設																
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能										
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(I)] and [RR(C) or RR(D)]										
機能判定	○	○	○	○	○	○										
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RC or HPCS	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	RR(E) or RR(F)	RR(G) or RR(H)	[SRV(I) or ADS(I)] and [RR(A) or RR(B)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RR(C) or RR(D)]					
系統名	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)					
系統区分	A	B	-	B	C	-	A	B	-	A	-	A	B	C	B	
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	I	I	I	II	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール											
評価対象	燃料容器の冷却機能	燃料容器の隔離機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	燃料容器の冷却機能	燃料容器の隔離機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	[FPC(A) or FPC(B)]	[RR(A) or RR(B)]	[RR(A) or RR(B)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	FWF	RR(A) and RR(B)	
系統名	燃料容器の冷却機能 (燃料容器冷却ユニット)	燃料容器の隔離機能 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器内の可燃性ガス制御機能 (燃料容器内ガス濃度制御システム)	非常用電源機能 (非常用電源/非常用冷却電源/非常用換気空調)	原子炉補給冷却機能/冷却用海水供給機能 (原子炉補給冷却機能/冷却用海水供給機能)	原子炉制御室非常用換気空調機能 (原子炉制御室非常用換気空調機能)	事故時状態記憶 (事故時状態記憶)	燃料プールの冷却機能 (燃料プールの冷却機能)	燃料プールの給水機能 (燃料プールの給水機能)	燃料プールの監視機能 (燃料プールの監視機能)	
系統区分	A	B	A	B	-	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-02N	○	
浸水源	RWC(N), WID, HCF		
浸水量[m ³]	181		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の緊急停止機能
安全機能													
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール				燃料プール				
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能													
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-03N、R-1F-22N	○	
浸水源	HCS		
浸水量[m ³]	195		

評価対象	原子炉施設																
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能 (HCl(I) and HCl(II)) or (SIC(I) and SIC(II))	原子炉保排時注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能		滞留熱除去機能								
			HCl(A) and HCl(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	ABS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RRR(A)	SRV(I) or ADS(II)	[RR(A) or RRR(O)] and [RR(C) or RRR(B)]	[RR(C) or RRR(B)] or [RR(A) or RRR(C)] and [RR(B) or RRR(O)]	[RR(A) or RR(C)] and [RR(B) or RR(O)]	[RR(A) or RR(C)] and [RR(B) or RR(O)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定																	
系統名	滞留熱除去系 (水圧調整ユニット)	滞留熱除去系 (水圧調整ユニット)	原子炉保排時注水系	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系 滞留熱除去系 自動減圧系 B(C)-滞留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系 滞留熱除去系 自動減圧系	高圧中心スプレイ系 滞留熱除去系 自動減圧系 自動減圧系 + A-滞留熱除去系 (低圧注水モード)	HPCS	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	RBC(A) or RRR(A)	SRV(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(II)	[RR(A) or RR(C)] and [RR(B) or RR(O)]
系統区分	A	B	-	-	-	B	C	-	-	A	B	-	A	-	A	-	B
安全区分	I	II	II	III	I	II	II	III	I	II	I	II	I	I	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設												
	格納容器の冷却機能	滞留熱除去系 (格納容器冷却ユニット)	滞留熱除去系 (格納容器外側)	非常用電源 非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	非常用電源機能	補給冷却機能/ 冷却用海水供給機能	原子炉制御室 非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	滞留熱除去系 (格納容器冷却ユニット)	滞留熱除去系 (格納容器外側)	非常用電源 非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	非常用電源機能	補給冷却機能/ 冷却用海水供給機能	原子炉制御室 非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統区分	A	B	-	-	2E5分以上	2E5分以上	A B A B A B A B	A B A B A B A B	A B A B A B A B	A B A B A B A B	A B A B A B A B	A B A B A B A B	
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-05N	○	
浸水源	RHR(A)		
浸水量[m ³]	311		

評価対象	原子炉施設																							
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能																		
安全機能																								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	HGI(A) and HGI(B)	SGT(A) and SGT(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	
系統名	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	-	-	A	B	C	B	A	B	C	B	A	B	C	B	A	B	C
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール														
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能																									
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	
系統名	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停止機能 (水圧制御ユニット)	
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定		備考	
	R-1F-07-1N		○			
海水発生区画						
海水源						
海水量[m ³]	311					
評価対象	原子炉施設					
安全機能	原子炉の緊急停止機能	永続昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	隔離熱除去機能
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[RHR(A) or RHR(B)] or [RHR(C) or RHR(D)] or [RHR(E) or RHR(F)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or RRR(B) or RRR(C)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉隔離時冷却系	高圧炉心スプレイズ系	原子炉緊急停止時冷却モード	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A	B	A	B	C	A
安全区分	I	II	I	II	III	I
判定	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設						燃料プール					
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイズ/高圧炉心スプレイズ/高圧炉心スプレイズ/補給海水系	中心制御室/空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-07-2N	○	
海水源	RHR(A)		
浸水量[m ³]	311		

原子炉施設													
評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能		原子炉保護時注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能					
		HCI(A) and HCI(B)	SGT(A) and SGT(B)	SGT(A) and SGT(B)	RHC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	HPCS or RHR(O)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(C) and RHR(D)		
機能判定	○			2区分以上	○								
系統機能判定													
系統名	残留熱及び制御駆動系(水圧制御ユニット)	残留熱及び制御駆動系(水圧制御ユニット)	残留熱及び制御駆動系(水圧制御ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	自動減圧系	残圧炉心スプレイス系(炉心停止時冷却モード)	残圧炉心スプレイス系(低圧注水モード)	残圧炉心スプレイス系(低圧注水モード)	残圧炉心スプレイス系(低圧注水モード)	残圧炉心スプレイス系(低圧注水モード)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	-	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	II	III	I	II	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール													
評価対象	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-08N	○	
浸水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	181		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能					[SRV(A) or RRR(B)] or [SRV(A) or ADS(II)] and [RRR(A) or LKS] and [RRR(C) or RRR(D)]						
機能判定	○	○	○	○	○						
系統機能判定	RWC(A) and HCU(B)	SGC(A) and SLC(B)	RVC or HPS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A) or LKS and RRR(A)	SRV(II) or ADS(II) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)		
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時冷却系 高圧炉心スプレイ系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系	自動減圧系+B (C)-残留熱除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイ系 残留熱除去系	高圧炉心スプレイ系 自動減圧系	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 速がし安全弁	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 速がし安全弁	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 速がし安全弁	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 速がし安全弁	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) 速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	B	C	-	A	B	C	B
安全区分	I	II	III	I	II	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
系統名	残置熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可溶性ガス濃度調整系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残置熱除去系	燃料プール補給水系	残置熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-09N, R-1F-26N	○	
溢水源	CK, FW		
溢水量[m ³]	504		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HCU(1) and HCU(2) or SLC(1) and SLC(2)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] or [SRV(1) or ADS(II)]	[RR(A) or RR(B) or RR(C) or RR(D)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RR(A) or RR(B) or RR(C) or RR(D)]				
機能判定	○	○	○	○	○	○				
系統機能判定	RR(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	RC/C or HPCS	ADS(1) or RR(A) or RR(C)	SRV(1) or SRV(2) or ADS(1) or ADS(2)	RR(A) or RR(B)	SRV(1) or ADS(1) or RR(A) or RR(B)	SRV(1) or ADS(1) or RR(A) or RR(B)	SRV(1) or ADS(1) or RR(A) or RR(B)	[RR(A) or RR(B) or RR(C) or RR(D)]
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水機	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧圧入スプレイ系	高圧圧入スプレイ系	残留熱除去系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	フィードアンドブリードによる除熱(Ⅰ) フィードアンドブリードによる除熱(Ⅱ)
系統区分	A B	A B	-	-	-	A B C	-	A	-	A B C B
安全区分	I II	I II	III	I	II	II	I	I	II	I II II II
判定	○ ○	× ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○

燃料プール									
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器(内側) 隔離弁(外側)	非常用電源	非常用電源	非常用電源	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源	非常用電源	非常用電源	事故時状態記憶	FPC(A) or FPC(B) [RR(A) or RR(B)]	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧圧入スプレイ系 高圧圧入スプレイ系 高圧圧入スプレイ系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-10N	○	
海水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and ADS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時炉心モード)	速がし安全弁 自動減圧系 モード	速がし安全弁 自動減圧系 (低圧注水モード)	オートアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)
系統区分	A B	A B A	-	-	-	-	-	A B	-	-	A B C B
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II II II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ × ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系統
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-1LN	○	
海水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	206		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	炉心維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能						RHR(A) or RHR(B) or [SRV(I) or ADS(I)] and [RHR(A) or LKS] and RHR(A)				
機能判定	○		○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	○				
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RHR(B) or RHR(C)	SRV(I) or SRV(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RHR(B)	[SRV(II) or ADS(II)] and RHR(B)
系統名	炉心維持・制御駆動系 (水圧制御ユニット)	炉心維持・制御駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残置熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	残置熱除去系 (低圧注水モード)	残置熱除去系 (炉心停止時冷却モード)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	C
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール											
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	
系統名	残置熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残置熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-12N	○	
溢水源	RHR(B)		
溢水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本燃棒維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or BRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or BRR(A) and RHR(A)	SRV(I) or ADS(I) or BRR(B) and RHR(B)	SRV(II) or ADS(II) or BRR(C) and RHR(C)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	A	-	-	-	A	-	A	-
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and BRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or BRR(B)	RHR(A) or BRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and BRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or BRR(B)	RHR(A) or BRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系/高圧冷却系 高圧中心スプレイ系/補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-13N	○	
浸水源	OUT		
浸水量[m ³]	61		

原子炉施設										
評価対象	原子炉保護時注水機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and (RIR(A) or LPS)	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	ADS(I) or ADS(II)	RIR(A) or RIR(B)	SRV(I) or ADS(II) and RIR(A)	[SRV(I) or ADS(II)] or [RIR(B) or RIR(C)] and RIR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水機能	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	速がし安全弁	高圧中心スプレイ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	A -	-	-	-	A B	-	A -
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール											
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	事故時状態記憶	[FPC(A) or FPC(B)] or [RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RIR(A) or RIR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	2区分以上	2区分以上	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FIR or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	-	-	A B	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	III	I II	I II	-	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定		備考				
		総合判定	備考					
海水発生区画	R-1F-14N							
海水源	RSW(A)							
浸水範囲	194							
原子炉施設								
評価対象	原子炉の緊急停止機能	本機単体維持機能 (HCU(I) and HCU(II)) or (SLC(I) and SLC(II))	原子炉保護時注水機能		圧力逃がし機能 (SRV(I) or SRV(II)) or (ABS(I) or ABS(II))	滞留熱除去機能		[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RR(C) or RR(D)] or [RR(A) or RR(B)] and [RR(C) or RR(D)]
			原子炉の緊急停止機能 (HCU(A) and HCU(B))	SLC(A) and SLC(B)		RR(C) or HPCS	RR(D) or RR(E)	
系統機能判定	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	RR(C) or HPCS	RR(D) or RR(E)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D) or RR(E)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D) or RR(E)
系統名	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉の緊急停止機能 (水注制御ユニット)	RR(C) or HPCS	RR(D) or RR(E)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D) or RR(E)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D) or RR(E)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RR(A) or RR(B)]	[RR(A) or RR(B)]	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区以上	2E区以上	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)
系統名	格納容器隔離弁 (格納容器冷却ユニット)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	滞留熱除去系
系統区分	A	B	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-15N	○	
海水源	RSW(B)		
浸水量[m ³]	194		

原子炉施設												
評価対象	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能		原子炉保護時注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能		廃熱除去機能		
		HCU(A) and HCU(B)	SGT(A) and SGT(B)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SGT(A) and SGT(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	III	III	III	II	II	I	II	I	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール												
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器隔離弁	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	格納容器内の非常用電源	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	燃料プール		
										燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	燃料プール冷却系
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FHR(A) and FHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHR(A) and FHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源	原子炉補給冷却系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A	B	A	-	-	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	III	III	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損		総合判定		備考	
海水発生区画	R-1F-24-2N					
海水源	FP					
浸水量[m ³]	68					
評価対象	原子炉施設					
安全機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の隔離時注水機能	原子炉の隔離時注水機能	原子炉の隔離時注水機能	原子炉の隔離時注水機能	原子炉の隔離時注水機能
機能判定	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HC(A) and HC(B)	SLC(A) and SLC(B)	ABS(II) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) and RRR(A)
系統名	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系統 (水圧調整ユニット)
系統区分	A B	A B	A B C	I II III	I II III	I II III
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)
系統名	原子炉冷却系統 (格納容器冷却モード)	非常用電源 (格納容器冷却モード)	非常用電源 (格納容器冷却モード)	非常用電源 (格納容器冷却モード)	非常用電源 (格納容器冷却モード)	非常用電源 (格納容器冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

安全機能	機能判定	系統機能判定	系統名	原子炉施設		燃料プール		監視機能
				非常用電源機能	格納容器内の可燃性ガス調整機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス調整機能	
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-29N	○	
海水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	181		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HCI(1) and HCI(II) or SIC(1) and SIC(II)		2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(1) and (RIR(A) or LPS)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ADS(II)	RIR(A) or RIR(B)	SRV(1) or SRV(II) or LPS	SRV(1) or SRV(II) or LPS	SRV(1) or SRV(II) or LPS	SRV(1) or SRV(II) or LPS
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I	II	I	II	I II	I	I	II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RIR(A) and RIR(B)	RIR(A) and RIR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RIR(A) or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RIR(A) and RIR(B)	RIR(A) and RIR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RIR(A) or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-30N	○	
海水源	RHR(A)		
浸水量[m³]	311		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	HGI(1) and HGI(II) or SIC(1) and SIC(II)		2区分以上		[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定													
系統名	原子炉緊急停止機能 原子炉保護時注水機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 原子炉保護時注水機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 原子炉保護時注水機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	
系統区分	A	B	A	B	A	B	C	-	A	B	-	A	
安全区分	I	II	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

評価対象	原子炉施設											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]		
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定												
系統名	格納容器冷却機能 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水係	残熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-32N	○	
海水源	LPS		
浸水量[m ³]	231		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能					
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	SRV(I) or SRV(II)	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RR(C) or RR(D)]					
機能判定	○	○	○	○	○					
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	RR(E) or RR(F)	RR(G) or RR(H)	RR(I) or RR(J)	RR(K) or RR(L)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	A	B	C	-	A	B	C	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール											
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RR(A) and RR(B)	RR(C) and RR(D)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E区以上	2E区以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	RR(C) and RR(D)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E区以上	2E区以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-33N	○	
浸水源	HCS		
浸水量[m ³]	195		

評価対象	原子炉施設									
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能		HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ABS(I)] and [RR(A) or RR(B)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RR(C) or RR(D)]				
機能判定	○	○	○	○	○	○				
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RR(B) or RR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RR(A) or RR(B)	SRV(II) or ABS(II) and RR(C) or RR(D)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 速がし安全弁	速がし安全弁 速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール									
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系/高圧冷却系 高圧中心スプレイ系/補給海水系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-1F-3AN	○	
海水源	RHR(B)		
浸水範囲	306		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	本燃棒維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and ADS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B A	-	-	-	-	-	A B	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離系	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-102N	○	
浸水源	RWL(R02)		
浸水量[m ³]	20		

評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	隔離熱除去機能	備考
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)] [RR(E) or RR(F)] [RR(G) or RR(H)]	[RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)] [RR(E) or RR(F)] [RR(G) or RR(H)]
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RR(C) or RR(D)	SRV(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ABS(II) or RR(A) or RR(B)
系統名	隔離熱除去系 (水圧調整ユニット)	隔離熱除去系 (水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	残留熱除去系 (炉心停止時注水モード)	フィードアンドブリードによる除熱(I) 残留熱除去系 (炉心停止時注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	A B	自動減圧系 速がし安全弁
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉保護							燃料プール				監視機能
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	AS or BS系	FPC(A) or FPC(B)	[RR(A) or RR(B)]	RR(A) or RR(B)		
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	AS or BS系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	FWF	RR(A) or RR(B)	-
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系	事故時計算系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-2F-0AN	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	17		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能					備		
安全機能		HGI(1) and HGI(II) or SLC(1) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [SRV(2) or RRR(C)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(1) or ADS(1)] or [SRV(1) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or ADS(1) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう館水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス系 高圧中心スプレイス系 高圧中心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-05N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	17		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁	残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	×	○ ○	×	○ ○	○ ○	×	○ ○	○ ○	○ ○	×

評価対象	原子炉施設										燃料プール							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能							
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FWF	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧注水モード	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	監視機能		
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-06N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	17		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]	[RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]	[RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]	[RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]	[RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]	[RRR(A) or RR(C)] and [RRR(B) or RR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RR(C)	RRR(B) or RR(D)	RRR(A) or RR(C)	RRR(B) or RR(D)	RRR(A) or RR(C) and RR(B)
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A	B	-	A	-	-	-	A	-	A	B
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RR(B)]	RRR(A) or RR(B)	RRR(A) or RR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系/高圧冷却系 高圧中心スプレイ系/補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-2F-08N	○	
海水源	R2W(N), HD, HCF		
浸水範囲	143		

評価対象		原子炉施設											
安全機能	機能判定	原子炉保護時注水機能		未燃燃料貯蔵機能		原子炉保護時注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能	
		原子炉緊急停止機能	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(A) and HCI(B)	原子炉保護時注水機能	原子炉緊急停止機能	原子炉保護時注水機能	原子炉緊急停止機能	原子炉保護時注水機能	原子炉緊急停止機能	原子炉緊急停止機能	原子炉緊急停止機能
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定		HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(A) and HCI(B)	原子炉保護時注水機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	原子炉保護時注水機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)
系統名		原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉保護時注水機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)
系統区分		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分		I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象		原子炉施設															
安全機能	機能判定	格納容器の冷却機能		格納容器内の可燃性ガス制御機能		非常用電源機能		補給冷却機能/冷却用海水供給機能		事故時状態記憶		冷却機能		給水機能		監視機能	
		格納容器冷却モード	格納容器冷却モード	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	事故時状態記憶	冷却機能	冷却機能	給水機能	給水機能	監視機能	監視機能
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定		RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	HVC(A) and HVC(B)	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW	RHR(A) and RHR(B)	-	-
系統名		格納容器冷却モード (格納容器冷却モード)	格納容器冷却モード (格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源	非常用交流電源	原子炉補給冷却系	原子炉補給冷却系	事故時計算系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	燃料プール冷却系	監視機能	監視機能
系統区分		A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B	-	A	B	-
安全区分		I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	-	I	II	-
判定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-09N	○	
浸水源	RHR(A)		
浸水量[m ³]	311		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能					[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or ADS(I)] and [RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(II) or ADS(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]						
機能判定	○	○	○	○	○						
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RHR(C) and RHR(D)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	原子炉保護時注水系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	-	-	C	-	-	A	B	C
安全区分	I	II	III	I	II	II	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器隔離弁	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW
系統名	制御棒駆動系(格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-2F-10N	○	
海水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HG1(I) and HG1(II) or SLC(I) and SLC(II)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RHR(B) or RHR(C)] or [RHR(A) or LKS] and [RHR(A)]						
機能判定	○	○	○	○	○	○						
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RHR(C)	HPCS or SRV(I) or SRV(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RHR(A) or LKS and RHR(A)	SRV(II) or ADS(II) and RHR(B)	[RHR(B) or RHR(C)] and RHR(B)	
系統名	制御棒及び調整機動系 (水注調整ユニット)	制御棒及び調整機動系 (水注調整ユニット) ほう館水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	自動減圧系 速がし安全弁	残留熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	フィードアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)	
系統区分	A B	A B A	-	-	-	-	-	A B	-	A	-	A B C B
安全区分	I II	I II	III	I	II	III	I	I II	I II	I	I	I II II II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ × ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) SGT(B)	非常用電源機能	2区分以上	HVC(A) HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) SGT(B)	非常用電源機能	2区分以上	HVC(A) HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離系	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II III	I II	I II	I II	I II	-	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水源生区画	R-2F-11N, R-2F-12N, R-2F-18N, R-2F-19N, R-2F-24N, R-2F-25N	○	
溢水源	RHR(B)		
溢水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉の緊急停止機能		原子炉の保時注水機能		原子炉の圧力逃がし機能		原子炉の冷却機能	
	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B)
安全機能								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	ADS(I) and RRR(A) or RRR(C)	ADS(II) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	B-(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイスラッシュ系	高圧炉心スプレイスラッシュ系	高圧炉心スプレイスラッシュ系	高圧炉心スプレイスラッシュ系
系統区分	A	B	A	B	C	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉の冷却				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源/非常用熱気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FHW or RRR(A) or RRR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	格納容器冷却系統 (格納容器冷却ユニット)	可燃性ガス濃度調整系統	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	中心制御室/非常用熱気空調機	事故時計算系統	燃料プール冷却系統	燃料プール補給系統	残留熱除去系統
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	R-2F-13N	○		
海水発生区画	R-2F-13N		○	
海水源	RRR(A)			
浸水量[m ³]	311			
評価対象	原子炉施設			
安全機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の保時注水機能	低圧注水機能	停機熱除去機能
機能判定	○	○	2区分以上	[SRV(A) or RRR(B)] or [SRV(A) or ADS(I) and RRR(A) or LKS or RRR(C) and RRR(B)] and [SRV(A) or RRR(B)] or [SRV(A) or RRR(C) and RRR(B) or RRR(A)]
系統機能判定	RRR(A) and HCU(B)	RRR(A) and HCU(B)	RRR(A) and HCU(B)	RRR(A) and HCU(B)
系統名	制御棒及び調整機動作(水注調整ユニット)	原子炉保時注水システム	自動減圧系+高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード) 自動減圧系
系統区分	A B	A B	A B C	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) RRR(B)	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) RRR(B)	FCS(A) FCS(B)	2区分以上	2区分以上	A系 or B系	FPC(A) FPC(B)	RRR(A) RRR(B)	RRR(A) RRR(B)
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	事故時計算系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II III	I II III	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-2F-14N	○	
海水源	RHR(A)		
浸水量[m ³]	311		

原子炉施設																						
評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉の保排時注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能															
			HCI(A) and HCI(B)	SGC(A) and SGC(B)	SRV(I) or SRV(II)	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	HCI(A) and HCI(B)	SGC(A) and SGC(B)	RHC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)		
系統名	残留熱除去系 (燃料容器冷却モード)	残留熱除去系 (水圧調整ユニット)	残留熱除去系 (水圧調整ユニット)	原子炉保排時注水系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系 + B(C)-系残留熱除去系 (低圧注水モード)	自動減圧系	自動減圧系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	
系統区分	A	B	A	B	A	B	C	-	-	-	A	B	C	-	A	-	A	-	A	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール													
評価対象	燃料容器の冷却機能	隔離機能 (内側)	放射性物質の濃度低減機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	FCS(A) or FCS(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWF	RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系 (燃料容器冷却モード)	燃料容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-2F-15N	○	
海水源	RHR(B)		
浸水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RHR(A) or RHR(B)] and [RHR(C) or RHR(D)]					
機能判定	○	○	○	○	○	○					
系統機能判定	RHR(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) [RHR(B) or RHR(C)]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) and [RHR(A) or RHR(B)]	[SRV(II) or ABS(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]			
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	残留熱除去系(炉心停止時炉心モード)	残圧炉心スプレイス系	残圧炉心スプレイス系	残圧炉心スプレイス系	残圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	-	-	-	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and BHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and BHR(B)	RHR(A) and BHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and BHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and BHR(B)	RHR(A) and BHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	-	A	B	-	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	I	II	III	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-16N	○	
浸水源	FPC		
浸水量[m ³]	154		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能				[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	原子炉保護時注水系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス系)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源/非常用熱気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能							[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]		
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	事故時計測系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	
系統区分	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-20N	○	
浸水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	143		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RRR(B) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or LKS and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時冷却系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時冷却モード)	残圧炉心スプレイス系 (低圧注水モード)	残圧炉心スプレイス系 (低圧注水モード)	残圧炉心スプレイス系 (低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中央制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	残留熱除去系	燃料プールの補給水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-2IN	○	
浸水源	RWC(N), HD, HCF		
浸水量[m ³]	143		

評価対象	原子炉の緊急停止機能		原子炉の保時注水機能		原子炉の圧力逃がし機能		原子炉の除熱機能	
	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(D)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
安全機能	○							
機能判定								
系統機能判定								
系統名	原子炉停止機能 制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉の緊急停止機能		原子炉の保時注水機能		原子炉の圧力逃がし機能		原子炉の除熱機能	
	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(D)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
安全機能	○							
機能判定								
系統機能判定								
系統名	原子炉停止機能 制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉の緊急停止機能		原子炉の保時注水機能		原子炉の圧力逃がし機能		原子炉の除熱機能	
	HCI(A) and HCI(B)	HCI(C)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(D)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
安全機能	○							
機能判定								
系統機能判定								
系統名	原子炉停止機能 制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統	原子炉保時注水機能 原子炉停止時冷却系統
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-23N	○	
浸水源	FP		
浸水量[m ³]	17		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [SRV(II) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [SRV(II) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [SRV(II) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [SRV(II) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [SRV(II) or ABS(II)]
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) RRR(A) or LRS and RRR(A)	SRV(I) or ABS(I) RRR(B) or RRR(C) and RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール											
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FWF	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-40F-02N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	166		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RRA(A) or LPS]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRA(A) or RRA(B)	SRV(I) or [ADS(I)] and [RRA(A) or LPS] and RRA(A)	[SRV(I) or ADS(II)] or [RRA(B) or RRA(C)] and RRA(B)	[SRV(I) or ADS(II)] or [RRA(B) or RRA(C)] and RRA(B)
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット) ほうろ筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B A	-	- A -	- C	-	-	A B	- A -	- A -	- A -
安全区分	I II	I II	II	I I	II	I II	I II	I II	I I	I I	I I
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能											
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRA(A) or RRA(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRA(A) or RRA(B)	RRA(A) or RRA(B)	RRA(A) or RRA(B)	RRA(A) or RRA(B)
系統名	格納容器冷却系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	非常用交流電源 非常用直流電源 非常用制御電源	事故時状態記憶	FPC(A) or FPC(B)	残留熱除去系(燃料プール冷却)	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-42F-03N, R-42F-04N, R-42F-05N	○	
溢水源	RHR(A)		
溢水量[m ³]	311		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能				2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II) or ABS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B)] and [RRR(C) or RRR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHC(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPS	ABS(II) or RRR(C)	HPS or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整駆動系(水圧調整ユニット) ほう湯水注入系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系	原子炉保護時冷却系
系統区分	A B	A B	-	B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	格納容器の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能							[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	FRR(A) or FRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	格納容器冷却系(格納容器冷却ユニット)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール冷却系	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-42F-06N, R-42F-07N	○	
溢水源	RHR(B)		
溢水量[m ³]	206		

評価対象	原子炉施設														
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	滞留熱除去機能									
安全機能	HQ1(A) and HQ1(B)	SG1(A) and SG1(B)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]									
機能判定	○	○	○	○	○	○									
系統機能判定	HQ1(A) and HQ1(B)	SG1(A) and SG1(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RHR(O)	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(A)									
系統名	滞留熱及び制御駆動系 (水圧制御ユニット)	滞留熱及び制御駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系	自動減圧系+ A-滞留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイズ系	残置熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)									
系統区分	A B	A B	-	B C	-	A B	A B	A B	A	-	A	-	A	B	
安全区分	I II	I	III	II	I	II	I	II	I	II	I	I	I	II	II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										燃料プール				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度圧縮機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能				
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW	RHR(A) and RHR(B)	-		
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	FHW	RHR(A) and RHR(B)	-		
系統名	滞留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用直流電源 非常用交流電源 非常用制御電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイズ系 高圧中心スプレイズ系 高圧中心スプレイズ系 補給海水系	原子炉制御室 非常用熱気空間	事故時計算系	燃料プール冷却系	残置熱除去系	燃料プール補給水	残置熱除去系	監視機能		
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	B	-
安全区分	I II	I	II	I	III	I	I	II	I	II	I	I	I	II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-4UF-08N	○	
浸水源	CIV		
浸水量[m ³]	158		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	永続昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SIC(I) and SIC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) B-(C)-残留熱除去系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 速がし安全弁 速がし安全弁	速がし安全弁 速がし安全弁 速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-4UF-09N	○	
海水源	CIW		
浸水量[m ³]	158		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	残留熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	SGC(A) and HCU(D1) or SLC(I) and SLC(D1)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(C) or RR(D)]							
機能判定	○	○	○	○	○	○							
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SGC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or RR(A) or LPS	SRV(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	RR(E) or RR(F)	RR(G) or RR(H)	RR(I) or RR(J)	RR(K) or RR(L)	RR(M) or RR(N)	RR(O) or RR(P)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+B-(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	II	III	I	II	I	I	I	I
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	R-40P-10N	CIV		
海水発生区画				
海水源				
海水量[m ³]	158			

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能						[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or ADS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A)
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット) ほう動水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール																
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能									
安全機能																	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区分以上	2E区分以上	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWF	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-42F-11N, R-42F-12N, R-42F-28N	○	
溢水源	CIW		
浸水量[m ³]	158		

評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	滞留熱除去機能
安全機能						
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RHR(A) or RHR(B)] or [ABS(I) and RHR(A)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]
系統機能判定						
系統名						
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉保護				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源/非常用熱交換器機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能								
機能判定	○	○	○	○	○	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○
系統機能判定								
系統名								
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-40F-14N	○	
溢水源	CIW		
溢水量[m ³]	158		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	永電昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能				2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or RRR(O)] or [SRV(II) or RRR(O)]	[SRV(I) or RRR(A)] or [SRV(II) or RRR(B)]	[SRV(I) or RRR(C)] or [SRV(II) or RRR(D)]	[SRV(I) or RRR(E)] or [SRV(II) or RRR(F)]	[SRV(I) or RRR(G)] or [SRV(II) or RRR(H)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HC(A) and HC(B)	SLC(A) and SLC(B)	RC or HPS	ADS(I) or RRR(A) and RRR(B)	ADS(II) or RRR(O)	HPS	SRV(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A)	SRV(II) or RRR(B)	[SRV(I) or RRR(C)] or [SRV(II) or RRR(D)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう動水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧圧入スプレイ系	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧圧入スプレイ系	速がし安全弁	残留熱除去系(原子炉停止時注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	- A -	B C	-	-	A B	- A -	- A -	- A -
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I I	I I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール																	
	格納容器の冷却機能	格納容器内可溶性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能										
安全機能						[FPC(A) or FPC(B)]	[RR(A) or RRR(B)]											
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧圧入スプレイ系 高圧圧入スプレイ系 補給排水系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定		備考
		総合判定	備考	
海水発生区画	R-WP-15N			
海水源	CIV			
浸水量[m ³]	158			

評価対象	原子炉施設																					
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能																
安全機能																						
機能判定																						
系統機能判定																						
系統名	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停止制御系統 (水圧制御ユニット)	
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	C	-	-	A	B	-	A	B	-	A	B	
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定																						

評価対象	原子炉施設										燃料プール													
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器の隔離機能(内側)	格納容器(外側)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	冷却機能	事故時状態記憶	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能																								
機能判定																								
系統機能判定																								
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却ユニット)	格納容器(内側)格納容器(外側)	非常用ガス処理系	非常用交流電源非常用直流電源計測制御用電源	原子炉補給冷却系高圧炉心スプレィ補給冷却系高圧炉心スプレィ補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能	残留熱除去系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定																								

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-WP-16N	○	
浸水源	FPC		
浸水量[m ³]	154		

評価対象	原子炉施設													
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能								
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRA or RRB	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) and RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (炉心停止時炉内モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール													
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) or RRR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) or RRR(A) or RRR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-40F-17N	○	
海水源	FPC		
浸水量[m ³]	154		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RR(A) or RR(B)] [RR(C) or RR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and ABS(II) RR(B) or RR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or SRV(II) RR(A) or RR(B)	SRV(I) or SRV(II) RR(A) or RR(B)	SRV(I) or SRV(II) RR(A) or RR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほうろ筒水注入系	原子炉保護時の注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系 残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									FPC(A) or FPC(B) [RR(A) or RR(B)]	RR(A) or RR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A or B系	FPC(A) or FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系/高圧中心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-42F-18-1N, R-42F-21N, R-42F-22N	○	
海水源	R2W(B), H2C(B)		
浸水量[m ³]	79		

評価対象	原子炉施設				原子炉隔離時注水機能	原子炉電源	圧力逃がし機能	廃熱除去機能	
	原子炉の緊急停止機能	本燃棒維持機能	低圧注水機能	備用廃熱除去機能					
安全機能									
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	H2C(A) and H2C(B)	SGT(A) and SGT(B)	ADS(I) and ADS(II)	ADS(I) or ADS(II)	ADS(I) or ADS(II)	ADS(I) or ADS(II)	ADS(I) or ADS(II)	[SRV(A) or RHR(A)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [SRV(C) or RHR(C)]	[SRV(A) or RHR(A)] or [SRV(I) or SRV(II)] and [SRV(C) or RHR(C)]
系統名	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能								
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	H2C(A) and H2C(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	FHW and RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	非常用ガス処理系	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)	燃料容器隔離弁 (燃料容器隔離ユニット)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-40F-18-2N	○	
浸水源	CIW		
浸水量[m ³]	158		

評価対象	原子炉施設														
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					備考				
安全機能															
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]		
系統機能判定															
系統名	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御棒及び制御棒駆動系 (水圧制御ユニット)		
系統区分	A	B	A	B	A	B	C	-	-	A	B	-	A	B	
安全区分	I	II	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設												
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源/非常用熱交換器機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	備考			
安全機能													
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	格納容器冷却系 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	事故時計測系	燃料プール冷却系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系	燃料プール補給系 燃料プール補給系
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-40P-19N	○	
海水源	RWC(B), HCC(B)		
浸水範囲	79		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HCI(1) and HCI(II) or SIC(1) and SIC(II)		2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] or [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(1) or RRR(O)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	原子炉保護時の注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	B(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設											
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
安全機能												
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	AS or BS	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FRR(A) or FRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	格納容器駆動系(格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-40F-20N	○	
海水源	RCA(B), HCC(B)		
浸水量[m ³]	79		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HCI(I) and HCI(II) or SIC(I) and SIC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRA or RRB	SRV(I) or SRV(II) or LKS or RRR(A)	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ABS(II)] or [RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)]	
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系 モード)	フィードアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)	
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A B	
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRA or RRB	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) SGT(B)	FCS(A) FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) [RRR(A) or RRR(B)]	RRA or RRB	RRA or RRB
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRA or RRB	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) SGT(B)	FCS(A) FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) [RRR(A) or RRR(B)]	RRA or RRB	RRA or RRB
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給水系 残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-WF-27N	○	
海水源	CIV		
浸水量[m ³]	158		

原子炉施設																			
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却原維持機能	原子炉保護時の注水機能	原子炉保護時の注水機能	圧力が逃がし機能	残留熱除去機能													
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	HCI(A) and HCI(B)	2区分以上	(SRV(I) or SRV(II)) or (SRV(A) or RBR(D)) or (SRV(C) or RBR(E) and RBR(F)) or (SRV(D) or RBR(G))	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(D) or RBR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RBR(A) or RBR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)			
系統名	残留熱及び制御機動作(水圧制御ユニット)	残留熱及び制御機動作(水圧制御ユニット) ほう流水注入系	原子炉保護時の注水機	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系	速がし安全弁	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系	残圧中心スプレイ系		
系統区分	A B	A A B	-	-	C	-	-	-	-	A	B	-	A	A	B	-	-	-	
安全区分	I II	I II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	I	I	II	I	II	I	II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール										
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器(内側)の可溶性ガス制御機能	非常用電源機能	格納容器内の非常用電源	非常用電源機能	冷却水供給機能/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	[FPC(A) or FPC(B)] or [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	AS or BS	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却ユニット)	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源	高圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	残留熱除去系	事故時計算系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-02N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	166		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	本施設維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能				
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)] or [RHR(A) or RHR(B) or RHR(C) or RHR(D)] or [RHR(E) or RHR(F) or RHR(G) or RHR(H)]				
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)	[SRV(II) or ADS(II)] or [RHR(B) or RHR(C) and RRR(E)]
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット) ほか 節水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系 残留熱除去系 (低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系 残留熱除去系 (低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ×	○ ○

燃料プール												
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による没水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-3F-03N	○	
溢水源	FP		
没水量[m ³]	166		

評価対象	原子炉施設			
	原子炉保護時注水機能	未燃燃料維持機能	低圧注水機能	降圧熱除去機能
安全機能	原子炉の緊急停止機能			
機能判定	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	[RR(C) or RR(D)] or [SRV(A) or ADS(III)] and [RR(E) or RR(F)]
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	高圧原子スプレー系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A	B	C	A
安全区分	II	I	II	I
判定	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	○	○	○	○		[FPC(A) or FPC(B)] [RR(A) or RR(B)]		○
機能判定	○	○	○	○	○		○	
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	HVC(A) and HVC(B)	A3 or B系	FPC(A) and FPC(B)	FWR	RHR(A) and RHR(B)
系統名	格納容器冷却系 (格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給器/高圧原子スプレー/補給冷却系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プールの補給系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	A	B	A	B	B
安全区分	I	II	I	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水源生区画	R-3F-04-1N, R-3F-04-2N, R-3F-07N, R-3F-10-1N	○	
海水源	R2W(B), H2C(B)		
浸水範囲	17		

評価対象	原子炉保護		原子炉施設		備考
	原子炉保護時注水機能	本機単体時機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	
安全機能	原子炉保護時緊急停止機能	H01(I) and H01(II) or S1C(I) and S1C(II)	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[RRR(A) or RRR(B)] or [RRR(C) or RRR(D)] and [RRR(E) or RRR(F)]
機能判定	○	○	○	○	○
系統機能判定	H01(A) and H01(B)	S1C(A) and S1C(B)	ADS(I) or RRR(A) or RRR(C)	ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	原子炉保護時緊急停止機能 (水圧調整ユニット)	原子炉保護時緊急停止機能 (水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時緊急停止機能 (高圧中心スプレイ系)	原子炉保護時緊急停止機能 (高圧中心スプレイ系)	原子炉保護時緊急停止機能 (高圧中心スプレイ系)
系統区分	A B	A B	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○ ×

評価対象	原子炉施設				燃料プール				監視機能
	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○		
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	H2C(A) and H2C(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)		
系統名	格納容器内可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系/高圧中心スプレイ系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	燃料プール補給系		
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B		
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II		
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○		

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-05N	○	
浸水源	FP		
浸水量[m ³]	166		

原子炉施設											
評価対象	原子炉保護時注水機能	未電源維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HGI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RIR(A) or LPS]	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	ADS(I) or ADS(II)	RIR(A) or RIR(B)	SRV(I) or [SRV(II)] and [SRV(I) or LPS]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]
系統名	制御棒及び調整機動作(水注調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水注調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水機	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系	速がし安全弁 自動減圧系	速がし安全弁 自動減圧系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール										
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	[FPC(A) or FPC(B)] or [RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]	[RIR(A) or RIR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RIR(A) or RIR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FIR or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)	RIR(A) or RIR(B)
系統名	格納容器冷却機(格納容器冷却機-1)	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 補給海水系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系	燃料プール冷却系	監視機能
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-06N	○	
浸水源	RWC(A), HWC(A)		
浸水量[m ³]	12		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
機能判定	○	○	○	○	○					
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び調整駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整駆動系(水圧調整ユニット) ほう露水注入系	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B A	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	I	II	I	II	I II
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール										
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	FCS(A) and FCS(B)	SGT(A) and SGT(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)
系統名	格納容器隔離弁(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-09N	○	
浸水源	FPC		
浸水量[m ³]	102		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能	[HCU(A) and HCU(B)]	[HCU(A) and HCU(B)]	[HCU(A) and HCU(B)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[RR(C) or RR(D)] or [SRV(I) or ABS(I)] and [RR(A) or LPS] and [RR(C) or RR(D)]					
機能判定	○	○	○	○	○					
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or ABS(II)	RR(A) or RR(C)	RR(B)	RR(A) or RR(C) and RR(D)	RR(A) or RR(C) and RR(D)	RR(A) or RR(C) and RR(D)	RR(A) or RR(C) and RR(D)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう露水注入系	原子炉保護時注水系	高圧中心スプレイ系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	A B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	III	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール										
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FPC(A) and FPC(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	[RR(A) or RR(B)]	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FPC(A) and FPC(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-3F-10N	○	
海水源	漏洩		
浸水範囲	33		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉保護時緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	原子炉緊急停止機能	SGC(A) and HCU(D1) or SLC(I) and SLC(D1)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SGC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or RRR(A) or LPS or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(II) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(B)	
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	A	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I	I	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-3F-1LN, R-3F-2EN	○	
溢水源	CIV		
溢水量[m ³]	158		

原子炉施設													
評価対象	原子炉の緊急停止機能	永続昇降機機能		原子炉保護時注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能					
		HCU(A) and HCU(B)	SGC(A) and SGC(B)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) and SRV(II) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) and RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	原子炉冷却系(低圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)	原子炉冷却系(高圧炉心スプレイ系)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	-	A	B	-	A	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール													
評価対象	燃料容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	燃料容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	燃料容器隔離弁(燃料容器冷却ユニット)	燃料容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室/非常用換気空調機	事故時状態記憶	燃料プール冷却系	燃料プール補給水	燃料プール補給水	燃料プール補給水	監視機能
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-3F-12-1N	○	
溢水源	FPC		
溢水量[m ³]	102		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能					[SRV(A) or RHR(B)] or [SRV(A) or ADS(II)] and [RHR(A) or LKS] and [RHR(B) or RHR(C) or RHR(D)]						
機能判定	○	○	○	○	○						
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	RHR(A) or RHR(B)	[SRV(D) or ADS(II)] and [RHR(C) or RHR(D)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系	高圧炉心スプレイズ系
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A	B	-	A
安全区分	I II	I II	III	I	II	III	I	II	I	I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区分以上	2E区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可溶性ガス濃度制御系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイズ系 高圧炉心スプレイズ系	中心制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-12-2N	○	
浸水源	FPC		
浸水量[m ³]	102		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [ABS(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I) or RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)	
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	残留熱除去系(炉心停止時炉内モード)	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉内モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B A	-	-	-	-	A B C	-	A B	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] or [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室/空調換気系	事故時計測系	燃料プールの冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考	原子炉施設																			
				原子炉停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	停機熱除去機能	SRV(I) or SRV(II) or ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or SRV(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II) and RBC(A)	SRV(II) or ADS(II) and RBC(B)					
海水発生区画	R-3F-13N																						
海水源	FPC																						
浸水量[m ³]	102																						
評価対象	原子炉施設																						
安全機能	原子炉の緊急停止機能																						
機能判定																							
系統機能判定	RBC(A) and RBC(B)	SGC(A) and SGC(B)	RBC(A) or RBC(B)	ADS(I) and ADS(II)	ADS(I) or ADS(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or ADS(I) or ADS(II) and RBC(A)	SRV(II) or ADS(II) and RBC(B)								
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)	原子炉冷却系(原子炉冷却系)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	-	-	A	B	-	A	B	-	A	-	A	-	A	-	B	B
安全区分	I	II	I	II	III	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール																	
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	RBC(A) or RBC(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	中心制御室空調換気系	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RBC(A) or RBC(B)	FWF	RBC(A) or RBC(B)	燃料プールの冷却系	燃料プール補給海水系	残留熱除去系	監視機能		
安全機能																												
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RBC(A) or RBC(B)	RBC(A) or RBC(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2E区以上	2E区以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RBC(A) or RBC(B)	RBC(A) or RBC(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	中心制御室空調換気系	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RBC(A) or RBC(B)	FWF	RBC(A) or RBC(B)	燃料プールの冷却系	燃料プール補給海水系	残留熱除去系	監視機能			
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源	補給冷却系	原子炉制御室非常用換気空調系	事故時状態記憶系	冷却系	給水系	監視系	SGT系	FCS系	非常用電源系	原子炉補給冷却系	中心制御室空調換気系	A系 or B系	FPC系	RBC系	FWF系	RBC系	燃料プール冷却系	燃料プール補給海水系	残留熱除去系	監視系			
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II		
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-14N	○	
浸水源	FP		
浸水量[m ³]	166		

原子炉施設													
評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能		圧力逃がし機能		残留熱除去機能					
				2区分以上	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(II) or ABS(II)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(II) or ABS(II)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(II) or ABS(II)] [RRR(C) or RRR(D)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and [RRR(A) or LPS]	ABS(II) [RRR(B) or RRR(C)]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) [RRR(A) or LPS] and RRR(A)	SRV(II) or ABS(II) [RRR(C) or RRR(D)]	SRV(II) or ABS(II) [RRR(C) or RRR(D)]	SRV(II) or ABS(II) [RRR(C) or RRR(D)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	自動減圧系+B-(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時の注水モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	A -	B C	-	-	-	A B	-	A	-	A
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I II	I I	I I	I I	I I
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール														
評価対象	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶		冷却機能		給水機能		監視機能
								A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水	残留熱除去系	燃料プール補給水	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-3F-10-2N	○	
海水源	FPC		
浸水範囲	4		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	[HG1(A) and HG1(B)]	[HG1(A) and HG1(B)]	[HG1(A) and HG1(B)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(A) or LKS] and RRR(A)	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	2区分以上	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HG1(A) and HG1(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) or RRR(O)	ADS(I) or ADS(II)	SRV(I) or SRV(II)	RBC(A) or RBC(B)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の冷却系	自動減圧系+A-廃熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	速がし安全弁	原子炉停止時の冷却系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(低圧注水モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										燃料プール			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
安全機能	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)		
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離室(内側) 隔離室(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS	FPC(A) and FPC(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)	RHR(A) and RHR(B)		
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給冷却系 高圧炉心スプレイ補給海水系	中心制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能		
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-		
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-		
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-100N	○	
浸水源	R2W(B), H2C(B)		
浸水量[m ³]	17		

評価対象	原子炉施設													
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時の注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能								
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]	[RR(A) or RR(B)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)]			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and (RR(A) or LPS) or (RR(B) or RRR(C))	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ADS(I) or (RR(A) or LPS) and (RR(A) or RRR(B))	[SRV(I) or ADS(II)] and [RR(B) or RRR(C)] and [RR(B)]			
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時の冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	自動減圧系+B (C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧中心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時の冷却モード)	速がし安全弁 速がし安全弁 速がし安全弁	速がし安全弁 速がし安全弁 速がし安全弁	フィードアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)		
系統区分	A B	A B A	-	- A -	B C	-	-	-	A B	-	A	-	A B	
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×

評価対象	原子炉施設										燃料プール			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
安全機能	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FRR(A) or FRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	SGT(A) or SGT(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) or HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RRR(A) or RRR(B)	FRR(A) or FRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	R-4F-01-1N	PP		
浸水発生区画				
浸水源				
浸水量[m ³]				

評価対象	原子炉施設																						
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能																	
安全機能																							
機能判定																							
系統機能判定																							
系統名																							
系統区分																							
安全区分																							
判定																							

評価対象	原子炉施設										燃料プール														
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能														
安全機能																									
機能判定																									
系統機能判定																									
系統名																									
系統区分																									
安全区分																									
判定																									

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	R-4F-03N	○	
海水源	FP		
浸水量[m ³]	765		

評価対象		原子炉施設										
安全機能	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能		原子炉保護時注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能		滞留熱除去機能		
		HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	
機能判定	○											
系統機能判定												
系統名	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動作(水圧調整ユニット)	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系	原子炉冷却系
系統区分	A	B	A	B	A	B	C	-	-	A	B	C
安全区分	I	II	I	II	I	II	III	I	II	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象		燃料プール											
安全機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		給水機能		監視機能
									FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	FPC(A) and FPC(B)	FPC(A) and FPC(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定													
系統名	滞留熱除去系(格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/滞留熱除去系	中心制御室/空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	滞留熱除去系	燃料プール補給水系統	滞留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	RW-1F-02N, RW-1F-04N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	68		

評価対象	原子炉の緊急停止機能	本体昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	他種熱除去機能
安全機能	原子炉の緊急停止機能 HCU(A) and HCU(B)	本体昇降機能 HG1(I) and HG1(II) or SIC(I) and SIC(II)	原子炉保護時注水機能 RC/C or HPCS	2区分以上 2区分以上	圧力逃がし機能 SRV(I) or SRV(II) or ABS(I) or ABS(II)	[RR(C) or RR(D)] or [SRV(A) or SRV(B) and RR(A) or RR(B)] or [SRV(A) or RR(C)] and [RR(C) or RR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RC/C or HPCS	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	[RR(C) or RR(D)] or [SRV(A) or SRV(B) and RR(A) or RR(B)]
系統名	原子炉緊急停止機能 制御運転系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御運転系 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 制御運転系 (水圧制御ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 原子炉緊急停止機能 制御運転系 (水圧制御ユニット)	自動減圧系 SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II) and RR(A) or RR(B)
系統区分	A B	A B	A B	自動減圧系+B-(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	-	SRV(I) or SRV(II) and RR(A) or RR(B)
安全区分	I II	I II	III	高圧炉心スプレー系 残留熱除去系 自動減圧系	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	高圧炉心スプレー系 残留熱除去系 自動減圧系	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	格納容器の冷却機能 FCS(A) FCS(B)	格納容器内の可燃性ガス制御機能 FCS(A) FCS(B)	非常用電源機能 2区分以上	事故時状態記憶 A系 or B系	冷却機能 FPC(A) or FPC(B) [RR(A) or RR(B)]	給水機能 PWF or [RR(A) or RR(B)]	監視機能	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RR(A) or RR(B)	FCS(A) or FCS(B)	2区分以上	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	PWF or [RR(A) or RR(B)]	RR(A) or RR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	事故検知装置	燃料プール冷却系 燃料プール補給系	燃料プール補給系	残留熱除去系 監視機能	
系統区分	A B	A B	-	A B	A B	A B	-	
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	-	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	RW-1F-09N	○	
海水源	FP		
浸水量[m ³]	188		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	HLI(I) and HGI(II) or SLC(I) and SLC(II)	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RR(A) or LPS]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RBC(A) or RBC(B)	SRV(I) or [ADS(I)] and [RR(A) or LPS]	SRV(I) or [ADS(I)] and [RR(A) or LPS]	SRV(I) or [ADS(I)] and [RR(A) or LPS]	[SRV(I) or ADS(II)] or [RR(B) or RRC(C)] and [RR(B)]	
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉心モード)	速がし安全弁	自動減圧系	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	A	A	B	C	-	-	A	B	-	A	-
安全区分	I	II	I	I	II	II	I	II	I	I	I	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器隔離弁	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高炉心スプレイス系/高炉心スプレイス系 高炉心スプレイス系/高炉心スプレイス系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	RW-1F-27N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	2		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(II)] or [SRV(I) or ADS(II)] and [SRV(I) or ADS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ADS(I) and [RR(A) or LPS]	ADS(II) [RR(B) or RR(C)]	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RR(A) or RR(B)	SRV(I) or ADS(II) [RR(A) or RR(B)]	[SRV(I) or ADS(II)] [RR(B) or RR(C)] and RR(B)	
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉保護時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧炉心スプレイ系	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(炉心停止時炉心モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	速がし安全弁 自動減圧系(低圧注水モード) 残留熱除去系(低圧注水モード)	フィードアンドブリードによる除熱(I) フィードアンドブリードによる除熱(II)
系統区分	A B	A B	-	- A -	B C	-	-	- A B	- A -	- A -	- A -	- A B
安全区分	I II	I II	III	I I	II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能									[FPC(A) or FPC(B)] [RR(A) or RR(B)]	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RR(A) or RR(B)	RR(A) or RR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定		備考
		総合判定	備考	
海水発生区画	RW-2F-31N	○		
海水源	FP			
浸水量[m ³]	188			

評価対象	原子炉施設																				
	原子炉保護時緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能															
安全機能																					
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SGI(A) and SGI(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	HPCS	ABS(I) or ADS(II)	RUR(A) or RUR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ADS(I) or ADS(II)	RUR(A) or RUR(B)	SRV(I) or SRV(II) or LKS and RUR(A)	SRV(I) or ADS(I) or LKS and RUR(A)	SRV(I) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)	SRV(II) or ADS(II) and RUR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	原子炉冷却系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	A	B	C	-	-	A	B	-	A	B	-	A	B	-	A	B	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能																					
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RUR(A) and RUR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上	2E5分以上
系統名	格納容器冷却系(格納容器冷却ユニット)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源	非常用交流電源
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	RW-2F-32N	○	
浸水源	FP		
浸水量[m ³]	188		

原子炉施設													
評価対象	原子炉の緊急停止機能	原子炉の保排時注水機能	原子炉の保排時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	原子炉の保排時注水機能	原子炉の保排時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)] [RRR(C) or RRR(D)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)] [RRR(C) or RRR(D)]			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(II) RRR(B) or RRR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or SRV(II)	RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう露水注入系	原子炉保排時注水系統	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 低圧中心スプレイ系	高圧中心スプレイ系	自動減圧系 逃がし安全弁	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード) 自動減圧系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	A B C	-	A B	-	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

燃料プール										
評価対象	格納容器の冷却機能	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○
系統機能判定	RRR(A) RRR(B)	SGT(A) SGT(B)	FCS(A) FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) FPC(B)	RRR(A) RRR(B)	RRR(A) RRR(B)
系統名	格納容器冷却系(格納容器冷却ユニット)	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 高圧中心スプレイ系 補給海水系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	RW-4F-01N	○	
浸水源	RWC(N), HD, HCW		
浸水量[m³]	72		

評価対象	原子炉の緊急停止機能	原子炉の保排時注水機能		原子炉保排時注水機能	圧力逃がし機能		後継熱除去機能			
		永続保排時機能 (HGI(I) and HGI(II)) (SLC(I) and SLC(II))	非永続保排時機能 (HGI(III) and HGI(IV)) (SLC(III) and SLC(IV))		低圧注水機能 2区分以上	原子炉停止時 (SRV(I) or SRV(II)) (ABS(I) or ABS(II))		原子炉停止時 (SRV(I) or SRV(II)) (ABS(I) or ABS(II))	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRV(III) or SRV(IV)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	
系統機能判定	HGI(A) and HGI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	○	ABS(II) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II) and RRR(A)	SRV(I) or SRV(II) and RRR(B)	[SRV(I) or SRV(II)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
系統名	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系統 (水圧調整ユニット)	原子炉保排時注水系統	原子炉保排時注水系統	自動減圧系+A-後継熱除去系 (低圧注水モード)	高圧圧入スプレイ系統	高圧圧入スプレイ系統	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 (低圧注水モード)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	C
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉保護				燃料プール				監視機能	
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	AS or BS系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	可燃性ガス濃度調整系統	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧圧入スプレイ系統 高圧圧入スプレイ系統 高圧圧入スプレイ系統	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	-	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	III	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表I-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-1F-01N	○	
浸水源	TCW		
浸水範囲[m ²]	273		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	本館昇降機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	隔離熱除去機能					備考	
安全機能												
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or SRV(II)] [RRR(A) or RRR(B)]
系統機能判定												
系統名	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水注制御ユニット)
系統区分	A	B	A	B	C	-	-	A	B	-	A	B
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	I	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール											
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定												
系統名	格納容器隔離弁 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室/非常用換気空調系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給海水系	残置熱除去系	監視機能
系統区分	A	B	A	B	-	A	B	A	B	A	B	-
安全区分	I	II	I	II	III	I	II	I	II	I	II	-
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-40F-01N	○	
浸水源	FP		
浸水量[m ³]	53		

評価対象	原子炉施設											
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能						
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] or [SRV(II) or ADS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) or RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ADS(I)	RRR(B) or RRR(C) and RRR(D)
系統名	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系(水圧調整ユニット)	原子炉冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A	-
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I	II	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器隔離弁	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	-	A	B	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-40F-03N	○	
浸水源	漏電		
浸水量[m ³]	12		

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] or [SRS(I) or SRS(II)] and [RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]	[RRR(A) or RRR(B) or RRR(C) or RRR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGC(A) and SGC(B)	RC or HPCS	ABS(II) or RRR(C)	HPCS or SRV(II)	ABS(I) or ADS(II)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	RRR(A) or RRR(B)	
系統名	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	
系統区分	A B	A B	-	B C	-	-	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	III	II	I II	III	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	格納容器冷却機能 (格納容器冷却ユニット)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ/高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給海水系	燃料プール補給海水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損		総合判定	備考
	C-2F-01N, C-2F-04-IN	FP		
浸水発生区画				
浸水源				
浸水量[m ³]	53			

評価対象	原子炉施設										
	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
安全機能		HQ1(I) and HQ1(II) or SLC(I) and SLC(II)		2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(I) or ABS(I)] [RRR(A) or RRR(B)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HQ(A) and HQ(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) RRR(A) or RRR(B)	SRV(I) or ABS(I) RRR(A) or RRR(B)
系統名	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機動系(水圧調整ユニット) ほう館水注入系	原子炉保護時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード) 高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	速がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(低圧注水モード)	残留熱除去系(炉心停止時冷却モード)	速がし安全弁	速がし安全弁
系統区分	A	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I	II	III	I	II	I	II	I	I	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	燃料プール									
	格納容器の冷却機能	格納容器の冷却機能(内側)	格納容器の冷却機能(外側)	非常用電源	非常用電源	非常用電源	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能								[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	FWF	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系 高圧炉心スプレイス系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	-	A	B	A	B	-	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	-	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F-06N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	53		

原子炉施設										
評価対象	原子炉の緊急停止機能	未燃燃料貯蔵機能		原子炉保護時注水機能		圧力逃がし機能		停機熱除去機能		
		HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(A) and HCI(B)	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	[SRV(A) or RHR(B)] or [SRV(II) or RHR(C)] and [RHR(A) or LKS or RHR(D)] and [RHR(E) or RHR(F)]	[SRV(A) or RHR(B)] or [SRV(II) or RHR(C)] and [RHR(A) or LKS or RHR(D)] and [RHR(E) or RHR(F)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or RHR(A) and RHR(B)	[SRV(A) or RHR(B)] or [SRV(II) or RHR(C)] and [RHR(A) or LKS or RHR(D)] and [RHR(E) or RHR(F)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう筒水注入系	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス系)	高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系(低圧炉心スプレイス系)	残留熱除去系(低圧炉心スプレイス系)	残留熱除去系(低圧炉心スプレイス系)
系統区分	A	B	-	A	B	C	-	A	B	C
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

燃料プール											
評価対象	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉隔離系/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能		監視機能
									FCS(A) or FCS(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	○
系統機能判定	RHR(A) and RHR(B)	隔離系(内側) 隔離系(外側)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室 空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-3F-06N, C-3F-07N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	53		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
安全機能	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能							
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[RR(A) or RR(B)] and [RR(C) or RR(D)] [RR(E) or RR(F)] and [RR(G) or RR(H)]							
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SLC(A) and SLC(B)	RC or HPS	ABS(I) or RR(O)	ABS(I) or SRV(II)	RR(A) or RR(B)	RR(C) or RR(D)	RR(E) or RR(F)	RR(G) or RR(H)	RR(I) or RR(J)	RR(K) or RR(L)	RR(M) or RR(N)	RR(O) or RR(P)
系統名	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	制御棒及び調整機駆動系 (水圧調整ユニット)	原子炉冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A	B	-	-	C	-	-	A	B	-	A	-	A
安全区分	I	II	III	I	II	III	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器の減圧機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
安全機能	格納容器の冷却機能	格納容器の減圧機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能			
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RR(A) or RR(B)]	[RR(A) or RR(B)]	○			
系統機能判定	RR(A) and RR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RR(A) and RR(B)	RR(A) and RR(B)			
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度調整系	可溶性ガス濃度調整系	非常用交流電源/非常用直流電源/非常用制御電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系/高圧炉心スプレイス系	中心制御室空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能		
系統区分	A	B	A	B	-	-	A	B	A	B	A	B		
安全区分	I	II	I	II	III	I	I	II	I	II	I	II		
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価項目	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	C-4F-02N	○	
溢水源	FP		
溢水量[m ³]	53		

評価対象		原子炉施設										
安全機能	機能判定	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能					
		HCI(A) and HCI(B)	SGT(A) and SGT(B)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(A) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]
○	○	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(A) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]
系統機能判定		HCI(A) and HCI(B)	SGT(A) and SGT(B)	RVC or HPCS	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [SRV(II) or ADS(II)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(A) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(I) or ADS(I)] and [RRR(B) or RRR(C)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[SRV(II) or ADS(II)] and [RRR(B) or RRR(C)]
系統名		原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉緊急停止機能 (水圧制御ユニット)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象		燃料プール										
安全機能	機能判定	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室/非常用熱気空間機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
		RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	[FPC(A) or FPC(B)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] and [RRR(A) or RRR(B)]	AS or BS	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統機能判定		RRR(A) and RRR(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	[FPC(A) or FPC(B)] and [RRR(A) or RRR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] and [RRR(A) or RRR(B)]	AS or BS	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]	[RRR(A) or RRR(B)]		
系統名		格納容器冷却機能 (格納容器冷却ユニット)	可燃性ガス濃度制御系	非常用交流電源/非常用直流電源/計測制御用電源	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給冷却系/高圧炉心スプレイ補給海水系	原子炉制御室/非常用熱気空間	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系統	監視機能		
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B		
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II		
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
海水発生区画	T-2CN	○	
海水源	OTC		
浸水量[m ³]	2947		

評価対象	原子炉施設							
	原子炉の緊急停止機能	冷却系維持機能	原子炉保護時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	廃熱除去機能		
安全機能								
機能判定	○	○	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or ABS(I)] or [SRV(II)] and [SRV(III)] or [SRV(IV)] and [SRV(V)] and [SRV(VI)] and [SRV(VII)] and [SRV(VIII)] and [SRV(IX)] and [SRV(X)] and [SRV(XI)] and [SRV(XII)]		
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SLC(A) and SLC(B)	RVC or HPCS	ABS(I) and RRR(O)	ABS(I) or SRV(II)	SRV(I) or ABS(I)	SRV(I) or ABS(I)	[SRV(I) or ABS(I)] and [RRR(A) or RRR(B)]
系統名	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動系(水圧制御ユニット) ほう湯水注入系	原子炉保護時注水系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	高圧炉心スプレイ系	残熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	A B	-	A
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	燃料プール										
	格納容器の冷却機能	格納容器の隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	補給冷却機能/冷却用海水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能											
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	[FPC(A) or FPC(B)] [RRR(A) or RRR(B)]	RRR(A) or RRR(B)	○
系統機能判定	RRR(A) and RRR(B)	SGT(A) and SGT(B)	FCS(A) and FCS(B)	FCS(A) and FCS(B)	2区分以上	2区分以上	HVC(A) and HVC(B)	A系 or B系	FPC(A) and FPC(B)	RRR(A) and RRR(B)	RRR(A) and RRR(B)
系統名	残熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用交流電源 非常用直流電源 計測制御用電源	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系 高圧炉心スプレイ系	中心制御室空調換気系	事故時計測系	燃料プール冷却系	残熱除去系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表1-1 想定破損による浸水影響評価結果

評価種別	想定破損	総合判定	備考
浸水発生区画	V-73N	○	
浸水源	DEG(F0)(B)		
浸水量[m ³]	13		

評価対象	原子炉種別				原子炉種別				原子炉種別			
	原子炉の緊急停止機能	末端制御機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉の緊急停止機能	末端制御機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉の緊急停止機能	末端制御機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統名	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)	原子炉冷却系 (原子炉冷却系) (水圧制御ユニット)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉種別				燃料プール				燃料プール			
	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能	燃料貯蔵の冷却機能
安全機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統名	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)	燃料貯蔵冷却系 (燃料貯蔵冷却系)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (1/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
原子炉補機冷却系	MV214-12A	A1-DG 冷却水出口弁	R-B2F-04N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-13A	A2-DG 冷却水出口弁	R-B2F-04N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-12B	B1-DG 冷却水出口弁	R-B2F-06N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-13B	B2-DG 冷却水出口弁	R-B2F-06N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	R-1F-14N	-	○	-	B	-	○	
原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	R-1F-14N	-	○	-	B	-	○	
原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	R-1F-15N	-	○	-	B	-	○	
原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	R-1F-15N	-	○	-	B	-	○	
原子炉補機冷却系	MV214-7A	A-RHR 熱交換冷却水出口弁	R-2F-09N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-7B	B-RHR 熱交換冷却水出口弁	R-2F-10N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-3A	A-RCW 常用補機冷却水出口 切替弁	R-2F-20N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-3B	B-RCW 常用補機冷却水出口 切替弁	R-2F-20N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-1A	A-RCW 常用補機冷却水入口 切替弁	R-B1F-11N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉補機冷却系	MV214-1B	B-RCW 常用補機冷却水入口 切替弁	R-B1F-11N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉補機海水系	MV215-2A	A-RCW 熱交換水出口弁	R-1F-14N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	MV215-2B	B-RCW 熱交換水出口弁	R-1F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	MV215-1B	B-RSW ポンプ 出口弁	Y-24AN	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	MV215-1D	D-RSW ポンプ 出口弁	Y-24AN	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	P215-1B	B-原子炉補機海水ポンプ	Y-24AN	-	○	○	B	IPX5	○	
原子炉補機海水系	P215-1D	D-原子炉補機海水ポンプ	Y-24AN	-	○	○	B	IPX5	○	
原子炉補機海水系	MV215-1A	A-RSW ポンプ 出口弁	Y-24BN	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	MV215-1C	C-RSW ポンプ 出口弁	Y-24BN	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉補機海水系	P215-1A	A-原子炉補機海水ポンプ	Y-24BN	-	○	○	B	IPX5	○	
原子炉補機海水系	P215-1C	C-原子炉補機海水ポンプ	Y-24BN	-	○	○	B	IPX5	○	
燃料ポンプ冷却系	MV216-1	FPC フィルタ入口弁	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ冷却系	P216-1A	A-燃料ポンプ冷却水ポンプ	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N	-	○	-	B	-	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IPコード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (2/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
燃料ポンプ冷却系	P216-1B	B-燃料ポンプ冷却水ポンプ	R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N	-	○	-	B	-	○	
燃料ポンプ冷却系	TE216-50～55	燃料ポンプルル水位・温度(SA)	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IPX5	○	
燃料ポンプ冷却系	MV216-5A	A-FPC 熱交入口弁	R-3F-09N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ冷却系	MV216-5B	B-FPC 熱交入口弁	R-3F-09N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ冷却系	MV216-6	FPCライクハイス弁	R-3F-09N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ冷却系	LS216-2	燃料ポンプルル水位	R-4F-01-1N	-	○	○	B	IP65	○	
燃料ポンプ冷却系	TE216-3	燃料ポンプルル水温度	R-4F-01-1N	-	○	-	B	-	○	
窒素ガス制御系	PX217-2B	ドライエア圧力	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	-	-	○	C	IP67	○	
窒素ガス制御系	MV217-18	非常用ガス処理入口隔離弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
高圧炉心スライ補機 冷却系	P218-1	高圧炉心スライ補機冷却水 ポンプ	R-B2F-12N	-	○	○	B	IP44	○	
高圧炉心スライ補機 海水系	MV219-1	HPSW ポンプ 出口弁	Y-24CN	-	○	○	B	IP55	○	
高圧炉心スライ補機 海水系	P219-1	高圧炉心スライ補機海水 ポンプ	Y-24CN	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉隔離時冷却系	M221-1	原子炉隔離時冷却系ケー ブ	R-B2F-01N	-	○	-	B	-	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-2	注水弁	R-B2F-01N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-22	タービン蒸気入口弁	R-B2F-01N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-3	ポンプトランス入口弁	R-B2F-01N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-51	RCIC 主禁止弁	R-B2F-01N	-	○	-	B	-	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-6	ニニニニニニニニニニ ニニニニニニニニニニ	R-B2F-01N	-	○	○	B	IP55	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (3/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：有 ○：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
原子炉隔離時冷却系	MV221-7	復水器冷却水入口弁	R-B2F-01N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	P221-1	原子炉隔離時冷却ポンプ	R-B2F-01N	-	○	-	B	-	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-10	真空ポンプ 出口弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-23	タービン排気隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	MV221-21	蒸気外側隔離弁	R-1F-07-2N	-	○	○	B	IP55	○	
原子炉隔離時冷却系	2-2360	RCICタービン制御器 (S II)	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	
残留熱除去系	MV222-17A	A-RHR ポンプ ミニマフロー弁	R-B2F-02N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-1A	A-RHR ポンプ トラス水入口弁	R-B2F-02N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-8A	A-RHR ポンプ 炉水入口弁	R-B2F-02N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	P222-1A	A-残留熱除去ポンプ	R-B2F-02N	-	○	○	B	IPX5	○	
残留熱除去系	MV222-17C	C-RHR ポンプ ミニマフロー弁	R-B2F-03N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-1C	C-RHR ポンプ トラス水入口弁	R-B2F-03N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	P222-1C	C-残留熱除去ポンプ	R-B2F-03N	-	○	○	B	IPX5	○	
残留熱除去系	MV222-17B	B-RHR ポンプ ミニマフロー弁	R-B2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-1B	B-RHR ポンプ トラス水入口弁	R-B2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-8B	B-RHR ポンプ 炉水入口弁	R-B2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	P222-1B	B-残留熱除去ポンプ	R-B2F-15N	-	○	○	B	IPX5	○	
残留熱除去系	MV222-11A	A-RHR ポンプ 炉水戻り弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-11B	B-RHR ポンプ 炉水戻り弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-15A	A-RHR 7スト弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-16A	A-RHR トラス水7スト弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-16B	B-RHR トラス水7スト弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-7	RHR 炉水入口 外側隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-15B	B-RHR 7スト弁	R-1F-10N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-15C	C-RHR 7スト弁	R-1F-10N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-2B	B-RHR 熱交換ポンプ	R-1F-10N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-5A	A-RHR 注水弁	R-1F-07-2N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-2A	A-RHR 熱交換ポンプ	R-1F-30N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-3B	B-RHR ドライアウト第1スプレイ弁	R-1F-12N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-4B	B-RHR ドライアウト第2スプレイ弁	R-1F-12N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-13	RHR 炉頂部冷却外側隔離弁	R-2F-14N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-3A	A-RHR ドライアウト第1スプレイ弁	R-2F-14N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-4A	A-RHR ドライアウト第2スプレイ弁	R-2F-14N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-5B	B-RHR 注水弁	R-2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
残留熱除去系	MV222-5C	C-RHR 注水弁	R-2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。

B：溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。

C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」による防滴仕様を有している。

又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (4/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV223-1	LPCS ｾﾞｯﾌﾟ入口弁	R-B2F-09N	-	○	○	B	IP55	○	
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	P223-1	低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲｾﾞｯﾌﾟ	R-B2F-09N	-	○	○	B	IPX5	○	
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV223-3	LPCS ｾﾞｯﾌﾟ弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV223-4	LPCS ｾﾞｯﾌﾟ ﾆﾝﾏｽﾞ側 ﾆﾝﾏｽﾞ弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	dPX223-1	LPCS 注水弁差圧	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IP67	○	
低圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV223-2	LPCS 注水弁	R-1F-32N	-	○	○	B	IP55	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	LS224-2A	ﾄｰｽﾞ水位	R-B2F-10N	-	○	○	B	IP65	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	LS224-2B	ﾄｰｽﾞ水位	R-B2F-10N	-	○	○	B	IP65	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV224-2	HPCS ｾﾞｯﾌﾟ ﾆﾝﾏｽﾞ入口弁	R-B2F-10N	-	○	○	B	IP55	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	P224-1	高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲｾﾞｯﾌﾟ	R-B2F-10N	-	○	○	B	IPX5	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV224-7	HPCS ｾﾞｯﾌﾟ ﾆﾝﾏｽﾞ側 ﾆﾝﾏｽﾞ弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV224-8	HPCS ｾﾞｯﾌﾟ CST 側第 1 ﾆﾝﾏｽﾞ ﾌﾟｰ弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV224-9	HPCS ｾﾞｯﾌﾟ CST 側第 2 ﾆﾝﾏｽﾞ ﾌﾟｰ弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
高圧炉心ｽﾌﾟﾚｲ系	MV224-3	HPCS 注水弁	R-1F-33N	-	○	○	B	IP55	○	
ほう酸水注入系	MV225-1A	A-SLC ｽｸﾗﾝｸ出口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
ほう酸水注入系	MV225-1B	B-SLC ｽｸﾗﾝｸ出口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
ほう酸水注入系	MV225-2A	A-SLC 注水弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (5/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
ほう酸水注入系	MV225-2B	B-SLC 注入弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
ほう酸水注入系	P225-1A	A-ほう酸水注入ポンプ	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
ほう酸水注入系	P225-1B	B-ほう酸水注入ポンプ	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
ほう酸水注入系	PS225-1A	A-SLC 注入ポンプ潤滑油圧力	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
ほう酸水注入系	PS225-1B	B-SLC 注入ポンプ潤滑油圧力	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
非常用ガス処理系	D226-1A	A-SGT 前置ガス処理装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
非常用ガス処理系	D226-1B	B-SGT 前置ガス処理装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
非常用ガス処理系	D226-2A	A-SGT 後置ガス処理装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
非常用ガス処理系	D226-2B	B-SGT 後置ガス処理装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (6/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源, 天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
非常用ガス処理系	M226-1A	A-非常用ガス処理系排風機	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP44	○	
非常用ガス処理系	M226-1B	B-非常用ガス処理系排風機	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP44	○	
非常用ガス処理系	MV226-1A	A-SGT 入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ガス処理系	MV226-1B	B-SGT 入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ガス処理系	MV226-2A	A-SGT 出口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ガス処理系	MV226-2B	B-SGT 出口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ガス処理系	MV226-4A	A-SGT 排風機入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ガス処理系	MV226-4B	B-SGT 排風機入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-101A	A-CAMS トレーササンプリング [*] 隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-101B	B-CAMS トレーササンプリング [*] 隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 * 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (7/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：有 ○：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
可燃性ガス濃度制御系	MV229-102A	A-CAMS サンプリングガス戻り隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-102B	B-CAMS サンプリングガス戻り隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-103A	A-CAMS サンプリングガス戻り隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-103B	B-CAMS サンプリングガス戻り隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-2A	A-FCS 出口隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-2B	B-FCS 出口隔離弁	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-100A	A-CAMS ドライエジェクタリング隔離弁	R-2F-14N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-1A	A-FCS 入口隔離弁	R-2F-14N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-100B	B-CAMS ドライエジェクタリング隔離弁	R-2F-15N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-1B	B-FCS 入口隔離弁	R-2F-15N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	D229-1A	A-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
可燃性ガス濃度制御系	D229-1B	B-可燃性ガス濃度制御系再結合装置	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-3A	A-FCS 冷却水入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	-	○	C	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-3B	B-FCS 冷却水入口弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N NR-3F-07N R-3F-16-1N	-	-	○	C	IP55	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (8/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源, 天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
可燃性ガス濃度制御系	MV229-4A	A-FCS 系統入口流量調節弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-4B	B-FCS 系統入口流量調節弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-5A	A-FCS 再循環流量調節弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-5B	B-FCS 再循環流量調節弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-6A	A-FCS 冷却水供給弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
可燃性ガス濃度制御系	MV229-6B	B-FCS 冷却水供給弁	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	○	B	IP55	○	
所内電気設備系	-	2-RCIC 直流-C/C	R-B1F-16N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2C1-R/B-C/C	R-2F-04N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	非常用ボイラ盤(2C-M/C)	R-2F-04N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	非常用ボイラ盤(2C-L/C)	R-2F-04N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2D2-R/B-C/C	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2D3-R/B-C/C	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	非常用ボイラ盤(2D-M/C)	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	非常用ボイラ盤(2D-L/C)	R-2F-05N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2A-DG-C/C	R-B2F-05N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2B-DG-C/C	R-B2F-08N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2HPCS-C/C	R-B2F-11N	-	○	-	B	-	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (9/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
所内電気設備系	-	高圧炉心炉内系蓄電池	R-B2F-13N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	非常用1/2分電盤(2HPCS-M/C)	R-B2F-14N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	2-2265H	高圧炉心炉内系直流電盤	R-B2F-14N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	2-2267H	高圧炉心炉内系充電器盤	R-B2F-14N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2C2-R/B-C/C	R-M2F-01N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	2C3-R/B-C/C	R-M2F-01N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	2D1-R/B-C/C	R-B1F-17-1N	-	○	-	B	-	○	
所内電気設備系	-	2B-計装-C/C	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2260B	B-計装分電盤	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2261B	B-計装用無停電交流電源 装置	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2263B	B-原子炉中性子計装用分 電盤	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2265B	B-115V系直流電盤	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2267B	B-115V系充電器盤	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2265D-1	230V系直流電盤(RCIC)	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2267E-1	230V系充電器盤(RCIC)	RW-MB1F-05N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	B-原子炉中性子計装用蓄 電池	RW-MB1F-06N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2268B	B-原子炉中性子計装用充 電器盤	RW-MB1F-07N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	230V系蓄電池(RCIC)	RW-MB1F-08N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	B-115V系蓄電池	RW-MB1F-08N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-961A	A-中央分電盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-961B	B-中央分電盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-961H	HPCS-中央分電盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2267D	115V系予備充電器盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	2A-計装-C/C	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2260A	A-計装分電盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2260C	一般計装分電盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2261A	A-計装用無停電交流電源 装置	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (10/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
所内電気設備系	2-2263A	A-原子炉中性子計装用分電盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2265A	A-115V系直流盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2267A	A-115V系充電器盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	2-2268A	A-原子炉中性子計装用充電器盤	RW-1F-10N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	A-115V系蓄電池	RW-1F-11N	○	-	-	A	-	○	
所内電気設備系	-	A-原子炉中性子計装用蓄電池	RW-1F-11N	○	-	-	A	-	○	
原子炉棟空調換気系	H261-3	LPCSポンプ室冷却機	R-B1F-13N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉棟空調換気系	H261-4C	C-RHRポンプ室冷却機	R-B2F-03N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉棟空調換気系	H261-7A	A-FPCポンプ室冷却機	R-M2F-19N	-	○	-	B	-	○	
原子炉棟空調換気系	H261-7B	B-FPCポンプ室冷却機	R-M2F-19N	-	○	-	B	-	○	
原子炉棟空調換気系	H261-4B	B-RHRポンプ室冷却機	R-B1F-01N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉棟空調換気系	H261-4A	A-RHRポンプ室冷却機	R-B1F-08N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉棟空調換気系	H261-2	HPCSポンプ室冷却機	R-B1F-07N	-	○	○	B	IP44	○	
中央制御室空調換気系	D264-1A	A-中央制御室空調和装置	R-B1F-09N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	D264-1B	B-中央制御室空調和装置	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	H264-1A	A-中央制御室冷凍機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	H264-1B	B-中央制御室冷凍機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	M264-1A	A-中央制御室送風機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	M264-1B	B-中央制御室送風機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	M264-3A	A-中央制御室排風機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	M264-3B	B-中央制御室排風機	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	P264-1A	A-中央制御室冷水循環ポンプ	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。

B：溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。

C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」による防滴仕様を有している。又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (11/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
中央制御室空調換気系	P264-1B	B-中央制御室冷水循環ポンプ	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	D264-3	中央制御室非常用再循環処理装置	RW-2F-01N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室空調換気系	M264-2A	A-中央制御室非常用再循環送風機	RW-2F-01N	○	-	○	A	IP44	○	
中央制御室空調換気系	M264-2B	B-中央制御室非常用再循環送風機	RW-2F-01N	○	-	○	A	IP44	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	H268-4A	A-RCW ボックシング熱交換器室冷却機	R-1F-14N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-1	A-非常用 DG 室送風機	R-2F-06N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-2	B-非常用 DG 室送風機	R-2F-07N	○	-	○	A	IP44	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	D268-3	HPCS 電気室外気処理装置	R-2F-21N	-	-	-	C	-	○	内部に浸水しない構造
原子炉建物付属棟空調換気系	H268-4B	B-RCW ボックシング熱交換器室冷却機	R-2F-21N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-8A	A-HPCS 電気室送風機	R-2F-21N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-8B	B-HPCS 電気室送風機	R-2F-21N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-9A	A-HPCS 電気室排風機	R-2F-21N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-9B	B-HPCS 電気室排風機	R-2F-21N	-	-	○	C	IP55	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-3	HPCS-DG 室送風機	R-2F-22N	○	-	-	A	-	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	D268-1	A-非常用電気室外気処理装置	R-3F-02N	-	○	-	B	-	○	内部に浸水しない構造
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-4A	A1-非常用電気室送風機	R-3F-02N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空調換気系	M268-4B	A2-非常用電気室送風機	R-3F-02N	-	○	○	B	IP44	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (12/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-5A	A1-非常用電気室排風機	R-3F-02N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-5B	A2-非常用電気室排風機	R-3F-02N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空 調換気系	D268-2	B-非常用電気室外気処理 装置	R-3F-03N	-	○	-	B	-	○	内部に浸水しない構 造
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-6A	B1-非常用電気室送風機	R-3F-03N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-6B	B2-非常用電気室送風機	R-3F-03N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-7A	B1-非常用電気室排風機	R-3F-03N	-	○	○	B	IP44	○	
原子炉建物付属棟空 調換気系	M268-7B	B2-非常用電気室排風機	R-3F-03N	-	○	○	B	IP44	○	
非常用アイゼン発電 機系	LS280-151A	A-DEG 燃料タンク液位	R-B1F-04N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用アイゼン発電 機系	AV280-300A-1	始動用空気塞止弁	R-B2F-04N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	AV280-300A-2	始動用空気塞止弁	R-B2F-04N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	CV280-1A	1 次水温度調整弁	R-B2F-04N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	CV280-200A	潤滑油温度調整弁	R-B2F-04N	-	○	○	B	IPX5	○	
非常用アイゼン発電 機系	M280-1A	A-非常用アイゼン機関	R-B2F-04N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	M280-3A	A-非常用アイゼン発電機	R-B2F-04N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	AV280-300B-1	始動用空気塞止弁	R-B2F-06N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	AV280-300B-2	始動用空気塞止弁	R-B2F-06N	-	○	-	B	-	○	
非常用アイゼン発電 機系	CV280-1B	1 次水温度調整弁	R-B2F-06N	-	○	-	B	-	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。

B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。

C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (13/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-200B	潤滑油温度調整弁	R-B2F-06N	-	○	○	B	IPX5	○	
非常用ディーゼル発電 機系	M280-1B	B-非常用ディーゼル機関	R-B2F-06N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	M280-3B	B-非常用ディーゼル発電機	R-B2F-06N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300H-1	始動用空気塞止弁	R-B2F-07N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	AV280-300H-2	始動用空気塞止弁	R-B2F-07N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-1H	1次水温度調整弁	R-B2F-07N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	CV280-200H	潤滑油温度調整弁	R-B2F-07N	-	○	○	B	IPX5	○	
非常用ディーゼル発電 機系	M280-1H	高圧炉心スプレィ系ディーゼル 機関	R-B2F-07N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	M280-3H	高圧炉心スプレィ系ディーゼル 発電機	R-B2F-07N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	LS280-151B	B-DEG 燃料タンク液位	R-B1F-05N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ディーゼル発電 機系	LS280-151H	H-DEG 燃料タンク液位	R-B1F-06N	-	○	○	B	IP55	○	
非常用ディーゼル発電 機系	P280-1A	A-燃料移送ポンプ	Y-18N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	P280-1B	B-燃料移送ポンプ	Y-73N	-	○	-	B	-	○	
非常用ディーゼル発電 機系	P280-1H	高圧炉心スプレィ系燃料移送 ポンプ	Y-23N	-	○	-	B	-	○	
燃料ポンプ補給水系	MV285-1	FMW ポンプ 入口弁	R-B1F-01N R-B1F-08N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ補給水系	MV285-2	FMW ポンプ 出口弁	R-B1F-01N R-B1F-08N	-	○	○	B	IP55	○	
燃料ポンプ補給水系	P285-1	燃料ポンプ補給水ポンプ	R-B1F-01N R-B1F-08N	-	○	-	B	-	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (14/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：有 ○：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
原子炉保護系	PoS293-6A-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6A-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6B-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6B-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6C-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6C-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6D-1	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
原子炉保護系	PoS293-6D-2	主蒸気隔離弁開度スイッチ	R-1F-09N R-1F-26N	-	○	-	B	-	○	
プロセッサ放射線モニタ系	AMP295-26A	A-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-B1F-16N	-	○	-	B	-	○	
プロセッサ放射線モニタ系	RE295-26A	A-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
プロセッサ放射線モニタ系	RE295-26B	B-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-B2F-31N	-	-	○	C	IP55	○	
プロセッサ放射線モニタ系	AMP295-25A	A-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-1F-02N	-	○	○	B	IPX5	○	
プロセッサ放射線モニタ系	RE295-25A	A-格納容器雰囲気モニタ(ト ウエル)	R-1F-07-1N	-	○	-	B	-	○	PCV遮蔽内に設置され ており、被水しない
プロセッサ放射線モニタ系	AMP295-25B	B-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-1F-15N	-	○	-	B	-	○	
プロセッサ放射線モニタ系	RE295-25B	B-格納容器雰囲気モニタ(ト ウエル)	R-1F-12N	-	○	-	B	-	○	PCV遮蔽内に設置され ており、被水しない
プロセッサ放射線モニタ系	AMP295-26B	B-格納容器雰囲気モニタ(サブ ユニット)	R-B1F-17-1N	-	○	-	B	-	○	
プロセッサ放射線モニタ系	2-YMR-4A	A-排気筒モニタ(サブ ユニット)	Y-30N	○	-	-	A	-	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化され、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (15/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
プロセ放射線モニタ系	2-YMR-5A	A-排気筒低レンジモニタガス検出アラーム	Y-30N	○	-	-	A	-	○	
プロセ放射線モニタ系	2-YMR-4B	B-排気筒モニタガスアラーム	Y-31N	○	-	-	A	-	○	
プロセ放射線モニタ系	2-YMR-5B	B-排気筒低レンジモニタガス検出アラーム	Y-31N	○	-	-	A	-	○	
原子炉圧力容器計装系	LX298-11B	原子炉水位 (広域帯水位計)	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IP67	○	
原子炉圧力容器計装系	LX298-1A	原子炉水位	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IP67	○	
原子炉圧力容器計装系	LX298-1C	原子炉水位	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IP67	○	
原子炉圧力容器計装系	PX298-5B	原子炉圧力	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IP67	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-1	RCLC 計器ツック	R-B2F-01N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3A	A-RHR 計器ツック	R-B2F-02N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3C	C-RHR 計器ツック	R-B2F-03N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIB-B2-1	LPCS 流量・圧力計器架台	R-B2F-09N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-RIR-B2-3B	B-RHR 計器ツック	R-B2F-15N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208A	A-SRM/IRM 前置増幅器盤	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	-	C	-	○	内部に浸水しない構造
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208B	B-SRM/IRM 前置増幅器盤	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	-	C	-	○	内部に浸水しない構造
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208C	C-SRM/IRM 前置増幅器盤	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	-	C	-	○	内部に浸水しない構造
中央制御室機器・現地制御盤	2-2208D	D-SRM/IRM 前置増幅器盤	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	-	C	-	○	内部に浸水しない構造

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。

B : 溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。

C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (16/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源, 天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-2-2	A-PLR ボンブ 計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-2-4	B-PLR ボンブ 計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-3A	A-主蒸気流量計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-3C	C-主蒸気流量計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8A	A-原子炉圧力容器計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8C	C-原子炉圧力容器計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-1-8D	D-原子炉圧力容器計器ツック	R-1F-03N R-1F-22N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2211-22	C-リクワ・ロード センダ保護継電 器盤	R-2F-04N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8A	A-原子炉格納容器圧力計 器ツック	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8B	B-原子炉格納容器圧力計 器ツック	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	-	-	○	C	IPX5	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B : 溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (17/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8C	C-原子炉格納容器圧力計 器ブック	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-2-8D	D-原子炉格納容器圧力計 器ブック	R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	-	-	○	C	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220A1	A-発電機用発電機制御盤	R-B2F-05N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220B1	B-発電機用発電機制御盤	R-B2F-08N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2220H1	HPCS-発電機用発電機制御 盤	R-B2F-11N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2RCE-51	ほう酸水注入系操作箱	R-3F-04-1N R-3F-04-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-3A	A-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ブック	R-3F-06N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-3B	B-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ブック	R-3F-100N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RSR-3-5B	B-原子炉格納容器 H2・O2 分析計ブック	R-3F-100N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-8B	B-発電機用発電機制御盤	R-B1F-01N R-B1F-08N	-	○	○	B	IPX5	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-8A	A-発電機用発電機制御盤	R-B1F-07N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-RIR-B1-4	HPCS 計器ブック	R-B1F-09N	-	○	-	B	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-YIB-1B	II-RSW ボンプ 出口圧力計器 収納箱	Y-24AN	-	○	-	B	-	○	

A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。

B : 溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。

C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (18/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源, 天井開口 又は貫通部の有無 - : 有 ○ : 無	多重化・ 多様化 ○ : 有 - : 無	防滴仕様 ○ : 有 - : 無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○ : 良 × : 否	備考
中央制御室機器・現 地制御盤	2-YIB-1A	I-RSW ボンプ 出口圧力計器 収納箱	Y-24BN	-	○	-	B	-	○	

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

- A : 溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
- B : 溢水防護対象設備が多重化又は多様化されしており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
- C : 溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (19/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
中央制御室機器・現 地制御盤	2-920A	A-RHR・LPCS 継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-920B	B・C-RHR 継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-921	HPCS 継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-921A	HPCS トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-923A	A-格納容器隔離継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-923B	B-格納容器隔離継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924A	A-原子炉保護継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924A1	A1-原子炉保護トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924A2	A2-原子炉保護トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924B	B-原子炉保護継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924B1	B1-原子炉保護トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-924B2	B2-原子炉保護トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-925	制御棒スクラムテスト盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-934A	A-原子炉プ ーテスト計測盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-934B	B-原子炉プ ーテスト計測盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

- A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
- B：溢水防護対象設備が多様化又は多重化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
- C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 2-1 想定破損による被水影響評価結果 (20/20)

系統名称	設備番号	設備名称	設置区画	被水源、天井開口 又は貫通部の有無 ○：有 -：有 ○：無	多重化・ 多様化 ○：有 -：無	防滴仕様 ○：有 -：無	判定 基準	保護等級	評価結果 ○：良 ×：否	備考
中央制御室機器・現 地制御盤	2-961G2	B-直流地絡検出装臈盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-970A	A-自動減圧継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-970B	B-自動減圧継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-972A	A-原子炉補助継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-972B	B-原子炉補助継電器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-973A-2	A-格納容器 H2/O2 濃度計演 算器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-973B-2	B-格納容器 H2/O2 濃度計演 算器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-976A	SI-工学的安全施設トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-976B	SII-工学的安全施設トリップ 設定器盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-984A	原子炉警報電源盤	RW-1F-05N RW-1F-07N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2256A	A-中央制御室冷凍機制御 盤	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-2256B	B-中央制御室冷凍機制御 盤	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-WIR-2-6A	中央制御室 A-冷凍機計器 ツク	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	
中央制御室機器・現 地制御盤	2-WIR-2-6B	中央制御室 B-冷凍機計器 ツク	RW-2F-02N	○	-	-	A	-	○	

A：溢水防護対象設備から放物軌道を考慮した範囲に破損を想定する被水源がなく、上部の天井面に開口部又は貫通部がない。
 B：溢水防護対象設備が多様化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が「JIS C 0920 電気機械器具の外観による保護等級 (IP コード)」による防滴仕様を有している。
 又は溢水防護対象設備を防護するために必要な対策がなされている。

表 3-1 想定破損による蒸気影響評価結果

蒸気源、又は他区画からの流入※1	多重化・区画化 ○：有 －：無	機能要求 ○：有 －：無	耐環境仕様 ○：有 －：無	判定基準※2	対策実施 ○：有 －：無	評価結果 ○：良 －：否	判定期由
原子炉建物 二次格納施設	主蒸気系 給水系 原子炉隔離時冷却系 原子炉冷却材浄化系 (所内蒸気系)	－	○	B	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 高エネルギー配管の破断を考慮した設計 (1)耐環境仕様 (2)ブローアウトパネルの設置 ほう酸水注入系は耐蒸気仕様ではないが、水圧制御ユニットが耐蒸気仕様であることから、多重化又は多様化された系統が同時に機能喪失しない 所内蒸気系配管に対しては、以下の対策を実施 (1)止め弁の設置による常時隔離（運用の変更） (2)配管のルート変更等 原子炉建物付属棟との境界は気密性を考慮した設計のため伝播しない
原子炉建物 付属棟	－ (所内蒸気系)	－	－	A	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 所内蒸気系配管に対しては以下の対策を実施 (1)止め弁の設置による常時隔離（運用の変更） (2)配管のルート変更等 原子炉建物二次格納施設との境界は気密性を考慮した設計のため伝播しない
廃棄物処理建物	－ (所内蒸気系)	－	－	A	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 所内蒸気系配管については、以下の対策を実施 (1)配管のルート変更等 (2)溢水防護対象区画境界は気密性を考慮した設計のため伝播しない
制御室建物	－ (所内蒸気系)	－	－	A	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 所内蒸気系配管に対しては以下の対策を実施 溢水防護対象区画境界は気密性を考慮した設計のため伝播しない
海水ポンプエリア	－	－	－	A	－	○	
排気筒エリア	－	－	－	A	－	○	<ul style="list-style-type: none"> 区画内に蒸気源がなく、屋外で大気開放であるため伝播しない
B-デューセル燃料貯蔵 タンク格納槽	－	－	－	A	－	○	

※1 ()内は対策前の蒸気源、又は他区画から流入する蒸気源を示す。
 ※2 判定基準 記号 A：溢水防護対象区画内に蒸気を内包する溢水源がなく、区画外からの蒸気の伝播がない。
 B：溢水防護対象設備が多重化又は多様化されており、各々が別区画に設置される等により、同時に機能喪失しない。
 C：溢水防護対象設備が耐蒸気仕様が有している。又は溢水防護対象設備を防護するための必要な対策がなされている。

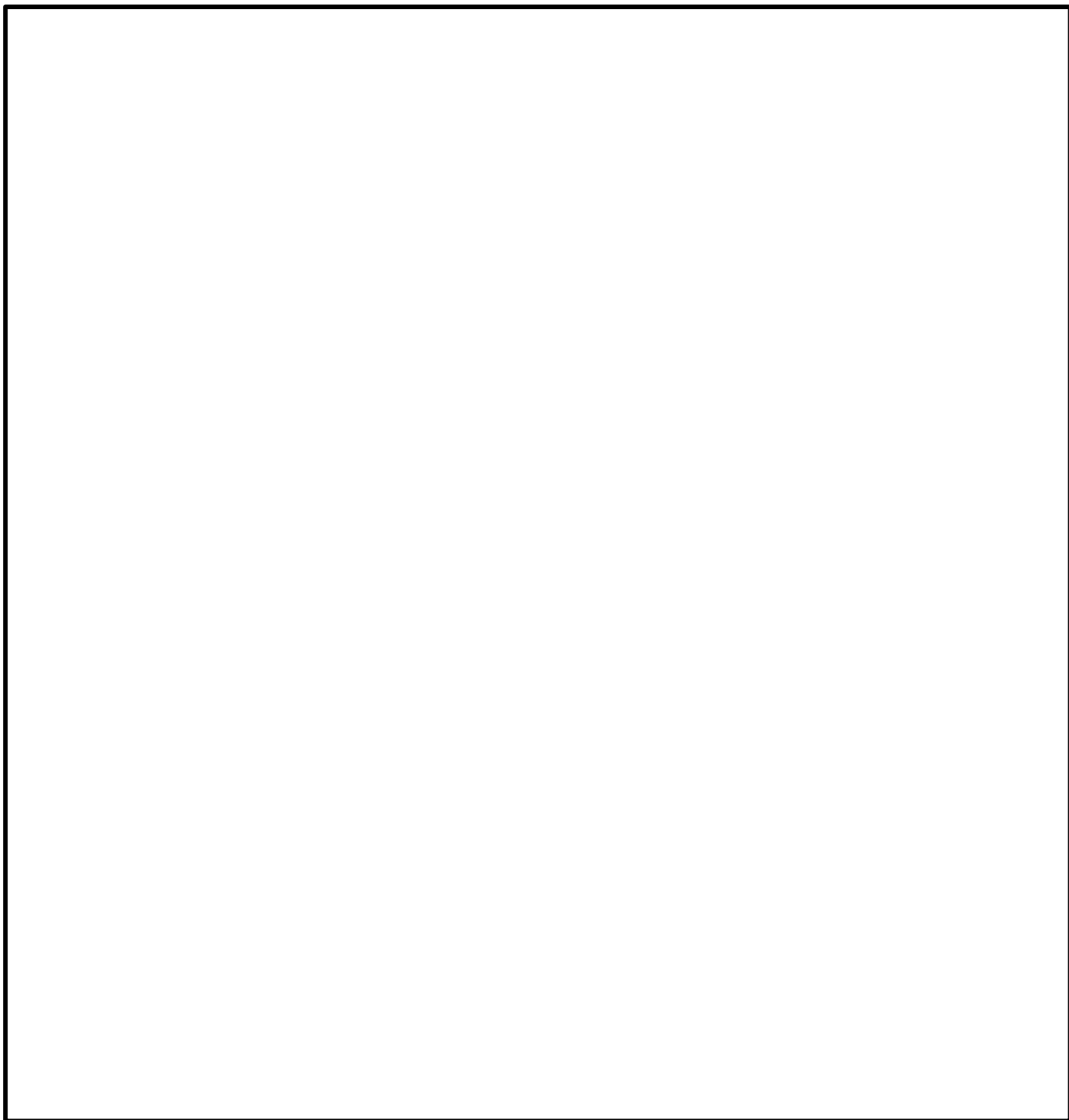


図 3-1 蒸気源有無の全体概略図

本資料のうち、枠囲みの内容は機密に係る事項のため公開できません。

添付資料6 消火水による溢水影響評価について

1. 消火活動に伴う溢水の有無について

消火活動に伴う溢水の有無を表 1-1 に示す。

2. 消火水による没水影響評価結果まとめ

消火水の放水による没水影響評価結果を表 2-1 に示す。

3. 消火活動における放水量に関する運用管理について

(1) はじめに

火災時の消火活動における消火栓からの溢水により，原子炉の停止機能，冷却機能及び放射性物質の閉じ込め機能が維持されること，燃料プール冷却機能及び給水機能が，その機能を失わないことを確認したが，運用においては，消火栓からの溢水が溢水防護対象設備に影響を及ぼす可能性について周知徹底し，確実な運用を図っていくものとする。具体的な実施内容について次項に示す。

(2) 消火栓からの溢水流量について

a. 消火栓からの放水時間に関する保守性について

消火栓からの放水による消火活動を想定している区画については，3 時間又は火災源の大きさを考慮した放水時間を設定している。

b. 消火栓の溢水流量について

消火栓について放水流量の確認を行い，評価で設定している溢水流量以下であることを確認している。

- ・屋内 放水試験口：226 l/min
- ・屋外 放水試験口：522 l/min

○評価上の溢水流量 → 屋内 260 l/min (130 l/min×2 倍)
屋外 700 l/min (350 l/min×2 倍)

(3) 運用における対応について

運用については，島根原子力発電所の QMS 文書に必要事項を記載する。

a. 消火活動における安全上重要な設備への影響考慮について

発電所で発生した火災に対する消火活動においては，発電所全体の安全上重要な設備への影響を考慮し，消火活動を実施することから，発電所の防火・消火活動を規定している「火災防護計画」に消火活動時の注意事項として記載するとともに，教育訓練により周知徹底を図るものとする。

b. 教育訓練

火災発生時の消火活動の注意事項として記載した内容については、消火活動に従事する可能性のある作業員に対しその重要性について教育する必要があることから、「火災防護計画」で規程する防火・防災教育及び消防訓練で周知徹底を図る。

c. 火災発生時の設備点検実施について

火災発生後の設備への影響については、鎮火後に原子炉施設の損傷の有無を確認することとしている（原子炉施設保安規定第17条）。

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(1/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-B2F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-03N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-04N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-06N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-07N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-08N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-09N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-10N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-11N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-12N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-13N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-14N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-15N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-16N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-17N R-B2F-18N R-B2F-19N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-20N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-22-1N R-B2F-22-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B2F-23N	有	消火栓	0.16
R-B2F-24-1N R-B2F-24-2N	有	消火栓	0.16
R-B2F-25N	有	消火栓	0.16
R-B2F-26-1N R-B2F-26-2N	有	消火栓	0.47
R-B2F-27-1N R-B2F-27-2N	有	消火栓	0.16
R-B2F-28N	有	消火栓	2.03
R-B2F-29N	有	消火栓	0.16
R-B2F-30N	有	消火栓	0.16
R-B2F-31N	無（固定式消火設備等）	-	-

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(2/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-B1F-01N R-B1F-08N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-02N	有	消火栓	0.16
R-B1F-03N	有	消火栓	8.74
R-B1F-04N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-06N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-07N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-09N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-10N	有	消火栓	3.75
R-B1F-11N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-12N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-13N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-14-1N	有	消火栓	0.32
R-B1F-14-2N	有	消火栓	0.32
R-B1F-15N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-16N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-17-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-17-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-18-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-18-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-18-3N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-20N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-23N	有	消火栓	0.16
R-B1F-24N	有	消火栓	0.16
R-B1F-25N	有	消火栓	0.16
R-B1F-26N	有	消火栓	0.16
R-B1F-27N	有	消火栓	38.69
R-B1F-28N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-29N	有	消火栓	32.76
R-B1F-30N	有	消火栓	0.16
R-B1F-31N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-32N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-B1F-33N	無（固定式消火設備等）	-	-

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(3/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-1F-01-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-01-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-03N R-1F-22N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-04N	有	消火栓	0.16
R-1F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-06N	有	消火栓	0.16
R-1F-07-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-07-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-08N	有	消火栓	0.16
R-1F-09N R-1F-26N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-101N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-102N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-10N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-11N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-12N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-13N	有	消火栓	9.05
R-1F-14N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-15N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-16N	有	消火栓	0.16
R-1F-17N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-18N	有	消火栓	1.41
R-1F-19N	有	消火栓	0.16
R-1F-20N	有	消火栓	0.16
R-1F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-24-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-24-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-25N	有	消火栓	0.16
R-1F-27N	有	消火栓	0.16
R-1F-28N	有	消火栓	0.16
R-1F-29N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-30N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-31N	有	消火栓	39

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(4/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-1F-32N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-33N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-1F-34N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-03N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-04N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-06N	有	消火栓	0.16
R-2F-07N	有	消火栓	10.3
R-2F-08N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-09N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-10N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-11N R-2F-12N R-2F-18N R-2F-19N R-2F-24N R-2F-25N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-13N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-14N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-15N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-16N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-17N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-20N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-22N	有	消火栓	3.44
R-2F-23N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-26N	有	消火栓	0.16
R-2F-27N	有	消火栓	0.16
R-2F-28N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-2F-29N	有	消火栓	1.41
R-M2F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(5/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-M2F-03N R-M2F-04N R-M2F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-06N R-M2F-07N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-08N	有	消火栓	0.78
R-M2F-09N	有	消火栓	0.16
R-M2F-10N	有	消火栓	0.16
R-M2F-11N R-M2F-12N R-M2F-26N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-14N	有	消火栓	0.16
R-M2F-15N	有	消火栓	0.16
R-M2F-16N	有	消火栓	0.16
R-M2F-17N	有	消火栓	0.16
R-M2F-18-1N R-M2F-21N R-M2F-22N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-18-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-19N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-20N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-23N	有	消火栓	0.16
R-M2F-24N	有	消火栓	0.16
R-M2F-25N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-27N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-100N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-M2F-102N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-03N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-04-1N R-3F-2N R-3F-07N R-3F-16-1N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(6/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
R-3F-06N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-09N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-10N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-11N R-3F-25N	有	消火栓	0.32
R-3F-12-1N	有	消火栓	0.16
R-3F-12-2N	有	消火栓	0.16
R-3F-13N	有	消火栓	5.15
R-3F-14N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-15N	有	消火栓	0.16
R-3F-16-2N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-17N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-19N	有	消火栓	0.16
R-3F-20N	有	消火栓	0.16
R-3F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-22N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-100N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-3F-102N	無（固定式消火設備等）	-	-
R-4F-01-1N	有	消火栓	0.94
R-4F-01-2N	有	消火栓	0.94
R-4F-02N	有	消火栓	0.16
R-4F-03N	有	消火栓	0.16
R-4F-04N	有	消火栓	0.78
RW-MB1F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-06N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-07N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-08N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-MB1F-11N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-01N RW-1F-30N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-02N RW-1F-04N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-03N	無（固定式消火設備等）	-	-

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(7/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
RW-1F-05N RW-1F-07N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-06N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-09N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-10N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-11N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-20N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-21N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-22N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-27N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-29N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-1F-31N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-2F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-2F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
RW-2F-31N	有	消火栓	0.16
RW-2F-32N	有	消火栓	0.16
RW-4F-01N	有	消火栓	1.1
C-1F-01N	有	消火栓	19.04
C-1F-02N	有	消火栓	23.4
C-1F-03N	有	消火栓	9.68
C-1F-04N	有	消火栓	0.78
C-1F-05N	有	消火栓	0.32
C-1F-06N	有	消火栓	19.35
C-M2F-01N	有	消火栓	0.16
C-M2F-02N	有	消火栓	4.53
C-M2F-03N	有	消火栓	7.18
C-M2F-04N	有	消火栓	46.8
C-M2F-05N	有	消火栓	0.32
C-M2F-06N	有	消火栓	0.32
C-M2F-07N	有	消火栓	3.44
C-M2F-08N	有	消火栓	14.98
C-M2F-09N	有	消火栓	0.16
C-2F-01N C-2F-04-1N	有	消火栓	14.82

表 1-1 消火活動に伴う溢水の有無について(8/8)

区画名	消火活動に伴う放水の有無	溢水源	溢水量 [m ³]
C-2F-02N C-2F-03N C-2F-04-3N	有	消火栓	25.43
C-2F-04-2N	有	消火栓	4.68
C-2F-05N	有	消火栓	0.16
C-2F-06N	有	消火栓	0.16
C-2F-07N	有	消火栓	46.8
C-2F-08N	有	消火栓	1.41
C-2F-09N	有	消火栓	3.28
C-3F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-02N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-03N	有	消火栓	7.18
C-3F-04N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-05N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-3F-06N C-3F-07N	有	消火栓	46.8
C-3F-08N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-4F-01N	無（固定式消火設備等）	-	-
C-4F-02N	有	消火栓	0.16
Y-18N	有	消火栓	0.42
Y-23N	有	消火栓	0.42
Y-24AN	有	消火栓	11.76
Y-24BN	有	消火栓	13.02
Y-24CN	有	消火栓	0.42
Y-25N	有	消火栓	32.34
Y-26N	有	消火栓	0.42
Y-29N	有	消火栓	0.42
Y-30N	無（固定式消火設備等）	-	-
Y-31N	無（固定式消火設備等）	-	-
Y-73N	無（固定式消火設備等）	-	-

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-23N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール						
	格納容器内の冷却機能	燃料棒貯蔵庫の濃度圧縮機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-24-1N、R-42F-24-2N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料棒挿入機構(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却用)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B C	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-25N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機系統 (水圧制御ユニット)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or FHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or FHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-26-1N、R-42F-26-2N	○	
放水量[m ³]	0.47		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	ほう酸水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の放射性ガス制御機能	放射性ガス濃度低減機能	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却用)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-27-1N、R-42F-27-2N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用節水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	-	RHR(A) or RHR(B)	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用節水供給機能 非常用節水供給機能	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	-	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用節水供給機能 非常用節水供給機能	非常用節水供給機能 原子炉制御室非常用換気空調機能 原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用節水供給機能 非常用節水供給機能	非常用節水供給機能 原子炉制御室非常用換気空調機能 原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調換気系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	燃料プールの補給水系	監視機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-12F-28N	○	
放水量[m ³]	2.03		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統区分	A B	-	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-12F-29N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(1) and ABS(2) or RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	A B	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B) or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源計測用電源)	原子炉隔離冷却系 原子炉隔離冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-30N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-02N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-03N	○	
放水量[m ³]	8.74		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋排水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時対策系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール補給系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-10N	○	
放水量[m ³]	3.75		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度抑制系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-14-1N	○	
放水量[m ³]	0.32		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(I) and ABS(II) or RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	自動減圧系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	-	-	A	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I	II	III	I	I II	I II	I	II	I	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射線物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用照明電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用照明電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	2区分以上	中央制御室空調機	事故時対策系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-14-2N	○	
放水量[m ³]	0.32		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用電源機能	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用電源機能	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-23N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	○	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋排水系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール補給系	燃料プール補給系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-24N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(1) and ABS(2) or RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却水ポンプ系統 (水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却水ポンプ系統 (水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード), 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)	HWC(A) or HWC(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)	非常用電源機能 (非常用電源機能)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-25N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象 安全機能	原子炉心 緊急停止機能	未触着維持機能 [HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	原子炉停堆時 注水機能		低圧注水機能		圧力逃がし機能 [SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]		炉内冷却機能		
			HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	BTC or HPCS	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) and RHR(B)	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or SRV(II) and RHR(C) and RHR(D)]
機能判定	○	○	○	○	2区分以上	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	BTC or HPCS	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) and RHR(B)	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(I) or SRV(II) and RHR(C) and RHR(D)]
系統名	制御棒及び 制御棒駆動機 (水圧制御ユニット)	ほう酸水注入系	原子炉停 堆時 冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系 自動減圧系 残留熱除去系	B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード) 自動減圧系 残留熱除去系	高圧炉心 スプレイス系	逃がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時 冷却モード)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) and RHR(B)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	II	III	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○

評価対象 安全機能	格納容器の 冷却機能	隔離機能	格納容器内の 可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/ 冷却用節水供給機能	原子炉制御系 非常用換気空調機能	事故時状態記憶	燃料プール		
								冷却機能	給水機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス 濃度抑制系	非常用電源 非常用節水 計測制御用電源	原子炉隔離冷却系 原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	中央制御室 空調換気系	燃料プールの冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給系 補給水系	残留熱除去系	監視 機能
系統区分	A B	-	A B	-	-	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-26N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	自動減圧系 逃がし安全弁	自動減圧系 逃がし安全弁	自動減圧系 逃がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	A B	-	-	A
安全区分	I II	I II	III	I II	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源	非常用電源 非常用電源 非常用電源	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-27N	○	
放水量[m ³]	38.69		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B) RHR(A) or RHR(B)	FWM RHR(A) or RHR(B)	-	○	○	○
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉制御室/非常用換気空調機能	中央制御室空調機	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	監視機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-29N	○	
放水量[m ³]	32.76		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	○	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の放射性ガス濃度低減機能	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-B1F-30N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	原子炉停炉時注水機能	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU or HPCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 低圧注水モード, 低圧注水モード	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	-	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B) RHR(A) or RHR(B)	FMW RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	原子炉隔離冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-04N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	逃がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	逃がし安全弁	自動減圧系	SRV(I) or SRV(II)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	-	-	A
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射能物質の濃度低減機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射能物質の濃度低減機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RCS(A) or RCS(B)	SGT(A) or SGT(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	○
系統名	格納容器内(内側) 格納容器(外側)	非常用ガス処理系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給排水系	事故時排水系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給排水系	監視機能
系統区分	A B	A B	-	-	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II III	I II	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-06N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停機時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]			2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び原子炉冷却系(水圧制御ユニット)	原子炉停止時冷却系(水圧制御ユニット)	原子炉停止時冷却系(水圧制御ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射能物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系/高圧炉心スプレイス補給冷却系/高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-08N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系, 原子炉建屋排水系, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-13N	○	
放水量[m ³]	9.05		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋補給水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-16N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ABS(I)
系統名	制御棒及び冷却ポンプモーター(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプモーター(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用照明電源	原子炉隔離冷却系 原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-18N	○	
放水量[m ³]	1.41		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉隔離冷却系, 原子炉隔離冷却系, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-19N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換水系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-20N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能	原子炉停止機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(D) and ABS(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び閉鎖式圧力調整ユニット(水圧調整ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度調整系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	R-1F-25N			
放水量[m ³]	0.16			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び閉鎖機構(水圧制御ユニット)	制御棒及び閉鎖機構(水圧制御ユニット)	制御棒及び閉鎖機構(水圧制御ユニット)	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)隔離弁(外側)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却用)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	非常用電源(非常用電源計測用電源)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-27N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系	自動減圧系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	PC(A) or PC(B)	FWM RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋補給水系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-28N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	○	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FMW RHR(A) or RHR(B)	-	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換気系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	事故時計装系	燃料補給系	燃料補給系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-1F-31N	○	
放水量[m ³]	334.00		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 原子炉補給熱交換系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給熱交換系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-06N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の放射性ガス制御機能	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B) RHR(A) or RHR(B)	FMW RHR(A) or RHR(B)	-	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	原子炉制御室非常用換気空調機能	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	監視機能	残留熱除去系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	A B	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-	I II	-	-	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F-07N	○	
放水量[m ³]	10.30		

評価対象	原子炉施設										備考		
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時						炉内冷却機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(A)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系+残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	A B	A B	A B	A	A
安全区分	I II	I II	III	I II	II	I	I II	I II	I II	I II	I II	I	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象	原子炉施設										備考	
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能		
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or RHR(B)	FHR or RHR(B)	FHR or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or RHR(B)	FHR or RHR(B)	FHR or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料補給水系	燃料補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F~22N	○	
放水量[m ³]	3.44		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射能物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射能物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or FHR(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FHR or FHR(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F~26N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度抑制系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	R-2F~27N			
放水量[m ³]	0.16			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧炉心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設								
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の放射性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能	非常用電源機能	非常用給水供給機能	非常用換気空調機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-2F~29N	○	
放水量[m ³]	1.41		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	原子炉停止時冷却モード	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	格納容器隔離弁	格納容器内の冷却機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-08N	○	
放水量[m ³]	0.78		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(1) and ABS(2) or RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) and RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)	非常用電源機能(非常用電源機能)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-09N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止機能	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系	原子炉停止時冷却系
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却系停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却系停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射能物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)	格納容器(外側)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	監視機能	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	監視機能	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機能)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側) 格納容器(外側)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-10N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(A)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-14N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(I) and ABS(II) or RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(C) and RHR(D)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-15N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	○	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	○	○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	FPM RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	-	-	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋排水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-16N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-17N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	
系統名	制御棒及び冷却ポンプモーター(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイス系	自動減圧系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-23N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B) or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉制御室空調機/高圧中心スプレイス補給冷却系	事故時状態把握	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-42F-24N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(B-C)残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	A	A
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉制御室非常用換気空調機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	2区分以上	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	R-3F-1IN, R-3F-2BN			
放水量[m ³]	0.32			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B A B A B	A B A B A B	-	- B C -	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II I II I II	I II I II I II	III	I II III	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II	I II I II I II
判定	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射能物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM or RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋冷却系 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	中央制御室空調換気系	事故時対策系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B -	A B A B	A B	A B	-	A B A B	A B A B	A B A B	A B A B	A B A B	A B A B	A B A B	A B A B
安全区分	I II I II	I II I II	I II	I II	III	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II
判定	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-12-1N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	可燃性ガス濃度抑制機能	放射性ガス濃度抑制機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	FCS(A) or FCS(B)	可溶性ガス濃度抑制系	放射性ガス濃度抑制系
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	FCS(A) or FCS(B)	可溶性ガス濃度抑制系	放射性ガス濃度抑制系
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換水系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	可溶性ガス濃度抑制系	放射性ガス濃度抑制系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-12-2N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール				
	格納容器の冷却機能	燃料棒物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	事故時排水系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	燃料プール補給排水系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F~13N	○	
放水量[m ³]	5.15		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	○	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換気系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール補給系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F~15N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧制御ユニット)	ほう酸水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	自動減圧系	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系, 原子炉建屋排水系, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	中央制御室空調換気系	事故時計算系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-3F-19N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	原子炉停炉時注水機能	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	SRV(1) or SRV(2)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	ほう酸水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	逃がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停炉モード)	残留熱除去系(原子炉停炉モード)	逃がし安全弁	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停炉モード)	逃がし安全弁
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	-	-	A B	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM RHR(A) or RHR(B)	-	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源計測用電源)	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	R-3F-20N			
放水量[m ³]	0.16			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	RHR(A) or RHR(B)	○	○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM or FWC	RHR(A) or RHR(B)	-	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用電源	原子炉制御室 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系	燃料プール冷却系 燃料プール冷却系	燃料プール冷却系 燃料プール冷却系	燃料プール冷却系 燃料プール冷却系	燃料プール冷却系 燃料プール冷却系	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-4F-01-1N	○	
放水量[m ³]	0.94		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧制御ユニット)	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)隔離弁(外側)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源	非常用電源
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)隔離弁(外側)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-4F-01-2N	○	
放水量[m ³]	0.94		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設						
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能		
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能		
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	R-4F-02N			
放水量[m ³]	0.16			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-4F-03N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(I) and ABS(II) or RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) or RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	R-4F-04N	○	
放水量[m ³]	0.78		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能	原子炉停止時冷却機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系	残留熱除去系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源計測用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源計測用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	RW-2F-3IN	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未通電維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]			2区分以上	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HTC or HPCS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	(SRV(I) or SRV(II)) [RHR(A) or RHR(B)]
系統名	制御棒及び冷却ポンプモーター(水圧制御ユニット)	ほう酸水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(B-C)残留熱除去系(低圧注水モード)	自動減圧系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉制御室空調機/原子炉制御室空調機/原子炉制御室空調機	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	RW-2F-32N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	自動減圧系	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度抑制系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	中央制御室空調機気系	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	RW-4F-01N	○	
放水量[m ³]	1.10		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧炉心スプレイス)	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	○
浸水発生区画	C-1F-01N		
放水量[m ³]	13,04		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	可燃性ガス濃度制御機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FWP(A) or FWP(B)	[FWP(A) or FWP(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋排水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	監視機能	残留熱除去系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-1F-02N			
放水量[m ³]	23.40			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却水ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却水ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-1F-03N			
放水量[m ³]	9.68			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	自動減圧系 B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール						
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	中央制御室空調機	事故時対策系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-1F-04N			
放水量[m ³]	0.78			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)隔離弁(外側)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉冷却系/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器(内側)隔離弁(外側)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	
系統区分	A B	-	A B	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-1F-05N			
放水量[m ³]	0.32			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				備考	
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能		原子炉停炉時注水機能
安全機能	HCI(A) and HCI(B)	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	○	2区分以上	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	○	○	○	○	(SRV(I) or SRV(II)) [ABS(I) or ABS(II)]	○	○	(RHR(A) or RHR(B)) or [(SRV(I) or SRV(II)) and (RHR(A) or RHR(B))] or [(SRV(I) or SRV(II)) and (RHR(C) or RHR(D))]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HTC or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	(SRV(I) or SRV(II)) and RHR(A)	(SRV(I) or SRV(II)) and RHR(B)
系統名	冷却停止機能 (水圧制御ユニット)	冷却停止機能及び水圧制御ユニット	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード	高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				備考
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-1F-06N			
放水量[m ³]	13.35			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	燃料棒物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	格納容器内(内側) 格納容器(外側)	非常用電源 非常用電源 格納容器用電源	非常用電源 非常用電源 格納容器用電源	中央制御室 空調機気系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	燃料プール冷却系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-01N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(B-C)残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	RHR(A) or RHR(B)	○	○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	-	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換気系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	A B	-	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-M2F-02N	○	
放水量[m ³]	4.53		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	-	A	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器の冷却機能	隔離機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	-	○	○
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用換気空調 非常用照明	原子炉隔離冷却系 原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給冷却系	監視機能	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-M2F-03N	○	
放水量[m ³]	7.18		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(A)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	FWM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系, 原子炉建屋換水系, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給水系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-04N	○	
放水量[m ³]	46.80		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	HPS	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び冷却水ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時注水機能 ほう水注入系	原子炉停炉時注水機能 高圧炉心スプレー系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧炉心スプレー系)	原子炉停炉時注水機能 高圧炉心スプレー系	高圧炉心スプレー系	残留熱除去系 (原子炉停炉時注水機能)	残留熱除去系 (原子炉停炉時注水機能)	自動減圧系	残留熱除去系 (原子炉停炉時注水機能)	残留熱除去系 (原子炉停炉時注水機能)	残留熱除去系 (原子炉停炉時注水機能)
系統区分	A B	A B	-	-	-	C	A B	-	-	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス抑制機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可溶性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	燃料プール冷却系 燃料プール換気系	燃料プール冷却系 燃料プール換気系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-05N	○	
放水量[m ³]	0.32		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール			
	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	[FPC(A) or FPC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FWM RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	監視機能
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-06N	○	
放水量[m ³]	0.32		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	○	FMW or RHR(A) or RHR(B)	○	○	○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FMW or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	-	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	事故時計装系	燃料補給系	燃料補給系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-M2F-07N	○	
放水量[m ³]	3.44		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SLC(1) and SLC(II)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射能物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉制御室空調換気系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	燃料プールの補給水系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-08N	○	
放水量[m ³]	14.98		

評価対象	原子炉施設										備考		
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停止時						廃炉熱除去機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	BTC or HPCS	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(1) or SRV(2)] and [RHR(C) or RHR(D)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	BTC or HPCS	ABS(1) and ABS(2) or RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	[RHR(A) or RHR(B)] or [SRV(1) or SRV(2)] and [RHR(C) or RHR(D)]
系統名	冷却停止機能 (水圧制御ユニット)	冷却停止機能 (水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	自動減圧系 B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系 高圧炉心スプレイス系	自動減圧系 高圧炉心スプレイス系	自動減圧系 高圧炉心スプレイス系	自動減圧系 高圧炉心スプレイス系	残留熱除去系 高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	-	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設										備考
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	可燃性ガス濃度計測系	非常用電源 非常用照明 非常用補助電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[RHR(A) or RHR(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[RHR(A) or RHR(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度計測系	非常用電源 非常用照明 非常用補助電源	原子炉隔離冷却系 原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-42F-09N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(1) and ABS(2)	SRV(1) and SRV(2)	HPCS	SRV(1) and SRV(2)	ABS(1) and ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(A)	SRV(1) or SRV(2) and RHR(B)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイスライヤ	自動減圧系+B (低圧注水モード) 高圧中心スプレイスライヤ	高圧中心スプレイスライヤ	高圧中心スプレイスライヤ	高圧中心スプレイスライヤ	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール						
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射線物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM RHR(A) or RHR(B)	監視機能
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源 非常用照明電源 非常用冷却機	2区分以上	中央制御室空調機	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	燃料プールの冷却系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-2F-01N、C-2F-04+1N			
放水量[m ³]	14.82			

評価対象 安全機能	原子炉の緊急停止機能	未鑑別維持機能 [HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	原子炉停炉時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能		原子炉駆動時注水機能	
			HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)	HCU(A) and HCU(B)
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定																		
系統名	制御棒及び原子炉駆動機ユニット(水圧制御ユニット)	制御棒及び原子炉駆動機ユニット(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ	高圧炉心スプレイスライヤ
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

評価対象 安全機能	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス削減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	燃料プール	
																				燃料プール冷却系	燃料プール補給水系
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定																					
系統名	格納容器冷却系(格納容器冷却機ユニット)	格納容器隔離弁	格納容器内の可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	非常用電源(非常用電源制御用電源)
系統区分	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
安全区分	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I	II	I
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-2F-02N, C-2F-03N, C-2F-04-3N			
放水量[m ³]	25.43			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系	自動減圧系+B(低圧注水モード), 残留熱除去系
系統区分	A B A B	A B A B	-	- B C -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II I II	I II I II	III	I II III	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II
判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設								
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	-	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明電源)	原子炉補給冷却系 原子炉補給排水系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	監視機能	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系	燃料プール補給系
系統区分	A B -	- A B	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	III	I II III	I II I II	I II I II	I II I II	I II I II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F-04+2N	○	
放水量[m ³]	4.68		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(B-C)-残留熱除去系(低圧注水モード)	自動減圧系	自動減圧系+高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系	高圧炉心スプレイスライヤ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉隔離冷却系 原子炉隔離冷却系 高圧炉心スプレイスライヤ補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F-05N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SIC(I) and SIC(II)]	○	2区分以上	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	[SRV(I) or SRV(II)] [ABS(I) or ABS(II)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系	高圧炉心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	C	-	-	A B	-	A	-	A	-
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用節水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F-06N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(1) and ABS(2) or RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(1) or ABS(2)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2) or RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧調整ユニット)	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧調整ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度調整系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋排水系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給排水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給系	残留熱除去系	燃料プール補給系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F~07N	○	
放水量[m ³]	46.80		

評価対象	原子炉施設												
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	炉建熱除去機能					原子炉停炉時注水機能		
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプモーター(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	自動減圧系+B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード) 残留熱除去系	残留熱除去系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	隔離機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用照明電源 計測用照明電源	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B) RHR(A) or RHR(B)	FMW RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用照明電源 計測用照明電源	原子炉建熱冷却系 原子炉建熱給水系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給給水系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B	-	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-2F-08N	○	
放水量[m ³]	1.41		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(B-C)残留熱除去系(低圧注水モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	A	A
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	○	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	○	○	○
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B) RHR(A) or RHR(B)	A系 or B系	FMW RHR(A) or RHR(B)	-	○	○
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉建屋冷却系 原子炉建屋換水系 高圧炉心スプレイスライ補給冷却系 高圧炉心スプレイスライ補給換水系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	事故時計装系	燃料補給系	燃料補給系	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B A B	A B	-	A B	-	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II I II	I II	-	I II	-	-
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	○
浸水発生区画	C-2F-09N		
放水量[m ³]	3.25		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未鑑査維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	[HCU(1) and HCU(II)] [SIC(1) and SIC(II)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]	[SRV(1) or SRV(II)] [ABS(1) or ABS(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(II)	ABS(1) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)	SRV(1) or SRV(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス
系統区分	A B	A B	A B	-	-	-	-	A B	A B	-	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール					
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 計測用電源	HWC(A) or HWC(B)	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FPM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	監視機能
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM RHR(A) or RHR(B)	-
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 計測用電源	原子炉補給冷却系 原子炉補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系 高圧炉心スプレイス補給冷却系	燃料プール冷却系 残留熱除去系	事故時状態把握	燃料プール補給冷却系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	A B	A B	A B	-	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-3F~03N	○	
放水量[m ³]	7.18		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SLC(1) and SLC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源 非常用電源 非常用電源	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]	[RHR(A) or RHR(B)]
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源 非常用電源 非常用電源	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	C-3F-06N, C-3F-07N			
放水量[m ³]	46.80			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(II) or ABS(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B A B	A B A B	-	-	C -	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	-
安全区分	I II I II	I II I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

評価対象	原子炉施設				燃料プール					
	格納容器内の冷却機能	燃料棒貯蔵庫の濃度監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態監視	冷却機能	給水機能	監視機能
安全機能	格納容器内の冷却機能	燃料棒貯蔵庫の濃度監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	事故時状態監視	冷却機能	給水機能	監視機能
機能判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	原子炉補給冷却系, 原子炉補給冷却系, 高圧中心スプレイス補給冷却系, 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調機, 空調機	事故時計装系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系
系統区分	A B -	A B A B	A B	-	-	A B	A B A B	A B	A B	-
安全区分	I II I II	I II I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	-
判定	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	C-4F-02N	○	
放水量[m ³]	0.16		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) or HCU(B)	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-18N	○	
放水量[m ³]	0.42		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]	[HCU(I) and HCU(II)] [SLC(I) and SLC(II)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)	HCU(A) and HCU(B)	SLC(A) and SLC(B)
系統名	制御棒及び閉鎖機構(水圧制御ユニット)	制御棒及び閉鎖機構(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系	原子炉停炉時冷却系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)	RCS(A) or RCS(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系	格納容器内の可燃性ガス制御系
系統区分	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-23N	○	
放水量[m ³]	0.42		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU(A) and HCU(B)	2区分以上	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧制御ユニット)	制御棒及び閉鎖式燃料冷却機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	自動減圧系	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)	自動減圧系+B(低圧中心スプレイス)
系統区分	A B	A B	A B	A B C	A B	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
安全区分	I II	I II	II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設									
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の冷却機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス濃度制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却機)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	RHR(A) or RHR(B)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-24AN	○	
放水量[m ³]	11.76		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系 (低圧注水モード) 低圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス	自動減圧系 B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系	残留熱除去系	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)	残留熱除去系 (原子炉停炉時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設							
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室非常用換気空調機能	事故時状態記憶	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	監視機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	放射性物質の濃度低減機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	非常用電源機能	
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-24BN	○	
放水量[m ³]	13.02		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設					
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	SRV(II)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II) and RHR(A)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)
系統名	制御棒及び閉鎖式燃料棒冷却系(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧中心スプレイス系	自動減圧系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系	高圧中心スプレイス系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FMW [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	中央制御室空調換気系	事故時対策系	燃料プールの冷却系	燃料プールの補給水系	残留熱除去系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	-	A B	A B	-
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	-	I II	I II	-
判定	○ ○	○ ×	○ ×	○ ×	○ ○	○ ×	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	備考	総合判定	○
浸水発生区画	Y-24CN			
放水量[m ³]	0.42			

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HCS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)
系統名	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	制御棒及び制御棒駆動機(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 低圧注水モード, 低圧注水モード	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停炉時冷却モード)	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系	高圧炉心スプレイスライ系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	-	-	-	-	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設				
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用排水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	[PC(A) or PC(B)] [RHR(A) or RHR(B)]	FWM [RHR(A) or RHR(B)]	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	A系 or B系	○	○	○	○	○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	PC(A) or PC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	燃料プール冷却系	残留熱除去系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系	燃料プール補給水系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-25N	○	
放水量[m ³]	32.34		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉心緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)	SRV(I) or SRV(II)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	制御棒及び冷却ポンプ停止機能(水圧制御ユニット)	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧注水モード), 低圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード	高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード, 高圧注水モード
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	格納容器内の可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用給水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態記憶	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度制御系	非常用電源機能(非常用電源制御用電源)	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)	FPM or RHR(A) or RHR(B)
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-26N	○	
放水量[m ³]	0.42		

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	原子炉冷却緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能	原子炉停炉時注水機能
安全機能	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	[HCU(1) and HCU(2)] [SIC(1) and SIC(2)]	○	2区分以上	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]	[SRV(1) or SRV(2)] [ABS(1) or ABS(2)]
機能判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCU(A) and HCU(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCU or HPS	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(1) or SRV(2)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)	SRV(1) or SRV(2)
系統名	制御棒及び冷却ポンプ(水圧制御ユニット)	ほう配水注入系	原子炉停炉時冷却系	自動減圧系+A-残留熱除去系(低圧中心スプレイス)	高圧中心スプレイス	高圧中心スプレイス	自動減圧系	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	III	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象	原子炉施設				原子炉施設				原子炉施設			
	格納容器の冷却機能	隔離機能	放射性物質の濃度低減機能	放射性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/冷却用配水供給機能	原子炉制御室/非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	監視機能
安全機能	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)
系統名	残留熱除去系(格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス濃度抑制系	非常用電源(非常用照明用電源)	原子炉補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系 高圧中心スプレイス補給冷却系	中央制御室空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	残留熱除去系	監視機能
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

表2-1 消火水の放水による浸水影響評価結果

評価種別	消火水の放水	総合判定	備考
浸水発生区画	Y-29N	○	
放水量[m ³]	0.42		

評価対象 安全機能	原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設	
	原子炉施設 緊急停止機能	未臨界維持機能	原子炉停炉時 注水機能	低圧注水機能	圧力逃がし機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能	原子炉停炉時 注水機能
機能判定	○	○	○	2区分以上	(SRV(I) or SRV(II)) (ABS(I) or ABS(II))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
系統機能判定	HCI(A) and HCI(B)	SIC(A) and SIC(B)	HCI(A) or HPC	ABS(II) and RHR(C)	HPCS	SRV(I) or SRV(II)	ABS(I) or ABS(II)	RHR(A) or RHR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(A)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(C)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(C)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(C)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)	SRV(I) or ABS(I) and RHR(C)	SRV(II) or ABS(II) and RHR(B)
系統名	制御棒及び 圧力調整ユニット (水圧調整ユニット)	制御棒及び 圧力調整ユニット (水圧調整ユニット)	原子炉停炉時 冷却系	自動減圧系+ B(C)-残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系	高圧炉心 スプレー系
系統区分	A B	A B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安全区分	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

評価対象 安全機能	原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設		原子炉施設			
	格納容器の 冷却機能	隔離機能	放射能物質の 濃度低減機能	可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	相補冷却機能/ 冷却用節水供給機能	原子炉制御室 非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	格納容器内の 可燃性ガス制御機能	非常用電源機能	非常用節水供給機能	原子炉制御室 非常用換気空調機能	事故時状態把握	冷却機能	給水機能	監視機能	
機能判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	
系統機能判定	RHR(A) or RHR(B)	隔離弁(内側) or 隔離弁(外側)	SGT(A) or SGT(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	A系 or B系	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RCS(A) or RCS(B)	2区分以上	2区分以上	HWC(A) or HWC(B)	FPC(A) or FPC(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	RHR(A) or RHR(B)	
系統名	残留熱除去系 (格納容器冷却モード)	格納容器隔離弁	非常用ガス処理系	可燃性ガス 濃度調整系	非常用電源 非常用節水供給 非常用換気空調	原子炉制御室 非常用換気空調 高圧炉心スプレー補給冷却系 高圧炉心スプレー補給冷却系	中央制御室 空調換気系	事故時計装系	燃料プール冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系	燃料プール補給冷却系
系統区分	A B	-	A B	A B	-	-	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	A B	
安全区分	I II	I II	I II	I II	III	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	I II	
判定	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	